

松本市の公民館

（令和 3 年度）

令和 3 年 9 月
松本市教育委員会

もくじ



松本市の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	2
教育の基本計画等・・・・・・・・	3
教育財政・・・・・・・・	14
生涯学習の推進（社会教育）・・・・・・・・	20
公民館の学びを通じた地域づくり・・・・・・・・	29
公民館一覧・・・・・・・・	32
利用状況等・・・・・・・・	36
公民館関係略年表・・・・・・・・	40
事業報告・・・・・・・・	53
館長会の活動・・・・・・・・	222
主事会の活動・・・・・・・・	223
職員名簿・・・・・・・・	229
公民館役員名簿（館長・主事）	231
公民館運営審議会委員名簿	235

I 松本市の概要

1 市の沿革

松本市は、長野県のほぼ中央部西側に位置し、西は中部山岳国立公園に包含される日本アルプスの連峰を望み、東は国定公園美ヶ原高原につづく地域で、多くの河川による扇状地などから形成されています。

平安時代中期に編まれた「和名類聚抄（わみょうるいじょうしょう）」には、信濃の国府の所在地が筑摩郡と記され、この頃にはすでに政治文化の中心地であったことが分かります。江戸時代には、松本城を中心とした6万石の城下町として発展し、産業の町としても繁栄しました。

明治4年、廃藩置県により筑摩県となり、明治9年長野県と合併するまで県庁が置かれました。明治40年には市制を施行し、その後隣村との合併等を経て、長野県の産業・文化の中心地として大きく飛躍してきました。

平成12年11月1日には特例市の指定を受け、地方分権の推進と個性豊かなまちづくりを進めてきましたが、平成17年4月の四賀村、安曇村、奈川村及び梓川村との合併、また、平成22年3月の波田町との合併により、新たな松本市として歩み始めました。

令和3年4月1日には中核市に移行し、県から新たに約2,300の事務権限の移譲を受け、多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応するとともに、自立した行政運営を図りながら、20年、30年先を見据えた持続可能なまちづくりを進めています。

2 市の位置・面積

位 置	東経 137° 58' 19"	北緯 36° 14' 17"
面 積	978.47 km ²	
広 さ	東西 52.2 km	南北 41.3 km
標 高	592.21m	

3 面積と人口の推移（各年5月1日現在）

年	面積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人口（人）			人口密度 (人口/km ²)	備 考
			総数	男	女		
明治40年	12.17	6,641	31,866	15,667	16,199	2,618	市制施行
大正5年	12.17	8,374	42,737	21,031	21,706	3,512	
大正9年	12.17	9,541	49,607	23,271	26,336	4,076	第1回国勢調査
昭和5年	18.80	14,648	72,165	35,797	36,368	3,839	大正14年1村合併による
昭和20年	19.87	16,753	76,532	35,080	41,452	3,852	昭和18年1部合併による
昭和30年	214.85	30,925	145,228	71,047	74,181	676	昭和29年13カ村合併による
昭和35年	226.14	34,800	148,710	71,626	77,084	658	
昭和40年	226.20	39,789	154,131	73,840	80,291	681	
昭和45年	226.20	45,421	162,931	78,733	84,198	720	
昭和50年	264.30	55,007	185,595	89,886	95,709	702	昭和49年本郷村との合併による
昭和55年	264.30	60,594	192,085	93,731	98,354	727	
昭和60年	264.60	64,192	197,340	96,803	100,537	746	
平成12年	265.87	80,367	208,056	102,430	105,626	782	特例市の指定を受ける
平成16年	265.87	83,154	208,520	102,525	105,995	784	
平成17年	919.35	90,308	228,376	112,211	116,165	248	平成17年4月四賀村・安曇村・奈川
平成18年	919.35	91,041	228,422	112,112	116,310	248	村・梓川村との合併による
平成19年	919.35	91,574	228,322	112,118	116,204	248	
平成20年	919.35	92,319	228,220	112,015	116,205	248	
平成21年	919.35	92,715	227,615	111,679	115,936	247	
平成22年	978.77	98,597	243,055	119,182	123,873	248	平成22年3月波田町との合併による
平成23年	978.77	99,443	243,075	119,132	123,943	248	
平成24年	978.77	100,418	243,753	119,484	124,269	249	
平成25年	978.77	101,604	243,064	119,131	123,933	248	
平成26年	978.77	102,275	242,458	118,684	123,774	247	
平成27年	978.47	102,834	241,846	118,375	123,471	247	
平成28年	978.47	103,350	241,279	118,161	123,118	247	
平成29年	978.47	104,070	240,470	117,740	122,730	246	
平成30年	978.47	104,971	239,757	117,427	122,330	245	
令和元年	978.47	105,681	238,990	116,974	122,016	244	
令和2年	978.47	106,452	238,249	116,733	121,516	243	
令和3年	978.47	107,422	237,617	116,465	121,152	243	中核市に移行する

資料：DX推進本部

Ⅱ 教育の基本計画等

1 「学都松本」をめざして

(1) 第2次松本市教育振興基本計画「学都松本をめざして」の推進

ア 計画策定の趣旨

平成23年度に、教育委員会としてのめざすべき方向性及び目標を明らかにし、その目標ごとの具体的な事業などを定めた松本市教育振興基本計画「学都松本をめざして」を策定しました。

この中では、「学都松本」としてめざすまちの姿を、学び続けるまち、共に学ぶまち、次代に引き継ぐまちとし、学都松本推進事業を始め、子どもの教育、生涯学習、スポーツ、芸術、歴史・文化資産に関わる取組みを進めてきました。

平成28年度には、変化する社会情勢や教育を取り巻く状況に対応するため、基本的な考え方と方向性について定める「基本構想」はそのままに、施策の具体的な方策を定める「基本計画」の見直しを行い、平成29年度にこれまでの5年間の取組みを踏まえた、これからの5年間の教育施策の展開を示す第2次松本市教育振興基本計画を策定しました。

イ 計画の位置づけ

この計画を、教育基本法第17条第2項に基づく地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画とするとともに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に基づき、市長が定める「松本市教育大綱」に位置付けました。

また、市政運営の長期的かつ総合的な基本計画である「松本市総合計画（基本構想2030・第11次基本計画）」の教育に関する個別計画としての性格を有します。

※「学都松本」としてめざすまちの姿

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">● 学び続けるまち
市民一人ひとりが自らの意思で何を学ぶかを決め、学び続けるまち● 共に学ぶまち
市民の学びを地域や行政が協働してサポートし、「共に学ぶまちづくり」を推進するまち● 次代に引き継ぐまち
市民一人ひとりが学んだ知識・技術を社会に生かして、次代に引き継ぐまち |
|---|

(2) 「学都松本」への取組みの指針

「学都松本」をめざすため、次に掲げる5つの指針に基づき各種事業に取り組みます。

- ① 一人ひとりが生涯にわたって人間性を培う教育をめざします。
- ② 子どもの感性を磨く様々な取組みを進めます。
- ③ 不易を貫き、変わらない大切なことを継続します。
- ④ 地域とともに歩みます。
- ⑤ 「ある」から「する」へ転換し、「点」から「線」・「面」へ活動を広げます。

(3) 「学都松本」に向け育てたい力

「学都松本」への取組みの指針に沿って事業を進めていくためには、市民一人ひとりの活動が大きな原動力になります。様々な学びを通して次に掲げる7つの力を育み続けることが「学都松本」につながるものと考えます。

- ① 自ら学び、考え、創造する力
- ② 主体的に行動し、挑戦する力
- ③ 我慢する力、やり遂げる粘り強さ
- ④ 人間関係を築くコミュニケーション力
- ⑤ 命の大切さ、思いやりの心
- ⑥ 情感豊かな心、人間性
- ⑦ 確かな学力、健康・体力

(4) まつもと市民生きいき活動

「学都松本」に向けた5つの取組指針のうち、「不易を貫き、変わらない大切なことを継続します。」を实践する活動として、「まつもと市民生きいき活動」を展開しています。豊かな人間性、公正さを重んじる心、思いやりなど、社会や時代が変わっても、人として大切にしたいことを、市民一人ひとりが地道に実践し、次代に引き継いでいくことをめざしています。

まつもと市民生きいき活動

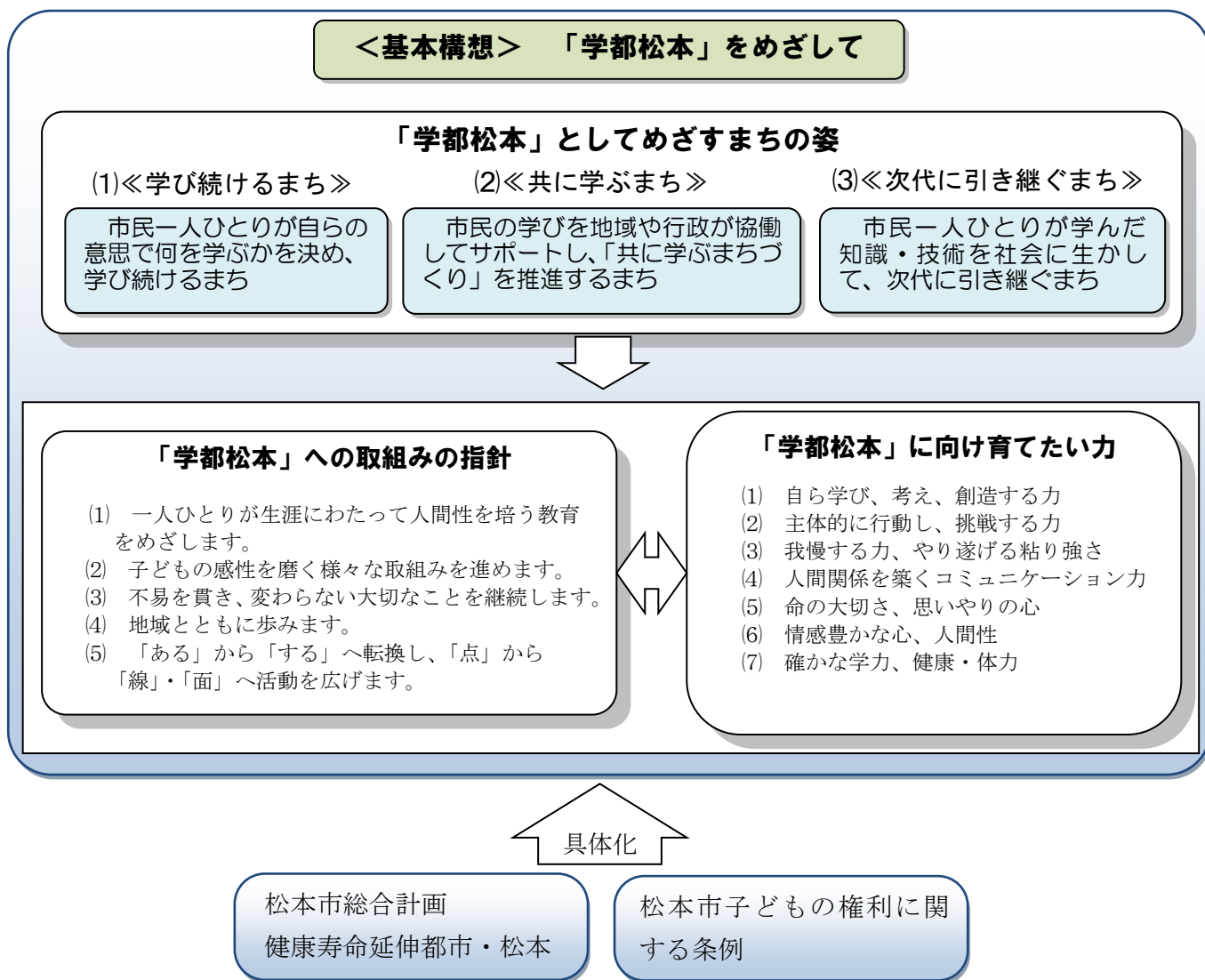
わたしは ころをみがき、からだを使おう

あなたに あいさつをしよう

このまちを きれいにしよう



2 教育振興基本計画の基本構想



3 教育振興基本計画における個別計画

施策	施策の方針	主な内容
1 子どもの教育の充実	(1) 子どもの権利の推進	●子どもの権利学習会等により子どもの権利条例の普及 ●子どもの権利侵害に対する取組み ●子どもの貧困対策 ●子どもの自主性を育む取組み
	(2) 子育て・幼児教育の充実	●あるぷキッズ支援事業等による幼保小中連携 ●ブックスタート事業等による子育て支援の推進
	(3) 学校教育の充実	●確かな学力の向上や豊かな心等の育成など、生きる力の育成 ●いじめ防止等のための基本的な方針に基づく総合的な取組み ●不登校対策のための支援員の充実、関係団体等との連携 ●教育文化センターの再整備による科学などの充実 ●学校の適正規模化等のための検討に着手
	(4) 学校と家庭と地域の連携	●松本版コミュニティスクールの推進 ●子ども未来応援事業(子どもの居場所の拡大:食事提供や学習支援) ●青少年の居場所や学び直しができる環境づくり
	(5) 学校給食と食育の推進	●学校給食センターのあり方検討 ●地産地消、食育の推進 ●アレルギー対応食提供事業(アレルギー解除に向けた取組みなど)
	(6) 環境教育の推進	●環境教育や体験学習 ●トライやるエコスクール事業による環境教育の推進
	(7) 子ども関係施設の整備・充実	●ユニバーサル化等に配慮した学校施設の大規模改造事業の実施 ●学校施設の長寿命化のための改良事業 ●松本市学校教育情報化推進計画の策定でICT教育の環境整備
2 生涯学習の推進	(1) 生涯学習の推進	●学都松本推進事業 ●生涯学習支援事業 ●人権啓発推進講座 ●まつもと市民生きいき活動とスマイル運動との連携
	(2) 公民館の学びを通じた地域づくり	●学びの地域創生事業による活躍の場と担い手の創出 ●退職男性を対象にした生きがいがづくり ●福祉ひろば世代間交流事業で地域のつながり等の推進
	(3) 図書館運営の充実	●子ども読書活動推進計画の推進 ●図書館ネットワークの拡充 ●図書館資料、情報の提供 ●障害者サービスの充実
	(4) 社会教育施設等の整備・充実	●公民館大規模改修 ●ユニバーサルデザイン化の推進 ●旧松本高等学校校舎の耐震化事業 ●町内公民館整備補助金
3 スポーツを通じた健康づくり	(1) 市民皆スポーツの推進	●各種健康スポーツ教室・大会の開催 ●熟年者スポーツ振興事業 ●松本マラソン等で「みるスポーツ」「支えるスポーツ」の機会創出
	(2) スポーツ団体・リーダーの育成	●スポーツクラブやリーダーの育成 ●各種スポーツ大会支援
	(3) 社会体育施設の整備・充実	●社会体育施設の計画的な改修や機能の充実
4 文化芸術を通じた教育の推進	(1) 鑑賞の場の充実	●展覧会の充実 ●美術資料の収集・保存管理事業 ●開館20周年に向けた企画展等の開催
	(2) 表現・学習・交流の場の充実	●教育普及事業 ●交流事業 ●地域文化事業の振興 ●文化芸術の総合的なポータルサイトの開設による情報発信の充実
5 歴史・文化資産の保護と活用	(1) 松本まると博物館構想の推進	●まると博物館推進事業 ●歴史文化基本構想推進事業 ●埋蔵文化財保護事業 ●文化財保存管理事業
	(2) 博物館事業の推進	●基幹博物館整備事業 ●特別展の開催
	(3) 松本城の保存・整備と活用	●松本城のホスピタリティの向上と安全確保による城下町のまちづくりの推進 ●世界文化遺産の登録に向けた取組みの推進
6 教育委員会の機能の充実	(1) 開かれた会議運営と市民意見の反映	●地区の皆さんと語る会 ●移動教育委員会

4 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（開始年度 平成21年度）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、毎年教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価をしています。

点検及び評価に当たっては、教育部各課で年度末に事務事業の総括と自己評価を行い、外部意見として社会教育委員の意見を聴取したうえで、教育委員会の改善方針をまとめ、市議会への報告と市ホームページへの公開をしています。

5 学都松本推進事業

(1) 趣旨

教育振興基本計画に基づく「学都松本」を実現するため、学都松本推進協議会等との協議を通じて、市民協働で学都松本推進事業に取り組んでいます。

学都松本フォーラムの開催や「学びの9月」事業の充実など、あらゆる機会を捉えての「学都松本」の市民周知を通して、生涯にわたっての市民の学びの機会を広めるとともに、学びの環境づくりを進めています。

(2) 実施経過

ア 学都松本フォーラム

学都松本推進事業のメイン事業として実施

第1回学都松本フォーラム (平成24年度)	平成24年9月2日(日) あがたの森文化会館など
(1) テーマ 学都松本をめざして (2) 実施形態 学都松本フォーラム実行委員会、予算：350千円 (3) 内容 基調講演・パネルディスカッション、展示(13)、催事(9)など (4) 参加者 1,730人	
第2回学都松本フォーラム (平成25年度)	平成25年9月7日(土)8日(日) あがたの森文化会館など
(1) テーマ 学びでつながる わたしたち～共に学び、次代に引き継ぐために～ (2) 実施形態 学都松本フォーラム実行委員会→学都松本推進協議会(6月から) 予算：780千円 (3) 内容 基調講演・パネルディスカッション、展示(12)、催事(18)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、サタデーコンサートなど) (4) 参加者 1,180人	
第3回学都松本フォーラム (平成26年度)	平成26年9月6日(土)7日(日) あがたの森文化会館など
(1) テーマ 日々の学びへの気づき (2) 実施形態及び予算 学都松本推進協議会(主管)、予算：1,020千円 (3) 内容 全体会(委員長講話、松商放送部発表、トークセッション)、食育講演会、スポーツシンポジウム、展示・催事(19)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、サタデーコンサート、サロンあがたの森など) (4) 参加者 1,943人	

第4回学都松本フォーラム (平成27年度)	平成27年9月5日(土)・6日(日) あがたの森文化会館、音楽文化ホール
(1) テーマ “ひとり” から “みんな” の学びへ (2) 実施形態及び予算 学都松本推進協議会(主管)、予算:1,450千円 (3) 内容 基調講演会:池上彰氏「学び続ける力、伝える力」、食育講演会、語り場、催事展示(22)、食と学びのブース(7)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、サタデーコンサート、秋の気分爽快ウォーク) (4) 参加者 2,703人	
第5回学都松本フォーラム (平成28年度)	平成28年9月3日(土)・4日(日) あがたの森文化会館など
(1) テーマ 「学ぶ」って おもしろい!～ふくらむ つながる ひろがる～ (2) 実施形態及び予算 学都松本推進協議会(主管)、予算:1,320千円 (3) 内容 基調講演会:高橋源一郎氏(100年後の14歳へ贈る「ことば」)、食育講演会、分科会(7)、催事展示、食と学び含む(37)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、サタデーコンサート、秋の気分爽快ウォーク) (4) 参加者 2,577人	
第6回学都松本フォーラム (平成29年度)	平成29年9月2日(土)・3日(日) あがたの森文化会館など
(1) 年間活動テーマ 「学ぶ」って おもしろい! (2) 実施形態及び予算 学都松本推進協議会(主管)、予算:1,270千円 (3) 内容 基調講演会:天達 武史氏(天気の人達が語る学び 私が気象予報士をあきらめなかった理由)、分科会(4)、催事展示(21)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、サタデーコンサート) (4) 参加者 2,041人	
第7回学都松本フォーラム (平成30年度)	平成30年9月22日(土)・23日(日) Mウイング・中央体育館
(1) 年間活動テーマ 「学ぶ」って おもしろい! (2) 実施形態及び予算 学都松本推進協議会(主管)、予算:1,320千円 (3) 内容 基調講演会:柳田 理科雄氏(考えることは楽しい、だから科学はおもしろい)、催事展示(22)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、松本ノーマイカーデー) (4) 参加者 1,036人	
第8回学都松本フォーラム (令和元年度)	令和元年9月21日(土)・22日(日) Mウイング・中央体育館
(1) 年間活動テーマ どこにでも学びはある。 (2) 実施形態及び予算 学都松本推進協議会(主管)、予算:1,230千円 (3) 内容 基調講演会:今泉 忠明氏(愛すべき“ざんねないきもの”と進化)、催事展示(18)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、第1回博物館まつり、第1回具だくさんみそ汁コンテスト) (4) 参加者 1,042人	

第9回学都松本フォーラム (令和2年度)	令和2年9月19日(土)・20日(日) あがたの森文化会館
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止。「学都松本・教育100年を語る会」を3回開催(オンライン、動画配信によるもの)	

イ 学都松本・教育100年を語る会

第9回学都松本フォーラムの中止に伴い、WEB開催を実施。年間を通じ、考える楽しさを提供する機会として、3回開催

開催日	会場	講座内容
第13回 9月19日	あがたの森文化会館	「日本の教育の現状と課題」
第14回 11月28日	あがたの森文化会館	「ドイツでドイツ人として接して考えた事」
第15回 1月30日	あがたの森文化会館	「松本高等学校が地域にもたらしたものは？」

6 令和2年度 生涯学習課・中央公民館概要及び重点目標の成果・課題

(1) 事務事業の概要

- ア 生涯学習の施設整備や地域住民の主体的な学習活動の支援を行い、自治能力を高める学習活動の推進及び生涯学習による地域づくりを目指します。
- イ 地区公民館を総合的な地域づくりの拠点と位置づけ、地域課題と向き合い、地域住民が主体的に解決するための学習・実践を充実させ、松本らしい公民館活動を展開します。

(2) 総合評価

- ア 自己評価 B
- イ 評価の理由
 - ・コロナ禍で、事業の縮小などがありましたが、オンライン講座等の実施や次年度に向けた検討を前倒しして進めるなど、臨機応変に対応しました。
 - ・施設整備は、里山辺公民館整備事業等を計画的に進めています。

(3) 重点目標の内容、成果・課題等

ア 多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業

(ア) 内容

町内公民館を活用した「多世代参画型地域共生コミュニティ(新たな社会システム)」の構築。東大牧野教授の研究室と3カ年の共同事業として平成30年度から実施

(イ) 具体的な進め方等

- a 多世代が参画する人材育成(担い手づくり)を促進するプログラムの実践、検証
- b 中央地区鷹匠町町会、里山辺地区新井町会、安曇地区橋場町会をモデル町会とし、実践内容を全35地区に共有し、松本モデルとしての発信

(ウ) 実施内容

- a コロナ禍で東大牧野研究室から事業延期の申し出があり、共同事業は次年度に延期
- b モデル町会の住民及び関係職員による合同会議を開催しました。モデル町会からは、成果を踏まえた継続性が重要など、次年度への期待について意見が出され、全体で共

有しました。

(エ) 課題と方向性

- a 令和2年度は、コロナ禍で活動を自粛したことにより、住民のモチベーションの低下があり、今後の活動の展開方法が課題となっています。また、事業の成果を高めるため、地域づくりを担う地区公民館や関係部局のかかわり方、持続可能な地域をつくるための町内公民館機能を明確にする必要があります。
- b 共同事業の再開に向け東大研究室と改めて事業の目的や方向性を確認します。
- c 事業終了後の展開も考慮し、事業の実施及び検証を行います。

イ 松本版コミュニティスクール事業

(ア) 内容

学校を核とした地域づくりの推進

(イ) 具体的な進め方等

- a 一部のボランティアに留まらない、地域全体による子どもたちへの支援
- b 学校ごとに設置されるコミュニティスクール運営委員会における熟議

(ウ) 事業成果

新型コロナウイルス感染症の影響で事業を縮小する中、明善中学校ではコミュニティスクール運営委員会等で地域のためにできることについて話し合い、防災訓練など、中学生の主体的な参画につなげる取組みを進めました。

(エ) 課題と方向性

- a コロナ禍でも中学生の主体的参画につなげた好事例を共有する機会を設けます。
- b 国の「地域と学校の連携・協働体制構築事業」の変更を受け、松本版コミュニティスクールの理念を引き継ぎつつ、国型のコミュニティスクール導入に向けた検討を行います。

検討に当たっては、国の要件である、地教行法第47条の5に基づく学校運営協議会（以下「協議会」という。）の設置や教育委員会による協議会委員の任命に係る事項を関係課と調整します。

ウ 若者の居場所づくりと社会参画事業

(ア) 内容

他者とのつながりや学び直し支援の実施、若者の多様な社会参画の推進

(イ) 具体的な進め方等

- a コーディネーターとの連携や若者カフェを活用した講座等の実施
- b 松本若者会議の実施による若者が住みたいまちの魅力づくりへの取組み

(ウ) 事業成果

- a 気軽に参加できるようオンライン講座を6講座開催するなど、多様な学びと魅力ある居場所づくりを進めました。
- b 松本若者会議では、信大と実行委員会を組織し、まちづくりについて若者と市長との対話などを実施しました。

(エ) 課題と方向性

SNSなど若者が情報にアクセスしやすい環境づくりや若者が社会で活躍できる環境づくりを推進します。また、市長部局と連携して、切れ目なくひきこもりの若者支援を進めます。

エ 町内公民館整備への支援

(ア) 内容

町内公民館等の整備に対する補助金交付、施設の適切な維持管理の促進

(イ) 具体的な進め方等

意向調査結果、補助実績及び近隣市の状況等を踏まえたうえで、実態に即した制度見直し

(ウ) 事業成果

建物の改修（福祉・耐震を含む。）実績は、補助金の周知が進み、施設の改修時期も重なったこともあり、R元年度108件、R2年度91件と、H30までの5カ年平均75件から、さらに増加しています。要綱改正により、R3年度から一般改修の補助率を現行の1/2から2/3へ引上げ、解体補助（補助率1/2、限度額200万円）を新設します。

(エ) 課題と方向性

老朽化に伴う施設整備が増加している一方で、人口減少に伴う施設の統廃合や解体等も考慮する必要があり、バランスのとれた運用を検討します。

オ 社会教育施設整備事業

(ア) 内容

a 地区公民館整備事業

令和4年度の開館を目指した里山辺公民館の移転、整備

b 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震化事業

保存活用計画に基づいた計画的な修理、整備

(イ) 具体的な進め方等

a 地区公民館整備事業（里山辺公民館）

地元町会及び近隣の関係者への丁寧な説明による計画的な実施

b 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震化事業

工区ごとの部分休館による耐震補強工事の実施

(ウ) 事業成果

a 地区公民館整備事業（里山辺公民館）

各種協議が整い、令和2年度中に主体工事、電気及び機械設備工事の契約を締結しました。

b 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震化事業

平成30年度に着手した講堂の耐震工事は終了し、本館の耐震工事（令和2年度：南棟東側）に着手しました。

(エ) 課題と方向性

a 地区公民館整備事業（里山辺公民館）

完成後は、個別施設計画に基づき、適正な維持管理に努めます。

b 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震化事業

活用される文化財建造物として、耐震化を計画的に進めます。

R3年度：南棟西側、R4年度：西棟、R5年度：北棟

7 令和3年度 生涯学習課・中央公民館概要及び重点目標の内容

(1) 概要

生涯学習の施設整備や地域住民の主体的な学習活動の支援を行い、自治能力を高める学習活動の推進及び生涯学習による地域づくりを目指します。

地区公民館を総合的な地域づくりの拠点と位置づけ、地域課題と向き合い、地域住民が主体的に解決するための学習・実践を充実させ、松本らしい公民館活動を展開します。

(2) 重点目標の内容

ア 多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業

地域共生社会の実現に向け、東大牧野教授の研究室と3カ年の共同事業として、町内公民館を活用し、子どもから高齢者まで様々な人々が集い、気軽に共に楽しく学び、地域の中で生きていく場として、「多世代参画型地域共生コミュニティ（新たな社会システム）」の構築を目指します。

過去2カ年の取組みの成果・課題を踏まえ、次世代に受け継ぐ持続可能な地域共生社会の実現に向けて、東大、モデル町会等と意見交換及び実践を深めます。

また、関係部局や学校との連携を深めるとともに、事業終了後の展開も考慮し、より小さな自治の単位である町会・町内公民館からの共生社会の実現及び地域を担う人材育成に向けた方策を提起します。

イ 松本版コミュニティスクール事業

学校と地域が連携・協働し、地域全体で子どもたちを見守り育てる意識を高めるとともに、地域の中でしか体験できないことを学ぶ貴重な機会をつくり、子どもたちの「生きる力」を育みながら、学校を核とした地域づくりを進めます。

事業実施に当たっては、地区公民館が学校と地域を結ぶコーディネーター役となり、地域の特性を生かした活動を通じて、地域全体で子どもたちを見守り育てる取組みを支援します。

学校毎にコミュニティスクール運営委員会を設置し、町会長や育成会長、民生・児童委員、PTAが子どもたちの様子を共有し、地域でどのような子どもを育てるかを議論し、方向性を確認します。

ウ 若者の居場所づくりと社会参画事業

若者の多様なニーズに対応できる魅力ある居場所づくりと環境づくりを進め、ひきこもりの若者支援を含め、交流を通じて他者との関係性の構築や学び直し支援を進めることで、互いを尊重し、社会で生きていく力を培うことを支援します。また、若者が成長し、社会で活躍できるきっかけ作りとして、積極的にまちづくりに取り組む場の提供など、若者の多様な社会参画を関係機関と連携し、推進します。

エ 町内公民館等施設整備の支援

町内公民館等の整備に対して補助金を交付し、施設の適切な維持管理を促進します。

オ 地区公民館整備事業

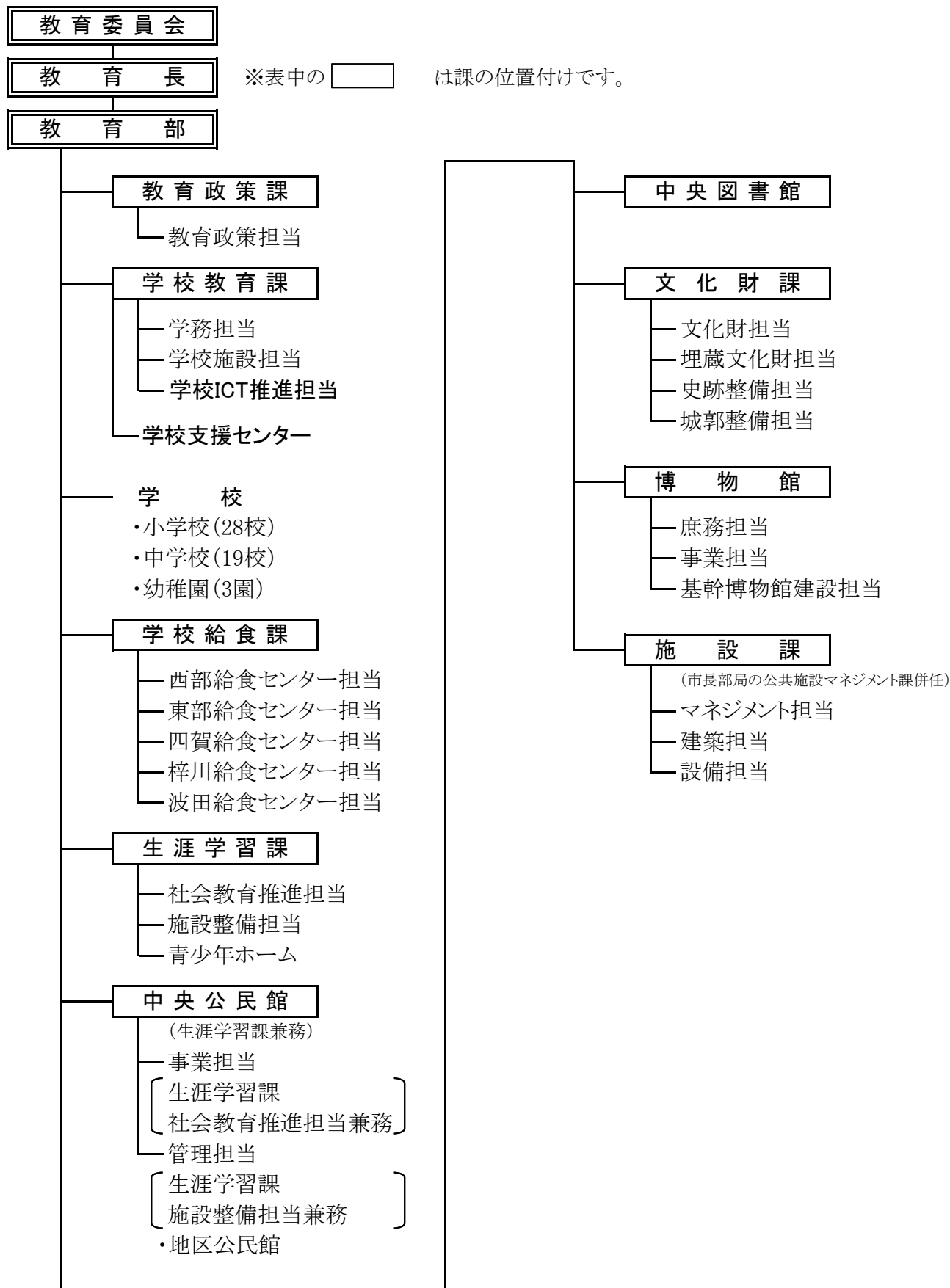
(ア) 里山辺公民館整備事業

老朽化し、狭い里山辺公民館を、隣接地へ移転・整備します。地域づくりセンター及び福祉ひろばを集約して、地区の総合的な地域づくり拠点の充実を図ります。

(イ) 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震事業

平成２８年度に策定した保存活用計画等を基に、令和２年度に引き続き耐震補強工事を実施します。

7 教育委員会組織図 (R3.4.1)



教育政策課	
教育文化センター	視聴覚センター 科学博物館
学校教育課	
美ヶ原少年自然の家 教員住宅	
学校給食課	
西部学校給食センター 東部学校給食センター 四賀学校給食センター 梓川学校給食センター 波田学校給食センター	
生涯学習課	
あがたの森文化会館 同和教育集会所 池上百竹亭 ふれあいパーク乗鞍 奈川文化センター夢の森 青少年ホーム	
中央公民館	
地区公民館	
第一地区公民館	神林公民館
第二地区公民館	笹賀公民館
第三地区公民館	芳川公民館
東部公民館	寿公民館
城北公民館	寿台公民館
大手公民館	岡田公民館
安原地区公民館	入山辺公民館
城東公民館	里山辺公民館
白板地区公民館	今井公民館
田川公民館	内田公民館
庄内地区公民館	本郷公民館
鎌田地区公民館	松原地区公民館
松南地区公民館	四賀公民館
中山公民館	安曇公民館
島内公民館	奈川公民館
島立公民館	梓川公民館
新村公民館	波田公民館
和田公民館	
Mウイング文化センター	

中央図書館
図書館分館
南部図書館
あがたの森図書館
鎌田図書館
寿台図書館
本郷図書館
中山文庫
島内図書館
空港図書館
梓川図書館
波田図書館
松本城管理事務所
市営開智駐車場
美術館
梓川アカデミア館
博物館
博物館分館
国宝旧開智学校校舎
松本民芸館
旧山辺学校校舎
考古博物館
はかり資料館
旧司祭館
旧制高等学校記念館
窪田空穂記念館
重要文化財馬場家住宅
歴史の里
時計博物館
山と自然博物館
高橋家住宅
四賀化石館
安曇資料館

8 教育委員会職員数（R 3. 5. 1 現在）

（ ）内は市長部局との併任

区 分		教育長 部 長	課 長	課 長 補 佐	係 長	主 査	主査補	事務系	技術系	会 計 年 度 任 用 職 員	合 計	備 考
教 育 長		1									1	
教 育 部 長		1 (1)									1 (1)	()内 総務部長
事 務 局	教 育 政 策 課		2	1	2	3		2		5	15	
	学 校 教 育 課		2	4		1		11		5	23	
	学校支援センター		1	1		4				53	59	課長補佐1名は主任指導主事、主査は指導主事
	学 校 給 食 課		1	4	4	6	15	3	28	123	184	職名栄養士、調理員、 栄養教諭は技術系
	生 涯 学 習 課		1	4	1	2		7		14	29	課長は中央公民館 長兼務
	文 化 財 課		3	3	2	3		12		17	40	会計年度任用職員 3名は研究専門員
	施 設 課		(1)	(3)	(1)	(6)		(2)	(8)	(2)	(23)	()内 公共施設 マネジメント課
	小 計	2 (1)	10 (1)	17 (3)	9 (1)	19 (6)	15 0	35 (2)	28 (8)	217 (2)	352 (24)	
教 育 機 関	小 学 校						2		8	66	76	職名栄養士、調理 員は技術系
	中 学 校					1	2		3	33	39	小中統合校は全て小 学校に含む
	幼 稚 園			1		3	1	3	3	14	25	幼稚園教諭は事務 系に含む
	中 央 公 民 館					5		30		37	72	会計年度任用職員 35名は地区公民館 長
	中 央 図 書 館		1	2	2	5		7		43	60	会計年度任用職員 9名は分館長
	博 物 館		2	3	2	3		13		18	41	会計年度任用職員8 名は分館長 係長1名は生涯学習 課係長兼務
	小 計		3	6	4	17	5	53	14	211	313	
合 計		2 (1)	13 (1)	23 (3)	13 (1)	36 (6)	20 0	88 (2)	42 (8)	428 (2)	665 (24)	

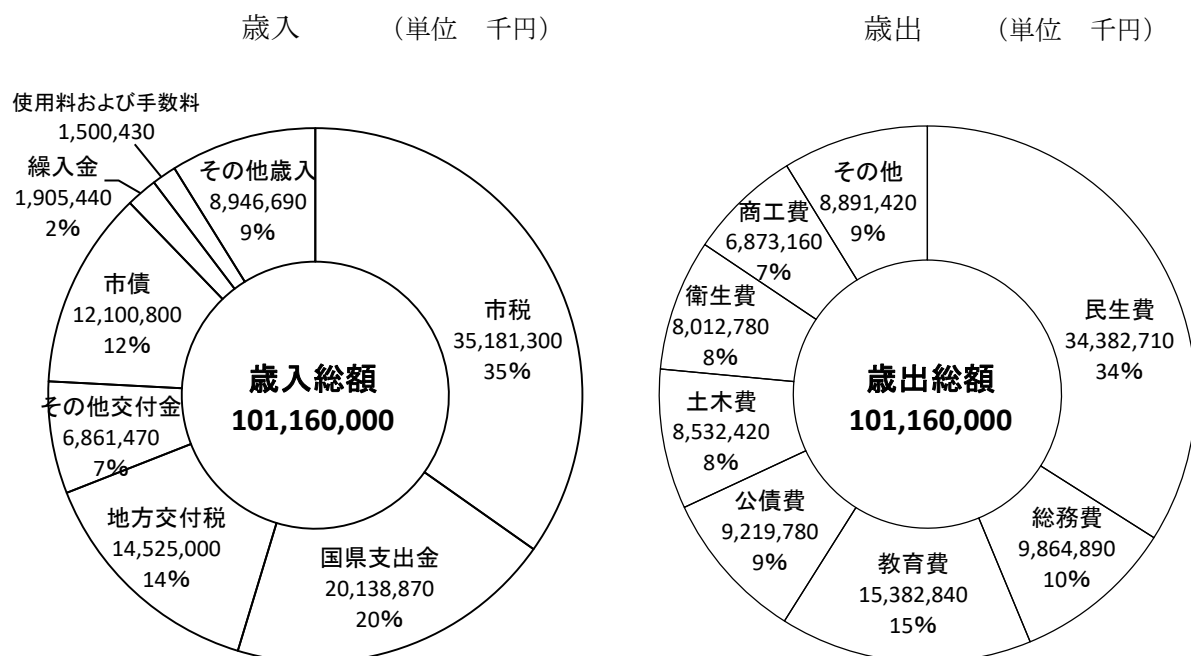
派遣等職員数

派 遣 先	課 長	課 長 補 佐	係 長	主 査	主査補	事務系	技術系	合 計	備 考
松本市・山形村・朝日村中学校組合			1			1		2	
合 計			1			1		2	

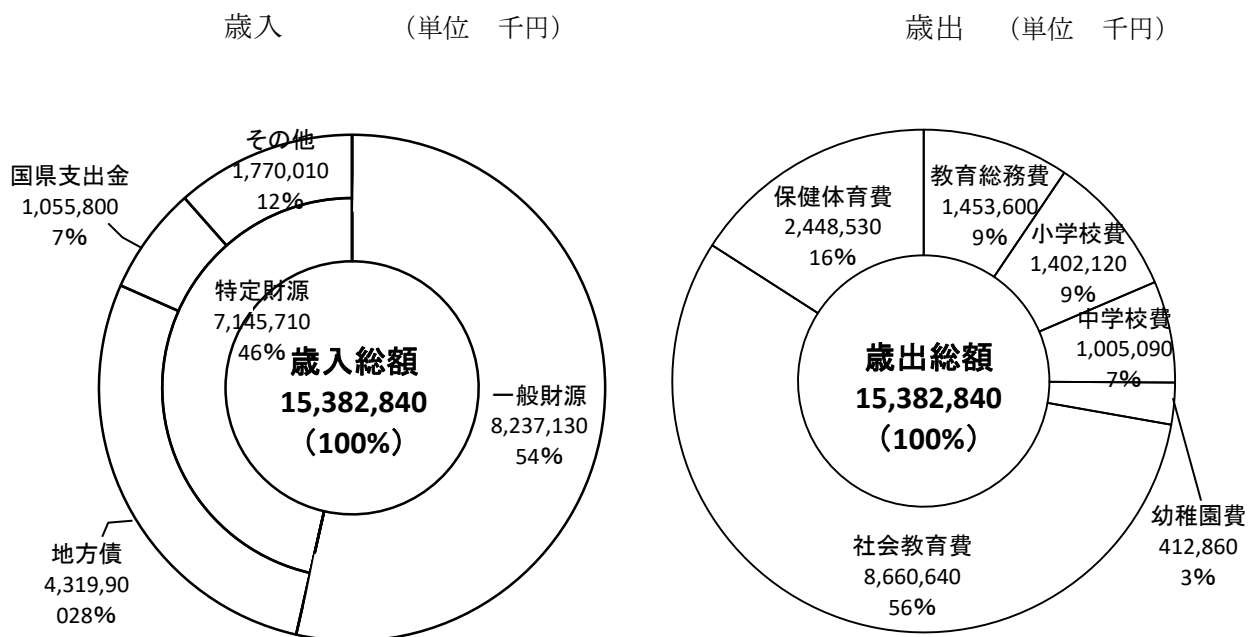
Ⅲ 教 育 財 政

1 教育関係予算の概要（令和3年度 当初予算）

(1) 一般会計予算



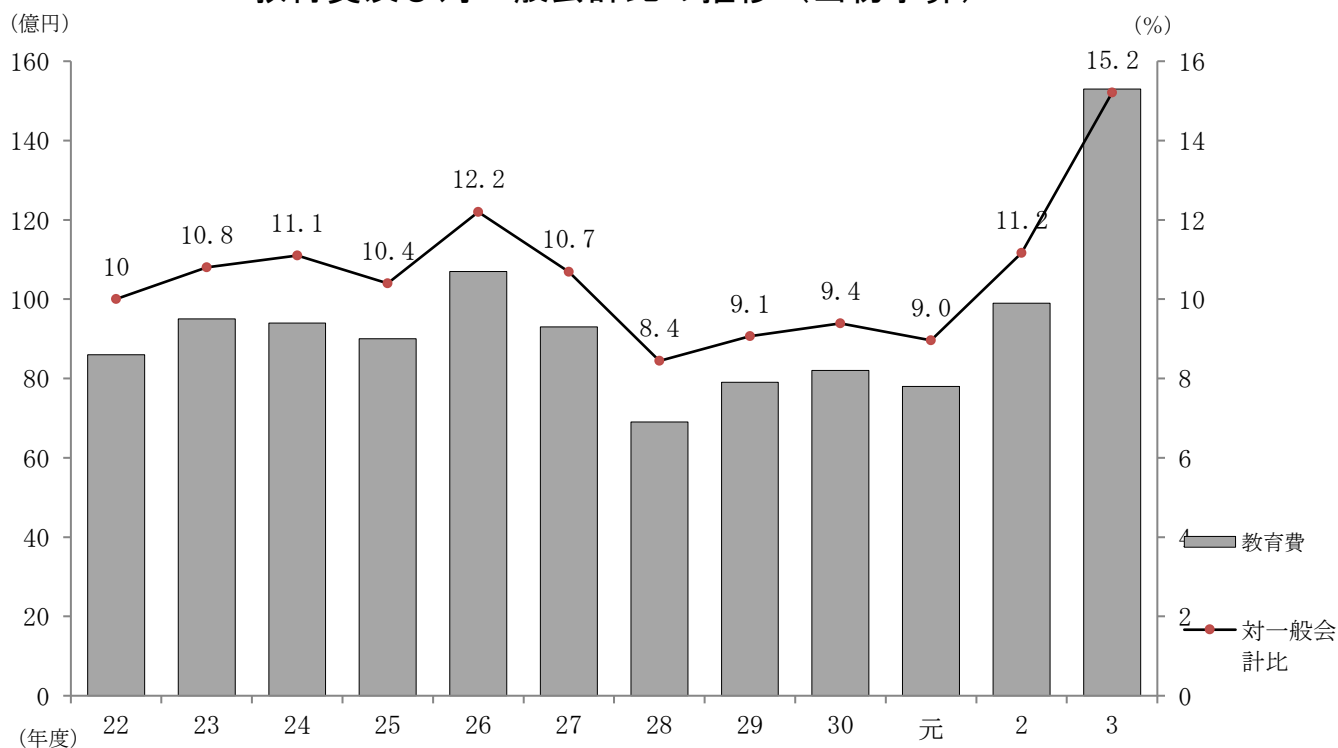
(2) 教育費関係予算



(3) 予算と決算の推移 一歳 出一

年度	当初予算額			最終予算額			決 算 額		
	一般会計	教育費	対一般 会計比	一般会計	教育費	対一般 会計比	一般会計	教育費	対一般 会計比
	千円	千円	%	千円	千円	%	千円	千円	%
H22	86,340,000	8,667,280	10.0	95,769,086	10,420,022	10.9	91,644,870	9,328,253	10.2
H23	88,540,000	9,562,940	10.8	97,123,322	12,156,467	12.5	94,004,163	11,085,885	11.8
H24	84,930,000	9,468,780	11.1	92,697,320	13,156,280	14.2	89,839,673	11,783,020	13.1
H25	86,450,000	9,020,740	10.4	95,215,660	14,228,414	14.9	90,047,663	11,819,846	13.1
H26	87,780,000	10,727,910	12.2	94,942,519	14,058,155	14.8	91,524,927	12,985,022	14.2
H27	87,960,000	9,398,530	10.7	93,518,798	9,682,558	10.4	88,622,111	7,851,332	8.9
H28	82,290,000	6,947,440	8.4	93,964,202	11,203,038	11.9	90,490,021	9,858,114	10.9
H29	87,270,000	7,910,390	9.1	92,736,444	9,617,426	10.4	89,611,460	9,262,262	10.3
H30	87,780,000	8,239,180	9.4	90,428,310	9,994,670	11.1	87,443,590	8,342,842	9.5
R元	88,010,000	7,884,110	9.0	99,049,155	13,629,129	13.8	92,223,509	9,623,536	10.4
R2	89,510,000	9,993,670	11.2	131,580,486	14,508,398	11.0	127,472,420	13,815,801	10.8
R3	101,160,000	15,382,840	15.2						

教育費及び対一般会計比の推移（当初予算）



(4) 令和３年度教育費項目別の予算額（令和３年５月１日）

区分	予算額	構成比	児童生徒 一人当たり	備考
	千円	%	円	
総 額	15,382,840	100		市民一人当たり 64,737 円
教育総務	1,453,600	9.4		教育委員会費、事務局費、私立学校振興費 (報酬、事務局職員給与を含む)
小 学 校	1,402,120	9.1	117,302	学校管理費、教育振興費、学校施設費関係 (市費学校 職員給与を含む)
中 学 校	1,005,090	6.5	171,108	学校管理費、教育振興費、学校施設費関係 (市費学校 職員給与を含む)
幼 稚 園	412,860	2.7		幼稚園費 (職員給与を含む)
社会教育	8,660,640	56.3		社会教育総務費、公民館費、図書館費、博物館費、文 化費、美術館費、教育文化センター費 (教育機関職員 給与を含む)
保健体育	2,448,530	15.9		保健体育総務費、学校給食センター費 (給食センター 職員給与を含む)

(注) 1 市人口は令和３年５月１日現在の数による。(237,617人)

2 児童生徒数は令和３年５月１日現在の数による。

小学生 11,953 人

中学生 5,874 人

計 17,827 人

Ⅳ 生涯学習の推進（社会教育）

※生涯学習課・中央公民館の部分を抜粋

1 概 要

近年の急激な社会構造の変化（少子高齢社会・情報化社会等）を背景とした学習需要の多様化に伴い、社会教育行政においては、身近な生活の場所で誰もが、いつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができるよう、ハード、ソフト両面の条件整備が求められています。

そこで、松本市生涯学習基本構想の精神（「学びの森づくり」）を踏まえ、松本市教育振興基本計画に掲げる、「学都松本」としてめざすまちの姿の実現に向け、学習の場である施設の整備を進めるとともに、コミュニティ活動施設と関係機関の連携による地域ごとの学習システムの確立や、住民の豊かな個性を伸ばす自発的な学習活動等への支援を通じて、地域住民が主体となって自治能力を高める学習活動の推進と生涯学習による地域づくりをめざします。

2 重点施策

(1) 生涯学習の推進

- ア 学習情報の収集と提供
- イ 地域の人的・物的資源の発掘と連携による特色ある地域づくりの促進
- ウ 自発的活動の支援
- エ 生涯学習の啓発
- オ 市民活動などのコーディネート

(2) 社会教育施設の整備等

- ア 地区公民館等の整備・改修
- イ 町内公民館の整備促進

3 事業の内容

(1) 公民館活動の推進（「Ⅱ 公民館」参照）

社会教育・地域づくりの拠点として公民館を活用・整備し、学習機会の充実・松本らしい地域づくりを目指した活動を推進しています。

(2) 生涯学習の推進

ア 生涯学習基本構想

- 平成 6 年 3 月 松本市生涯学習基本構想「学びの森づくりをめざして」策定
- 平成 17 年 3 月 第2次松本市生涯学習基本構想「学びの森づくりをめざして」策定
- 平成 24 年 3 月 松本市教育振興基本計画「学都松本をめざして」へ継承

イ 松本市出前講座「いい街つくろう！パートナーシップまつもと」の実施

(ア) 経過

市民と職員とがパートナーとなり、協働して街づくりを進めるため、出前講座を開講しています。

現在市が行っている業務や政策の中から、市民の生活に密着したものなど131講座をメニュー化し、要望に応じて担当職員等が地域に出向き講座を実施しています。

(イ) 現状

市関係課等の協力を得て、講座の新設や見直し等を行っています。

令和2年度実績 204回 8,703人参加

実施した主な講座は、交通安全、防災、子育て、健康等

ウ 生涯学習情報誌「学びの森いんふおめーしょん」の発行

市民の生涯学習活動を支援するため、生涯学習支援登録団体及び関係機関の情報を収集して、町内回覧、公共施設での配布及び市ホームページで情報を発信しています。

(ア) 発行回数

年4回（5月、8月、11月、2月）

(イ) 主な掲載内容

a 生涯学習情報 …… 市民が参加できるイベントに関する情報

b 生涯学習ファイル …… 市内近郊で活動している団体の会員募集情報

エ 生涯学習支援登録制度による情報提供

市民の多様な生涯学習を支援するため、地域に在住する専門的な知識、経験を有する指導者や自発的活動を行っているグループ等の情報を登録し、市公式ホームページ等を利用した情報提供を行っています。

〔登録数〕（令和2年度末現在）

指導者 149名、グループ 444団体

(3) 社会教育施設の整備等

社会教育・地域活動の充実に寄与することを目指して、中央公民館及び地区公民館（35館）等の社会教育施設を整備しています。重点課題として施設の機能維持・ユニバーサルデザインの導入・エコ改修に取り組んでいます。

ア 社会教育施設等の整備状況（令和2年度実施）

区分	事業名	事業内容	事業費 (千円)
社会教育施設	里山辺公民館整備事業	老朽化し、狭あいな里山辺公民館を移転新築するための実施設計を行いました。	18,095
	Mウイング整備事業	経年劣化の著しい、中央公民館並びに中央保健センター空調設備を改修しました。	124,284
	鎌田地区公民館等整備事業	賃貸借契約している事業用地の一部を取得するため、不動産鑑定を行いました。	417

イ 町内公民館整備補助金

町会が所有・管理する町内公民館の整備等について、補助金による支援を行い、一定の負担軽減を図ります。また、整備等による各施設の機能維持・充実をとおして、町会における社会教育、その他多様な住民活動に寄与します。

令和3年度から、一般改修の補助率を現行の1/2から2/3へ引き上げ、解体補助(補助率1/2、限度額200万円)を新設する等の要綱改正を行い、支援の充実に努めます。

(7) 町内公民館整備補助金交付制度概要（令和３年度）

区 分			補 助 率	限 度 額
建 物	新 築	未設置町会等	2／3	1,000 万円（福祉関連含む）
		既設置町会等	1／2	1,000 万円（福祉関連含む）
	改 築	1／2	1,000 万円（福祉関連含む）	
	増 築	1／2	600 万円 ただし、新改築時補助を受けている場合は、400 万円	
	改 修	2／3	一般改修（500 万円）	
		2／3	福祉関連・耐震補強（500 万円）	
	既 設 置 建 物 取 得	1／2	800 万円	
	未 設 置 建 物 取 得	2／3	1,000 万円	
土 地	敷 地 取 得	2／3	1,000 万円 （建築基準法に基づき適正面積で計算）1 回のみ	
借 地 ・ 借 家		1／2	5 万円	
解 体 除 却		1／2	200 万円	

※ ただし、2 館目以降の限度額は、上記の金額の 8 割とする

(イ) 補助金交付件数

年 度	新築	改築	増築	改修	取 得		福祉	耐震	借地	借家	合計 件数	金額
					建物	敷地						
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	千円
30	0	4	1	47	0	0	9	1	38	3	103	89,996
元	1	2	0	86	0	3	21	1	36	3	153	109,308
2	0	1	1	79	0	1	11	0	38	3	134	84,167

ウ 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震化事業

(ア) 事業概要

平成 22 年度に実施した耐震予備診断の結果において、基準値を満たさない項目があったため、文化庁が定めた「重要文化財（建造物）耐震診断指針」に沿い、耐震化事業を進めています。

平成 26 年度～平成 27 年度に耐震基礎診断を実施。平成 28 年度は壁の耐久力実験を行い、データに基づいた補強案を作成しました。また、重要文化財旧松本高等学校保存活用計画策定委員会を設置し、建物の保護と活用の方針を検討し、防災計画を含めた保存活用計画の策定をしました。

平成 29 年度は文化庁指導の基、「糸魚川-静岡構造線断層帯」を起因とする地震動を考慮した追加の耐震基礎診断を実施し、その結果を踏まえた耐震補強工事の実施設計を行いました。平成 30 年度から講堂、本館の順に 6 年間の計画で耐震補強工事を進めています。

(イ) 今後の取組み

令和 2 年度に本館 I 期工事に着手し、令和 5 年度まで工区毎部分休館で耐震補強工事を行います。

(4) 青少年ホームの活動

平成２７年に勤労青少年福祉法が改正され、勤労青少年ホームの設置根拠が削除されたことに伴い、条例を改正して、平成２９年４月から名称を松本市勤労青少年ホームから松本市青少年ホームと改称し、対象者を３５歳未満の勤労青少年から１５歳以上３５歳未満の青少年一般としました。

若者が気軽に集まれる魅力ある居場所づくりを通じ、自分づくり、仲間づくりを進めるとともに、ひきこもりの若者を含め、社会で生きていく力を培うことを支援しています。

また、若者が成長し、社会で活躍できるように、若者の多様な社会参画を進めています。

ア コーディネーターと連携し、ひきこもりの若者も参加しやすい講座、イベントの実施

イ 青少年の将来の選択肢を広げる「職人から学ぶ講座」の実施

ウ 若者が自由に過ごし、交流できるゆるやかな居場所として「若者カフェ」の実施

エ 若者が主体となり、若者が住んでみたいまちの魅力をつくりだす「松本若者会議」の実施

オ ヤングスクール、キャリアアップセミナーの実施

カ 青少年ホーム利用者の会の自主活動、所属クラブの育成・支援

キ ヤングキャリアメンターによる、若者の職業生活や人生問題等に関する相談事業

ク 新成人で構成する実行委員会で成人式の企画、運営の実施

ケ 新成人や市民の意見を取り入れながら、成人式を２部制で開催

コ 高校生・大学生が主体となり、子どもが楽しく遊べる「子どもプレイパーク」の実施

年度	登録者数 (人)	平均年齢 (歳)	開館日数 (日)	利用状況（人）		
				計	ホーム	体育館
30	338	28.3	293	6,113	2,716	3,397
元	342	27.3	294	5,895	2,740	3,155
2	198	27.5	297	4,304	1,565	2,739

4 社会教育施設

(1) 松本市あがたの森文化会館

第一期地名校の誇り、大正ロマンあふれる木造校舎。 市民や同窓生の熱意によって保存された建物は、今も多くの方の市民の学びの場として愛されています。			
位 置	松本市県3丁目1番1号	電 話	32-1812
概 要	あがたの森文化会館は、大正8年に開校した旧制松本高等学校校舎の保存と活用のため、昭和54年に開館しました。大正9年から11年にかけて建築された旧松本高等学校校舎は、昭和25年から信州大学の文理学部・人文学部校舎として使用されたことにより、全国的に旧制高等学校の遺構が少なくなっている中で、大正時代の木造洋風建築がもっとも良好に保存されているものといわれており、学校建築史上貴重な建造物として重要文化財の指定を受けています。 現在は、校舎を文化財として保存するとともに、市民の教育文化活動施設として活用しています。(図書館併設)		
沿 革	大正7年 松本市に高等学校設置決定 大正8年4月 松本高等学校設立、同年9月に松本中学校校舎を仮校舎として開校 大正9年8月 県町(現在地)に校舎(本館)が落成、2年後に講堂が建てられ全校舎落成 昭和24年 松高校舎を信州大学文理学部校舎として使用。後に、学部再編後は人文学部校舎となる 昭和48年4月 人文学部が旭町キャンパスに移り、校舎は閉鎖される 昭和52年3月 松本市は建物及び敷地の一部を約7億円で国から買い取り、文化財として保存と活用を決め、以後施設の補修等実施 昭和54年10月 『あがたの森文化会館』として開館。公民館、図書館を併設 昭和56年2月 本館、講堂とも長野県宝に指定される 平成19年6月 本館及び講堂は重要文化財に指定される		
文化財の種別	重要文化財	重要文化財指定日	平成19年6月18日
名 称	旧松本高等学校本館・講堂	構 造	木造2階建て
建物延面積	3,611.11㎡	開 館	昭和54年10月1日
休 館 日	毎週月曜日、12月29日～翌1月3日、日曜日以外の祝日(月曜日が祝日及び振替休日の場合は月・火曜休館)		

ア 施設内容

区 分	部 屋 数	収容人員(人)	面 積 (㎡)	備 考
ホ ー ル	1	350	353	
大会議室	4	80～100	460	
中会議室	10	30～50	691	
小会議室	5	25	188	

あがたの森図書館については別頁掲載

イ 使用料及び冷暖房料

(単位：円)

区 分	午 前	午 後	夜 間	午前～午後	午後～夜間	全 日	上段：冷房料 下段：暖房料 (1 回)
	9:00～12:30	13:00～17:00	17:30～22:00	9:00～17:00	13:00～22:00	9:00～22:00	
ホール	1,780	3,140	4,400	4,670	7,160	8,380	3,240 1,780
大会議室	830	1,040	1,250	1,770	2,170	2,800	1,460 830
中会議室	730	940	1,150	1,580	1,980	2,530	1,460 830
小会議室	520	620	730	1,080	1,280	1,680	— 410

※ 冷暖房の1回とは午前、午後、夜間をそれぞれ単位とする

※ 企業等が入場料等を徴収しないで使用する場合は200/100に相当する額、入場料等を徴収して使用する場合は250/100に相当する額とする

ウ 利用実績

年 度	利用者総数 人	利用総件数 件	減免団体利用件数 (減免団体数) 件	使 用 料 円
30	68,094	3,477	2,893 (399)	2,765,960
元	64,520	3,105	2,600 (266)	2,860,270
2	24,867	2,366	1,936 (244)	1,876,640

※ 耐震補強工事のため元年度は講堂全室、2年度は本館6室が休館

※ 新型コロナウイルスの影響で、令和2年4月から5月まで貸館休止、令和3年1月から2月まで貸館の新規申請の休止

(2) 池上百竹亭

呉服商・池上喜作が多く文化人と交流を深めたゆかりの旧邸。茶道、華道等の学習活動にご活用いただけます。			
位 置	松本市丸の内 10 番 31 号	電 話	32-0141
概 要	故池上喜作氏の遺族から建物の寄贈を受けて、住居、茶室、庭園等を整備し、市民に広く施設の提供を行うことにより、教育文化活動の振興を図っています。		
開館時間	午前 9 時～午後 9 時	敷地面積	1,038.74 m ²
施設面積 (建物)	居 宅 122.60 m ² 茶 室 16.52 m ²	施設面積 (庭園)	茶 庭 約 95.75 m ² 日本庭園 約 216.00 m ²
休 館 日	月曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日にあたる場合は、当該日以外の休日に当たらない最初の日）、12 月 29 日～翌 1 月 3 日		
管理運営	指定管理者制度を導入 平成 19 年 (社)松本地域シルバー人材センターを指定管理者として管理委託 平成 23～28 年 (一社)梓川ふるさと振興公社を指定管理者として管理委託 平成 29 年～ (公社)松本地域シルバー人材センターを指定管理者として管理委託		

ア 使用料及び器具使用料

使用区分	午前	午後	夜間	午前～午後	午後～夜間	全日
上座敷	円 310	円 410	円 520	円 620	円 830	円 1,040
下座敷	310	410	520	620	830	1,040
中の間	310	410	520	620	830	1,040
茶室	3,240	3,240	3,240	6,180	6,180	8,900
ストーブ	1 台 1 回 410 円					

イ 利用実績

年度	開館 日数	利用 日数	利 用 内 訳				使用料
			公的団体等	文化団体	そ の 他	総 数	
	日	日	件	件	件	件	円
30	309	198	18	131	60	209	199,580
元	309	170	22	113	50	185	173,100
2	307	104	1	71	40	112	66,450

(3) ふれあいパーク乗鞍

様々な学習活動に対応した施設となっている「ふれあいパーク乗鞍」は、周辺の豊かな自然を活用した幅広い学習にご利用いただけます。

位 置	松本市安曇 4 8 5 5 番地 1 0 0	電 話	9 3 - 1 1 2 2
概 要	旧安曇村時代に一般廃棄物最終処分場を当地に建設するにあたり、その影響を少しでも緩和し、地域のコミュニティ形成の一助とする目的で建設されました。		
構 造	鉄骨造平屋建	敷地面積	11,997 m ²
施設面積	979.15 m ²	建設費	318,627 千円
施設内容	多目的ホール、カルチャー教室、調理室、和室、事務室、団らんホール、屋根付広場、自転車置場、駐車場		
竣 工	平成 15 年 3 月 31 日	開 館	平成 15 年 4 月 1 日
開館時間	午前 9 時～午後 9 時	休 館 日	12 月 29 日～翌 1 月 3 日
管理運営	- 平成 20 年度から指定管理者制度を導入 - 指定管理者 ふれあいパーク乗鞍管理委員会		

ア 使用料及び器具使用料

区分		単位	金額
施設	多目的ホール	1 日 1 回	円 1,020
	カルチャー教室		1,020
	畳室		1,020
	調理室		1,020
	全館		5,140
器具	陶芸窯	1 回	3,080
	土練機		1,020
	プロジェクター		1,020
	音響機器（一式）		1,020
	そば打ち道具（一式）		1,020

イ 利用実績

年度	利用件数			利用者数			使用料
	有料	無料	総数	有料	無料	総数	
	件	件	件	人	人	人	円
30	39	155	194	639	2,135	2,774	67,440
元	23	184	207	533	3,456	3,989	46,200
2	6	102	108	58	1,131	1,189	15,640

(4) 奈川文化センター夢の森

奈川地区の拠点として、また都市農村交流による活性化促進施設として設置された本施設は、コンベンションホールを活用した芸術・文化活動をはじめ、様々な学習活動にご利用いただけます。			
位 置	松本市奈川 3 3 0 1 番地	電 話	7 9 - 2 3 0 4
概 要	旧奈川村時代に村の活力低下、山村の課題解決のため、村の風土、文化にふさわしい価値観や自然を最大限に活かした、都会にはないゆとりとふれあいの里を創造していく目的で建設されました。		
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階建	敷地面積	17,456 m ²
施設面積	2,448.61 m ²	建設費	1,199,300 千円
施設内容	コンベンションホール、会議室、調理室・図書室、和室、事務室、視聴覚室、茶室、駐車場		
竣 工	平成 6 年 6 月	開 館	平成 6 年 7 月 14 日
開館時間	午前 9 時～午後 9 時	休 館 日	12 月 29 日～翌 1 月 3 日、祝日

ア 使用料

区分	9 : 00～17 : 00 (1 時間につき)	17 : 00～21 : 00 (1 時間につき)	全日
コンベンションホール	円 3,240	円 3,770	円 32,400
1 階ホール	210	310	2,160
2 階ホール	210	310	2,160
更衣室	310	430	3,240
会議室	210	310	3,240
視聴覚室	530	750	7,560
実習室	430	640	5,400
研修室	430	640	5,400
和室	430	640	5,400
全館	5,400	7,560	54,000

※冷房又は暖房を使用するときは、当該区分の定める額の 100 分の 130 に相当する額

イ 利用実績

年 度	利用件数			利用者数			使用料
	有料	無料	総数	有料	無料	総数	
	件	件	件	人	人	人	円
30	3	152	155	74	5,621	5,695	6,060
元	8	172	180	36	5,185	5,221	5,400
2	1	209	210	10	3,562	3,572	440

V 公民館の学びを通じた地域づくり

1 概 要

超少子高齢型人口減少社会に対応したまちづくりに向け、主役である市民が身近な地域で学び、考え、具体的実践する機会が必要となっています。

また、地域では、地域連帯意識の希薄化や家庭機能の低下など、課題の増大や複雑化に伴い行政だけの解決、また地域だけでの解決は困難な状況となっています。

このような現状の中で、本市の公民館は、松本市教育振興基本計画のもと、市民一人ひとりの幅広い学習や活動を支援し、総合的な地域づくりの拠点としての役割を担うことができる体制づくりを進めるとともに、学習活動などを通じて地域課題と向き合い、市民自らが地域課題の解決に向けた学習機会を充実させ、実践していく、松本らしい地域づくりをめざした公民館活動を展開しています。

2 重点施策

- (1) 松本らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連帯を育む学習機能の充実を図ります。
- (2) 人権尊重のための学習活動を進めます。
- (3) 男女共同参画社会をめざして、女性問題等解決のための啓発学習を進めます。
- (4) 少子高齢・国際・情報化社会に対応する学習活動の推進を図ります。
- (5) 町内公民館の振興と活動支援を図ります。
- (6) 住民主体の公民館活動推進のリーダーとなる公民館委員の組織強化を図ります。
- (7) ふるさとづくり、まちづくりのため、地域の歴史の掘り起こしと伝承文化の振興を図ります。
- (8) 住民の自治能力を高めるための学習活動を進めます。
- (9) 市民のニーズに合わせた生涯学習活動の推進のための支援体制の整備を行います。
- (10) 次代を担う青年の学習・相談、クラブ活動等の場の提供と講座・行事を開催します。

3 公民館事業の概要

(1) 令和3年度中央公民館主要事業計画

	項 目	主な事業名	実施時期	事 業 内 容
全 市 対 象 事 業	第37回公民館研究集会 (未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い)		2月	住民・大学・NPO等や市関係部局の幅広い参画により、自治を基盤とした協働の実践事例を題材に、自治力の必要性や高め方、協働のあり方等について考える集会を開催
	町内公民館館長研修会		通年	町内公民館長の資質向上のための研修 ・新任町内公民館長研修会（2つのブロックに分けて開催、7月） ・ブロック別研修会（8月～11月） ・ほか女性館長研修、理事研修など（随時）
	公民館報編集委員研修会		12月	公民館報編集委員の役割と意義について研修
	地 域 交 流 ・ ま ち づ くり 事 業	戦後を問う会・まつもと	通年	「人権・平和」を身近な視点でとらえなおし実践につなげる学びの場として開催
		聴覚障害者と学ぶ成人学校	10月～2月	障害者とともに暮らす地域づくり事業
		手 話 教 室	6月～3月	初心者を対象にした、やさしい日常会話からの手話教室と、通訳者レベルを見越した中級者教室を開催

	項 目	主な事業名	実施時期	事 業 内 容
全 市 対 象 事 業	地 域 交 流・まち づ くり 事業	第 1 1 回こいこい松 本 松本国際ふるさと祭り	6 月	多文化共生社会の実現をめざしたふれあい交流会、Z o o mを活用したオンライン開催
		工芸の五月ワーク ショップ	5 月	身近な生活道具の製作を通じて、「工芸」に親しむワークショップ
		日本老民考学習会	通年	地域福祉、時事ネタ（原発・憲法）等について学ぶ事業
	日本語講座		通年	日常生活に必要な日本語の習得及び学習を通じて相互理解を深める
	木曜午前ボランティア日本語教室		通年	日常生活に必要な日本語の習得及び学習を通じて相互理解を深める
	松本市ヤングにほんご教室		通年	学齢期を過ぎた外国由来の青少年への学習支援
	松本みんなのにほんご教室		4 月 ～ 2 月	学齢期を過ぎた外国由来の青少年への学習支援、就学・就労希望の外国籍住民への日本語支援
	松本版コミュニティースクール事業		通年	子どもたちを地域全体で見守り育てる「地域に開かれた学校」をつくることを目指す（市内全地区／35 地区で実施）
	市民教育講座		3 月	地域活動実施団体（若者団体）等の活動事例の発表の場・学習会
	松本市出前講座		通年	より開かれた市政と、市民と協働のまちづくりを推進
	第 2 1 回松本手まり時計まつり		5 月	Mウイング公益施設及び利用団体と伊勢町商店街がタイアップして実施
	文 化 活 動	芸術文化祭	4 月 ～ 1 月	第 6 1 回松本市芸術文化祭
		公民館活動発表会	5 月	第 4 3 回公民館活動グループ発表会（ステージ部門・展示部門）
		お城盆踊り	8 月	第 7 3 回お城盆踊り
	広 報 活 動	公民館報の発行	年 6 回	全市版、地域課題や学習資料の提供
		資料集等の作成	通年	公民館活動資料
		人権教育	通年	学級講座、各地区懇談会等
	町 内 公 民 館 活 動	町内公民館長会	通年	住民の自主的な社会教育活動推進への援助

(2) 令和2年度各公民館共通事業

項目	実施時期	実施内容	主な事業内容
人権教育	4～3月	人権教育をあらゆる事業の中に入れ、差別を許さない、差別をしない明るい社会づくりを進めます。	学級講座、各地区懇談会、町内懇談会、隣組単位集会、各種指導者研修会、各種啓発事業
町内公民館活動の推進	4～3月	町内公民館の自主的な活動の推進を図るため各町会へ委託料を交付するとともに、館長研修会、町内公民館との共催講座等を実施します。	町内公民館振興業務委託 町内公民館長研修会 町内公民館学級講座
芸術文化活動	4～3月	市民の自主的な芸術文化活動の助長を図り、更に芸術文化の香り高い市民性の涵養と親睦を深めます。	地区文化祭、史跡の愛護保護、盆おどり、伝承文化の継承
体育活動	4～3月	体育活動を通し、健康の保持、体育の向上を図るとともに地域社会づくりの協調性を養い、親睦を深めます。	市民体育大会参加、地区運動会、各種スポーツ大会の開催、スポーツ教室の実施
視聴覚教育	4～3月	各種講座及び町内公民館活動等の中に視聴覚機材の活用を積極的に図ります。	VTR・OHP・パソコン等の活用、映画会等の開催
広報活動	4～3月	学習課題や地域住民のための身近な資料の提供や、住民の意向を反映させる館報等の発行	各地区版公民館報隔月年6回発行 各種お知らせ（公民館ニュース他）
地域づくり	4～3月	地域の課題を共有し、課題解決へ向けた学習と実践を展開しながら、地域連帯を育みます。	地域交流ネットワーク事業として、地域資源や機能を活用した総合的な地域づくりを展開 地区担当職員による学習会の実施
青少年教育	4～3月	各地区子ども会育成会などと連携を密にし、地域ぐるみで次代を背負う青少年の健全な育成活動を推進します。	松本子どもまつり参加、講演会、各種スポーツ大会、映画会、遊びと伝統行事の伝承等事業
図書活動	4～3月	図書館の配布所として各公民館に300～800冊の本を配布し巡回方式により、住民に提供します。 図書館との連携を図りながら町会を単位とする身近な文庫活動を支援します。	地区公民館配本、町会文庫配本 こども文庫活動促進 読み聞かせ、創作絵本活動 パネルシアターの実施
食育事業	4～3月	食生活の改善など自ら「食」の在り方を学ぶことにより生涯にわたって生きいきと暮らすことを目指します。	料理教室、食に関する講演会、地域食生活改善協議会・健康づくり推進員等との連携による事業の展開

4 公民館施設一覧

名 称	位 置	沿 革		公民館 床面積 (㎡)
中 央 公 民 館	中央1丁目18番1号 (0263-32-1132)	大正6年10月 昭和22年4月 昭和23年10月 昭和27年6月 昭和34年4月 昭和40年5月 昭和41年7月 昭和60年4月 平成11年4月 平成12年4月	松本市公会堂として建築 松本市公民館として発足 松本市第1公民館と呼称 松本市公民館と呼称 松本市中央公民館と呼称 解体のため仮事務所へ移転 厚生文化会館へ移転 厚生文化会館の廃止に伴い独立館として発足 中央西開発ビル公益施設内へ移転新たに女性センターを設置、働く婦人の家を付属施設とし、勤労青少年ホーム業務を労政課から移管 ※勤労青少年ホーム 松本市芳野4-1 ※働く婦人の家 松本市中央4-7-28 女性センター、働く婦人の家を男女共生課へ移管	5,381.55
第一地区公民館	中央1丁目18番1号 (0263-32-1550)	平成22年4月	Mウイング内に地区公民館（事務室のみ）として発足	104.39
第二地区公民館	本庄2丁目3番23号 (0263-39-3601)	平成10年4月	地区公民館として発足	706.86
第三地区公民館	中央4丁目7番28号 (0263-36-7040)	昭和54年10月 平成20年4月	中央公民館分館（あがたの森公民館）として発足 地区公民館として発足	445.97
東 部 公 民 館	女鳥羽2丁目1番25号 (0263-36-8565)	平成9年4月	地区公民館として発足	632.72
城 北 公 民 館	開智2丁目3番39号 (0263-38-0120)	平成12年4月	同上	700.04
大 手 公 民 館	大手3丁目8番1号 (0263-39-5711)	平成14年7月	同上	603.27
安原地区公民館	旭2丁目11番13号 (0263-39-0701)	平成13年1月	同上	660.58
城 東 公 民 館	元町3丁目7番1号 (0263-34-0191)	平成11年4月	同上	725.13
白板地区公民館	城西1丁目6番17-3号 (0263-35-7740)	昭和57年6月 平成27年4月	同上 移転、北部から白板地区へ名称変更	696.73
田 川 公 民 館	渚3丁目2番7号 (0263-27-3840)	平成13年4月	地区公民館として発足	670.45
庄内地区公民館	出川1丁目5番9号 (0263-24-1811)	平成18年4月	同上	1,003.64
鎌田地区公民館	両島5番50号 (0263-26-0206)	昭和59年6月 平成27年4月	同上 西部から鎌田地区へ名称変更	797.31
松南地区公民館	芳野4番1号 (0263-26-1083)	昭和62年4月 平成26年4月	地区公民館として発足 南部から松南地区へ名称変更	2,060.24

併設施設	改修状況等			エレベーター 設置状況	備 考
	構造	竣工年度	改修年度		
女性センター 中央保健センター 体育館 第一地区福祉ひろば 第一地区公民館	S 地上7F地下1F	平成 10 年度		平成 10 年度	Mウイング(官 民共有施設)内 に設置
					Mウイング内
福祉ひろば	R C 2 F	平成 9 年度		平成 9 年度	
トライ・あい松本 福祉ひろば	S 2 F	平成 19 年度		平成 19 年度	トライ・あい松 本に増築
デイサービスセンター 福祉ひろば	S 2 F	平成 8 年度		平成 8 年度	
福祉ひろば	R C 2 F	平成 11 年度		平成 23 年度	
同上	R C 2 F	平成 14 年度		平成 14 年度	
同上	R C 2 F	平成 12 年度		平成 12 年度	
北部地域包括支援センター 北部ヘルパーステーション 北部保健センター	R C 3 F	平成 10 年度		平成 10 年度	ふくふくらい ず内に設置
	R C 2 F	昭和 56 年度	平成 26 年度	平成 26 年度	
	R C 2 F	平成 12 年度		平成 12 年度	
体育館 屋内プール トレーニングルーム	R C 地上4F地下2F	平成 17 年度		平成 17 年度	ゆめひろば庄 内内に設置
図書館 体育館 福祉ひろば 児童センター	R C 2 F	昭和 59 年度	平成 26 年度	平成 26 年度	
青少年ホーム 図書館 体育館	R C 3 F	平成 元年度		平成 元年度	なんなんひろ ば内に設置

名 称	位 置	沿 革	公民館 床面積 (㎡)
島 内 公 民 館	大字島内 4970 番地 1 (0263-47-0264)	昭和 29 年 4 月 合併によって分館として発足 昭和 34 年 4 月 地区公民館として発足	1, 115. 22
中 山 公 民 館	大字中山 3746 番地 1 (0263-58-5822)	同上	742. 67
島 立 公 民 館	大字島立 3298 番地 2 (0263-47-2049)	同上	714. 62
新 村 公 民 館	大字新村 2179 番地 7 (0263-48-0375)	同上	523. 42
和 田 公 民 館	大字和田 2240 番地 31 (0263-48-5445)	同上	590. 13
神 林 公 民 館	大字神林 1557 番地 1 (0263-58-2039)	同上	662. 00
笹 賀 公 民 館	大字笹賀 2929 番地 (0263-58-2046)	同上	1, 321. 97
芳 川 公 民 館	野溝東 2 丁目 10 番 1 号 (0263-58-2034)	同上	960. 06
寿 公 民 館	大字寿豊丘 424 番地 (0263-58-2038)	同上	709. 81
寿 台 公 民 館	大字寿豊丘 649 番地 1 (0263-58-6561)	昭和 51 年 9 月 地区公民館として発足	702. 82
松原地区公民館	松原 39 番地 1 (0263-57-2322)	平成 22 年 4 月 同上	481. 05
岡 田 公 民 館	大字岡田町 517 番地 1 (0263-46-2313)	昭和 29 年 8 月 合併によって分館として発足 昭和 34 年 4 月 地区公民館として発足	717. 10
入 山 辺 公 民 館	大字入山辺 1509 番地 1 (0263-32-1389)	同上	912. 90
里 山 辺 公 民 館	大字里山辺 2930 番地 1 (0263-32-1077)	同上	543. 25
今 井 公 民 館	大字今井 2231 番地 1 (0263-59-2001)	同上	1, 121. 72
内 田 公 民 館	大字内田 2203 番地 1 (0263-58-2494)	昭和 35 年 4 月 合併によって地区公民館として発足	504. 98
本 郷 公 民 館	浅間温泉 2 丁目 9 番 1 号 (0263-46-1500)	昭和 49 年 5 月 同上	1, 083. 73
四 賀 公 民 館	会田 1001 番地 1 (0263-64-3112)	平成 17 年 4 月 同上	
安 曇 公 民 館	安曇 2741 番地の 1 (0263-94-2301)	同上	774. 86
奈 川 公 民 館	奈川 2546 番地 (0263-79-2121)	同上	906. 68
梓 川 公 民 館	梓川梓 2285 番地 1 (0263-78-3000)	同上	1, 432. 00
波 田 公 民 館	波田 4417 番地 1 (0263-92-2268)	平成 22 年 3 月 同上 平成 29 年 7 月 波田支所内に移転	1, 413. 54

併設施設は敷地内の施設を掲載

参考 ー公民館設置基準面積ー

1, 200 世帯まで 450 ㎡ (床面積) 1, 200～5, 000 世帯まで 660 ㎡ (床面積)
5, 000 世帯以上 900 ㎡ (床面積) ※出張所管内は出張所面積分 50 ㎡増

併設施設	改修状況等			エレベーター 設置状況	備 考
	構造	竣工年度	改修年度		
出張所 図書館 福祉ひろば 河西部地域包括支援センター デイサービスセンター	R C 一部 S 1 F	平成 9 年度			
出張所 福祉ひろば	R C 2 F	平成 13 年度		平成 13 年度	
出張所 体育館	R C 2 F	昭和 63 年度		平成 21 年度	
出張所 福祉ひろば	R C 2 F	平成 8 年度		平成 25 年度	
出張所 福祉ひろば	R C 2 F	昭和 62 年度	平成 30 年度	平成 30 年度	
出張所 福祉ひろば 体育館 農村広場	R C 2 F	昭和 57 年度	平成 24 年度	平成 24 年度	
出張所 福祉ひろば	R C 2 F	昭和 61 年度	平成 29 年度	平成 20 年度	農村環境改善 センター
出張所 福祉ひろば デイサー ビスセンター 体育館 南部屋 内庭球場	R C 2 F	平成 4 年度		平成 18 年度	
出張所 福祉ひろば 体育館	R C 2 F	昭和 62 年度		平成 22 年度	
図書館	R C 2 F	平成 2 年度		平成 24 年度	
福祉ひろば	S 1 F	平成 21 年度			
出張所 福祉ひろば 体育館	R C 2 F	平成 元年度		平成 17 年度	
出張所	R C 2 F	昭和 54 年度	平成 16 年度	平成 16 年度	
出張所 体育館 福祉ひろば	R C 2 F	昭和 58 年度		昭和 58 年度	教育文化セン ター
出張所 福祉ひろば 体育館	R C 2 F	昭和 59 年度	平成 27 年度	平成 19 年度	農村環境改善 センター
出張所 福祉ひろば	R C 2 F	昭和 61 年度	平成 28 年度	平成 28 年度	
支所 図書館	R C 2 F	平成 5 年度		平成 16 年度	
保健福祉センター	R C 3 F	平成 14 年度		平成 14 年度	支所内に事務 室のみ設置
	R C 2 F	昭和 53 年度	平成 20 年度	平成 20 年度	基幹集落セン ター
	R C 2 F	昭和 52 年度			
	R C 2 F	昭和 50 年度	平成 22 年度	平成 22 年度	
	S R C 2 F	昭和 50 年度		平成 9 年度	

5 利用状況並びに活動状況

(1) 中央公民館の利用状況

年 度	総 数		公 民 館		M ウイング文化センター	
	利用件数	利用人数	利用件数		利用件数	利用人数
30	件 6,310	人 95,922	件 5,594	人 87,865	件 716	人 8,057
元	5,795	84,980	5,190	77,183	605	7,797
2	3,153	35,993	2,721	33,486	432	2,507

※新型コロナウイルスの影響で、令和2年4月から5月まで貸館休止、令和3年1月から2月まで貸館の新規申請の休止

(2) 中央公民館の活動状況

年 度	学級・講座・講演会・展示会等							芸術文化
	健康福祉 スポーツ	環境問題	子ども・青少年 教 育	人権平和 男女共同参画	地域づくり まちづくり	趣味・教養	地域文化	芸術文化祭
30	事業 4 人 288	0 0	2 519	10 5,936	4 346	0 0	2 142	23,504
元	事業 3 人 240	0 0	1 220	9 4,882	4 526	0 0	2 160	28,119
2	事業 2 人 180	0 0	0 0	7 2,908	2 78	0 0	1 79	6,480

(3) 地区公民館活動状況の変移

年度	利用件数					利用人数		
	利用総件数	公民館活動以外の利用			公民館活動 の利用件数	公民館活動利用人数		
		件数（貸館分）				学級・講座		
		総数	有料	無料		成人	女性	高齢者
	①+②件	①=A+B	A	B	②件	C	D	E
30	56,420	49,952	669	49,283	6,468	19,344	3,259	3,125
元	52,368	45,768	704	45,064	6,600	15,655	2,862	3,362
2	35,702	31,504	373	31,131	4,198	10,645	1,908	2,095

※新型コロナウイルスの影響で、令和2年4月から5月まで貸館休止、令和3年1月から2月まで貸館の新規申請の休止

芸術文化活動		各種集会・研修会等				参加合計
お城盆踊り	公民館活動発表	課題別集会 まちづくり集会	公民館 研究集会	町内公民館 関係	団体育成 関係	
520	1,545	82 9,250	1 378	51 931	0 0	43,359
820	1,502	97 9,384	1 413	44 748	0 0	47,014
0	0	80 1,598	1 108*	25 268	0 0	11,699

*公民館研究集会：令和2年度Y o u T u b e 配信
当日視聴者108、累計視聴者994（R3.6.1現在）

利用人数								
公民館活動利用人数							公民館活動以外の利用人数 (貸館分)	利用総数
学級・講座			諸集会・会議等			公民館活動の利用人数		
家庭教育	青少年	その他	体育	文化	その他			
F	G	H	I	J	K	③C～K人	④	③+④
4,111	6,595	5,157	22,074	30,590	35,802	130,057	509,483	639,540
3,598	11,495	5,274	17,795	34,963	38,107	133,111	452,073	585,184
1,561	5,871	2,663	5,598	14,615	15,616	60,572	275,325	335,897

(4) 令和2年度 地区公民館活動状況

公民館名	利 用 件 数					利用人数		
	利 用 総 件 数	公民館活動以外の利用件数 (貸館分)			公民館活 動の利用 件数	公民館活動利用人数		
		総 数	有 料	無 料		学 級 ・ 講 座		
						成 人	女 性	高齢者
	①+②件	①=A+B 件	A 件	B 件	② 件	C 人	D 人	E 人
第一地区公民館	131	0	0	0	131	796	0	0
第二地区公民館	1,024	918	54	864	106	874	53	218
第三地区公民館	1,138	1,061	29	1,032	77	21	25	307
東 部 公 民 館	1,146	1,111	3	1,108	35	532	0	0
城 北 公 民 館	1,349	1,206	0	1,206	143	0	13	0
大 手 公 民 館	1,119	967	0	967	152	684	0	0
安原地区公民館	1,121	987	19	968	134	678	187	0
城 東 公 民 館	2,791	2,752	0	2,752	39	163	0	0
白板地区公民館	1,024	995	0	995	29	204	0	0
田 川 公 民 館	1,100	861	8	853	239	638	0	0
庄内地区公民館	1,839	1,760	3	1,757	79	79	0	0
鎌田地区公民館	1,809	1,746	55	1,691	63	404	17	0
松南地区公民館	3,283	3,086	60	3,026	197	814	0	31
島 内 公 民 館	1,452	1,356	0	1,356	96	150	0	102
中 山 公 民 館	475	368	3	365	107	236	493	517
島 立 公 民 館	776	736	2	734	40	0	0	0
新 村 公 民 館	272	144	4	140	128	99	946	0
和 田 公 民 館	342	298	2	296	44	52	96	0
神 林 公 民 館	596	533	1	532	63	459	0	0
笹 賀 公 民 館	1,009	990	4	986	19	34	0	0
芳 川 公 民 館	1,374	1,176	45	1,131	198	4	0	377
寿 公 民 館	473	454	4	450	19	0	0	0
寿 台 公 民 館	942	903	0	903	39	17	45	0
松原地区公民館	1,309	1,239	0	1,239	70	138	0	0
岡 田 公 民 館	750	703	2	701	47	354	0	20
入 山 辺 公 民 館	550	531	0	531	19	62	0	0
里 山 辺 公 民 館	768	452	3	449	316	773	0	0
今 井 公 民 館	539	480	1	479	59	75	0	0
内 田 公 民 館	221	198	0	198	23	0	0	0
本 郷 公 民 館	1,776	1,722	14	1,708	54	203	0	0
四 賀 公 民 館	29	0	0	0	29	50	0	0
安 曇 公 民 館	89	27	0	27	62	376	0	0
奈 川 公 民 館	440	210	1	209	230	935	15	0
梓 川 公 民 館	1,058	1,022	31	991	36	242	18	372
波 田 公 民 館	1,588	512	25	487	1,076	499	0	151
合 計	35,702	31,504	373	31,131	4,198	10,645	1,908	2,095

利 用 人 数								
公民館活動利用人数							公民館活動以外の 利用人数 (貸館分)	利用 総数
学 級 ・ 講 座			諸集会・会議等			公民館活動の利用 人数		
家庭教育	青少年	その他	体 育	文 化	その他			
F 人	G 人	H 人	I 人	J 人	K 人	③C～K人	④ 人	③+④人
171	22	0	56	0	263	1,308	0	1,308
0	0	0	33	45	143	1,366	7,255	8,621
0	0	0	29	66	433	881	10,168	11,049
0	22	0	0	594	0	1,148	6,762	7,910
0	7	571	33	103	873	1,600	11,056	12,656
0	40	452	39	183	1,187	2,585	8,350	10,935
0	259	0	50	95	292	1,561	8,424	9,985
0	0	0	45	144	124	476	16,758	17,234
0	15	0	0	36	16	271	6,797	7,068
0	36	37	1,137	337	744	2,929	6,996	9,925
28	69	0	0	535	250	961	14,713	15,674
0	340	423	142	0	374	1,700	15,691	17,391
113	297	98	70	30	2,200	3,653	24,485	28,138
513	550	25	15	4,600	564	6,519	11,763	18,282
0	369	10	25	368	676	2,694	2,321	5,015
0	0	76	154	221	155	606	7,069	7,675
0	45	7	0	0	96	1,193	1,315	2,508
0	14	0	72	352	0	586	3,229	3,815
0	0	0	31	119	167	776	5,037	5,813
0	0	0	31	120	67	252	9,618	9,870
346	5	0	85	131	1,424	2,372	10,525	12,897
0	67	0	30	24	0	121	4,037	4,158
0	42	8	106	92	98	408	6,341	6,749
0	166	62	60	80	25	531	10,097	10,628
18	90	493	22	9	152	1,158	5,072	6,230
0	0	0	106	35	40	243	6,037	6,280
325	97	4	27	200	368	1,794	11,889	13,683
0	6	0	58	158	308	605	3,693	4,298
0	60	76	15	190	111	452	1,729	2,181
47	248	205	108	186	343	1,340	15,467	16,807
0	55	50	346	661	2,922	4,084	0	4,084
0	11	0	9	15	64	475	138	613
0	2,410	0	41	95	66	3,562	10	3,572
0	15	0	0	0	120	767	9,947	10,714
0	514	66	2,623	4,791	951	9,595	12,536	22,131
1,561	5,871	2,663	5,598	14,615	15,616	60,572	275,325	335,897

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす	
		取り巻く状況	*県 ☆国ほか 無印は松本市
S 21		1 社会教育課新設	
		1 寺中作雄「公民教育の振興と公民館の発想」☆	
		7 文部次官通牒「公民館の設置・運営について」（寺中構想）☆	
		9 県依命通牒「町村公民館の設置並びに運営について」*	
		11 「日本国憲法」公布☆	
		11 松筑公民館設置促進協議会*	
22	4 松本市公会堂を松本市公民館と改称	3 教育基本法公布☆	
	8 第1回お城盆踊り開催	9 市立図書館にアメリカ民間読書室（C I E）設置	
23	2 C I E 読書室が図書館から松本市公民館へ移る	6 社会教育法制定☆	
	10 松本市公民館を第1公民館と呼称、第2公民館を大名町に開館（30年12月焼失）	11 社会教育課を廃止し文教課を設置	
24	1 松本市ナトコ運営協議会設置		
	11 松本市公民館使用条例を廃止し松本市公民館条例制定		
	12 松本市公民館運営審議会発足		
25	7 第1回成人学校を開設（この地方では初めて、全国では川崎市に次いで2番目）	3 長野県公民館運営協議会結成*	
26		6 再び社会教育課設置	
27	5 松本市視聴覚教育協議会発足	6 中央教育審議会設置☆	
	6 松本市第1公民館を松本市公民館と改称	7 社会教育主事講習職員1名派遣	
	11 芳川村公民館で第1回婦人学級開催	11 教育委員会発足	
	11 松本市において第1回長野県公民館大会開催	11 社会教育課に公民館係設置	
28		8 青年学級振興法制定☆	
29	4～ 8 合併により旧村役場は出張所に、役場内に併設の公民館は分館として位置付けられる	4 島内・中山・島立が松本市と合併	
		8 新村・和田・神林・笹賀・芳川・寿・岡田・入山辺・里山辺・今井が松本市と合併	
30	6 神林地区青年、演劇サークル「あざみ会」結成		
	8 中央公民館に専任の館長おかれる		
32	4 入山辺図書館の分室16か所に設置される		
	ー 町内公民館の建設費助成を開始		
34	3 松本市公民館報創刊	4 社会教育法一部改正☆	
	4 松本市公民館を松本市中央公民館と改称、各分館は地区公民館として位置づけられ再発足	5 松本市役所庁舎完成	
	4 松本市公民館条例施行規則制定	12 文部省「公民館の設置及び運営に関する基準」☆	
35	3 公民館報（全市版）発刊	4 内田が松本市と合併	
	4 松本市公民館関係者研修会開催（町内公民館活動について話し合われる）	ー 教育委員会で『松本市における市街地の現況～社会教育調査資料』を発刊	
	4 各町内公民館に平均5,000 円を配布		
	4 内田公民館発足		
	11 市民芸術祭として第1回芸術文化祭開催		
	ー 第1回松本市公民館大会開催（38年まで）		
	ー 神林地区が県の同和教育モデル地区に指定		
36	3 神林公民館館報「かんばやし」で同和教育特集号掲載	9 長野県公民館研究集会開催*	
	4 中央公民館（事業機関）、社会教育課（条件整備）の範囲明確化		
37	9 第1回「松本市婦人のつどい」開催		
38	4 松本市公民館長会規約を定める		

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす	
		取り巻く状況	*県 ☆国ほか 無印は松本市
39	4 松本市公民館使用条例、松本市公民館条例、同施行規則を廃止、新たに松本市公民館条例・同施行規則制定 4 公民館委員が制度化される（任意設置） 9 社会教育課で第1回地区公民館巡回懇談会開催、『地区公民館の現状報告』をまとめる — 松本市町内公民館建設補助金交付要綱が制定 — 家庭教育学級が各公民館ではじまる	3 新産業都市構想 4 出張所縮小と職員の引き上げ — 文部省の家庭教育学級補助制度はじまる☆	
40		4 松本市で社会教育委員制度発足 — ユネスコで学習宣言、ポールラングランが「生涯教育」を提唱★	
41	7 厚生文化会館落成、中央公民館は厚生文化会館に移転	— 市青連芸術文化祭はじまる	
42	5 松本市婦人会「21世紀松本諏訪地方未来像シンポジウム」を開催	9 全国公民館連合会「公民館のあるべき姿と今日の指標」☆	
43	4 町内公民館学級振興業務委託内規制定（2000円・58館） 11 寿地区一周駅伝大会はじまる		
44	3 中央公民館で『成人学校のあゆみ』発刊	7 同和対策事業特別措置法公布☆	
45	3 公運審「松本市公民館運営に関する諮問」 6 公運審「松本市公民館運営に関する諮問」の答申	4 社教審答申「急激な社会構造の変化に対処する社会教育のあり方について」☆ 12 同和対策審議会答申「松本市における同和対策はいかにあるべきか」	
46	4 主事研修会が月2回の定例化 5 全市事業の情報紙「公民館ニュース」創刊 公運審へ「都市化に対応する公民館のあり」諮問 8 地区公民館主事連名で主事の専任化について陳情	4 松本市第一次基本計画策定（市内を8つの行政ブロックに分け各1館のコミュニティセンターを設置する構想）	
47	1 同和教育市民テキスト第1集刊行 4 公民館主事が専任化される 4 同和教育学級講座（県費補助）始まる 8 公運審答申「都市化に対応する公民館のあり方」 11 中央公民館「ろうあ者成人学校」はじまる — 今井公民館報で地域課題特集はじまる	7 ユネスコ第3回世界成人教育会議が東京で開催☆	
48	4 新任主事研修会はじまる 12 公民館主事会で「松本市公民館実態白書」刊行 — 芳川公民館で保育付母親学級がはじまる	5 松本市勤労青少年ホームオープン 12 松本市生活簡素化実行委員会結成	
49	6 松本市公民館制度研究委員会発足（館長会・補佐会各3名、主事会4名、社会教育課5名） 8 主事会新聞発刊 12 制度研究委員会第1年次報告「公民館充実をめざして」（配置・器具器材・職員態勢主事）	4 社教審建議「在学青少年に対する社会教育のあり方」☆ 4 社会教育課に同和教育係設置 5 本郷村が松本市と合併	
50	2 主事会で教育長に勤務体制・専門職制の確立を要求 7 社会教育主事講習受講機会拡大（2名） 8 『松本の住民運動と住民の学習』発刊 11 公民館主事をつくった学習資料「市民のくらしーその実態」発刊	1 社会教育委員会答申「公民館の条件整備のすすめ方について」 — 国連婦人10年（～60年）☆	
51	3 制度研究委員会第2年次報告「公民館充実をめざして」（職員態勢館長・制度改善・町内公民館活動） 3 「町内公民館活動のてびき」発刊 5 教育委員会組織規則改正、公民館主事（社会教育主事有資格者）が専門職として位置づけ	3 第二次基本計画（コミュニティセンター構想を再検討） 4 内田地区の「ささら踊り」を松本市の重要無形文化財第1号に指定 9 部落解放都市宣言	

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす	
		取り巻く状況	*県 ☆国ほか 無印は松本市
51	9 寿台公民館開館、芳川公民館・出張所移転		
52	3 制度研究委員会第3年次報告「公民館充実をめざして」 (施設、町内公民館)		
	3 松本市婦人国内研修はじまる		
	10 公運審諮問「公民館事業実施にかかる経費等について」		
	11 公運審答申「公民館事業実施にかかる経費等について」		
53	4 町内公民館振興業務委託料、1町会10,000円となる	5	文部省「生涯教育の実施状況等に関する実態調査」を発表☆
	4 公民館主事に調整給支給される		
	12 主事宿泊研修が県外研修となる		
54	2 公民館報全市版100号記念(この号のみ8ページ)	6	中教審答申「地域社会と文化について」☆
	3 第1回公民館学級終了生作品展開催		
	4 町内公民館振興業務委託料傾斜配分(平均15,000円、最高30,000円)		
	7 松本市町内公民館館長会発足(9第1回研修会)		
	10 あがたの森文化会館内にあがたの森公民館開館		
55	3 「松本市芸術文化祭20年の歩み」刊行	4	神奈川県茅ヶ崎市で市民の手でつくったはじめての公民館が開館☆
	4 館報ことぶき縮刷版刊行		
	5 入山辺公民館改築(社会教育課による地区公民館の整備事業開始)		
	7 和田出張所内に公民館図書室開設		
56	2 あがたの森(旧制高等学校校舎)が県宝に指定	3	第三次基本計画(コミュニティセンター構想を廃止、現施設の拡充と市街地東西南北に公民館設置となる＝22館構想)
	5 芝沢公民館開館(新村・和田の両公民館が分館となる)		
	11 松本市公民館大会が開催直前で中止		
	11 山辺歴史研究会『山辺の民話』発刊	6	中教審答申「生涯教育について」☆
57	3 島内公民館改築	5	県、生涯教育の推進構想*
	4 公民館条例施行規則公民館委員に文化委員が新設	ー	松本にカルチャーセンター(松本中日文化センター)オープン
	4 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり30,000円の一律配分		
	6 北部公民館開館		
58	2 公民館委員が条例施行規則上必置となる	1	本郷村誌刊行
	4 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり27,000円	11	教育文化センター開館
	5 神林公民館改築		
	11 里山辺公民館が教育文化センター内に併設される		
59	3 館報よしかわ縮刷版刊行	5	松本女性史の会『 ^{トク} 買春許すまじ』発刊
	4 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり26,000円	8	臨時教育審議会設置☆
	6 西部公民館開館、旧市唯一の陶芸窯設置	11	今井農村改善センター開館
	ー 新村公民館高齢者学級記録「新村のくらし(前編・続編)」が完成		
60	1 公民館制度見直し委員会発足	3	ユネスコ「学習権宣言」☆
	3 館報しまだち縮刷版刊行	4	新村多目的研修センター開館
	3 『松本市の公民館制度充実をめざして』(制度研究委員会報告)発刊	6	臨教審「教育改革に関する第1次答申」☆
	4 厚生文化会館を廃止し、中央公民館に一元化	10	「松本市青年団運動史」発刊
	4 今井公民館・出張所移転	10	音楽文化ホール開館
	6 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり25,000円		
61	3 第1回松本市公民館研究集会開催	3	松本市婦人国内計画策定
	4 笹賀公民館新設開館		
	4 中山公民館改築		

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす	
		取り巻く状況	*県 ☆国ほか 無印は松本市
61	4 モデル町内公民館指定事業始まる 4 松本市公民館条例の一部改正「公民館使用料の改定及び運用の全館統一」 4 松本市教育委員会組織規則の一部改正「中央公民館連絡調整機能の明確化」 7 中央公民館図書室兼保育室新設、事務室が2階へ移転 8 岡田公民館「おかだ夏まつり」はじまる	4	松本市第四次基本計画策定（市民生涯学習の推進・男女平等教育の推進、婦人の生涯学習の充実） 4 臨教審答申「教育改革に関する第2次答申」提出、生涯学習体系化を強調☆
62	4 内田公民館改築 4 南部公民館開館（勤労青少年ホーム内に設置） 10 松本市公民館及びあがたの森文化会館利用に関する内規、松本市公民館使用料の還付に関する内規制定	3	「長野県公民館活動史」発刊* 3 「地域改善対策特別措置法（地対法）」が「地対財特法」へ移行☆ 8 臨教審「教育改革に関する最終答申」☆
63	1 笹賀公民館戦時中生活体験記録集『平和の祈り』発刊 1 公民館運営審議会諮問「①中央公民館の施設整備について、②公民館休館日の設定について」 4 寿公民館改築 4 里山辺および入山辺公民館で「信濃の明日香松本山辺の里お花見歩け歩け大会」はじまる 5 公運審答申「中央公民館の施設整備について」 5 北部公民館利用者団体連絡協議会「北友会」発足 5 和田公民館改築 10 主事会有志で生涯学習について自主研修をはじめる 12 公民館活動推進功労者感謝状贈呈（同内規制定）	4	文部省「生涯学習モデル市町村事業」開始 7 文部省に生涯学習局新設☆ ー 県「生涯学習のまちづくり推進事業」はじまる*
H 1	4 島立公民館改築 4 ふるさとづくりモデル事業始まる 9 公民館主事会で「生涯学習研究小委員会」発足 11 松本市芸術文化祭30周年特別企画展開催	8	教育委員会総務課に生涯学習担当配置 11 「子どもの権利条約」国連で採択☆ 12 厚生省で「高齢者保健福祉推進10か年戦略」（ゴールドプラン）策定☆
2	3 中山公民館『ふるさと中山縄文のむかしから』第1集発刊（第2集…4年、第3集…8年） 4 岡田公民館移転改築 4 中央公民館夜間等警備委託化 4 南部公民館移転改築（愛称：なんなんひろば） 8 なんなんひろばカリヨン「平和の鐘」設置 10 松本市芸術文化祭特別展「小中図工美術秀作展」開催 10 新村公民館図書室が多目的研修センターに開設 10 公運審諮問「生涯学習時代における松本市公民館のあり方」について	1	中教審答申「生涯学習の基盤整備について」☆ 4 教育委員会総務課を中心に「生涯学習プロジェクトチーム」を組織 6 「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」制定☆
3	3 中央公民館にエレベーター及び身障者用リフト設置 3 寿台公民館移転改築 4 公民館運営審議会中間答申「生涯学習時代における松本市公民館のあり方」について 5 公民館報紙面拡大（B4版からA4版へ） 6 なんなんひろば利用者の会発足 8 松本で第31回社会教育研究全国集会松本集会開催、市民の実践を掘り起こした「松本の学び根っこワーキング」を刊行 11 婦人のつどい30周年記念事業開催、記念誌『松本市婦人のつどい30年のあゆみ』刊行	6	生涯学習審議会中間発表「公民館の整備・運営の在り方について」☆ 7 松本市第五次基本計画「市民生涯学習の推進」 8 松本市総合体育館完成（体育課移転） 9 市立松本図書館が中央図書館に新築開館、分館を結ぶコンピューターネットワーク 10 松本市生涯学習推進本部設置（本部長：教育長） 10 県生涯学習基本構想策定*

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす	
		取り巻く状況	*県 ☆国ほか 無印は松本市
4	4 神林公民館で「すこやか健康教室」始まる 5 公民館報がページ増（全市版4p、地区版2p） ー 南部公民館（なんなんひろば）で「信州年寄り通信」 発刊、以後定期的に発刊	1 松本市生涯学習推進懇話会発足 4 教育委員会総務課に生涯学習係設置 9 学校第2土曜日が休日となる☆	
5	1 公民館研究集会分科会の運営に市民が参画 3 芳川公民館移転改築 3 中山公民館国庫補助事業「中山10の宝」発刊 3 「町内公民館活動リーダー必携」発刊 4 公民館主事手当が条例化 7 松本城400年まつりにより、お城盆踊りが休止	3 松本市老人保健福祉計画策定 3 提言書「松本市生涯学習推進計画づくりにむけて」 （松本市生涯学習懇話会）発刊 5 西部公民館内に設置されていた西部図書館が別棟移 転となる	
6	1 公民館報が「声の館報」としてテーブ化 3 本郷公民館移転改築 3 新村公民館で「新村のくらしー改訂版」発刊 3 岡田公民館文化委員で「岡田の里、地名のおこりとそ の移り変わり」発刊 3 神林公民館で館報200号合冊版「かんばやし」発刊 5 松本市成人学校が第100回記念講座開催 6 「29地区福祉拠点事業推進研究会」に主事3名参加 6 中央公民館と中央図書館の共催で「第1回公民館図書 委員のつどい」開催 7 社会教育主事講習受講枠（新潟大学）が2名が1名へ 11 市民公開講座「地域福祉のまちづくり」はじまる（信 大、市、市教委、市社協合同主催）	3 松本市生涯学習基本計画「ずくだせZUKUDAS U学びの森づくり」策定 4 「子どもの権利条約」批准☆ 4 教育委員会の組織改正により社会教育課内に生涯学 習係及び青少年係が設置、文化課が新設 5 生涯学習情報紙「学びの森いんふおめーしょん」発 刊 6 福祉計画課が中心となり「29地区福祉拠点事業推進 研究会」発足	
7	4 町内公民館振興業務委託料が世帯割で傾斜配分され増 額（29,500円・30,500円・31,500円） 6 本郷公民館「公民館を語る会」発足 7 なんなんひろば「石のモニュメント」完成 12 女性の実践活動記録「学びと歩みのハーモニー」が婦 人のつどい実行委員会により発刊される	3 生涯学習記録「学びの森を生きる」発刊 4 「地区福祉ひろば」の設置はじまる 4 町内公民館へ「福祉関連整備費補助制度」 9 文部省通知「社会教育法における民間営利社会教育 事業者に関する解釈について」☆ 12 第六次基本計画（公民館29地区29館構想）	
8	1 公民館研究集会幹事会に分科会市民運営委員参画 3 今井公民館『上條螳司伝』発刊 3 入山辺公民館『入山辺の民俗』発刊 3 寿公民館館報合冊版『館報ことぶき』発刊 3 中山公民館『館報200号合冊版』発刊 3 里山辺公民館報合冊版『館報さとやまべ』発刊 4 公民館に公共利用予約案内システムが導入される 4 中央公民館管理業務1名シルバー人材センターへ委託 5 笹賀公民館利用グループの会発足 8 新村公民館が移転新築開館（公民館と福祉ひろば併設 の第1号） 10 公民館で日本語講座はじまる 11 松本市芸術文化祭ハイライトが県松本文化会館で開催 11 神林公民館で地域を考える「井戸端会議」はじまる	4 生涯学習審議会答申「地域における生涯学習機会の 充実方策」☆ 4 塩尻市に長野県生涯学習センター開館* 4 県社会教育課が生涯学習課へ* 10 市民と職員による「福祉ビジョン懇話会」設置（公 民館職2名参加） 11 社会教育課主催「学びの森市民フォーラム」はじま る 12 「男女共同参画2000年プラン」策定☆	
9	2 内田公民館報縮刷版『はちぶせ』発刊 3 本郷公民館・福祉ひろばで『遠い太鼓』発刊 4 東部公民館開館 4 コミュニティ構想の名残りである芝沢公民館が廃止 4 和田公民館が増築開館	3 女性室「男女共生地域フォーラム」はじまる（実行 委員として公民館職員参加） 3 松本市障害者福祉長期行動計画 4 公立社会教育施設建設補助金廃止☆	

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす	
		取り巻く状況	*県 ☆国ほか 無印は松本市
9	4 公民館運営審議会が『公民館政策への提言』を提出 5 日本社会教育学会「長野県公民館調査」の一環で松本市公民館の調査が行われる（3月まで） 5 公民館ニュースが学びの森いんふおめーしょんへ統合 7 島内公民館が移転新築開館	7 地方分権推進委員会第二次勧告（公運審必置制や館長・主事の専任規定の廃止が打ち出される）☆ 10 県公民館運営協議会「重点事業調査」「分館実態調査」が行われる	
10	1 中山公民館館報号外（地区産廃処理施設問題） 2 今井公民館『館報200 号合冊版』発刊 4 第二地区公民館開館 5 公運審諮問「21世紀に向けての松本市公民館のあり方」 8 国の生涯学習審議会中間まとめを受け、公民館・社会教育関係者合同研修会を開催 9 第1回公民館委員のつどいが開催 10 今井公民館ひだまりコンサート実行委員会でCD『今井のとうちゃん』制作 11 和光大学移動大学が本郷公民館を会場に開催される 11 公運審提言「公民館長の任命手続きについて」 12 教育委員会内規「松本市地区公民館長の任命方針」制定 ー 北部公民館の地域づくり講座はじまる	3 「福祉ビジョン懇話会」最終報告 3 生涯学習審議会「社会変化に対応した今後社会教育行政の在り方について（中間まとめ）」☆ 3 地区福祉ひろば実践報告集『福祉ひろば・ふれあいレポート』発刊 3 「男女共生プランまつもと」策定 3 特定非営利活動促進法（NPO法）成立☆ 4 県費補助事業が指導者養成講座を残し廃止、人権教育推進市町村事業に移行☆* 5 県公運協専門委員会「公民館あり方研究会」設置* 9 生涯学習審議会「社会変化に対応した今後の社会教育行政の在り方について」答申☆ 12 「公民館の設置及び運営に関する基準」の公民館長・主事の専任」項目が廃止☆	
11	1 全国公民館連合会専門委員会による松本市公民館運営審議会の取組み調査 4 城東公民館開館 4 中央公民館が中央西再開発ビル公益施設内へ移転。新たに女性センター設置、働く婦人の家を付属施設とし、勤労青少年ホームを労政課から移管 5 公民館運営審議会「21世紀に向けての松本市公民館のあり方」答申 10 中央公民館ふれあいロビーに文部省教育情報衛星通信ネットワーク（エル・ネット）受信機が設置 11 松本市芸術文化祭『40年のあゆみ』発刊	1 県公運協専門委員会「公民館のあり方研究会」が「これからの長野県公民館及び県公運協のあり方」を提言* 3 福祉ビジョン懇話会提言書を踏まえた『福祉の青い鳥を求めて』発行 4 同和教育関係の県費補助事業が廃止* 5 国宝松本城太鼓門復元記念まつり開催 7 社会教育法改定、青年学級振興法廃止などを含めた地方分権一括法が成立☆	
12	1 『松本市公民館活動史』『学習活動実践事例集～学びを創り未来をひらく』発刊 3 笹賀公民館「ふるさとマップ」作成 4 城北公民館開館 4 女性センター、働く婦人の家を男女共生課へ移管 9～文部省委嘱事業「エルネットモデル事業」を中央公民館で実施	3 県公運協あり方研究会「県下公民館実態調査に基づく考察と提言」 4 改正された社会教育法が施行 12 教育改革国民会議報告「教育を変える17の提案」☆	
13	1 安原地区公民館開館 1 市内の公民館でIT講習はじまる 3 中山公民館「中山の歳時記」発刊 3 神林公民館「ふるさとマップ」作成 3 中央公民館「まちなか再発見！」事業記録発刊 4 田川公民館開館 4 Mウイング文化センター設置（同条例施行） 4 中央公民館長と男女共生課長が兼務となる 6 公民館運営審議会「調査研究報告書」提出 6 第1回女性センターまつり開催 7 芸術文化祭「市民会館さよならコンサート」開催 9 公民館委員（体育・図書視聴覚委員）研修開催	1 文部科学省「21世紀教育新生プラン」発表☆ 4 中山文庫開館 4 島根県出雲市で社会教育部門が首長部局へ移管☆ 4 県公運協「公民館の基礎知識（13年度版）」発刊* 6 社会教育法一部改正（社会奉仕体験・自然体験活動の促進、家庭教育の体制整備）☆ 9 松本市男女共同参画推進委員会条例制定 10 全国公民館研究集会長野大会が長野市で開催☆ 11 文部科学大臣が中教審に対し「教育振興計画の策定と教育基本法の在り方について」諮問☆	

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす	
		取り巻く状況	*県 ☆国ほか 無印は松本市
14	3 Mウイング・女性センターにキッズコーナー開設 3 第二地区公民館「歴史マップ」作成 4 Mウイングにふれあい国際・情報センター開設 6 島内公民館で四賀村と交流会を開催 6 町内公民館長会に女性部が発足 7 大手公民館開館 10 第50回記念長野県公民館大会が松本市で開催 10 中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「市町村合併から考える住民自治講座」開催	4 学校週5日制が完全実施される☆ 5 松本市・四賀村「任意合併協議会」設置 11 中教審中間答申 11 文部科学省内に「『公民館の設置及び運営に関する基準』見直し検討委員会」発足 11 松本市コミュニティ懇話会が設置、地区・町会・自治組織について検討が行われる 12 平成7年度より東京大学佐藤ゼミ・日本社会教育学会が中心となり行ってきた長野県公民館の調査研究を踏まえた「長野県公民館学習会」が開催*	
15	2 中央公民館・南部公民館共催「公民館入門講座」開催 4 「公民館の設置及び運営に関する基準」に対し、公民館長会・公民館主事会・公民館運営審議会・社会教育委員会・町内公民館長会連名で、文部科学省に意見書を提出 4 町内公民館振興業務委託料が増額（30,000円・31,000円・32,000円） 9 北部公民館「地域交流～こんな町つくろう」で中学生の発案による「街角コンサート」が実施される 10 公民館運営審議会報告書「公民館運営と公民館運営審議会のあり方について」 11 四賀村公民館大会で松本市公民館の概要報告と交流	1 松本市が松本市西部広域施設組合構成町村に合併の申し入れ 3 中教審答申「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について」☆ 3 松本市男女共同参画計画策定 4 松原町会が自治組織としての地区として独立 4 日本公民館学会が設立される☆ 4 社会教育課で「生涯学習基本構想」見直し作業が開始される 5 長野県公民館運営協議会で「公民館の設置及び運営に関する基準」に対し意見書を提出* 6 松本市男女共同参画推進条例施行 6 「公民館の設置及び運営に関する基準」改正☆ 6 地方自治法改正、公の施設を民間会社等に委託できる指定管理者制度の導入☆ 7 新市民会館にかかる住民投票条例案を市議会で否決 7 松本市・四賀村法定合併協議会設立 8 関東甲信越静公民館研究大会で「市町村合併と公民館についての緊急アピール」が採択☆ 10 「松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例」施行 12 地域・家庭教育活性化推進補助金（人権促進事業費等）が廃止される☆	
16	1 中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「合併したらどうなる？ 地域自治と公民館のあり方を考える講座」開催 3 公民館委員研修「文化委員研修会」開催 4 公共施設予約案内システムが新システムへ移行 4 松本市公民館条例施行規則改正、趣味・サークル活動に対し冷暖房料徴収の項目が追加 5 新村公民館・福祉ひろば・松本大学による「ものぐさ大学」発足 5 『松本市生涯学習基本構想』見直しプロジェクト発足、公民館主事2名参加 6 中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「合併最前線を学ぶ講座」開催 7 松本市福祉ひろば庁内研究会発足、主事6名参加	1 文部科学省に「地域づくり支援室」設置☆ 3 中央教育審議会生涯学習分科会「今後の生涯学習振興方策について（審議経過の報告）」☆ 3 第二次「全国公民館連合会 基本構想」☆ 4 松本市の公の施設のうち84施設に指定管理者制度を導入 5 指定管理者制度導入状況のなかで、長野県公民館運営協議会が「公民館の支援について」を各郡市公民館運営協議会に依頼* 7 松本市に文化振興課が市長部局に新設、文化財関係を除く文化振興部門が教育委員会から移管される 7 菅谷市長と語る会が30地区で開催 8 松原地区に福祉ひろばコーディネーターを配置し地区福祉ひろば事業をスタート	

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす	
		取り巻く状況	*県 ☆国ほか 無印は松本市
17	9 市民公益活動との協働事業推進庁内ワーキンググループ発足、公民館主事3名参加	11	社会教育課による「いい街つくろう、パートナーシップまつもと」出前講座がスタート
	11 中央公民館長が専任に戻る		
	11 入山辺公民館、大規模改修工事		
	1 公民館主事会で「スーパー公民館構想」を職員提案	1	地区福祉ひろば庁内研究会職員提案
	1 公運審諮問「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」	3	「松本市生涯学習基本構想」見直し改訂
	2 島内公民館「館報縮刷版」発刊	3	「松本市次世代育成支援行動計画」策定
	2 『町内公民館活動のてびき』第5次改訂版、『松本市町内公民館活動実践集』発刊	4	四賀村、梓川村、安曇村、奈川村が松本市と合併
	3 芳川公民館保育ボランティア「ゆりかご会」で10年のあゆみを発刊	4	松本市役所大手事務所開設、教育委員会が入所
	4 寿台公民館に松原地区担当の公民館主事を配置、公民館事業先行実施として3月から公民館報松原地区版が発刊開始	4	長野県公民館運営協議会規約改正、長野市及び松本市から毎年役員選出となる*
	4 公民館委員手当てが報酬から報償費へ費目変更	4	熟年体育大学が元となった「いきいき健康ひろば」事業をNP0法人に委託
	4 合併により、四賀公民館、梓川公民館、安曇公民館、奈川公民館が地区公民館として発足	6	中央教育審議会諮問「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」「青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促す方策について」☆
	9 教育委員会組織改正にかかり主事研修会で論議	6	全国公民館連合会で14年ぶりに『全国公民館名鑑』を発刊☆
	9 公運審答申作業にかかり、公運審委員・館長・主事のワーキンググループ設置	7	「食育基本法」施行☆
	10 中央公民館・南部公民館共催で「公共施設の民営化に反対ですか」講座が始まる	7	菅谷市長との市政まちかどトーク、ティータイムトークが始まる
	11 中央公民館と社会教育課が統合して生涯学習課とし、中央公民館は貸館機能を残し、地区公民館は生涯学習課の一部門となる組織改正が提案される	9	大手事務所に「市民活動サポートセンター」開設
		9	文部科学省生涯学習局長通知「地域における防犯教育・防犯活動及び防犯ボランティア活動の推進について」（警察と連携して実施）☆
18	3 市長公約の3Kプラン推進に向け、地域づくりシステム検討会議発足、中央公民館が参画	10	内閣府、文科省、国土交通省連携による「地域における防災に係る教育・啓発活動の推進について」☆
	4 社会教育課が中央公民館と統合し生涯学習課・中央公民館へ組織改正（中央公民館機能は残し地区公民館の位置づけは変更なし、中央公民館職員は兼務）	11	長野県公民館運営協議会で主催研修会のあり方について検討開始*
	4 庄内地区公民館開館（29地区29館構想の最後）	11	文部科学省、経済産業省通知「地域におけるエネルギー教育・啓発活動の推進について」☆
	4 「松本市第8次基本計画」（34地区34公民館構想）、地区公民館と地区福祉ひろばはコミュニティ活動施設として位置づけられる	12	日本公民館学会第4回研究大会が松本大学を会場に開催☆
	5 公民館運営審議会「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」答申	12	第28次地方制度調査会「地方の自主性・自律性の拡大及び地方議会のあり方に関する答申」（教育委員会設置を自治体判断に、社会教育分野を首長部局に置く選択措置の提案）☆
		4	教育委員会組織改正、教育総務課が教育政策を担う教育政策課へ改変、青少年課が新設（勤労青少年ホームの所管が中央公民館より移管）
		4	四賀・梓川・奈川・安曇地区で福祉ひろば事業スタート
		4	教育基本法改正案が閣議決定、文部科学省内に教育基本法改正推進本部設置☆
		4	長野市で都市内分権がスタート*
		5	「長野県公民館主事研修会並びに総会」が松本市で開催*

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす	
		取り巻く状況	*県 ☆国ほか 無印は松本市
19	6 都市内分権に向けた地域づくり支援モデル事業が安原地区・本郷地区・芳川地区でスタート（公民館も関わる）	10	長野県公民館運営協議会「長野県公民館活動史Ⅱ」編さんにかかる県内公民館実態調査の実施*
	8 ユネスコアジア文化センターで松本市の公民館活動について視察（北部・新村ほか）	10	松本市図書館でサポーター制度を導入
	10 惣社公民館館報合冊版『館報けやき』発刊	11	松本市「市民協働提案制度」がはじまる
	12 主事会の県外研修に公運審委員4名が参加しての、合同研修を実施（大阪府枚方市へ）	11	松本市「市民活動推進委員会」が発足
		11	「松本市地域づくり推進懇談会」発足
		12	教育基本法改正法が成立・公布・施行☆
		12	「道州制特別区域における広域行政の推進に関する法律」施行☆
	3 中央公民館を見つめ直す座談会が開催。公民館発足60周年を前に、中央公民館が四柱神社隣にあった時代に関わった市民・職員などを交え、中央公民館のあり方などを話し合う	2	松本市教育委員会および木曽町教育委員会で「平和のための信州戦争展」の後援を辞退
	3 戦争体験の聞取事業が開始（松本大学生とのコラボ企画）	3	全国公民館連合会「第1回全国公民館報コンクール」を実施（以後、ホームページコンクールと合わせ、隔年で実施）☆
	4 公民館発足60周年記念事業（地区特別講座）が開催・・・通年	3	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」改正（文化財を除く文化・スポーツの事務を首長が担当できるようになる）☆
	4 市制施行100周年地区イベントが各地区で実施される（多くの公民館で事務局等の役割を担う）	4	飯田市で地域自治組織導入（公民館は先5年間で教育委員会に残し、その後所管を検討）*
	5 主事会にて公民館委員会プロジェクトチームと生涯学習課・中央公民館一本化プロジェクトチームが設置され検討が行われる	5	松本市制施行100年を迎える
	5 学びの森インフォメーションに統合した「公民館ニュース」が他の学習情報に統合される	5	松本市食育推進計画庁内調整会議が開催
	7 第1回公民館報編集委員交流会が開催され、全市版と地区版が一同に会し、研修会・情報交換会が行われる	6	社会教育法等改正法（学校施設利用等）☆
	9 松本市公民館発足60周年記念事業『地域交流と活動のつどい』があがたの森文化会館にて開催。34地区からステージや展示による発表、市民団体による激アツコミュニケーションC a f eなどが行われる	6	「旧松本高等学校本館・講堂」が国の重要文化財となる
	11 館長会にて教育実践活動策定について説明	9	医療制度改革施行☆
	11 医務課が各地区で実施する災害時医療救護活動講座に地区公民館が協力（年次計画により34地区で実施）	9	長野県公民館大会（小諸大会）で「公民館の充実を求める緊急アピール」が採択*
	12 中央公民館にて、“しゃべりばinちゅーこー”や“クリスマスコンサート”などが開催され、若者を交えた事業がなされる	11	教育政策課による教育実践活動策定に向け教育部職員を対象にワーキンググループが始動
20	2 松本市公民館発足60周年記念の一環として第23回松本市公民館研究集会（地域活動市民のつどい）が2日間にわたり開催	12	教育実践活動についての地域懇談会が始まる
	3 市民団体「中信多文化共生ネットワーク」設立	12	松本市地域づくり推進市民会議が、地域づくり推進のための指針を市長に提出
	3 地域防災計画改正で26地区の公民館が新たに指定避難所となる（要援護者優先）	2	教育基本法改正を受けた社会教育法改正案が閣議決定☆
	4 第三地区公民館 閉館。（あがたの森公民館が閉館）	3	長野県公民館運営協議会で地域課題に関する調査*
	4 公民館委員報償費が年額単価から回数単価に変更	3	松本市放課後子どもプランが策定
	4 四賀、安曇、梓川、奈川公民館業務が支所へ移管（教委の補助執行）	4	和田地区に西原町会誕生。里山辺地区の林町会と大嵩崎町会が合併し、林町会となる
		4	安曇野市にて公募の地区公民館長が任命される
		4	松本市第2次男女共生参画計画 策定
		5	松本市地域づくり推進基本方針 策定

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 * 県 ☆ 国ほか 無印は松本市	
	5 公民館が学校と地域のコーディネートを行う学校サポート（学校応援団）事業がスタート 6 ユネスコ「世界寺子屋運動」関係者国内研修（庄内地区公民館、神田・井川城下・上土町の町内公民館） 6 地域づくり推進事業のモデル地区事業がスタート（城北・松原・安原）し、公民館が中心に関わる 6 公民館運営審議会「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」答申に続き「意見書」を提出 8 第2回公民館報編集委員交流会 開催 9 町内公民館館長会30周年記念の集い 開催 9 町内公民館パンフレット 製作 9 耐震診断費用補助対象が拡大され、昭和56年以前に建設された町内公民館も対象となる	5 『長野県公民館活動史Ⅱ』発刊* 5 地方分権推進委員会第一次勧告で「教育委員会設置の選択制、首長部局との連携による教育行政の充実と総合行政の推進」が提案☆ 6 社会教育法改正（衆参両院で附帯決議付）☆ 7 全国公民館連合会による全国公民館実態調査が行われる☆ 7 教育振興基本計画が閣議決定☆ 9 松本市ユニバーサルデザイン基本方針が策定 11 長野県「つながる つらなる 信州 人づくりビジョン」（長野県教育振興基本計画）策定* 12 地方分権推進委員会第二次勧告における「義務付け・梓づけの見直し」の中で、社会教育法第12条、第15条2項、第23条1項、第30条を、存置を許容するメルクマールに該当しないと提言☆	3 全国公民館報コンクールで飯綱町公民館報が最優秀賞、富士見町公民館報が優秀賞を受賞* 4 「学びの森インフォメーション」が全戸配布から各戸配布となる 4 須坂市公民館職員が首長部局市民共創部所属となり、公民館業務は補助執行となる* 4 佐久市生涯学習センター（野沢地区館併設）が指定管理者導入* 9 「多文化共生プラン（仮称）」策定に向けた「多文化共生庁内ワーキング会議」発足 10 県生涯学習審議会答申「新しい時代にふさわしい長野県の生涯学習振興のあり方について」※
21	1 文部科学省の公民館の海外発信事業としてユネスコ・アジア文化センターによる「公民館の国際発信に関する調査研究」でユネスコ調査団が新村公民館と二美町2丁目町内公民館を視察 3 主事会「生涯学習課と中央公民館のあり方」プロジェクトで検討結果報告 3 全国公民館報コンクールで梓川地区公民館報が優良賞を受賞 9 「松本市公民館あり方検討委員会」発足（館長・主事・公運審）12 松本市芸術文化祭50周年記念式典開催	4 須坂市公民館職員が首長部局市民共創部所属となり、公民館業務は補助執行となる* 4 佐久市生涯学習センター（野沢地区館併設）が指定管理者導入* 9 「多文化共生プラン（仮称）」策定に向けた「多文化共生庁内ワーキング会議」発足 10 県生涯学習審議会答申「新しい時代にふさわしい長野県の生涯学習振興のあり方について」※	3 県公民館運営協議会「公民館の基礎知識（H22）」発刊 6 「松本市地域づくり推進行動計画」策定 地域づくり推進に向けた庁内組織の検討はじまる 7 学都松本に向けた取組みを定める
22	3 「松本市公民館あり方検討委員会」中間報告を中央公民館長へ提出 波田町合併に伴い、波田公民館が地区公民館として発足 4 松原地区公民館が新築開館。第一地区公民館が、中央公民館（Mウイング）内に開館。（35地区すべてに公民館が設置完了） 4 地区再発見情報発信事業始まる（初年度6地区～25年度に全地区終了） 5 ベトナム学習振興会が蟻ヶ崎西町内公民館を視察 6 韓国・公州大学校教授および大学院生が、城北公民館、城北地区福祉ひろば、大手公民館、徒士町「おかちまち市場」、巾上西「いばらん亭」を視察（名古屋大学社会教育調査実習と合同）	3 県公民館運営協議会「公民館の基礎知識（H22）」発刊 6 「松本市地域づくり推進行動計画」策定 地域づくり推進に向けた庁内組織の検討はじまる 7 学都松本に向けた取組みを定める	
23	11 梓川公民館大規模改修事業 竣工 5 市公民館運営審議会提言書「もう一度公民館の意義、役割を考えよう」	11 松本市の教育に関するアンケート調査報告 12 地域主権改革第2次一括法により社会教育法改正（公運審委員委嘱は文科省令基準を参照）	
24	9 「第53回関東甲信越静公民館研究大会（長野県松本大会）」を開催	3 県公民館運営協議会「長野県らしい公民館に磨きをかけよう」（提言）	

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす	
		取り巻く状況	*県 ☆国ほか 無印は松本市
25	9 松本市公民館活動実践事例集(地域・くらしと学びをつなぐ)を発売	3 松本市教育振興基本計画「学都松本をめざして」を策定	
	12 第4回全国公民館報コンクールで波田公民館が奨励賞を受賞	3 松本市地域づくり実行計画策定	
		9 第1回学都松本フォーラム(学都松本を目指して)を開催	
	3 神林公民館大規模改修事業竣工	2 松本市第3次男女共同参画計画 策定	
	3 大手公民館会館10周年記念誌『語り継ぐまちなか』発売	3 健康寿命延伸都市宣言	
	6 松本市公民館運営審議会より「松本らしい地域づくりに向けた公民館の役割について」答申が示される	4 市内15地区公民館(出張所機能を持たない館)に、地域づくりセンター準備職員を配置	
	6 松原地区公民館が住民の戦時中体験をまとめた『語り伝えておきたくて』を発売	4 松本市子どもの権利に関する条例を制定	
	10 文部科学省委託事業(公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム)「公民館の学びがつなぐ松本らしい地域づくり・人づくり」事業が採択され、全7講座が取り組まれる(記録集3月発行)	6 学都松本のイメージカラーを薄緑色、9月を「学びの9月」と定める	
		6 社会教育法一部改正☆	
		6 第二期教育振興基本計画閣議決定☆	
26	2 第29回松本市公民館研究集会が歴史的大雪により初めて中止となる	10 文部科学省委託事業(公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム)「若者が創る信濃の国再発見物語」を6市町村(上田市、飯田市、松川町、麻績村、山形村、朝日村)へ再委託*	
	4 南部公民館が、松南地区公民館に名称変更する	4 長野市立長沼公民館が指定管理者導入*	
	6 文部科学省委託事業「公民館の学びがつなぐ松本らしい地域づくり・人づくり」事業が2年目の採択をされ、全7講座が取り組まれる(記録集3月発行)	4 地域づくりセンターが各地区に設置される	
	9 松本市芸術文化祭55周年記念特別公演「わが想いとどけよ彼方の空に」がまつもと市民芸術館で開催される	6 改正地方教育行政法が可決、成立☆	
	12 入山辺公民館「入山辺文化誌(館報400号合冊版)」発売	6 国民投票法、学校教育法、国立大学法人法改正案が可決、成立☆	
	12 寿地区学校応援団が、優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞	6 「健康寿命延伸都市・松本」に「美しく生きる。」のキャッチコピーを追加する	
		10 「ESD推進のための公民館-CLC国際会議」開催(岡山県岡山市)☆(松本市の公民館から事例発表)	
		12 「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」閣議決定☆	
		12 特定秘密保護法施行☆	
		3 松本市スポーツ推進計画策定	
27	2 第30回松本市公民館研究集会が基調講演、過去最大数の11分科会により開催される	3 松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画策定	
	3 全国公民館報コンクールで、第一地区公民館・中央公民館が奨励賞を受賞	4 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律施行☆	
	3 西部公民館、北部公民館大規模改修事業竣工	4 諮問「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方について」☆	
	4 西部公民館が鎌田地区公民館へ、北部公民館が白板地区公民館に名称変更する	4 施行に伴い、本市でも市長が主宰する総合教育会議の設置、松本市教育大綱の策定、教育委員長と教育長を一本化して「新教育長」の配置	
	6 「全国身体障害者補助犬サミットin松本」が、中央公民館共催により開催される	4 地域づくり部(地域づくり課、地域づくりセンター)及び文化スポーツ部(スポーツ推進課を含める・旧体育課)の新設	
	8 文部科学省委託事業(公民館の学びがつなぐ、松本らしい地域づくり・人づくり事業)の委託期間終了後、市単独事業としてプロジェクトチームによる取組みへ発展	4 「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」が、「セイジ・オザワ松本フェスティバル」に名称変更	
	9 地域学習テキストをモデル3地区(白板、本郷、波田)で発売	7 「学習の自由と公民館」に関する教育研究団体連絡会議発足☆	
		8 「第20回松本市平和記念式典、松本市平和の集い」開催	

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
28	2 公民館発足70周年記念事業「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会 松本大会」の準備会が立ち上がる 3 今井公民館大規模改修事業竣工 3 歴史文化基本構想策定に関する各公民館を中心とした調査終了 4 スウェーデン「ソッレンテューナ市」の社会教育学研究者等の視察受入 5 韓国「烏山市」の市長や生涯学習関係職員等の視察受入 6 「未来を拓く松本大会」関係者学習会を実施 7 学びの森生涯学習ファイル更新（2年に1回）	10 勤労青少年福祉法大幅改正（勤労青少年ホームの法的設置根拠がなくなる）☆ 10 「健康寿命延伸都市・松本」地方創生総合戦略策定 12 中央教育審議会から、地方創生を踏まえた今後の学校教育と社会教育のあり方に関する3本の答申☆ 184号「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」 185号「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」 186号「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方針について」 1 南部福祉総合施設「なんぶくプラザ」供用開始 2 第1回地方創生全国コンファレンス「学びで地域を元気に」が国立オリンピックセンターで開催される☆ 4 県生涯学習推進センターに、公民館支援専門アドバイザーを配置* 4 小中学校9年間を、共通の教育課程で学習する「義務教育学校」を全国22校開校☆ 5 県政タウンミーティングを阿智村で開催* 5 県公運協主事会の幹事に、飯田市を固定枠化* 8 松本市第10次基本計画策定 9 地域包括ケアシステム推進事業が、3地区でモデルにスタート（第二地区、岡田地区、四賀地区） 9 「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議まとめ」を中教審初等中等教育分科会教育課程部会提出☆ 12 「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会確保等に関する法律」（教育機会確保法）成立☆
29	1 全国規模の集会である「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会 松本大会」が、まつもと市民芸術館、中央公民館で開催され、全国各地から延1,115人が参加（1/28.29：松本市公民館70周年事業として開催） 3 内田公民館大規模改修事業竣工 7 町内公民館の手引き改訂版編集委員会発足 7 波田公民館が波田庁舎内へ移転開館（旧波田公民館は30年3月に解体） 9 文科省組織改編に対し、社会教育委員会議、公民館運営審議会、町内公民館長会連名で意見書を提出	3 あがたの森文化会館として活用されている「重要文化財旧松本高等学校校舎及び講堂保存計画」策定 3 中高、飯水の郡市公運協を統合し「中飯」へ* 5 第2次松本市教育振興基本計画策定 5 第2次松本市地域づくり実行計画策定 8 文部科学省次年度概算要求において、文部科学省の組織改編が示される☆ 9 文科省の組織改編に対し松本市教育委員会から要望書を提出
30	2 松本市公民館研究集会と、地域づくり課所管の地域づくり市民活動研究集会を「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第33回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～」として合同開催（以降毎年合同開催）	3 県総合5か年計画策定（自治と学びが柱に据わる）*

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 * 県 ☆ 国ほか 無印は松本市	
	3 笹賀公民館大規模改修事業竣工 3 大手公民館・中央地区福祉ひろば開館15周年記念「まち歩き講座から見た後世に残したい地区の文化財」発刊 4 学校サポート事業を統合した松本版コミュニティスクール事業開始 8 住民自治を基盤とした持続可能な地域づくりに向け、町内公民館機能に着目した「多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業を、東京大学牧野研究室との共同事業として開始（3カ年の事業）	12	中央教育審議会で「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）」を取りまとめ☆
31	3 和田公民館大規模改修事業竣工	1	松本大学・松本大学松商短期大学部と包括的連携協定を締結
		4	第2層生活支援コーディネーター（地区生活支援員）が7地区（第二、中央、里山辺、寿台、四賀、梓川、波田）に配置
R 1	6 『町内公民館活動のてびき（第6次改訂版）』発刊 7 公民館運営審議会が提言集を中央公民館に提出 8 中山公民館「中山の民話」発刊	6	「第9次地方分権一括法（地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律）」公布（6/7）☆ （公立社会教育機関について、一定の担保措置を講じて条例により首長が所管することが可能となる）
		9	旧開智学校校舎国宝指定
		9	社会教育委員会提言書「松本版コミュニティスクールへの提言～すべてに対してやさしくおもしろい暮らしに生きる大人へ～」
2	2 第三地区公民館が、文部科学省の第72回優良公民館表彰を受賞（2/14） 2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第35回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～」で、市民提案によるテーマでの分科会を実施 2 城北公民館・城北地区福祉ひろば開館二十周年記念誌発刊 3 第三地区公民館が、長野県教育委員会の令和元年度公民館活動アワードを受賞（3/12） 3 岡田公民館「岡田再発見を読み解く」（岡田歴史研究会編著）発刊 3 「松本市芸術文化祭60年の歩み」発刊 4 新型コロナウイルス感染症の影響で約1か月間貸館を休止（4/7～5/31） 6 島内地区歴史文化財調査委員会（事務局：島内公民館）「島内の歴史と文化遺産」発刊 7 7月豪雨により地区公民館（一部除く）に避難所を開設	3	菅谷昭市長退任 臥雲義尚市長就任
3	1 新型コロナウイルス感染症の影響で貸館の新規受付を停止（1/8～2/4） 2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第36回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会」が新型コロナウイルス感染症の影響により、基調講演・鼎談のみ実施となる（You Tubeでオンラインライブ配信） 2 安原地区公民館・福祉ひろば開館20周年記念冊子発刊	1	松本市成人式が新型コロナウイルス感染症の影響で延期

— 令和2年度 公民館事業報告 —



中央公民館・・・・・・・・・・54

第一地区公民館・・・・・・・・60

第二地区公民館・・・・・・・・64

第三地区公民館・・・・・・・・68

東部公民館・・・・・・・・・・72

城北公民館・・・・・・・・・・76

大手公民館・・・・・・・・・・83

安原地区公民館・・・・・・・・90

城東公民館・・・・・・・・・・94

白板地区公民館・・・・・・・・97

田川公民館・・・・・・・・・・101

庄内地区公民館・・・・・・・・106

鎌田地区公民館・・・・・・・・111

松南地区公民館・・・・・・・・115

島内公民館・・・・・・・・・・120

中山公民館・・・・・・・・・・124

島立公民館・・・・・・・・・・128

新村公民館・・・・・・・・・・133

和田公民館・・・・・・・・・・141

神林公民館・・・・・・・・・・145

笹賀公民館・・・・・・・・・・150

芳川公民館・・・・・・・・・・155

寿公民館・・・・・・・・・・161

寿台公民館・・・・・・・・・・166

松原地区公民館・・・・・・・169

岡田公民館・・・・・・・・・・174

入山辺公民館・・・・・・・・・・178

里山辺公民館・・・・・・・・・・183

今井公民館・・・・・・・・・・189

内田公民館・・・・・・・・・・193

本郷公民館・・・・・・・・・・197

四賀公民館・・・・・・・・・・201

安曇公民館・・・・・・・・・・205

奈川公民館・・・・・・・・・・209

梓川公民館・・・・・・・・・・211

波田公民館・・・・・・・・・・216

「公民館の学びを通じた地域づくり」

重点施策

- 1 松本らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連帯を育む学習機能の充実を図ります。
2 人権尊重のための学習活動を進めます。
3 男女共同参画社会をめざして、女性問題等解決のための啓発学習を進めます。
4 少子高齢・国際・情報化社会に対応する学習活動の推進を図ります。
5 町内公民館の振興を図ります。
6 住民主体の公民館活動推進のリーダーとなる公民館委員の組織強化を図ります。
7 ふるさとづくり、まちづくりのため、地域の歴史の掘り起こしと伝承文化の振興を図ります。
8 住民の自治能力を高めるための学習活動を進めます。
9 市民のニーズに合わせた生涯学習活動の推進のための支援体制の整備を行います。
10 次代を担う青年の学習・相談、クラブ活動等の場の提供と講座・行事を開催します。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等
	平和権	福祉健康	子育て	環境	文化地域	教養趣味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	7		1		3				6		5	4	6
延べ参加人数	2,875				6,559				69			172	1,845

	C S	食 育
事業数		1
延べ参加人数		90

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
新任公民館職員研修 ①全体研修 ②ファシリテーション研修	10月12日	1回	その他	その他	21人	令和2年度から配属された新任職員を対象に、公民館（活動）の基礎学習及び、近年の動向について研修する。今年度は、松本大学向井健氏を講師に研修を行う。 また、館長も含めた公民館職員に必要なスキルアップ研修として、ファシリテーションを行う。 （内容） ①公民館基礎学習、関係法令と運用、松本市公民館の概要と近年の動向 ②事務研修等（主事のみ）	①公民館基礎学習について、ポイントを捉えやすくするため、内容等を松大の向井氏と調整する。 →講師へ ②主事として必要な事務研修を取り入れるにあたり、中公庶務担当と調整する。	①昨年度の反省を活かし、内容をシンプルにしつつもポイントを押さえるなかで、「公民館や社会教育」をイメージしやすくするために、松大の向井氏と調整した結果、参加した職員からも概ね好評であった。 ②主事に必要な事務研修を取り入れたことで、一定の効果は見られたものの、充分であったとはいえないため、再度中公庶務担当と調整する中で、次年度以降実施していく必要がある。		
第61回松本市芸術文化祭	7月～1月		地域文化	成人	6,480人	多くの市民が気軽に楽しく文化芸術に触れあう機会を創出し、市民による主体的、継続的な文化芸術活動の推進を図るもの 和・洋・玄人・素人を問わず、市民が参画して、展示会・上演会等を通して、芸術文化の振興を図る。 ● 展示部門各種展示会（15部門）参加者5,464人 ● 上演部門各種発表会・演奏会（21部門のうち5実施）参加者1,016人	松本市芸術文化祭実行委員会により運営	団体構成員の高齢化により、後継者の育成に努める必要がある。 新型コロナウイルスの影響で、上演部門の多くが発表を中止した。		
松本みんなのほのぼの教室 （共催事業）	6月～2月	55回	人権平和	その他	883人	学齢期を過ぎた外国由来の青少年や就学および就労希望でありながらも日本語が不十分という理由で希望がかなわない外国籍住民を対象に、日本語習得の場として開催 ● 毎週月・木 午前9:30～12:30	NPO法人中信多文化共生ネットワークが運営	4つの日本語教室の中で唯一教室形式での日本語支援につとめており、週1回スタッフの勉強会やミーティングを行っている。受講者のニーズが多様化している中、対応できる支援員不足が課題である。		
学びの森いんふおめーしょん	5月1日 8月1日 11月1日 2月1日	4回	その他	成人		市民に生涯学習関連情報（生涯学習支援登録制度登録団体等の活動情報など）を提供し、市民の多様化した生涯学習活動を補助・促進するもの 発行は、年4回（5月、8月、11月、2月）。1回につき14,500部	生涯学習支援登録制度に登録している団体の情報を中心に掲載している。	配布方法が町内回覧であるため、必要な時に情報が得られないことが課題。地縁の薄い市民への対応といった点からも、配布方法については検討が必要		
工芸の五月ワークショップ	5月10日 5月23日	中止	地域文化	成人	0人	「工芸の五月」の一環として、日々の暮らしのなかで使う身近な道具を自らの手で作ることで、ものづくりの楽しさを知るとともに、自然・環境・暮らしを見つめなおす機会とする。 以下の講座を計画したが、新型コロナウイルスの影響で中止 ・5/10「自然からのおくりものー草木染めworkshopー」 ・5/23「ミゴ籌づくり」	共催：工芸の五月企画室 講師選定、講座の企画、参加者募集までを行ったが、新型コロナウイルスの影響で中止	新型コロナウイルスの影響で工芸の五月2020の開催が中止となった。広報まつもと4月号での参加者募集案内後に中止となったため、市民から数件の問合せを受けた。次年度に向けては、今年度の講師との繋がりを生かして進めたい。		
第21回松本手まり時計まつり	5月25日～26日	1回	地域事業（文化）	成人	0人	【ねらい】 中心市街地の活性化を図るとともに、Mウイングに集う人たちの新たな出会い・交流を促進する。 【事業内容】 公民館利用団体の展示部門発表、ステージ部門発表、体験コーナー、女性センター利用団体の展示・即売等 福祉ひろばのふれあい交流コーナー等 中央保健センターおよび松本ヘルス・ラボのまちかど健康相談 伊勢町商店街の唐津物産展 野外ステージコンサート 夕涼み会 新型コロナウイルスの影響で中止	Mウイング公益施設関係（生涯学習課・中央公民館、人権・男女共生課、多文化共生プラザ、福祉ひろば、中央保健センター、松本ヘルス・ラボ）、伊勢町商店街振興組合、利用団体、市民から構成された実行委員会及び運営委員により運営	新型コロナウイルスの影響で、令和2年度は中止となった。 次年度の実施に当たって、参加団体同士の交流や団体の掘り起こし等参加団体を増やす工夫が必要		
公民館活動発表会 展示部門	5月30日 5月31日	中止	地域事業（文化）	成人	0人	市内公民館で活動するサークル、団体等の活動発表および交流の場とする。 「手まり時計まつり」にあわせて開催	参加12団体による実行委員会を組織。実行委員長を置く。「手まり時計まつり実行委員」に参画。 新型コロナウイルスの影響で中止	新型コロナウイルスの影響で、令和2年度の「手まり時計祭り」は中止 高齢化が進み、例年参加団体数は減少しており、作業にあたっては困難も多い。次年度の実施に当たって、参加団体同士の交流や来場者にサークル活動に興味を持ってもらう工夫が必要		
公民館活動発表会 ステージ部門	5月26日（日）	1回	地域事業（文化）	成人	0人	市内公民館とあがたの森文化会館で活動する団体等の活動発表および交流の場とする。	発表団体で、公民館活動発表会実行委員会を組織。実行委員会3回。当日の運営も当番役回りでやっている。	新型コロナウイルスの影響で、令和2年度は中止 次年度の実施に当たって、参加団体同士の交流や団体の掘り起こし等参加団体を増やす工夫が必要		
松本市の公民館（事務報告書）冊子作成・発刊	6月上旬		その他	成人		松本市公民館等に関する情報をとりまとめて発刊する。	各館より事務報告書の提出。公民館の基礎データ、年表、教育要覧掲載情報等を集約し、冊子へまとめる。	掲載内容については常に、精査するなかで、次年度以降も継続して発刊する。		
ステップアップ手話教室「手話で学ぶ手話」	10月7日～3月25日	10回	人権平和	成人	220人	ろう者と聴者の橋渡しとなる通訳者の育成を視野に、手話奉仕員養成講座と県の通訳者養成講座の中間的な位置づけで開催。手話奉仕員養成講座修了程度を対象に、手話通訳を配置せずにろう者2名の講師体制で、手話表現及び読み取りの技術向上を目指した。昼・夜の2部制	松本市聴覚障害者協会、市障害福祉課の手話通訳者コーディネーターと話し合いを行った。	受講者と講師（ろう者）が通訳者を介さずに講義をする形式となっているため、受講者には比較的高いレベルの手話技術が必要となってくるため、途中で離脱する受講者もいたが、全体的には出席率が高く、おおむね満足いただけた。 今後は、松本市聴覚障害者協会と内容の検討をしたうえで次年度も引き続き開催することとしたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
入門手話教室「手話ははじめの一歩」	11月6日～3月18日	10回	人権平和	成人	0人	ろう者の生活文化に理解を深めること、手話を学び続けたいという意欲を高めて手話奉仕員養成講座等の次の学習ステップにつなげることを目的に開催。初心者を対象に日常生活に関する基礎的な手話の習得を目指した。昼・夜の2部制	松本市聴覚障害者協会、市障害福祉課の手話通訳者コーディネーターと話し合いを重ねた。	新型コロナウイルスの影響で入門教室は中止		
聴覚障害者と学ぶ成人学校	10月15日～3月11日	5回	福祉健康	成人	90人	昭和47年の開講当初に掲げた聴覚障害者の学習権の保障に加え、ろう者と聴者の相互理解を深める場、地域社会の一員として尊重し合える関係づくりに寄与する場として開講 今年度は「生活に役立つ知識」をテーマに開催した。 第1回 Let'S Enjoy スポーツ！スポーツを楽しみましょう 第2回 正しく知れば怖くない！新型コロナウイルス感染症対策 第3回 介護予防体操と知って得する介護の豆知識！ 第4回 アロマでリラックス！ハンドマッサージ 第5回 いきいき暮らすための食事方法！	松本市聴覚障害者協会と打合せを行いプログラムを編成。講師は中央公民館から、通訳者は障害福祉課を通して依頼。	新型コロナウイルス禍でありながら、延期をしながら実施した。		○
松本国際ふるさとまつりこいこい松本	中止		地域事業（文化）	成人	0人	【ねらい】 松本市及びその周辺に住む外国人・外国由来の人たちを中心とした交流、ネットワークづくりの場として、お互いの文化に触れ、理解を深め、親睦を図るきっかけづくりとして開催 【実施内容】 様々な国や地域の文化体験、民族衣装試着体験 カントリーミュージックのコンサート オープニングパレード 他	【主催】 こいこい松本実行委員会（在住の外国由来の人たち、NPO法人中信多文化共生ネットワーク、信大生、松大生、高校生） 【共催】 中央公民館、長野県 実行委員会を組織し企画運営。公民館は実行委員会のサポート役として参画。	新型コロナウイルスの影響で中止した。		
松本市公民館運営審議会	11月26日（木） 3月29日（月）	2回	公民館委員会・各種会議等	その他	24人	・公民館長の諮問に応じて、公民館における各種事業の企画実施について調査審議する。 ・令和2年度は、第35回公民館研究集会等について意見交換をした。	19名（学校教育2名、社会教育10名、家庭教育2名、有識者2名、公募3名）	・新型コロナウイルス禍で、2回の会議となった。 ・公民館研究集会を継続することの重要性、周知・フィードバックなどについて意見交換がされた。 ・次年度の地域づくりセンター体制についても意見交換をした。		
多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業	4月～3月		地域事業（その他）	成人	30人	松本市と東京大学大学院の牧野篤教授の研究室との共同事業として、町会単位で円滑な人間関係を構築し、町内公民館を活用して、子どもから高齢者まで様々な人々が集い、気軽で、共に楽しく学び、生きていく場として、「多世代参画型地域共生コミュニティ」の構築を目指す。 町内公民館の可能性を探りながら、新しい地域社会のあり方を住民の一番身近な町会単位から考え、実践し、「松本モデル」として発信する。	東京大学大学院の牧野篤教授の研究室との共同事業とし開催	新型コロナウイルスの影響で、東大牧野研究室から事業延期の申し出があり、令和3年度に延期して事業を行うことになった。 モデル3町会の役員等の住民と、地区公民館と地域づくりセンター長や第2層生活支援コーディネーター等の職員が一堂に会し、2年間の事業を振り返り、意見交換や情報共有を行う合同会議を開催した。 その後、牧野教授とオンライン会議を行い、次年度の方向性を共有し、次年度への繋がりを得た。		
第73回「お城盆踊り」	8月14日～16日	3回	地域事業（文化）	成人	0人	国宝松本城での盆踊りを通じて、市民と観光客がひと夏の思い出をつくるとともに、郷土に伝わる民謡を市民が知って郷土に愛着と誇りをもってもらえるよう開催。また、踊り手の高齢化もあり、地域に伝わる民謡の保全を図る一助となりたい。踊りをとおして心身ともにリフレッシュを図るもの	委託先：松本レクリエーション協会等	新型コロナウイルスの影響で、中止		
地域に伝わる民謡講習会	9月13日～3月28日	10回	地域文化	成人	79人	「お城盆踊り」の踊りの実演者の育成と、地域に伝わる民謡の周知と保存のために開催。中央公民館と城東公民館の両館で開催している。地区に地元の民謡が広まるようにしたい。	講師は、松本レクリエーション協会民謡部の会員による。	新規で受講する市民は少ないながらも関心を持って参加している。より多くの市民に受講してもらえるよう、周知方法なども工夫したい。 「お城盆踊り」での踊りの実演者の育成という観点では踊りの継承につながる講習会になっている。		
景観から地域づくりを考えるプロジェクト「看板学講座」	10月29日 11月5日 11月19日 11月26日	4回	その他	成人	48人	平成25年から2年間、文部科学省委託事業「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」の一環として開催されたものから始まり、「松本看板学会」として組織したプロジェクトチームにより、看板を切り口にまちの景観を考える講座を展開している。 令和2年度は「看板メディア学」をテーマに、メディアである看板を参加者それぞれの切り口からメディアに表現する（物語を書く）。 新型コロナウイルス対策として、リモート参加を受け入れた。	コーディネーターに倉澤聡氏（都市計画家）、コメンテーターに長谷川繁幸氏（建築士）・高田美果氏（イラストレーター）を迎え、都市政策課と連携するなかで、複数回講座の内容等について検討する。講座開催期間中も、参加者の様子や講座状況なども踏まえ、方向性等について検討しながら、全4回の講座を実施した。 新型コロナウイルス対策として、リモート参加を受け入れた。	街歩きをしたのち、参加者が選んだそれぞれの看板について、看板主に取材をしながら物語にまとめた。 参加者にとってこれまで以上に難易度の高い課題であったが、物語の作成に真剣に取り組み、取材やレイアウト等も含め一貫して最後までやり遂げたことで、大きな達成感を得ることができた。 毎年成果アウトプットが課題になっていたが、今回の講座で参加者が綴った物語を冊子「私の看板物語」にまとめた。冊子が手元に届くことで、参加者により大きな達成感や充実感を感じてもらうとともに、この冊子を看板を通じて学びの繋がりに役立てたいと考える。 新型コロナウイルス感染症対策として、リモートでの参加者も募り、2名がリモート参加した。機器の操作等で課題もあったが、新たな運営方法を発見することができた。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い ～第36回公民館研究集会 令和2年度地域づくり市民活動研究集会～	2月21日 5月～2月に市民・職員で企画準備	1回	地域事業（その他）	成人	108人	「学び」を大切にする松本市の公民館の理念を柱に、住民、市民活動団体、行政職員等の様々な主体が一堂に会し、身近な課題への理解を深め、幅広い議論を通して、気づき、学び合いながら、自分にできることを発見し、実践することを生み出す場として、開催した。 ＜全体会＞ 基調講演・鼎談／木下巨一（長野県生涯学習推進センター所長）向井健（松本大学准教授）降旗都子（松本市第三地区まちづくり協議会副会長） 「学びと自治の力で公共を変えていく～コロナ禍で考える、公民館の役割」※感染症対策として、YouTubeによるライブ配信とオンデマンド配信を実施。チャットによる双方向参加。開会行事、功労者表彰は中止。 ＜市民活動商店街＞ コロナ禍で市民が集えない中、冊子版『市民活動商店街』として、地縁団体や志縁団体の活動を冊子と動画で発信した。 ＜分科会＞ 12の分科会を設定。感染症対策のため令和3年6月に延期予定 ①松本の歴史・文化を次世代に伝えていくために②『対話』のある場っていいと思いませんか？③「不登校生徒を真ん中に！」～不登校の概念も無くなる未来について語り合いましょう～④災害が起きた時、私たちにできることは？⑤地域社会におけるスピリチュアル（魂）ケアとグリーフ（悲嘆）ケア⑥バス使います宣言！？～未来を走る公共交通のカタチとは～⑦みんなの居場所 町内公民館のこれからを考えよう⑧私たちの平和は今どうなっているの？身近で話し合い、地域へ発信！⑨私たちにあって身近なSDGsの教材づくり⑩コミュニティスクール進んでる？withコロナ⑪聞かせてください。公民館、福祉ひろば、地域づくりセンターへの貴方の思い⑫あなたの望む松本を実現しませんか？自由に話をしましょう	市民実行委員及び公民館・関係課職員による実行委員会を組織 ・実行委員会 1回 ・幹事会 4回 ・その他、各分科会運営委員会、準備会、世話人会などを順次開催。延べ1,000人以上が企画準備参加	昨年度と同様に、より広い範囲の地域の課題を捉えるとともに、より多くの主体（大学・NPO法人・団体等）と共に幅広い議論をするため、地域づくり部で所管していた「地域づくり市民活動研究集会」と一緒に開催した。 様々な立場の市民が、身近な問題について、幅広い議論を行うと共に、それぞれの立場で自分たちに何が出来るのか考え、実践に繋げるきっかけとなった。 また新型コロナウイルス感染症対策として、「市民が物理的に集わない」方法を検討し、基調講演のオンライン開催とチャットによる双方向参加や冊子の作成など、新たな可能性を模索することができた。		
日本語ボランティアきっかけ講座	10月21日 11月4日	2回	人権平和	その他	41人	外国籍住民を対象に日本語習得の機会を提供する日本語教室において、学習支援を実施するボランティアスタッフのきっかけづくりとして講座を開催。ボランティアへの移行ありきではなく、異文化交流や外国人住民とのコミュニケーションづくりという点を意識した講座づくりを行った。 講師には、丸ノ内ビジネス専門学校で講師を務める佐藤佳子氏に依頼をしたほか、日本語教室に通う受講者との交流や中央公民館で開催されている日本語講座の紹介などを行った。	講師の佐藤佳子氏と打ち合わせをして準備を行った。 市公式SNSや新聞などを活用し、広報をした。	日本語を教えるという技術的な内容を伝えるのではなく、松本市に住む生活者としての外国人住民ということを中心に受講者に伝えた点が、受講者からも意識が変わった等の声をいただくことができた。 受講者のうち4名の方が、中央公民館で行われている日本語講座のボランティアに繋がった。		
日本語講座	6月～3月	20回	人権平和	その他	342人	外国籍住民を対象に日本語習得の機会を提供することで、受講者とボランティアスタッフが学習を通じて相互理解を深めることを目的に開催。多文化共生社会の実現を目指す。 受講者のニーズや日本語能力にあわせたクラス設定を行い、きめ細かい学習を行っている。スタッフ会議等を開催し、スタッフ間の意思疎通を図っている。 ● 毎週火曜日 19:00～20:30	ボランティアスタッフによる運営。	夜間の講座であるため、十分なミーティングの時間が取れないことや教室運営の体制に苦慮している。ボランティアスタッフと密に関わり、主体的で継続的な運営体制を目指したい。新型コロナウイルスの影響で、4月、5月、令和3年1月、2月は休講とした。		
木曜午前ボランティア日本語教室	6月～3月	30回	人権平和	成人	339人	外国籍住民を対象に日本語習得の機会を提供することで、受講者とボランティアスタッフが学習を通じて相互理解を深めることを目的に開催。多文化共生社会の実現を目指す。 受講者のニーズや日本語能力にあわせたクラス設定を行い、きめ細かい学習を行っている。スタッフ会議等を開催し、スタッフ間の意思疎通を図っている。 ● 毎週木曜日 10:00～11:30	ボランティアスタッフによる運営。 共催：多文化共生プラザ	スタッフ会議、グループミーティングを行い、受講者およびスタッフの交流・連携を図っている。忘年会も工夫して行い、楽しく学べる教室運営を行っている。新型コロナウイルスの影響で、4月、5月、令和3年1月、2月は休室としたが、代替としてスタッフによるオンラインでの授業などを実施した。		
松本市ヤングにほんご教室（共催事業）	4月～2月	71回	人権平和	青少年	1,050人	日本語を母語としない外国由来の子どもたちを対象に、日本語指導及び教科指導、居場所づくりを行う。 ● 毎週月・木 18:00～20:00	NPO法人中信多文化共生ネットワークが運営	学習時間の間に休憩時間を設け、生徒間のコミュニケーションを図っている。ボランティアの大半が大学生のため、授業やアルバイトとのスケジュール調整が難しく、また進級に伴い他地域への移転により安定的なスタッフの確保が難しい状況である。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月は休室とした。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
日本老民考	通年	10回	福祉健康	高齢者	92人	世界情勢から日本の政治、戦中・戦後の日本社会、福祉などを切り口に日本の歩みを検証し、老後の生活（生き方）について意見交換するなかで、それぞれの生き方を考える。 毎月1回第4金曜日に開催する。	手塚英男氏（社会教育実践者／『日本老民考-さまざまな老い-それぞれの終い』著者）が設定したテーマ、参加者から提供される話題を切り口に、議論を展開。	新型コロナウイルスの影響で、2回中止した。 新型コロナウイルス禍の生活様式や情報の取捨選択について意見を交わすことも多々あり、混乱した世の中でも前向きに暮らすことのきっかけになっている。 また、新聞の社説欄等から現代の社会情勢について意見を交わしたり、参加者が各々取り組んでいる活動を話題として取り上げ、情報交換を行った。 会は参加者同士が自由に意見を交換できる空気であり、参加者の生きがいの場にもなっている。		
3歳児健診時の絵本読み聞かせ	4月～2月	中止	子育て	その他	0人	中央保健センター3歳児健診に訪れた親子を対象に、読み聞かせを月1回実施。健診時の読み聞かせを通し、図書委員会の活動を周知、図書室の利用促進につなげる。	図書委員会 新型コロナウイルスの影響で中止	中央保健センターで実施する3歳児健診の方法が、新型コロナウイルス感染対策の対応になっているため、読み聞かせを実施することができなかった。令和3年度も中止の予定		
松本市出前講座 「いい街つくろう！パートナーシップまっもと」	通年		その他	その他		市役所やその他の公共機関などが行っている施策について市民から要望のあった講座を開講し、市民と職員がパートナーとなり、学びを通して顔の見える関係をつくりながら、共にいい街をつくっていく学びの講座	各課および関係機関に講座の継続開講や新規開講等の調査を行い、毎年出前講座メニューを更新している。 令和3年度のメニュー改定に向け、過去5年間実施のなった講座を削除するなどの見直しを行った。	新型コロナウイルスの影響で、4～5月、1～2月の約3カ月間、事業を中止した。 新型コロナウイルス禍での講座の実施に苦慮したが、感染対策チェックリストをホームページに掲載するなどの対応を取った。 今後、よりスムーズに受講受付ができるように工夫されたい。		
生涯学習支援登録制度 ※3月31日現在	通年		その他	成人		多様化する市民の生涯学習に関するニーズに対応するため、地域で活動するグループや指導者を登録、情報提供をすることにより、市民の生涯学習活動を補助・促進するもの。 ○3月末現在 登録数 指導者 149名 グループ 444団体		グループ登録の場合、『学びの森いんふおめーしょん』に記事を掲載するための条件であることから、登録が活発である。指導者登録の場合は、新規登録者のみが『学びの森いんふおめーしょん』に掲載される。そのため、指導者の活用を地区公民館等に仲介する仕組みづくりが望まれる。		
公民館館長会 ・定例会 ・理事会	通年 各月1回	25回	公民館委員会・各種会議等	その他	550人	館長相互の研修を図り、公民館活動の促進に寄与する。	・定例公民館館長会（毎月第3水曜日、午後1時30分から開催、研修内容は理事会で検討し、定例会議で正式に決定） ・理事会は、必要に応じて開催（原則として第2火曜日、午後1時30分～）	今年度は、防災とコミュニティスクールを中心に研修会を行い、主事会との合同研修ではオンラインで防災についての研修を行った。 10月の研修会では、今後の地域づくりセンターと公民館のあり方について臥雲市長と意見交換を行った。 新型コロナウイルスの影響で、姫路市からの視察研修と県外視察研修は中止となった。 また、5月と1月は研修を中止し、連絡事項のみに開催となった。1月はZOOMを使用し、オンラインで開催した。		
公民館主事会	通年 月2回	18回	公民館委員会・各種会議等	その他	451人	公民館主事の資質向上を図り、公民館活動の推進に寄与する。	・公民館主事研修会（毎月第2第4木曜日） ・幹事会（毎月第1月曜日） 新型コロナウイルスの影響で、5～6月、1月の主事研修会は中止となったが、リモートによる開催ができるものは進んで取り入れた。	公民館主事としての知識・理解を深めるため、公民館の理念や実務的な内容を研修テーマに設定した。 また、地域の実践者等、住民との研修を行うことで、常に住民の声に寄り添う態度を養うことに努めた。本市の公民館活動や地域づくりの動向を相対的に捉えなおす機会となった。 コロナ対策として、主事研修会・幹事会共にリモート開催を取り入れた。主事会が訓練の場となり、各地区でのリモート会議等の実現可能性について考える機会となった。うち1回は、宮之本副市長とリモートで懇談する機会を作った。		
松本市町内公民館館長会	通年	—	公民館委員会・各種会議等	その他	268人	【ねらい】 各町内公民館の振興及び町内公民館相互の連絡を図るために必要な研修等を行う。 【事業内容】 ★各種会議 ・総会（書面表決） ・理事会6回、三役・部長会7回、広報部5回、企画部1回、など ★研修及び学習会 （企画部） ・役員研修会（計画するも中止）（研修部） ・新任町内公民館館長研修会（2月に動画をYouTubeに公開し周知）、ブロック別研修会（中止）（女性部） ・視察研修会（松本市文書館）、意見交換会、 ★広報 ・「町内公民館館長会だより」73号～75号の発行 ・新型コロナウイルス感染症対策の通知 計6回	各地区町内公民館館長会からの代表者を理事として1名選出し、特任理事5名を加えて計40名で理事会を運営。会長1名、副会長3名、会計1名、事務局長1名、4つの専門部（企画・広報・研修・女性）を必要に応じて開催。	新型コロナウイルス感染症の影響から事業の中止等が相次いだ。 その中でも広報活動に力を入れ、新型コロナウイルス感染症の感染対策や、流行期における注意喚起を実施した。 また、理事会等会議の際には、オンラインミーティングツール「Zoom」を活用し、感染症対策とともに新しいツールの体験など、コロナ禍だからこそその活動を実践した。		
公民館報全市版編集委員会	通年	24回	公民館委員会・各種会議等	成人	510人	住民自らが編集する公民館の機関誌として、地域住民と公民館を結びつけ、地域課題・生活課題の学習素材を提供するとともに、将来への足跡として公民館活動を記録するもの	各地区から1名ずつ編集委員を選出。委員長1名、副委員長3名を置く。	紙面構成の見直し等により、地域や生活・暮らしについて幅広く話し合うことができた。また2次元コードを活用し、多媒体との連携などの工夫も図った。 また、市内編集委員を対象に8年ぶりに松本市報館研修会を開催し、全市版編集委員で企画運営した。委員同士の雑談的な語り合いから生まれる「気づき」を大切に、より住民目線に立った共感できる紙面づくりを進めたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
中央公民館図書委員会	通年	10回	公民館委員会・各種会議等	その他	42人	中央公民館図書室を主な活動拠点として子どもから高齢者までを対象に、地域の特性を生かしながら、イベントや選書を行い、図書の普及を図る。 今年度は新型コロナウイルスの影響で例年参加している手まり時計まつり、3歳児健診の読み聞かせ、クッキー作りが中止となったため、選書、図書室の配置の見直し等を中心に行った。	委員6名。委員長を置く。	より使いやすい図書室にするよう検討することができた。図鑑や幼児向けの本、時事的な内容の本などを新たに導入した。		
共生社会創造事業 ポッチャ・フライングディスク体験教室	①12月19日②2月13日	2回	地域事業（その他）	その他	34人	共生社会構築のツールともなるバラスポーツ（ポッチャ）を知る体験会から、サポーター養成や審判員養成講座を開催し、人材育成・人材活用へつなげるように実施した。	サンスポートまつもと、長野県ポッチャ協会、ポッチャサポーター			
中央公民館ネットワーク事業	通年		地域事業（その他）	その他		現在、各地区がどのような課題を抱え、何を重点に活動を展開しているのか等の地区情報を中央公民館が集約し、情報提供などを通じて地域と地域をつなげることで、各地区の活動へ活かす。 各地区の事業や会議へ参加したり、地域職員連絡会などに出席したりすることで、地域の情報を把握し他の地区へ発信する。	中央1、中央2、中央3、河西部、西南部、東南部、東山部の計7ブロックに、中央公民館から担当職員を配置する。	地区企画支援担当者会議への出席、情報集約と発信の方法を要検討		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】

・開設１１年目を迎え、地区住民の生活、暮らしに根づく様々な課題を共有し、地域づくりセンター、福祉ひろば、町会連合会、地区関係団体と共に改善に向けて取り組む活動の場とする。

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区公民館における諸活動について地区関係団体と協議しながら実施をする。

評 価 ・ 反 省 等

・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため公民館事業を一部中止した。住民の集う機会が減ってしまったことにより体力維持やコミュニケーション不足が心配され、その時々状況を判断しながら感染防止対策を講じ、安心して参加してもらえると判断した事業を実施した。

・開催できた事業についても、人数制限を設けたり、内容を変更するなどしたため例年通りには実施できなかった。今後についても前年踏襲をするのではなく、その時々状況に応じて事業の見直しが必要である。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種 委員会 等・
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数	2	3	2			2	1			3	1		3
延べ参加人数	36	693	179			67	14			56			263

	C S	食 育
事業数		3
延べ参加人数		45

令和2年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
春のマレットゴルフ大会	6月27日	1回	地域事業 (体育)	成人	20人	【内容】 ・アルプス公園マレットゴルフ場で大会を開催した。 ・4月に予定していた大会を新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期し、公民館事業が再開となった6月に実施した。 【ねらい】 ・マレットゴルフを通じて地区住民の健康増進と親睦を図る。また競い合うことで技術の向上を図る。 【スポーツ】 【福祉健康】	【準備過程】 ・体育事業実行委員会で企画検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・体育協会	【評価と反省】 ・開催にあたり実行委員会で協議し、安心して参加してもらえるよう、感染防止策や熱中症対策を講じての実施となった。 ・新型コロナウイルスの影響で参加者の減少を心配したが、例年並みの参加者となり、マレットゴルフを通じて健康増進と交流を図ることができた。 【今後の方針】 ・安全に大会運営ができるよう十分配慮し、地区体育事業の推進のため継続して実施したい。		
夏のボウリング大会	7月18日	1回	地域事業 (体育)	その他	16人	【内容】 ・ボウリング大会とミニ講座を併せて実施した。今年度は、「一般の部」のみ実施で、「親子の部」は中止した。 ・講師 藤澤淳次氏（地区住民） 【ねらい】 ・屋外スポーツの実施が難しい夏の時期に屋内スポーツのボウリングを通じて、地区住民の健康増進と親睦を図る。 【スポーツ】 【福祉健康】	【準備過程】 ・体育事業実行委員会で企画検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・体育協会	【評価と反省】 ・1レーンの人数を少なくする等、3密回避の対策を講じて実施した。 ・「一般の部」のみの開催ではあったが、暑さや新型コロナウイルスの影響で、引きこもりになりがちな夏の時期に、屋内スポーツで体を動かす良い機会となった。 【今後の方針】 ・地区住民の健康増進のため、夏季に室内で出来るスポーツを企画していきたい。		
夏休み子どもひろば スポーツひろば	8月5日	1回	スポーツ	青少年	14人	【内容】 ・ニュースポーツやバドミントン等のスポーツを行った。 【ねらい】 ・新型コロナウイルスの影響で、夏季の様々な行事が中止となり、子ども達の交流の場が減少。ニュースポーツ等を通じて子ども達の運動不足解消と親睦を図る。【福祉健康】	【準備過程】 ・様々な行事が中止となる中、子ども会育成会との意見交換の中で開催が決定した。 ・地区内広報での周知、子ども会育成会へ担当地域の家庭へチラシの配布を依頼した。 【共催団体等】 ・子ども会育成会、体育協会、福祉ひろば	【評価と反省】 ・参加した子ども達は、広い体育館で思い切り体を動かし、ベタンクやドッチビーなどの種目を楽しみ、交流を深めることができた。 ・当初計画に無い事業であったが、急遽企画・立案、関連団体と調整した。連携して事業を行い良い結果を出せた。 【今後の方針】 ・子ども達に好評であったため、来年度も実施を検討したい。		
夏休み子どもひろば 学習ひろば	8月5日 8月14日 8月17日	3回	子育て	青少年	8人	【内容】 ・福祉ひろばを学習スペースとして開放した。 【ねらい】 ・夏休み期間中の小中学生を対象とした学習支援。	【準備過程】 ・様々な行事が中止となる中、子ども会育成会との意見交換の中で開催が決定した。 ・地区内広報での周知、子ども会育成会へ担当地域の家庭へチラシの配布を依頼した。 【共催団体等】 ・子ども会育成会、福祉ひろば	【評価と反省】 ・今年度、新たな試みとして実施してみたが、利用者が少なかった。周知不足であったり、地区住民のニーズに沿った実施内容でなかった可能性もある。 ・当初計画に無い事業であったが、急遽企画・立案、関連団体と調整した。連携して事業を行ったが良い結果とまではいかなかった。 【今後の方針】 ・子ども会育成会と協議し、ニーズを捉えた他の事業を検討したい。		
秋のマレットゴルフ大会	9月28日	1回	地域事業 (体育)	成人	20人	【内容】 ・アルプス公園マレットゴルフ場で大会を開催した。 【ねらい】 ・マレットゴルフを通じて地区住民の健康増進と親睦を図る。また競い合うことで技術の向上を図る。【スポーツ】 【福祉健康】	【準備過程】 ・体育事業実行委員会で企画検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・体育協会	【評価と反省】 ・3密を避けながらの実施ではあったが、マレットゴルフを通じて、運動不足解消と親睦を深めることができた。 【今後の方針】 ・地区体育事業の推進のため継続して実施したい。		
秋のウォーキングと 食体験	10月28日	1回	福祉健康	成人	20人	【内容】 ・国営アルプスあずみの公園でウォーキングと食体験として竹巻パン作りを行った。 【ねらい】 ・国営アルプスあずみの公園でのウォーキングと地元食材を使用しての食体験を通じて地区住民の健康増進を図る。 【趣味教養】	【準備過程】 ・食生活改善推進協議会及び体育協会と企画を検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・食生活改善推進協議会、体育協会、福祉ひろば	【評価と反省】 ・園内をウォーキングしながら、ガイドの案内と説明を受けれたため、樹木等についても学ぶことができた。 ・食体験の竹巻パン作りも参加者に好評だった。 ・普段あまり関わりを持たない2団体との合同事業を実施する事ができた。親交を深めることができて好評だった。当初は心配したが良い結果を出せた。 【今後の方針】 ・食生活改善推進協議会と連携して実施した視察研修を通じて、今後も食育事業の充実を図りたい。		○
秋の視察研修 「日本聴導犬協会視察」	11月13日	1回	人権平和	成人	11人	【内容】 ・日本聴導犬協会を視察し、聴導犬や介助犬の現状や育成活動等についての説明を聞き、訓練犬のデモンストラーションを見学した。 【ねらい】 ・聴導犬や介助犬を通して、障害者への知識と理解を深める。	【準備過程】 ・町内公民館長会と企画を検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・町内公民館長会、人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、参加定員をバスの乗車定員の半数としたため、参加者が例年より少なくなってしまった。 ・盲導犬は知っているが、聴導犬の活動を知らない参加者が多く、聴導犬について学ぶ良い機会となった。 【今後の方針】 ・共生社会への理解を深めるため、学習の機会を検討したい。		

令和2年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
文化伝承講座 まゆ玉を作ってみよう	1月11日	中止	地域事業 (文化)	青少年	0人	【内容】 ・まゆ玉つくりの体験 【ねらい】 ・小正月の伝統行事「三九郎」を子ども達へと伝承するため、1年の無病息災を願い三九郎の火で焼いて食べる団子まゆ玉の実習を行うもの。	【準備過程】 ・周知、参加者の取りまとめは子ども会育成会に依頼した。 【共催団体等】 ・子ども会育成会、食生活改善推進協議会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルスの影響で、三九郎を中止する地域がある中、地区内で実施するところが2カ所あると知り企画、準備を進めたが、実施直前に感染レベル5となり急遽中止を決定した。 ・コロナ禍での食材を扱う事業開催の難しいことを痛感した。来年度計画へこの苦い経験を活かしたい。 【今後の方針】 ・地区のニーズを捉え企画を検討したい。		○
多文化料理教室 「家でも作れる極上 お店キムチ」	3月15日	1回	人権平和	成人	25人	【内容】 ・地区内にある焼肉店直伝の白菜キムチ造りを体験した。 ・講師 尹也子氏 【ねらい】 ・食文化を通じて他国への理解を深めるため、外国の料理を実習する。 【人権平和】 【趣味教養】	【準備過程】 ・地区内広報で周知した。 【共催団体等】	【評価と反省】 ・共同作業や試食を行わないようにするなど、講師と事前の打合せを入念に行い、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて実施することができた。 ・コロナ禍で食材を扱う事業が難しい中で開催ができた。コロナ禍でどうなるか分からない状況でも計画を立て、「あきらめない」事で良い結果を出すことができた。 【今後の方針】 ・食を通して他国の文化を学ぶ講座を今後も検討していきたい。		○
いきいき百歳体操	6月16日～ 3月30日	26回	福祉健康	成人	454人	【内容】 ・おもいを使った筋力運動「いきいき百歳体操」を開催した。 【ねらい】 ・地区住民の介護予防と健康増進を図る。また、定期的に開催すること、参加者相互の仲間づくり・生きがいづくりの場とするもの。	【準備過程】 ・地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、茶話会はず、体操のみの実施ではあったが、毎回定員に近い参加があり、住民の体力維持と健康増進に対する意識の高さを感じた。 【今後の方針】 ・来年度からは福祉ひろばのサークルとして自主活動を行うことになった。		
初めてのデジカメ講座	5月20日～ 2月17日	6回	趣味教養	成人	67人	【内容】 ・デジタルカメラでの撮影方法等を学ぶ講座を開催。学習会4回、撮影会2回実施した。 ・新型コロナウイルス感染防止のため5月と6月開催の講座は中止した。 ・講師 宮島幹治氏 【ねらい】 ・デジタルカメラでの撮影技術の向上及び視聴覚委員の人材発掘と育成を図る。	【準備過程】 ・公民館視聴覚委員会で企画運営を行った。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・公民館視聴覚委員会	【評価と反省】 ・新聞に募集記事が掲載されたことにより参加者が増え、講座に活気が出た。 ・参加者の技術レベルやカメラの機種等がそれぞれ違うため、講座内容を決める際、苦慮している。 【今後の方針】 ・写真撮影の楽しさを知ってもらえるよう、技術レベルに応じた講座を検討したい。		
初めてのデジカメ講座 写真展	2月26日～ 3月19日	1回	趣味教養	その他	—	【内容】 ・初めてのデジカメ講座参加者による写真展をMウイングふれあいロビーで開催した。 【ねらい】 ・参加者の活動成果を発表する場として開催するもの。 ・講座の存在を知ってもらい、講座への参加に繋げたい。	【準備過程】 ・視聴覚委員会で企画を検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・公民館視聴覚委員会	【評価と反省】 ・作品を展示することにより、写真撮影に対するモチベーションが上がり、技術向上へとつながっている。 【今後の方針】 ・活動発表の場は必要であるため、今後も企画していきたい。		
健康講座 「かんたんストレッチ」	通年	14回	福祉健康	成人	219人	【内容】 ・健康運動指導士から転倒予防や筋力維持のための正しいストレッチ方法を学んだ。 ・新型コロナウイルス感染予防のため4月、5月、1月の計6回中止した。 ・講師 荒井真理氏 【ねらい】 ・運動初心者向けの講座として開催し、定期的の実施することで運動習慣を身に付け、健康への意識向上を図る。	【準備過程】 ・講師と職員で企画を検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・5月まで講座を中止していたため、6月の再開後は、参加者の様子を見ながらプログラムを変更して、体力回復に向けたプログラムを実施した。10月以降は筋力アップの体操を増やし、徐々にコロナ前のプログラムに近づけることができた。 【今後の方針】 ・体力維持ができるよう、講師にプログラムの内容を相談しながら、実施していきたい。		
子育て応援講座 「すくすくひろば」	通年	11回	子育て	家庭教育	171人	【内容】 ・未就学児と保護者を対象に、英語や親子体操、季節の行事などを取り入れ毎月異なるテーマで、学びや遊びを実施した。 ・12月は食生活改善推進協議会が手作りおやつをプレゼントとして配付した。 ・新型コロナウイルス感染予防のため3回中止した。 【ねらい】 ・就学前の子どもと保護者が気軽に交流できる場を設け、子育ての不安や悩み事が相談できる場として、子育て支援の推進を図る。【福祉健康】	【準備過程】 ・職員で企画を検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・民生児童推進協議会、食生活改善推進協議会、福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は事前申込制とした。また、3密を回避すべく参加定員を設定したため、例年に比べ参加者は少なくなった。人数は少ないながらも親子で楽しく交流する機会となった。 【今後の方針】 ・子育て世代への支援は必要とされる事業であるため、テーマを検討して今後も実施していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
地域だよりの発行	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	—	【内容】 ・地区内の情報や公民館と福祉ひろばの講座案内等を掲載した「地域だより」を、広報まつもとの配布に合せ毎月発行した。 【ねらい】 ・町会連合会、地区団体、公民館、福祉ひろば等の諸活動について周知を図り、地域の活性化に向ける。	【準備過程】 ・町会連合会広報委員会で紙面の編集と発行を行った。 【共催団体等】 ・町会連合会	【評価と反省】 ・今年度は毎号、新型コロナウイルス感染拡大防止の注意喚起を掲載し啓発活動を行った。 【今後の方針】 ・より多くの地域住民に見てもらえるようにするため、広報委員会で検討をしていきたい。		
公民館報の発行	5月～3月	6回	公民館委員会・各種会議等	その他	—	【内容】 ・「第一地区版」公民館報を2カ月毎に編集発行した。 【ねらい】 ・地区の諸活動を記録、共有するため、地区住民から選出された委員によって編集を行う。	【準備過程】 ・発行月毎に館報委員会を開催し、内容等を検討した。 ・視聴覚委員会は、地区の「今」を写真として記録するため、季節の写真や行事等の写真を撮影し掲載した。 【共催団体等】 ・館報委員会、視聴覚委員会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルスの影響で様々な行事が中止となり、掲載記事に苦慮しながらも委員それぞれが、現状を把握する中で工夫を凝らして記事を掲載することができた。 ・各委員とは、館報委員会以外でもコミュニケーションを図り調整した。毎号発刊日を厳守することができた。 【今後の方針】 ・地区内の諸活動を幅広く掲載できるよう、紙面の充実を図りたい。		
五部門委員会	通年	63回	公民館委員会・各種会議等	成人	263人	【内容】 ・運営、館報、文化、視聴覚、事業内容に応じた委員会を組織し、公民館事業を企画、運営、評価等を行った。 【ねらい】 ・住民主体の公民館活動を推進する	【準備過程】 ・委員会ごとに随時開催した。	【評価と反省】 ・今年度は当初の計画通りに委員会主催事業等を実施することができなかった。 【今後の方針】 ・状況を見ながら、委員会活動の充実を図っていきたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】

各種公民館事業の実施に際し、前年度事業をベースにして、それぞれの講座及び事業を継続実施した。前年度の反省を踏まえて各種事業のより一層の充実と、新規講座等開設を重点目標として取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、講座の前に消毒や換気を徹底した。また、コロナ禍で在宅時間が増えており、家での時間を充実させるための「そば打ち講座」、「コーヒーの淹れ方講座」等も企画し取り組んだ。

地域づくりセンターが作成した「地区診断書」、「地域福祉計画」を踏まえて、月1回の地区担当職員連絡会議に参加し、地域の課題を議論しながら地域づくりの一端を担っていく。また、新型コロナウイルス感染症の影響で地域経済が停滞してしまったため、地域活性化のためにまち歩きマップの作成に重点を置いた。

評価・反省等

通年実施している講座については、参加者と講師の関係も良く、講座参加者からはとても楽しい講座だから継続実施して欲しいとの声が聞かれている。しかし、長年続く講座はマンネリ化や、サークル化が難しくなるため、来年度以降サークル化の話を進めていきたと考えている。

令和元年度から、第二地区健康づくり推進委員会と公民館によるコラボ講習会（ポッチャ大会）を開催することができた。多くの地域住民の参加をいただいた。また開催してほしいなどの参加者からの声も聞かれ、大成功に終えることができた。次年度以降の協力体制も確認できていることから、内容を検討しながら継続実施していきたい。

令和2年度、初めて開催したコーヒー講座も大好評だったため来年度も新型コロナウイルスの状況を見て開催していきたい。

コロナ禍で各講座の中止、再開において連絡等が不十分で利用者への周知がうまく伝わらず、迷惑をかけたが、地区以外の利用者も多く、電話での案内、通知においては業務や経費の無駄もある。今後は電子媒体を活用するなど効率化を図っていきたい。（一例として連絡網を作成した）

地区担当職員連絡会議に参加し、関係職員と地域の課題を議論し、地区診断書と地域福祉計画の完成に協力できた。地域の課題が見えた中で、今後、公民館として何ができるのか、何をしていけばよいか等、公民館5部門委員会の委員と一緒に考えていきたい。

また、第二地区まち歩きマップ（喫茶・軽食店版）は地区住民や掲載店舗から大変好評であり、地域の活性化を図る事ができたと思う。今後も地域活性化のために考案していきたい。

新型コロナウイルスの影響で地区盆踊大会と文化祭を開催することができなかった。来年度は感染予防対策を講じて開催できるように計画したい。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種 会議 等・
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数			2			8	3		1		1		2
延べ参加人数			26			1063	56		6		35		188

	C S	食 育
事業数		
延べ参加人数		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
歌で健康力UP講座	毎月第2.4 火曜日	16回	趣味教養	成人	405人	【内容】 木次由美子先生を招いて、懐かしい曲を中心にオリジナル曲「第二地区讃歌」も歌いながら、発声により健康促進を図る。 【ねらい】 発声による健康促進と、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 公民館だよりで、地域住民へ周知 講師謝礼準備	【評価と反省】 大人気講座。第二地区オリジナル曲「第二地区讃歌（せせらぎに寄せて・・・）」は、当講座から生まれた曲である。今では、第二地区の各種行事で地域住民が歌い、地域に定着している定番の地区オリジナル曲となっている。4月～5月及び1月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止を余儀なくされてしまった。 【今後の方針】 長年続いている講座であることから、リーダーを養成し、独立サークルとして行くことも視野に入れていきたい。		
にこにこ体操	毎月第2.4 水曜日	15回	趣味教養	成人	218人	【内容】 ゆっくりとしたストレッチを中心に、健康増進を目的とした体操教室 【ねらい】 高齢者の健康促進、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 公民館だよりで地域住民へ周知 講師謝礼準備	【評価と反省】 参加者は高齢者が多く、日常生活の中で無理なく健康管理ができると好評。 高齢者の転倒防止や膝・腰痛予防にもなり、人気の講座として定着している。4月～5月及び1月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止を余儀なくされてしまった。 【今後の方針】 長年続いている講座であることから、リーダーを養成し、独立サークルとして行くことも視野に入れていきたい。		
楽しいパソコン講習会	毎月第1.3 水曜日	18回	趣味教養	成人	166人	【内容】 高齢者を中心に、ゆっくりとしたペースで繰り返し教えるパソコン講座。 【ねらい】 高齢者の生きがいづくりや認知症予防、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 公民館だよりで地域住民へ周知 講師謝礼準備	【評価と反省】 ゆっくり丁寧であり一人ひとりにやさしく指導していただいております。参加者から大変好評をもらっている教室。指先を動かしたり、考えたりしながら、親睦を深めながら実施できている。4月～5月及び1月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止を余儀なくされてしまった。 【今後の方針】 長年続いている講座であることから、リーダーを養成し、独立サークルとして行くことも視野に入れていきたい。		
やさしい手話講座	毎月第1.3 火曜日	17回	趣味教養	成人	185人	【内容】 講師を招き、テキストを中心に手話を学ぶ。 【ねらい】 日常会話ができるようになることはもちろん、災害時等、有事の際にも役立てよう手話を習得することを図る。	【準備過程】 公民館だよりで地域住民へ周知 講師謝礼準備	【評価と反省】 手話を通じて聴覚障害者の方々とのコミュニケーションが深められている。また、継続実施してきていることにより、受講者の手話能力レベルが上がってきており、日常会話等ができるようになってきている。 受講者の固定化が見られるため、今後は、新しい受講者の確保に努めていきたい。4月～5月及び1月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止を余儀なくされてしまった。 【今後の方針】 継続実施していきたい。		
松本押し絵鑑講習会	6月18日 8月6日	6回	趣味教養	成人	53人	【内容】 地区内在住の三村隆彦氏（ペラミ人形店）を講師として招き、本格的な松本押し絵鑑を作製する。 【ねらい】 松本に伝わる伝統工芸「松本押し絵鑑」を学び、その文化と技術を伝承することを図る。	【準備過程】 公民館だよりで地域住民へ周知。前年参加者へ声掛け 講師謝礼準備	【評価と反省】 たもとの娘を題材に押し絵を作製した。 参加者の技術に差があるため、全員が同じ作業工程に進むことはできなかったものの、参加者同士が助け合うなどして、一つの作品を全員が完成させることができ有意義であった。 【今後の方針】 伝統文化伝承という意義を考慮し、今後も継続実施していきたい。		
子ども会育成会夏の事業	7月30日	1回	子育て	青少年	14人	【内容】 将来なりたい自分を絵と文章で表す「夢新聞」を募集する。 【ねらい】 新型コロナウイルスの影響で子ども達を集めて事業を実施することができないため代替として夢新聞を募集し展示する。	【準備過程】 チラシを全戸配布して夢新聞の募集 【共催団体】 子ども会育成会	【評価と反省】 14作品が公民館に集まり展示をした。公民館利用者から「かわいい絵だね」など声をかけていただいた。また、皆微笑ましく観覧していた。 【今後の方針】 子ども会育成会と協議し、実施内容を検討しながら、継続実施へ向け調整していく。		
そば打ち講座	10月9日 10月30日	4回	趣味教養	成人	14人	【内容】 牧田先生を講師に招き、本格的な手打ちそばを打つ。 【ねらい】 「自分でそばを打って食べる」を基に一とおりの行程作業が全てできるように学ぶ。また、地域住民との親睦を深めることを図る。	【準備過程】 講師依頼 チラシを作成し、地域住民へ周知 講師謝礼準備	【評価と反省】 講師から丁寧な説明をいただけたことにより、参加者全員が、作業工程を進められ、自作のそばを打つことができた。全員、大変満足していた。また、参加者同士で、和気あいあいと実施でき親睦も深まった。 【今後の方針】 今回参加した参加者の更なる技術の向上、及び新規参加者を見込み、今後も継続実施していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
マレットゴルフ&ウォーキング大会	10月8日	1回	スポーツ	成人	16人	【内容】 マレットゴルフ ウォーキング 【ねらい】 地区住民の親睦を深め、健康増進を図る。	【準備過程】 チラシを作成し、地域住民へ周知 公用バス確保 賞品準備 【共催団体】 第二地区福祉ひろば	【評価と反省】 天気が悪くマレットゴルフを中止し代替として体育館でニュースポーツを行った。ニュースポーツはスカットボール、ラダーゲッター、卓球を行い、心と身体がリフレッシュできたと喜びの声が聞けた。 【今後の方針】 健康増進には、楽しむことが大事であることから、参加者の声を大事にし、今後も継続実施していきたい。		
上高地ウォーキング大会	10月15日	1回	スポーツ	成人	23人	【内容】 上高地のウォーキングコース約8kmを歩く。 【ねらい】 地区住民の親睦を深めながら、健康増進を図る。	【準備過程】 ウォーキング会場の選定 チラシを作成し、地域住民へ周知 公用バス確保 講師の依頼 【共催団体】 第二地区福祉ひろば	【評価と反省】 紅葉シーズンに実施したことで、大変綺麗な紅葉を満喫しながらウォーキングが実施でき、参加者からは大好評であった。楽しく、清々しく歩けたことにより、心と身体のリフレッシュが図れた。 【今後の方針】 高齢者にとっては大変長い距離のため、今回は、補助員として職員4名が参加した。今後は地区住民の中でリーダーを育成し住民が主体となって運営し継続していきたい。		
歴史文化講演会	11月15日	1回	地域事業(文化)	成人	35人	【内容】 馬場家住宅の窪田館長を講師として招き、地域の歴史や町名の由来を講演していただく。 【ねらい】 第二地区の歴史文化の継承	【準備過程】 チラシを作成し、地域住民へ周知。 歴史文化継承委員会の発足 講師依頼 【共催団体】 ・歴史文化継承委員会 ・第二地区子ども会育成会 ・第二地区地域づくり協議会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 数年前まで第二地区歴史史談会として活動していた経過があり、令和2年度に歴史文化継承委員会として再出発した。その記念行事として今回、講演会を実施した。 参加者からは、「それぞれの町名由来や歴史について講師から説明を聞き、改めて自分の住む地区について考えることができた」と大変好評であった。 【今後の方針】 歴史文化継承委員会を中心に第二地区の歴史探訪等、あらたな歴史文化継承事業を実施していきたい。		
干支の押し絵鑑講習会	11月19日	1回	趣味教養	成人	8人	【内容】 地区内在住の三村隆彦氏(ペラミ人形店)を講師として招き、来年の干支を押し絵鑑で作製する。 【ねらい】 松本に伝わる伝統工芸「松本押し絵鑑」を学び、その文化と技術を伝承することを図る。	【準備過程】 公民館だよりで地域住民へ周知。前年参加者へ声掛け。 講師依頼 講師謝礼準備	【評価と反省】 長年続いている講習会で、参加者からは大変好評をいただいている。しかし、参加者が固定化してきている。さらに、12年以上続いているため、12支が揃った方は、参加を辞めていく傾向にある。新規参加者の確保に向け、周知方法等を検討していく必要がある。 【今後の方針】 大事な伝統文化伝承という意義を考慮し、今後も継続実施していきたい。		
ポッチャ講習会	12月4日	1回	スポーツ	成人	17人	【内容】 ポッチャ指導員を招き、ポッチャを体験する。 【ねらい】 パラリンピックの正式種目でもあるポッチャを体験し、ポッチャの楽しさを知り、参加者同士の親睦を深める。	【準備過程】 健康づくり推進委員会と日程調整。 講師(指導員)の手配。 チラシを作成し、地域住民へ周知。 ポッチャの道具手配。 【共催団体】 第二地区健康づくり推進委員会	【評価と反省】 初めてポッチャに触れた参加者がほとんどであった。参加者からは、思ったより難しかった、とても楽しかった等、評価が高かった事業であった。健康づくり推進委員会と共催事業であったが、連絡を密に取り合い大成功であったと感じている。 【今後の方針】 健康づくり推進委員会と共催して事業を継続していく。講座内容については、今後検討していく。		
うまいコーヒーの淹れ方講座	2月14日 2月20日	2回	趣味教養	成人	14人	【内容】 地区内在住の丸山昌巳氏(和かふえびいんず店主)を講師として招き、コーヒーに関する基礎知識を学び、実際に淹れてみる。 【ねらい】 新型コロナウイルスの影響で外出する回数が減り、家にいる時間が増えているなか、少しでも家出の時間が充実するように美味しいコーヒーの淹れ方を学ぶ。	【準備過程】 講師依頼 テキストの作成 講師謝礼準備 チラシの作成	【評価と反省】 今回第二地区公民館で初めて開催する講座であったが募集人数4人に対して8人の応募があり抽選となった。講座内容も好評で皆真剣に講師の説明を聞いていた。 参加者からもとてもためになったとの感想をいただいた。 【今後の方針】 今回大変好評であったため新型コロナウイルスが収束してから再度開催した。		
子ども会育成会冬の事業	3月18日	1回	子育て	青少年	12人	【内容】 第二地区の文化財の写真が載った絵ハガキを子どものいる家庭に配布して親族や友人に手紙を送る。 【ねらい】 新型コロナウイルスの影響で遠くにいる親族や友人に現況をハガキに書いていただき元気な様子などを伝えてもらう。	【準備過程】 チラシを全戸配布 はがきの写真撮影 はがき等封入作業 【共催団体】 子ども会育成会	【評価と反省】 配布した家庭以外からもチラシを見て欲しいといった方も多くいた。大変好評だった。 【今後の方針】 子ども会育成会と協議し、実施内容を検討しながら、継続実施へ向け調整していく。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
第二地区まち歩きマップ（喫茶・軽食版）の作成	10月～3月	随時	その他	成人	6人	【事業内容】 第二地区の喫茶店と軽食店を紹介する「第二地区まち歩きマップ」を発行する。 【ねらい】 第二地区は空き家や空き店舗を改装したカフェや軽食店が多いが、近くの大型商業施設に車で行かう人の通過点になっている。そこでまち歩きマップを作成して、観光客や松本市住民などが第二地区を訪れるきっかけとし地域の活性化を図る。	【準備過程】 マップの構成 店舗情報の収集 店の取材 印刷会社選定 マップの校正 【共催団体等】 地域づくり協議会	【評価と反省】 合計6,000部を納品し、第二地区住民に全戸配布、各店舗に100部、観光案内所、各センター長・主事に配布した。各新聞社に取り上げていただき、他地区の方からマップがほしいといった依頼もいただいた。店舗からマップを見て訪れたといった客もあり、第二地区に大きな反響を生んだ。 【今後の方針】 今後は、第二地区まち歩きマップ（歴史、文化版）等を企画していきたい。		
公民館五部門委員会	通年	17回	公民館委員会・各種会議等	成人	88人	【内容】 「公民館運営委員会」「館報編集委員会」「体育委員会」「図書・視聴覚委員会」「文化委員会」の各種会議		【評価と反省】 定期的に開催できた。公民館の運営や事業等に関する意見交換ができた。		
地区担当職員連絡会議	通年	11回	公民館委員会・各種会議等	成人	100人	【内容】 各種職種の担当者（市役所関係部署、地域づくりセンター、中央包括支援センター等）が月1回集まり、地域福祉の課題解決に向けた会議 【ねらい】 地域福祉の課題を共有しながら解決策を議論し、より住みやすい第二地区を目指していく。		【評価と反省】 地域の課題を共有することにより、どうしていけば住みよい第二地区になっていくかを議論することができた。このことにより、第二地区の地区診断書、地域福祉計画が完成し、さらに今後の議論につなげることが出来るようになった。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】

- 1 コロナ禍でも感染症対策を徹底して地区事業・公民館講座を実施し、地区住民の「学びの場」を確保する。
- 2 Z o o mによるビデオ通話やP a y P a yによる電子決済サービスが普及しているが、地区住民（特に高齢者）の中にはそもそもスマートフォンに対する知識がなく、利用できていない人も多い。コロナ禍による外出自粛から住民同士の交流が少なくなっていることから、これらのツールを利用し交流の幅が広がるよう公民館でもスマートフォンの使い方講座を実施した。
- 3 第三地区の高齢者は認知症患者が増加していること、慢性的な運動不足が課題となっている。体育委員会で協議し、認知症講座やウォーキング講座の企画・実施をした。

評 価 ・ 反 省 等

・新型コロナウイルスの感染が落ち着いた時期を見計って講座を企画・実施したため、募集期間が短くなってしまった。おおよその年間予定を立て、慌てずに企画・実施ができるよう工夫をしていきたい。

・コロナ禍でもすべての事業を中止するのではなく、できる限りの対策を講じ行事等開催した。特に作品展については事前にコロナ対策に関する広報を行ったり、当日手指消毒を呼びかけたりなどコロナ対策を徹底したことで、ほぼ例年どおりの来場者数となった。

・講座に参加する地区住民が固定化している。地区支援企画会議などによる情報から地区住民の課題とニーズを把握し、幅広い層に興味を持ってもらえるよう多種多様な講座を企画していきたい。また企画する講座がどの層に需要があるのかを明確にし、その人たちが参加しやすい環境を整えて開講できるように努めたい。

・今年度開催した講座については、外出自粛などの制限もありなかなか人が集まらないこともあった。特に11月に開催したウォーキング講座は定員を例年より少なくしたこともあり、3名しか応募がなかった。定員が少ないと応募の段階で諦めてしまうといった声もあったため、「人数を制限する」対策ではなく、「ある程度人数のいる中で徹底したコロナ対策を講じる」ことに重点を置きたい。

・高齢者がスマートフォンを使いこなせるよう、まずは基本操作や利用頻度の高いL i n eの使い方について講座を実施した。概ね好評だったが、参加者の中でも能力に差がありスムーズに進行することができなかった。ビデオ通話講座やP a y P a y講座を企画したが感染拡大により中止となったため、来年度は今年度の反省を踏まえ開講したい。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公 民 館 委 員 会 ・ 各 種 会 議 等
	平 人 和 権	福 健 祉 康	子 育 て	環 境	文 地 化 域	教 趣 養 味	ス ポ ー ツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数		5		1	5	5		1	1		1	1	5
延べ参加人数		103		100	232	59			100		480	500	231

	C S	食 育
事業数	3	1
延べ参加人数	250	12

令和2年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
源池小学校七タ人形づくり支援	7月20日	1回	地域文化	青少年	50人	【事業内容】 地区住民が1年生に七タ人形のつくり方を教える。 【ねらい】 ・児童に伝統文化を知ってもらう。 ・児童と地区住民との交流	【準備過程】 学校側から依頼を受け実施	【評価と反省】 今までは中学生に教えていたが、今年は小学校1年生の先生から依頼があった。講師の先生にご協力いただき、パーツを貼る作業だけで完成するよう準備に時間をかけていただいた。講師が高齢であるため、他の若い人材を探す必要がある。	○	
上高地自然観察会	7月26日	1回	福祉健康	成人	30人	【事業内容】 自然観察指導員の資格を持つ地区住民にガイドをしていただきながら、上高地でウォーキングを実施した。 【ねらい】 ・参加住民同士の交流 ・運動不足の解消 ・自粛疲れのリフレッシュ	【準備過程】 公民館を中心に企画、実施。	【評価と反省】 外出自粛が落ち着いた頃に開催したため、30人以上が申し込みがあった。参加者の運動不足の解消と気持ちのリフレッシュができた。開催前に地震・大雨となり、講師・参加者からは開催の有無に関する問い合わせが多々あったため随時状況がわかるような工夫をしていきたい。		
スマホアプリ講座	9月23日	1回	趣味教養	成人	13人	【事業内容】 スマートフォンの基礎知識、LINEの使い方、ZOOMでミーティングに参加する方法を学ぶ。 【ねらい】 ・スマートフォンの操作に慣れてもらう。 ・コロナ禍で人との会話が難しい中、直接会話しな方法（LINE、ビデオ通話）で住民同士の交流を図る。	【準備過程】 生活・文化委員会を中心に企画、実施。	【評価と反省】 スマホをいつも使っている人、全く使っていない人との差が大きかった。実践しながらの講義だったため、他の人待つ時間ができてしまった。中には分からない箇所を聞くためにだけに訪れた人もいたため、今後は個別相談会なども検討していきたい。		
フルーツカービング講座	10月9日 10月23日	2回	趣味教養	成人	10人	【事業内容】 地区住民に講師を依頼し、初心者でも短時間でできるフルーツカービングの技法を学ぶ。 【ねらい】 ・参加住民同士の交流 ・文化・教養の向上	【準備過程】 公民館を中心に企画、実施	【評価と反省】 参加者は少なかったが、講座終了後は大半の参加者がカービングナイフを購入し個人での作製していたことから、趣味・教養の向上が図れたといえる。今後は講座を継続しサークル化も検討したい。		
清水中学校まちあるき	10月29日	1回	地域文化	青少年	150人	【事業内容】 清水中学校からの依頼で、1年生の子どもたちを対象にした地区周辺のフィールドワークを実施した。 【ねらい】 第三地区の歴史について子どもたちに学んでもらう。	【準備過程】 第三地区まちづくり協議会を中心に企画、実施	【評価と反省】 建築家や都市計画家を講師に招き、10名前後のチームに分かれ第三地区を巡った。本事業後は、各生徒が地域のことについて自ら調べる「地域学習」も行われ、生徒たちの地域への興味・理解が深まったといえる。		
第三地区作品展	11月7日 11月8日	1回	地域事業（文化）	成人	480人	【事業内容】 地区住民やあがたの森周辺の小中学校、保育園、幼稚園、児童センターの生徒が作製した多種多様な作品を展示する。 【ねらい】 ・住民同士の交流。 ・作品を通じた児童・生徒との交流の場を設ける。	【準備過程】 町内公民館長会を中心に企画、実施 【共催団体等】 第三地区公民館	【評価と反省】 地区住民が主体となるイベントは今年度初めてであったこと、また3年ぶりにあがたの森文化会館での開催となったため、多くの地区住民が訪れた。今年度はステージの上に菊を展示したことで、住民同士の会話が生みきかけにもなった。作品展へ出品する人が高齢化しているため、講座を開講するなど作品の出展数が減少しないよう工夫をしたい。		
駒ヶ根高原ウォーキング講座	11月15日	1回	福祉健康	成人	13人	【事業内容】 駒ヶ根高原こまき橋周辺と、光前寺境内のウォーキングを実施した。 【ねらい】 ・地区住民の健康促進 ・地区住民同士の交流	【準備過程】 体育委員会を中心に企画、実施	【評価と反省】 定員を10名（抽選）にして募集したところ、3名しか応募がなく、ほとんどが体育委員となってしまった。定員が少なすぎると、申し込む前に諦めてしまう人が多いようなので、今後募集方法を改善していきたい。		
苔テラリウム講座	11月18日	1回	趣味教養	成人	9人	【事業内容】 苔を使って自宅で楽しめるテラリウムの技法を学ぶ 【ねらい】 ・参加者同士の交流 ・文化・教養の向上	【準備過程】 生活・文化委員会を中心に企画、実施	【評価と反省】 初めて体験する人が多く、講座終了後自分で材料を集めて作製する参加者もいた。花に関する講座は例年人気があるため、来年度も継続したい。		
正しい靴の選び方講座	11月25日	1回	福祉健康	高齢者	30人	【事業内容】 シニアシューフィッターを講師に招き、高齢者向けの正しい歩き方・靴の選び方について講演を行った。 【ねらい】 ・いつまでも自分の足で歩けるよう、靴選びに関する知識を深めてもらう。	【準備過程】 公民館を中心に企画、実施 【共催団体等】 ・第三地区福祉ひろば ・東部包括支援センター	【評価と反省】 普段気になってはいるが知る機会がなかった靴の選び方をプロから学べるということで、多くの方に興味を持っていただけた。また東部包括支援センター・福祉ひろばでも募集・申込受付を依頼したため、普段公民館を訪れない人も参加した。		
押絵雛で来年の干支を作ろう	11月30日	1回	地域文化	成人	10人	【事業内容】 伝統工芸である押絵雛で、来年の干支である「丑（赤べこ）」を作成する。 【ねらい】 ・伝統文化の継承 ・地区住民同士の交流	【準備過程】 生活・文化委員会を中心に企画、実施	【評価と反省】 講座終了後、参加者から来年度もやりたいという声が多かった。製作時間を3時間としていたが、予定を大幅に超えてしまったため、最後は自宅に持ち帰った人もいた。問題点を改善しつつ、来年度も開講したい。		
護身術から学ぶ上手な転び方講座	12月7日	1回	福祉健康	高齢者	30人	【事業内容】 護身術の先生を講師を招き、ケガをしない起き上がり方・転び練習・転倒予防の体操などを行う。 【ねらい】 ・高齢者の転倒による事故の防止 ・日々の生活で転倒予防運動を実施し、転倒予防・健康促進を図る。	【準備過程】 公民館を中心に企画、実施 【共催団体等】 ・第三地区福祉ひろば	【評価と反省】 募集期間が短かったため、ポスターを作成し公民館・ひろば・中央公民館に設置するなど幅広く広報を行った。「護身術」という言葉に興味を持って参加した人もいたため、今後も同じ講師での講座を企画していきたい。		

令和２年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
しめ縄・お飾りづくり講座	12月19日	1回	地域文化	成人	10人	【事業内容】 お正月に向け、しめ縄・お飾りの作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・伝統文化の継承 ・参加住民同士の交流	【準備過程】 公民館を中心に企画、実施	【評価と反省】 毎年開講しているため、リピーターの参加が多い。文化継承のため、今後は子どもたちの参加を促していきたい。		
まゆ玉づくり講習会	12月20日	1回	地域文化	その他	12人	【事業内容】 第三地区周辺の親子を対象に、三九郎の時に焼く「まゆ玉」の作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・伝統文化の継承 ・親子の親睦を深める。 ・参加者同士の交流	【準備過程】 公民館を中心に企画、実施	【評価と反省】 昨年恒例で開講しているが今年は三九郎当日にまゆ玉の持ち込みが禁止されたため、自宅で飾れるよう作製した。保育園児から中学生まで幅広く参加してもらえた。講師との打ち合わせ不足でスムーズに進まなかったところもあったため、来年度は注意したい。		○
お正月用フラワーアレンジメント講座	12月25日	1回	趣味教養	成人	10人	【事業内容】 フラワーアレンジメントの技法を学びながら、お正月に飾る作品を制作する。 【ねらい】 ・文化・教養の向上 ・参加住民同士の交流	【準備過程】 生活・文化委員会を中心に企画、実施	【評価と反省】 毎年恒例の講座だが、今年から講師が変わったため新鮮な気持ちで生けることができたという好評であった。リピーターの参加者が多いが、今年は日が悪くなかなか集まらなかった。来年度は新規参加者の獲得に努めたい。		
ハザードマップ勉強会（中止）	1月29日	中止	防災	成人	0人	【事業内容】 生活・文化委員を対象にして、第三地区のハザードマップを読み解きながら防災について学ぶ。 【ねらい】 ・地域住民の防災への意識を高める。	【準備過程】 生活・文化委員会を中心に企画、実施	【評価と反省】 生活・文化委員の講座の意欲・関心を高めるため企画をした。新型コロナウイルス感染拡大により中止した。		
第三地区公民館利用者懇談会	2月16日 2月17日	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	45人	【事業内容】 第三地区公民館利用団体を対象に公民館の使い方の再確認と意見交換を実施した。 【ねらい】 ・公民館の利用ルールの再確認 ・公民館、利用団体との意見交換・情報共有	【準備過程】 公民館を中心に企画、実施	【評価と反省】 毎年開催しているが、今年度は感染防止対策のため、高齢者や基礎疾患を持っている方などの参加を控えていただいた。公民館から利用にあたってのお願いを伝え、また利用者から公民館の改善点を出してもらいなど活発な意見交換の場となった。		
野菜づくり困りごと相談会	3月25日	4回	趣味教養	成人	17人	【事業内容】 「野菜づくりの基礎知識」に関する講演と、個別で野菜作りのお悩みを講師とワンツーマンで相談する相談会を実施した。 【ねらい】 ・地区住民の農業への関心 ・農業に関する困りごとの解決を手助けする。	【準備過程】 公民館を中心に企画、実施	【評価と反省】 地区外で畑を持っていたり、プランターなどで野菜を育てている地区住民が多かったため本講座を開講した。講演より個別相談に興味がある人の方が多いと思ったため、講演を30分程度としたが、実際は講演だけを聞く人が多かった。他の人の質問を聞きたいという声もあったため、今後の参考にしていきたい。		
源池小学校田植え・稲刈り支援	5月26日 5月27日 9月29日 10月2日	4回	環境	青少年	100人	【事業内容】 小学校内の田んぼを利用し、地区住民が5年生に田植え・稲刈りの方法を教える。 【ねらい】 ・児童たちの農業・自然環境への関心を高める。 ・児童と地区住民との交流	【準備過程】 学校側から依頼を受け実施	【評価と反省】 例年センター長が講師となっていたが異動したため、まちづくり協議会の正副幹事長に依頼した。初めて田植え・稲刈りを体験する生徒も多く、農業に関する関心を高めてもらう良い機会となった。今年度依頼した講師が他業務で多忙であったため、負担をかせってしまった。来年度は地区内のみならず、地区外からも講師となる人材を探していきたい。	○	
健康講座「正しく知ろう認知症」（中止）	2月13日 3月13日（来年度） 4月10日 5月8日	中止	福祉健康	成人	0人	【事業内容】 相澤病院認知症カフェチームを講師に招き、認知症に関する講座を全4回分けて行う。 【ねらい】 ・地区住民の認知症への理解・関心を深めてもらう。 ・認知症に関する正しい知識を得る。	【準備過程】 体育委員会を中心に企画、実施	【評価と反省】 第三地区の認知症が増加していることから企画した。今年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止となったが、来年度再度企画予定である。		
源池小学校・清水小学校家庭科支援	6月～7月	8回	その他	青少年	100人	【事業内容】 地域住民が講師（ボランティア）となり、源池・清水小学校5・6年生にミシンの使い方などの家庭科支援を行う。 【ねらい】 ・生徒と地域住民の交流	【準備過程】 学校側から依頼を受け実施	【評価と反省】 毎年恒例であり、ボランティアの方々も昨年とほぼ同じであったことからスムーズに進んだ。地域住民と生徒との会話が生まれ良い機会となった。講師が高齢化しているため、新しい人材を探していく必要がある。	○	
朝のあいさつ運動	毎週金曜	30回	地域事業（その他）	青少年	500人	【事業内容】 毎週金曜日の朝にあがたの森周辺にある8つの小中学校等と地域住民が朝のあいさつ運動を行う。 【ねらい】 子どもたちの学校や年齢の垣根を超えた交流	【準備過程】 平成25年のあがたの森未来サミットから継続して実施	【評価と反省】 今年度は新型コロナウイルス感染拡大により子どもたちの参加が少なく、地域住民による活動が主となった。本事業が生まれたきっかけである「あがたの森未来サミット」も今年度は開催できず、あいさつ運動への意識が薄くなりつつある。アンケート何らかの形でサミットを継続し、本事業への理解を深めてもらいたい。		
公民館運営委員会	5月～3月	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	48人	【事業内容】 公民館事業の企画、評価		【今後の方針】 委員が主体となれるよう、自主性を尊重した活動を続けていきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
館報編集委員会	4月～3月	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	60人	【事業内容】 館報の紙面構成、編集作業にあたる。				
体育委員会	4月～3月	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	30人	【事業内容】 体育事業に関わる計画立案と実施にあたる。				
生活・文化委員	4月～3月	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	48人	【事業内容】 地区及び住民の生活・文化に関する講座の計画立案と実施にあたる。				

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

- 【方針】
- ・コロナ禍ではあったが、感染症対策を徹底したうえで事業を実施した。
 - ・住民や地域に関わる方々に東部公民館を知ってもらい、また携わってもらえるよう意識しながら事業を企画した。
 - ・各団体と連携・協力し事業を実施した。
- 【主に取り組んだ事項】
- 1 全体講座・認知症講座
各団体主催の各種講座、町会連合会主催の認知症講座（計9回）
 - 2 住民同士の交流を促す事業
ウォーキング講座、豚カツ講座、ワイン講座等
 - 3 住民の防災意識向上を促す事業
防災講座、地区別マップ点検等
 - 4 学校と連携した事業
CSでの書道補助等
 - 5 伝統文化の継承
しめ縄作り講習会、三九郎マップ作成等
 - 6 地域学習テキストの作成

評価・反省等

- ・コロナ禍で予定していた事業が出来ない場合もあったが、文化祭やサークル発表会等地区全体が関わる事業は実施することができた。来年も感染症対策を徹底し計画通り実施していきたい。
- ・レベルアップ講座等の地区団体との共催講座など、企画運営に住民が関わる講座も開催出来た。特に町内公民館を会場に全9回実施した認知症講座の取組みは、普段公民館に来られない方の参加もあり良かった。今後も町内公民館で講座を開催する取組みは継続して実施したい。
- ・地区別防災マップの点検事業や防災講座により、地区住民が防災の重要性を再認識できるような事業ができた。マップ点検は継続的に毎年実施しその都度全戸配布していきたい。
- ・三九郎マップの作製・配布や、青山様・ぼんぼんの周知など、公民館へ来ない方や知らない方でも地域に目を向けるきっかけとなるような事業が出来た。今後も公民館の建物や講座と言う方法にとらわれず、地域で暮らす住民が地域に目を向けるきっかけとなったり、より深く知る事が出来るような事業を実施していきたい。
- ・自分の暮らしている地域にもっと興味や愛着を持ってもらうために地域学習テキストを作成した。地域編、活動編の2冊構成とし、1年かけ完成させることができた。作製する中で、地域の方の力を借りたり、自分自身東部地区について学習する良い機会となった。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種 委員会 等・
	平和 人権	福祉 健康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数	3	2	2	2	5	7		4	8	3	2	1	1
延べ 参加 人数	104	150	25	10	34	89		79	88	95	396		300

	CS	食育
事業数	2	4
延べ 参加 人数		30

令和2年度 事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
食育講座 「高原でわらび収穫体験」 【中止】	5月27日	中止	地域文化	成人	0人	信州の食文化である山菜の一種わらびの収穫体験を通して、食文化を学ぶと共に住民同士の交流を深める。	東部地区町会連合会 地区内諸団体	コロナウイルスにより中止 住民同士の親睦を深める良い場となっているため、来年度以降も実施したい。		○
東部地区総合避難訓練	6月7日	中止	防災	成人	0人	東部地区の防災力向上を目的とする。	東部地区町会連合会 地区内諸団体	コロナウイルスにより中止		
ブロック別バス講座 「近代日本の夜明け 富岡製糸場へ」 【中止】	6月12日 6月22日 7月20日	中止	趣味教養	成人	0人	地区をブロック別に分けてバス見学会を行う事により、普段公民館を利用しない方々にも公民館を利用してもらうきっかけとなるのと同時に住民同士の交流を図るもの	地区内各町会	コロナウイルスにより中止 住民同士の親睦を深める良い場となっているため、来年度以降も実施したい。		
レベルアップ講座① 「ゴミの減量とリサイクル」 【中止】	6月16日	中止	環境	成人	0人	環境業務課職員を講師に招き、環境に係る出前講座を実施するもの	東部地区衛生部	コロナウイルスにより中止 来年度実施したい。		
防災講座 「クロスロードゲーム」	7月7日	中止	防災	成人	0人	危機管理課職員を講師に招き、防災に係る出前講座を実施するもの	東部地区日赤奉仕団	コロナウイルスにより中止 来年度実施したい。		
ウォーク講座① 「夏の福島宿を散策しよう」	7月20日	1回	趣味教養	成人	18人	木曽福島の福島宿へ赴き、健康のためウォーキングを実施するもの		コロナ禍にも関わらず、沢山の方にご参加いただく事ができた。ガイドによる説明もあり、福島宿について学ぶ良い機会となるとともに、健康増進にも繋がった。		
「楽しいラジオ体操」 【中止】	7月26日	中止	趣味教養	青少年	0人	清水小学校のグラウンドで、ラジオ体操を実施するもの	育成会	コロナウイルスにより中止 来年度実施したい。		
小学校書道事業における講師補助 【中止】	例年7月	中止	その他	青少年	0人	清水小学校からの要望を受け、公民館サークルに依頼し書道授業で補助を行うもの。地域住民が地域の子供たちと触れ合う機会となる。	楽しい書道教室	コロナウイルスにより中止 来年度実施したい。	○	
ボウリング大会	8月9日	1回	地域事業（体育）	成人	54人	スポーツを通して、健康増進と地域住民の交流を図るもの	東部地区体育協会主催	スポーツを通して、健康増進と地域住民が親睦を深める良い機会となった。今後も継続して開催したい。		
ウォーク講座② 「夏の上高地を散策しよう」	8月17日	1回	趣味教養	成人	19人	上高地へ赴き、健康のためウォーキングを実施するもの		コロナ禍にも関わらず、沢山の方にご参加いただく事ができた。ガイドによる説明もあり、上高地について学ぶ良い機会となるとともに、健康増進にも繋がった。		
レベルアップ講座① 「子育て支援講座」	9月8日	1回	子育て	成人	25人	こども福祉課職員を講師に招き、子育て支援制度に係る出前講座を実施した。	育成会	子育て支援に関する市の補助制度等を学ぶ良い機会となった。		
マレットゴルフ大会	9月13日	1回	地域事業（体育）	成人	41人	スポーツを通して、健康増進と地域住民の交流を図った。	東部地区体育協会主催	スポーツを通して、健康増進と地域住民が親睦を深める良い機会となった。今後も継続して開催したい。		
東部地区人権啓発推進協議会視察研修	9月18日	1回	人権平和	成人	12人	満蒙開拓平和記念館へ赴き、人権について学ぶもの	東部地区人権啓発推進協議会	満蒙開拓移民の歴史について学ぶ事ができ、人権について改めて考える良い機会となった。		
梓川頭首工・CPR 飯山工場見学	9月25日	1回	環境	成人	10人	梓川頭首工と飯山にあるリサイクル工場を見学し、環境について学ぶもの		農業用水の重要さや、ゴミのリサイクルについて学ぶ事が出来た。普段中々見ることのない施設を見学することができ、参加者からは好評をいただいた。		
東部地区ボランティア部視察研修	10月2日	1回	福祉健康	その他	15人	長野県赤十字歴史資料館視察することにより、ボランティアについて理解を深めるもの	東部地区ボランティア部			
東部地区文化祭	10月16日 10月17日 10月18日	1回	地域事業（文化）	その他	223人	サークルや地区住民が日ごろの制作の成果を発表するもの	東部地区町会連合会 東部地区代表者会議 地区内諸団体	昨年度は公民館の工事により実施できなかった。本年度はコロナ対応の為3日間の分散開催とした。年々展示品が減少傾向にある中、映画会や演芸会等の催しなどを実施した。コロナ禍ではあったが、多くの方にご参加いただけた。		

令和2年度 事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
豚カツ講座	10月23日	1回	趣味教養	成人	15人	豚カツの作り方について学び、食育について考える機会とするもの		市内の豚カツ屋を講師に招き、豚カツの作り方やキャベツの切り方等学んだ。最後は自身で作った豚カツを皆で食べ参加者同士の親睦を深める良い機会となった。		○
東部地区サークル発表会	11月15日	1回	地域事業(文化)	その他	173人	演芸系のサークルが日ごろの成果を発表するもの	東部地区町会連合会 東部地区代表者会議 地区内諸団体	コロナ禍ではあったが、沢山の方にご参加いただいた。例年出演していた複数のサークルが練習不足のため不参加となったが、代わりに初めて出演するサークルもあった。		
ワイン講座	11月24日	1回	趣味教養	成人	15人	ワインについて学び、食育について考える機会とするもの		市内のワイン専門店を講師に招き、ワインについて試飲しながら学んだ。長野県のワインの特徴なども学ぶ事ができ、参加者からは好評をいただいた。		○
松本押絵雛講習会(干支作り)	11月26日	1回	地域文化	成人	7人	松本の歴史と文化を学ぶ。今年の干支「丑」を作成した。 講師 三村 隆彦		毎年恒例の講座、地区外や市外からの参加者もあり、松本の伝統文化である押絵雛への入り口として重要な講座である事を再認識した。		
東部防犯協会主催「防犯講座」	11月26日	1回	その他	成人	50人	地区の犯罪の発生状況や、あおり運転・特殊詐欺対策等を学び、地区内の防犯意識の向上を図るもの	東部防犯協会	毎年1回開催している。自分の住んでいる地区の犯罪の発生状況等を詳しく知ることにより、住民の防犯意識の向上に繋がっている。		
東部複合施設防災訓練	10月26日	1回	防災	成人	40人	公民館の訓練として非常通報や避難訓練を、地区の訓練として初期消火訓練を行った。	丸の内消防署 東部地区町会連合会 日赤奉仕団 防災部	火災の際、各職員がどのように行動するかを確認する貴重な機会となっている。年に1度の訓練であるので、今後も引き続き実施していきたい。		
やしょうま作りともちつき大会【中止】	12月5日	中止	地域事業(その他)	青少年	0人	伝統食「やしょうま」作りと、餅つき体験を通して地域と日本の伝統文化を学ぶ。	東部地区子ども会育成つぼみの会 東部地区町会連合会 東部地区民生児童委員協議会	コロナウイルスにより中止 来年度実施したい。		○
楽団ケ・セラ演奏会	12月5日	1回	人権平和	その他	70人	メンバー全員が障害を持っている楽団である、楽団ケ・セラを招き演奏会を実施するもの	東部地区人権啓発推進協議会	昨年度は地区社協主催で開催したもの。コロナ禍ではあったが、多くの方にご参加いただき、参加者からは感動した等好評の声をいただいた。		
防災講座とマップ点検	12月8日	1回	防災	成人	39人	防災について学ぶと共に、以前作成した地区別防災マップの点検をした。点検後、最新の情報に修正し、全戸配布した。		マップ点検は、各町会で実際に町内を周ってもらい修正したため、自身の町会の危険箇所や避難場所などを再確認することができる良い機会となった。引き続き毎年実施し、全戸配布をしたい。		
梓川隧道見学	12月9日	1回	その他	成人	11人	冬季点検の為、一時的に水を止めた梓川隧道の中を歩き、農業用水について学ぶもの		普段中々見ることのない施設を見学することができ、参加者からは好評をいただいた。		
中学校書道事業における講師補助	12月14日 ～ 12月18日		その他	青少年		清水中学校からの要望を受け、公民館サークルに依頼し書道授業で補助を行った。地域住民が地域の子供たちと触れ合う機会となった。	楽しい書道教室	毎年継続的に実施している。サークルも教えることを通して自分たちの学習を深めており、双方にとって良い機会となっている。今後も継続していきたい。	○	
しめ縄作り講習会	12月19日	1回	地域文化	成人	27人	しめ縄の作り方、飾り方などを学び、家族で新年を祝うもの 講師 福澤 伸起		毎年実施しているが、多くの参加者がある。初めて参加する方や親子での参加もあり、日本の伝統文化を学ぶ良い機会となっている。		
年末大掃除会	12月28日	1回	その他	成人	20人	公民館利用サークルにより公民館の清掃を行うもの		本年度初めて実施した。普段の清掃では手の届かない細かい部分まで綺麗にすることができた。普段中々出会わないサークル同士の親睦を深める良い機会となった。		
新春 書初め大会	1月4日	1回	趣味教養	青少年	22人	地域の人が学校に出された課題に取り組む子供達に書道の楽しさを教えることを目的に開催 講師 楽しい書道教室の皆様	楽しい書道教室	毎年開催している。小・中学校の冬休みの課題である書き初めを地域の人がサポートすると同時に、書道の楽しさを伝える良い機会となっている。		
映画上映会	1月29日	1回	人権平和	成人	22人	ハンセン病をテーマにした映画「あん」を鑑賞することによって人権について学ぶもの		コロナ禍ではあったが、沢山の方にご参加いただいた。ハンセン病について学ぶことができ、人権について改めて考える良い機会となった。		
三九郎マップ作製		1回	地域文化	青少年		女鳥羽川の河川敷で行われる三九郎を紹介するマップの作製。27年度開催したまちづくり講座をきっかけとして作成が始まったもの。「マップを作成する事」ではなく「女鳥羽川の魅力を伝えること」を目的として発行		小・中学校や大型ショッピングモール、近隣の店舗等へ配布している。地域の伝統文化を伝える良いツールとなっている。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
つなぐ会主催「節分豆まき大会」【中止】	2月6日	中止	子育て	青少年	0人	子育てに関する団体が主催の催し。地区内外の子供を対象として、豆まきの他、自閉症児によるダンスユニット「スーパーボーイズ」の発表や読み聞かせなどを行うもの	信州きょうだいの会優YOU・つなぐ会	コロナウイルスにより中止 来年度実施したい。		
「ニュース」講座 健康太極拳講座【中止】	2月16日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	太極拳を通して、健康増進と地域住民の交流を図るもの	東部地区体育協会主催	コロナウイルスにより中止 来年度実施したい。		
障子の張替え	3月12日	1回	その他	成人	7人	地区住民と、和室の障子の張替えを実施するもの		施設の開設後はじめて、地区住民と公民館が一緒になって障子を張替えることができた。張替ができる者が出来ない者に教える等、地区住民の交流にも繋がった。		
認知症講座 「認知症を正しく知ろう」	7月12日 8月21日 8月28日 9月23日 10月9日 11月20日 12月18日 2月26日 3月19日	9回	福祉健康	成人	135人	各町内公民館を会場に、認知症について学ぶ講座を実施した。 講師 中央包括支援センター	町会連合会 町内公民館長会	全9回にわたり実施。コロナの影響で延期等もあったが、予定していた回数実施することができた。地区住民の認知症に関する知識を向上させることができた。		
地域学習テキストの作成		1回	地域文化	その他		地区住民の地区への関心を深めるとともに、郷土への愛着と地域活動への参加意識を高めるため、地域学習テキストを作成するもの		地域編、活動編の2冊構成で作成した。地域編は地域の概要（歴史や文化等）をまとめたもので、活動編は地区の年案行事や地区団体を学習できる内容。1年かけて何とか完成させることができた。来年度実施予定の地区の方針説明会で参加者に配布し、学習してもらう予定		
思い出喫茶 「昭和30年代の地図を眺める」の記録集編集						数年前に実施した、昭和30年代の地図を眺め当時の事について話しあう講座の記録集の編集を実施するもの		当時のコーディネーターに執筆を依頼している。まだ途中であるが、来年度は完成させて印刷・配布したい。		
東部ひろばニュースの発行	通年	12回	その他	その他		東部地区福祉ひろばと共に発行				
松本市公民館報東部版の発行	通年	6回	その他	その他		隔月発行				
各種委員会	通年	28回	公民館委員会・各種会議等	その他	300人	五部門委員会の開催				

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針等】

- 1 コロナ禍におけるふれ愛の創出・継続
コロナ禍においても住民同士の「ふれ愛」の創出、継続を行うため、三密を避け、工夫しながらオンラインによらない対面の事業を実施する。
- 2 地域との連携
住民の豊かな生活づくり、地域づくりのよりどころとして、住民が地域や暮らしについて主体的に考え、行動できるよう、公民館企画・運営委員会や住みよい町づくり協議会等と協議、連携し、住民と共に講座づくりを行う。
特に、子どもを対象とした事業は、地区子ども会育成会や学校と連絡・協議して実施する。
- 3 地域住民の要望を取り入れた事業実施
事業内容や参加者が固定化しないよう、常に新しい講座を取り入れていく。

評価・反省等

- 1 コロナ禍における公民館事業
(1) コロナ禍においても公民館事業は、参加者同士の間隔の確保や手指消毒、換気の徹底等、対策を行なった上で、可能な限り実施するよう努めた。
(2) バスを使用する講座は、密集を避けるため乗車定員の半分を目安に募集を行い、キャンセル待ちが多く発生したほか、調理や宿泊を含む事業等、やむを得ず中止になる事業もあった。
(3) 住民からは講座を楽しみにしている声が多く聞かれ、公民館活動のあり方や意義を再確認する機会となった。引き続き新型コロナウイルスの感染拡大状況を注視し、工夫しながら事業を実施していきたい。
- 2 地域との連携
(1) 市内の新型コロナウイルス感染症の動向について情報を共有する等、地域との連絡を密に行うことで、講演会や屋外で行うウォーキング等、住民が主体となって感染症対策を徹底し、積極的に企画・運営いただいた。引き続き、地域づくりの一体感を醸成するとともに、住民主体の事業につながるよう展開したい。
(2) 学校と連携して行うコミュニティスクール事業については、学校運営委員会の書面開催、予定していた多くの事業の中止等、コロナ禍の影響を強く受けた。反面、夏休み期間短縮に伴う公民館での授業実施等、計画になかった部分で学校との連携を強め、柔軟に対応することができた。
- 3 地域住民の要望を取り入れた事業実施
(1) 初めての方でも興味を持ってもらいやすく参加しやすい講座を休日に開催する等、参加者の枠が更に広がる工夫を行った。
(2) 普段公民館活動になじみのない住民の参加を得ることができたが、単発の参加にとどまらないためには、継続して公民館活動に興味を持ってもらえるような仕組みを設けていくことが必要。
(3) 引き続き住民の声を聞く等、日頃から情報を広く収集して新たな事業に取り組む。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種 委員会 等・
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数	2	5	3	2	1	17	3	1	4	2		1	6
延べ参加人数	43	147	25	35	16	341			908	17		210	271

	C S	食 育
事業数	1	1
延べ参加人数	210	

令和2年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
親子四質化石発掘講座	5月10日	中止	趣味教養	青少年	0人	【内容】 ・対象：小学生以上の親子 ・四質化石館や断層の見学 ・化石発掘体験 【ねらい】 ・化石についての学習 ・子ども同士の交流	【共催団体等】 主催：城北公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策により中止 【今後の方針】 ・継続		
ウォーキング大会	5月16日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・距離が異なる4つのコースから自分にあったコースを選択し、ウォーキングする。 【ねらい】 ・運動不足解消 ・健康増進 ・参加者の交流	【共催団体等】 主催：城北公民館 共催：福祉ひろば・公民館体育部・住みよい町づくり協議会健康の部会・健康づくり推進員	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策により中止 【今後の方針】 ・継続		
料理教室	5月18日 7月20日 11月16日 2月15日	1回	趣味教養	成人	12人	【内容】 ・講師：地区住民 ・料理教室を行う。 【ねらい】 ・料理技術の向上 ・参加者の交流	【準備過程】 ・例年は食生活改善推進委員（以下「食改」）の共催により実施していたが、コロナ禍を受け共催が困難に。 ・食改と相談し、公民館の単独主催として地区住民を講師に迎えて実施 【共催団体等】 主催：城北公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策により4回中3回は中止、11月16日のみ実施 ・参加者からは、楽しみにしているのでコロナ禍でも工夫して実施してほしいとの声が寄せられた。 【今後の方針】 ・新型コロナウイルスの状況を見ながら引き続き食改と相談し、検討		
歴史とロマン講座	5月22日 6月29日 7月13日 8月17日	3回	趣味教養	成人	79人	【内容】 ・講師：松本市文化財審議委員 ・長野県に関係する歴史について講義を行う。 【ねらい】 ・歴史学習 ・教養向上	【共催団体等】 主催：城北公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策のため5月は中止。講師と調整して8月に追加実施し、計3回実施 ・コロナ禍を受け、初回の参加者はやや少なかったが、講師の飽きさせない工夫で住民のロコミにより徐々に参加者が増えた。 【今後の方針】 ・継続 ・講義の中で触れられた史跡等に実際に赴く講座も企画したい。		
マレットゴルフ大会	6月6日 11月7日	1回	地域事業 (体育)	成人	17人	【内容】 ・会場：アルプス公園 ・マレットゴルフを行う。 【ねらい】 ・運動不足解消 ・健康増進 ・参加者の交流	【共催団体等】 主催：公民館体育部 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策のため、6月は中止。 ・道具や記念品の準備、当日の運営まで、体育部員の住民が全て主体的に行った。 ・常連の参加者が目立つが、和気あいあいとプレイしており、交流を深めることに寄与している。 【今後の方針】 ・継続		
丸の内病院健康教室	6月15日 7月29日 11月27日	2回	福祉健康	成人	35人	【内容】 ・講師：丸の内病院 ・地区住民が関心のある健康に関するテーマについて出前講座を行う。 【ねらい】 ・健康増進 ・健康に関する知識を深める。	【共催団体等】 主催：城北公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策のため6月は中止、全2回の開催。 ・生活習慣病予防、ストレッチ、筋力トレーニングに加え、昨今の情勢を踏まえて感染症対策をテーマとして取り扱った。特殊塗料を使っている正しい手洗い実践は参加者から好評だった。 【今後の方針等】 ・継続 ・地区公民館から遠くに住む住民でも参加しやすい開催会場（町内公民館等）を、講師と相談しながら検討		
白川郷視察研修	6月26日	中止	趣味教養	成人	0人	【内容】 ・新緑の白川郷を訪ね、自然や文化に触れる。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・自然環境及び文化財保護意識を高める。	【共催団体等】 主催：城北公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針】 ・自然観察講座として継続 ・県をまたぐ視察研修については、新型コロナウイルスの状況等をふまえ、慎重に検討		
育成会バス研修会	7月5日	1回	趣味教養	青少年	18人	【内容】 ・会場：国営アルプスあづみの公園 ・自然の中で外遊びやネイチャークラフトといった経験をとおして学ぶ。 【ねらい】 ・子どもの交流 ・学校ではできない自然体験	【共催団体等】 主催：子ども会育成会 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・コロナ禍を受け、参加者を絞って実施 ・ネイチャークラフト教室は、コロナ対策により例年に比べて短時間となったが、子どもたちは自由に工作を楽しんだ。 ・参加した大人からの情報を受け、帰路では、ひまわり畑に立ち寄り、好評だった。 【今後の方針】 ・継続 ・例年同じ会場だが、変化を持たせるため変更も検討		
スマイル山雅健康教室	7月16日	1回	福祉健康	成人	30人	【内容】 ・講師：松本山雅のトレーナー、元選手 ・ストレッチ等の体操を行う。 【ねらい】 ・健康増進 ・健康に興味のある住民、松本山雅のサポーターなど幅広い住民の参加 ・地域のスポーツチームである松本山雅を応援する気運を高める。	【共催団体等】 主催：福祉ひろば 共催：城北公民館、住みよい町づくり協議会健康の部会	【評価と反省】 ・松本山雅の元選手が講師を務めるとあって、サポーターを始め多くの参加者があった。 ・応援グッズであるロングタオルを使ってストレッチ等を行い、山雅を応援する気運が高まった。 【今後の方針等】 ・スマイル山雅健康教室としては未定 ・健康増進を目的とした各種講座は継続		

令和2年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
SPレコードを聴く会	7月22日 12月23日	2回	趣味教養	成人	54人	【内容】 ・地区住民が所有する貴重なSPレコードを聴く。 ・第1回：歌謡曲等 ・第2回：ベートーベン作曲の交響曲等（ベートーベン生誕250周年記念） 【ねらい】 ・今では珍しいレコード音源を聴く。 ・音懐かしい曲をとおして思い出を語らうことによる参加者の交流	【共催団体等】 主催：よろず大学 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・有名なクラシック音楽に聞き入ったり、音懐かしい曲を思わずロズさんたり、参加者はレコードを楽しんだ様子だった。 ・途中の休憩時間では、参加者同士の会話が絶えず、交流を深めた。 【今後の方針】 ・レコード所有者の協力を得ながら継続		
阿寺溪谷散策	7月27日	1回	趣味教養	成人	14人	【内容】 ・大桑村の阿寺溪谷を散策する。 【ねらい】 ・健康増進 ・参加者の交流 ・環境保全意識を高める。	【共催団体等】 主催：城北公民館	【評価と反省】 ・人気のためキャンセル待ちが生じたが、雨天による当日キャンセルがあった。 ・現地は一時激しい雨となり短時間の散策となった。 ・代替として周辺の視察を行ったが、雨天時の対応について更なる準備が必要と感じた。 【今後の方針等】 ・自然観察講座として場所を変えながら継続		
開智小学校5学年授業	7月27日 7月28日 7月29日 7月30日 8月20日 8月24日 8月25日 8月27日 8月28日	9回	その他	青少年	820人	【内容】 ・開智小学校からの相談を受け、夏休み前後に、エアコンが設置されている涼しい公民館で授業を行う。 【ねらい】 ・コロナ禍における学校との連携強化 ・小学生に公民館を身近に感じてもらう。	【準備過程】 ・コロナ禍、春の休校措置を受け夏休み短縮 ・学校長から、本来ならば夏休みだった期間、涼しい勉強場所を確保したい旨の話公民館長が受け、協力することを決定 【共催団体等】 主催：開智小学校 共催：城北公民館、松本市建設業会館	【評価と反省】 ・日頃から学校との連絡を密にしていたこと、利用団体から理解を得られたことにより、学校に協力することができた。 ・普段公民館に馴染みのない子どもたちも、学校とは違う環境を新鮮に感じている様子だった。 【今後の方針】 ・公民館での授業実施自体は未定 ・CSに限らず、様々なかたちで地区内の学校や子どもたちの支援を継続		
公民館に泊まって遊ぼう	7月31日 ～ 8月1日	中止	その他	青少年	0人	【内容】 ・地区の小学生が公民館に泊まり、夕飯づくりやお化け屋敷などを企画、運営する。 【ねらい】 ・子ども達の交流 ・宿泊体験や自ら企画し実行することによる学習	【共催団体等】 主催：子ども会育成会 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針等】 ・継続		
平和を語る会	8月3日	1回	人権平和	成人	26人	【内容】 ・講師：人権・男女共生課 ・同課の所有する人権啓発DVDの鑑賞 ・DVDの内容に基づく講演会 【ねらい】 ・人権啓発 ・人権保護意識を高める。	【共催団体等】 主催：城北地区人権啓発推進協議会 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・DVDや講師の選定等の企画、当日の運営を主催団体である住民が行った。 ・DVDが町会活動等地域づくりに係る人権問題をテーマとしていたこと、講演で新型コロナウイルス感染症に関わる人権問題が扱われたことが好評だった。 ・例年行っているすいとん試食会は、コロナ禍もあり中止 【今後の方針】 ・継続 ・戦争と平和、ジェンダー問題等、今後も幅広い内容で企画できるよう支援		
小中学生夏休み自習室	8月3日 ～ 8月7日 8月11日 ～ 8月14日 8月17日 ～ 8月18日	11回	子育て	青少年	25人	【内容】 ・夏休み中の子ども達への自習室としてエアコンの効いた公民館の一室を開放する。 【ねらい】 ・子どもへの快適な学習環境の提供 ・子どもに公民館を身近に感じてもらう。	【共催団体等】 主催：城北公民館	【評価と反省】 ・初めての試みとして実施 ・初めは慣れない様子の子どもの子ども達も、友達を誘って勉強にきたり、遊びに行き隣の集合場所に利用したりするなど、公民館に親しみを持ってくれた。 ・反面、来館する子どもが概ね固定化していたこと、予想よりも少ない人数だったことから、周知方法の工夫が必要と感じた。 【今後の方針】 ・継続 ・周知方法及び開放期間の拡大を検討		
文化部視察研修 「ナウマンゾウと一茶とエンデに会いに行こう！」	8月26日	1回	趣味教養	成人	20人	【内容】 ・信濃町の博物館や史跡を訪ねる。 【ねらい】 ・教養の向上 ・参加者の交流	【共催団体等】 主催：公民館文化部 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・視察先の選定等の企画、史跡の説明等の当日運営を主催である文化部住民が担った。 ・コロナ禍で自粛を強いられていた参加者にとって、市外で羽を伸ばす機会となった様子だった。 【今後の方針】 ・継続		
美術館出前講座 「みんなのミュシャ」展解説	9月24日	1回	趣味教養	成人	20人	【内容】 ・市出前講座を活用 ・美術館学芸員を講師に、美術館企画展「みんなのミュシャ」の見所解説を行う。 【ねらい】 ・教養の向上 ・企画展観覧の気運を高める。 ・大学の夏休み期間に合わせ、企画展に興味のある若者の参加	【準備過程】 ・複数の住民との雑談の中から今回の企画展への注目の高さがうかがえたため企画 【共催団体等】 主催：城北公民館	【評価と反省】 ・当日は事前申し込みのない参加者も多く、関心の高さがうかがえた。 ・日頃公民館活動に参加していない住民や若者の参加が見られた。 ・講師多忙の中ではあったが、開催期間中に行うことで、観覧への気運を高めることができた。 【今後の方針】 ・長期休館に際し、休館中ならではの講座等を検討		

令和2年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
手作りパンとスイーツ講座	9月27日 10月12日 10月27日	3回	趣味教養	成人	36人	【内容】 ・パンと簡単なスイーツの作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・参加者の趣味の幅を広げる。 ・3回のうち1回を休日開催にすることで、親子や若者等、平日の事業に参加できない住民の参加を見込む。	【共催団体等】 主催：城北公民館	【評価と反省】 ・休日はほとんどが親子参加となったほか、キャンセル待ちも発生。日頃公民館活動になじみのない住民の参加を得ることができた。 ・予定より時間がかかってしまったので、子どものペースでも時間内に終わるよう、メニュー等の検討が必要 【今後の方針】 ・休日開催を含め継続		
タカの渡り観察会	10月1日	1回	環境	成人	15人	【内容】 ・奈川の白樺峠でタカの渡りを観察する。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・環境保全意識の高揚 ・野鳥に興味を持ってもらう	【共催団体等】 主催：城北公民館	【評価と反省】 ・タカの渡り発生には、当日だけでなく前数日の天候等が影響することから、日程設定が難しい。 ・タカは数羽しか見られなかったが、それ自体も参加者の思い出の一つとなっていると感じられる。 ・講師がキノコや花木に詳しく、自然観察を行うことができ、参加者は満足した様子であった。 【今後の方針】 ・継続		
ウォーキング講座	10月17日 11月26日	2回	福祉健康	成人	61人	【内容】 ・屋外でウォーキングの正しい姿勢とインターバル速歩について学び、実践する。 【ねらい】 ・運動不足解消 ・健康増進	【共催団体等】 主催：公民館体育部、住みよい町づくり協議会健康の部会 共催：城北公民館、福祉ひろば	【評価と反省】 ・10月に開催した1回目は雨天だったため、屋外でのウォーキングの実践はできなかったが、講師と主催住民が柔軟に対応し、室内でのストレッチやレクリエーションを行った。 ・11月は晴天に恵まれ、地区内の公園でウォーキングを実践することができた。 【今後の方針】 ・継続		
普通救命講習AED	10月22日	中止	防災	成人	0人	【事業内容】 ・講師：丸の内消防署 ・AEDの使用方法を学ぶ普通救命講習を行う。 【ねらい】 ・いざという時に適切な対処ができる人材を育てる。	【共催団体等】 主催：城北地区日赤奉仕団 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針】 ・継続		
楽団ケ・セラのファミリーコンサート	10月24日	中止	子育て	青少年	0人	【内容】 ・対象：子ども、親子 ・楽団ケ・セラを招き、コンサートを行う。 【ねらい】 ・音楽を楽しんでもらう。 ・親子や子ども同士、親同士等参加者の交流	【共催団体等】 主催：城北地区子ども会育成会 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針】 ・継続		
企画運営委員会視察研修	10月26日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	13人	【内容】 ・県内の文化施設や史跡の視察を行う。 ・視察先：阿智村満蒙開拓平和記念館、長岳寺、暮白の滝等 【ねらい】 ・県内の歴史や文化財についての理解を深める。 ・公民館事業の企画につながる知識、教養を深める。	【共催団体等】 主催：公民館企画運営委員会	【評価と反省】 ・視察先の選定を委員が行うとともに、当日の参加者の様子を見ながら、視察先の追加・変更等、臨機応変な対応を行った。 【今後の方針】 ・継続		
ハワイアンキルト講座	10月29日 11月24日	2回	趣味教養	成人	30人	【内容】 ・講師：地区住民 ・ハワイアンキルトのクッションカバーの作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・趣味の幅を広げる。	【共催団体等】 主催：城北公民館	【評価と反省】 ・50cm角のクッションカバーという大型の作品のため、全2回では完成できなかった。 ・年内に完成させることを概ねの目標に、自宅で製作を続ける等、参加者が意欲的に取り組んだ。 ・「時間をかけて完成させたので年明けに発表展示会をしたい」との声もあったが、市内のコロナウイルス感染拡大を受け、立ち消えてしまった。 【今後の方針】 ・継続 ・実施回数に見合う制作内容の検討		
城北地区人権啓発推進協議会視察研修	11月12日	1回	人権平和	成人	17人	【内容】 ・岡谷蚕糸博物館を視察する。 【ねらい】 ・人権啓発推進協議会委員の人権意識の更なる向上 ・委員相互の交流を深め、日頃の啓発活動につなげる。	【共催団体等】 主催：城北地区人権啓発推進協議会 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・視察先の選定と当日の運営を主催団体の住民が行った。 ・戦前戦後における長野県の文化を再確認し、平和の中で文化を育むことを尊ぶ機会となった。 ・人権啓発推進委員である住民同士の交流を深め、日頃の連絡や活動を円滑にするきっかけができた。 【今後の方針】 ・継続		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
秋の森で遊ぼう	11月15日	1回	環境	青少年	20人	【内容】 - 対象：小学生 - 地区内の裏山で自然の遊びやアウトドアクッキング等を行う。 【ねらい】 - 裏山での遊びを通じてアウトドアについて学ぶ。	【共催団体等】 主催：公民館青年部 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・昨今外遊びの機会が少ないことに加え、コロナ禍により自粛生活を強いられた子どもたちにとってアウトドア体験に触れる機会になった。 ・公民館青年部として地区内の若い住民が率先して企画、運営し、内容も子どもたちが楽しめるように工夫してくれている。 【今後の方針】 ・継続		
写真展 続々・小さな仲間たち	11月17日 ～ 11月30日	1回	趣味教養	その他	—	【内容】 - 地区住民が撮影した昆虫や小動物、草花の写真の展示 【ねらい】 ・写真への興味を高める。 ・自然の豊かさを感じる。	【共催団体等】 主催：城北公民館	【評価と反省】 ・子どもに親しみやすく、大人も楽しめる美しい写真展示で、多くの人が立ち寄った。 ・終了後も写真を見たいという親子連れが来館した。期間や広報について改めて検討したい。 【今後の方針】 ・撮影者の住民と相談しながら継続 ・コロナ禍で展示機会の減った、写真に限らない地区住民の作品展示を検討		
珈琲焙煎講座	11月29日	1回	趣味教養	成人	14人	【内容】 ・珈琲焙煎の方法を学ぶ。 【ねらい】 ・趣味の幅を広げ、掘り下げる。 ・珈琲の健康に係る知識を深める。	【共催団体等】 主催：城北公民館	【評価と反省】 ・コロナウイルスの影響もあり、申込みは前年度に比べてやや低調だったが、最終的には定員上限で実施した。 ・参加者は自分好みの焙煎具合を工夫するなどして楽しんだ。 ・試飲の際には参加者同士で味の感想を言い合いながら交流を深めていた。 ・体験で終わるのではなく、その後の広がりがあると良いとの意見も寄せられた。 【今後の方針】 ・継続 ・焙煎体験のみでない講座展開を検討		
城北公民館年末大掃除	12月11日	1回	その他	成人	50人	【内容】 ・公民館を利用している約50の団体からなる「城北友の会」が年に一度公民館の大掃除を行う。 【ねらい】 ・公民館の美化、保全 ・施設利用者が自ら利用する公共施設を大切にすること意識を育む。	【共催団体等】 主催：城北友の会 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策のため、各団体の協力の下、例年より参加者を絞って実施。 ・約半日の日程の中で、団体の枠を超えて協力し合い、大掃除を行うことができた。 【今後の方針】 ・継続		
健康づくり講座	12月14日	1回	福祉健康	成人	21人	【内容】 ・講師：食改、市福祉計画課職員、地区担当保健師 ・健康に関する講話、ストレッチ体操などを行う。 【ねらい】 ・健康増進 ・冬場の運動不足解消	【共催団体等】 主催：城北公民館	【評価と反省】 ・例年料理教室に協力いただいている食改に、調理実習ではなく講演として協力いただいた。 ・参加者からは好評だったが、開催日の設定が健康増進の目的を同じくする「丸の内病院健康教室」と近くなってしまった。 【今後の方針】 ・今回の形式に限らず、健康増進を目的とした講座を継続		
しめ縄作り講座	12月15日	1回	地域文化	成人	16人	【内容】 ・講師：地区住民 ・正月のしめ縄の作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・日本の伝統であるしめ縄作りを学び、正月を彩る。	【共催団体等】 主催：城北公民館	【評価と反省】 ・材料となる藁の準備に講師にも多大な協力をいただいております。負担が大変大きい。 ・当日は講師から教わるだけでなく、参加者同士で教え合う雰囲気自然に作られ、交流が深められた。 【今後の方針】 ・講師の意思を確認しながら継続		
こども書初め大会	1月4日	1回	その他	青少年	38人	【内容】 ・対象：地区の子ども ・書初め大会を行う。 【ねらい】 ・正月行事に触れる。 ・講師の添削を受けながら書道技術を向上する。	【共催団体等】 主催：子ども会育成会 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・コロナ禍を受け、例年行っているお汁粉の試食会は中止 ・毎年の恒例行事として実施し、子どもと保護者、約20人ずつが参加 ・講師の計らいにより、書道部員の高校生1名が講師として協力してくれ、合計3名の講師が随時見回り、添削した。 ・子ども達は隣同士見比べたりしながら書初めに意欲的に取り組んだ。 【今後の方針】 ・継続		
ケーキ教室	1月14日 1月21日 1月31日 2月5日	中止	趣味教養	成人	0人	【内容】 ・ケーキ作りを学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・趣味の幅を広げる。	【共催団体等】 主催：城北公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針】 ・継続 ・クリスマスやバレンタイン等、ケーキに関連したイベントに合わせた期間設定を検討		
スキーツアー	1月17日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 ・市内のスキー場でスキーに親しむ。 【ねらい】 ・冬場の運動不足解消 ・参加者の交流	【共催団体等】 主催：城北地区健康づくり推進員会、住みよい町づくり協議会健康の部会 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針】 ・継続		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
男衆のキッチン	1月18日	中止	福祉健康	その他	0人	【事業内容】 ・男性を対象とした料理教室を行う。 【ねらい】 ・普段料理をしない男性にも簡単な料理ができるようになってもらう。 ・食と健康について考えるきっかけ作り	【共催団体等】 主催：城北地区社会福祉協議会 共催：健康づくり推進員会、城北公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針】 ・継続		
雪中キャベツ収穫体験	1月30日	中止	趣味教養	成人	0人	【内容】 ・小谷村で雪中キャベツの収穫体験を行う。 ・雪に覆われた地域の資源について学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・小谷村について学ぶ。	【共催団体等】 主催：城北公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針】 ・継続		
軽スポーツ交流会	2月7日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 ・若者男女問わず楽しめる軽スポーツを行う。 【ねらい】 ・冬場の運動不足解消 ・参加者の交流	【共催団体等】 主催：城北公民館、公民館体育部、住みよい町づくり協議会健康の部会、子ども会育成会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針】 ・継続		
文化部講演会 ともに地獄を見ませんか	2月19日	1回	趣味教養	成人	29人	【内容】 ・講師：地区住民 ・地獄を描いた絵図を元に、昔の人が地獄をどう捉えていたのか学ぶ。 【ねらい】 ・教養を深める。	【共催団体等】 主催：公民館文化部 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・企画、運営を住民である文化部委員が、副題をインパクトあるものにする、演台に自家の花を添える等、自主的に楽しみながら行った。 ・年明けの新型コロナウイルス感染拡大を受け、事前申込みは低調だったが、当日は申込みのない参加者が多く出席し、盛況だった。 ・ 【今後の方針】 ・継続		
ボウリング大会	2月20日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 ・町会対抗のボウリング大会 【ねらい】 ・冬場の運動不足解消 ・参加者の交流	【共催団体等】 主催：公民館体育部 共催：住みよい町づくり協議会健康の部会、城北公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針】 ・継続		
親子料理教室	3月16日	中止	子育て	家庭教育	0人	【内容】 ・食育事業の一環として、親子で料理を行う。 【ねらい】 ・親子で料理を学ぶ。 ・子どもの料理への関心を高める。	【共催団体等】 主催：子ども会育成会 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針】 ・継続		○
スクラッチアート講座	1月26日 3月26日	1回	趣味教養	成人	15人	【内容】 ・講師：地区住民 ・スクラッチアートを体験してもらう。 【ねらい】 ・趣味の幅を広げる。	【共催団体等】 主催：城北公民館	【評価と反省】 ・1月に予定していたところ、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、3月に延期した。 ・公民館事業に日頃参加しない若者が興味をもって参加してくれた。 ・コロナ禍で静かに家で没頭できる趣味にぴったりだと参加者からは好評だった。 【今後の方針】 ・趣味を増やし、生活を更に豊かにできる講座として内容を変えながら継続		
コミュニティスクール	随時	1回	地域事業 (その他)	青少年	210人	【内容】 ・クラブ活動、みそ作り体験、メディアリテラシー、音楽等、学校の活動を地域として支援する。 【ねらい】 ・児童の健やかな成長 ・学びの支援	【共催団体等】 主催：城北公民館、開智小学校	【評価と反省】 ・クラブ活動やみそ作り体験等の事業を予定していたが、新型コロナウイルス対策のため、学校運営協議会を含め多くのコミュニティスクール事業が中止となった。 ・今年度は音楽の授業での琴教室に協力した。 【今後の方針】 ・継続 ・引き続き学校との連携を図る。		○
企画運営委員会（会議）	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	その他	80人	【内容】 ・公民館運営のための委員会を開催する。	地区内各種団体より委員選出	【評価と反省】 ・通年の公民館事業について、実施結果等を報告することとおし、企画検討することができた。 ・また、各部門の事業についても情報共有することで連携強化に寄与した。 【今後の方針】 ・継続		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
館報編集	通年	23 回	公民館委員会・各種会議等	その他	130人	【内容】 ・館報城北地区版編集のための会議	地区内各種団体より委員選出	【評価と反省】 ・公民館開館20周年に着目し、公民館や福祉ひろばの事業や地区の「ふれ愛」の創出等にご尽力した住民を紹介する記事を取材・掲載した。 ・五部門委員会の中でも特に活動回数が多く、委員の負担が大きいことが例年の課題。 【今後の方針】 ・継続 ・負担軽減を図りながら、委員がやりがいを持って活動できるように支援する。		
館報記録	通年	14 回	公民館委員会・各種会議等	その他	25人	【内容】 ・公民館事業及び地区内の活動の記録	地区内各種団体より選出	【評価と反省】 ・写真に造詣の深い地区住民を中心に構成できたことで、単なる記録に留まらない写真が撮影できただけでなく、委員同士で教え合いながら写真技術の更なる向上に努めた。 ・撮影した写真が住民の目に触れる機会が少ないことが課題。 【今後の方針】 ・継続 ・館報編集委員との連携強化 ・記録写真を文化祭等で展示できるよう引き続き働きかける。		
文化部	通年	2 回	公民館委員会・各種会議等	その他	15人	【内容】 ・ふれ愛まつり及び研修・講演会の打ち合わせ	地区内各種団体から選出	【評価と反省】 ・下見を行なったうえで視察研修の行程を決定、講演会の資料を自ら収集、作成する等、委員が主体となって積極的に企画、運営できている。 【今後の方針】 ・継続		
体育部	通年	2 回	公民館委員会・各種会議等	その他	8人	【内容】 ・ウォーキング大会、マレットゴルフ大会等の打ち合わせを行う。	地区内各種団体より選出	【評価と反省】 ・必要物品の準備、当日の運営等、委員自らが積極的に関わることができている。 ・雨天時の屋外事業についても、委員が臨機応変に対応し、参加者を飽きさせない工夫ができた。 【今後の方針】 ・継続		

【方針・地域課題】

・「中央地区は家族だ」をスローガンに、地域住民がお互いに支え合っていけるよう住民の場づくり・関係づくりに取り組む。

・前年に引き続き生きがいのある豊かな心の持てる地域を作るため、地域づくりセンターを中心に公民館や福祉ひろばが独自性を出しながら地区住民の多くの参加、参画を促し公民館事業のさらなる推進を目指す。

・公民館委員会の活動をより充実させ、主体的な住民を育成する。

・「人材の宝」を多く活用した事業の展開や、「自分がいなければこの行事はできない」という主体的な意識を少しでも持たせることで、地域への愛着と生きがいづくりにつなげてもらえるような「人づくり」を実施する。

・松本城南・西外堀復元事業や内環状北線整備事業、新庁舎建て替え事業、新基幹博物館建設事業など、地区内のハード事業が目白押しであり、住民にも関心を持ってもらえるよう取り組む。

・住民の知りたい、学びたい、やりたい思いを汲み取り、公民館事業をより充実させたい。

- ・「中央地区は家族だ」をスローガンに、地域づくりセンターにおいて設置されている福祉互助会での福祉活動、居酒屋公民館での語らいの場づくり、学びと交流を活かした公民館活動など、積極的に行うことができた。地域包括ケアシステム体制の構築が進むよう、公民館に訪れる人たち同士の関係づくりを支援したい。
- ・図書・視聴覚委員会では、現在の街並みの記録を残そうと始まった定点観測に加え、昔の写真の掘り起こしや「昭和の松本を語る会」での写真活用を行い、幅広い活動につながった。今後も場づくりや未来への資料保存の活用を目的に、委員会を運営したい。
- ・地区の団体役員は地区行事に積極的に参加しており、公民館行事のお手伝いなど快く引き受けていただくこともあるが、参加メンバーは固定化しつつあり、新しい人材に乏しい現状がある。担い手不足の問題や少子高齢化といった課題も含め、持続可能な地域づくりの推進に努めたい。
- ・定着した要援護者優先避難所運営委員会では、運営訓練を開催し、委員がマニュアルや各班での活動について課題や改善策を積極的に議論していた。災害時に動ける人材が増え、地区の防災力が高まるよう支援していきたい。
- ・市政が変わり、雑談の中でも話題にあがるなど、地区内のハード事業について関心を持つ住民が多い。一方、立ち退きや町会の世帯数の減少などで不安を抱く住民もいる。語る場や学習の機会を設け、住民の想いを市政へ届けなければならない。
- ・コロナ禍ではあったが、すべてを中止にせず、出来る事を考え取り組むことが出来た。事業実施の可否についてその都度住民や地区団体と意見交換し、議論が出来たことは財産となった。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等
	平和権	健康福祉	子育て	環境	文化地域	教養趣味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	1	11	3	4	7	5		3	2	1	2	7	2
延べ参加人数	12	1371	145	150	187	104		246	130	16	65	457	360

	CS	食育
事業数	2	2
延べ参加人数	100	76

令和2年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
中央地区お花見会	4月	中止	地域事業 (その他)	成人	0人	松本城の桜を楽しみながら、地区役員と住民の親睦、交流を図ることを目的に開催	【準備過程】 町会連合会が主体となって開催方法について検討を行った。 【共催団体等】 中央地区町会連合会、福祉ひろば、社協、健康づくり推進員、民生・児童委員協議会	【評価と反省】 コロナ禍により今年度は中止となった。楽しみにしている地区住民もいるため、各団体の役員の協力のもと来年度も実施したい。 【今後の方針】 継続開催		
松本城 城西北壇整備支援	6月 10月	2回	環境	成人	100人	地元団体、近隣中学生のボランティアにより、松本城の西側にある花壇の植え替え作業を春に1回、秋に1回開催。松本城を訪れる観光客や、通行人に花いっぱい運動のPRを行う。	【共催団体】 中央ボランティア部 地元各団体	【評価と課題】 松本城を訪れる人たちへのおもてなしとなっている。秋には丸ノ内中学生の緑化福祉委員会の生徒も参加し、と地元住民の交流の場となっている。 【今後の方針等】 継続開催	○	
丸ノ内中学校花壇整備	6月 1月	2回	環境	青少年	0人	丸ノ内中学校の来校者を明るく迎える目的で、緑化委員会の生徒と地域住民が交流しながら花植えを行う。	【準備過程】 公園緑地課と調整し花苗や肥料等を準備 【共催団体等】 中央地区ボランティア部会、中央地区健康づくり推進員	【評価と反省】 コロナ禍により、生徒達との交流は中止とし、苗や培養土の材料を支給した。学校からもありたいと評価をいただいている。 【今後の方針】 継続開催	○	
公民館花壇整備	6月 11月	2回	環境	成人	50人	地区住民の有志を募り、公民館の花壇を整備する。 公民館へ愛着を持ってもらうとともに、住人同士の親睦を深める。	【準備過程】 公民館と緑化推進委員で日程や資材について検討 緑化推進委員から苗や土などの資材提供あり。 【共催団体等】 緑化推進委員、ボランティア部会、地元各団体	【評価と反省】 毎年大勢の参加があり、公民館の環境美化につながっている。資材運搬や花植えなど、主体的に作業に取り組んでいただいている。 【今後の方針】 継続開催		
上高地 自然体験観察会	6月21日	中止	環境	青少年	0人	上高地の雄大な自然に触れ、子ども達が自立心を育む体験、自然環境の仕組み等について学ぶ目的で開催。	【準備過程】 公民館と子ども会育成会で日程調整 育成会で事業の周知、参加者募集 公民館でガイドの派遣 【共催団体等】 子ども会育成会	【評価と反省】 コロナ禍のため中止となった。 【今後の方針】 継続開催 コロナ感染状況を踏まえ実施について検討		
七夕まつりコンサート	7月30日	1回	地域文化	成人	30人	コンサートを開催し、七夕の文化に触れてもらうことを目的に開催。 笹を準備して公民館ホールに飾り、地区住民に願い事を記入してもらう。 コンサート内容：ピアノとヴァイオリンの饗宴 ピアノ：伊藤 訓子 ヴァイオリン：深沢 厚	【共催団体等】 福祉ひろば	【評価と反省】 七夕にちなんだ曲や馴染みのある曲を演奏していただき、参加者に楽しんでもらえた。 【今後の方針】 開催日及び周知方法の工夫を検討し、福祉ひろばの協力を得ながら継続開催 コロナ禍で開催できなかった「七夕ほうとう」作りも行いたい。		
ずいか割交流会	8月5日	1回	地域事業 (その他)	青少年	15人	子ども達にスイカ割を体験してもらい、公民館の存在を知ってもらうことを目的に開催。	【準備過程】 子ども会育成会と日程調整 【共催団体等】 中央地区子ども会育成会	【評価と反省】 コロナ感染対策を徹底して開催。制限がある中でも子どもに楽しんでもらえた。 密を避けるため、地区住民との交流の場を設けることが出来なかった。 【今後の方針】 子ども達と地区住民が交流する貴重な場であり、今後も実施していきたい。		
歴史探訪	8月7日	中止	福祉健康	成人	0人	戦国時代に生き抜いた女城主に触れ、女城主ゆかりの山城「岩村城」を訪れ、歴史のまちなみをウォーキングし、女性の社会活躍について考えることを目的に開催	【準備過程】 募集チラシを全戸配布 【今後の方針等】 継続開催 松本城や林城など、市内の城や城址と絡め、学びを深めたい。	【評価と課題】 コロナ禍のため中止となった。 【今後の方針等】 継続開催		
青山様・ぼんぼん	8月8日	中止	地域文化	青少年	0人	ぼんぼん・青山様の実施。博物館から四柱神社までの往復。伝統行事の体験と継承を目的に開催	【準備過程】 子ども会育成会会の支援 大手公民館は、子どもの安全確保、写真撮影に協力 【共催団体等】 中央地区子ども会育成会主催	【評価と反省】 コロナ禍のため、中止となった。 【今後の方針】 継続開催 伝統行事をどう継承・経験させていくかは課題。保護者が地域行事に関心を持てるよう、育成会と盛り上げていく必要がある。		
塩の道ウォーク	8月23日	1回	地域文化	成人	7人	かつて塩が運ばれた「塩の道」をたどり、松本の生活や経済を支えた歴史を学ぶことを目的とする。 新型コロナウイルスの感染拡大により、外出する機会が少なくなってしまうため地区住民に対し、ウォーキングの機会を提供し、健康増進を図ることを目的とする。	【準備過程】 大手公民館と小谷村観光連盟で調整、ガイドの手配 公民館便りで周知	【評価と反省】 ガイドから様々な歴史を学ぶことが出来た。当時の道が当時のまま保存されているなど、中央地区内の歴史文化の保存についても考えさせられる機会となった。 猛暑の中ではあるが、涼しい山道を歩き、適度な運動となった。 【今後の方針】 継続開催 今回の続きを歩くなど、住民の意欲を引き出したい。		

令和2年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
中央地区マレットゴルフ交流会	9月3日	1回	地域事業 (体育)	成人	16人	誰もが楽しめるマレットゴルフを通して、健康の増進と参加者同士の交流を図る。	【共催団体等】 中央地区体育協会、中央地区マレットゴルフ同好会、大手公民館体育委員会	【評価と反省】 日頃の運動不足解消と交流が深まる良い機会となっている。 体育協会からの補助を活用して景品を用意し、大会を盛り上げることが出来た。 【今後の方針】 継続事業、年2回開催予定 今年度は中止となつてしまった市民体育大会秋季大会への参加を促したい。		
8ミリフィルム映写機 映画上映会	9月5日 3月26日	2回	趣味教養	成人	50人	昭和を感じる8ミリフィルム映写機を用いて、映画の鑑賞会を行い、懐かしさを感じてもらうとともに、教養を高めてもらう。	【準備過程】 務台氏が高校生と打ち合わせを行う。 公民館でチラシを全戸配布 【共催団体等】 蠺ヶ崎高校演劇部 深志高校落語研究会 務台秀夫氏（映写機・フィルム等所有）	【評価と課題】 務台氏の協力のもと、昔懐かしい8ミリフィルムの上映会が出来た。当時は懐かしむ参加者もいた。 1回目は英語作品の上映で、蠺ヶ崎高校の演劇部の生徒が同時通訳を行い、素晴らしい取り組みが見られた。 2回目は 【今後の方針等】 継続開催		
三世代ウォーキング	9月22日	1回	福祉健康	成人	11人	江戸時代に重要な道路であった中山道をたどり、中南信の文化・経済を結んだ歴史を学ぶことを目的とする。 今回は難所と言われた鳥居峠を歩く。 新型コロナウイルスの感染拡大により、外出する機会が少なくなつてしまった地区住民に対し、子供からお年寄りまで楽しめるウォーキングの機会を提供し、健康増進を図ることを目的とする。	【準備過程】 募集チラシを全戸配布 現地ガイドの手配 【共催団体等】	【評価と反省】 現地ガイドの案内により、色々なことを知る機会となった。 お孫さんを連れての参加もあり、多世代で交流することが出来た。 【今後の方針】 継続開催 外出し、適度に運動する機会を提供出来るよう支援していきたい。		
日赤奉仕団中央分団 視察研修	10月2日	1回	防災	成人	16人	令和元年10月に過去最大の勢力で上陸した台風19号の被災地である、長野市長沼地区を訪れ、災害時の状況や支援活動について学ぶ。	【準備過程】 日赤奉仕団中央分団が行程を決定。大手公民館は共催としてバスの手配等を担当	【評価と反省】 5月の予定が一度延期となったが、開催することが出来た。 水害の恐ろしさや日頃の避難行動・奉仕活動の重要性を改めて認識した。 館報や公民館運営委員会において情報提供を行ったが、さらに地区内へ広げていきたい。 【今後の方針】 継続開催 防災意識を高める研修の機会を検討		
親子電子工作講座	10月3日	1回	趣味教養	青少年	5人	子ども達に電子工作に興味を持ってもらうとともに、公民館の新規利用者の拡大を目的に開催 光るLEDに手を近づけたり離したりして演奏する楽器「手でミン」の制作体験	【準備過程】 松本電子工作クラブと講座内容について調整 【共催団体等】 松本電子工作クラブ	【評価と反省】 公民館を利用する団体「松本電子工作クラブ」に、子供向けの工作体験が出来ないかと声をかけたところ、超音波を用いた楽器を組み立ててはどうかと提案があり、実施した。 当日の参加は少なかったが、利用団体との協働による講座の企画が出来た事は財産となった。 【今後の方針】 利用団体の協力を得て講座の企画などを行いたい。		
第16回 中央地区 ふれあい祭り	10月18日	中止	地域事業 (文化)	成人	0人	「つなげよう中央地区の絆」をテーマに、各利用団体の成果発表、作品の展示、ステージ発表会の開催。子どもコーナーの設置、うどん類や農産物の販売等を実施。地区住民が企画を自ら考え、住民主体の地区行事として開催	【準備過程】 中央地区関係団体で実行委員会を組織、部門別に責任者を決め、大手公民館が事務局を担当	【評価と反省】 8月の実行委員会において、コロナ禍のため中止を決定。何かしらは行いたいという想いを持った住民もいた。 【今後の方針】 継続開催。コロナ対策も含め、どのような形で開催するか地区住民の議論を促しながら決定したい。		
歴史講座	10月30日	1回	防災	成人	30人	旧松本市域では、過去にどのような災害が起きていたのか。松本城管理事務所研究室の南山先生を講師にお招きし、火災、地震、台風、水害などの災害をテーマに当時の記録をたどる。 過去の災害の範囲や規模を知り、学び、防災知識を高め、いざという時に備えることを目的に開催	【準備過程】 松本城管理事務所へ講師依頼 講師と内容調整 募集チラシ作成 【共催団体等】 松本城管理事務所	【評価と反省】 災害に興味のある住民も多く、有意義な講座となった。また、疫病の歴史も触れていただき、新型コロナ禍の中でタイムリーな内容となった。 【今後の方針】 災害・感染症など住民の学びを促すような内容を企画したい。		
秋の展示会	11/6 ～11/8	1回	趣味教養	成人	38人	中止となったふれあい祭りの代替策として、サークル活動の作品や個人作品を展示する機会を設けることを目的に開催	【準備過程】 作品募集チラシ配布 作品搬入・展示 来館者受付 作品搬出 【共催団体等】 利用団体「手習いの日」	【評価と反省】 利用団体から、作品展示の場が欲しいと依頼があり、その想いに応え展示会を実施した。 募集をかけたところ、毎年ふれあい祭りへ作品の展示をしてくださる住民や利用団体の作品、また、福祉ひろばサークルの作品を展示することが出来た。 「手習いの日」のメンバーにも展示会の会場設営や受付などを手伝っていただき、協働して運営が出来た。 【今後の方針】 ふれあい祭りととは別の形での展示企画についても検討したい。		
中央地区人権啓発推進協議会視察研修	11月14日	1回	人権平和	成人	12人	富山県立イタイイタイ病資料館を訪れ、富山県の神通川流域で起きた「イタイ、イタイ病のおそろしさ」を知り、「克服の歴史」を学び、環境と健康の大切さ、生きる上で大切なメッセージを知る視察研修とする。	【共催団体等】 中央地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 家族がイタイイタイ病に苦しめられた方のお話を直接聞き、公害の恐ろしさ、克服への想いを学ぶことが出来た。人が生きる権利について改めて学ぶ機会となった。 【今後の方針】 次年度も人権にまつわる場所を訪ね継続開催		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
買い物支援事業	11月25日	1回	福祉健康	高齢者	7人	買い物に不便を感じている高齢者支援を目的に開催 四賀地区のしののめの道バザールを訪れ、四賀地区の住民との交流を行う。	【準備過程】 公民館便りを全戸配布 町会長や福祉互助会を通じて対象者へ声掛けを依頼 【共催団体等】 町会連合会 中央地区福祉互助会	【評価と反省】 四賀地区を周りながら、参加者同士の交流が深まった。 高齢者にとって負担にならないよう工程を工夫する必要があった。 他の行事と重なり、参加者が少なかった 【今後の方針】 買い物に不便を感じている高齢者が地区内にどれだけいるのか、地区住民の話を聞き取りながら把握し、事業へ繋げていきたい。		
利用団体大掃除	12月1日	1回	その他	成人	10人	公民館への感謝を込めて、利用団体の協力を得て大掃除を行う。 無理のない範囲で参加を呼びかけ	【準備過程】 利用団体への協力依頼	【評価と反省】 積極的に参加いただく利用者もいて、非常に助かっている。 【今後の方針】 継続開催 利用者とのコミュニケーションを取る機会としても活用したい。		
クリスマスコンサート	12月16日	1回	子育て	青少年	15人	子育て親子の支援および生きがいくりに寄与することを目的に開催	【準備過程】 大手公民館たよりで周知 【共催団体等】 中央地区福祉ひろば	【評価と反省】 リトミック講師の布野えいじ先生にクリスマスソングの発表をしてもらい、親子で楽しむことができた。 【今後の方針】 子どもが喜ぶ内容を検討し、福祉ひろばの協力を得て次年度も継続開催したい。		
門松作り	12月17日	1回	地域文化	その他	10人	地区役員有志が集まり、大手公民館玄関前に高さ約2mの門松を設置	【準備過程】 公民館で材料調達や資材運搬の支援、当日の作業補助	【評価と反省】 役員の高齢化により、材料調達も困難になりつつあるが、毎年立派な門松を頂いている。 【今後の方針】 継続開催		
世代間交流 中央地区餅つき大会	12月28日	1回	地域事業 (文化)	成人	65人	住民寄贈の木製の杵と臼を使い、子ども達に本格的な餅つきを体験させ、世代間交流を図る。	【準備過程】 福祉ひろばが材料の手配・役割分担の調整 町会役員が餅つきの補助 健康づくり推進員や民生委員が餅を丸めて提供 材料費等は町会連合会で負担 【共催団体等】 町会連合会、健康づくり推進員、民生・児童委員、町内公民館長会、日赤奉仕団、ボランティア部会、中央地区福祉ひろば	【評価と反省】 コロナ対策を徹底して開催した。 松本大学の学生、信州大学の留学生にお手伝いを依頼し、子どもからお年寄りまで多くの交流が生まれた。 【今後の方針】 子どもと高齢者が交流し、伝統的な餅つきを体験できる貴重な機会。次年度も継続開催		○
中央地区 新年初顔合わせ会	1月5日	中止	地域事業 (その他)	成人	0人	新年を祝いながら、地区役員と住民の親睦、交流を図ることを目的に開催	【準備過程】 年末に打ち合わせ会を実施 【共催団体等】 中央地区町会連合会、福祉ひろば、社協、健康づくり推進員、民生・児童委員協議会、ボランティア部会、町内公民館長会、日赤奉仕団	【評価と反省】 参加者を役員に限定する、料理を個々に盛るなど工夫しての開催が検討されたが、感染警戒レベルがあがり、中止となった。 どのように開催するか議論を深めたことは出来た。 【今後の方針】 継続開催		
中央地区新春落語会	1月21日	中止	趣味教養	その他	0人	新春の中央地区に笑いを届ける企画として毎年開催。演者：橘屋圓太郎さん	【準備過程】 松本落語協会と日程調整 【共催団体等】 社協、福祉ひろば、町内公民館長会からなる実行委員会を組織	【評価と反省】 コロナ禍のため、中止となった。 【今後の方針】 継続開催 落語ファンが増えるなど毎年好評いただいている。もっと落語を身近に感じてもらいたい。		
食育講座	1月～2月	1回	趣味教養	成人	11人	生きる源である「食」を学び、健康づくりと教養を深めるために開催。 ①本格中華に挑戦 講師：出井健二氏 ②健康料理講座 講師：水野尚子氏	【準備過程】 各回の講師にレシピ作成を依頼。 【共催団体等】 健康づくり推進員が材料費を一部負担。	【評価と反省】 毎年人気の食育講座で、各コース好評をいただいている。 ①本格中華に挑戦は、コロナ感染警戒レベルがらとなり中止となった。 ②健康料理講座については、講師指導のもと、たくさんの品目を使用したメニューを調理し、学ぶことが出来た。 【今後の方針】 継続開催 幅広いテーマで食育を進めたい。		○
雪中ウォーキング大会	2月18日	1回	福祉健康	成人	11人	雪上において、スノーシューを装着し、ウォーキングを行い下半身を中心に鍛えるとともに、地区住民の親睦を図る。 また、小谷村で行われている保存食「雪中キャベツ」を収穫し、伝統的な保存方法や小谷村の文化を学ぶ。	【準備過程】 公民館でチラシを作成し周知 【共催団体等】 中央地区体育協会から一部補助を受け開催	【評価と反省】 積雪が2m近くある会場において、新雪の中ウォーキングを行い、負荷の高い運動となった。 収穫したキャベツは居酒屋公民館へ提供し、他事業と絡めることができた。 【今後の方針】 継続開催		
中央地区 町内公民館長会 視察研修		中止	地域事業 (その他)	成人	0人	町内公民館活動の振興を図るために開催	【準備過程】 視察地の選定 募集チラシの作成 【共催団体等】 中央地区町内公民館長会主催	【評価と反省】 コロナ禍により、中止とした。 【今後の方針】 継続開催 館長会で先行等についてしっかりと話し合いをしよう。		

令和２年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
かんたん体操コース	12/10 12/17 2/25 3/25	4回	福祉健康	成人	40人	コロナ禍により、外出が減った高齢者を支援するもの。	【準備過程】 アンケートを実施し参加者のニーズを把握 ニーズにあった講師の選定 【共催団体等】 中央地区体育協会から一部補助を受け開催	【評価と反省】 既存講座（いきいき元気大学）の参加者へアンケートを行い、「もう少し簡単にできる体操があれば参加したい」とニーズを反映し企画した。 ラジオ体操の指導資格を持つ講師を選び、誰もが親しんでいるラジオ体操と脳トレを組み合わせた内容とした。 【今後の方針】 継続開催 町会でのサロン活動などに出向き、介護予防として実施することも検討したい。		
長期休み子ども開放（夏・春）	8月3日～ 8月18日 3月19日～ 4月5日	11回 12回	子育て	青少年	20人	子ども達に宿題の出来る場所を提供し、公民館は身近なところだと感じてもらおうことを目的に実施	【準備過程】 地区内全戸配布で周知	【評価と反省】 コロナ禍であり、積極的に子どもを集めることはなかったが、勉強をしに来た子どもとの交流が出来た。 【今後の方針】 継続開催 子どもと地区住民との交流も図りたい。		
いきいき元気大学（第9期・第10期）	4月～3月	14回	福祉健康	成人	240人	健康寿命延伸を目的に、毎回テーマを変えて開催。健康づくりと体力づくりに励む。脳トレやリズム運動、ストレッチ等を行う。 8月には屋外でのウォーキング研修を行った。 講師：百瀬みどり氏	【準備過程】 公民館と講師で日程調整。 参加者への周知は公民館。 テーマは講師に一任。	【評価と反省】 平成16年度から続く人気の講座。健康づくりと体力づくりに楽しく励むことで、生きがいづくりにもつながっている。 参加者へのアンケートを実施し、引き続きこれまでの内容で進めることを確認した。 【今後の方針】 今後も主催事業として継続開催		
健康アップ歌唱講座（第21期・第22期）	5月～9月	18回	福祉健康	成人	400人	歌唱による健康増進のため、呼吸法、声帯の使い方など学び、心のケアも目指すことを目的に開催。地区ふれあい祭りやクリスマスコンサート等で成果を発表 講師：木次由美子氏	【準備過程】 大手公民館と講師で日程調整。参加者への周知は公民館。内容は講師一任	【評価と反省】 参加者から心の癒し、健康アップ、歌唱力アップにつながるかと好評 ふれあい祭りなどが中止となり発表の機会がなかったが、目標を持って取り組みたい。 【今後の方針】 参加者の反応や講師の分析等を踏まえ、より充実した内容で実施したい。 今後も主催事業として継続開催		
居酒屋公民館	4月～3月	9回	その他	成人	120人	「みんなで気軽にワイワイ!!」をテーマに語り合う企画。住民の交流と、語り合いの中から生まれる住民の自主的な地域活動等につなげていけるよう毎月1回定期的に開催 「昔の写真を見ながら思い出を語る」 「エイズ・コロナウイルスなどの感染症について知る」 なども行った。	【準備過程】 食べたいものや飲みたいお酒などは各人で用意 参加者で会場設営・片付け	【評価と反省】 コロナ禍において中止となった回もあったが、感染症対策を行い実施した。昔の写真を上映し思い出を語ってもらうなど、毎回盛り上がりがある。参加者から生まれる住民同士の連携や交流に期待したい。 【今後の方針】 昔の写真の上映会や感染症についての勉強会などを一緒に開催し、会が盛り上がるよう企画したい。		
フラダンス講座	4月～3月	19回	福祉健康	成人	200人	地区住民の健康及び社会福祉の増進、心身のリフレッシュを目的として開催 講師：KIYOMIさん	【準備過程】 講師と日程・内容調整 募集チラシを全戸配布	【評価と反省】 フラダンスの基礎を習い、課題曲を2曲覚える事が出来た。 【今後の方針】 継続開催 参加者と講座名を考えたい。 既存事業での発表を参加者へ提案していきたい。		
公民館五部門委員会	4月～3月	通年	公民館委員会・各種会議等	成人	300人	運営、館報、図書・視聴覚、文化、体育の五部門委員会により、公民館事業の企画・運営、評価等を行う。 運営委員会は、社協企画委員会と合同で開催し、地区内各種団体を横につないで、情報交換や課題の共有などを行った。	【準備過程】 各部門ごとに随時開催	【評価と反省】 各部門において新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた上で、行事や企画の検討・協議を行うことが出来た。 【今後の方針】 各委員会の目的、取り組みについて再度確認したい。		
図書・視聴覚委員会	4月～3月	9回	公民館委員会・各種会議等	成人	60人	「平成のまちなみの記録を残す」ことを目的として活動を開始し、①現在のまちなみを定点撮影して残す②昔と今の写真を対比出来るよう整理する③昔の写真を振り起こす④昔の写真を活用する、の3つの柱として活動を行った。	【準備過程】 委員会において活動の方向性を協議	【評価と反省】 昔の写真を活用し、①居酒屋公民館、②昭和の松本を語る女子会、③丸ノ内町会、④西堀町会、⑤二ノ丸町会、⑥鷹匠町・開智小・田町小界限、⑦上土町会において昭和を語る会を開催した。 昔の写真にまつわる思い出の聞き取り、写真へのコメント付けを行った。 【今後の方針】 定点撮影を進め、写真の整理を行う。 引き続き町会単位で「思い出を語る」場を作り、思い出の聞き取り作業、写真とコメントのヒモ付け作業を進める。		
各町会での「場づくり」活動（昭和の松本を語る会）	8月～3月	9回	地域文化	成人	120人	昔のまちの様子を撮った写真を活用して、思い出を語る場を居酒屋公民館や町会単位で開催した。 図書・視聴覚委員会の中で、女性に限定して開催してどうかと提案があり、「女子会」も企画した。	【共催団体】 松本大学、福祉ひろば、中央地区地域づくりセンター	【評価と反省】 町会の協力も得ながら「場づくり」を行うことが出来た。昔の思い出を語ることは、認知症予防にもつながり、施設との連携や、各町会での「場づくり」にも有効なため、今後も実施町会を増やしたい。 女子会では、女性ならではの思い出を聴くことができて、貴重な資料となった。 【今後の方針】 引き続き、町会での場づくりを推進したい。		

令和2年度 事業報告

大手公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
大手公民館要援護者 優先避難所運営委員会	4月～3月	13回	防災	成人	200人	運営委員会を組織化し、定期的に開催している。防災知識や避難所での役割を学び、平時から災害に備えることを目的とする。 班長会 年5回開催 委員会 年8回開催	【共催団体等】 大手公民館要援護者優先 避難所運営委員会、中央 地区自主防災会、町会連 合会、中央地区地域づく りセンター	【評価と反省】 避難所体験ゲームややさしい日本語講座など、を学習し、9月26日に避難所運営訓練を開催。訓練を行う中で見えてきた課題の共有や、運営にふさわしいマニュアルの改定に向けた話し合いを行うことができた。 また、班長会において訓練や委員会の内容を検討し、委員会へ提案した。 【今後の方針】 定期的に開催し、班ごとの活動内容を確認し、いざという時に動ける住民を増やしていきたい。		
中央っ子応援団	4月～3月	22回	子育て	成人	110人	地域でも子供たちを支援しようと、地元団体からなる「中央っ子応援団」を結成 下校時の見守り活動について各団体と調整を行った。	【準備過程】 会議の招集や見守り当番の周知 【共催団体等】 地区各団体	【評価と反省】 開習学校側から大変ありがたいと感謝をされており、学校との連携や、コミュニティースクール事業の充実につなげたい。活動は月2回行うことができ、応援団の協力に感謝したい。 【今後の方針】 地域でも子どもを育てていくことが重要視されるため、中央っ子応援団が子ども達との交流の場となるよう支援していきたい。 各団体の負担が増えないよう、協力していく。		
飯田OIDE長姫高 校フィールドワーク 生徒受け入れ検討	4月～3月	5回	地域文化	成人	20人	高校生が中央地区でフィールドワークを行うことに併せ、まちがどのように変化し現在に至ったかを地区でまとめた学習資料作りを行った。	【準備過程】 地区住民と資料内容について検討 【共催団体等】 松本大学、上土町、大名町、緑町、NPOまちづくり信州	【評価と反省】 コロナ禍により、生徒達と直接話す機会を設けることが出来ず、反応や手応えが分からなかったが、地区の歴史的背景などを資料にまとめることが出来た。 【今後の方針】 作成した資料の検証と、今後の受け入れについても検討していきたい。		
松本城の床磨き	5月～9月	中止	地域文化	成人	0人	松本城周辺に居住を構える地区として、子どもに限らず大人も市の宝である松本城に触れ関わり、後世に残していく責務があるとして全6回開催。床磨き終了後に研究専門員によるお話会にも参加	【準備過程】 松本城管理事務所主催の企画に公民館で申込み	【評価と反省】 コロナ禍により中止となった。 【今後の方針】 継続開催 国宝である松本城に、より愛着を持つ住民を増やしていきたい。		
健康づくり ワークショップ	6月～3月	6回	福祉健康	成人	60人	地区の担い手である健康づくり推進員や体力づくりサポーター、音楽健康指導士などに参加してもらい、会議の前や町会での集まりで行える脳トレやワンポイント体操、健康タイムスの編集について検討した。 地域包括ケアシステム構築のうえで必要となる場づくりのための人材づくりを目標とした。	【準備過程】 JAGESの把握 住民への周知・チラシ配布 【共催団体】 中央地区地域づくりセンター、福祉ひろば	【評価と反省】 各団体や、参加者の活動目標の設定を行い、取り組んだ。高齢者が集まる機会（ふれあい会食会、ふれあい健康教室など）にワンポイント体操や口腔体操、スポーツボイス体験を実践した。 また、より多くの住民に伝わるように、「健康タイムス」を創刊し、配布した。 【今後の方針】 各町会での集まり等で行うワンポイント体操の実践に向けて話し合いを行う。 実践できる脳トレやワンポイント体操のレパートリーを増やす。 健康タイムスの内容について検討する。		
ようこく朝市支援 城南あさ市支援	6月～11月	12回	地域事業（その他）	高齢者	250人	どちらの朝市も、①日頃閉じこもりがちの人たちを対象に、買い物しながら外出する場を提供する②出かけてきた人たちが安心して交流できる「居場所」を設けることを目的に実施	【準備過程】 関係団体からなる実行委員会を開催し、方向性を確認しながら実施 【共催団体等】 深山農業塾、波田商工会、四賀しのめの道バザール、関係町会からなる実行委員会を組織	【評価と反省】 身近な買物の場となっている。また、お茶飲み場も設け、来場者の交流の場もなっている。日頃閉じこもりがちの人たちに、声掛け・見守るためのツールとして朝市を活用しよう、という話になっている。 【今後の方針】 継続開催		
中央地区福祉互助会 かかわり隊事業支援	4月～3月	通年	福祉健康	高齢者	102人	困っている人と、何とかしてあげたいと思っている人を繋げる事務局（福祉推進員）を設置し、ボランティア（協力会員）が援助を必要とする高齢者（利用会員）の依頼により、日常生活の中で発生する困り事の中からできる事を支援する安価な有償サービスを提供するもの	【準備過程】 中央地区地域づくりセンターと町会連合会の協働により事務局を設置。2月に1回の「かかわり隊員会議」を通して課題を議論し、情報を共有	【評価と反省】 立ち上げから5年が経過。新たに配置された生活支援員とともにちょっとした困り事の解消や困りごとを支援できる人を引き続き募集したい。 【今後の方針】 継続支援		
町会連合会支援	4月～3月	通年	地域事業（その他）	その他	192人	地域拠点施設として信頼される公民館を目指すことを目的に、地区関係団体の総会資料印刷や通知文作成等に協力。定例町会長会議に出席することで、住民の生の声を聞き、課題や要望等を把握する。	【準備過程】 町会連合会がメインであるが、地域づくりセンター及び公民館で支援を行っている。	【評価と反省】 仕事を掛け持つ町会長や、ご高齢の町会長が多いが、地域行事等には積極的に協力いただいている。新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業の実施の可否について随時検討することが出来た。 【今後の方針】 継続支援		
社協中央地区支会支援	4月～3月	通年	地域事業（その他）	その他		各団体からなる企画委員会では、①情報交換、②課題共有、③ふれあい会食会の開催可否、企画の検討、④社協だよりの発行などについて協議を行った。	【準備過程】 公民館は地域づくりセンターとともに事務局の立場として、召集や事務作業を分担	【評価と反省】 各団体に積極的に参加いただき、情報交換を行っている。さらに連携や事業企画へつなげたい。 住民が抱える課題が会議に反映され、解決策が話し合われることが必要 【今後の方針】 継続支援		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
早朝歩こう会支援	3月～11月	9回	福祉健康	成人	300人	3月～10月までの第2日曜日に開催。夏場朝6時から、それ以外は朝7時から実施。住民の健康増進と交流を図ることを目的に開催 11月は福祉ひろばと共催で講師を招いてウォーキングやストレッチの講習会を実施	【共催団体等】 中央地区町内公民館長会 主催	【評価と反省】 20年以上続く事業。年々参加者が減りつつあるが、常時20人ほど集まる人気事業である。 【今後の方針】 継続支援		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】

- ・地区関係団体と連携して、地区の文化・福祉の向上を図る。
- ・地区内の一体感を持たせるための事業を展開し、地域コミュニティの推進を図る。
- ・コミュニティスクール事業に関して、地区の学校（旭町小学校、旭町中学校）、またその他の教育機関（信州大学、美須々丘高校、松本盲学校、松本養護学校分教室しなの木教室）と地域住民、学校同士のパイプ役として、相互を繋げられるような事業の展開、課題の共有、解決の模索を行う。
- ・男性の公民館事業参加率の向上を図るため、男性向け事業の展開を図る。

評 価 ・ 反 省 等

・旭町小学校を中心にコミュニティスクール事業を積極的に展開することができた。しかし、対象学年がほぼ1年生であったため、来年度は他の学年との交流も深められたい。また、地区内にある教育機関が一同に会して行う音楽会が、今年度は新型コロナウイルスの影響で中止となってしまった。この音楽会は、学校同士の繋がりだけでなく、地区住民の一体感を生む良い機会となるため、来年度は開催に向けて尽力したい。

・地区内の一体感、地域コミュニティの推進を図るため、上記方針を掲げ活動する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大により貸館停止・事業中止方針に伴い、住民や公民館利用者、学校等と調整に追われる一年となった。また、地区のメインイベントである夏祭りや文化祭も中止となり、活発な公民館活動ができなかった。

来年度は、「集う・学ぶ・結ぶ」という公民館理念に沿った事業展開ができるよう、コロナ禍における事業を模索しながら活動していきたい。

	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種 委員会 等・
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数	3	3	7		3	2			6		2		2
延べ参加人数	55	322	70		148	77			148				89

	C S	食 育
事業数	10	3
延べ参加人数	142	76

令和2年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
善光寺街道探訪	6月29日	1回	その他	成人	13人	【内容】 ・安原地区歴史研究会の会員を中心に善光寺街道の宿場巡りを行う。 【ねらい】 ・安原地区歴史研究会の課外学習とし、毎月行われる定例会に活かすとともに、地域活性化につなげる。	【準備過程】 ・安原地区歴史研究会との打ち合わせ、調整 ・各施設の予約 【共催団体】 ・安原地区歴史研究会	【評価と反省】 ・実際に現地を歩くことで、過去に思いを馳せながら学習することができた。 【今後の方針】 ・今回は麻績宿までを学習したため、来年度は麻績宿から善光寺までを見学、学習する。		
2020サマーナイトフェスタIN安原	7月18日	中止	地域事業(文化)	その他	0人	【内容】 ・安原地区住民を対象とした夏祭り。子ども映画会、ビンゴゲーム、露店での飲食販売などを行う。 【ねらい】 ・安原地区全体の交流、地域活性化を図る。子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しめる企画とする。	【準備過程】 ・公民館運営委員会、文化委員会合同会議にて開催可否、内容等を協議 ・全戸配布の公民館だより、チラシによる広報 【共催団体】 ・安原地区公民館運営委員会 ・安原地区公民館文化委員会 ・安原地区まちづくり協議会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 【今後の方針】 ・開催方法の検討。 ・伝統行事として継続		
旭町小学校七夕飾りづくり	7月29日	1回	趣味教養	青少年	60人	【内容】 ・村山人形店を講師に迎え、旭町小学校の1年生を対象に七夕飾りづくりを行う。 【ねらい】 ・七夕飾りづくりを通して、古き良き日本の文化を子どもたちに知ってもらう。	【準備過程】 ・小学校教諭との打ち合わせ ・事前に村山人形店にて、当日参加する保護者とともに作り方を教わる。	【評価と反省】 ・1時間の講座であったが、集中力を切らすことなく、楽しく体験できていた様子。 ・保護者に数名お手伝いいただいたが、もう少し人数がいてもよいと感じた。 【今後の方針】 ・学校側の要望に応じ、来年度も継続する。	○	
夏休み子どもバス企画	8月7日	中止	子育て	青少年	0人	【内容】 ・子ども会育成会と共同で企画。安原地区の小学生を対象に野辺山高原で動物と触れ合ったり、ペジタポールウィズにてプラネタリウムを見たりする。 【ねらい】 ・子どもたちの夏休みに合わせて、普段できない体験を行う。	【準備過程】 ・安原地区子ども会育成会を通じて安原地区の小学生のいる家庭にチラシを配布する。 【共催団体】 ・安原地区子ども会育成会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 【今後の方針】 ・伝統行事として継続する。	○	
PayPay説明会	9月15日	1回	その他	成人	11人	【内容】 ・松本市の消費応援キャンペーンに合わせて、PayPayの利用の仕方について説明会を開催する。 【ねらい】 ・より多くの住民が非接触型決済による新型コロナウイルス感染予防とキャッシュレスの利便性を体験してもらう。	【準備過程】 ・講師との日程調整、内容打ち合わせ。 ・全戸配布による公民館だよりにて周知。	【評価と反省】 ・講師が複数人きていただいたことで、参加者へ個別に対応することができた。 【今後の方針】 ・同じようなキャンペーンの有無、地区の要望に応じて、再度開催する。		
あさば野実りの音楽フェスタ	9月19日	中止	人権平和	青少年	0人	【内容】 ・安原地区の小・中・高・大学が一同に会して、合同で音楽祭を行う。 【ねらい】 ・安原地区住民と地区の児童、生徒の音楽を通じての交流を図るだけでなく、子どもたち同士の縦の繋がりを持てる場とする。	【準備過程】 ・下記共催団体との開催可否協議、日程調整等。 ・全戸配布のチラシにて広報する。 【共催団体】 ・安原地区まちづくり協議会 ・安原地区人権啓発推進協議会 ・安原地区町内公民館館長会 ・信州大学吹奏楽団 ・松本美須々丘高校 ・旭町中学校 ・旭町小学校 ・附属松本中学校	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 【今後の方針】 ・開催方法の検討をし、事業継続を図る。	○	
旭町小学校1年生遠足支援	10月16日	1回	その他	青少年	65人	【内容】 ・地区住民が旭町小学校1年生の遠足の引率を行う。 【ねらい】 ・子どもたちの安全確保、地区住民と子どもたちの交流を図る。	【準備過程】 ・小学校教諭との打ち合わせ ・地区住民への周知	【評価と反省】 ・お手伝いに入っていたことで安心して遠足を行うことができたと学校側からお話いただいた。 【今後の方針】 ・学校側の要望に応じて、来年度も継続する。	○	
第20回安原地区文化祭・ひろば祭り	10月17日～10月18日	中止	地域事業(文化)	その他	0人	【内容】 ・2日間にわたり、展示・ステージ発表・露店販売等を行う。また、子供向けのイベントも開催。 【ねらい】 ・安原地区全体の交流、地域活性化を図る。	【準備過程】 ・下記共催団体と審議、打ち合わせを行う。 ・全戸配布のチラシで周知 【共催団体】 ・安原地区文化祭実行委員会 ・安原地区公民館運営委員会 ・安原地区公民館文化委員会 ・安原地区まちづくり協議会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 【今後の方針】 ・開催方法の検討をし、事業継続を図る。		
歴史講演会	10月17日	1回	地域文化	成人	30人	【内容】 ・松本市文書館特別専門員の小松芳郎先生を招き、地区出身の歴史的先駆者「近藤次繁」について講演をしていただく。 【ねらい】 ・安原地区から生まれた歴史的先駆者を知ることで、自身の住む地区の歴史について研鑽を積む。	【準備過程】 ・小松芳郎先生との日程調整、内容打ち合わせ ・全戸配布による公民館だよりにて周知 【共催団体】 ・安原地区まちづくり協議会 ・安原地区歴史研究会	【評価と反省】 ・「近藤次繁」の経歴や人柄等について分かりやすく説明していただき、知識を深めることができた。 【今後の方針】 ・今後も内容を変えて講演会を開催する。		
旭町小学校スケート教室補助	11月5日	1回	子育て	青少年	127人	【内容】 ・旭町小学校1、2年生のスケート教室で地区住民、信大生に講師補助としてお手伝いいただく。 【ねらい】 ・子どもたちの安全確保、地区住民と子どもたちの交流を図る。 ・将来教員を目指す信大生の経験とする。	【準備過程】 ・小学校教諭との打ち合わせ ・地区住民、信大生との打ち合わせ	【評価と反省】 ・主に靴紐しばりをお手伝いいただき、そのおかげで子どもたちの滑走時間を十分に取ることができた。 【今後の方針】 ・学校側の要望に応じて、来年度も継続する。	○	

令和2年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
ママのためのパンづくり講座	11月24日	1回	子育て	その他	7人	【内容】 ・地区在住の未満児を持つ母親を対象にパン作りを行う。 【ねらい】 ・母親がパン作りを学ぶだけでなく、母親同士が交流し、情報交換や息抜きできる場とする。	【準備過程】 ・地区住民へチラシにて周知 【共催団体】 ・安原地区福祉ひろば ・安原地区民生児童委員会	【評価と反省】 ・民生児童委員の方々が子どもたちの御守りをしてくれたことで、母親たちは安心してパン作りに集中することができた。 【今後の方針】 ・来年度も継続する。		○
楽団ケ・セラコンサート	11月28日	1回	人権平和	成人	45人	【内容】 ・楽団ケ・セラを招き、「人権啓発推進コンサート」と題して、曲を演奏してもらう。 【ねらい】 ・ハンデを持ちながらも音楽活動を通して、優しい社会づくりを目指す楽団ケ・セラの演奏を聴いて、人権について考える機会とする。	【準備過程】 ・楽団ケ・セラとの日程調整、内容打ち合わせ ・全戸配布による公民館だよりにて周知 【共催団体】 ・安原地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・楽団ケ・セラに参加者の年代に合わせた曲を演奏していただいたことで、楽しく人権について考える場とすることができた。 【今後の方針】 ・地区から要望があれば、来年度も実施する。		
もちつき大会	12月6日	中止	子育て	青少年	0人	【内容】 ・安原地区に住む子どもたちを集めて、もちつき大会を開催する。 【ねらい】 ・かつては各家庭で行われていた「もちつき」を体験し、日本の伝統文化に触れる機会とする。	【準備過程】 ・安原地区子ども会育成会が企画	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 【今後の方針】 ・開催方法の検討をし、事業継続を図る。		
旭町小学校6年生を対象とした安原地区歴史まち歩き講座	12月10日	1回	地域文化	青少年	50人	【内容】 ・安原地区の歴史についてまち歩きをしながら説明を聞く。 【ねらい】 ・安原地区の歴史について勉強してもらい、研鑽を高める。	【準備過程】 ・旭町小学校と打ち合わせ ・安原地区歴史研究会と打ち合わせ 【共催団体】 ・安原地区歴史研究会	【評価と反省】 ・自身が住むまちを実際に歩いて、文化財など実物を見ながら学習することができ、子どもたちにもわかりやすい学習とすることができた。 ・事前に地区の歴史について勉強しておいてもらえると、より学習が深まると感じた。 【今後の方針】 ・来年度も継続する。	○	
国営アルプスあづみの公園親子バス研修	12月19日	中止	子育て	青少年	0人	【内容】 ・地区の親子を対象に、国営アルプスあづみの公園に行き、ネイチャークラフトづくり、クリスマスパンケーキづくりを行う。 【ねらい】 ・パンケーキを手作りすることで食育につなげる。また、ネイチャークラフト、オリエンテーリングで植物や動物について勉強し、知識を深める。	【準備過程】 ・全戸配布の公民館だよりで周知した。 【共催団体等】 安原地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 【今後の方針】 ・開催方法の検討をし、事業継続を図る。	○	
旭町小学校2年生「きな粉づくり講座」	2月24日	1回	子育て	青少年	70人	【内容】 ・旭町小学校2年生が畑で収穫した大豆を使い、事前に地区住民がきな粉にし、当日児童たちに渡す。 【ねらい】 ・小学生が自ら栽培・収穫した大豆をきな粉にして渡すことで、達成感を得るとともに食育につなげる。	【準備過程】 ・旭町小学校と打ち合わせ ・安原地区住民に参加呼びかけ、周知 【共催団体】 ・安原地区住民	【評価と反省】 ・本来であれば大豆からきな粉にする工程も子どもたちに体験してもらう予定であったが、コロナの影響から既製品を渡すだけになってしまったのは残念だった。 ・児童たちから食べてみての感想が寄せられ、好評だった。 【今後の方針】 ・来年度は実際に作る工程も体験してもらう。	○	
安原地区町内公民館館長会・安原地区公民館委員会合同視察研修	3月12日	1回	人権平和	成人	10人	【内容】 ・安原地区町内公民館館長会、安原地区公民館委員会を対象に「JICA駒ヶ根」を見学する。 【ねらい】 ・「JICA駒ヶ根」を訪問し、紛争の発生や再発を防止し、平和を定着させるために活動している青年海外協力隊を知ることで、平和や人権について考えるきっかけとするとともに、町内公民館館長会と公民館委員の親睦を深める。	【準備過程】 ・公民館運営委員会で日程調整 ・各町内公民館長、公民館委員に開催通知を送付 【共催団体】 ・安原地区町内公民館館長会 ・安原地区公民館委員	【評価・反省】 ・コロナ禍ということもあり参加者が少なかった。また、実際に青年海外協力隊が訓練しているところを見学できればより深い研修ができたと思う。 【今後の方針】 ・内容を精査して来年度も継続する。		
パソコン教室	通年	27回	趣味教養	その他	77人	【内容】 ・パソコンの基礎学習をおこなう。 ・毎月1回専門家を招き、日頃の不明点について解決し探求心の増幅を図る。 【ねらい】 ・参加者同士が教え合いながら行うことで、技能向上及び参加者交流を図る。	【準備過程】 ・地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 ・参加者同士が得意分野を教え合うことで皆の知識向上につながった。 ・定期的な開催により参加者同士の交流促進につながった。 【今後の方針】 ・新規参加者が増えるよう広報活動をしていきたい。 ・スマートフォンに関する講座の実施を検討する。		
スローストレッチ教室	通年	16回	福祉健康	その他	176人	【内容】 ・ゆっくりとした動きの健康体操を行う。 【ねらい】 ・自分に合ったストレッチ体操を行い健康寿命延伸につなげるもの	【準備過程】 ・地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 ・専任講師に依頼することで継続的に無理のない範囲でのストレッチ体操ができた。 ・定期的な開催により参加者同士の交流促進につながった。 ・講座の名称を変更するなどして講座の内容を分かりやすくしたところ、参加者の向上につながった。 ・新型コロナウイルス対策のため3月に行う予定の講座は中止した。 【今後の方針】 ・新規参加者が増えるよう広報活動をしていきたい。		
みんなの体幹ストレッチ講座	通年	9回	福祉健康	その他	82人	【内容】 ・体幹を鍛える健康体操を行う。 【ねらい】 ・自分に合った体幹トレーニングを行い健康寿命延伸につなげるもの	【準備過程】 ・地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 ・専任講師に依頼することで継続的に無理のない範囲での体幹トレーニングができた。 ・定期的な開催により参加者同士の交流促進につながった。 【今後の方針】 ・新規参加者が増えるよう広報活動をしていきたい。		

令和2年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
男の体幹ストレッチ講座	通年	8回	福祉健康	成人	64人	【内容】 ・体幹を鍛える健康体操を行う。 (男性向け) 【ねらい】 ・自分に合った体幹トレーニングを行い、健康寿命延伸につなげるもの ・男性の参加率を増やすために男性限定の講座を実施	【準備過程】 ・地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 ・専任講師に依頼することで持続的で無理のない範囲での体幹トレーニングができた。 ・定期的な開催により参加者同士の交流促進につながった。 ・男性限定にしたため、男性が来やすくなり、参加率の向上につながった。 【今後の方針】 ・新規参加者が増えるような広報活動をする。		
館報編集委員会	通年	14回	公民館委員会・各種会議等	その他	55人	【内容】 ・安原地区公民館報の作成 【ねらい】 ・安原地区公民館報を通して、地区住民に地域の情報を発信する。	【準備過程】 ・公民館委員への会議通知送付	【評価と反省】 ・月1で会議を行い、どれも内容のある話し合いが持てた。 ・コロナ禍で事業の中止が相次ぎ、記事の選定に苦慮した。 【今後の方針】 ・内容の見直し等を行い、継続する。		
子どもの居場所づくり	通年	14回	その他	青少年	72人	【内容】 ・旭町小学生を対象とし、教員志望の信州大学生に宿題を見てもらったり、お話ししたりといった交流を行う。 【ねらい】 ・小学生が大学生に打ち解けて、学校では話せないような悩みなどを共有できるような場にした。	【準備過程】 ・信州大学生との打ち合わせ ・小学校への周知 【共催団体】 ・信州大学荒井ゼミ	【評価と反省】 ・新型コロナウイルスの影響から今年度は信大生にお願いすることができなかった。それに伴い、小・中学生の数も減ってしまった。 【今後の方針】 ・来年度は、再度信大生に協力を依頼し、子どもたちが大勢来てくれるような場とした。	○	
安原地区歴史研究会	毎月第4金曜日	14回	地域文化	成人	148人	【内容】 ・地区内の歴史を中心に、時には地区外の歴史まで幅広く学ぶ。 【ねらい】 ・各分野の歴史についての研鑽を積むだけでなく、地区住民の繋がりを深め、地域活性化を図る。	【準備過程】 ・各講座の内容検討、確認	【評価と反省】 ・歴史について幅広く詳しく学ぶことができた。旭町小学校の地区歴史学習でも講師を務めるなど、広い範囲で活躍していただいた。 【今後の方針】 ・来年度も内容を工夫して継続する。		
男の料理教室	偶数月第1金曜日	3回	その他	その他	22人	【内容】 ・男性を対象とした料理教室 【ねらい】 ・男性に料理を学んでもらうことで、食育事業につなげる。	【準備過程】 ・地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 ・幅広い分野の料理を何品も作るため、参加者からも様々な分野の料理が学べて良いと非常に好評であった。料理を作ることを通して食育を学び、地域住民の交流にもつながっている。 【今後の方針】 ・来年度も継続する。 ・参加者増加を図る。		○
パンとスイーツ講座	奇数月第4金曜日	4回	その他	その他	54人	【内容】 ・パンとスイーツを中心とした料理教室 【ねらい】 ・パンとスイーツ作りを通して食育、地区住民の交流、地域活性化を図る。	【準備過程】 ・地区内全戸配布チラシにて周知	【評価と反省】 ・講師が1回の講座で2品～3品作るので、様々なパン、お菓子作りができたという好評であった。食育、地域活性化に繋がっている。 【今後の方針】 ・来年度も継続する。		○
公民館運営委員会・文化委員会合同会議	6月18日 11月20日 2月25日	3回	公民館委員会・各種会議等	その他	34人	【内容】 ・公民館の運営、各種イベントについての打ち合わせ、反省会。 【ねらい】 ・安原地区公民館、地域の活性化につなげる。	【準備過程】 ・公民館運営委員長、文化委員長との打ち合わせ。 ・公民館委員への会議開催通知を送付。	【評価と反省】 ・開催回数を最低限にしたが、その分密度の濃い会議を行うことができた。 【今後の方針】 ・来年度も継続する。		
旭町小学校・旭町中学校あいさつ運動	通年	4回	子育て	青少年	50人	【内容】 ・旭町小西門、旭町中正門の前であいさつ運動を行う。 【ねらい】 ・地区住民が積極的にあいさつすること小・中学生との交流、地域活性化を図る。	【準備過程】 ・旭町学校応援団と打ち合わせ ・全戸配布の公民館だよりで周知 【共催団体】 ・旭町小学校学校応援団 ・安原地区町会連合会	【評価と反省】 ・事業が定着してきており、来てくださる地域の方も回数を重ねることに増えていった。 【今後の方針】 ・来年度も継続する。	○	

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

・地区の北端、福祉複合施設の３階にある公民館ということで、地域住民が気軽に立ち寄ることが難しい条件にある。このため大勢の住民に足を運んでもらえるような多種多様の講座・事業を実施するよう留意している。今年度はコロナ禍ということもあり全体的に活動規模は縮小してしまったが、その中でも講座の内容や感染症対策を検討し、過度な自粛はせずに可能な限り講座や事業の開催に向けて善処した。

・「健康寿命延伸都市・松本」の理念を具現化するため、健康づくり推進員・北部保健センター、地区福祉ひろば等と連携して、健康を促進するための事業を実施した。

・新型コロナウイルスの影響で身動きが取りづらい状況ではあったが、その中でも地域住民の要望を取り入れた新規講座も数回行った。

・コミュニティースクール（学校応援団）事業についてもコロナ禍の影響を受け中止となる事業もあったが、その中でもあいさつ運動や防災頭巾の作り方講習等、子どもの見守りと地域住民との交流を行った。

評 価 ・ 反 省 等

・公民館事業の中でも大きな部分を占める文化祭について、コロナ禍により当初は開催が危ぶまれたが、発表者・来場者双方への感染症拡大予防策の徹底を図り、無事開催することができたのは大きな成果であったと思う。しかし参加団体の減少等、浮き彫りになってきた課題もあるため、反省会での内容も含めて次年度はより良い文化祭となるよう取り組んでいく。

・毎年恒例で開催している講座については、参加者が毎年固定化してきているように感じる。公民館講座に永く参加してもらえることはよいことだが、さらに今まで公民館に来ていなかった人に積極的に参加してもらえよう、講座の内容や開催の手法を検討していく。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公 民 館 各 種 委 員 会 等
	平 人 和 権	福 健 祉 康	子 育 て	環 境	文 地 化 域	教 趣 養 味	ス ポ ー ツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数	2	3	7	1	3	3	5				1	1	5
延べ参加人数	43	40	146	25	73	52	82				116	18	204

	C S	食 育
事業数	6	4
延べ参加人数	131	84

令和2年度 事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
桜につられて松本城までウォーキング	4月9日	1回	福祉健康	成人	11人	【内容】 ・松本城までウォーキング 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流	【共催団体】 城東地区福祉ひろば	・感染症予防対策を徹底した上で開催。コロナ禍の中で希薄になりがちな人と人との交流や、健康づくりに資することができた。			
バスで訪ねる牛伏寺の寺宝と周辺散策	5月12日	中止	地域文化	成人	0人	【内容】 ・牛伏寺、牛伏川本流水路（牛伏川階段工）の見学 【ねらい】 ・地域文化や歴史の学習 ・散策による健康づくり		・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。			
手打ちそばと山菜天ぷらの試食会	5月14日	中止	趣味教養	成人	0人	【内容】 ・日頃の研修成果の披露と地域住民同士の語らいの場とする 【ねらい】 ・教養の向上 ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 男の料理研究会	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。			○
第39回マレットゴルフ大会	6月11日	1回	スポーツ	成人	23人	【内容】 ・アルプス公園でマレットゴルフ大会 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流		・参加者同士の親睦、健康づくりに役立った。 ・コロナ禍での自粛ムードが続く中、屋外で体を動かす良い機会となった。			
女鳥羽川清掃活動	7月19日	1回	環境	成人	25人	【内容】 ・地区住民に呼びかけ、女鳥羽川沿いの雑草等を駆除する。 【ねらい】 ・地域の河川の環境清美 ・地域の絆を深める	【共催団体等】 城東地区環境衛生協議会	・地域住民の助け合いの精神がいかに発揮された。			
ポッチャ体験会	7月28日	1回	スポーツ	成人	9人	【内容】 ・講師の指導の下、ポッチャ体験会を行う 【ねらい】 ・地域住民同士の交流 ・地区のスポーツとしてのポッチャの定着 ・健康づくり	【共催団体等】 城東地区体育協会	・参加者同士の親睦、健康づくりに役立った。 ・想定より参加者が少なかったため、定期的に体験会や大会を開催し、ポッチャの更なる地域への定着、普及を目指す。			
化石発掘&とうもろこし収穫体験バーベキュー	8月4日	1回	子育て	青少年	15人	【内容】 ・子どもを対象に化石発掘やとうもろこし収穫体験を行い、梓水苑でバーベキューを行う 【ねらい】 ・体験学習 ・参加住民同士の世代間交流		・参加者同士の親睦、交流につながった。 ・次年度以降も継続していきたい。			
子ども安全安心学校	8月12日	中止	子育て	青少年	0人	【内容】 ・防災、防犯について子どもと大人が一緒に学ぶ 【ねらい】 ・体験学習 ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 子ども会育成会、日赤奉仕団、福祉ひろば、児童館他	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。			○
ポッチャ競技大会	8月28日	1回	スポーツ	成人	12人	【内容】 ・ポッチャ体験会にて覚えたルール等を基に、ポッチャの競技大会を行う 【ねらい】 ・地域住民同士の交流 ・地区のスポーツとしてのポッチャの定着 ・健康づくり	【共催団体等】 城東地区体育協会	・参加者同士の親睦、健康づくりに役立った。 ・今後も定期的に体験会や大会を開催し、ポッチャの更なる地域への定着、普及を目指す。			
上高地散策ウォーキング	9月2日	1回	福祉健康	成人	23人	【内容】 ・上高地自然散策 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流		・参加者同士の交流、健康づくりに役立った			
松本盲学校の草取り	9月5日	1回	地域事業（その他）	成人	18人	【内容】 ・松本盲学校の草取り 【ねらい】 ・地域の絆を深める ・環境美化	【共催団体等】 城東地区環境衛生協議会	・地域住民の助け合いの精神がいかに発揮された。 ・今後も継続していきたい。			
城東公民館文化祭	9月26日	1回	地域事業（文化）	成人	116人	【内容】 ・公民館利用団体、地域住民による芸術文化の祭典 ・新型コロナウイルスの影響により、例年より規模を縮小しての開催 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流 ・コロナ禍によって激減した日々の活動成果の発表機会の提供	【共催団体等】 文化祭実行委員会	・規模は縮小したものの、感染拡大対策に十分留意の上、無事に開催することができたことは大きな成果であった。 ・公民館利用団体の発表会という側面が強い。地域住民の参加に留意したい。 ・次年度以降の開催形式等については、感染症の拡大情勢を鑑みながら実行委員会にて十分検討を重ねていきたい。			
交通安全講座	10月16日	1回	地域文化	成人	12人	【内容】 ・警察署職員による交通安全に関する講話と、交通シミュレーション機器を使った体験型講座 【ねらい】 ・交通安全意識の向上		・地域住民の交通安全意識の向上に役立った。 ・参加者が想定より少なかったため、事前広報の仕方等も含めて検討していく。			
第40回マレットゴルフ大会	10月26日	1回	スポーツ	成人	20人	【内容】 ・アルプス公園でマレットゴルフ大会 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流		・参加者同士の親睦、健康づくりに役立った。			

令和2年度 事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C	S	食育
感染症予防講座	11月18日	1回	福祉健康	成人	6人	【内容】 ・新型コロナウイルスを始めとする感染症の予防に関する講話と、手洗いチェッカーを使っての手洗い指導【ねらい】 ・感染症に対する正しい知識の勉強 ・感染症予防意識の向上		・参加者の感染症予防意識の向上に役立った。 ・参加者は少なかったが、講座自体の満足度は高いように感じられた。			
キムチ漬け講座	12月3日 12月4日	1回	趣味教養	成人	21人	【内容】 ・簡単漬け物講座【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流		・潤いのある生活に役立てた。 ・人気講座であるため、次年度以降も継続して開催していきたい。			○
親睦ポッチャ大会	3月20日	1回	スポーツ	成人	18人	【内容】 ・地域住民でポッチャの大会を行う【ねらい】 ・地域住民同士の交流 ・地区のスポーツとしてのポッチャの定着 ・健康づくり	【共催団体等】 城東地区体育協会	・参加者同士の親睦、健康づくりに役立った。 ・今後も定期的に体験会や大会を開催し、ポッチャの更なる地域への定着、普及を目指す。			
コミュニティースクール事業（小中学校）	4月 8月 1月 3月	8回	子育て	青少年	44人	【内容】 ・旭町小、中学校でのあいさつ運動【ねらい】 ・児童生徒と地域住民との交流 ・地域で子どもを見守る、育む	【共催団体等】 城東地区子ども見守り隊	・地区内でボランティアを募り、実施した。 ・学校と連携し、実施内容を検討、継続したい。	○		
コミュニティースクール事業（小学校）	4月 5月	5回	子育て	青少年	40人	【内容】 ・一年生の下校付き添い【ねらい】 ・地域で子どもを見守る、育む ・一年生の下校訓練	【共催団体等】 城東地区、安原地区の住民有志	・子どもの安全な下校に資することができた。 ・新型コロナウイルスの影響により休校や分散登校となったため、下校に慣れない一年生を対象とした下校指導としても役割も果たせた。	○		
	6月18日	1回	子育て	青少年	5人	【内容】 ・旭町小学校の交通安全教室時に、コースとなる道路の安全を見守る【ねらい】 ・地域で子どもを見守る、育む		・子どもたちの交通安全に資することができた。	○		
	9月23日	1回	子育て	青少年	2人	【内容】 ・旭町小学生と地域住民でさつまいもの収穫を行う【ねらい】 ・児童と地域住民の交流		・子どもたちの食育に役立った。 ・例年は植え付けから収穫、調理まで行うが、新型コロナウイルスの影響により、調理は行わず屋外での焼き芋大会となった。	○	○	
	11月20日 11月24日 12月2日	3回	子育て	青少年	40人	【内容】 ・旭町小学生の防災頭巾作成【ねらい】 ・児童と地域住民の交流 ・地域で子どもを見守る、育む		・子どもたちと地域住民の交流の場となった。 ・子どもたちの防災意識の向上に資することができた。	○		
人権啓発講座	7月6日	1回	人権平和	成人	21人	【内容】 ・ポールラッシュ記念館を訪れ、人権について学ぶ【ねらい】 ・人権意識の向上	【共催団体等】 城東地区人権啓発推進協議会	・人権意識向上に役立った。 ・協議会と実施内容を協議しながら継続実施していきたい。 ・講座については、次年度に再度計画したい。			
	12月17日	1回	人権平和	成人	22人	【内容】 ・生活困窮者を支援する「サポートセンターとまり木」に関する講演会【ねらい】 ・人権意識の向上					
ふるさと料理教室	8月～ 11月	4回	地域文化	成人	61人	【内容】 ・県内の郷土料理作りと試食 ・うち一回は市バスで現地視察【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 ほほえみの会	・身近な食材を使った、地元の美味しい食べ物の良さを再確認することができた。 ・人気講座であるため、次年度以降も継続していきたい。			○
スマートフォン・タブレットの取り扱い講座	11月～ 12月	3回	趣味教養	成人	31人	【内容】 ・初心者向けのスマートフォン、タブレットの使い方講座【ねらい】 ・教養、技術の向上 ・参加住民同士の交流		・参加者の教養や技術の向上に役立った。 ・スマートフォンを買ったばかりの参加者も多く、比較的盛況な講座であった。 ・講師と公民館職員が対応に当たったが、一人ひとりの個別の質問に対応していくのは難しいと感じた。次年度以降は開催方法を十分に検討した上で継続的に開催していきたい。			
公民館委員会会議	通年	5回	公民館委員会・各種会議等	成人	23人	【内容】 ・公民館の運営にそれぞれの部門から助言や支援をいただく ・各部門の主管事業の実施 ・運営委員会		・全体的に五部門委員会の活動の場が減っている。 ・今後もサポートしていきたい。			
			公民館委員会・各種会議等	成人	113人	・館報編集委員会					
			公民館委員会・各種会議等	成人	13人	・図書視聴覚委員会					
			公民館委員会・各種会議等	成人	39人	・文化委員会					
			公民館委員会・各種会議等	成人	16人	・体育委員会					

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針】

・コロナ禍での公民館運営であったため、地区としての意思決定やその過程を大切にした。

【地域課題】

・年度当初の緊急事態宣言により、人々の移動・集会に制限がかかり、総会や各種公民館の運営に係る会議が開催できずにいた。どのように公民館事業を実施すれば良いか・実施すること自体良いものなのか？手探りであり、地域住民の意見や想いを聴取する機会が少なくなった。

・感染症対策（人との距離を保つ）と講座（人を集めて行うもの）の相対する事象についてどのように、バランスをとっていくか。

・講座・事業・行事をコロナを理由に一律に中止とするのではなく、〇〇が感染症対策できないから、この講座は実施できないなど、理論立てて中止を判断した。逆に〇〇に代わる××ならできるので、それを代替とするなど、コロナ禍でもできることを見つける工夫を行った。

・コロナ禍の地域の子どもたちについてCS・育成会・町づくり協議会との協力

評価・反省等

・貸館事業については、「新しい生活様式」「文部科学省のガイドライン」や市の方針を守りながらでの、事業実施であった。貸館・サークル活動を事業と位置付けているので活動内容を鑑みて、内容ごとに判断すべきであったが、5月の緊急事態宣言下では「自粛要請」「休館」など全て、一律での制限を行う結果となった。1月の松本市の警戒レベル5という、差し迫った危機の際には、「新規予約の中止」「高齢者・基礎疾患を持っている方とその家族に自粛要請」といった対応であった。対応の可否については、今後検証が必要。

・CSなど学校と地域が関わる事業については、学校の一斉休校、行事縮小、感染症対策など、1年間関わりを持てずにいた。年度末のCSの会議で次年度は学校側は通常通りの授業・行事の実施計画を確認できたので再度、関係構築を図ったゆく。地域側だけであったが、休校期間以外は小学生の下校時の見守り活動は継続できた。

・講座は、上半期の緊急事態宣言、年末の松本市の警戒レベル引き上げに伴い、実質9月～12月 2月～3月の期間しか事業が実施できなかった。このような状況下で、文化祭の代替展示（10月）ウォーキング講座（9月～12月） 動画の活用などできる範囲での事業実施を図った。

・職員研修や打ち合わせなど、リモート・オンライン化がこの1年飛躍的に進んだ。公民館講座のリモート・オンライン化も避けたは通れない道ではあるが、デジタル化に取り残されてしまう人（高齢者・障がい者等）に公民館として何が出来るかを今後、デジタル化の推進を併せて検討してゆきたい。

・地区内の関係団体との連携については、大きな行事（運動会、お泊り会、やきいも大会）などが中止となるとそれに係る準備や会議などを行わないため、急速に疎遠となってしまう。次年度再開できない行事もあるが、再開に向けて連絡・調整を密にしたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種委員 等・
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	スポ ーツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数	2	1		1	5	2	3		4	1	6		
延べ参加人数	6	15		25	34	64	60		33		805		

	CS	食育
事業数		
延べ参加人数		

令和2年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
上高地自然観察会	5月7日 9月5日	2回	福祉健康	成人	15人	コロナ禍で、できる講座として自然観察会を実施 ひろばと共催することで2月から閉じこもりがちになっていた高齢者へ地域・公民館活動のキッカケづくりを行う。	【準備】 地区だよりで周知 【共催】 白板地区福祉ひろば	5月は緊急事態宣言解除後のため中止 9月は実施 次年度は定期的にひろばとの共催事業を継続したい。		
文化継承 端午の節句講座	5月9日	1回	地域事業 (文化)	家庭教育	0人	端午の節句の云われを知り、地域文化の理解と継承 節句料理の提供を行い多世代間交流	【準備】 広報まつもと5月号未配布のため、周知等は行わなかった。	緊急事態宣言解除後であったため講座は中止 地域の方から寄贈を受けた節句人形を職員のみで展示 次年度以降、文化講座と多世代交流は分けて実施を検討		
白板地区大運動会	5月17日	1回	スポーツ	その他	0人	スポーツを通じて、町会間の交流を図る。	【主催】 地区体育協会 【共催】 町会連合会 公民館 白板地区住みよい町づくり協議会 日赤奉仕団白板分団	2月以降の準備期間中に理事会が開催できず、本年は中止となった。 次年度についても、感染症対策を講じての競技の開催が難しいことから、開催を見送る方針で調整中。 令和4年以降に実施ができるように、関係団体で連絡・調整を行う。		
上高地ウォーキング	5月19日 7月21日 8月18日 9月1日	4回	スポーツ	その他	17人	コロナ禍で出来る活動として、屋外で出来るウォーキングを実施した。	【地区だよりで周知】	5月19日は緊急事態宣言解除後であったため、中止 7月21日は台風10号の被害により中止 再度募集を行い、8月18日、9月1日に実施した。 講座の定員を通常の半分でを行い、密状態を避けたため、回数を増やしての実施となった。		
自然観察IN小谷 わらび狩り	5月23日	1回	趣味教養	その他	0人	コロナ禍で出来る事業として、自然観察会を企画した。	【準備】 広報まつもと5月号未配布のため、周知等は行わなかった。	緊急事態宣言解除後であったため、中止		
白板歴史ウォーキング 犬甘城山編 白板歴史ウォーキング 厚川通船編 白板歴史ウォーキング 寺社編 白板歴史ウォーキング 本村・新橋編	6月22日 23日 9月15日 24日 10月13日 20日 11月11日 17日	8回	地域事業 (文化)	成人	38人	地域の歴史文化の再確認と感染リスクの少ない講座から再開をした。 講座は少人数で行い、回数や曜日を分散させることで、参加しやすい工夫を行った。	【準備】 地区だよりで広報	地区内では、他の地域から移住された方も多く、地区を知ることに繋がった。古くから居住している住民にとっては、昔の地域のことを参加者同士や公民館へ伝えるなど、双方向での気づきがあった。 以前に作成したテキストや文化財看板の活用がされていなかったもので、それらを資料として再度顕彰することができた。		
七夕飾り	7月7日～ 8月20日	1回	地域事業 (文化)	その他		公民館文化委員会を中心に公民館のロビーに七夕飾りを行った。 期間中は来館者へ短冊に願いを書いていただいた。	【準備】 公民館だよりで募集 公民館委員が竹の切り出し短冊などを手作り	例年は七夕飾りの笹竹2本にあふれんばかりの短冊が並ぶが、今年は来館者も少なく、寂しい七夕飾りであった。 公民館に季節感を与え、来館者も参加できるイベントのため、次年度も実施したい。		
科学について学ぼう 佐久こども未来館	7月24日	1回	その他	青少年	0人	例年赤沢美林の自然観察会を実施したが、ここ数年内容がマンネリ化して参加者が少なかった。昨年、地区の子ども対象に行ったアンケートの中に 科学・天体などを学びたいという意見があり、新設された佐久市子ども未来館の見学を企画した。	【主催】 地区子ども会育成会	先方の都合により、見学ができなかったため代替講座も企画できず中止 実施していないため、内容の検証ができてないが次年度は実施したい。		
自然観察会IN 乗鞍 自然観察会IN 乗鞍リベンジ 晩秋の乗鞍ウォーキング	7月27日 8月26日 10月29日	3回	環境	成人	25人	自然観察会とウォーキングを実施した。 7月27日は降雨と濃霧。7月の台風の影響で遊歩道への落石などがあり、途中で講座を中止した。8月26日は再度募集を行い、安全なルートで畳平から位ヶ原までウォーキングを実施 講座をバスの乗車定員の半分で募集を行ったため、抽選で外れた方対象に10月29日に事業を実施、降雪のためエコーラインが通行止めとなったので上高地でウォーキングを実施した。	【地区だよりで周知】	乗鞍高原は学校登山等で訪れる場所であり、天候や災害のリスクが低い山であるが、今回は天候や自然環境によって、中断や講座の代替になってしまった。8月の講座の中断後、別日に実施ができたので参加者から不満などがなかった。 10月の講座は実施の2週間前に行先の変更を通知できたため、トラブルや混乱が生じなかった。 山岳関係の講座は安全が第一なので、中止や変更は躊躇なく行う必要があると感じた。		
公民館に泊まろう	8月8日 9日	1回	地域事業 (体育)	青少年	0人	白板地区は学校区が2校にまたがっており、小学生間のつながりが希薄である。また自身が白板地区の住民という意識も低い。宿泊を通じて、交流と地区への帰属心の醸成を図る。	【準備】 年間行事予定で地区内には周知を行ったが、主催団体の役員会で中止を決定したため、地区だよりなどで、周知を行わなかった。 【主催】 丸ノ内スポーツクラブ	宿泊・飲食を伴うイベントのため、感染症対策が徹底できないため中止 次年度以降は、人数・内容等を精査し、実施ができるか検討を行う。		
人権講座 加助の里を訪ねて	8月25日	1回	人権平和	成人	6人	白板歴史ウォーキングで義民塚（宮沢刑場跡）を訪れた際、貞享義民騒動について、学習を深めたいという意見が多くあり、安曇野市中置にある、貞享義民記念館の見学を行った。	【準備】 地区だよりにて周知	講座参加者の意見（想い）で実施された講座であり、こういった講座づくりを大切にしていきたい。次年度も参加者の意見を取り入れて、講座を組み立てたい。		
今年はプラネタリウムでお月見会	9月12日	1回	地域事業 (文化)	その他	7人	例年は、端午の節句同様に公民館で節句にちなんだ料理や演奏会の多世代交流を実施していたが、感染症対策が講じられないため、お月見にちなんだ学習会を代替とした。	【準備】 地区だよりで周知	山辺の教育文化センターに依頼し、プラネタリウムでお月見のゆわれや仲秋の名月の松本の空を再現した。 伝統文化というよりは天体観測（自然科学的）な内容になってしまった。 次年度以降は端午の節句同様、多世代交流事業と伝統文化事業は分けた形で実施したい。		

令和2年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
白板地区文化祭	10月17日	1回	地域事業 (文化)	その他	0人	地区での活動している、団体・サークルの活動発表の場、3年前からひろば祭りも統合し、白板地区公民館・ひろば文化祭とした。	【主催】 文化祭実行委員会 【共催】 町会連合会 公民館 福祉ひろば 住みよい町づくり協議館 食生活改善推進協議会 日赤奉仕団白板分団	今年度は、会議の開催が制限されていたため、昨年度、実行委員を務めた方を中心にアンケートを実施、その結果を連合町会長、公民館文化委員長、ひろば企画委員長で検討し、文化祭は中止、文化祭に代わるものを公民館事業として行うこととした。		
文化祭代替企画 白板地区活動発表会 ～コロナ禍だから伝えたい～	10月12日 ～11月10日	1回	地域事業 (文化)	その他	760人	文化祭が中止となったため代替事業として、公民館・ひろばにて展示を中心とした活動紹介をおこなった。	【準備】 全サークルにアンケート 地区だよりで周知	地区の登録団体全てにアンケートを実施 例年ステージ発表をしていた団体については、動画の作成・パネル展示を提示したが、すべて断られてしまった。展示団体については展示できる団体から作品を募集して週替わりで展示をおこなった。また、町内公民館の文化祭が中止となったため、作品展示の場がなかった団体についても、公民館で展示することができた。 関係課とも連絡をとり地区で活動している団体等をパネルで展示することができた。 本来は実行委員会を組織すべきであったが、会議がいつ開催できるか不明確であった。次年度以降は実行委員会形式に戻して実施したい。		
やきいも大会	11月14日	1回	その他	青少年	0人	公民館へ泊まろう同様に地区内の小学生同士の交流を図る。 さつまいもの栽培から実施し食育も併せて実施をする。	【準備】 育成会総会にて周知 【主催】 子ども会育成会	さつまいもの栽培の關係上、5月から事業実施を計画したが、明確な感染症対策の指針がこの時点で確定できていなかったため、栽培を中止、やきいも大会はいもを購入して実施する方向で調整をした。 やきいも大会の実施については、屋外行事の青山様が一律中止となったあおりを受けて、保護者からは中止の意向が強くあった。 育成会役員会で検討した結果中止とした。		
親子料理教室	11月29日 12月5日	2回	その他	青少年	33人	親子の交流を図るため、料理教室を実施	【準備】 育成会で対象者へ周知 地区だよりにて周知 ボランティアスタッフの募集 【主催】 子ども会育成会	調理台1台に1家族、備品の共有を行わない、午前・午後を2日間実施するなど感染症対策の徹底を図り実施した。 ボランティアスタッフに計2日間依頼したため、負担が大きいと意見が多かった。次年度は年度後半に実施するため、いづらか感染症対策が可能かと思われる。1回の募集人数を増やして、1日で実施したい。		
しめ縄講座	12月24日	1回	地域文化	成人	9人	伝統文化継承のため、しめ縄製作を実施	【準備】 地区の有志の方に藁の確保の依頼 地区だよりにて周知	毎年好評の講座ではあるが、参加者が固定化してしまっている、気軽に参加できる内容を検討したい。		
館長レクチャー しめ縄講座	12月14日 ～28日	1回	地域文化	その他	5人	12月24日実施のしめ縄講座の事前練習 館長が期間中に公民館・ひろばのしめ縄を製作するのに合わせて、ごほう緯め・わ緯めの実演 見学自由（要申込制）として、気軽に参加できるものとした。	【準備】 町会連合会公式ツイッターにて周知 地区だよりにて周知	24日の事前講習としていたが、25日以降に正月飾りの駆け込み需要があり、急きょう年末まで実施した。短時間で簡単に作れるため好評であった。次年度以降は子どもたちを対象に館長レクチャーを実施したい。		
人権講座 外国籍の方の人権を考えよう	2月1日	1回	人権平和	成人	0人	白板地区は地区内の外国籍の方の居住割合が市平均と比べて高い。 多文化共生のため、外国籍の方の人権について考えるものとした。	【準備】 地区人権啓発推進協議会にて内容を検討。 丸ノ内ビジネス専門学校 佐藤佳子氏へ講師依頼 民生児童委員協議会にて周知 地区だよりにて周知 【主催】 白板地区人権啓発推進協議会	松本市の新型コロナウイルス感染症警戒レベルが5への引き上げに伴い中止 公益財団法人人権啓発推進センター発行の『一緒に考えよう外国人の人権』をテキストに連合町会長会で研修を実施。		
ひな人形を訪ねて 須坂探訪	3月3日	1回	地域文化	その他	9人	桃の節句行事の代替として、須坂市の世界の人形博物館に展示されている雛人形の見学を行った。時代や東西の雛人形の違いを学習し、館に展示されたいた雛人形の様子を再度確認する。	【準備】 地区だよりにて周知	地域住民・文化委員を交えての雛人形の展示作業を今年は行わなかった。次年度以降は、展示作業から住民を交えてのものとしたい。		
白板歴史ウォーキング DVD版お披露目講座 オンライン講座	3月15日	2回	地域文化	その他	11人	6月と9月～11月に実施した、白板歴史ウォーキングについて、体力的に講座に参加できないなどの意見があったため内容を動画へ編集したもの 今回はコロナ禍での取組としてビデオ会議アプリを利用してインターネット上のオンライン講座も実施した。	【準備】 撮影・編集 編集作業を以前から公民館事業を手伝ってくれていた大学生に依頼、4編中2編を作成。 主事は大学生からレクチャーを受け残り2編を作成。 地区だよりにて周知	午前中DVDお披露目講座は対面でおこない、同じ内容を午後オンライン講座を実施した。オンライン講座は地域からの参加者は1名であった。事前にビデオ会議のやり方講座・スマホ講座など事前準備をしっかりとった方がよかったかもしれない。 今後は時間帯・曜日などを変えてオンライン講座の可能性を検討したい。		
生け花講座	通年	8回	趣味教養	成人	64人	3年間をワンクールとして、いけ花講座を実施、3年目の今年は、サークル化を目指す。	【準備】 講師と連絡調整	4月～6月まで講座を中止していた点、昨年度・今年度の追加募集を行ったため、各参加者の習熟度がまちまちになってしまった。サークル化を打診したが、このような社会情勢の中で、継続して活動を行うことは難しいとのことで、サークル化へは至らなかった。 いけ花講座は今年度までとして、コロナ禍でも日々の生活を楽しめる講座を企画したい。		
健康吹き矢講座	通年	7回	スポーツ	成人	43人	3年間をワンクールとして、健康吹き矢講座を実施	【準備】 地区だよりにて周知 定期的・的的の張替え	4月～7月、1月～2月と講座の中断を挟んでしまった。本来なら、サークル化への営みを行うがサークル化を打診できるほど活動が出来なかったため、1年延長して事業実施を行う。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
岳都講座	偶数月	4回	地域文化	成人	54人	旧北部公民館から続く、定期講座今年度通算70回を迎えた。上高地の山岳・自然・文物を講座参加者が講師となった研究を行う。	【準備】参加者各自で課題の資料作成	旧北部公民館の時代のつながりが薄れていくなかで、継続できるものは続けていきたい。		
下校時見守り活動	毎月第2水曜日	11回	その他	その他		地区内の小学生の見守り活動	【主催】白板地区住みよい町づくり協議会	毎月第2水曜日に住みよい町づくり協議会のつながり隊（子ども関係の部会）と地区の有志で見守りを実施。明確な組織化をせず、協力者		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

- 1 次世代育成事業の推進
 少子高齢化や人口減少等を背景に、担い手不足や伝統行事の継承困難など問題が顕在化するなか、田川地区では将来地域を担う子どもや若者の郷土への愛着・関心を育むことを目的にコミュニティスクール事業や、子ども会育成会等への協力・支援を通じて、次世代育成の推進に注力した。
- 2 地域の居場所づくりと福祉の充実
 地域の高齢化に伴い、高齢者を中心とする住民の居場所づくりの一環として、「田川地区いきいきサロン事業」においては、企画委員の一員として参与した。また、町内公民館活動等への支援を核として、住民が気軽に集うことができる居場所づくりを進め、地域福祉の充実に努めた。
- 3 「地域を知る」学習の充実
 身近な地域の自然、歴史文化等に関する学習機会を拡充し、潜在的な地域の魅力の掘り起こしに努めるとともに、郷土への愛着や関心、地域に対する参画意識の醸成を図った。
- 4 住民同士の顔の見える関係づくり
 従来の文化・スポーツ事業を通じた交流に加え、新たな仲間づくりの活動を積極的に展開し、住民同士の顔の見える関係づくりを促進した。

評価・反省等

- ・主催事業については、五部門委員会を中心として、コロナ禍における事業開催可否の判断や感染症対策を随時協議しつつ、地域の合意形成を踏まえて可能な範囲で実施することができた。事業自体の規模を縮小せざるを得ない中、文化祭を文化展とするなど、次年度以降の取り組みの礎となるような創意工夫もみられた。
- ・単独学級講座やコミュニティスクールは、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業の大半を中止せざるをえなかった。事業はその都度、感染状況を踏まえつつ可能な範囲で開催し、例年通りの参加者数と反響を得られていたため、開催判断や方法について概ね参加者の理解を得られていたものと判断される。
- ・地域学習の機会創出については、まちづくり協議会内の歴史文化部会とともに『たがわの教科書』の刊行に至った。今後、地区小学生児童の地域学習により役立てられるようコミュニティスクールや授業支援を通してサポートをしていきたい。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種委員会 等
	平人 和権	福健 社康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数	1	4		2	7	1	2		5	1	3	2	3
延べ参加人数	50	656		65	158	54	22		50	40	200	350	198

	C S	食 育
事業数	9	3
延べ参加人数	451	92

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
授業参観日の地域交流	通年	中止	その他	青少年	0人	【事業内容】 ・クラス懇談会の時間帯に低学年の児童を預かり、地域の大人と遊びを通じて交流する。 ・今年度は紙飛行機、ドッチビー、ドミノ倒しを内容とした。 【ねらい】 ・子どもたちと地域の大人との交流の機会とし、「地域で子どもを育てる」気運を醸成する。	【共催団体等】 ・田川小学校		○	
健康マレットゴルフ大会	11月7日	1回	スポーツ	成人	22人	【事業内容】 ・春、秋の年2回、マレットゴルフ大会を開催するもの ・今年度は下諏訪、駒ヶ根を会場とし、競技後は、周辺の史跡・文化財、社会教育施設等を見学 【ねらい】 ・誰もが気軽に楽しめるマレットゴルフを通じて、住民相互の親睦を深め、地域の健康づくりに役立てる。	【準備過程】 ・気楽に運動委員会（体育会）で企画・運営 【共催団体】 ・気楽に運動委員会	【評価と反省】 ・運動委員が任務を分担し、円滑に実施することができた。 ・競技の勝敗よりも、参加者同士の親睦に主眼を置いた大会となっている。 ※中止1回 【今後の方針】 ・運動委員会で検討する。参加者の減少、固定化が課題		
田川地区いきいきサロン事業 ※全11回。第4、7、11回については別掲	6月23日 7月21日 8月4日 9月29日 10月27日 11月24日 12月22日 3月23日	8回	福祉健康	高齢者	350人	【事業内容】 ・地区内の健康・福祉分野の関係団体・機関等が連携し、月1回の茶話会（サロン）を通年開催する。 〇5/22 特殊詐欺等の防犯対策 〇7/21 住民によるまちづくり 〇8/4 平和祈念コンサート 〇9/29 こころにホットコンサート 〇10/27 JBB MASKITTO BANDライブコンサート 〇11/24 脳活性・アロマセラピー 〇12/22 免疫力を高める食事 〇3/23 沖縄の風コンサート 【ねらい】 ・高齢者の孤立防止や居場所づくり、介護予防等に役立てるとともに、生活を取り巻く諸課題について地域で学ぶ機会とする。	【準備過程】 ・住民有志の提案により28年度から実施 ・地区内の関係団体・機関等で構成するサロン部会で内容等を検討 【共催団体等】 ・主催／田川地区まちづくり協議会 ・主管／サロン事業推進部会（町会長会、民生児童委員協議会、健康づくり推進委員会、日赤奉仕団、丸の内病院地域連携室、中央西地域包括支援センター、社協、健康づくり課、福祉計画課、中央公民館、田川地区地域づくりセンター、福祉ひろば、公民館）、田川地区人権啓発推進協議会・協力／松本協立病院、防犯連絡協議会、子ども会育成会、渚保育園 他	【評価と反省】 ・今年度も関係役員・職員が協力し、滞りなく運営できた。サロンの共同運営を通じて、関係団体、医療・福祉機関等の関係強化につながっている。 ・事業開始から5年が経過し、高齢者の居場所として定着する一方で、参加者の固定化、企画のマンネリ化など課題も見えた。 ※中止3回 【今後の方針】 ・サロン部会で検討する。 ・継続的に取り組めてはいるが、やや前例踏襲に終始している感もある。参加者の声を聞きながら、實際生活に即した内容としていきたい。		
田川小クラブ活動支援	6月～10月	中止	その他	青少年	0人	【事業内容】 ・田川小クラブ活動（卓球・茶道・手芸・料理）の指導者として地域の人材を派遣するもの 【ねらい】 ・クラブ活動支援を通じて、児童と地域住民との交流を深める。	【共催団体等】 ・田川小学校		○	
エコキューブ講習会・エコ体験教室（田川小4年生授業）	11月16日	1回	環境	青少年	50人	【事業内容】 ・田川小4年生の授業として実施 ・地区住民考案のエコキューブ（平面キューブパスル）やゲームを通じて、松本市のごみの分別を学ぶ。 【ねらい】 ・エコに対する関心を高めるとともに、共同作業を通じて、子どもと大人が互いに学び合う場とする。	【準備過程】 ・ボランティアを対象とした事前講習会を実施 【共催団体等】 ・田川小学校	【評価と反省】 ・子どもたちと一緒に楽しく学び、グループでの作業を通じて、絆を深めることができた。 【今後の方針】 ・田川地区独自のユニークな取り組みであり、今後も継続していきたい。	○	
ホテル観察会	6月26日	1回	環境	青少年	15人	【事業内容】 ・松本駅付近の水路に棲息するゲンジボタルを観察する。 【ねらい】 ・都市開発等により目にする機会の減ったホテルの観察を通じて、身近な自然への興味・関心を育てる。	【準備過程】 ・水辺を守る会で企画、事前準備等 【共催団体等】 ・たがわ水辺を守る会 ・松本ホテル学会	【評価と反省】 ・市街地において貴重なホテルを観察することができた。初めてホテルを見る子どもも多く、貴重な自然体験の機会となった。 【今後の方針】 ・次年度も継続。地域の自然に目を向けるきっかけとしていきたい。		
ふれあいマレットゴルフ大会	7月19日	中止	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 ・市民体育大会の選手選考を兼ねたマレットゴルフ大会を開催する。 【ねらい】 ・手軽に楽しめるマレットゴルフを通じて、住民同士の親睦を図る。	【共催団体等】 ・体育協会 ・気楽に運動委員会			
ぼんぼん・青山様のつどいと夕涼み	7月25日	中止	地域事業（文化）	青少年	0人	【事業内容】 ・松本の夏の伝統行事「ぼんぼん」「青山様」を地区行事として実施する。 ・第1部「つどい」（ぼんぼん・青山様に関する学習、セレモニー）、第2部「夕涼み」（飲食・ゲームコーナー等）の2部構成で行う。 【ねらい】 ・少子化を背景に単位町会での実施が困難になった、ぼんぼん、青山様を地区事業に位置づけ、伝統行事の継承を図るとともに、地域の絆づくりの機会とする。	【共催団体等】 ・主催／田川地区まちづくり協議会 ・主管／ぼんぼん・青山様実行委員会			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
家庭科支援（田川小5年生授業）	9月～12月	中止	その他	青少年	0人	【事業内容】 ・田川小5年生の2クラスで、家庭科（裁縫・ミシン）の授業を地域住民がサポートする。 【ねらい】 ・住民のサポートにより学習効果を高めるとともに、大人との交流を通じて子どもたちの社会性を育む。	【共催団体等】 ・田川小学校		○	
赤沢美林ウォーキング	9月12日	1回	福祉健康	成人	21人	【事業内容】 ・赤沢自然休養林のウォーキングコースを散策する。 【ねらい】 ・運動による健康増進と自然環境楽手を兼ねた事業。参加者間の仲間づくりと健康増進を図る。	【準備過程】 ・気楽に運動委員会で企画運営 【共催団体等】 ・気楽に運動委員会	【評価と反省】 ・参加者の体力に応じたコース選択が可能であり、各自充実した運動を行えた、 【今後の方針】 ・気楽に運動委員会で検討する。		
新しい生活様式のための感染症予防講座	10月3日	1回	福祉健康	成人	35人	【事業内容】 ・新型コロナウイルスを念頭に置いた感染症予防について、丸の内病院感染管理認定看護師の講義を受ける。 【ねらい】 ・感染症に関する基礎知識や身近な行動様式についての見直す機会とする。	【準備過程】 ・町内公民館長会でテーマ等を決定 【主催団体】 ・主催／町内公民館長会 【共催団体】 ・丸の内病院	【評価と反省】 ・新型コロナウイルスの感染拡大の状況を受けて企画された講義であり、参加者に強い関心が見受けられた。 【今後の方針】 ・次年度以降は、感染拡大状況や社会生活様式の変化を反映して継続を検討する。		
松本城見学会（田川小6年生授業）	10月14日	1回	地域文化	青少年	51人	【内容】 ・田川小6年生の授業として松本城を見学。地区住民が案内役を務める。 【ねらい】 ・松本のシンボルである松本城を地域住民が案内し、子どもたちの郷土愛を育む機会とする。	【準備過程】 ・学校側の要望を受け26年度から継続実施 【共催団体等】 ・田川小学校	【評価と反省】 ・普段から観光ガイドとして活躍しているメンバーだけあって説明も分かり易く、子どもたちの学習を深めることができた。 【今後の方針】 ・学校側の要望を聞きながら対応したい。	○	
第23回田川ふれあい文化祭	10月18日	中止	地域事業（文化）	成人	0人	【内容】 ・公民館利用サークル及び個人の作品展示、ステージ発表 ・各種団体による活動紹介（パネル展示） ・田川小金管バンド、丸ノ内中吹奏楽部によるオープニング演奏 ・喫茶、豚汁、綿菓子、ポップコーン等の飲食提供 ・野菜、果物、花の即売会 ・図書委員会による古本市 ・ランチタイムコンサート ・あそびの城（リーダー会企画のゲームコーナー） ・お楽しみ抽選会 ほか 【ねらい】 ・公民館を拠点に活動する団体・サークル等が、日頃の学習成果を発表し合い、地域の文化振興に役立てると同時に、住民相互のふれあいと交流の機会として開催する。	【共催団体等】 ・田川地区町会連合会、民児協、町内公民館長会、育成会、健康づくり推進委員会、日赤、ボランティア部、体協、衛生協、防災部、防犯連絡協、五部門委員会、福祉ひろば、地域づくりセンター			
田川地区文化展	10月17日 10月18日	1回	地域事業（文化）	成人	200人	【内容】 ・公民館利用サークル及び個人の作品展示 【ねらい】 ・公民館を拠点に活動する団体・サークル等が、日頃の学習成果を発表し合い、地域の文化振興に役立てると同時に、住民相互のふれあいと交流の機会として開催する。	【準備過程】 ・公民館運営委員会を中心に文化祭代替行事として企画 【共催団体等】 ・田川地区町会連合会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染防止のため、例年行っていた文化祭の代替行事として実施した。 ・例年の文化祭展示部門を超える出展数となり、見ごたえが増したとの声も聞かれた。 【今後の方針】 ・高齢化によるサークルの解散等もあり、出展・出演者が年々減りつつある。呼びかけ方法の工夫やサークル支援の充実など対策を相談していきたい。		
田川健康ウォーキング	10月31日	1回	地域事業（体育）	成人	40人	【内容】 ・地区内のウォーキングコースを歩く。 【ねらい】 ・身近な地域を歩くことで、田川地区の自然、歴史文化等への理解を深めるとともに、住民相互の交流や健康増進に役立てる。	【準備過程】 ・福祉ひろばでコース等を設定、公民館で周知、 【共催団体等】 ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染防止のため、例年の当館サークルによる新そばのふるまいが行えず、例年に比べると盛り上がりに欠けた。 【今後の方針】 ・次年度も実施したい。 ・年々子どもたちの参加が減っているため、周知方法を再考したい。		
やしょうまつくり講習会・交流会	12月	中止	地域文化	青少年	0人	【事業内容】 ・田川小1年生の授業支援として、信州の郷土食である「やしょうま」づくりをサポートする。 【ねらい】 ・地域の伝統的な食文化を学び、児童と地域の大人とのふれあいの機会とする。	【共催団体等】 ・田川小学校		○	○

令和2年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
田川もちつき大会	12月	中止	地域文化	青少年	0人	【内容】 ・臼、杵を用いた昔ながらのもちつきを体験、実食する。 ・待ち時間を利用し、正月遊び（コマ回し、羽根つきなど）で交流する。 【ねらい】 ・かつては各家庭で行われていた「もちつき」を体験し、日本の伝統文化にふれる機会とする。	【共催団体等】 ・主催／子ども会育成会			
まゆだまづくり講習会	1月5日	1回	地域文化	青少年	12人	【内容】 ・小正月の伝統行事「三九郎」で焼く団子（まゆだま）を作る。 【ねらい】 ・近年まゆだまをスーパー等で購入する家庭も増えるなか、本来の手作りを体験し、郷土の伝統文化を伝える機会とする。	【準備過程】 ・サロン運営委員に講師を依頼 ・田川小学校に周知依頼	【評価と反省】 ・地域の「おばあちゃん」たちから、まゆだまづくりを教わることで、世代間交流の場にもなっている。 ・新型コロナウイルス感染防止のため、例年よりも規模を縮小した。 【今後の方針】 ・まゆだまの作り方だけでなく、行事の意義やいわれを伝える機会としていきたい。		○
書き初め講習会	1月5日	1回	地域文化	青少年	15人	【内容】 ・冬休み中の小・中学生を対象とした書き初め講習。各々学校から宿題として出された課題字に取り組む。 【ねらい】 ・日本古来の年中行事である書き初めを通して、表現力や集中力、豊かな感性を養う。	【準備過程】 ・公民館で活動する書道師範に講師を依頼 ・田川小学校に周知依頼	【評価と反省】 ・講師の丁寧な指導もあり、皆真剣に取り組んでいた。初めて筆を持つ幼児や低学年の参加もあり、書道に親しむ機会づくりができた。 【今後の方針】 ・次年度も継続。正月の恒例行事として定着させたい。		
文化視察「北安曇歴史探訪」	1月16日	中止	地域文化	成人	0人	【内容】 ・旧開智学校校舎が国宝指定されたことを記念し、見学会を行う。 ・ほかに、旧制高等学校記念館、旧山辺学校、教育文化センター（プラネタリウム）を視察 【ねらい】 ・「学都松本」の教育史、学校建築等について学び、郷土に対する理解を深める。	【共催団体等】 ・文化委員会			
田川地区立志式「たがわっこ宣言」	1月23日	中止	地域事業（その他）	青少年	0人	【内容】 ・卒業を控えた小学6年生、中学3年生の児童・生徒らが、「たがわっこ宣言」を読み上げ、将来の夢や抱負を発表する。 【ねらい】 ・人生の節目を迎える子どもたちの門出を地域で祝い、郷土に対する愛着・誇りを育む。	【共催団体等】 主催／町会連合会 共催／民生児童委員協議会、子ども会育成会、地区福祉ひろば		○	
子ども見守り隊	通年	17回	地域事業（その他）	青少年	350人	【事業内容】 ・田川小学校の安心・安全支援の一環として、毎週水曜、揃いのベスト・帽子を着用して通学路を巡回、児童の下校を見守る。 【ねらい】 ・関係団体が協力し地区内を定期的に巡回することで、通学路の安心・安全を確保する。	【準備課程】 ・地区内で不審者情報が相次いだことなどを機に、平成22年度に結成 【共催団体等】 ・田川地区町会連合会、子ども会育成会、主任児童委員、田川小PTA	【評価と反省】 ・町会、育成会、PTA等、関係者らが継続的に取り組み、地域全体で子どもの安全を守る意識が醸成されている。 【今後の方針】 ・今後も継続。具体的な実施方法等については、子ども安全部会で協議	○	
読み聞かせボランティア	通年	中止	その他	青少年	0人	【内容】 ・田川小学校の朝読書の時間を利用し、地域ボランティアによる読み聞かせを行う。 【ねらい】 ・読み聞かせを通して、子どもたちの豊かな感性を育むともに、ボランティアの仲間づくりや生きがいづくりを図る。	【準備過程】 ・年度当初に当番日の確認等打合せを行う。		○	
気楽に運動しよう	通年	13回	福祉健康	成人	250人	【内容】 ・高齢者でも無理なく取り組めるストレッチ体操やニュースポーツ等で気楽に運動する。 【ねらい】 ・定期的に体を動かすことで、運動習慣の定着を図り、地域の健康づくりと仲間づくりを推進する。	【準備過程】 ・公民館だよりで周知 ・運営は気楽に運動委員会が担当 【共催団体等】 ・気楽に運動委員会 ・スポーツ推進課	【評価と反省】 ・毎回笑顔の絶えない講座であり、仲間と楽しみながら、継続的に体を動かす機会づくりができた。 【今後の方針】 ・今後も継続。男性の参加が課題		
パソコン講習会	通年	9回	趣味教養	成人	54人	【内容】 ・パソコンによる文書作成、画像編集、ホームページ制作等を学ぶ。 【ねらい】 ・パソコンの基礎を共に学び、生活・暮らしの向上に役立てる。	【準備過程】 ・地区在住の講師に依頼	【評価と反省】 ・各々がテーマを持って自主的、意欲的に取り組んでいた。 【今後の方針】 ・今年度は学習成果を発表する場がなかったため、次年度は何かの機会を設けたい。		
かるやか会（そば打ち講習会）	通年	5回	地域文化	成人	80人	【内容】 ・地域の名人からそば打ちを教わり腕前を磨く。 【ねらい】 ・そば打ちを通じて住民同士の仲間づくりと交流を図る。特に団塊世代の男性の参加をねらうもの。	【準備過程】 ・地区在住の講師に依頼	【評価と反省】 ・年々技術も向上し、地区行事（ウォーキング）でそばをふるまうなど充実している。 ・新しいメンバーも定着し、仲間の輪が広がっている。 【今後の方針】 ・次年度も実施していきたい。		○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
おはなしの会	通年	9回	その他	青少年	50人	【事業内容】 ・地区内や近隣の保育園、児童センター等からの依頼を受けて、読み聞かせ、パネルシアター等の公演を行う。 【ねらい】 ・物語に親しむことで、子どもたちの豊かな情操を育むとともに、ボランティア活動を通じた仲間づくりの機会とする。	【準備課程】 ・毎週木曜、公民館で演目の打合せ・パネル製作・練習等を行う。 【共催団体等】 ・田川おはなしの会（図書委員ほか）	【評価と反省】 ・今年度も地区内外からの公演依頼に応え活動することができた。 【今後の方針】 ・メンバーのモチベーションも高く、自立的に運営されている。活動の周知等、側面的な支援を充実していきたい。		
「たがわの教科書」発行事業	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	青少年	18人	【事業内容】 ・地域学習の基礎資料として、田川地区の自然、歴史、生活文化等を網羅した「たがわの教科書」を編集・発行する。 【ねらい】 ・地区内の歴史資料を収集・整理するとともに、成果品を地域学習に活用し、子どもたちの郷土愛を育む。	【準備課程】 ・まち協理事会で部会員を選出。公民館で事務局を担当する。 【共催団体等】 ・田川地区まちづくり協議会歴史文化部会	【評価と反省】 ・趣旨に沿った内容を編集し発行の目標に至った。 ・地区の歴史文化を再確認し、後世の地域人育成に寄与すると考える。 【今後の方針】 ・コミュニティスクール等の授業支援で同書の活用方法を見出していきたい。		
公民館報の発行	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	—	【内容】 ・公民館報「田川版」（年6回）を編集・発行する。 【ねらい】 ・住民自らが編集する公民館の機関紙として、公民館活動を記録するとともに、地域を学ぶ学習素材を提供する。	【準備過程】 ・各月の館報編集委員会にて紙面内容を検討 【共催団体等】 ・館報編集委員会	【評価と反省】 ・コロナ禍で記事ネタが不足した1年であったが、その分、地域の身近な情報収集に努めることができた。 【今後の方針】 ・編集委員と協力し、住民の関心に応えられる紙面づくりに努めていきたい。		
五部門委員会	通年	24回	公民館委員会・各種会議等	その他	180人	【事業内容】 ・運営、館報、図書・視聴覚、体育（気楽に運動）、文化の五部門委員会により、公民館事業の企画・運営、評価等を行う。	【準備課程】 ・各部門ごとに随時開催	【評価と反省】 ・コロナ禍における事業の開催可否や規模く縮小などについて、綿密に協議し役員の合意を形成することができた。 【今後の方針】 ・従来の枠組みにこだわらず、地域課題や住民の学習要望をふまえながら、より弾力的に活動を展開していきたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】

- ・庄内地区で活動している様々な団体との連携を重視し、黒子として各事業の実施に協力した。
- ・公民館利用者の要望に沿った講座の開催を行った。
- ・庄内地区最大のイベントである「ドリーム庄内”秋のつどい”」は、地域の結束、団結、顔の見える関係の構築を図っていくイベントである。
昨年度までは防災運動会を4回続けてきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため「体感・実感・再認識 コロナ禍の避難所の現実」とタイトルを掲げ、庄内体育館を模擬避難所として設営し、三密回避対策を講じた上での見学会を実施した。今後もドリーム庄内が地区に定着するよう継続していく。
- ・庄内地区公民館が、大勢の住民に気軽さを持って利用いただける場所となるよう、館内の展示や掲示物の管理、事務所においても接遇を意識する等、全体的なよい雰囲気作りに努めた。
- ・公民館稼働率が高く、貸館業務も大きなウエイトを占めている。大勢の利用者が気持ちよく公民館を使えるよう、館内の設備備品等の維持管理の徹底、新規貸館希望者に対するパンフレット配布を行った。

評価・反省等

- ・講座及び事業に関しては、庄内地区公民館独自のものは少なく、大半が地域団体との共催である。
地域住民との連携という面を引き続き重視していきたい。
- ・公民館の貸館申請者は、地域住民だけでなく他地区や他自治体の団体も大勢いる。そのため、いわゆる地元の住民が「気軽に」、「いつでも」公民館を使える状況ではなくなっている。
今後は、その点が改善できるよう、公民館の独自性を探っていききたい。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種 委員会 等・
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	スポ ーツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数			5	2		1		1	2	1	4	1	7
延べ 参加 人数			26					200				175	212

	C S	食 育
事業数	1	
延べ 参加 人数		

令和２年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
信州小谷村 自然観察講座	5月26日	中止	環境	成人	0人	【内容】 緑広がる大自然の中を散策し、現地ガイドの案内で野草の講習や北アルプスの名前を覚える。 【ねらい】 山に関する学習だけでなく、起伏のある斜面を歩き、運動不足解消も兼ねる。	【準備過程】 小谷村担当者と連絡を取り、当日の打ち合わせを実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は中止を決定した。 【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら事業再開または内容の検討を図る。		
庄内地区やまびこ子どもまつり テーマ「(未定)」	7月18日	中止	地域事業(文化)	青少年	0人	【内容】 庄内地区の子ども達を対象にした夏祭り。子供たちの希望を汲んだ大人の模擬店や様々な体験コーナーを設けるもの 【ねらい】 模擬店や各種イベントを行い、子ども達に一夏の思い出を残す。	【準備過程】 庄内地区子ども会育成会が主催。地域のリーダー的な存在である町会青年会、庄内盛々会等の協力・支援を得て準備を行った。 【共催団体等】 子ども会育成会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は中止を決定した。 【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら事業再開または内容の検討を図る。		
「タイムカプセル開封」事業 ～「10年後20歳の私」に贈るメッセージ～ (やまびこ子どもまつり事業)	7月18日	中止	地域事業(文化)	青少年	0人	【内容】 やまびこ子どもまつりの一環として、H29年度まで地元小学校(並柳小/筑摩小/源池小)の5年生が「10歳の私から10年後20歳の私へ贈るメッセージ」を作成 H30年度からは、開会式の中で新成人2名に当時のメッセージを朗読してもらう。 【ねらい】 子ども達の思い出づくりの一環。地域への愛着を持たせる。	【準備過程】 庄内地区子ども会育成会が主催 タイムカプセルは公民館内に保管 【共催団体等】 子ども会育成会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は中止を決定した。 【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら事業再開または内容の検討を図る。		
ドリーム庄内 “秋のつどい” (実行委員会・企画運営委員会)	10月17日 10月18日	1回	防災	その他	200人	【内容】 庄内地区最大のイベントである「ドリーム庄内 秋のつどい」は、その年ごとにテーマを決めて企画を検討し、イベントを開催する。H28年度から「防災運動会」をテーマに4年続けてきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、内容を再検討した。 結果、コロナ禍での避難所の在り方、住民意識の啓発等を目的に、通称「避難所見学会」として、模擬避難所として設置した庄内体育館の見学会を実施することとした。 消防車両展示等の消防団参加は継続し、防災意識の啓発や、消防団員活躍の場をつくる。 【ねらい】 地域の結束、団結、顔の見える関係の構築を目的とする。	【準備過程】 町会連合会、町内公民館長会、公民館5部門委員会、育成会、地元の青年会及び盛々会等のメンバーで企画運営委員会を開催し、具体的な立案を行う。 実行委員会にて企画運営委員会で作成したプランの承認を頂き、実行に移した。実行委員会は、庄内地区内のほとんどの団体が参加しており、各代表が会議に出席した。	【評価と反省】 ドリーム庄内のマンネリ化防止と事業の定着化(＝事業の定番化)の2つを両立させるためこれまで試行錯誤を続けてきた。 コロナ禍でのドリーム庄内の在り方を探る中、ドリーム庄内が地域防災の啓発を続けてきて、その流れを断ち切らせないことを再確認できたことは大きい。 ただし、企画内容が実質事務局主導にならざるを得ず、十分な議論や意見交換ができたとは言いがたい。 三密回避対策として開催時間を延ばした結果、夜の避難所が体験できるようになった等、新しい手法の可能性も見えた。 初日が降雨だったため来場者は伸び悩んだが、2日目は子連れ親子が訪れる等、賑わいを見せた。 【今後の方針】 参加者アンケートでは、通称避難所見学会の継続、防災運動会の再開、その両方の開催を望む声が寄せられた。ドリーム庄内の意義や在り方を改めて探っていく。		
庄内地区「三九郎講習会」	12月6日	1回	地域事業(文化)	青少年	30人	【内容】 地域の伝統行事である三九郎を、子ども達(親含む)で実施できるよう、三九郎のやくらの建て方の講習会を開催するもの 【ねらい】 三九郎が子どもの行事として自らが主体的に運営できるようになることを目的とする。また、親世代にも技術の伝承を図るもの	【準備過程】 庄内地区子ども会育成会が主催 講師の手配、公民館内に保管された三九郎資材を隣接の空き地にセッティングする等の準備に協力した。 【共催団体等】 子ども会育成会	【評価と反省】 かつては誰でも作れたという三九郎も、現在ははっきりとした講習を行わないと行事が実施できない状況である。 子どもだけでなく、大人も交じり、伝統文化継承のよい機会となった。 今回はコロナ禍のため、参加人数を大幅に削減せざるを得なかった。 【今後の方針】 伝統行事の継承を目的に、今後も継続		
庄内地区公民館 新春落語講座	1月16日	中止	趣味教養	成人	0人	【内容】 プロの落語家をお招きし、地区住民に新春のお楽しみとして落語に親んでもらう。 【ねらい】 日本の伝統文化を地区住民に体験してもらい、文化教養の向上を図る	【準備過程】 落語家の世話や段取り等については松本落語会に協力を要請。公民館側は告知や会場準備を行う。 【共催団体等】 松本落語会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は中止を決定した。 【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら事業再開または内容の検討を図る。		
サークル活動支援(利用者懇談会)	2月26日	中止	公民館委員会・各種会議等	成人	0人	【内容】 主に庄内地区公民館を利用する団体を対象に懇談会を開催し、相互の意見交換や公民館側からの利用上のお願いについて説明の場を設けるもの 【ねらい】 庄内地区公民館は稼働率が高く、非常に大勢の団体に利用頂いている。誰もが気持ちよく公民館を利用して頂くため、使用上の注意や駐車場不足の解消に協力してもらう等の話し合いの場をつくる。	【準備過程】 利用団体に対して庄内地区公民館利用にあたってのパンフレットを作成した。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は中止を決定した。 【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら事業再開または内容の検討を図る。		

令和2年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
中信にほんごひろば	4月～3月	12回	地域事業 (その他)	その他	175人	【内容】 外国由来の子ども達や大人を対象にした日本語教育を行うもの 【ねらい】 庄内地区近隣に住む、日本語を母語としない子どもへの日本語学習支援を通して、多文化共生社会の実現に向け、外国籍の方々と交流を図る機会とする。	【準備過程】 NPO法人「中信多文化共生ネットワーク」に所属する「中信にほんごひろば」が運営主体となり、地域（並柳団地町会）とも連携して、2つの会場を設定し取り組む。 【共催団体等】 中信にほんごひろば	【評価と反省】 学習者各々の都合で毎回参加人数にバラツキはあるが、通年多くの参加者があった。24年度以降、並柳団地町会と連携し、町内公民館を会場に出前講座的に実施しており、団地在住の外国由来の住民を対象とした身近な「にほんごひろば」として取り組みができています。 今年度はコロナ禍のため、年度の大半が休止状態であった。 【今後の方針】 本事業は日本と外国由来の方々のつながりを生み育てるためのものであるため、継続を図るだけでなく、NPOとの連携も強化していきたい。		
筑摩小学校コミュニティスクール事業	4月～3月		子育て	青少年		【内容】 地域住民を講師に招き、様々な学習の場を展開 例：朗読学習、英会話学習、ダンス体験、畑作、稲作 【ねらい】 様々な分野の体験をさせることで、子供達の可能性を広げる。	【準備過程】 地区公民館は、地域住民と学校のパイプ役となり、様々な講師をコーディネートする。 【共催団体等】 かえでの会、ECメイプル、地域住民 等	【評価と反省】 事業内容は概ね定着化しており、安定した教育の場を作ることが出来ている。 【今後の方針等】 現状を維持し、可能であればその年ごとに特色ある学習の場を検討していく。	○	
並柳小学校コミュニティスクール事業	4月～3月		子育て	青少年		【内容・ねらい】 あいさつ運動等を通じて児童がいきいきとした学校生活を過ごせるような雰囲気を作っていく。また、様々な事情を抱えた児童らの見守りや教職員の負担を、地域ボランティアの力を借りて支えていく。	【準備過程】 地区公民館は、地域住民と学校のパイプ役となり、様々な講師をコーディネートする。 【共催団体等】 地域住民、民生委員等	【評価と反省】 様々な地域ボランティアとのコーディネートが上手く機能でき、学校に地域住民が関われる素地ができつつある。 【今後の方針等】 引き続き、地域と学校のつながりを維持していく。	○	
開成中学校コミュニティスクール事業	4月～3月		子育て	青少年		【内容】 生徒が地域での清掃活動を行う「開成タイム」を主に実施している。また、R1年度から地元関係町会と構成された「避難所運営委員会」との協同による「避難所開設体験」を実施するもの 【ねらい】 生徒が地域に出て活動することで、地域住民と関わり合いを持つ場を作っていく。また、防災についての見識を深めることも目的とする【防災】	【準備過程】 地区公民館は、地域住民と学校のパイプ役となり、様々な講師をコーディネートする。地元関係町会による「避難所運営委員会」に対しても、学校と協同での運営について協力を求めた。 【共催団体等】 開成中学校避難所運営委員会	【評価と反省】 これまではいわゆるできる範囲での活動が中心だったが、R1年度から積極的に生徒が地域で活動し、自分たちで体験し、考え、それを発表していく方向性を作っている。特に避難所体験は、子ども達にとって災害や防災について考えるよい機会になったと判断する。 【今後の方針等】 学校側と密接に関わり、生徒が地域に出て学習できる環境が整うよう協力体制を構築していく。特に避難所体験は地元住民との協力体制が不可欠である。引き続き、両者をコーディネートする。	○	
庄内ちびっこひろば (子育て委員会)	5月～2月 (毎月第3火曜)	2回	子育て	青少年	26人	【内容】 地域に住む就園前の子と親を対象に、集い・交流・情報交換・相談等の活動を展開する。 【前期】親子体操、野菜収穫体験他 【後期】人形劇、クリスマスコンサート 他 【ねらい】 未就園児の親子を対象に、子育てへの関心と理解、親と子の絆を深めることを目的とする。	【準備過程】 公民館5部門委員会のひとつである「子育て委員会」が中心となり、地区内在住の子育て関連の有資格者、読み聞かせサークル、子育て経験者等を講師にお招きし、質の高い育児体験が行えるよう企画内容や運営方法を検討した。 【共催団体等】 おはなしボランティア「ゆめの会」	【評価と反省】 今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため全10回を予定していた活動の大半が中止となってしまった。 【今後の方針】 ちびっこひろば自体が三密回避が困難であるため、状況を見極めながら新しい方法や可能性を探っていかざるを得なくなっている。		
よみかせ おはなし「ゆめの会」	5月～3月 (毎月第2火曜)	中止	子育て	青少年	0人	【内容】 図書コーナーを利用した月1回の「おはなし」の会を開催。絵本の読み聞かせの他、手あそび、仕掛け絵本、紙芝居等も用いる。オープニングとエンディングとして、メンバーで手合わせ歌を実施し、雰囲気盛り上げる。 ※ゆめの会は、図書委員と地元で活動する読み聞かせサークルの有志で結成し、運営しているもの 【ねらい】 未就園児に対する絵本の読み聞かせの経験は成長の上で重要である。子どもはもちろん、親世代にも重要性を認知してもらうもの	【準備過程】 図書コーナーに暗幕を設置したり、大勢の親子が集えるようイスの配置に工夫を凝らしたりして、雰囲気作りに趣向を凝らした。 公民館工作室を楽屋とし、メンバーが事前にリハーサルや打ち合わせを行った。 【共催団体等】 おはなしボランティア「ゆめの会」	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は中止を決定した。 【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら事業再開または内容の検討を図る。		
マレットゴルフ交流会	5月19日 11月17日	中止	地域事業 (体育)	高齢者	0人	【内容】 誰もが気軽に楽しめるマレットゴルフを通じた運動の場を、主に65歳以上の地区住民を対象に開催。今回はさらに人権啓発施設への見学も取り入れた。 【ねらい】 健康増進や体力づくりを通じて健康寿命の延伸を図るだけでなく、退職後の男性の社会参画及び退職後の生きがいづくりの一環とするもの 今年度は、人権啓発活動についても併せて行う。【人権平和】	【準備過程】 複数の町会住民の有志が中心となり、会場選定や事務作業等といった企画立案を全て行う。公民館側はそのサポートに徹する。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は中止を決定した。 【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら事業再開または内容の検討を図る。		

令和2年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
弘法山古墳さくら絵画コンクール	コンクール表彰式 6月7日 作品展 6月5日 ～ 7月1日	中止	地域事業 (文化)	その他	0人	【内容】 地域資源(宝)である弘法山の桜を題材にした各種コンクールを開催。入選作品を公民館内に展示したり、次年度のポスターへの使用等を行うもの 〈さくら絵画コンクール〉 地元小学生、さくら保育園児対象 〈さくら写真コンクール〉 及び 〈さくら短歌大募集〉 一般公募 【ねらい】 県内外から桜の名所として認知が進む弘法山の桜を活用し、一般住民も参加できる企画を行い、地域の活性化を図る。	【準備過程】 主催は弘法山古墳桜まつり実行委員会(並柳商工会主体)。 公民館文化委員会、子ども会育成会、地元小学校の協力を得ながら館内に作品を展示した。 【共催団体等】 弘法山古墳桜まつり実行委員会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は中止を決定した。 【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら事業再開または内容の検討を図る。		
庄内ほたと水辺の会 「庄内ほたる観察会」 「生き物観察会」 (庄内ふるさと『ほつと塾』)	7月4日 8月4日	中止	環境	その他	0人	【内容】 「ほたる」も「ずめるよい自然」をテーマに、動植物の学習会や実地体験や観察会を行うもの 【ねらい】 かつて、どこにでもいたほたるを保護する活動から、変遷する地域やそこに暮らす人々の暮らし、自然環境を学びながら、地域の状況や課題に目を向けていく機会とする。	【準備過程】 「庄内ほたと水辺の会」が主催。会長である藤山静雄元信州大学名誉教授を中心に、「庄内北公園」内にある水路の維持管理を実施し、ほたるの生息地を守った。 【共催団体等】 庄内ほたと水辺の会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は中止を決定した。 【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら事業再開または内容の検討を図る。		
子育て委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	青少年	52人	【内容】 地域に住む就園前の子と親を対象とした子育て講座「ちびっこひろば」の企画、運営を行う。 また、図書コーナーの蔵書の充実や、図書関係の啓発等も行っている。 【ねらい】 「ちびっこひろば」を通じて、子育て世代の親子の絆を深めたり、同世代の親通しの交流を育むことを目的とする。	【準備過程】 委員が年10回行われる「ちびっこひろば」の企画を検討し、消耗品の購入や出演者の依頼等を行う。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策を前提とした会議であり、参加者を来館させる案も出せず、さらに積極的な活動を企画することも叶わず、委員会にとっては不完全燃焼な年だったと判断せざるを得ない。 【今後の方針】 新型コロナウイルスの蔓延状況等を鑑みながら、ちびっこひろばや図書部門の活動を模索していく。		
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	90人	【内容】 館報庄内版の企画・編集・発行。 【ねらい】 単なる「地域で起こったことの報告」で終始するのではなく、常に地域の課題について問題提起を図っていくことを目的とする。	【準備過程】 公民館長の委嘱者、町内公民館長会からの選出者、公民館5部門委員会の長等から選出。偏りのない話題作りができる体制を整えている。	【評価と反省】 自由闊達な意見交換をする上で必要にして十分な委員体制を構築できたため、編集委員からは「楽しかった」、「充実できた」という前向きな意見を頂くことができた。 コロナ禍の中で委員会を継続できたこと、コロナ禍だからこそ掲載すべき記事を制作できたこと等、委員会としては充実したものであったと判断する。 【今後の方針】 あらゆる視点からの情報が集約・交換ができる体制を構築することが課題		
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	57人	【内容】 公民館1Fロビーに、伝統行事・年中行事など、四季折々を感じる展示を実施 【ねらい】 地域住民がほっとできる場づくりを目指す。	【準備過程】 公民館内に格納されたお雛様、鯉のぼりといった伝統品を季節に合わせて展示する。 地元から竹や松を頂き、七夕飾りや松飾りを作る等の独自の作品も展示する。	【評価と反省】 コロナ禍故に来館者が期待できないため、活動を休止する時期はあったものの、年度後半は概ね例年通りの活動に移行することができた。 季節に応じた展示による心安らぐ空間として、公民館が住民にとっての憩いの場となるよう活動が続けていきたい。 【今後の方針】 今後も事業を継続		
公民館の明日を語る会(公民館運営委員会)	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	13人	【内容】 公民館の運営や改善、事業内容の企画・立案等、公民館の明日を語る場として、肩の張らない自由な雰囲気です話し合いの場を持つ。ドリーム庄内「秋のつどい」の方針も検討する。 【ねらい】 庄内地区の各団体・委員会の責任者が集い、公民館運営の充実を図る。	【準備過程】 地域のリーダーとして地区内外で活躍し、かつ公民館活動に意欲・興味を持つ者で構成。	【評価と反省】 委員会は5部門委員長や各団体の長で構成されているため、様々な視点による意見交換が行えている。 ただし、近年はドリーム庄内の企画立案に偏りがちだったため、委員からも改善すべきとの声が上がっている。 【今後の方針】 ドリーム庄内の在り方を検討しつつ、本来の自由闊達な意見交換の場としての機能を充実させていきたい。		
庄内盛々会 (子ども・環境をキーワードにした活動)	通年	中止	公民館委員会・各種会議等	成人	0人	【内容】 盛々会とは、縦割りの息苦しさから脱却し、横のつながりを重視した自由な組織である。やまびこ子どもまつりやドリーム庄内等のイベントに積極的に参加し、地域を楽しく盛り上げている。 【ねらい】 人と地域をつなげる企画や活動だけでなく、従来の枠にとらわれない新しい視点の地域づくりを目指す。	【準備過程】 不定期で例会を開催し、会員それぞれの思いや提案を出し合い、学習会を経て企画・事業化、実践をしている。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は中止を決定した。 【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら事業再開または内容の検討を図る。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
図書コーナーの充実 （図書貸出と整備）	通年		公民館委員会・各種会議等	青少年		【内容】 児童書・絵本、国際交流、郷土関係などの本を設置し、利用者への一般貸出を行っている。 また、新聞記事の切り抜きや防災や地域情報に関するパネルを設置 【ねらい】 本やパネルにより、来館者の学習機会の向上や意識啓発に努める。	【準備過程】 子育て委員会（図書部門）及び地元小学校で活動する読み聞かせグループの協力により整備 読み聞かせ講座や子育て委員による選書作業により図書の充実を図ってきた。	【評価と反省】 例年であれば、図書コーナーで大型絵本や紙芝居を使つての読み聞かせをしている親子の光景をよく見かけたり、父親の姿も多くみられる微笑ましい空間であつたり、地域の井戸端会議的スペースとなっている。 今年は、新型コロナウイルス感染症対策の影響でほぼ通年図書コーナーの利用は停滞した。 【今後の方針】 不特定多数の住民が集まる場であるため、新型コロナウイルスの状況を鑑みながら、利用再開や在り方を検討していきたい。		
公民館1フロビーの充実	通年		その他			【内容】 庄内地区公民館は複合施設「ゆめひろは庄内」の1Fにある。 大勢の人が行き来する1フロビーに、文化委員会の展示活動とは別に、一般市民による伝統品の展示、ディスプレイを配備してDVDの上映を行う。 【ねらい】 入館される方に、展示やDVDを通じた情報発信、啓発活動を行う。	【準備過程】 一般市民に対し、所有している伝統品の展示について呼び掛ける。 DVDは、市広報映像や地元有志のチャリティーコンサートの収録映像等を頂く。	【評価と反省】 体育館、トレーニングジム、プールで運動を終えた方々や、子連れの親子等が、ちょっと一息つくロビーにて、映像視聴や作品を観覧している。 ちょっとした情報発信に過ぎないが、市全体の広報手段としても有効であると判断している。 コロナ禍の中訪れる来場者も、ほっと一息ついている風景が見られた。 【今後の方針】 今後も情報発信を続ける。		
公民館ニュース	通年	10回	その他	成人		【内容】 毎月の市広報誌の配布に合わせ、庄内地区全戸に公民館事業を周知する。 【ねらい】 公民館の情報を広く住民に周知する。	【準備過程】 公民館職員にてチラシを作成	【評価と反省】 講座、行事等の周知に有効であるため、今後も続けていきたい。 コロナ禍のため、発行を見合わせる月も生じた。 【今後の方針】 周知活動は今後も継続していくが、配布物の増加は町会の負担につながるため、資料は分かりやすくかつ必要最小限を基本に、配布物削減にも取り組みたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針】

地域の魅力を再認識できるような事業を展開し、地区の一体感の創出や地域コミュニティの推進を図る。

【地域課題や重点的に取り組んだ事項】

- 1 文化・歴史の伝承
 - (1) 松本一本ねぎを用いた食育講座
 - (2) 松本の七夕まつり
 - (3) 鎌田地区歴史まっぷ看板の改訂
 - (4) 作文集「私がこどもだったころ」刊行
- 2 公民館活動サークルの活性化
 - (1) 活動サークル紹介ビデオの制作と放映
- 3 町内公民館の利用促進
 - (1) 地区公民館が地区の端に位置するため、誰でも気軽に足を運べるような場所とは言い難い。
身近な公民館である町内公民館を活用した事業・講座を実施した。
ア 鎌田お宝講座⑦「鎌田地区を知ろうパート2～笹部・征矢野・高宮界隈を歩く～」 高宮公民館
イ 町内公民館でからだを動かそう！ 月見町公民館、石芝東公民館

評 価 ・ 反 省 等

- 1 地域・地区の歴史や文化を学べた。来年度は歴史まっぷ看板や作文集を活用した事業を展開したい。
- 2 公民館での活動に興味関心を持ってもらい良い機会となった。
活動サークルの活性化に向けて、活動サークルと連携を深めながらビデオの制作を進めていきたい。
発信方法も工夫したい。
- 3 実施回数は少なかったが町内公民館を利用するきっかけづくりとなった。
今後も町内公民館と連携を図り、さらに事業や講座を充実させていきたい。
また、住民主体の事業が実施できるよう協力していきたい。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公 民 館 委 員 会 等
	平 人 和 権	福 健 祉 康	子 育 て	環 境	文 地 化 域	教 趣 養 味	ス ポ ー ツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数	1	3	5		10	2	3		4		1		2
延べ参加人数	148	165	612		573	165	121		102				272

	C S	食 育
事業数	3	1
延べ参加人数	523	73

令和2年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
～体を動かしてストレス発散～健康運動教室	6月26日	1回	福祉健康	成人	23人	【事業内容】 自宅でする簡単なストレッチと筋力トレーニング 【ねらい】 ・新型コロナウイルス感染症による運動不足、ストレスの解消 ・家で体を動かしてもらうきっかけづくり	【準備過程】 講師：公民館主事	【評価と反省】 ・親子連れ～高齢者まで幅広い世代の方に参加していただいた。 ・日頃の運動不足やストレスを解消できた ・子どもを連れてきた方は、子どもの動きに注意を払わなければならず、運動に集中できていなかった 【今後の方針】 ・実施内容を検討し継続したい。 ・子どもがいる場合は児童センターとの連携も視野に入れる		
地区夏まつり	7月	中止	地域事業（文化）	青少年		【事業内容】 お化け屋敷、子ども夜店によるお菓子等の販売 【ねらい】 地域住民の交流や子どもたちの主体性を育む	【準備過程】 両島町会の児童・PTAが中心となって企画運営 【主催団体】 両島町会共催	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症により中止		
健康トレッキング講座	7月10日	中止	健康福祉	成人		【事業内容】 上高地を巡るトレッキング 【ねらい】 トレッキングを通じて道中周辺の植物について学ぶ機会とする。	【準備過程】 文化委員会で内容を検討	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症により中止		
松本の七夕まつり	8月6日	1回	地域文化	青少年		【事業内容】 松本地方の七夕行事を題材にした絵本や平和をテーマにした絵本の読み聞かせ。 七夕人形（紙びな式）作り（7月27日～8月7日：短冊とアマビエのぬり絵コーナー設置） 【ねらい】 松本の伝統行事を学ぶ機会としたい。	【準備過程】 図書・視聴覚委員会で内容の検討 【共催団体】 子ども会育成会	【評価と反省】 子どもたちが松本の伝統行事に触れる良い機会となった。 七夕人形は小学校低学年以下には難しい内容であった。 【今後の方針】 絵本の選定や七夕人形の作り方など実施内容を検討し継続したい。		
自然と遊ぼうin国営アルプスあずみの公園	8月17日	中止	子育て	青少年		【事業内容】 国営アルプスあずみの公園でクラフト体験、バーベキュー、すいか割りなどを行い親睦を図る。 【ねらい】 地区内の2小学校に通う子供たちの交流を深め、地区としての一体感を高める。	【準備過程】 内容は小学校各地区代表の生徒が話し合いのうえ、子ども会育成会で検討 【共催団体】 子ども会育成会共催	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症により中止		
公民館会議室開放	夏休み期間	9回	子育て	青少年	89人	【事業内容】 夏休み期間中の学習場所として公民館の会議室を開放し、自由に勉強できる部屋として開放する。 また、学習ボランティアによる学習相談日进行ける。 【ねらい】 小学生・中学生・高校生の学習支援とする。	【準備過程】 公民館だより及び学校配布で周知 【共催団体】 子ども会育成会	【評価と反省】 学習ボランティアによる相談日は利用者が多く、また、集中して勉強できる場として好評であった。 【今後の方針】 勉強を相談できる環境を整えるなど実施内容を検討し継続したい。		
鎌田お宝講座⑦「鎌田地区を知ろうパート2～笹部・征矢野・高宮界隈を歩く～」	9月25日	1回	地域文化	成人	16人	【事業内容】 鎌田地区の歴史や文化について学ぶ 【ねらい】 地区内の歴史や文化について学ぶ機会としたい。	【準備過程】 テーマや講師について文化委員会で検討 講師：小山 淳一	【評価と反省】 歴史、文化について知る良い機会となった。 ※雨天のため文化財巡りは中止 【今後の方針】 文化委員会と実施内容を検討し継続したい。		
公民館専門委員会合同研修・交流会	9月29日	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	20人	【事業内容】 委員が松本城や旧開智学校校舎、松本民芸館を見学する。 【ねらい】 松本の魅力を再発見し、今後の委員会活動に活かしてもらう。 委員同士の交流を促進し、委員会を越えた活動を行うきっかけづくりとする。	【準備過程】 各委員会にて検討	【評価と反省】 松本の魅力を発見する良い機会となった。 委員同士の交流を図ることができた。 【今後の方針】 各委員会と実施内容を検討し継続したい。		
公民館周辺美化作業	10月6日	1回	その他	高齢者	20人	【事業内容】 公民館及び周辺の美化作業 【ねらい】 鎌田地区に住む松本地域シルバー人材センター会員の活躍の場と普及活動 公民館周辺の美化	【共催団体】 松本地域シルバー人材センター	【評価と反省】 公民館周辺の美化やシルバー人材センター会員の活躍、交流の場となった。 【今後の方針】 松本地域シルバー人材センターと連携しながら実施内容を検討し継続したい。		
コミュニティスクール事業（鎌田小学校） 秋の校外学習	10月9日	1回	子育て	青少年	42人	【事業内容】 特別支援学級の生徒たちが鎌田地区公民館や体育館に来館し、地域の方から本の読み聞かせやものづくりを体験した。 【ねらい】 特別支援学級の仲間や地域の方たちと楽しく過ごす。 校外での過ごし方を学習する。	【準備過程】 学校との打ち合わせを数回実施。公民館が地域とのつなぎ役を担い調整を図った。	【評価と反省】 校外での過ごし方を学べた。 地域の方との交流の場となった。 【今後の方針】 学校と連携しながら、実施内容を検討したい。	○	
鎌田地区周辺お宝巡りウォーキング	10月31日	1回	地域文化	青少年	38人	【事業内容】 鎌田地区の歴史について学ぶ。 【ねらい】 児童センターの子どもたちに地区内の文化財や歴史に対する興味を持ってもらう。	【準備過程】 ガイド：公民館長 【共催団体】 鎌田児童センター	【評価と反省】 児童センターの子どもたちに地区内の歴史について興味を持ってもらう良い機会となった。 地区住民の交流の場となった。 【今後の方針】 児童センターと連携しながら、実施内容を検討し継続したい。		

令和2年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
町内公民館でからだを動かそう！	11月 8日 11月25日	2 回	スポーツ	成人	60人	【事業内容】 町内公民館を活用した運動講座 (8日：月見町町会) (25日：石芝東町会) 【ねらい】 運動不足の解消、筋力低下の予防 町内公民館の利用促進	【準備過程】 内容についてスポーツ委員会 で検討 講師：公民館主事	【評価と反省】 町内公民館を活用する良い機会となった。 高齢者の参加が多かった。 【今後の方針】 スポーツ委員会で内容を検討し継続したい。		
ゴルフ体験教室	11月 4日 11月18日	2 回	スポーツ	女性	17人	【事業内容】 女性の初心者向けゴルフ体験教室 【ねらい】 女性がゴルフを始めるきっかけづくり。 3密を回避したスポーツで運動不足、ストレス解消	【準備過程】 内容についてスポーツ委員会 で検討 講師：鎌田地区スポーツ 協会部員2名	【評価と反省】 女性がゴルフを始める良い機会となった。また、参加者同士の親睦や健康づくりに役立った。 【今後の方針】 スポーツ委員会で内容を検討し継続したい。		
松本伝統工芸押し絵づくり	12月7日	1 回	地域文化	成人	12人	【事業内容】 来年の干支「丑」をテーマに押絵の技法を学ぶ。 【ねらい】 松本地域の伝統を学ぶ場とする。	【準備過程】 講師：三村 隆彦	【評価と反省】 松本の伝統工芸を知る良い機会となった。 【今後の方針】 講師と内容を検討し継続したい。		
アートフラワーを使って正月リースを作ろう！	12月22日	1 回	地域文化	成人	11人	【事業内容】 アートフラワーを使用し正月飾りを制作する。 【ねらい】 正月行事に関心を持ってもらうきっかけづくり	【準備過程】 講師：田中 沙恵子	【評価と反省】 正月行事に関心を持ってもらう良い機会となった。参加者から好評を得た。 【今後の方針】 講師と内容を検討し継続したい。		
はじめての切り絵教室	2月2日 2月9日	中止	趣味教養	成人		【事業内容】 初心者の方を対象に切り絵の基本を学ぶ。 【ねらい】 趣味や生きがいづくり 公民館でのサークル活動化	【準備過程】 講師：立花 久夫	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症により延期 【今後の方針】 講師と相談のうえ来年度4月に実施予定		
やさしいヨガ教室	2月17日	中止	福祉健康	成人		【事業内容】 誰でもできるヨガ体験教室 【ねらい】 コロナ禍における運動不足とストレス解消 公民館でのサークル活動化	【準備過程】 スポーツ委員会にて内容を を検討 講師：田中 花	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症により延期 【今後の方針】 講師と相談のうえ来年度4月に実施予定		
鎌田地区歴史まっぶ看板改訂	3月	1 回	地域文化	その他	4人	【事業内容】 平成22年に市制百周年事業の一環として設置した「鎌田地区歴史まっぶ」看板を改訂した。 【ねらい】 地域住民にさらに歴史・文化に興味関心をもってもらう。	【準備過程】 市施行100周年記念事業・鎌田地区実行委員会と鎌田地区町会連合会に相談	【評価と反省】 改訂されたことによりさらに見やすくなり、住民から好評を得た。 【今後の方針】 看板だけでなくパンフレットを作成するなど検討したい。		
「松本一本ねぎ」食育講座	4月23日 5月28日 8月 3日 9月17日 11月19日	5 回	地域文化	成人	73人	【事業内容】 松本一本ねぎの栽培 苗植え～収穫～料理方法について学ぶ体験型の食育講座 【ねらい】 食育講座の一環として、地域文化を学ぶ場とする。	【準備過程】 文化委員会で内容を検討 農業体験講師：鎌倉 秀文 料理体験講師：鎌田地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 地区内でも栽培されている伝統野菜を知る良い機会となった。参加者が固定化されている。 【今後の方針】 新規の参加者を増やせるよう文化委員会と実施内容や日程を検討し継続したい。		○
コミュニティスクール事業 (鎌田中学校)	6月19日 6月26日 7月 9日 7月21日 8月27日 9月 2日 9月11日 10月 2日 10月 8日 10月13日 10月29日 11月 5日 11月20日	14 回	子育て	青少年	481人	【事業内容】 総合的学習「KMDタイム」として身近な地域の「ひと・もの・こと」との関わりについて課題を見つけ探究的な活動を行う。 【ねらい】 主体的・協働的に課題を解決しようとする生徒の育成	【準備過程】 学校との打ち合わせを数回実施。公民館が地域とのつなぎ役を担い調整を図った。	【評価と反省】 地域住民との交流の場となった。 【今後の方針】 学校と連携しながら、実施内容を検討し継続したい。		○
歩こう鎌田ウォーキング	6月29日 7月28日 8月25日 9月16日 10月 2日 11月17日 12月15日 3月12日	8 回	福祉健康	成人	142人	【事業内容】 通称「歩かま」。毎月、地区内を異なったルートで歩く。 【ねらい】 歩く習慣を身に付け、健康づくりを促進する。参加者同士の交流を深め、自主的なグループ作りを推進するもの。	【準備過程】 毎月ルートの選定。 【共催団体】 鎌田地区福祉ひろば、福祉計画課	【評価と反省】 参加者の中で歩く習慣がついた人がいた。参加者同士の交流を深められた。自主的なグループ結成には至らなかった。 【今後の方針】 参加者の自主性を尊重しながら、継続実施したい。 4月・5月・1月・2月は新型コロナウイルスのため中止		
公民館周辺美化作業、公民館年末大掃除	6月14日 10月19日 12月18日	3 回	その他	成人	82人	【事業内容】 公民館及び周辺の美化作業。公民館周辺美化作業2回と年末大掃除1回を実施する。 【ねらい】 公民館利用者団体連絡協議会の会員相互交流及び公民館周辺の美化	【共催団体】 鎌田地区公民館利用者団体連絡協議会	【評価と反省】 公民館周辺の美化や利用者団体連絡協議会員の相互交流の場となった。 【今後の方針】 公民館利用者団体連絡協議会と連携しながら実施内容を検討し継続したい。		
陶芸体験教室	8月21日 8月28日 9月 4日 9月11日 9月18日 10月 2日 10月 9日 10月16日 10月23日 11月 6日	10 回	趣味教養	成人	165人	【事業内容】 陶芸の基礎を学ぶため、初心者を対象に毎年開催。土練り～成形～釉薬まで一通りの技術を学び、コーヒーカップや花器を制作する。 【ねらい】 陶芸サークルへの加入を促進し、陶芸サークルの活性化を図る。	【準備過程】 講師との打ち合わせのうえ内容を検討 講師：木村 岳史さん 【共催団体】 鎌田地区公民館陶芸サークル	【評価と反省】 参加者からは好評を得ており、陶芸サークルへの見学、加入を希望する者がいた。 【今後の方針】 陶芸サークルの関わり方など実施内容を検討し継続したい。		

令和2年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
ソフトバレーボール 体験教室	8月28日 9月11日 9月25日 10月9日 10月23日	5回	スポーツ	成人	44人	【事業内容】 初心者向けのソフトバレーボール教室 【ねらい】 いつでもだれもが気軽にスポーツを楽しむことができる環境作り	【準備過程】 内容についてスポーツ委員会で検討	【評価と反省】 参加者同士の親睦や健康づくりに役立った。初心者の参加が少なかった。 【今後の方針】 スポーツ委員会と実施内容を協議し、地区優先日を利用しながら継続していく。		
美術工芸作品展	10月26日 ～ 10月30日	1回	地域文化	成人	200人	【事業内容】 鎌田地区公民館活動サークルや地区住民の美術工芸作品を公民館に展示する 【ねらい】 ・日頃の成果を発表する場 ・地域住民の交流	【準備過程】 鎌田地区利用者連絡協議会と地区住民へ作品応募の呼びかけ	【評価と反省】 例年開催している文化祭を規模を縮小し開催した。活動サークルや地区住民の発表の機会となった。作品鑑賞者の交流も見られた。 【今後の方針】 文化祭の実施も含め内容を検討する。		
鎌田地区公民館 活動サークル紹介ビデオ制作	10月 2月	2回	地域文化	成人	160人	【事業内容】 鎌田地区公民館で活動するサークルの活動内容を写真やビデオに収め編集し、公民館ロビーのテレビで放映する 【ねらい】 サークルの活動拡大と発表の場 サークル間交流のきっかけづくり	【準備過程】 ・鎌田地区公民館活動サークルへビデオ出演依頼 ・パソコンサークル「PC金曜会」との連携	【評価と反省】 令和2年度は2本のビデオを制作。ビデオ視聴によりサークル見学や加入を希望する者がいた。 サークル間で交流する場面も見られた。 【今後の方針】 未紹介のサークルへ協力依頼をし制作を継続していきたい。		
人権啓発 「平和を祈る詩」展示	12月15日 ～ 1月20日	1回	人権平和	青少年	148人	【事業内容】 鎌田地区の小学生が書いた「平和を祈る詩」の展示 【ねらい】 平和教育、人権問題を考える機会とする。	【準備過程】 松本詩人会から地元の小学生が書いた「平和を祈る詩」を借用 【主催】 鎌田地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 平和や人権に対する意識の向上に役立った。 【今後の方針】 協議会と実施内容を協議しながら継続して実施したい。		
作文集「私が子ども だったころ」刊行	10月～ 3月	1回	地域文化	成人	59人	【事業内容】 鎌田地区住民に「子どもだったころの思い出」の作文を募集し作文集を制作 【ねらい】 子どもだったころの思い出や歴史、文化を次世代に継承する。	【準備過程】 ・鎌田地区住民に対し、公民館だよりにて周知。 ・パソコンサークル「PC木曜会」との連携	【評価と反省】 多くの応募があり、様々な年代の当時の思い出・様子を振り返ることができる作文集となった。 【今後の方針】 作文集を使用し当時の様子を振り返る読書会の開催を検討する。		
コミュニティスクール事業 (鎌田小学校) 子どもを守る安心の家マップ改訂	10月～ 3月	1回	子育て	青少年		【事業内容】 鎌田小学校学区内にある「子どもを守る安心の家」の地図を作成し、小学校で配布する。 【ねらい】 通学路にある「子どもを守る安心の家」を把握し、不審者を見かけたときや緊急事態時に備える。	【準備過程】 学校やPTAの方との打ち合わせを数回実施。	【評価と反省】 「子どもを守る安心の家」を生徒が自主的に確認してもらえるようなマップに改訂できた。 【今後の方針】 学校と連携しながら、実施内容を検討したい。	○	
5部門委員会	通年	5回	公民館委員会・各種会議等	成人	252人	【事業内容】 ・館報編集委員会 館報の取材・編集 ・図書・視聴覚委員会 図書館展示パネル作成、更新 ・文化委員会 環境、歴史文化、食育講座の開催 ・スポーツ委員会 初心者向けスポーツ講座の開催 ・運営委員会 地区課題を探りながら公民館の在り方を提案、助言を行う 【ねらい】 公民館事業の推進及び委員会活動の活性化を図る。	・館報編集委員会 ・文化委員会 ・図書・視聴覚委員会 ・スポーツ委員会 ・運営委員会	【評価と反省】 必要に応じて委員会を開催 【今後の方針】 講座や公民館活性化のため、積極的に開催する。公民館委員は長年同じ方が担っているため、後任の選出が課題		
鎌田地区公民館だより発行	通年	12回	その他	成人		【事業内容】 市広報誌の配布に合わせて、公民館だよりを全戸回覧し、公民館事業を周知する。 【ねらい】 公民館事業や地区情報を広く周知する。	【準備過程】 公民館が作成	【評価と反省】 公民館講座や地区行事の周知に有効と考えている。ただし、紙媒体以外の情報発信も考える必要がある。 【今後の方針】 継続したい。		
鎌田地区公民館だよりのホームページ掲載	通年	12回	その他	成人		【事業内容】 市広報誌の配布に合わせて発行した公民館だよりを市ホームページに掲載する。また、公民館だよりにQRコードを登載し、手軽にホームページにアクセスできるようにする。 【ねらい】 回覧の場合は公民館だよりが手元に残らないため、誰もがいつでも簡単に情報を取得できる環境を整える	【準備過程】 公民館が市ホームページに掲載	【評価と反省】 公民館講座や地区行事の周知に有効と考えている。 【今後の方針】 継続したい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

- 【重点目標1】松南地区らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連携を育む学習機能の充実を図る。
 ア 日常の暮らしで生じる悩みや課題に関して、課題の掘起しを行う機会をつくる。
 イ 地域課題の解決に向け、学習機会の充実、関係する多様な主体の連携・協働を支援する取り組みを進める。
 ウ 若い世代を巻き込み、地域づくりの担い手を育成する取り組みを進める。
- 【重点目標2】人権、平和、子育て、健康福祉、環境、食と農に至るまで、日常の暮らしの中の悩みや課題を互いに理解しあう「自由な学びの場」機能の充実を図る。
 ア 子どもからお年寄りまで、性別、年齢などに関わらず、誰でも自由に学べる場の拡充を進める。
 イ 日常の暮らしで生じる悩みや課題など、住民の多様な学びのニーズに対して、講座や勉強会の実施、資料の整備を行い、学びを支援する。
 ウ 伝統行事や地域の財産を次代へ継承する取り組みを進める。
- 【重点目標3】地区の特性を活かした松本らしいコミュニティスクール事業の進展を目指し、学校、家庭、地域の協働を図る。
 ア 子どもたちが地域の行事や活動に参加する機会を創出し、次世代の担い手となるべく地域への帰属意識の醸成を図る。
 イ 地域住民が主体となった子育ての取組みを支援し、地域全体で子どもを育てる意識の向上を図る。
 ウ 学校と地域のコーディネーターとして、学校の教育目標やヴィジョンと地域の課題の共有を促し、学校と地域の連携・協働を進める。

評価・反省等

- 重点目標1に関して
参加者から反響があった発達障がい講座や、松本大学との交流事業などの取り組みについて、どのように継続・発展させていくか、来年度の計画時に検討したい。「地域づくりの担い手育成」という目標に関しては、地域課題について自分事と捉え、自発的な行動につなげるような内容が望ましいため、来年度計画時に既存事業の展開・新規事業の内容の工夫などを検討する。
- 重点目標2に関して
参加者が募集定員に満たない講座や参加者が固定化しているものもあり、宣伝方法を見直す必要がある。また、講座の終了後も、参加者が自主的に学びを深められるよう、内容が似ている講座や副教材のようなものの紹介など、講座のテーマに関連する情報を参加者に対して発信する。
- 重点目標3に関して
子どもが地域に関わる事業が少なく、育成会の事業のほか、既存の事業の一部に子どもたちが関わる余地がないか、子どもたちが加わる新規事業が実施できないかなど、地域の各団体と意見交換を行いながら検討したい。
今年度のCS事業は、運営委員会がほとんど開催できず、学校と地域の意見交換の場が少ない状況であった。来年度は、コロナ禍でも規模の縮小やオンラインなどの工夫をして、学校（子どもたちを含む）と地域の意見交換や交流を行う事業が実施できないか検討したい。
- 総括
感染症対策による制約で、大人数が参加する事業のほとんどが中止になり、全体では事業数・参加人数ともに昨年度よりも減少した。来年度は、今年度中止になってしまった事業について、感染症対策を考慮して、どのような方法で開催するのか検討が必要である。
そして、コロナ禍で活動が制約された中学生の部活動やサークル団体などの支援を目的として、新規に実施した事業もあった。今年度新規事業の継続・発展について、来年度計画時に具体的に検討する。また、個別目標の達成状況を鑑みて注力すべき目標に関しては、新規事業の企画、既存事業の内容の発展を検討する。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会等・
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	スポ ー ツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数	1	2	5	1	5	2	1		1		3	1	4
延べ参加人数	84	12	284	6	59	120	400		80		168	21	41

	CS	食育
事業数	4	4
延べ参加人数	313	107

令和2年度 事業報告

松南地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
松代ウォーキング	4月16日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 春の松代の名所を巡るウォーキング事業 【ねらい】 ウォーキングによる健康増進、行先の地域の文化を体験し、地域住民同士が交流することを目的とする。 【福祉健康】	【共催】 松南地区福祉ひろば	【評価と反省】 感染症の影響で中止となった。 【今後の方針】 住民から継続の要望も強いので、感染症対策を踏まえながら継続したい。		
福祉ひろば祭り	6月頃	中止	地域事業 (文化)	成人	0人	【事業内容】 地区福祉ひろば事業推進協議会が主催し、地区内各種団体が共同で行うお祭り。地区公民館活動サークルによる発表などの催しもある。 【ねらい】 各団体間および地区住民同士の交流を図る。【子育て】【健康福祉】	【主催】 松南地区福祉ひろば	【評価と反省】 感染症の影響で、延期も検討されたが中止となった。 【今後の方針】 過去に同日開催を検討したいという方針もあったが、現状では感染症の影響で積極的に検討することは難しい。		
親子ふれあい体験会	7月頃	中止	子育て	家庭教育	0人	【事業内容】 松南地区の子ども会育成会と共催し、松南地区の親子を対象とした体験会を塩尻市チロルの森でおこなう。 【ねらい】 学年を超えた地区の子どもたち、住民同士の交流	【主催】 松南地区子ども会育成会	【評価と反省】 感染症の影響で中止となった。 【今後の方針】 感染症対策を踏まえながら、役員の伝手だけでなく、幅広く参加者が集まるような方策を検討したい。		
なんぶ未来まつり	9月上旬	中止	地域事業 (文化)	成人	0人	【事業内容】 神社や仏閣がなく、例大祭のような祭りのない松南地区の地区住民が、他町会の方とも交流ができるようにと始まったすべてが手づくりのお祭り 【ねらい】 町会を超えた地区住民の交流を図る。【子育て】【健康福祉】	【主催】 未来まつり実行委員会	【評価と反省】 感染症の影響で中止となった。 【今後の方針】 感染症対策を徹底した開催方法を検討し、実行委員会と協力して進めていく。		
なんなんフェスタ2020～第30回なんなんひろば文化祭～	9月21日～22日	中止	地域事業 (文化)	成人	0人	【事業内容】 松南地区公民館利用者の会が主体となって開催する文化祭。利用団体の展示及びステージ発表を行い、普段関わることのない他の団体の活動を知る機会、出会う機会としている。 また、青少年ホームはちびっこひろば、南部図書館は本のリサイクルとして協力いただいている。 【ねらい】 利用団体間及び地区との交流、利用団体の活動発表の場の充実・活動の発信	【準備過程】 実行委員会を開催し、展示内容やステージ演目等打ち合わせる。また、青少年ホームの皆さんに会場装飾やステージ設営にご協力いただいている。 【主催】 なんなんフェスタ実行委員会	【評価と反省】 感染症の影響を踏まえて中止とした。 【今後の方針】 感染症対策を踏まえた具体的な実施方法を早期に検討し、例年の内容から大きく変更したとしても、利用団体を中心とした実行委員会の企画・運営により文化祭を開催したい。 各利用団体においても、活動発表の場としての文化祭を目標とすることで、団体の活動の活力となることを期待したい。		
サークル等展示会	9月19日～9月20日	1回	趣味教養	成人	67人	【事業内容】 感染症の影響で中止となった文化祭の代替事業として、南部体育館を使用してサークル団体、信明中学校生徒の作品展示、福祉ひろば、公民館の活動紹介を行った。 【ねらい】 コロナ禍でも、感染症対策をしてサークル等の活動発表の場を確保する。【地域事業(文化)】	【協力】 信明中学校、松南地区福祉ひろば	【評価と反省】 南部図書館の「本のリサイクル」と同時開催したため来場者は比較的多かったが、準備期間が短く、団体への積極的な働きかけが十分にできなかったため、展示に参加した団体は少なかった。 【今後の方針】 来年度は、文化祭としてサークル等の活動発表の場を設けられるよう、利用者団体と相談しながら早期に取り組みたい。	○	
小布施ウォーキング	10月17日	1回	地域事業 (体育)	成人	15人	【事業内容】 秋の小布施の名所を巡るウォーキング事業 【ねらい】 ウォーキングによる健康増進、行先の地域の文化を体験し、地域住民同士が交流することを目的とする。 【福祉健康】	【共催】 松南地区福祉ひろば	【評価と反省】 感染症の影響で現地のガイドが活動しておらず、また雨天であったため短距離のウォーキングにとどまった。 【今後の方針】 住民から継続の要望も強いので、感染症対策を踏まえながら継続し、現地に明るいガイドを依頼するなど質の充実を目指したい。		
信明中学校「地域出前講座」	10月23日	1回	趣味教養	青少年	120人	【事業内容】 コミュニティスクール事業の一環として、公民館で紹介した地区の方を講師に、各学年テーマ毎30人程のグループに分かれ、地域住民から料理、スポーツや絵画工作などを教わる。 【ねらい】 普段の授業とは少し異なる様々なテーマの学びに加え、地域の方とのふれあい、つながり作りを深め、地域への愛着をもってもらおう。【子育て】	【準備過程】 松南地区・鎌田地区住民を中心に、近隣の方に講師を依頼	【評価と反省】 毎年行っており、継続して講師を担っていた方が多い。一方で、講師は負担が大きいと感じており、生徒は内容が毎年同じでマンネリ化を感じている。 【今後の方針】 講師の継続による繋がりが作りも大切にしなが、新たな講座の設定、新たな講師の発掘も検討したい。講師は主に公民館で選出しているが、今後は運営委員会の意見も踏まえて実施したい。	○	
奈川バスハイク	10月25日	1回	環境	家庭教育	6人	【事業内容】 松本市奈川の金原砂防堰堤(魚道)の見学と周辺の散策後、高ソメキャンプ場にて手作りのお弁当などを食べることで、子どもたちに自然を体験してもらう。 【ねらい】 子どもたちの五感豊かな食育を進める。【子育て】【趣味教養】	【共催】 子どもが輝く食育ネットワーク松本	【評価と反省】 例年は年に2回開催しているものだが、春季は感染症の影響で中止となり、秋季は開催したが定員を半数に制限することとなった。 【今後の方針】 参加者の満足度は高いが、申込が低調となっているため、事業の魅力の発信など、宣伝方法を見直したい。		
信明中学校吹奏楽部地区発表会	11月14日	1回	地域事業 (文化)	成人	118人	【事業内容】 コミュニティスクール運営委員会での話題から、コロナ禍で演奏発表の機会が減ってしまった吹奏楽部のために、地域で発表の機会を作ろうと企画。南部体育館を会場として、感染症対策を徹底して実施した。 【ねらい】 中学生にとっては練習成果の発表の機会、演奏という形で地域の地域貢献の機会となる。地区としても、コロナ禍で行事が中止になる中でも、ひとつの行事を実施できたという成果となる。【子育て】	【準備過程】 楽器運搬・会場準備・受付などは町会役員をはじめとした地域住民が担った。 【主催】 松南地区町会連合会 ※松南地区公民館は事務局として企画・庶務などを担当	【評価と反省】 来場した地域住民が、心のこもった中学生の演奏に元気づけられ、手拍子などで生徒の演奏と一体になって楽しんだ。 運営面では、当初中学生が行う予定でなかった作業を積極的に手伝ってくれるなど、実際に中学生と地域住民がともに作り上げた行事となった。 【今後の方針】 前年度まで、地区行事の中で中学生の発表機会が設けられており、今年度行事の中止もあって企画した事業。来年度以降も、行事の開催可否によっては、同様に企画する可能性はある。	○	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
松本大学とのまちづくり交流会	12月2日	1回	地域事業 (その他)	成人	21人	【事業内容】 松本大学の教員の皆さんをお招きし、地区のボランティア活動などの発表、町会役員などとの懇談を行う。 【ねらい】 地域づくりについて経験と実績が豊富な松本大学との交流を持ち、今後の地区のあり方について考えたい。	【主催】 松南地区町会連合会	【評価と反省】 今年度は、まず第一弾として教員の皆さんとの懇談会を行った。地区の様々な活動についてご理解いただき、今後の展開について助言もいただけた。 【今後の方針】 今後はより具体的な地域課題について、学生の皆さんとの関わりを持って取り組みたいと考えている。そのためには、地区内でのビジョン作りも必要になるため、今後の展開方法について検討していきたい。		
親子お楽しみ会	12/6	中止	子育て	家庭教育	0人	【事業内容】 松南地区の子ども会育成会と共催し、松南地区の親子を対象としたお楽しみ会。地域の音楽団体「ベルハミング」を招いてのハンドベルの演奏、育成会役員による手作りの抽選会をおこなう。 【ねらい】 学年を超えた地区の子どもたち、住民同士の交流	【共催】 松南地区子ども会育成会	【評価と反省】 1週間前までは開催する予定だったが、中信地域での感染拡大を踏まえて中止となった。参加予定者への抽選会景品等の配布のみを行った。 【今後の方針】 感染症対策を踏まえながら、幅広く地域の子どもたちが参加できるように工夫したい。		
カリヨン イルミネーション点灯式	12月18日	1回	地域事業 (文化)	成人	20人	【事業内容】 平成25年度の駐車場整備事業より中断していたカリヨンの鐘へのイルミネーション設置を、地区の事業として実施したもの。点灯式では松南地区で活動されているBe.I.I.Iハミングさんのミニコンサートを実施 【ねらい】 冬の風物詩であるイルミネーションの点灯を、地区住民が参加できる冬のイベントとして企画	【主催】 松南地区町会連合会	【評価と反省】 点灯式以前からイルミネーションを点灯しており、式中に会場からイルミネーションがよく見えないなど、式とイルミネーションとのつながりが弱い。 【今後の方針】 参加者が少ないことも課題になっているため、式の内容などについて、町会連合会と相談しながら検討したい。		
薊玉づくり講座	1月9日	中止	地域文化	家庭教育	0人	【事業内容】 児童センターと共催で三九郎用の薊玉を作る。 【ねらい】 子どもたちに地域文化を根付かせることを目的とし、お母さん世代にも文化を継承していく。【子育て】	【共催団体】 南部児童センター 地区民生委員	【評価と反省】 参加者募集を開始していたが、中信地域での感染拡大、警戒レベルの引き上げに伴い中止となった。感染症の影響や三九郎の中止もあってか、申込者がほとんどいなかった。 【今後の方針】 伝統文化を継承するための貴重な機会だが、申込者が少ないため宣伝方法を見直したい。		○
やしょうまづくり講座	1月16日	中止	地域文化	成人	0人	【事業内容】 郷土料理のやしょうまを作り、一年の健康を願う。 【ねらい】 郷土料理にふれることで地域文化の継承を促す。【地域事業（文化）】		【評価と反省】 参加者募集の広報まで行ったが、中信地域での感染拡大、警戒レベルの引き上げに伴い中止となった。感染症の影響もあってか、申込者がほとんどいなかった。 【今後の方針】 伝統文化を継承するための貴重な機会だが、申込者が少ないため宣伝方法を見直したい。		○
町内公民館長会視察研修	2月	中止	地域事業 (文化)	成人	30人	【事業内容】 例年、バスを利用して県内の他市町村に赴き歴史学習を行うが、今年度は市内での実施を検討する。 【ねらい】 単位町会を超えた、地区住民同士の交流。町内公民館事業の活性化、歴史文化の学習	【主催】 松南地区町内公民館長会	【評価と反省】 感染症の警戒レベル引き上げにより中止 【今後の方針】 地区の歴史に関して、市内の戦争関係の歴史学習、地区の歴史・記録の保存について学ぶ予定（市内での実施）		
開明小学校登下校見守り	4月～5月	1回	子育て	青少年	16人	【内容】 地区住民の有志により開明小学校の児童の登下校を見守る。 【ねらい】 年度当初、特に新一年生は登下校にも不安があるため、地域で登下校の見守りをおこない、学校と地域の結びつきを深めるもの。		【評価と反省】 かなりの日数で参加してくれる住民がいてありがたいが、人材不足で、小学校からかなり遠くに住む住民に協力していただいている。 【今後の方針】 今後も継続して実施するが、一人一人の住民の負担を減らせるよう、人材の発掘を進めていきたい。		○
親子の食育講座	4～12月	5回	子育て	家庭教育	63人	【事業内容】 畑での苗植えや土寄せから、収穫、調理して食べるまでを体験し、普段口に入っている、ねぎやさつまいもなどの作物がどのようにして育てられているのかを学ぶ。 【ねらい】 農業の実体験を通じて食育を進めるとともに、親にも家庭での食育の大切さを学んでもらう。 また、農作業のお手伝いとして中高年の地域住民に加わっていただき、子育て世代との交流が生まれることを期待する。【環境】	【共催・講師】 子どもが輝く食育ネットワーク松本	【評価と反省】 長年継続して実施している事業で、農作業の負担が大きすぎず、気軽に参加できるよう工夫している。 今年度は、感染症対策のため募集定員を減らして実施せざるを得なかったため、世代間の交流の機会も限られた。 【今後の方針】 地区内に田畑がなく、身近で農作業を体験する機会がほとんどないため、地区の子どもにとって貴重な機会になると考え、継続して実施していく。		○
体操教室(前期)	7～8月	2回	福祉健康	高齢者	12人	【事業内容】 脳トレを交えたエクササイズやヨガを体験してもらう。 【ねらい】 自分にあった運動・体操を見つけ、無理なく継続してもらうため、ウォーキングやラジオ体操などとは異なるジャンルの体操を実施	【共催】 松南地区福祉ひろば	【評価と反省】 感染対策のため、例年実施している福祉ひろばから公民館へ会場を移して実施した。 【今後の方針】 参加者の満足度も高く、次回開催要望も多いため、継続して実施したい。あまり参加人数が多くないため、宣伝方法を工夫したい。		
親子料理教室	8～3月	3回	子育て	家庭教育	44人	【事業内容】 季節の食材を使って、親子で調理実習をする。 【ねらい】 子どもたちの五感豊かな食育を進めるため、また家庭での食を大切にしてもらうため	【共催・講師】 子どもが輝く食育ネットワーク松本	【評価と反省】 子どもが楽しく料理に参加しつつ、親も食育について学べる仕組みができている。質の高い講座とあってリピーターが多い一方で、新規で参加される方が少ない。 【今後の方針】 宣伝媒体・情報発信の方法の工夫を検討する。		○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
夏の文化祭	7月～8月	中止	趣味教養	成人	0人	【事業内容】 松南地区公民館利用者の会が主体となつて開催する夏の文化祭。利用団体の活動紹介（展示）とサークルの体験会を開催 【ねらい】 利用団体の活動発表の場の充実	【共催】 松南地区公民館利用者の会	【評価と反省】 感染症の影響により利用団体の活動が縮小し、展示する作品がない、感染症対策をして体験会を開催するのが難しく、中止となった。 【今後の方針】 活動紹介・展示は、時期を限定せず、調整によって通年で実施できる体制とする。体験会については、感染症対策を踏まえた実施方法を利用者の会役員会などで検討していきたい。		
学習室開放	7～8月	1回	子育て	青少年	161人	【事業内容】 小中学生の夏休み期間中に、公民館の会議室を自主室として開放する。 【ねらい】 子どもたちの学習環境の整備、学習意欲向上のため		【評価と反省】 掲示物等により、利用者自身で感染症対策を徹底してもらうよう呼びかけ、ある程度は守られていた。入室人数を制限したため、満員で断断することがあった。 【今後の方針】 感染症対策を徹底してもらえるよう、利用の仕組みを工夫したい。 期間外にも学習室について問合せがあるなどニーズの高さが伺えるため、冬・春など実施時期を増やすことを検討したい。		
まちかどアート展	8～3月	5回	地域文化	成人	59人	【事業内容】 地区の学校や地区住民の芸術作品を館内に展示する。 【ねらい】 発表の機会が失われてしまった中学生のため、発表の場を提供しようとスタートした。地区住民の作品を取り上げることで、多くの地区住民に足を運んでいただけることを期待している。		【評価と反省】 今年度新たに始めた事業だが、いろいろなつがりで出展していただけた方が続き、およそ1か月ごと展示の入れ替えができた。新聞等でも取り上げられたことで、展示を見るために公民館を訪れた鑑賞者もいた。 【今後の方針】 幅広く地区住民の人材発掘を行うとともに、保育園や高校などにも声をかけ、子どもの作品を展示することで、若い世代にも公民館に足を運んでいただくきっかけとしたい。	○	
よくわかる発達障がい講座	11～12月	3回	人権平和	成人	84人	【事業内容】 発達障がいについて、1回1時間半の一般向けの講座を3回実施 【ねらい】 発達障がいは、学校教育などで取り扱われ、社会的に認知は進んでいるものの、高齢世代の認知がなかなか進まない。高齢世代をターゲットとして、発達障がいについて基礎から学ぶ機会を設ける。	【主催】 松南地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 地区住民だけでなく、地区外からも関心を持った方の参加があり、平日の講座ながら多くの方に参加いただけて、好評であった。 【今後の方針】 見えにくいだけで身近にも存在している人権問題を学ぶことで、多様な人々が生きやすい地域づくりにつながることが期待される。今後は、より多くの地区住民にも発信できるような方法を検討したい。		
体操教室（後期）	1～2月	2回	福祉健康	高齢者	19人	【事業内容】 脳トレを交えたエクササイズやヨガを体験してもらう。 【ねらい】 自分にあった運動・体操を見つけ、無理なく継続してもらうため、ウォーキングやラジオ体操などとは異なるジャンルの体操を実施	【共催】 松南地区福祉ひろば	【評価と反省】 前期はより広い会場として公民館で実施したが、会場の調整がつかず福祉ひろばで実施した。地区外からの参加者が半数程度いらした。 【今後の方針】 地区内にもニーズはあると考えられるが、あまり参加者が多くない。関連するジャンルの事業での呼びかけなど、宣伝方法を工夫したい。		
地区の情報展示	通年	1回	地域文化	成人	0人	【事業内容】 公民館事業の様子、地区内の出来事を撮影した写真、町会だよりなどを館内に展示する。 【ねらい】 利用者に対して、公民館事業の様子、地区内の出来事を写真で発信し、関心を持ってもらうとともに、町会の活動について知ってもらうことを期待している。		【評価と反省】 コロナ禍にあっても、各町会で感染症対策を工夫しながら様々な取り組みを行っていることや、保育園、学校などの行事の様子も取り上げることができた。 【今後の方針】 公民館利用者に限らず、地区住民に広く知っていただきたい内容であるため、インターネットなどでの発信も検討したい。		
地区の歴史に関する事業	通年 （不定期）	2回	地域文化	成人	0人	【事業内容】 戦後75年戦前・戦後の松南地区の様子について、写真や地図などの資料を展示、戦後の地区を知る方のお話をお聞きし、記録していく。 【ねらい】 松南地区の成り立ちや戦後の住民の暮らしぶりなど、戦後75年で風化してしまいうような歴史を、当時を生きた人々の記憶を記録し保存していく。	【協力団体】 松南地区公民館館報編集委員会	【評価と反省】 今年度、館報編集委員会などでこうした事業に着手する機運が高まり、初年度として、いくつかの取り組みを行った。 【今後の方針】 令和3年度には、地区の歴史を学び、歴史を記録・保存するための組織を立ち上げ、本格的に取り組んでいきたい。 また、公民館報や公民館内での展示を通して、組織の活動によって記録した歴史などについて随時発信していく。		
ソフトバレーなんなんリーグ	通年	10回	スポーツ	成人	400人	【事業内容】 月に一度開催の、地区内ソフトバレーチームによるリーグ戦 【ねらい】 地域住民主体による、住民相互の仲間づくり【福祉健康】	【準備過程】 H9年度から松南地区公民館の呼びかけによりリーグ戦が開始。	【評価と反省】 リーグ戦の役員が主体的に運営を行っているが、参加チーム数の減少を課題と考え、過去に公民館にも相談があった。 【今後の方針】 引き続き同じ南部体育館を使用している体育系サークルに参加を呼び掛けていく。		
なんなん日本語講座	通年	20回	その他	その他	80人	【事業内容】 毎週月曜日の夜に定期的に開催。日本語に限らず日本の文化や慣習についても学習し、また生徒の希望によって日本語検定に向けての勉強も行う。 【ねらい】 日本語や日本の文化について学習することで、少しでも日本で生活しやすくなることを目的としている。	【共催】 日本語講座ボランティア	【評価と反省】 感染症の影響で、帰国するなどして受講生がいない時もあり、感染が拡大した時期は活動を自粛した。 【今後の方針】 継続的に実施することが重要だが、受講生が少ないことが課題になるため、地元企業などに周知し、多くの人に事業を活用していただけるように取り組む。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
松南地区公民館 運営委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	9人	【事業内容】 地区公民館の運営委員（委員は各町会から） 【ねらい】 地区公民館の運営や事業について、地域住民から意見をいただく。		【評価と反省】 松南地区公民館が元々は松本市の南部の基幹公民館だったこともあり、これまで地区公民館の運営・事業に対して積極的な発言はない。しかし、今年度、町会連合会と協力して行った新たな取り組みもあり、地域課題に対して地区公民館が果たす役割を期待されている。 【今後の方針】 町会連合会と連携して取り組む事業や、地域課題に関する新規事業の企画などについて、積極的に運営委員との意見交換を行いたい。		
松南地区公民館 館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	10人	【事業内容】 地区公民館報の編集委員（委員は各町会から） 【ねらい】 地域情報の発掘・発信、地域課題の投げかけを行う。		【評価と反省】 コロナ禍でほとんどの地区行事が中止になる中で、内容を工夫して様々な話題を取り上げることができた。他地区の事例も参考に、「読みやすい・読みたくなる」紙面づくりを進めたい。 【今後の方針】 来年度、館報編集委員などを中心とした地域の歴史を学ぶ組織の立ち上げを検討しており、地区の関係団体を巻き込み、立ち上げに向けた方針などについて年度の早い時期に協議したい。		
松南地区公民館 体育委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	12人	【事業内容】 地区公民館の体育委員（スポーツイベント等の企画・開催、） 【ねらい】 地区の体育事業について地域住民から意見をいただく。		【評価と反省】 今年度は感染症の影響でほとんどの事業が中止となった。前年度からの状況では、毎年開催しているイベントも参加者集めに苦労しており、内容や周知方法について検討が必要である。 【今後の方針】 子ども向けのイベント企画を検討しており、CS事業と関連させ、子どもたちも主体的に関わるような内容を検討したい。		
松南地区公民館 利用者の会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	10人	【事業内容】 公民館利用団体で組織する会であり、展示が中心の夏の文化祭の実行、秋に行う文化祭「なんなんフェスタ」の実行委員会の中心的な役割を担う。 【ねらい】 利用者同士の交流の促進、利用団体の活動支援		【評価と反省】 今年度は文化祭の中止により、ほとんど活動が行えなかった。活動を縮小していく利用団体が多く、利用者の会加入団体の数が減少した。 【今後の方針】 感染症対策を踏まえた、文化祭の開催方法について役員会で早期に検討を始める。コロナ禍での各利用団体の現状を把握し、支援策を検討したい。		

基本方針													
■島内公民館「5つの基本方針」													
1 講座の充実 地域住民の声を公民館活動へつなげ、各種団体と積極的に連携し、地域課題解決へ向けた講座を実施します。住民生活に根差した事業（講座）を実施します。講座から発展したグループ活動についても、支援をします。 2 芸術文化活動の推進 芸術文化祭や灯籠祭りお話し劇場等既存事業の充実、公民館ギャラリーを活用した島内地区文化の発表・発信・交流を通じて、地域文化の醸成を図ります。 3 若者に魅力のある公民館活動の展開 児童や生徒が、積極的に参加できる公民館活動を展開します。 さらに、子育てに奮闘する母親の要望等も取り入れることで、明るく子育てができるような地域へつなげます。 4 スポーツの底辺拡大 島内地区の特性を活かし、誰でも参加できる楽しいスポーツ機会の充実を図り、心と体の健康づくりへつなげます（体協スポーツ事業、さわやか健康教室、健康ウォーキング等）。島内地区大運動会では、島内体育協会をはじめとする各種団体と連携するなかで、お互いの顔が見える関係づくりを図ります。 5 人権教育の推進 すべての人権が尊重される地域を形成するために、指導者を対象とする視察研修や講演会、人権を考える住民のつどい「ふれ愛コンサート」を通じ、改めて「人権」「平和」「愛」等について考え・意識する機会をつくり、より住みよい地域社会へとつなげます。													
事業結果													
上記5つの基本方針を掲げ、学習やスポーツ等の社会活動を通じて地域住民の連携を図り、お互いの顔が雅見える地域づくりを推進する方針でした。 しかし、新型コロナウイルス感染拡大による中央公民館からの貸館停止・事業中止方針に伴い、当館も住民や公民館利用者、学校等と調整の上、対応することになりました。特に地区スポーツ大会は、体育協会を中心に実施方法を模索しましたが、最終的にはすべて中止となりました。一方、島内文化ふれあいまつりや島内・島立ふれ愛コンサート等の文化事業は、コロナ対策を講じながら実施することができました。 公民館が最も大切にしている「誰でも集まり、何でも学習することができる」という観点と大切さを、活動を通じて痛感する一年となりました。													
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館各種委員会等
	平和人権	福祉健康	子育て	環境	文地化域	教趣味養味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	2		2		3	3	5		10		2	5	6
延べ参加人数	165		650		190	80	75		320		600	4000	439

	ポ学校トサ	食育
事業数		
延べ参加人数		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
小谷で交流(ウォーキング・蕎麦打ち体験等)	4月27日 (木)	中止	趣味教養	成人	-	他地域や島内地区住民との交流を図り、仲間づくり等へつなげるため、地元住民とウォーキング・蕎麦打ち等で交流	健康福祉部門関係者と内容・日程を調整	新型コロナウイルスの影響で中止		
男性のための料理教室	5月21日 (木)	中止	趣味教養	その他	-	料理の楽しさや健康的な食事について学ぶなかで、仲間づくり等へつなげる。	健康福祉部門関係者及び地区高齢者クラブと内容・日程を調整	新型コロナウイルスの影響で中止		
春季スポーツ大会	5月24日 (日)	中止	地域事業 (体育)	成人	-	地域住民の交流と健康増進のため、町会対抗でバドミントン・グラウンドゴルフで競うもの	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	新型コロナウイルスの影響で中止。次年度も実施が難しいことから、年度内から関係者による検討が必要		
島内小学校3年生「地域探検」	5月中	中止	その他	青少年	-	児童が地域を知り、地域への関心や愛着を高めるため、小学校周辺の施設や史跡等をフィールドワークにより学ぶ。	地区内施設担当者や文化財関係者、学校教諭と日程・コース等について調整	新型コロナウイルスの影響で中止		
健康ウォーキング大会	6月20日 (土) 10月24日 (土)	1回	スポーツ	成人	75	健康増進と世代間交流を図るため、地区内健康ウォーキングコース4Kと7.5Kの2コースを歩くもの	福祉ひろばと日程・運営方法等について調整	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果、6月は中止する。一方、2回目は従来11月に予定していたところ、10月の地区スポーツ大会が中止になったことから、10月中に実施する。コロナ対策を講じながらも、円滑な大会となった。		
ソフトボール・バレーボール大会	7月5日 (日)	中止	地域事業 (体育)	成人	-	地域住民の交流と健康増進を図るため、町会対抗でソフトボールとバレーボールで競うもの	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。次年度も実施が難しいことから、年度内から関係者による検討が必要。		
島内地区指導者研修会	7月14日 (火)	中止	その他	その他	-	町会長・町内公民館長等の地域指導者を対象に、指導者学習会を実施することで、地域づくりへつなげる。	主催者の町会・町内公民館長と実施有無について検討	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。次年度は、バス移動による感染リスクを下げる工夫が求められる。		
夏休み子ども講座 ※小学1～6年生対象	7月30日 (木) 8月6日 (木)	中止	その他	青少年	-	普段の学校生活では体験できない様々な体験や異年齢交流を通じて、子どもたちの生きる力の醸成へつなげる。	学校や育成会関係者等と実施有無について検討	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。次年度は、バス移動による感染リスクを下げる工夫が求められる。		
中学生のための島内公民館開放	8月1日 ～8月20日 うち8日間	中止	その他	青少年	-	夏休み期間中に学習の場として公民館を開放することで、中学生と公民館をつなげる。	学校や育成会関係者等と実施有無について検討	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。		
第34回灯笼まつり 「おはなし劇場」	8月2日 (日)	中止	地域事業 (文化)	その他	-	子どもから大人まで楽しめる、読み聞かせ劇場を実施し、灯笼まつりの充実へ寄与する。	公民館図書視聴覚委員会や文化委員会、公民館読み聞かせサークルや総合企画のオフィス蘭と実施有無について検討	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。		
夏季スポーツ大会	8月23日 (日)	中止	地域事業 (体育)	成人	-	地域住民の交流と健康増進を図るため、町会対抗で野球とソフトバレーボールで競うもの	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。次年度も実施が難しいことから、年度内から関係者による検討が必要		
河西部球技大会	8月30日 (日)	中止	スポーツ	成人	-	スポーツを通じて、河西部地区(島内・島立・和田・新村)で交流を図る。(バレー・野球は市長杯争奪大会出場地区選考兼ねる。)	今年は島内が当番地区のため、地区体協関係者で実施方法を模索し、4地区体協関係者と開催方法について検討する。	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。次年度は新村が当番地区となるが、コロナ禍での実施方法を模索したノウハウを島内の関係者はあるため、必要に応じた協力体制を築く。		
島内公民館子育て講座	8月20日 (木) 10月19日 (月) 1月20日 (木)	2回	子育て	家庭教育	100	就園前の親子を対象に親子参加型の講座を実施し、親子の触れ合いや仲間づくりへつなげるため、人形劇・親子体操・親子ヨガを実施	福祉ひろば・民生と内容や日程を検討	開催期日などを調整し、コロナ禍を避けながら8/20、10/19は実施へこぎつけたが、1/20は再度感染拡大時期と重なり、やむなく中止とする。		
第63回市民体育大会	10月11日 (日)	中止	スポーツ	成人	-	市内35地区が、卓球、ソフトバレーボール、マレットゴルフ、野球、ゲートボール種目で競う大会	出場選手について地区体協関係者と調整	松本市スポーツ協会で検討の結果中止		
第67回島内地区大運動会	10月18日 (日)	中止	地域事業 (体育)	その他	-	地域住民の交流と健康増進を図るため、例年は、16種目で町会対抗対抗競技も設ける。昼食時に、島内小学校4年生と消防団によるアトラクション実施	実行委員会を体協・町会・町内公民館関係者等で組織し、実施有無について検討	運動会役員会では、会場での3密回避や選手集めの難しさなどを考慮の上中止する。地区内へは、中止の周知を図る。		
第37回松本市長杯争奪球技大会	11月1日 (日)	中止	スポーツ	成人	-	市民体育大会の上位入賞チーム等が、卓球、軟式野球、ゲートボール、ママさんバレーボール、マレットゴルフで競う大会	出場選手について地区体協関係者と調整	松本市スポーツ協会で検討の結果中止		
第1回島内文化ふれあいまつり	11月7日 (土) 11月8日 (日)	1回	地域事業 (文化)	その他	600	地域住民の日頃の文化活動の成果等を一堂に集め、島内地区の文化発信の場として実施(展示やステージなど)	今年度から、公民館・福祉ひろば・図書館・社協島内支会で実行委員会を組織し、実施内容等を検討	中止も検討したが、出演者・出展者からの要望や、住民からの声を活かすために、イベントの名称から運営体制、実施内容等を新たに組織された実行委員会で検討		
卓球・バドミントン大会	11月15日 (日)	中止	地域事業 (体育)	成人	-	地域住民の交流と健康増進を図るため、町会対抗で卓球とバドミントンで競うもの	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。次年度も実施が難しいことから、年度内から関係者による検討が必要		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
公民館委員視察研修	11月12日 (木)	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	16	公民館委員間の情報交換や交流等を目的に、山梨方面で視察研修するもの	委員会関係者と研修成果を活かせるような視察場所を検討	視察を通じて学習した成果を、各委員会活動へつなげるだけでなく、委員同士の情報共有も図られたことで、公民館活動全体にとって大切な機会となった。次年度も実施予定		
島内歴史講座	11月中 3月25日 (木)	1回	地域文化	成人	45	島内地区の歴史について学習することで、地域への愛着や関心を高めるために、講演会を年2回開催するもの。日本考古学会の小林康男氏を講師に、遺跡発掘品から考える。	島内史談会と講師・内容・日程等を調整	毎年、年2回予定していた学習会。コロナ禍の影響で、11月は中止とする。島内地区に関する歴史講座を、島内史談会が主に内容企画・講師選定を進めることで、住民主体の取組みとなった。次年度も、同様の手法で進める方針		
人権教育推進視察研修	11月26日 (木)	1回	人権平和	その他	25	地域内指導者を対象に、人権に対する意識を高め、地域活動へつなげるために実施。今年は満蒙開拓平和記念館と長岳寺を視察する。	人権推進協関係者と今年度のテーマを決め、視察先・日程等調整する。	今年は、テーマを「生きる」とし、コロナ禍や東日本大震災で不幸にも命を落とした点と、戦時中の満蒙開拓義勇軍等で命が奪われた点を重ねて、生きることを考える機会とした。参加した指導者からは、主旨等が捉えやすかったとの意見をいただき、次年度も、テーマ設定から視察先を検討する方針		
刃物研ぎ講座	12月15日 (火) 午前 午後	2回	趣味教養	成人	30	初心者向けで、刃物の研ぎ方を学ぶことで、趣味による生きがいづくりへつなげる。	シルバー人材センター刃物研ぎ会員と相談の上実施	今年度もコロナ禍であったが、初めての参加者が多く、愛用の刃物を研ぎながら住民間の交流が図れたことで、仲間づくりへもつながった。		
島内小学校2年生「豆腐づくり講習会」	1月中	中止	その他	家庭教育	-	児童が手作り豆腐体験を行うことで、料理の楽しさや食の大切さを学ぶ。	食生活改善推進協議会島内地区の協力により、手作り豆腐をつくる。	年明けからのコロナ感染拡大により、事業実施が困難になったことから、直前で学校との相談により中止する。		
島内小学校1年生「昔の遊び学習会」	1月中	中止	その他	家庭教育	-	児童と住民がつながり、子どもたちの生きる力醸成へつなげる。	地域住民と児童が、こま・お手玉・あやとり・めんこ・竹とんぼ・けん玉などの遊びを通じて交流する。	年明けからのコロナ感染拡大により、事業実施が困難になったことから、直前で学校との相談により中止する。		
人権を考える住民の集い「島内・島立ふれ愛コンサート」	2月27日 (土)	1回	人権平和	その他	140	地元小学生や音楽家によるコンサートを通じて、人権について考える場にするとともに、意識向上の一助へつなげる。島立小プラスバンド部、松島・高綱中吹奏楽部、原田靖子氏(音文)出演	人権推進協関係者や学校、出演者等と9月頃から複数回実施内容やコロナ対策について検討	コロナ禍で子どもたちの出演機会が奪われるなか、学校からもステージ開催を望む声が強くなり、人権推進協関係者も「子どもの人権」を守るために開催することへの関心が高まり、厳しいコロナ環境ではあったが実施する。		
こどもの居場所づくり事業愛ランド島内「おらんちdeランチ」	4月11日 (土) ～3月24日 (土)	13回	子育て	青少年	550	三世代交流とこどもの居場所づくりを目的に、学習支援や囲碁・将棋・書き初め、食事支援等を通じて交流を図る。	住民組織「愛ランド島内実行委員会」を主宰に、公民館と連携する中で実施内容等を検討	休日に子どもたちが集まり、勉強や工作、遊び、食事など、日頃学校では体験できない、学年や世代を超えた交流を図る場として、地域における子どもたちの人間力醸成へもつながった。コロナ禍で、4～6月は中止したが、次年度も実施していく方針		
お話し会 ※うち2回は図書館共催(お話のスペシャル、クリスマススペシャル) ※うち2回は保育園で実施	5月16日 (土) ～3月13日 (土)	7回	その他	家庭教育	320	親子参加による図書視聴覚委員を中心とした読み聞かせを行い、小さい頃から本に親しむことへつなげる。絵本・紙芝居・パネルシアター・OHP等による読み聞かせや、終了後の工作等の内容を、企画会議で検討のうえ実施	読み聞かせの内容は、全て委員会を開催し、図書視聴覚委員が決定する。	子どものころから本に触れる機会を提供し、豊かな人間力向上や家庭教育へつなげる機会となった。5、6月はコロナの影響で中止となったが、次年度も実施していく方針		
農業文庫講座 第1回 視察研修 中止	5月27日 (水)	中止	その他	成人	-	視察を通じて、仲間づくりや生きがいづくりへつなげる。		農業文庫講座は、講座の内容を主に農業文庫運営委員会(公民館・図書館関係者も連携)で企画したことで、住民主体の取組みが進められた。次年度も、同様の手法で進める方針。今年は、コロナ禍ではあったが、視察研修会ではバスの座席配置を工夫したり、講演会では他地域よりいち早く、金井信一郎氏による講演会を実施したりと、社会情勢を意識した中で企画を進めていた。2月の講演会は、講師・内容まで調整済みであっただけに、次年度の農業文庫講座のなかで実施するように進めたい。		
農業文庫講座 第2回 講演会 中止	8月中	中止	その他	成人	-	住民生活に根差した講座を実施することで、生きがいや仲間づくりへつなげる。	松本大学出前講座のため、農業文庫関係者と大学とで調整			
農業文庫講座 第3回 講演会 「感染症から身を守る」	9月25日 (金)	1回	趣味教養	成人	50	住民生活に根差した講座を実施することで、生きがいや仲間づくりへつなげるために、信州大学付属病院の金井信一郎氏を講師に講演会を実施	信州大学出前講座のため、農業文庫関係者と大学とで調整			
農業文庫講座 第4回 視察研修 「諏訪地方の歴史と文化を訪ねて」	10月29日 (木)	1回	地域文化	成人	52	視察を通じて、仲間づくりや生きがいづくりへつなげる。	高遠町歴史博物館・江島囲み屋敷、光前寺、旧竹村家住宅等を視察			
農業文庫講座 第5回 世代間交流 「正月の伝統行事と遊び」	12月5日 (土)	1回	地域文化	青少年	93	昔の遊びや伝統行事を、高齢者が子どもたちに伝えていくことで、世代間交流を図る。	愛ランド島内とも共催し、コロナ禍での実施内容を検討。餅つきや食事は中止する。			
農業文庫講座 第6回 講演会 「島内を飛ぶ」	2月18日 (金)	中止	その他	成人	-	住民生活に根差した講座を実施することで、生きがいや仲間づくりへつなげるため、島内を上空から撮影した映像から地域を学ぶ講演会を実施。	農業文庫関係者と講師で、内容・日程調整まで進めたが、コロナ禍のため中止			

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
公民館ギャラリー “ピアッツァ”への展示	4月	1回	地域事業 (その他)	その他	4000	地域住民及び島内公民館利用サークル等の作品展示を常時実施すること で、地域の文化発信を積極的に行う とともに、展示者の生きがいづくり 等へもつなげる。	浅川吉司段ボール模型展	※今年度は、コロナ感染防止対策の一環として、五月人形展と島内小学校6年生作品展が中止となりました。一方、米寿を記念した青柳孝男さんの作品展や公民館で羊毛フェルト作品を制作する「ふわもこの会」の作品展、稲田・林町内公民館長の模型展を新たに開催しました。また、小学校6年生作品展が中止となった9月、昨年度展示した千野圭子さん(青島)が展示会場を探しているとの情報が入り、急ぎよ展示・作品づくり体験会を開催した。		
	5月						五月人形展(※中止)			
	6月						太田克己版画・切り絵仲間展			
	7月						花フルド 作品展(ワグ-フルン)			
	8月						五十川進写真展			
	9月						水墨画クラブ作品展			
	10月						ケイコ花のアトリエ展			
	11月						TAKAO米寿展(青柳孝男)			
	12月						フォトクラブ写真写真展			
	1月						稲田隆・林栄司模型展			
	2月						松島中美術部作品展			
	3月						島内書道愛好家書道展			
さわやか健康体操教室	6月～3月	中止	スポーツ	女性	-	健康維持のための教室として、 ニュースポーツ、ストレッチ体操などを行う。	地区体協関係者と内容等調整	毎月1回、女性の健康づくり推進員OBを中心に開催し、コミュニティの受け皿としても機能していたが、今年度はコロナのため全日程を中止		
ソフトバレーボールリーグ	1月～2月	中止	地域事業 (体育)	成人	-	地域住民の交流と健康増進のため、 チームによるリーグ戦を行う。	地区体協関係者と内容等調整	島内体協主催事業として、2か月間にわたりリーグ戦が開かれ、毎年楽しみにしている選手も多いが、今年度はコロナのため全日程を中止する。		
図書視聴覚委員会	5月11日 (月) ～3月3日 (水)	8回	公民館委員会・各種会議等	その他	35	・お話し会の企画		定期的な本の読み聞かせを、委員主体により進められた。		
文化委員会	4月28日 (火) ～3月26日 (金)	11回	公民館委員会・各種会議等	その他	98	・ギャラリー「ピアッツァ」の企画、 作品搬入・搬出 ・ふれあいまつり協力		ギャラリー展示の企画・運営から、ふれあいまつり等への参画まで、委員主体により進められた。		
館報編集委員会	4月14日 (火) ～3月2日 (火)	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	95	・島内公民館報の企画、編集		館報の企画・編集について、委員主体により進められた。		
地区大運動会役員会議	7月13日 (月)	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	15	第67回地区大運動会の開催有無について検討	役員会(企画)、全体会議 (運営方法共有)、反省会	運動会実施有無について、住民主体で検討された。		
町内公民館長会	4月9日 (火) ～3月18日 (水)	10回	公民館委員会・各種会議等	その他	180	町内公民館活動の支援・協力、地区事業運営等について検討		概ね月1回集まり、町内公民館に関係する事業等について検討する。また、地区事業についても検討され、コロナ禍での町会活動についても議論がなされた。		
公民館報発行	奇数月発行	6回	地域事業 (その他)	その他	全戸配布	島内地区の情報などについて、住民の視点から発信		元号が令和になったことを受け、島内地区の公民館報を中心に「平成を振り返るシリーズ」を掲載する。館報に掲載された時と現在とでどのような変遷があるのか、今の住民は過去をどのように見ているのか等、編集段階から住民が住民へ伝える記事づくりができた。		
公民館だより	毎月	-	地域事業 (その他)	その他	全戸回覧	公民館事業の参加者募集・周知について情報発信		毎月公民館事業の周知に活用。市公式HPとリンクするように「二次元コード」をチラシへ掲載する。		
ホームページ	随時更新	年間	地域事業 (その他)	その他	年間	島内公民館の活動情報等について発信		毎月①公民館だより②ギャラリー展示の様子③公民館活動の様子について掲載する。		
利用サークルの育成・支援及び、地区関係諸団体の支援・連携	随時	-	地域事業 (その他)	その他	-	・貸館及び活動支援 ・関係諸団体の活動支援や連携		窓口及び利用者会議等で利用団体と、活動状況などについて情報交換を行う。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】

・地域で子どもを育てる仕組みづくり
中山小学校の指導方針のひとつである「地域で子どもを育てる」に倣い、公民館も学校と協働しコロナ禍ではあるが、手づくり教室（縄ない、しめ縄づくり指導）、手芸の指導、馬頭琴の演奏といった地域の人財を学習の場面に投入するCS事業を展開した。
また、令和2年度から明善中のCS運営委員会に参加したことで、中学生ボランティアが従来以上に地区行事に関わるようになった。子どもたちにとっては「地域行事への積極的な参加」、「地区住民との協働」、またそれを地区住民が評価することで学校側にとっては「負担軽減」、公民館にとっては「若い人材が地区行事へ参加することで地区行事の一層の盛り上がり」と三方よしの結果となった。

・高齢者の居場所づくり、仲間づくりの拠点
中山地区は市内でも高齢化率が高い地区である。事業や講座への参加者も高齢者が中心であるが、連続講座がきっかけとなり、その後参加者が中心となりサークル活動に発展するなどの好例がこれまでにいくつも見られ、公民館活動が高齢者の居場所づくり、生きがいつくりとして一役買っている。また、毎週公民館の一角を「公民館カフェ」として開放しており、こちらの取組みも高齢者の地区内における居場所づくりのひとつとして寄与している。

評価・反省等

【評価・反省等】

・新規に開始した講座による住民の居場所づくり
令和2年度はコロナ禍の一年間であったが、その中でも十分な感染対策を講じることで、実施可能なものを新たな講座として開始した。具体的には歴史講座、木工講座、ウクレレ講座であるが、この内、木工とウクレレについては、参加者が中心となり定期的なサークル活動に発展していく可能性が高いものである。定期的に公民館に通い、地区住民と同じ時間を過ごし、文化祭等での発表の場もあるなど、「参加者の居場所づくり」、「生きがいつくり」のための仕掛けができたものとする。また、日頃あまり公民館に足を運ばない方も、目的をもって講座に参加してくれており、そうした方からの新規講座のニーズの汲み取りの一助となっている。

・小・中学校との連携
令和2年度より明善中CS運営委員会に参加したことで、これまでの中山小学校、開成中学校に加え、新たな連携先が増えた。明善中CSとして、地区行事のボランティアとして若い人材が加わることで、長年実施し、謂わばややマンネリ化の進んだ行事についても、若い感性が入ったことで見どころが増したとの意見が寄せられた。今年度は作業ボランティアに加え、企画段階からも加わっていただき、一層行事を盛り上げていくよう、更に連携を進めていきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種 委員会 等・
	平和 和権	福祉 健康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	スポ ーツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数	2	3	1		3	4	1		1	4	2		4
延べ参加人数	45		108		150	211			25		380		701

	CS	食育
事業数	1	1
延べ参加人数		108

令和2年度 事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
高齢者健康のつどい	6月2日	中止	福祉健康	高齢者	0人	【内容】 高齢者対象で、健康相談や軽い体操、アトラクションを楽しみ、食事をして交流する。 【ねらい】 高齢者の健康づくり、親睦を図る。	【準備過程】 地区のボランティア団体と福祉ひろば、公民館とで打ち合わせを実施し、開催内容を決定 【共催団体等】 白ゆり会、福祉ひろば	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 今後も地域高齢者を楽しんでいたけような内容になるよう関係団体と意見交換し充実させていきたい。		
町会対抗体育大会	7月5日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ソフトバレーボール、卓球を町会対抗で行う。(軟式野球、ゲートボール、マレットゴルフの各種屋外競技は雨天のため中止) 【ねらい】 住民の健康増進、親睦を図る。	【準備過程】 公民館体育委員が中心となり、会議で開催内容を決定し、各町会ごと種目別に選手を集める。 【共催団体等】 中山地区町会連合会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 各町会の人口が違うだけに「町会対抗」として継続していくことが年々難しくなっている。開催趣旨に沿った形で、多くの地区住民が気軽に参加し、健康増進に繋がるような方法について継続して検討していく必要がある。		
歴史講座	7月 8日 7月15日 7月22日	3回	地域文化	成人	60名	【事業内容】 地域の歴史家を講師として招き、縄文時代から第2次大戦期までの中山の歴史の学習講座を行う。都合で参加できない方のために、固定カメラで講義の様子を記録して後日配布するなど、コロナ禍で学習機会が失われない工夫を講じた。 【ねらい】 地区内には名所、旧跡が多く、歴史講座のニーズはあった。地域講師により解説いただくことで、自分の周りの歴史を再確認してもらうことを狙った。	【準備過程】 講義の内容について地域講師と打合せを実施した。	【評価と反省】 平日日中の開催につき参加者は高齢者が中心であったが、各回3密を図りながらも用意した席が埋まるほど好評であった。また定点カメラで録画したことも奏功し、多くの方に視聴してもらえた。 【今後の方針等】 縄文時代からやや駆け足の解説となってしまうため、今後は時代を絞っての講義も必要と考える。		
中山地区平和式典	9月4日	1回	人権平和	成人	30人	【事業内容】 戦没者を悼み、平和の尊さについて考え、戦争のない明るく住みよい明日の郷土づくりを目指し、開催するもの	【共催団体等】 主催は中山地区町会連合会。松本市遺族会中山支部、中山地区人権啓発推進協議会、中山公民館の3者が共催 中山公民館は講演会を担当し、講師手配等を行った。	【評価と反省】 本式典により出来た縁で、年度末に中山地区人権啓発推進協議会として満蒙開拓平和記念館の視察研修に繋がった。 【今後の方針】 地区内の平和行政、人権啓発教育のための大事な取り組み事業であり、今後も継続していくことを検討したい。		
第45回東南ブロック球技大会	8月30日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 バレー、バトミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の6競技による6地区対抗 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 各地区の交流の場として実施できている。運営面での人員不足等課題があるため、各地区協力をしていきたい。 【今後の方針】 東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。		
大人の散歩in白馬五竜(ウォーキング)	9月29日	1回	福祉健康	成人	20人	【事業内容】 白馬五竜の高山植物園を散策 【ねらい】 健康づくりの推進及び地域住民同士の交流	【準備過程】 白馬五竜担当者とコース設定等を行った。 【共催団体】 福祉ひろばと共催。同団体が行なう体力アップ教室の特別出張版という位置付け	【評価と反省】 コロナ対策のため密を避け、例年の半分程度の20名を定員とした。怪我や事故等なく体を動かすことが出来た。 【今後の方針】 参加者の体力増強、運動習慣の定着のため、今後も同様のウォーキング事業を企画します。		
第63回市民体育大会秋季大会	10月11日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 市民体育大会に際し中山地区団を結成し、野球、男女ゲートボール、卓球、ソフトバレーボール、マレットゴルフの種目の試合に出場する。 【ねらい】 地区内における団結力、交流の促進を図る。	【準備過程】 公民館体育委員が中心となり、選手団の結団式を開催した。(※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から大会自体が中止となったため、本番の応援、解団式は未実施) 【共催団体等】 町会連合会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 地区内にて選手を確保して積極的に参加する体制を継続したい。		
第70回中山地区大運動会	10月18日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 中山小学校グラウンドで開催。子どもから高齢者までが一堂に会す地区最大のイベント 【ねらい】 スポーツを通じて健康増進を図りながら、地区住民が相互の親睦を深めることにより地域づくりの基礎とする。	【準備過程】 公民館体育委員が中心となり、実行委員会を組織。企画、選手集め、運営を行う。 【共催団体等】 町会連合会を含め地区の各種団体と共催	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 コロナ禍で本年度の開催は中止としたが、地域にとってさらに価値のある事業となるように検討を重ね継続していきたい。		
第44回中山地区文化祭	10月18日 ～11月3日	1回	地域事業 (文化)	成人	380人	【事業内容】 例年は中山小学校の体育館や駐車場で開催、ステージ発表、お楽しみひろばを行っていたが、コロナ禍で密を避けるため、令和2年度は中山公民館を会場とし、期間を延長し展示部門のみ実施 【ねらい】 文化の向上を図り、世代を超えた住民相互の触れ合いの場とする。	【準備過程】 公民館文化委員と町内公民館長会が実行委員会を組織し、企画、運営	【評価と反省】 コロナ禍で展示部門のみを実施したが、例年2日間の開催期間しかないところ、今年度は展示期間を約2週間とした。結果、普段文化祭へ足を運んだことのない人達も含め、多くの地区住民に作品を観覧いただき、出展者の満足にも繋がった。 【今後の方針等】 今後も地域文化発展を担う一事業として継続させていきたい。		
第9回泉小太郎祭り	11月1日	中止	地域事業 (文化)	成人	0人	【事業内容】 弘法山古墳公園でのセレモニー、文化祭ステージでの中山小4年生による演劇 【ねらい】 地区ゆかりの民話の内容や思いを地区全体で共有し、後世へ伝承する。	【準備過程】 町会連合会、町内公民館長会、文化委員会、地区内有識者により実行委員会を組織し、検討、準備、運営を行う。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。しかし、学習の成果として小学生に泉小太郎の絵を描いていただき、それを公民館に展示することで、多くの方に地域文化を知っていただくことが出来た。 【今後の方針等】 今後も中山小4年生に関わってもらえるように、実行委員会と連携し、地域に根ざした催しになっていくよう公民館として支援していきたい。		

令和2年度 事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
マレットゴルフ交流会	11月下旬	中止	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 東南部6地区合同でマレットゴルフ大会を開催 【ねらい】 他地区との交流を深める。	【共催団体等】 寿、寿台、内田、松原、芳川の各公民館と共催	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 他地区との交流、健康増進に繋がる取組みであるため、今後も継続したい。		
なかやま史跡ウォーキング2020	12月5日	1回	趣味教養	成人	31人	【事業内容】 地原城址、中山霊園古墳群など、地域の旧所・名跡を巡るウォーキング事業 【ねらい】 参加者の健康増進、地区外の方に中山地区の魅力を知ってもらうために実施しているもの	【準備過程】 文化財課埋蔵文化財担当、史跡整備担当、考古博物館学芸員と事前の打合せを実施 【共催団体等】 中山地区地域づくり協議会地域活性化部会と共催	【評価と反省】 コロナ禍での実施につき、屋外事業ではあるが感染対策のため参加人数を絞った。31人の参加者中地区外からの参加者は17人おり、中山地区の魅力を知っていただくいい機会となった。 【今後の方針】 地区外参加者との交流により、今後は地区外の旧所・名跡に中山地区住民が訪れるなど相互の活性化に繋げるため、今後も事業を継続していく。		
第39回中山小学校手づくり教室	12月18日	1回	地域文化	青少年	150人	【事業内容】 地域で冬季に行われている縄ない、しめ縄づくりを地域住民が講師となって、中山小全年の児童に教える 【ねらい】 伝統文化の伝承と世代間の交流を図る。	【準備過程】 子ども会育成会が中心となり講師の手配、調整、小学校との打ち合わせを行った。 【共催団体等】 中山小学校、福祉ひろば	【評価と反省】 本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、地域講師（地区高齢者）を最小限に絞り、子ども会育成会の理事を講師として実施した。また、1年生から縄ないの経験のある中山小5、6年生対象に事前講習会を行い、講師の担い手の確保に努めた。 【今後の方針等】 引き続き人材育成を進めながら、継続させていきたい。		
木工講座	11月17日 11月24日 12月1日 12月8日 以降月2回ずつ実施	10回	趣味教養	成人	100人	【事業内容】 木の小物づくりからスタートして木工のスキルを磨き、家庭内の簡単な修繕や趣味のひとつとしてコロナ禍でのおうち時間を充実させることを目的に企画したもの 【ねらい】 コロナ禍で家に引きこもってしまい、無為な時間を過ごす懸念があったことから、趣味として木工に携わり、家庭内の生きがいのひとつにしてもらうことを狙いとした。	【準備過程】 初回～2回目までは全員共通でカッティングボードを製作。その後は力量に応じて、製作するものをアドバンスするなど、館長と二人三脚で事業を実施した。	【評価と反省】 当初の狙い通り、コロナ禍でも身の回りで使うものを作ることで地区住民の満足感に繋がった。 【今後の方針等】 参加者は木工が趣味のひとつとして定着しつつあるため、館内での常設展示や地区文化祭等で展示でより多くの人に見て興味をもっていただき、参加者増や地区内でサークルとなるような取り組みに繋げる。		
中山映画会	11月21日 11月22日 11月23日	3回	その他	その他	25人	【事業内容】 公民館の視聴覚室で映画鑑賞会を実施 【ねらい】 住民が気軽に集まれる場所としての認識を図る。	【準備過程】 公民館図書視聴覚委員会が上映するものから周知まですべて企画、運営した。	【評価と反省】 日頃なかなか来館しないような高齢者が、孫を連れて公民館を訪れたり、世代間交流また家族交流をする良い機会になっている。上映する映画作品により来場者の増減はあるものの、地域住民の集い、居場所づくりを促進するため、今後も継続したい。		
介護予防講座	12月17日 2月22日	1回	福祉健康	高齢者	45人	【事業内容】 地区内の少子高齢化が進む中、理学療法士、健康運動指導士より簡単にできる運動等を受け介護予防に役立てるもの 【ねらい】 高齢者の健康増進および身体機能の維持を目的とする。	【準備過程】 中央南包括支援センター職員と打合せをした。	【評価と反省】 中山地区は市内でも特に高齢化率が高く、事前の周知も奏功し多くの方に聴講していただいた。 【今後の展開】 包括支援センターとは高齢者の相談会等で館を使用いただいている。今回は簡単な運動により身体機能を維持し、高齢となっても介護の必要のない身体づくりを目指すものであり、地区住民の関心の高い内容でもあったため。今後もこうした講座の継続実施を検討したい。		
ウクレレ講座	1月20日 2月3日 以降月2回（第1週と第3週）に実施	4回	趣味教養	成人	40人	【事業内容】 気軽にはじめられる趣味のひとつとしてウクレレ講座を実施 【ねらい】 コロナ禍で家に引きこもってしまい、無為な時間を過ごす懸念があったことから、趣味として音楽に携わり、家庭内の生きがいのひとつにしてもらうことを狙いとした。	【準備過程】 初心者向け講座であり、楽曲等は公民館で選定	【評価と反省】 当初の狙い通り、コロナ禍でのおうち時間の過ごし方のひとつとして、興味をもって参加してくれている。 【今後の方針等】 地区文化祭やふれあい健康教室などを発表の場とすることで、更に参加者のやりがいが増進するような仕掛けを講じる。		
人権視察研修	3月4日	1回	人権平和	成人	15人	【事業内容】 人権啓発推進協議会会員を対象にした視察研修。今年度は阿智村の満蒙開拓平和記念館の見学として企画した。	【共催団体等】 中山地区人権啓発推進協議会が主催	【評価と反省】 先に実施した中山地区平和式典で出来た縁により視察先を阿智村の満蒙開拓平和記念館に選定した。 【今後の方針等】 施設を視察見学することにより改めて戦争の愚かしさ、人権尊重について多くのことを学べる機会であるため今後も継続していきたい。		
CS事業クラブ活動支援	5月～10月 全7回	中止	地域文化	その他	0人	【事業内容】 中山小学校のクラブ活動支援として地域講師に依頼する。 【ねらい】 地域と学校、家庭と積極的に連携して、一体となって子どもを育てる。	【準備過程】 中山小よりニーズをくみ取り、公民館長がコーディネーターとして地区住民を講師として招き実施しているもの	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 今年度や新型コロナウイルス感染防止のため中止としたが、次年度以降の実施に際し、これまでのような講師謝礼という財政的支援のみならず、地域とのつながりを深められるような内容を引き続き検討していきたい。	○	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
ワイワイ子育て	5月～1月	6回	子育て	家庭教育	108人	【事業内容】 体操、読み聞かせ等の6回の講座を通じて、親同士、子ども同士が楽しみながらふれあう。 【ねらい】 親、子ども同士の交流、地域とのつながりを図る。	【準備過程】 社協中山支会、福祉ひろばとともに企画した。 【共催団体等】 各回ごとに地区内各種団体におやつ作りを依頼。	【評価と反省】 少子化の進行もあり参加者は毎年減少傾向にあるが、参加者同士、地域との交流を促すことはできている。 ママ友などのネットワークから、地区外からも参加を希望する方がおり、積極的に受け入れた。 【今後の方針等】 地域における子育て支援として今後も継続していきたい。		○
父ちゃんの出番ですよ	8月18日 9月18日 10月20日	3回	趣味教養	高齢者	40人	【ねらい】 ふれあい健康教室等の福祉ひろば事業への出席率が低い、男性をターゲットして運動習慣の定着を図るもの	【共催団体等】 福祉ひろば、社協中山支会と共催	【評価と反省】 より多くの男性が気軽に集まれる場に、健康増進を図れるよう講座を企画。地区住民同士の交流を図った。		
公民館専門委員会	通年	23回	公民館委員会・各種会議等	成人	180人	【事業内容】 公民館事業の企画・運営のため開催 ①運営委員会②館報編集委員会③体育委員会④文化委員会⑤図書視聴覚委員会		【今後の方針等】 引き続き委員会の主体的な活動を促し、地域の活性化を図っていきたい。		
地域づくり協議会活動支援	通年	35回	公民館委員会・各種会議等	成人	398人	【事業内容】 地域づくり協議会の活動支援、連携強化を図る。 ①運営委員会②地域活性化部会③防災環境保全対策部会④福祉対策部会		【今後の方針等】 さらに連携を強め、地域づくりを進めていきたい。		
町内公民館長会活動支援	通年	5回	公民館委員会・各種会議等	成人	45人	【事業内容】 町内公民館長会の活動支援、連携強化を図る。		【今後の方針等】 さらに連携を強め、地域づくりを進めていきたい。		
子ども会育成会支援	通年	9回	公民館委員会・各種会議等	成人	78人	【事業内容】 子ども会育成会の活動支援、連携強化を図る。		【今後の方針等】 さらに連携を強め、地域づくりを進めていきたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

- 1 芸術文化祭・福祉ひろばまつり
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催方法を見直し、公民館最大のイベントである芸術文化祭を実施できるよう工夫し、新たな試みを行った。
- 2 講座開催などによる住民の学びの機会とつながりの創出
様々な学びの機会と住民同士のつながりや交流の創出に努めた。
- 3 中央公民館重点施策・推進施策について
多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業の一環として、住民が身近な地域でつながり、子どもや若者、高齢者等が地域で役割を持つことで楽しみや生きがいを感じるとともに、地域参画と人材育成（担い手づくり）を促進した。

評価・反省等

- 1 芸術文化祭・福祉ひろばまつり
新型コロナウイルス感染拡大防止の為、屋内のステージ発表は中止し、作品展示発表会のみを実施した。来場者こそ昨年度より減少したものの、作品を展示した個人・団体にとっては年に一度の展示発表の機会となった。また、地元小中学校ブラスバンド部、吹奏楽部の各大会が中止となってしまったことから、活動成果の発表の機会を創出するため、屋外コンサート「あおぞら演奏会」を初めての試みで実施した。子どもたちが生き生きと演奏する姿を保護者をはじめ来場者にも見ていただくことができた。
- 2 講座開催などによる住民の学びの機会とつながりの創出
コロナ禍により上半期（4月9月）の事業は中止せざるを得ない状況であったが、下半期（10月～3月）は感染状況に注視しながら講座等実施した。講座で学習した場所を実際に見学することで、より深く学ぶことができ、参加者同士の交流にもつながった。次年度も継続したい。
- 3 中央公民館重点施策・推進施策について
地元小学生向けに野外体験学習を実施する団体を支援し、参加した子供たちと運営ボランティア（保護者、地元有志の高齢者）の世代間交流の促進に努めた。子どもたちは昔ながらの知恵を教えてもらったり、普段できない経験をすることができた。また、地域の伝統や行事のいわれを学ぶこともでき、郷土愛を育む良い機会となった。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会等
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	スポ ーツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数	1		6			3			1	6	2	1	6
延べ参加人数	200		172			73					270		351

	C S	食 育
事業数	1	
延べ参加人数		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
塩の道を歩き歴史を学ぶ講座	5月10日（日）	1回	趣味教養	成人	0人	【内容】 ・地区住民を対象に小谷村の千国街道（塩の道）をガイドの説明を聞きながら、歴史と自然を感じながら歩く。 【ねらい】 ・R1参加人数：7人 ・地区住民の教養の向上、健康の増進、相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・地区内10町会対抗で、卓球、ゲートボール、ソフトバレーボールの大会を行う。 【ねらい】 ・住民が一体となり、体力の向上と相互の親睦を図る。	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染状況に注視しながら今後も継続して開催を検討する。		
町会対抗卓球、ゲートボール、ソフトバレーボール大会	5月24日（日）	1回	地域事業（体育）	成人	0人	【内容】 ・地区内10町会対抗で、卓球、ゲートボール、ソフトバレーボールの大会を行う。 【ねらい】 ・R1参加人数240人 ・住民が一体となり、体力の向上と相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・体育協会三役会（体育委員会）、体育協会理事会で内容を検討した。 ・町内公民館長に協力を依頼した。 【共催団体等】 ・島立地区体育協会（体育委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事であり、感染状況を考慮しながら今後も継続して開催する。 ・コロナ対策等運営上の課題は、事前の会議の中で昨年、一昨年の振り返りを行い見直していく。		
救急救命講習会	5月16日（土）	1回	その他	成人	0人	【内容】 ・町会役員、町内公民館役員、体育協会役員を対象に普通救命講習を行う。 【ねらい】 ・R1参加人数：13人 ・地区のスポーツ大会や公民館事業実施中等における、緊急時人命救助の初動対応力の向上を目的に行うもの	【準備過程】 ・体育協会三役会（体育委員会）、体育協会理事会で内容を検討した。 【共催団体等】 ・島立地区体育協会（体育委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・いざという時のために定期的に手順を確認することが大切であるため、今後も継続して開催する。 ・各町会や団体で行っている講習会との共同開催も検討し、顔合わせや情報交換の場とすることも検討したい。		
トレッキング	7月4日（日）	1回	健康福祉	成人	0人	【内容】 ・地区住民を対象に奈川（野麦峠）でトレッキングを行う。 【ねらい】 ・R1参加人数：天候不良中止の為0人 ・自然と親しみながら楽しく野山を散策し、日頃の疲れを癒すことで、住民の健康づくりを促進する。	【準備過程】 ・体育協会三役会（体育委員会）、体育協会理事会で内容を検討した。 【共催団体等】 ・島立地区体育協会（体育委員会）	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も継続して開催する。		
町会対抗野球・マレットゴルフ大会	7月19日（日）	1回	地域事業（体育）	成人	0人	【内容】 ・地区内10町会対抗で、野球、マレットゴルフの大会を行う。 【ねらい】 ・R1年度参加人数：152人 ・住民が一体となり、体力の向上と相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・体育協会三役会（体育委員会）、体育協会理事会で内容を検討した。 ・町内公民館長に協力を依頼した。 【共催団体等】 ・島立地区体育協会（体育委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ・町会対抗方式により生じる課題（世帯数、人口の差により生じる課題）や運営上の細かな反省点（体協理事の運営体制、選手と審判の兼任により人手不足等）がある。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も継続して開催する。 ・コロナ対策等運営上の課題は、事前の会議の中で昨年、一昨年の振り返りを行い見直していく。		
河西部球技大会	8月30日（日）	1回	地域事業（体育）	成人	0人	【内容】 ・松本市長杯争奪球技大会予選を兼ねて、河西部地区対抗で軟式野球・ママさんバレー・卓球の大会を行う。 【ねらい】 ・R1年度参加人数：150人 ・河西部4地区住民の体力向上、健康の増進、スポーツの振興、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・2回の4地区合同打ち合わせ会議にて、内容を検討した。 【共催団体等】 ・河西部4地区公民館 ・河西部4地区体育協会（体育委員会）	【評価と反省】 ・地区を越えての親睦が図られ、スポーツ振興においても役割を果たせた。 ・大会全体を通して、また、各競技毎にいくつが反省点があった。 【今後の方針】 ・4地区のスポーツを通じた親睦という点に重点を置いて、コロナ対策を検討しながら、毎年の恒例行事として継続して開催する。		
町会対抗ソフトボール大会	9月13日（日）	1回	地域事業（体育）	成人	0人	【内容】 ・地区内10町会対抗で、ソフトボールの大会を行う。 【ねらい】 ・R1年度参加人数117人 ・住民が一体となり、体力の向上と相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・体育協会三役会（体育委員会）、体育協会理事会で内容を検討した。 ・町内公民館長に協力を依頼した。 【共催団体等】 ・島立地区体育協会（体育委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ・町会対抗方式により生じる課題（世帯数、人口の差により生じる課題）や運営上の細かな反省点（体協理事の運営体制、選手と審判の兼任により人手不足等）がある。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も継続して開催する。 ・コロナ対策等運営上の課題は、事前の会議の中で昨年の振り返りを行い見直していく。		
ミニミニ運動会	10月15日（木）	1回	子育て	青少年	40人	【内容】 ・未就園児の子どもとその親を対象に軽度な運動を取り入れた運動会を実施した。 【ねらい】 ・参加者同士の親睦と交流を図り、子育て世代の情報交換の場とする。	【共催団体等】 ・福祉ひろば ・つどいの広場	【評価と反省】 ・会場を従来の島立児童センター遊戯室から島立体育館に変更して三密を回避しながら実施した。参加した親子はのびのびと運動を楽しんだ。 【今後の方針】 ・感染状況に注視しながら継続実施できるように検討する。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
島立スポーツフェスティバル	10月18日(日)	1回	地域事業(体育)	成人	0人	【内容】 ・地区住民を対象に町会対抗で運動会形式の各種競技、抽選会、ニュースポーツ体験などを行った。 R1年度参加人数：420人 【ねらい】 ・スポーツを通して地区住民の親睦、健康増進と共に、地域づくりの推進を図る。	【準備過程】 ・体育協会三役会(体育委員会)、体育協会理事会で内容を検討した。 ・町内公民館長に協力を依頼した。 【共催団体等】 ・島立地区体育協会(体育委員会) ・島立地区町内公民館長会(企画委員会)	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・一昨年の反省を活かした見直しを行い、地区の大イベントとして誰もが参加して楽しめる内容にできるよう引き続き検討していく。		
島立地区作品展示発表会(島立地区芸術文化祭・島立地区福祉ひろばまつり)	11月7日(土) 11月8日(日)	1回	地域事業(文化)	その他	170人	【内容】 ・地区文化活動者の発表(ステージ発表、展示発表)、公民館活動功労者表彰、各種体験などを行う。 R1年度参加人数：450人 【ねらい】 ・地区文化活動者や福祉ひろば利用者の発表の場、また住民が一堂に集う場を提供することで、活動者がより生きがいを持って文化活動を行なうこと、その他の参加者が身近な文化・芸能に触れ、新たな文化活動の担い手となること、また住民同士の交流、親睦を深めることを目的に開催する。	【準備過程】 ・地区内関係団体と内容を検討した。 ・また、福祉ひろばまつりと共催のため、福祉ひろばと内容を検討した。 【共催団体等】 ・島立地区町内公民館長会(企画委員会) ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示会場を従来の公民館から体育館へ変更し、ステージ発表を中止し、三密を回避できるレイアウトで作品展示発表のみを行った。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も福祉ひろばと協力しながら継続して開催する。 ・感染症対策を講じながらより良い文化祭となるよう内容を検討する。		
あおぞら演奏会	11月7日(土)	1回	地域事業(文化)	青少年	100人	【内容】 ・島立小ブラスバンド部、高綱中・松島中両吹奏楽部による活動成果を発表するための屋外コンサート。 【ねらい】 ・コロナ禍で吹奏楽の各大会が中止となる中、活動発表の場を設けることで児童生徒の活躍の場を創出するとともに、地域住民との交流を図る。	【準備過程】 ・地区内団体と実行委員会を組織し、内容を検討した。 ・また、福祉ひろばまつりと共催のため、福祉ひろばと内容を検討した。 【共催団体等】 ・島立地区町内公民館長会(企画委員会) ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・初めての試みであったが、保護者をはじめ地域住民も多くの参加があった。 ・児童生徒も生き生きと発表されている姿が印象的であった。 【今後の方針】 ・来年度も感染症対策を講じながら内容の見直しも含め実施を検討していきたい。		
あなたの知らない松本城と世界遺産講座	11月16日(月) 11月18日(水) 11月20日(金) 11月27日(金)	4回	趣味教養	成人	55人	【内容】 ・松本城や城下町の歴史や構造、世界遺産登録に向けた取り組みを学ぶ。 【ねらい】 ・講座の最終回には実際に松本城を見学し、学びを深めるとともに参加者同士の交流を図る。	【共催団体等】 ・松本城管理事務所	【評価と反省】 ・松本城の歴史や構造を様々な角度から学び、新たな発見につながった。最終回の松本城見学も好評であった。 【今後の方針】 ・次年度は博物館や美術館などと連携した講座を検討したい。		
歴代市長と松本市の発展	11月29日(日)	1回	趣味教養	成人	18人	【内容】 ・歴代市長の交代とともに松本市がどのように発展してきたか、島立村が松本市へ合併した当時の状況等を学ぶ。 【ねらい】 ・島立村の歴史や松本市政への関心を持ってもらう。		【評価と反省】 ・歴代市長の実績や松本市の変遷を詳しく知ることができ、参加者も興味を示していた。島立村が合併した当時の状況も学ぶことができた。 【今後の方針】 ・島立地区に関係する教養講座を引き続き検討していく。		
クリスマス会	12月18日(金)	1回	子育て	青少年	37人	【内容】 ・クリスマスの時期に合わせて、主に未就園児の子どもとその親を対象にコンサートを中心としたイベントを開催した。 R1年度参加人数：100人 【ねらい】 ・参加した親子にクリスマスにちなんだコンサートなどを楽しんでもらう。	【共催団体等】 ・福祉ひろば ・つどいの広場	【評価と反省】 ・狙い通り事業実施できた。 【今後の方針】 ・感染状況をみながら継続開催する。		
島内・島立ふれ愛コンサート	2月27日(土)	1回	人権平和	成人	200人	【内容】 ・島内・島立の2地区合同で人権をテーマとしたコンサートを行う。 【ねらい】 ・人権問題の解決に向けた取り組みが重要性を増している中、誰もが幸せな日々を過ごせるよう福祉のまちづくりに精力的な活動を展開している。それに呼応してすべての人の人権が尊重され、誰もが明るく幸せに暮らせる地域づくりを進めることを目的に開催する。	【準備過程】 ・両地区の人権啓発推進協議会で実行委員会を組織し、内容を検討した。 【共催団体等】 ・島内・島立ふれ愛コンサート実行委員会	【評価と反省】 ・感染症対策を徹底するために人数制限や入退場の管理を行い、内容も見直しながら実施することができた。地元小中学校のブラスバンド部、吹奏楽部の数少ない発表の場となり、参加者もコンサートを楽しんだ。 【今後の方針】 ・感染状況をみながら継続開催する。		
島立公民館利用者懇談会	2月9日(火)	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	35人	【内容】 ・島立公民館利用団体の代表者を対象に懇談会を行う。 【ねらい】 ・利用者同士の意見交換(顔合わせ)やさらなる利用状況の改善を図る。		【評価と反省】 ・新型コロナ感染拡大防止の観点から書面会議とした。 【今後の方針】 ・継続開催する。昨年度から始めた懇談会が形骸化しないよう、こちらからの情報提供(地区のことなど)や利用者同士の交流について工夫しながら開催していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
バドミントン大会	3月7日(日)	1回	地域事業 (体育)	成人		【内容】 ・地区内住民対象のバドミントン大会を行う。 【ねらい】 ・町会、世代を越えた親睦と日頃の運動不足解消を図る。初心者や未経験者が気軽に参加し、楽しんでもらえる大会とする。	【準備過程】 ・体育協会三役会(体育委員会)、体育協会理事会で内容を検討した。 【共催団体等】 ・島立地区体育協会(体育委員会)	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続して開催する。		
大きくなったね会	3月5日(金)	1回	子育て	青少年	40人	【内容】 ・来年度から保育園に入園する子どもを含めたつどいの広場利用者を対象にコンサートを中心としたイベントを開催する。 【ねらい】 ・参加した親子にコンサートなどを楽しんでもらうとともに、皆で今年度の子どもたちの成長を祝う。	【共催団体等】 ・福祉ひろば ・つどいの広場	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため人数制限を行った開催となった。 ・参加した親子はコンサートを楽しんだ。 【今後の方針】 ・継続して開催する。		
親子フィットネス	5月～3月	15回	子育て	その他	0人	【内容】 ・主に地区住民を対象に親子で仲間と一緒に運動するフィットネスを行う。 R1年度参加人数：402人 【ねらい】 ・親子で仲間と一緒に運動する機会を創出し、地区住民の健康増進と交流を図る。	【共催団体等】 ・つどいの広場	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として感染症対策を講じながら開催を検討する。 ・子どもにケガが無いように会場の整備を注意深く行う。 ・地区内の未就園児親子の居場所やつながりづくりの事業をさらに検討する。		
コミュニティスクール事業	通年		子育て	青少年	0人	【内容】 ・各学校のCS運営委員会に参画、予算執行管理、クラブ活動等講師紹介などを行う。 【ねらい】 ・地域全体で子どもを育てる。		【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止により、運営委員会も中止や書面会議が多かった。 【今後の方針】 ・地域と学校の双方の交流、子どもの主体的なかわりを意識して取り組んでいく。 ・現在の活動の継続と見直しを行う。	○	
地域づくりグループ「～豊かな自然に恵まれた地域へ～自然体験学習」活動支援	11月22日(日) 3月24日(水)	2回	子育て	青少年	55人	【内容】 ・地区内の小学生及びその保護者を対象に行う自然体験学習を行う「自然体験学習チーム」の活動を支援した。 【ねらい】 ・児童の自然への畏敬の念を強め、思いやりの心を醸成する。	【準備過程】 ・専門講師を交えて、打合せを行い内容を検討した。 【共催団体等】 ・子ども会育成会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地区外に出ての体験学習は行わず、地区内の伝統行事や昔ながらの遊びを実践した。 ・運営側の人数確保、完全ボランティアなど、活動の継続性について検討が必要。 ・活動のさらなる周知方法について検討が必要。 【今後の方針】 ・今後も継続して活動予定であるため、引き続き支援を行う。 ・運営側の人数確保については、子ども会育成会、PTA、小中学校、大学、町会との連携などを視野に検討する。		
企画委員会(町内公民館長会)	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	118人	【内容】 ・地区内の意見、要望を聴取しながら、公民館事業を企画、運営した。 ・その他、公民館事業推進に必要な研究、提言を行った。 ・各種研修を行った。 【ねらい】 ・地区の公民館活動の一層の充実を図る。		【評価と反省】 ・委員が主体的に活動を行った。 ・館長同士の有意義な情報交換の機会となった。 ・例年、企画委員会として公民館講座などの事業の企画などにあまり関わっていない面があったが、少しでも企画段階から関わることができるよう検討した。 【今後の方針】 ・引き続き地区の公民館活動のより一層の充実を図る。 ・引き続き、各町内公民館で会議を開催する。 ・町内公民館長(副館長も含む)の中での研修の充実を図る。		
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	111人	【内容・ねらい】 ・公民館報の編集ならびに編集に必要な取材等を行う。		【評価と反省】 ・委員が主体的に活動を行った。 【今後の方針】 ・内容がマンネリ化しないように努める。 ・委員のモチベーションにもつなげるため、より多くの地域住民に館報を読んでもらうためのPR方法を引き続き委員とともに検討する。		
体育委員会(体育協会三役会)	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	55人	【内容】 ・各種体育事業を企画及び運営した。 ・芸術文化祭の運営に携わった。 【ねらい】 ・地区の体育・健康の向上を図る。		【評価と反省】 ・委員が主体的に活動を行った。 【今後の方針】 ・引き続き住民が楽しめる体育事業を検討する。 ・体協三役と各町会体協理事がより一体的に事業を運営できるよう検討する。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
文化図書委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	26人	【内容】 ・芸術文化祭の企画及び運営に携わった。 ・島立公民館図書コーナーの図書の入替え作業を行った。 【ねらい】 ・地域文化の向上を図り、各種文化活動を行う。また、地域住民の知識の向上を図り、書籍ほか各視聴覚手法を活用した事業を行う。		【評価と反省】 ・主な活動となっている図書の入れ替え作業と芸術文化祭の企画運営について予定通り行うことができた。 ・一方で参加できる委員が例年固定化している。また、委員会独自の新たな活動を模索したが、実際の取り組みにはつなげることができなかった。 【今後の方針】 ・活動の継続、見直しと合わせて委員会独自の活動について引き続き模索する。 ・委員の選出方法についても検討する。		
女性委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	6人	【内容】 ・芸術文化祭の企画及び運営に携わる。 【ねらい】 ・女性の地位向上に努めその活動を通じて地区住民の啓発に努める。		【評価と反省】 ・新型コロナウイルスの影響もあり、会議をなかなか開催できず、思った通りの委員会とならなかった。 【今後の方針】 ・委員会のねらいを現状に合わせて見直す。 ・委員会での学びをより地域に還元できるよう検討する。		
島立地域だよりの発行	通年	12回	地域事業（その他）	成人		【内容】 ・公民館だより、福祉ひろばだより、体協だよりを統合した島立地域だよりを毎月発行し、地区内全戸配布した。 【ねらい】 ・地域住民が公民館、福祉ひろば他、地域の催しや情報を得る。	【準備過程】 ・福祉ひろば、体育協会と内容について相談の上、決定した。	【評価と反省】 ・見やすい紙面づくりを心がけ、ホームページでも引き続き公開しているが、どのくらいの住民が、どこまで読んでいるのかが不透明。 【今後の方針】 ・紙面の見直しなどにより見やすい紙面づくりを心がけ、地区内の組織団体等と連携しながら多種多様な情報を掲載し、さらなる利便性の向上を図る。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針】

1 新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分配慮した形で、公民館事業への参加者の固定化を改善し、より多くの住民が参加できるような魅力ある事業の企画・運営を行う。

2 「地域の子どもは地域で育てる」を目標に、地区住民や関係機関（小学校、中学校、大学、子ども会育成会）と連携・共同し、松本版コミュニティスクール事業の推進を中心に、子ども達の地域に対する愛着形成を図る。

3 子どもからお年寄りまで幅広い年代の住民対象に、地域の歴史や文化への興味・関心を高めるため、「新村文化財保存会」や「あたらしの郷協議会」と連携を図り、講座等の事業を展開していく。

【重点的に取り組んだ事項】

1 「ハンギングバスケット講座」、「懐かしの映像で振り返る新村」などの新しい講座を企画・開催

公民館講座への新しい参加者の掘り出しを目的に、今年度新しく複数の講座を企画・開催した。新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止を余儀なくされた講座（スマホレベルアップ講座）もあった。

2 松本大学と連携を図り「公民館寺子屋」を開催

毎年夏休みの小学生を対象に開催されている「公民館寺子屋」に、今年度初めて松本大学教育学部の学生3名が講師として参加してくれた。学習指導だけではなく、学生主導でレクリエーションの企画を持ち込んでくれた。

3 「まつもと文化遺産」の認定、町歩きイベント等を開催

地区内にある文化財群を広く地区内外の住民に知ってもらうため、市が推進する「まつもと文化遺産」認定制度へ申請を行った（3月25日認定）。それに関連して、地区内の文化財に興味・関心を持ってもらえるように、町歩きイベント（新の里ウォークラリー2020、北新歴史探訪）を開催。

評価・反省等

1 コロナ禍での公民館講座の企画には大変苦慮した。参加者の掘り出しを目的に新しく講座をいくつか企画したが、思うように参加者集めが出来なかった。例年開催している「ものぐさ大学」が主催する事業（おでかけウォーキングや美術館巡り等）は、外出機会が少なくなってしまった住民の良い気分転換となる事業となり、コロナ禍であったが毎回多くの住民が参加してくれた。

2 今年度初めて大学側に依頼し、講師として学生の参加が実現した。教育学部に在籍する学生ということもあり、親切丁寧な学習指導に加え、子ども達が興味を抱くレクリエーション（エコバック等の工作）を企画してくれた。参加してくれた子ども達の反応も良く、翌年度も参加したいという声が多く挙がった。来年度は夏休みだけではなく、春休み期間中にも寺子屋のような事業を企画したい。

3 来年度は地域学習テキスト「ふるさと新村（仮称）」を制作する予定となっているため、学習テキストを積極的に活用して、特に小学生のお子さんを持つ親子世代が参加できるような学習講座等を関係団体と企画していきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館各種委員会等
	平和人権	福祉健康	子育て	環境	文化地域	教養趣味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	2	4	2	2	7	10	3	1	2	4	2	7	9
延べ参加人数	317			16	174	181			110			212	356

	C S	食 育
事業数	1	3
延べ参加人数		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
町会対抗球技大会（中止）	5月17日	中止	地域事業（体育）	その他	0人	【事業内容】 町会対抗で球技大会を実施する。 ＜種目＞ ソフトボール・ソフトバレーボール 【ねらい】 球技大会を通じて、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		
ものぐさ大学 歩きましょや合同ウォーキング	6月17日	1回	趣味教養	成人	8人	【事業内容】 福祉ひろばを拠点に活動している「歩きましょや」と合同でウォーキングを企画し、美ヶ原高原を訪れた。 【ねらい】 ウォーキングを通じて、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症の影響で4月から公民館事業を中止していたが、感染状況が落ち着いたため、事業を再開した1回目の事業となった。 参加人数を制限し、バスの乗車間隔を一定程度空けるなど工夫を図った。 【今後の方針】 天候に恵まれ、気持ちのよいウォーキングとなった。来年度も場所を変え、ウォーキング事業を計画したい。		
公民館講座 写経会	6月24日	1回	趣味教養	成人	18人	【事業内容】 地区内にある専称寺で写経会を開催。 【ねらい】 写経会を通じて、歴史・文化に対する関心を高め、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 昨年度に引き続き2回目の開催となった。専称寺住職より善導大師の「往生礼賛」という経文の意味を解説いただき、1字ずつ丁寧に経文を書き写した。写経の目的について詳しい説明を受け、写経に対する理解がより深まった。 【今後の方針】 公民館講座として定着化を図りたい。		
ホタル祭り	6月26日	中止	環境	青少年	0人	【事業内容】 主に小学生を対象にホタルの観察会とビンゴ大会を実施 ＜会場＞ ・芝沢せせらぎ（芝沢小学校） ・芝沢運動広場 【ねらい】 ホタルの観察を通じて、自然や生物に関心を持ち、地域への愛着形成を図る。	【共催団体】 ・新村のホタルを育む会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		
ものぐさ大学 学び×健康ウォーキング	7月16日	1回	趣味教養	成人	15人	【事業内容】 波田歴史愛好会の百瀬光信さんを案内ガイドとして依頼し、波田地区にある若澤寺跡周辺を歩いた。 【ねらい】 歴史文化財の見学とウォーキングを兼ねて開催し、地区外の歴史・文化に触れ関心を高める。また、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 刈東駅をスタートし、途中中田村堂を見学し、山道を歩き若澤寺跡へ歩いた。山道は険しく、危ない足場が何箇所もあったが、無事に目的地までたどり着いた。下山後は、波田地区内を散策した。 【今後の方針】 ウォーキングしながら歴史を学ぶ内容が好評であったため、他地区でも実施を検討していきたい。		
ものぐさ大学理事会	7月2日 10月2日 3月18日	3回	趣味教養	成人	30人	【事業内容】 公民館事業を企画・運営する独自の組織として、公民館委員の活動とは別に活動を続けている。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で全体会の開催は3回のみとなった。各事業の担当に分かれて、企画・運営を担った。 【ねらい】 地区住民の知識や教養の向上、住民同士の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 公民館と福祉ひろばと協働する住民有志の組織であり、人材の確保が課題である。 【今後の方針】 「楽しく学ぶ」をモットーに活動しているが、公民館としては「学ぶ」の部分を大事にしていきたいと考えている。		
新村地区オープン大会 （ワンハンドふらばるバレー）（中止）	7月5日	中止	地域事業（文化）	その他	0人	【事業内容】 町会対抗ではなくオープンで参加者を募り、スポーツ大会を開催する。 ＜種目＞ワンバウンドふらばるバレー ＜会場＞芝沢体育館 【ねらい】 大会を通して、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会 ・町会連合会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		
公民館講座 ハンギングバスケット講座	7月14日 3月15日	2回	環境	成人	16人	【事業内容】 ＜会場＞ ・JA新村支所 ＜講師＞ ・日本ハンギングバスケット協会 松本支部長 岩本さん 前支部長 竹下さん 【ねらい】 講座を通じて、植物への関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】	【評価と反省】 公民館では適当な会場がなかったため、公民館からほど近いJA新村支所の駐車所の一角をお借りし、今年度初めて開催した。参加者は全員女性だったが、講師から説明を受けながら問題なく作ることができた。参加者からは好評で、年2回の開催となった。 【今後の方針】 公民館講座として定着化を図り、更なる参加者増を目指す。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
ものぐさ大学 美術館巡り	5月15日 (中止) 7月29日 12月15日	2回	趣味教養	成人	36人	【事業内容】 県内の美術館を見学する。 <7月29日> ・平山郁夫シルクロード美術館 ・身曾岐神社 <12月15日> ・イルフ童画館 ・原田泰治記念館 【ねらい】 美術館巡りを通じて、歴史への関心を高め、教養を養う。また、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 <7月29日> 山梨県にある平山郁夫シルクロード美術館と身曾岐神社を見学した。美術館では「平山郁夫」の幻想的な絵画作品や仏像に触れ、日本の素晴らしさを再発見した。 <12月15日> 午前は岡谷市出身の童画家「武井武雄」の作品展示を見学し、作品から溢れる新鮮な感動を堪能した。午後は、諏訪市の原田泰治美術館を訪れ、全国公募のキルト作品を鑑賞し、失われつつある故郷の風景の大切さに思いを馳せた。 【今後の方針】 次年度も企画し、住民の教養等の向上に寄与したい。		
親子料理教室（中止）	8月	1回	福祉健康	その他	0人	【事業内容】 夏休み中の子ども達とその親を対象に、食育事業の一環として料理教室を開催する。 【ねらい】 料理教室を通して、親子間の交流と食に対する理解を深める。	【共催団体】 ・新村地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		○
公民館寺子屋	8月3日 8月4日	2回	地域文化	青少年	25人	【事業内容】 夏休み中の小学生を対象に、学習支援ボランティアが宿題等の学習活動を支援。支援以外に、有志団体等により体験活動を実施する。 <8月3日>自由学習、理科実験 <8月4日>自由学習、工作 【ねらい】 「地域の子どもは地域で育てる」を実践するため、公民館を会場として子ども達が地域の方々と交流する場を創出する。交流を通して、お互いが学び合い、地域に対する愛着を深める。	【共催団体】 ・福祉ひろば 【協力団体】 ・あたらしい郷協議会 ・学びの友部会 ・子ども会育成会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者数や学習支援ボランティアを調整して開催した。例年は昼食提供やジャグでお茶を提供していたが、今年度は昼食提供なし、水筒持参とした。1日目は地区内在住の和田哲雄さんを講師として理科実験を行った。2日目は松本大学教育学部学生によりエコバック作り等が行われた。 【今後の方針】 懸念事項であった若い学習ボランティア確保のため、松本大学教育学部へ学生の派遣を依頼し、今年度は教員1名学生3名を学習指導および体験活動に参加していただいた。参加した小学生に大変好評であったため、次年度も早期段階から松本大学と連携を図り、企画を練ってきたい。		
ものぐさ大学 自然観察会	8月7日	1回	趣味教養	成人	17人	【事業内容】 <8月7日> ・富士見高原リゾート ほか ・富士見高原リゾートでゴンドラを利用して山岳植物や景色等を観察した。 【ねらい】 自然観察会を通じて、自然環境に関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 天候が心配されたが、当日は無事に自然観察会を開催することができた。 【今後の方針】 次年度は以前行っていたような住民ガイドを地区内の住民に依頼し、自然・環境への理解がより深まるよう内容を工夫してきたい。		
河西部球技大会（中止）	8月30日	中止	地域事業 (体育)	その他	0人	【事業内容】 島内、島立、和田、新村の河西部4地区対抗で競技を実施する。 <種目>軟式野球 ママさんバレーボール 卓球（硬式・ラージボール） 【ねらい】 河西部4地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・河西部4地区体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		
防災訓練	9月	中止	防災	青少年	0人	【事業内容】 高綱中学校の生徒が放水訓練やAED訓練を行う。 【ねらい】 訓練を通じて、中学生の防災への理解を深め、災害時に活躍できる人材を育成する。	【共催団体】 ・高綱中学校 ・消防団（第11分団） ・松本広域消防消防署	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		
ものぐさ大学 おでかけウォーキング	4月15日 (中止) 10月22日 3月12日	2回	趣味教養	成人	34人	【事業内容】 <10月22日> ・岡田地区（芥子坊主農村公園ほか） <3月12日> ・里山辺地区（千鹿頭山、教文ほか） 【ねらい】 ウォーキングを通じて、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 今年度のおでかけウォーキングは2回開催した。コロナ禍ではあったが、多くの参加者があり、和気あいあいとした雰囲気のおかげで楽しんだ。 【今後の方針】 35地区の制覇に向け、事業の継続をしていきたい。		
文化祭実行委員会（中止）	9月15日 10月22日 11月17日	中止	公民館委員会・各種会議等	その他	0人	【事業内容】 新村文化祭・福祉ひろば祭りの企画・運営等について協議を行う。 【ねらい】 文化祭を通じて、文化・芸術等への関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・町会長会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会 ・新村地区各種団体	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
運動会実行委員会（中止）	7月16日 9月10日 11月17日	中止	公民館委員会・各種会議等	成人	0人	【事業内容】 新村地区市民運動会の企画・運営等について協議を行う。 【ねらい】 運動会を通じて、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・連合町会長会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会 など	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		
女性料理教室（中止）	10月	1回	福祉健康	女性	0人	【事業内容】 地区住民の女性を対象に、食育事業の一環として料理教室を開催する。 【ねらい】 女性の料理技術を高めるとともに、郷土の食材を生かしたメニューを学ぶ。	【共催団体】 ・新村地区食生活推進協議会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		○
松本市市民体育大会	10月11日	中止	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 市内35地区が、卓球やソフトバレー等の種目で競う。	【共催団体】 ・新村体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		
新の里ウォークラリー2020	10月11日	1回	地域文化	その他	30人	【事業内容】 新村地区の子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に、地区内でウォークラリーを開催。コース内に地区文化財に関するチェックポイントを設け、問題を出題。問題の正解数に応じて、参加記念品を贈呈。 【ねらい】 ウォークラリーを通じて、地区の歴史・文化に触れ、地区への愛着を深めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会 ・子ども会育成会 ・福祉ひろば 【準備過程】 8月 コース下見 10月10日 前日準備	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年実施していた昼食提供や表彰式は開催せず、参加記念品を贈呈し午前中で終了するように内容を工夫した。スタート地点の波田安養寺にはバスで参加者を移送し、密にならないよう配慮した。コロナ禍であったため例年並の参加者数には至らなかったが、参加者には好評であった。 【今後の方針】 長年継続している行事であるため、内容等を工夫しながら、事業を継続していきたい。		
新村地区市民運動会（中止）	10月17日	中止	地域事業（体育）	その他	0人	【事業内容】 新村地区全住民を対象に、下記のとおり市民運動会を開催。 ＜会場＞ 新村農村広場 ＜競技＞ 15競技を実施 【ねらい】 市民運動会を通じて、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・運動会実行委員会 ・（町会連合会、町内公民館長会、新村体育協会など）	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		
北新歴史探訪	10月17日	1回	地域文化	成人	15人	【事業内容】 地区内を大きく5つの括り（上新・下新・北新・南新・東新）で分け、括りごとを地区内にある文化財を歩いて巡る。 【ねらい】 歴史探訪を通じて、地区住民の文化財等への関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村文化財保存会 ・あたらしの郷協議会 ・学びの友部会	【評価と反省】 雨天のため、公民館大会議室での座学講座になった。講師の新村文化財保存会会長 長岡壽さんより、北新周辺の成り立ち等について説明を受けた。参加者から多くの質問が挙がり、有意義な講座となった。 【今後の方針】 今回が初めての開催であったが、今後はシリーズ化し、地区内の歴史・文化に触れる機会を創出したい。地区の歴史に詳しい方の高齢化が進んでおり、若い人材を育てる意味でも事業を継続して行っていきたい。		
男性料理教室（中止）	11月	1回	福祉健康	成人	0人	【事業内容】 地区内の男性を対象に、食育事業の一環として料理教室を開催する。 【ねらい】 男性の料理技術を高めるとともに、郷土の食材を生かしたメニューを学ぶ。	【共催団体】 ・新村地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		○
市長杯争奪球技大会	11月1日	中止	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 松本市スポーツ協会主催行事に地区代表として参加する。 【ねらい】 大会を通じて、地区住民の健康の増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		
公民館講座 秋の移動講座	11月5日	1回	地域文化	成人	20人	【事業内容】 考古博物館・馬場家住宅を見学した。 【ねらい】 講座を通じて、文化財への関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 ・新村文化財保存会	【評価と反省】 考古博物館と馬場家住宅を見学した。午前中の考古博物館では、新村地区を特集した企画展示の見学と、新村遺跡発掘調査に携わった市文化財課職員から説明を受けた。馬場家住宅では、屋敷内の説明を受けた。 【今後の方針】 次年度も引き続き、講座を企画していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
芝沢小学校3年生「地域探検」	11月6日	1回	地域文化	青少年	64人	【事業内容】 芝沢小学校3年生が地区内を巡り、歴史や文化、地域について学ぶ。 【ねらい】 地域探検を通じて、地域への愛着形成を図る。	【共催団体】 ・芝沢小学校	【評価と反省】 毎年恒例の行事となっており、今年度は芝沢小学校3年生2クラスが新村公民館を訪れた。公民館長から公民館・出張所の職員が普段どのような仕事をしているか、それがどのように住民の生活に役立っているのか説明した。地区のおとぎ話「ものぐさ太郎」への関心を高めるため、紙芝居で物語の概要を説明した。 【今後の方針】 次年度も学校から要望があれば、対応するようにしたい。		
新村文化祭・福祉ひろば祭り（中止）	11月7日 11月8日	中止	地域事業（文化）	その他	0人	【事業内容】 公民館や福祉ひろば利用団体等の活動成果の発表の場として2日間開催 【ねらい】 文化祭を通じて、文化活動への関心を高め、住民相互親睦を図る。	【共催団体】 ・文化祭実行委員会 【準備過程】 ・開催可否について、文化祭実行委員および前年度出演展団体に書面表決を実施し、今年度の開催を見送ることになった。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		
公民館講座 懐かしい映像で振り返る新村	11月16日	1回	地域文化	その他	20人	【事業内容】 公民館で保管されていた過去の事業の映像を鑑賞する。 【ねらい】 講座を通じて、参加者同士の親睦を深める。さらに、懐かしい映像を観ることで脳を活性化させ、認知症予防につなげる。	【共催団体】 ・視聴覚委員会 ・松本大学地域づくり考房ゆめ	【評価と反省】 コロナ禍で行う公民館講座として、今年度初めて開催。公民館で保管されていた映像資料の中から、今回は「新村音楽祭」と「太鼓門まつり（新村の日）」の映像を鑑賞。松本大学地域づくり考房ゆめから学生の参加もあり、世代間交流のキッカケとなる講座となった。 【今後の方針】 参加者から好評であったため、公民館講座として定着化を図り、学生の参加をさらに促したい。視聴覚委員会では、各家庭に眠る8mmフィルムの掘り起こしを行っており、今後適当なフィルムが見つかった場合は、その上映会を企画していきたい。		
新村地区人権啓発視察研修	11月20日	1回	人権平和	成人	17人	【事業内容】 人権啓発推進事業の一環として、県内視察研修を実施する。 ＜視察先＞ ・貞享義民記念館（安曇野市） ・窪田空穂記念館（松本市和田） 【ねらい】 視察研修を通じて、地区住民への人権啓発を行う。	【共催団体】 ・新村地区人権啓発推進協議会 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 貞享義民記念館では、加助騒動について説明を受け、農民を苦しめた年貢の取り立ての実態や、松本藩の農民を蔑ろにする藩政などを学んだ。窪田空穂記念館では、窪田空穂の生涯と「獄中の歌人 島秋人」の生い立ちと犯行に至る経緯、短歌との出会い、秋人を支えた人脈について説明を受けた。 【今後の方針】 次年度も引き続き人権啓発視察研修を実施、地区住民への人権啓発を行いたい。		
第6回ニュースポフェスIN新村（中止）	11月29日	1回	スポーツ	その他	0人	【事業内容】 ニュースポーツの体験及び体力診断の実施 ＜種目＞ 団基ボール、パラシュット、バスケットピンポン、タスポニー、シャッフルボード、スカットボール、ストラックアウト、マグダーツ、ポッチャ 【ねらい】 子どもから高齢者まで幅広い年代が気軽にニュースポーツを楽しみ、健康増進や地区住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		
公民館講座 押し絵教室	12月14日 12月18日	2回	趣味教養	成人	6人	【事業内容】 講師を招き、干支の押し絵を作成する。 【ねらい】 教養の向上、伝統文化の継承を図る。		【評価と反省】 毎年恒例の公民館講座となっており、参加者が固定化している。 【今後の方針】 参加者増加を目指し、講師と相談しながら、内容の工夫を図っていききたい。		
公民館講座 お正月生け花教室	12月25日	1回	趣味教養	成人	17人	【事業内容】 講師を招き、生け花教室を開催する。 【ねらい】 教養の向上、伝統文化の継承を図る。		【評価と反省】 毎年恒例の公民館講座となっており、参加者が固定化している。 【今後の方針】 参加者増加を目指し、講師と相談しながら、内容の工夫を図っていききたい。		
元旦マラソン（中止）	1月1日	1回	地域事業（体育）	その他	0人	【事業内容】 地区内の子どもから大人まで幅広い世代を対象に、新村農広場の周回コースを走る。 【ねらい】 マラソンを通じて、住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		
新村地区新年祝賀会（中止）	1月9日	中止	地域事業（その他）	その他	0人	【事業内容】 地区内の関係団体関係者が新年を祝して一同に集まるもの。 【ねらい】 祝賀会を通じて、地区の繁栄や安寧等を願う。	【共催団体】 ・連合町会長会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会 など	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
スマホレベルアップ講座 (中止)	1月15日 1月22日 1月29日	中止	趣味教養	高齢者	0人	【事業内容】 スマートフォンの操作方法等について、講師を招き講座を開催する。 【ねらい】 講座を通じて、電子機器に対する理解を深め、生活の利便性向上に繋げる。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 ・学びの友部会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		
昭和の思い出を語る会 (中止)	1月17日	中止	地域文化	成人	0人	【事業内容】 昭和の写真をスライドショーで見ながら、地区住民が昭和の思い出を語り合う。また、「桂聰子」さんのフルートコンサートも併せて開催する。 【ねらい】 地域住民と大学生が昭和の思い出について語り合い、親睦を深める。	【共催団体】 ・松本大学地域づくり考 ・房ゆめ	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		
第33回冬季室内競技大会 (綱引き、卓球) (中止)	2月7日	中止	地域事業 (体育)	その他	0人	【事業内容】 町会対抗で下記の種目を実施する。 種目 午前：綱引き 午後：卓球 【ねらい】 室内競技を通じて、住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会 ・町会連合会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。		
利用者懇談会	3月18日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	17人	【事業内容】 公民館利用者団体の各代表者から利用に関する要望等を聞き取り、次年度の公民館等の運営の参考とする。 【ねらい】 利用者懇談会を通じて、公民館等の運営の改善を図る。	【共催団体】 ・新村公民館利用団体	【評価と反省】 毎年開催している利用者懇談会では、普段公民館や福祉ひろば、新村多目的研修センターを利用している利用団体の各代表者から、利用に関する要望等を聞き取った。 【今後の方針】 今後も引き続き開催し、公民館等の運営の改善につなげる。		
コミュニティースクール事業 (高綱中学校)	通年	—	子育て	青少年	—	【事業内容】 各学校（R2担当：高綱中学校）のCS運営委員会に参画、予算執行管理や授業等へ住民講師の紹介などを行った。 【ねらい】 事業を通じて、子ども達の健全育成を図る。	【共催団体】 ・高綱中学校	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休校や夏休みの短縮で授業時間の確保が困難となり、年度当初予定していた地域貢献等の事業が中止となった。 【今後の方針】 地域と学校の双方向の交流、子ども達の主体的な関わりが持てる事業内容をCS委員会を中心に計画していきたい。	○	
町会別人権啓発懇談会	2月～3月	14回	人権平和	その他	300人	【事業内容】 人権啓発推進事業の一環として、新村14地区で懇談会を開催し、人権啓発チラシ等を配布 【ねらい】 懇談会を通じて、地区住民の人権に対する関心や意識を高める。	【共催団体】 ・町内公民館長会	【評価と反省】 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、多くの町会で総会は開催はせず、隣組長単位などの小規模で開催した。そのため多くの町会で人権啓発のチラシ（市人権・男女共生課作成）を配布した。 【今後の方針】 次年度は人権啓発チラシの配布だけではなく、DVDの放映や出前講座等が実施できるよう、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、周知していきたい。		
町内公民館活性化事業	通年	2回	その他	成人	50人	【事業内容】 町内公民館活動の支援を実施する。 【ねらい】 地区住民がいきいきと明るく張り合いを持って生活ができるよう、町内公民館活動の活性化支援を図る。	【共催団体】 ・町内公民館長会	【評価と反省】 今年度は2町会で活性化事業が実施された。事前の周知を念入りに行ったが、コロナ禍もあり実施数は例年並となった。 【今後の方針】 事業の周知を行い、町内公民館の活性化に寄していきたい。		
育児講座	通年	中止	子育て	家庭教育	0人	【事業内容】 子育て支援の一環として、未就園児とその母親を対象に、月2回講座を実施。 【ねらい】 親子の交流の場や、母親同士の情報交換の場を創出し、未就園児の健全育成を図る。	【共催団体】 ・ひよこの会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症の影響で、ひよこの会の活動は1年間自粛となった。 【今後の方針】 ひよこの会は入園前の未満児をもつ親子が対象となっているため、育児講座の開催については慎重に判断したい。団体への加入者や育児講座への参加者が少ないため、周知を工夫していきたい。		
プチ送迎ボランティア事業への協力	通年	—	福祉健康	高齢者	—	【事業内容】 地域福祉の推進を目的として、住民主体のボランティア組織である「プチ送迎ボランティア」への支援を実施。 【ねらい】 地区内高齢者の交通弱者を減らし、住民相互の助け合い精神を助長する。	【共催団体】 ・プチ送迎ボランティア	【評価と反省】 運転手の高齢化が深刻で、人材の確保が大きな課題となっている。事務局が公民館となっているため、公民館が呼びかけの中心となり、支援・協力をしていきたい。 【今後の方針】 買い物や通院の足として、プチ送迎ボランティアが地域に浸透してきている。団体の存続のためにも、活動のPRを継続的にを行い、会員確保に努めていきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
農村広場整備	5月10日 10月4日	2回	地域事業 (その他)	成人	96人	【事業内容】 連合町会長会、町内公民館長会、新村体育協会が分担して、地区内にある農村広場等の草刈りやゴミ拾いを年2回実施する。 ＜場所＞ ・忠魂碑周辺、ものぐさ自然公園 ・秋葉原古墳周辺 ・新村農村広場周辺	【共催団体】 ・連合町会長会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会	【評価と反省】 農村広場整備は春5／10は町会長会のみ、10／4は町会長会・新村体育協会で実施した。 【今後の方針】 次年度も引き続き、農村広場整備を実施していきたい。		
町内公民館長会 (文化委員会)	4月8日 2月16日 3月9日	3回	公民館委員会・各種会議等	成人	39人	【事業内容】 町内公民館館長会の活動支援、連携強化を図る。 【ねらい】 町内公民館長会の活動を通じて、町内公民館の活性化を図る。		【評価と反省】 今年度は新型コロナウイルス感染症のため、文化祭や市民体育大会等の行事が中止となったため、それに伴い館長会の会議も例年に比べると大幅に回数が少なくなった。 【今後の方針】 次年度はコロナの感染拡大状況を考慮しつつ、文化祭等の行事について実施を検討していきたい。次年度は館長全員が行事を経験していない状態となるため、OB館長にも協力を仰ぎながら、運営をしていきたい。		
新村体育協会 (体育委員会)	4月3日 4月9日 7月30日 11月5日 11月19日 1月15日 2月24日 3月11日	8回	公民館委員会・各種会議等	成人	160人	【事業内容】 地区内で行われる体育行事の企画・運営を行う。 【ねらい】 体育行事を通じて、地区住民の健康の増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。		【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度地区内で行われる予定であった体育行事は全て中止となった。それに伴い、定期的に開催されていた会議も大幅に回数が少なくなった。 【今後の方針】 来年度は感染症対策を講じ、全てではなく、行える可能性がある行事については、積極的に開催していきたい。		
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	120人	【事業内容】 公民館報（新の里）の原稿執筆、編集等を行う。 【ねらい】 公民館報の発行を通じて、公民館活動や地区内の諸活動、歴史・文化等に関心を持ってもらう。	【準備過程】 奇数月（1、3、5、7、9、11月）に発行する公民館報の原稿執筆や編集を行う。 会議は毎月第1火曜日に開催され、掲載する内容等を検討する。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症の影響で公民館活動が減少し、掲載記事の検討に苦慮した。コロナ禍での活動に焦点を当て、近隣にある松本大学で行われていたオンライン授業について、担当教授の視点、学生の視点で原稿を執筆してもらい、それぞれの抱える問題、コロナへの思い等について文章を書いてもらった。 【今後の方針】 今後も引き続き、編集委員発信で取材・原稿執筆等の活動を行ってもらう。		
図書委員会	7月15日 1月14日	2回	公民館委員会・各種会議等	女性	12人	【事業内容】 公民館の図書コーナーにある書籍の入れ替え作業を年2回行う。 必要に応じて、公民館やその他施設へ向うき、本の読み聞かせ等を行う。 【ねらい】 図書委員会の活動を通じて、本への関心を高める。	【準備過程】 図書の入れ替えについては、中央図書館へ向うき、図書委員の判断で本の選定を行う。ジャンルは限定せず、子どもからお年寄りまで幅広い年代に向けた本を選定する。	【評価と反省】 図書の入れ替えは例年通りを行えた。本の読み聞かせは、コロナ禍ということもあり実施できなかった。委員会活動が図書入れ替えのみとなっており、活動のマンネリ化が懸念される。 【今後の方針】 図書入れ替え以外で活動を行う。例えば、図書委員会主催で県内にある著名な図書館を視察し、本の魅力や図書館運営等を学ぶという企画なども実施検討していきたい。		
視聴覚委員会	6月16日 2月18日	2回	公民館委員会・各種会議等	その他	8人	【事業内容】 地区内に残る文化財や古い町並み、農作業風景などの生活の様子を記録として保存し、後世に残す活動を行う。 【ねらい】 地区内の街並みや文化財等を写真等で記録・保存し、若い世代に伝えていくことで、地区への愛着を育む。		【評価と反省】 今年度は新型コロナウイルス感染症のため、当初予定していた事業が実施出来なかった。代替の事業として、地区内に残る8mmフィルム集めを行い、上映会を行うことを計画。しかし、公民館だけでより募集を掛けしたが、上映会で扱えるような内容のフィルムは集まらなかった。 【今後の方針】 委員の高齢化や人材確保が課題となっている。人材確保については、公民館事業に関心が高い住民に声を掛け、加入を促していきたい。		
地区支援企画会議	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	—	【事業内容】 社会福祉協議会、河西部包括支援センター、西部保健センター、福祉計画課、地域づくり課、新村公民館・出張所の職員が参加し、各部署からの事業や地域課題について話し合いを行う。		【評価と反省】 各部署での取組みや事業内容、地域課題について、広い視野での話し合いができる場となっている。 【今後の方針】 地域課題の解決に向け、関係機関で情報共有を図っていきたい。		
子ども会育成会の運営・支援	6月23日 9月23日 11月10日 3月10日	4回	地域事業 (その他)	成人	80人	【事業内容】 新村地区子ども会育成会の運営・支援を行う。 【ねらい】 育成会の活動を通じて、地区内の子どもの健全育成を図る。		【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた「ちびっこ夏季スポーツ大会」は開催中止となった。例年地区内で行われていた三九郎については、育成会が中心となって協議し、開催中止を決定した。新の里ウォークラリー2020については、参加者集めに協力した。 【今後の方針】 次年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に配慮しつつ、事業を実施していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
新村文化財保存会の運営・支援	6月25日 11月11日 3月25日	3回	地域事業 (その他)	その他	36人	【事業内容】 新村文化財保存会の運営・支援を行う。 【ねらい】 保存会の活動を通じて、地区内にある文化財の保存・整備を行い、地区内外の住民の文化財への理解を深める。		【評価と反省】 今年度は地区内に設置されている案内板の修繕、「まつもと文化遺産」登録制度への申請を行った。また、地区内の文化財に関心を集めるため「秋の移動講座」や「北新歴史探訪」を新村公民館と連携を図りながら開催した。 【今後の方針】 次年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に配慮しつつ、事業を実施していきたい。		
新村ホタルを育む会の運営・支援	6月24日 10月12日 11月7日 12月15日 2月24日	5回	その他	その他	60人	【事業内容】 新村ホタルを育む会の運営・支援を行う。 【ねらい】 ホタルを育む会の活動を通じて、生態系の保全活動への関心を高める。		【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ホタルまつりは開催中止となったが、それ以外のせせらぎの清掃やカワナナノ放流等は例年通り実施した。 【今後の方針】 会員の高齢化が深刻な課題となっているため、活動に理解のある若い人材の確保に努めていきたい。		
ものぐさだより発行 (公民館だより)	毎月	12回	地域事業 (その他)	その他	全戸 配布	【事業内容】 毎月の広報配布に合わせて、公民館講座等の情報を掲載する広報として発行。 【ねらい】 公民館講座への参加者増加を図る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 ・福祉ひろば	【評価と反省】 A3判サイズで毎月発行しており、公民館以外にあたらしの郷協議会と福祉ひろばの広報と一緒に掲載している。 【今後の方針】 住民の関心が向くような紙面作りをしていきたい。		
ホームページ	随時更新	年間	地域事業 (その他)	その他	年間	【事業内容】 新村地区や公民館活動等について発信を行う。 【ねらい】 地区内外に対して新村地区のPRを行い、観光客等呼び込み、地区内の活性化を図る。		【評価と反省】 公民館からのお知らせ欄を作り、新型コロナウイルスに関する貸館についてや講座等の中止情報を掲載するようにした。また、全戸配布している「ものぐさだより」にホームページにアクセスできるようにQRコードを載せるようにしてから、公民館ページへのアクセス数が増加した。 【今後の方針】 引き続きホームページの更新作業を行ってきたい。		
公民館1階ロビーへ展示 コーナーを作成	随時	—	地域事業 (その他)	その他	—	【事業内容】 公民館・福祉ひろば利用団体で制作された作品を展示する。 【ねらい】 作品展示を通じて、活動のPRや発表機会の創出を目指す。	【準備過程】 「新村文化祭・福祉ひろば祭り」の開催中止を受け、作品等の展示用としてコーナーを設置した。	【評価と反省】 公民館利用者の評判は良く、展示を希望する団体・個人が増えてきている。作品展示を通じて、公民館・福祉ひろば利用団体の活動を知ってもらうキッカケとなっている。 【今後の方針】 公民館・福祉ひろば利用団体へ周知し、年間を通じた継続的な活用を促していきたい。団体の作品展示だけではなく、地区の諸活動の紹介などの活用も検討していきたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】

- ・継続開催事業の内容の充実
事業のマンネリ化や参加者の減少・固定を軽減するため、継続事業の内容を講師等と相談し充実するよう検討した。
- ・新規公民館講座
新型コロナウイルスの影響で、地区全体事業の実施が難しいため、代替になるものや地域住民の要望を取り入れた新規講座を行った。
- ・世代間交流の促進
役員等、地域づくりに関心のある住民へ積極的に声掛けを行い、小学校や児童センターの児童との交流の機会を創出した。（夏休み学習支援、映画と語りの会等）

評価・反省等

- ・継続開催事業の内容の充実
一部事業で、内容の変更等により参加者の増加や、好評の声を得られた。一方で、内容や効果の検討が必要な事業もあり、引き続き、継続する事業については内容・周知方法等を十分検討したい。
- ・新規公民館講座の開催
初めて公民館の講座に参加するという方が何人か見られた。今後も今まで参加したことがないという方にも参加していただけるような事業を検討したい。
- ・世代間交流の促進
今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、規模縮小または中止となってしまった事業がほとんどではあったが、予想より児童の参加が多かった。一方大人の参加者は限られてしまっているため、より多くの大人が参加できるように周知方法等見直し、呼びかけたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種 委員会 等
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数	1	1			5	7	3		1	4	1		8
延べ 参加 人数	21				31	135	75		41				314

	C S	食 育
事業数	2	2
延べ 参加 人数	41	19

令和2年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
第16回和田ウォークラリー (第40回ふれあいスポーツ大会)	6月21日	中止	地域事業 (その他)	成人	0人	【事業内容】 地区内の文化財等にまつわるクイズを解きながら約6kmのコースをグループごとに歩く。 【ねらい】 ウォーキングを通じた健康増進と共に、毎年コースを変えながら、地区内の文化財等を学ぶ機会とする。	【準備過程】 協力団体と実行委員会を組織し実施。 【共催団体等】 福祉ひろば 子ども会育成会 地域づくり協議会 健康づくり推進委員会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 地区住民も、より充実したイベントへと成長させる意欲があるため、継続の方針		
ファミリーコンサート	6月27日	中止	趣味教養	成人	0人	【事業内容】 世代を超えて楽しめるコンサートの開催 【ねらい】 音楽を通じた交流及び情操教育	【準備過程】 共催団体との打ち合わせにより出演者等を決める。 【共催団体等】 福祉ひろば 子ども会育成会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 地区内の演奏者も掘り起こす等内容を検討し継続したい。		
第39回 夏季スポーツ大会	7月12日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 男子ソフトボール(雨天時はワンバウンドふらばーボール)、女子トリムバレーボールの町会対抗球技大会 【ねらい】 町会内や、町会を越えた親睦の機会、スポーツの振興、健康の増進等	【準備過程】 町内公民館長と体育委員を中心に企画運営 【共催団体等】 町内公民館長会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 地区住民と協議しながら、意義ある大会として継続したい。		
映画と語りの会	7月26日	1回	趣味教養	青少年	35人	【事業内容】 映画の上映 【ねらい】 地区の子どもに人形劇や映画を見せる情操教育を図書視聴覚委員会の主催で行う。	【準備過程】 内容等は図書視聴覚委員会で協議し決定する。 【共催団体等】 和田保育園 和田児童センター	【評価と反省】 保育園や児童センターでも、公民館との交流事業と位置付けていただき、多くの子どもたちが参加してくれる。今年度は新型コロナウイルスの関係で保育園・児童センターと相談した結果、映画を上映、児童センターの子どもたちのみとなった。 【今後の方針等】 図書委員会主催の事業として、委員の関わりを大切にし複数回開催も考えたい。		
夏休み勉強会(小学生学習支援)	7月29日 8月5日 8月6日	3回	その他	青少年	41人	【事業内容】 夏休みの宿題を中心に小学生の学習支援 【ねらい】 子どもと公民館・地域住民をつなぐ行事	【準備過程】 公民館が準備 【共催団体等】 小学校・児童センターに呼びかけ	【評価と反省】 今年度は新型コロナウイルス対策として、学年ごと日程を分けて実施した。集中して勉強する時間をつくれた。 【今後の方針等】 小学校とも調整しながら検討	○	
文化財臨地学習会	8月18日	中止	地域文化	成人	0人	【事業内容】 長年続く視察学習会。県内外各地の文化財等を巡り、学習する。 【ねらい】 各地の歴史や文化財を学び、地元の文化財について考える機会ともする。	【準備過程】 公民館で行先等検討	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 行先やプラン等を練り、参加者のニーズを満たせるよう考えたい。		
刃物の研ぎ方教室	8月23日	1回	地域文化	成人	14人	【事業内容】 刃物の研ぎ方の講座 【ねらい】 地域人材の活用、刃物について知識と研ぎ方技術の学習	【準備過程】 和田商工親和会と相談し実施 【共催団体等】 和田商工親和会	【評価と反省】 和田商工親和会主催、公民館は事務的な補助を行った。 【今後の方針等】 和田商工親和会と相談し、検討したい。		
和田地区 マレットゴルフ大会	8月25日	1回	スポーツ	成人	15人	【事業内容】 市民体育大会の地区内予選を兼ねた男女別マレットゴルフ大会 【ねらい】 地区内の交流、マレットゴルフの振興	【準備過程】 マレットゴルフクラブと相談し実施 【共催団体等】 和田地区マレットゴルフクラブ	【評価と反省】 マレットゴルフクラブの主導で開催できているが参加者が減少傾向にある。 【今後の方針等】 マレットゴルフクラブが主管する地域行事として継続していきたい。		
河西部球技大会	8月30日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 和田・島内・島立・新村地区による対抗球技大会。軟式野球・卓球・ママさんバレーボール 【ねらい】 市民体育大会の予選、選手や応援の住民の交流とスポーツの振興	【準備過程】 担当地区が主体となり準備 【共催団体等】 島内・島立・新村・和田の4地区公民館及び体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止となった。 【今後の方針等】 継続開催予定。次年度担当は新村地区となる。		
第63回松本市市民体育大会	10月11日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 全市的な地区対抗体育大会 【ねらい】 スポーツの振興	【準備過程】 出場チームの補助を体育委員が行うため委員会で確認する。 【共催団体等】 地区内の各種運動部	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止となった。		
和田地区市民大運動会	10月18日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 町会対抗の運動会。子どもから大人までが20種目程度の競技を行う。 【ねらい】 地区住民の世代を越えた交流及び町会の結束の強化	【準備過程】 体育委員会・町内公民館長会を中心に実行委員会を組織し準備 【共催団体等】 地区内の各種団体の協力を得ている	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 開催予定		
ヨガ講座	10月24日	1回	趣味教養	成人	12人	【事業内容】 初心者向けヨガ講座 【ねらい】 家ででもできる簡単なヨガを教わり、運動不足の解消に繋げる、参加者同士の交流	【準備過程】 講師と相談し準備	【評価と反省】 初めて公民館の講座に参加する方もいて、交流を深めることができた。 【今後の方針等】 引き続き検討していきたい。		

令和2年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
市長杯争奪球技大会	11月1日	中止	スポーツ	成人		【事業内容】 全市的な地区対抗球技大会 【ねらい】 スポーツの振興	【準備過程】 公民館は出場する運動部の事務的な補助を行う。 【共催団体等】 地区内の各種運動部	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止となった。		
第48回芸術文化祭	11月8日	中止	地域事業（文化）	成人	0人	【事業内容】 地区住民全体の文化祭。ステージ発表（15組）、展示発表（320点）、野点を行う。 【ねらい】 文化的活動の発信の場とし、地区内の文化的交流を図る。	【準備過程】 文化委員を中心に実行委員会を組織し実施 【共催団体等】 女性役員会 窪田空穂記念館	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 ステージ発表、展示発表ともにしりすばみにならないよう積極的な取り組みをしたい。		
ハワイアンフラ体験会	11月15日	1回	趣味教養	成人	24人	【事業内容】 初心者向けハワイアンフラ講座 【ねらい】 ハワイの伝統的な舞踏に触れる、参加者同士の交流	【準備過程】 講師と出演団体（地区住民）と調整 【共催団体等】	【評価と反省】 地区で活動しているサークルに出演していただき、講師と参加者、参加者同士の交流を深めることができた。 【今後の方針等】 地域住民が活躍できる場の創出は引き続き検討していきたい。		
健康スポーツ教室	11月16日～	3回	スポーツ	成人	60人	【事業内容】 ラージボール卓球とバドミントンを通じた交流及び体の重心バランス測定等も合わせて実施 【ねらい】 冬場の運動不足を解消しつつ、世代を問わず交流を深める。	【準備過程】 保健師や健康運動指導士と相談し準備 【共催団体等】 有志の体育委員	【評価と反省】 子どもから大人まで幅広い世代が集まりスポーツを楽しむことができた。会場を変えたため参加者が少なくなりました。 【今後の方針等】 新たな参加者の呼び込みや、継続参加者の積極的な参加を呼び込む工夫を考えたい。		
手芸講座	11月20日	1回	趣味教養	成人	4人	【事業内容】 ダイヤモンド刺繍キーホルダー制作 【ねらい】 地区内の人材活用、手芸を通じた交流	【準備過程】 講師（地区住民）と調整 【共催団体等】	【評価と反省】 地域住民を講師として交流を深めることができた。 【今後の方針等】 地域住民が活躍できる場の創出は引き続き検討していきたい。		
インターネット活用講座	11月28日～	3回	趣味教養	成人	26人	【事業内容】 近年急速に普及しているインターネットの基礎を学ぶ。 【ねらい】 インターネットの基礎知識・活用方法を学ぶ。	【準備過程】 講師と相談し内容を決 定	【評価と反省】 松本市のフリーWi-Fiを使用し、インターネットの基礎知識や活用方法を学ぶことができた。 【今後の方針等】 実施の内容や方法を検討したい。		
しめなわ作り教室	12月19日	1回	地域文化	成人	6人	【事業内容】 しめ縄の文化的背景を学びながら、しめ縄の基本や応用のわら細工を学んだ。 【ねらい】 伝統文化の学習と継承	【準備過程】 講師（地区住民）と相談し準備	【評価と反省】 講師が工夫を凝らしたわら細工が好評となっている。参加者の希望を取り入れながら開催 【今後の方針等】 講師と相談し、内容を検討しながら実施していきたい。		
蕎麦打ち体験会	12月23日	1回	地域文化	成人	11人	【事業内容】 地区住民を講師に、蕎麦打ちの体験会を実施 【ねらい】 蕎麦打ち文化の学習と世代間交流、子どもに食への関心を持ってもらう	【準備過程】 講師と相談し準備 【共催団体等】	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から全4回から1回に変更 【今後の方針等】 地域の人材活用と世代間交流の機会とした。		○
白菜キムチ漬け講座	1月30日	1回	趣味教養	成人	8人	【事業内容】 近隣の韓国料理店の方を講師に招き、本格的なキムチを作りながら交流を深める。 【ねらい】 食文化を実際に体験し学びながら交流する。	【準備過程】 講師と相談し準備	【評価と反省】 感染症対策のため、募集人員を昨年度の半分とした。キムチの評判もよく、テーブルごとの交流も促進できた。 【今後の方針】 講師と相談し、内容を検討しながら実施していきたい。		○
第46回冬季スポーツ大会	2月21日	中止	地域事業（体育）	成人	0人	【事業内容】 ラージボール卓球とソフトバレーボールによる町会対抗球技大会 【ねらい】 町会内及び町会を越えた親睦、スポーツの振興、冬場の運動不足解消	【準備過程】 町内公民館長と体育委員で企画運営。 【共催団体等】 町内公民館長会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 ルール等を地区役員と協議しながら実施継続予定		
スマホ入門講座	2月27日 3月6日	2回	趣味教養	成人	26人	【事業内容】 初心者向けスマートフォン講座 【ねらい】 スマートフォンの基礎知識、電話以外の活用方法を学ぶ。	【準備過程】 講師と相談し内容を決 定	【評価と反省】 スマートフォンの基礎知識や活用方法を学ぶことができた。 【今後の方針等】 実施の内容や方法を検討したい。		
健康講座		中止	福祉健康	高齢者	0人	【事業内容】 地区の医師を講師に、健康について学ぶ。 【ねらい】 病気等についての理解を深め、自身の健康を考える機会とする。	【準備過程】 地区社協と講師で内容等を検討、公民館は事務的な補助 【共催団体等】 和田地区社協	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染防止のため、中止 【今後の方針等】 開催予定		

令和2年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
人権啓発事業	2月28日	1回	人権平和	成人	21人	【事業内容】 ・コンサートを通じたノーマライゼーション学習 【ねらい】 人権啓発意識の向上、人権啓発学習指導者の養成	【準備過程】 地区人権啓発推進協議会長と相談し準備 【共催団体等】 地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 障がい者の自立活動への理解等を学ぶことができた。2回の予定を1回は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 人権課題に関する地区内の関心を探り継続していきたい。		
文化講演会	3月頃	中止	地域文化	成人	0人	【事業内容】 西善寺にある文化財について学ぶ。 【ねらい】 和田地区境にある西善寺について、学び、和田の歴史や文化財への理解を深める。	【準備過程】 境町内公民館と相談し、講師・内容を検討 【共催団体等】	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 内容等を検討し、開催予定		
運営委員会	4月26日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	39人	【事業内容】 事業報告・事業計画・決算・予算案の審議 【ねらい】 公民館運営への住民参加の機会の担保	【準備過程】 町会長・町内公民館長のほか地区内の主要組織の役員で組織	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とし、書面表決を行った。 【今後の方針等】 地区の他団体と公民館をつなぐ貴重な機会として、有効活用したい。		
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	102人	【事業内容】 公民館報和田版の取材や編集作業 【ねらい】 住民主体の情報発信の場として公民館報和田版の発行	【準備過程】 取材や記事の作成を分担し、校正や割付は全体で行う。	【評価と反省】 記事の発案や取材等、委員が前向きに取り組むことができた。 【今後の方針等】 二年目となる委員が多いので、主体性を持った活動を推進したい。		
図書視聴覚委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	98人	【事業内容】 公民館図書の管理、図書だよりの発行、「映画と語りの会」の主催 【ねらい】 図書室の管理及び有効活用、読書啓発に係る委員主体の活動	【準備過程】 毎月定例の委員会を開催し、協議と図書の整理を行う。	【評価と反省】 図書の整理以外の活動の充実が課題 【今後の方針】 新規購入図書、除籍本等協議したい。改修により、図書室のスペースが狭くなったため、新規図書と除籍本のバランスを考える必要がある。		
体育委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	52人	【事業内容】 地区全体の体育事業について、企画・検討する。また事業当日の運営にも中心的な役割を担う。 【ねらい】 体育事業を通じた地区内の交流促進、スポーツの振興	【準備過程】 三役会で原案を審議し、事業運営の中心となる体育委員と町内公民館長の合同会議で決定する。	【評価と反省】 今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、体育事業はほぼ中止となった。 【今後の方針等】 引き続き、住民の意見を聞く機会を増やし、三役を中心に改善できるところは改善していきたい。		
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	10人	【事業内容】 夏休み行事や文化祭等原案ほか公民館事業全般を協議する。 【ねらい】 公民館事業全般の協議	【準備過程】 委員は町内公民館長が兼ねている。	【評価と反省】 地区事業の原案協議の中心となり、事業運営でも町会内の取りまとめとして関わっている。 【今後の方針等】 より良い地区事業の実施のため、充実した協議の場としたい。		
文化財調査委員会編集委員会	通年	中止	公民館委員会・各種会議等	成人		【事業内容】 地区内の文化財の保護活用、文化財学習 【ねらい】 文化財の保護・活用の方策を検討する。	【準備過程】 町内公民館長と町会選出の役員で組織	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 文化財の学習講座等、委員の活動を広げていきたい。		
信州型コミュニティースクール事業（学校運営委員会へ参加）	通年	中止	公民館委員会・各種会議等	青少年		【事業内容】 芝沢小学校・高綱中学校の学校運営委員会へ参加。必要に応じて学校と連携 【ねらい】 学校と地域の相互連携を強め、子どもへの思いを共有しながら地域の子どもを育てる。	【準備過程】 運営委員会の中では、公民館長がコーディネーターとして関わる。	【評価と反省】 学校側の判断で中止 【今後の方針】 学校との連絡を密にしながら連携を図っていきたい。	○	
地域づくり協議会（総会・理事会・部会）	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	13人	【事業内容】 公民館は文化教養部会に属し、部会を開催した。 【ねらい】 地域づくり協議会のなかで、住民が楽しめる行事の企画運営等を担う。	【準備過程】 公民館長が部会長となり、部会を招集する。	【評価と反省】 公民館事業等について協議できた。 【今後の方針等】 必要に応じて地域づくりに係る行事や取り組みについて協議していく。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

《活動方針》

- 1 神林みんなの幸せ計画のもと、一人ひとりが尊重され、共に支え合い、年齢や性別、障がいのあるなしにかかわらず、誰でもが安全で安心して、生き生きと暮らせる神林を目指す。
- 2 住民の自治意識の高揚を図りながら、住民相互の協力関係の掘り起こしと、共通の要望、願い及び問題点を認識し、地域の特性を生かした学習、芸術文化、体育、広報、人権教育及び図書視聴覚活動の推進を図る。
- 3 公民館を中心として、町会、町内公民館、社会教育団体、サークル及び教育機関との連携を進めるなかで、住民主体の「学習ネットワークづくり」の推進を図る。
- 4 「神林の歌」を機会を捉えて住民と歌い、地域の高揚を図る。

評価・反省等

・新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた多くの事業を中止としたが、星空観望会やバスdeおぶ〜など新たな事業を実施することができた。来年度も住民の安全と健康を最優先に考えながら、コロナ禍でもできることを検討し実施していきたい。

・第50回神林ふれあい文化祭では、特別事業として50回の歩みを記録した記念誌の発行や記念展示、蟻ヶ崎高校書道部や波田少年少女合唱団によるステージ発表を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により今年度の実施を見送りとしたが、代替事業として作品展示のみを行う神林作品展示会を実施できた。スタッフのフェイスシールド着用、入場時の体温測定、手指消毒など新しい生活様式に即した形での開催となったが、多くの方が来場した。今回の経験と反省をもとに第50回神林ふれあい文化祭の実施に向けて協議を進めていきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館各種会議等・
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数	1	3	3	4	6	4	2		1	5	1		6
延べ参加人数	12	28	60	99	142	366			32		463		186

	C S	食 育
事業数		1
延べ参加人数		24

令和2年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
今井財産区自然観察会	5月10日	中止	環境	成人	0人	【内容】 ・鉢盛山今井財産区有林の散策及び山菜採取し、調理と会食を行う。 【ねらい】 ・今井財産区の歴史や自然を学ぶ機会とする。	【準備過程】 ・今井公民館が中心となり、企画・運営 【共催団体】 ・今井公民館 ・笹賀公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 【今後の方針】 ・財産区の歴史や自然について学びながら、他地区の住民と交流を深める良い機会となっているため、今後も継続していきたい。		
第12回神林地区体育協会長杯争奪マレットゴルフ大会	7月4日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【内容】 ・男性の部・女性の部それぞれ個人戦にて行うマレットゴルフ大会 【ねらい】 ・地区住民の親睦と健康づくりを図る。	【準備過程】 ・神林地区体育協会役員会にて内容決定 【共催団体】 ・神林地区体育協会 【協力団体】 ・神林マレットゴルフクラブ	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 【今後の方針】 ・新しい生活様式に即した開催方法を検討していきたい。		
流星講演会「流星ってなんだろう」	7月21日	1回	環境	成人	22人	【内容】 ・流星、火球、隕石の世界の話から流星(流れ星)の不思議について考える。 【ねらい】 ・教養の向上	【準備過程】 ・講師と打合せし内容決定	【評価と反省】 ・子どもから大人まで幅広い年代の参加があり、好評だった。その後の星空観察会に繋がる講演会となった。		
神林子ども会夏祭り	7月25日	中止	子育て	青少年	0人	【内容】 ・お楽しみゲーム大会や巨大カステラづくりを実施 【ねらい】 ・子ども達の交流と公民館事業に親しんでもらうことを目指す。	【準備過程】 ・神林地区子ども会育成会が中心となり、企画・運営 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会 ・社会福祉協議会神林支会 ・JA神林支所	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 【今後の方針】 ・子ども達が公民館を身近に感じてもらえるよう、新しい生活様式に即した開催方法を検討していきたい。		
西南ブロック地区球技大会	7月	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【内容】 ・市長杯争奪球技大会の予選会を兼ねた球技大会。 種目：軟式野球、家庭婦人バレーボール 【ねらい】 ・西南ブロック3地区(神林・笹賀・今井)の親睦交流	【準備過程】 ・当番地区を中心に準備・運営 【共催団体】 ・神林地区体育協会 ・笹賀地区スポーツ協会 ・笹賀公民館 ・今井地区体育協会 ・今井公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市長杯争奪球技大会が中止となったため、中止		
夏休みわくわく子ども広場「あつみの公園わくわく体験」	8月3日	中止	子育て	青少年	0人	【内容】 ・国営アルプスあつみの公園大町・松川地区へ行き、クラブ体験と自由遊びを行う。 【ねらい】 ・子ども達の交流と公民館事業に親しんでもらう。また、夏休み中の親の負担軽減も図る。	【準備過程】 ・神林地区子ども会育成会が中心となり、企画・運営 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会 ・社会福祉協議会神林支	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 【今後の方針】 ・新しい生活様式に即した開催方法を検討していきたい。		
史跡めぐり	8月5日	中止	地域文化	成人	0人	【内容】 ・身近な郷土の史跡を訪れる。 【ねらい】 ・身近な郷土の史跡について学ぶとともに仲間づくりを目指して開催	【準備過程】 ・文化委員会にて行先決定	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止ため、中止		
自然観察会	8月7日	中止	環境	成人	0人	【内容】 ・自然観察 【ねらい】 ・自然散策しながら、健康増進、仲間づくりを図る。	【準備過程】 ・図書視聴覚委員会にて行先決定	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
神林スポーツフェスティバル	9月6日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【内容】 ・ニュースポーツ、バラスポーツ体験や体力測定、防災体験 【ねらい】 ・スポーツの楽しさを広め、健康で明るく生き生きと暮らせる神林地区を目指し、住民と交流と絆を深める。	【準備過程】 ・体育委員会にて実施種目などの検討 【主管】 ・神林スポーツフェスティバル実行委員会	【評価と反省】 ・体育委員会にて開催に向けて検討したが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 【今後の方針】 ・新しい生活様式に即した開催方法を検討していきたい。		
第50回神林ふれあい文化祭	10月18日	中止	地域文化	成人	0人	【内容】 ・作品展や地区団体やサークルなどによるステージ発表、公民館利用者による出店やイベントコーナーの実施 ・50回記念事業 ◎ステージ発表 波田少年少女合唱団 鎌ヶ崎高校書道部 ◎特別展示 ◎記念誌発行 【ねらい】 ・地区の芸術・文化及び交流の1年間の集大成の場とし、個人・サークル活動団体の成果を発表する場を提供することにより、地区の芸術・文化の向上を図る。	【準備過程】 ・文化委員会にて内容決定 【主管】 ・神林ふれあい文化祭実行委員会	【評価と反省】 ・文化委員会にて開催に向けて検討したが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。代替行事として令和2年度神林作品展を実施 【今後の方針】 ・新しい生活様式に即した開催方法を検討していきたい。		

令和2年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
神林作品展示会	10月18日	1回	地域事業 (文化)	成人	463人	【内容】 ・個人・サークル・活動団体などによる作品展示 【ねらい】 ・個人・サークル・活動団体の成果を発表する場を提供することにより、地区の芸術・文化の向上を図る。	【準備過程】 ・文化委員会にて内容決定 【主管】 ・神林作品展示会実行委員会	【評価と反省】 ・体温測定、スタッフのフェイスシールド着用など新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらの開催となったが、多くの方にご来場いただけた。 【今後の方針】 ・今回は神林ふれあい文化祭の代替事業として作品展示のみを行ったが、ステージ発表や交流事業も実施できるよう開催方法を検討していきたい。		
人権啓発推進研修	11月16日	1回	人権平和	成人	12人	【内容】 ・満蒙開拓平和記念館の施設見学。 【ねらい】 ・満蒙開拓の悲惨さを学習することで、平和について考える機会とする。	【共催団体】 ・神林地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・満蒙開拓の悲惨さを学び、平和について改めて考える機会となった。 【今後の方針】 ・施設見学以外の人権啓発推進事業も計画・実施していきたい。		
免疫力アップ料理教室	11月17日	1回	福祉健康	成人	12人	【内容】 ・コロナ・インフルエンザに負けないよう免疫力があがる料理を学ぶ。 【ねらい】 ・免疫力があがる料理を学ぶことで、健康増進を図る。	【準備過程】 ・講師と打合せし内容決定	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、調理実習・実食まで行えた。		○
フレイル予防講座	12月15日	1回	福祉健康	成人	16人	【内容】 ・神林食生活改善推進員によるフレイル予防講座やバランスよく食べるポイントの紹介 【ねらい】 ・食という視点からフレイル予防について考える。	【準備過程】 ・神林食生活推進員と打合せし内容決定 【共催団体】 ・神林食生活推進員 ・神林福祉ひろば	【評価と反省】 ・フレイル予防について考える良い機会となった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、料理実習を行えなかったことは残念だった。		○
正月飾りづくり講習会	12月20日	1回	地域文化	その他	18人	【内容】 ・正月飾りづくり（しめ縄など）の講習会 【ねらい】 ・正月飾りづくりを体験する機会を設け、地域文化の大切さを学ぶ。	【準備過程】 ・神林地区子ども会育成会が中心となり、企画・運営 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会	【評価と反省】 ・子どもから大人まで幅広い年齢層の参加があり、多世代交流事業になっている。 【今後の方針】 ・地域文化継承のためにも継続して開催したい。		
地域ケア会議「第23回神林地区の福祉を考える集い」	2月16日	中止	福祉健康	成人	0人	【内容】 報告 ・神林地区の健康に関する状況について ・JAGES健康と暮らしの調査から講演 ・人生会議～人生100年時代を最後まで自分らしく～ 【ねらい】 ・神林みんなの幸せ計画に基づき、一人一人が尊重され、共に支え合い、年齢や性別、障害のあるなしにかかわらず、だれでもが安全で安心して、生き生きと暮らせる神林を目指す。	【準備過程】 ・神林地区地域ケア会議にて内容決定	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。一部報告は神林公民館報の紙面に掲載 【今後の方針】 ・神林みんなの幸せ計画のもと、今後も地域の課題を正確に捉え、だれでもが安全で安心して、生き生きと暮らせる神林を目指したい。		
神林地区球技大会	2月21日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・町会対抗の球技大会。 競技種目：ラージボール卓球、ソフトバレーボール 【ねらい】 ・住民同士の親睦、スポーツ振興、冬季の運動不足解消	【主管】 ・神林地区球技大会実行委員会 【協力団体】 ・神林卓球クラブ ・神林ソフトバレーボール協会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 【今後の方針】 ・新しい生活様式に即した開催方法を検討していきたい。		
西南ブロック地区ゲートボール大会	3月	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・西南ブロック3地区（神林・笹賀・今井）によるゲートボール大会 【ねらい】 ・・西南ブロック3地区（神林・笹賀・今井）の親睦交流	【準備過程】 ・当番地区を中心に準備・運営 【共催団体】 ・神林地区体育協会 ・笹賀地区スポーツ協会 ・笹賀公民館 ・今井地区体育協会 ・今井公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市長杯争奪球技大会が中止となったため、中止		
婦人ソフトバレーボールリーグ戦	5月8日 5月15日 5月22日 5月29日	中止	スポーツ	女性	0人	【内容】 ・神林在住の婦人で構成する町会別チームによる総当たりリーグ戦 【ねらい】 ・住民同士の親睦、健康づくり	【主管】 ・神林婦人ソフトバレーボール大会運営委員会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止		
俳句講座	7月～3月	9回	趣味教養	成人	95人	【内容】 ・俳句の基礎を学ぶ。 【ねらい】 ・教養の向上、仲間づくり	【準備過程】 ・講師と打合せし内容決定	【評価と反省】 ・俳句に興味があり講座をやってほしいという地区内の要望に応え、開講。俳句の基礎を学びながら句会を楽しめている。 【今後の方針】 ・サークル化も検討していきたい。		
ポスターコンクール	7月～9月		地域文化	成人	48人	【内容】 ・画題を神林作品展示会とし、神林の素晴らしいところ、素敵なお店を表現した作品を募集。応募作品は審査会で審査し、入賞者を神林ふれあい文化祭にて表彰する。 【ねらい】 ・地域の魅力再発見と併せて神林作品展示会の周知を図る。	【準備過程】 ・文化委員会にて内容決定	【評価と反省】 ・神林の素晴らしいところ、素敵なお店を表現した作品を募集することで、地域の魅力の再発見と入賞作品を地区内各所に掲示することで神林作品展示会の周知を図ることができた。 【今後の方針】 ・自分たちの住む地域への関心を高めるため、また、神林作品展示会の周知のためにも継続して開催したい。		

令和2年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
神林の歴史を学ぶ	8月21日 9月23日 11月25日 3月26日	4回	地域文化	成人	52人	【内容】 ・神林の歴史について学ぶ講座 【ねらい】 ・歴史を知ることによって神林への地域愛を育む。	【準備過程】 ・講師と打合せし内容決定	【評価と反省】 ・多くの参加者があり大変好評であり、自分たちの住む地域の歴史に関心があることは伺える。 【今後の方針】 ・今後も継続開催したい。		
絵手紙講座	9月～12月	4回	趣味教養	成人	29人	【内容】 ・絵手紙の書き方を学ぶ。 【ねらい】 ・住民同士の交流と生きがいづくり	【準備過程】 ・講師と打合せし内容決定	【評価と反省】 ・絵手紙を学んでみたいという地区内の要望に応え、開講 【今後の方針】 ・来年度からサークル活動		
星空観察会	9月26日 11月22日	2回	環境	成人	77人	【内容】 ・天体望遠鏡で火星・土星・木星・月などの星空観察を行う。 【ねらい】 ・この講座で星に興味を持った子が将来宇宙飛行士になったら嬉しい。	【準備過程】 ・図書視聴覚委員会にて内容決定 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会	【評価と反省】 ・あいにくの空模様で星空観察が行えなかったため、雨天用に用意していた星座の講演に変更。2回目を企画し、星空を観察することができた。子ども会育成会と共催したことで、子どもにも大勢ご参加いただけた。 【今後の方針】 ・図書視聴覚委員の主要事業として来年度以降も実施していきたい。		
バスdeおぶ～	10月27日 11月5日 11月13日 11月30日	4回	その他	成人	32人	【内容】 ・西部地域コミュニティバスを利用しておぶ～を訪れる。 【ねらい】 ・西部地域コミュニティバスの利用促進	【共催団体】 ・神林地区地域ケア会議 ・松本市地域公共交通協議会	【評価と反省】 ・参加者から大変好評だった。 【今後の方針】 ・高齢者の運転免許返納後の移動手段の1つとして定着するよう今後も継続して開催したい。		
初心者そば打ち講習会	11月19日 12月17日 3月17日	3回	地域文化	成人	24人	【内容】 ・そば打ち名人を講師にお招きし、そば打ちについて学ぶ。 【ねらい】 ・そば打ち文化の継承と仲間づくり	【準備過程】 ・講師と打合せし内容決定	【評価と反省】 ・そば打ち名人に指導していただき、大変好評であった。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。		○
パソコン喫茶	通年	8回	趣味教養	成人	82人	【内容】 ・ワード、エクセルの使い方を学ぶ。講座終了後は参加者とコーヒーを飲みながら交流をする。 【ねらい】 ・初心者から中級者まで、気軽にパソコンに触れられる機会を作りながら、住民同士の交流を図る。	【準備過程】 ・神林地区福祉ひろばと共に講師と打合せし内容決定 【共催団体】 ・神林地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・学習をしながら住民同士の交流を深めることができた。4月、5月、1月、2月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。		
ボールペン字講座	通年	10回	趣味教養	成人	160人	【内容】 ・綺麗な文字の特徴を学び、模写した文字を講師が添削する。 【ねらい】 ・ボールペンを使用して綺麗な文字の習得を目指す。	【準備過程】 ・講師と打合せし内容決定	【評価と反省】 ・参加者の学習意欲が高く真剣に受講している。4月、5月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 【今後の方針】 ・サークル化も検討していきたい。		
子育て支援講座	通年	5回	子育て	家庭教育	60人	【内容】 ・パネルシアター、バッククッキングなど 【ねらい】 ・未就園児の親子のふれあいと親同士の親睦交流		【評価と反省】 ・幼少期における仲間とのふれあいや親同士の親睦交流を図れた。 【今後の方針】 ・要望に応じた内容で今後も継続して開催したい。		
神林ソフトバレーボールリーグ戦	通年	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 ・神林地区内を主としたソフトバレーボールチームによる総当たりリーグ戦 【ねらい】 ・住民同士の親睦、健康づくり	【共催団体】 ・神林ソフトバレーボール協会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止		
運営委員会	随時	6回	公民館委員会・各種会議等	成人	41人	【内容】 ・事業計画・予算の審議、事業報告・決算の審議。地区行事開催可否の審議		【評価と反省】 ・より一層の公民館活動の充実を図りたい。		
館報編集委員会	随時	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	82人	【内容】 ・松本市公民館報神林版の企画編集		【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症により地区行事・町会行事の多くが中止となり、紙面づくりに苦労したが、郷土の偉人の紹介など新たな視点での公民館報づくりに取り組めた。 【今後の方針】 ・例年の記事内容に捉われず、新たな視点での公民館報づくりを進めていきたい。		
図書視聴覚委員会	随時	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	10人	【内容】 ・自然観察会などの図書視聴覚活動の実施、図書コーナーの整頓		【評価と反省】 ・自然観察会は中止としたが、新たに星空観察会を企画実施できた。 【今後の方針】 ・恒例となっている活動以外にも新たな活動などを実施していきたい。		
体育委員会	随時	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	27人	【内容】 ・神林スポーツフェスティバル、神林地区球技大会の内容検討及びスポーツ振興		【評価と反省】 ・神林スポーツフェスティバル、神林地区球技大会は中止としたが、体育委員会の組織の見直しなどの取り組みができた。 【今後の方針】 ・新しい生活様式に即した体育行事のあり方を検討していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
文化委員会	随時	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	26人	【内容】 ・神林ふれあい文化祭、史跡めぐり、ポスターコンクールの企画実施及び文化、芸術の向上を図る。		【評価と反省】 ・神林ふれあい文化祭は中止としたが、代替として神林作品展覧会の実施ができた。 【今後の方針】 ・新しい生活様式に即した文化行事のあり方を検討していきたい。		
地区内関係諸団体との事業共催及び活動支援	随時		公民館委員会・各種会議等	その他		【内容】 ・神林地区体育協会、神林地区こども会育成会、神林地区人権啓発推進協議会などとの事業共催及び活動支援		【評価と反省】 ・各団体の自主性を尊重しつつ、連携を深めた活動ができた。 【今後の方針】 ・引き続き各団体の自主性を尊重しつつ、連携を深めていきたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】
 【運営方針】
 ・地域住民の幅広い要望や課題を反映した地域づくりに活かされる学習活動を展開し、住民自治力の向上を図る。
 ・町内公民館および地区内関係団体、学校との連携協力を図る。
 ・地域づくりや地域の人材育成の機会となるような事業の運営を図る。
 ・地域住民の要望に合わせて、地域の歴史・文化の伝承の機会となるような事業の運営を図る。

【重点的に取り組んだ事項】
 ・コロナ禍における事業の開催可否について、笹賀地区各町会の意向をできるだけ尊重した。地域住民や関係役員の健康面、安全面を第一に考え、事業等について無理に開催することのないよう慎重に検討した。

・毎年恒例の事業の多くが中止となるなかで、文化祭作品展示会のウェブ版や、新型コロナウイルスに関する人権啓発メッセージ掲載のオリジナルクリアファイルを作製し全戸配布するなど、例年になく取り組みを行った。

評価・反省等

・コロナ禍のなかで、恒例の事業は軒並み中止となった。毎年、事業への参加を楽しみにしている方からの中止を残念に思う声もあったが、この状況では仕方ないという声が地域の意見の大半だったと感じた。事業の開催可否を検討する会議自体を行うことも難しい状況であり、各町会の意見を吸い上げると消極的で慎重な意見が多くなってしまっていた。感染対策を行っている縮小開催などの案も受け入れられなかった。

・今後の感染拡大状況やワクチン接種の状況にもよると思われるが、地域住民が少しでも安心して参加できる事業を企画していく必要性を感じた。また、町内公民館対抗球技大会などのように数十年に渡り地域住民の交流に大きな役割を果たしてきた恒例事業や、地域の伝統行事がコロナの影響で潰れてしまわないような配慮もしていきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等
	平和権	福祉健康	子育て	環境	文化地域	教養趣味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	1		4	1	3	1	1			8	2		4
延べ参加人数			182				34				12		133

	C S	食 育
事業数		2
延べ参加人数		

令和2年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
里山観察会と山菜の調理実習	5月10日 (日)	中止	環境	成人		【事業内容】 今井、神林、笹賀の3地区の共催事業として例年実施している鉢盛山の今井財産区有林の散策と山菜の調理実習 【ねらい】 今井、神林、笹賀地区の住民同士の交流と財産区の歴史や自然について学ぶ。 【地域文化】	【準備過程】 今井公民館が中心となり、企画運営 【共催団体等】 今井公民館 神林公民館	【評価と反省】 恒例の事業として、3地区の交流にもつながっている。募集の段階から調理・会食が中止となる可能性も含め案内していたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況により、里山観察会も含め事前中止とした。 【今後の方針等】 継続実施するとともに笹賀、神林の特色を活かした共催事業についても検討していきたい。		
笹賀地区ウォーキング大会	5月31日 (日)	中止	地域事業 (体育)	成人		【事業内容】 地区事業として例年実施しているウォーキング大会。地区内のウォーキングに合わせて史跡巡りを実施している。 【ねらい】 地区住民の交流と健康維持を図るとともに、地区の文化財について学ぶ機会とする。 【地域文化】 【健康福祉】	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施 【共催団体等】 笹賀地区福祉ひろば 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会 笹賀地区交通安全協会	【評価と反省】 例年多くの参加申し込みがあり、地区住民の健康づくりにつながるとともに、地区内の文化財等を知っていただく良い機会となっている。今年度は、検討段階から新型コロナウイルスの拡大状況により事前に中止決定とし、公民館ニュースにて周知した。 【今後の方針等】 地区内でコースを検討し、継続実施していきたい。		
笹賀地区町内公民館対抗球技大会	7月5日 (日)	中止	地域事業 (体育)	成人		【事業内容】 地区行事として例年実施している町内公民館対抗の球技大会。ソフトバレーボール、ソフトボールの2種目 【ねらい】 地区住民の交流、親睦と健康維持を図る。 【健康福祉】 【スポーツ】	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施。 【共催団体等】 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会	【評価と反省】 例年、多くの町会から若年層から高齢者までの幅広い年齢層の参加があり、地区住民の親睦を深め、世代間交流にもつながっている。観客も含め参加者が多いため、盲野中学校体育館会場で密を避けることは困難との判断から事前に中止とした。 【今後の方針等】 数十年続いている恒例行事が潰れてしまうことのないよう、体育委員とともに開催方法について検討していきたい。		
笹賀地区マレットゴルフ選手選考会	7月	中止	地域事業 (体育)	成人		【事業内容】 市民体育大会の選手選考会を兼ねたマレットゴルフ大会 【ねらい】 地区住民の健康維持を図る。 【健康福祉】 【スポーツ】	【準備過程】 地区スポーツ協会を中心に企画実施 【共催団体等】 笹賀地区スポーツ協会	【評価と反省】 市民体育大会の選手選考を兼ねて行っている。市民体育大会中止に伴い開催中止とした。 【今後の方針等】 周辺施設を活用し、多くの方が参加できるような内容の企画を検討したい。		
西南ブロック球技大会	7月	中止	地域事業 (体育)	成人		【事業内容】 市長杯争奪球技大会のブロック予選を兼ねた今井、神林、笹賀の3地区による球技大会 軟式野球とママさんバレーボールの2種目 【ねらい】 3地区の交流事業として実施 【スポーツ】	【準備過程】 当番地区を中心に準備、運営を行う。今年度は笹賀地区が当番地区 【共催団体等】 笹賀地区スポーツ協会 神林地区体育協会 今井地区体育協会 神林公民館 今井公民館	【評価と反省】 市長杯争奪球技大会の予選も兼ねて毎年実施しており、3地区の交流にもつながっている。市長杯争奪球技大会および市民体育大会の中止に伴い、開催中止とした。 【今後の方針等】 3地区の交流事業として今後も継続実施したい。できるだけ多くの選手が参加できるように開催時期を調整していきたい。		
子ども会育成会夏休み事業	7、8月	中止	子育て	青少年		【事業内容】 地区内小中学生親子を対象とした公演会や体験教室等。例年2事業を行う。市内で活動する人形劇団やジャグリングクラブ等から講師を派遣。 【ねらい】 公演会や体験教室を通して子どもたちの豊かな心を育てることを図る。	【準備過程】 子ども会育成会を中心に企画実施。 【共催団体等】 笹賀地区子ども会育成会	【評価と反省】 例年は、夏休み中に2事業を行っている。ここ数年は継続して人形劇公演を開催していることで参加対象者への認知も少しずつ広まってきたところだったが、今年度はコロナ対策により開催中止とした。学校からPTAに対して地区行事等への自粛要望もあったとのこと。 【今後の方針等】 小中学生、PTA、育成会の声を聞きながら、子どもたちにとって良い経験となる行事を行ってきたい。		
子ども会お楽しみ会	8月	中止	地域事業 (体育)	青少年		【事業内容】 子どもたちの企画運営によるお楽しみ会。 小学生から中学生までみんなが楽しめるような競技を子どもたちが主となり検討 【ねらい】 地区内小中学生の交流の場として実施。 企画段階から子どもたちが運営に参加することで、キャリア教育の場とする。 【子育て】	【準備過程】 各町会子ども会の会長を中心に企画内容を決定。 当日は、中学生を中心に運営 【共催団体等】 笹賀地区子ども会育成会	【評価と反省】 子どもたち自身の企画運営によるお楽しみ会として毎年実施しているが、新型コロナウイルス対策のため中止となった。例年、中学生が積極的に意見を出し、下級生たちをうまくまとめている姿が印象的。子どもたちにとって良い経験の機会がなくなってしまうことは非常に残念に思う。 【今後の方針】 毎年、子どもたちの企画で実施している。子どもたちの自主的な企画・運営を尊重する中で、適切にフォロー、アドバイスしていきたい。 安全面はもちろん、低学年の子どもも飽きないような企画を意識していきたい。		
笹賀地区親睦グラウンドゴルフ大会	9月13日 (日)	中止	地域事業 (体育)	成人		【事業内容】 運動会に代わる地区事業として例年実施している親睦グラウンドゴルフ大会 【ねらい】 年齢を問わず誰でも参加できるグラウンドゴルフ大会を行い、地区住民の親睦と交流を図る。 【スポーツ】	【準備過程】 公民館、体育委員を中心に企画実施 【共催団体等】 笹賀地区町会連合会 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会	【評価と反省】 例年、幅広い年齢から多くの参加があり、町会を越えて地区住民の交流につながっている。事務局から感染対策を行った開催案を提案し、体育委員会により開催可否を検討したが、中止を望む町会が一定数あったため、中止の判断となった。 【今後の方針等】 地区住民の親睦、交流の場として今後も実施していきたい。暑さ対策について特に注意したい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
笹賀地区文化祭	10月25日 (日)	中止	地域事業 (文化)	成人		【事業内容】 地区住民の文化活動の発表の場として、作品展示会、ステージ発表会を実施。 その他にも、各種団体による催し物や抽選会などを実施 【ねらい】 日頃の文化活動の発表の場を設けることにより、地域の活性化、地区住民の交流を図る。	【準備過程】 町内公民館長、町内公民館主事にて文化祭実行委員を組織し、実行委員を中心に企画運営 【共催団体等】 笹賀地区福祉ひろば 笹賀地区各種団体 笹賀地区内企業	【評価と反省】 日頃の文化活動の発表の場としてステージ発表、作品展示会ともに多くの参加がある。例年より早い段階から実行委員会を開催し、感染症対策を行った開催案等について検討したが中止の判断となった。作品展示会のみ開催することも最後まで検討されたが、従来の形式の文化祭は全面的に中止となった。 【今後の方針等】 地区の一大事業として継続実施していくが、新たな出品者や出演者の掘りおこしや新しい企画等について、実行委員や関係団体と協議しながら検討していきたい。		
笹賀地区web作品展 示会	10月～	1回	地域事業 (文化)	成人	12人	【事業内容】 中止となった笹賀地区文化祭の代替企画。作品展示会のウェブ版として地域住民から募集した手作り作品の写真等を松本市公式ホームページ内の笹賀公民館のページに掲載 【ねらい】 日頃の文化活動の発表の場を設けることにより、地域の活性化、地区住民の交流を図る。	【準備過程】 町内公民館長、町内公民館主事にて組織された文化祭実行委員会で出された案を採用。公民館にて作品募集、写真撮影、ホームページ掲載 【共催団体等】 笹賀地区福祉ひろば	【評価と反省】 中止となった文化祭作品展示会の代替企画。公民館ニュースなどで作品募集したが、応募作品は少なかった。例年の作品出品者などにも声を掛けたが、出品者には高齢者も多く、ホームページ掲載という形式に反応は薄かった。コロナ禍での日頃の活動発表の場のあり方について、今後の研究が必要と感じた。 【今後の方針等】 地域住民の日頃の活動発表の場として作品展示会は継続実施していきたいが、感染症対策との両立等について実行委員や関係団体と協議しながら検討していきたい。		
もちつき大会	12月	中止	地域文化	青少年		【事業内容】 小中学生、幼児親子を対象とした杵と臼を使ったもちつき大会 【ねらい】 各家庭では少なくなった「もちつき」を体験し、日本の伝統文化・食文化への理解を深める。 【子育て】	【準備過程】 子ども会育成会を中心に企画・実施 【共催団体等】 笹賀地区子ども会育成会	【評価と反省】 例年多くの参加があり、家族で伝統文化に触れる機会となっている。もちつきは屋外で行うため、感染症対策をしたうえでの開催に向け、役員会議で検討した。調理会場などでの密を避けられない場面が想定されたため、結局中止の判断となった。育成会で最も人数が集まる事業であるため、来年度以降も継続できるよう検討していきたい。 【今後の方針等】 親子共に伝統文化に触れる良い機会であるので、継続実施していきたい。		
ふるさとの伝統行事 と郷土食	1月	中止	地域文化	青少年		【事業内容】 小中学生親子を対象に郷土食の調理実習と郷土食に関わる伝統行事についての学習を実施。 「三九郎のまゆ玉」 【ねらい】 郷土食の調理実習を通して、郷土の食文化、伝統文化の次世代への継承を図る。	【準備過程】 地区食生活改善推進員と相談し企画実施 【共催団体等】 笹賀地区食生活改善推進員	【評価と反省】 親子で郷土食や伝統行事に触れる良い機会となっている。例年、三九郎に合わせたまゆ玉づくりが好評だが、食生活改善推進員の調理実習自粛の方針と、三九郎を中止とする町会も多かったため、中止の判断とした。 【今後の方針等】 地区には様々な伝統行事や郷土食があるので、内容を検討し、継続実施していきたい。		○
笹賀地区町内公民館 対抗卓球大会	1月26日 (日)	中止	地域事業 (体育)	成人		【事業内容】 地区行事として例年実施している町内公民館対抗の卓球大会 【ねらい】 地区住民の交流、親睦と健康維持を図る。 【健康福祉】 【スポーツ】	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施 【共催団体等】 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会	【評価と反省】 未経験者でもラッキーが続き、皆が楽しめるように平成28年度からラージボール卓球に変更している。高齢者から中学生までの幅広い世代からの参加があり、町内の世代間交流や親睦につながっている。例年、公民館の多目的ホールを会場に応援の観客を含む多くの参加者があり、密を避けることが難しいため中止の判断となった。 【今後の方針等】 体育委員とともに良い形での開催を検討していきたい。		
男の料理教室	2月	中止	趣味教養	成人		【事業内容】 男性を対象とした料理教室と会食。 毎年、健康に関するテーマを設定し開催。調理実習の前には管理栄養士から食事バランスについての講義も行う。 【ねらい】 調理実習を通して食生活の改善を図るとともに、退職後の男性などに対して地域での交流の機会をつくることもねらって実施	【準備過程】 地区食生活改善推進員を中心に企画実施 【共催団体等】 笹賀地区食生活改善推進員	【評価と反省】 例年、参加者の交流の場になるとともに、管理栄養士からの講義の時間もあり、普段の食生活を見直す良い機会となっていたが、食生活改善推進員の調理実習自粛の方針により中止。前年の参加者からは今年度も参加したいとの声をいただいていたため残念だった。 【今後の方針等】 今後も定期的に実施していきたいが、地元産食材を取り入れる等の工夫もしていきたい。また、参加者同士の交流も進んできており、今後その繋がりを活かした地域での活動も模索していきたい。		○
育成会3地区合同会 議	3月15日 (月)	1回	公民館委 員会・各 種会議等	成人	12人	【事業内容】 笹賀、今井、神林の3地区の子ども会育成会事業についての情報交換会 【ねらい】 3地区の子ども会育成会事業について情報交換することで、課題の共有や解決策を探る。	【準備過程】 当番地区子ども会育成会が中心となり企画実施。 今年度は笹賀地区が当番地区 【共催団体等】 笹賀地区子ども会育成会 今井地区子ども会育成会 神林地区子ども会育成会 今井公民館 神林公民館	【評価と反省】 各地区で育成会事業の多くが中止となっていたが、コロナ禍での対応を中心に情報交換を行った。事業を開催したい気持ちと子どもたちや保護者の健康を守りたい気持ちのバランスに各地区苦慮していた。 【今後の方針等】 地区により状況が異なるため、共有が難しい面も多少あるが、各地区の育成会が盛り上がっていくよう今後も情報交換を継続していきたい。		

令和2年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
人権啓発メッセージ クリアファイル作製 配布事業	3月26日 (金)	1回	人権平和	成人		【事業内容】 例年行っている人権講座、人権視察研修、人権コンサート等の代替企画 【ねらい】 新型コロナに関する差別を含めた人権課題について地域住民に啓発することを目的とした。	【準備過程】 人権啓発推進協議会を中心に企画実施 【共催団体等】 笹賀地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 各人権事業がコロナ禍で開催できなかったための代替企画。新型コロナに関する差別を含めた人権課題の啓発のため、人権啓発メッセージを掲載したオリジナルのクリアファイルを作製、地区内に全戸配布した。少しでも啓発メッセージを見てもらえるよう、日常に活用できるA4クリアファイルとした。窓口などで地域の方が実際に使用している姿も見られた。 【今後の方針等】 様々な人権課題の中から、地域・時代に合った内容で事業を企画実施していきたい。		
西南ブロックゲート ボール大会	3月	中止	地域事業 (体育)	成人		【事業内容】 今井・神林・笹賀の3地区によるゲートボール大会 【ねらい】 今井、神林、笹賀3地区の親睦と交流を図る。 【健康福祉】 【スポーツ】	【準備過程】 当番地区スポーツ・体育協会が中心となり企画実施。今年度は笹賀地区が当番地区 【共催団体等】 笹賀地区スポーツ協会 今井地区体育協会 神林地区体育協会 今井公民館 神林公民館	【評価と反省】 毎年恒例の行事として実施しているが、競技人口の減少もあり、参加チームが減少傾向となっている。高齢者を中心に多人数が集まる屋内競技場での開催のため、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症対策により中止の判断となった。 【今後の方針等】 競技団体、各地区の意向を聞きながら、継続して開催していきたい。		
笹賀地区子ども会育 成会だよりの発行	3月	中止	子育て	青少年		【事業内容】 子ども会育成会で開催した事業内容の記事を中心に育成会だよりの発行、町会全戸配布 【ねらい】 子ども会育成会で実施した事業の報告および来年度以降の参加を促す。また、事業の感想について子どもに原稿依頼することで、参加したことへの思いを深めてもらうと、地区住民へ行事の楽しさを伝える。	【準備過程】 育成会教養部を中心に事業に参加した子どもへの原稿依頼、編集会議の開催	【評価と反省】 例年、子どもたちの個性が良くでている文章が集まり、カラー写真も多く掲載し、行事の楽しさの伝わる内容になっている。新型コロナウイルス感染症対策のため事業がほぼ開催できず、今年度の発行は見送りとなった。 【今後の方針等】 育成会役員は1年任期の方が多いため、来年度以降も継続して発行できるように、事前説明などの準備をしていきたい。また、原稿依頼について特定の町会に偏らないようにしていきたい。		
町会親睦ソフトバ レー	5月16日 (土) ～ 11月6日 (金)	4回	スポーツ	成人	34人	【事業内容】 長年開催されてきた町会対抗ママさんバレーボールリーグの代替企画。町会親睦ソフトバレーとして令和元年度から開催 【ねらい】 地区住民の健康増進、町会を越えた交流の場として町会親睦ソフトバレーを開催し、継続実施を目指す。【地域事業(体育)】	【準備過程】 町会親睦ソフトバレー運営委員会を中心に企画実施	【評価と反省】 昨年度末に開催した運営委員会により5月～11月の12回開催を企画。第1～4回は新型コロナウイルス感染症対策のため開催延期。第5～8回は開催することができたが、感染拡大の状況と参加人数減少により第9～12回は再び中止となった。体を動かしたいとの声もあったが、ボール等による接触もあるスポーツのため開催については慎重な判断とした。 【今後の方針等】 コロナ禍のなかで運営委員会を開催することができていない。感染状況が落ち着いてきた頃に、再開に向けて計画を立てていきたい。		
子どもと本の集い	通年	8回	子育て	家庭教育	142人	【事業内容】 地区内未就園児親子を対象にした絵本を介した子育て支援事業。えほんの読み聞かせのほか、季節の行事に合わせた工作等を実施 【ねらい】 地区内未就園児親子の居場所づくり、仲間作りの場として実施	【準備過程】 おはなしの会「すがのっくる」が中心となり企画・運営 【共催団体等】 おはなしの会「すがのっくる」 笹賀地区福祉ひろば	【評価と反省】 多くの未就園児親子が参加しており、交流、仲間作り、相談の場になっている。また、季節の伝統行事に合わせて工作等を実施するなかで、親が伝統文化について学ぶ機会にもなっている。新型コロナウイルス感染症対策により11回企画のうち、3回が中止の判断となった。 【今後の方針等】 「すがのっくる」の自立した活動ではあるが、子育て、親育ちの場として、継続して支援していきたい。		
笹賀おやこ教室	通年	2回	子育て	家庭教育	40人	【事業内容】 地区内未就園児親子を対象とした奇数月実施の親子講座。お話し会、夏まつりの開催、おもちゃ工作、調理実習、施設見学等を実施 【ねらい】 様々な体験を通して、親子でともに成長する場として実施。また、地区内未就園児親子の居場所づくり、仲間づくりの場としても期待	【準備過程】 地区内親子サークル「笹賀おやこクラブ」を中心に企画運営 【共催団体等】 笹賀おやこクラブ 笹賀地区福祉ひろば	【評価と反省】 多くの未就園児親子が参加しており、交流、仲間作り、相談の場の一つになっている。新型コロナウイルス感染症対策のため、思うように開催できなかったが、感染状況が比較的落ち着いていた秋頃に2事業を開催。感染対策の徹底や事前予約等により、運営役員も含めた親子皆で楽しむ姿を見ることができた。 【今後の方針等】 自身で企画運営に携わり、親子がともに成長していく場として継続して実施していきたいが、役員の担い手不足に加えコロナの影響もあり、今後の継続が難しくなってきている。		
公民館ニュースの発 行	通年	11回	地域文化	成人		【事業内容】 毎月公民館ニュースを発行、地区内全戸配布している。松本市公式ホームページに同内容のPDFデータを公開している。 【ねらい】 公民館事業等の地区内への周知を図る。	【準備過程】 公民館で紙面を考え、発行	【評価と反省】 毎月全戸配布で発行しており、公民館事業の周知方法の一つとなっている。沢山ある配布物の中で埋もれてしまったり、町会未加入者等の配布物が届かない方の増加などの課題もある。市ホームページへの掲載も行っているが、周知方法の更なる充実を検討していきたい。 【今後の方針等】 一つの周知方法として継続発行していきたい。情報をどんな方に伝えたいのかを考え、事業により対象にあった周知方法を検討していく必要があると感じる。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
館報編集委員会	通年	12 回	公民館委員会・各種会議等	成人	64人	【事業内容】 館報編集委員会を開催し、笹賀公民館報紙面の企画、校正を行う。 【ねらい】 地域の話題を掘り出し地区住民に知ってもらうことで、地域に興味や親近感を持ってもらう。あわせて公民館事業の報告等も行う。	【準備過程】 館報編集委員を中心に、紙面の企画および校正を行う。	【評価と反省】 館報編集委員の自主性により、紙面の企画校正を行った。編集委員は一本釣りであり、幅広い情報収集のためにも各町会から新規委員の勧誘が必要 【今後の方針等】 地域の情報を積極的に入手し、紙面のマンネリ化が起きないように心掛けていきたい。また新編集委員の掘り出しも継続して行っていきたい。		
体育委員会	通年	2 回	公民館委員会・各種会議等	成人	28人	【事業内容】 体育委員会を開催し、地区体育行事の企画、運営を行う。ウォーキング大会、球技大会、グラウンドゴルフ大会、卓球大会等 【ねらい】 体育委員で地区スポーツ大会の要項や参加申し込み方法等について確認および協議し、当日運営がスムーズに進むよう準備する。 【地域事業（体育）】	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施	【評価と反省】 コロナ禍における体育事業の開催可否について検討した。すべての体育事業について対面の会議を行うことはできなかったが、必要に応じて書面等により町会の意向確認を行った。 【今後の方針等】 引き続き体育委員会を開催し、各事業の運営を円滑に行えるようにしたい。また公民館ニュースの内容変更にも余裕をもって対応できるよう、委員会の開催日に注意したい。		
文化祭実行委員会	通年	2 回	公民館委員会・各種会議等	成人	29人	【事業内容】 文化祭実行委員会を開催し、笹賀地区文化祭の企画、運営を行う。 【ねらい】 文化祭実行委員で協力しあいながら、ステージ発表、作品展示、抽選会などの係分担により、地区住民の力でより良い文化祭を開催する。	【準備過程】 公民館文化委員、図書視聴覚委員を中心に企画実施	【評価と反省】 コロナ禍での文化祭開催可否について、例年より早い時期に参加人数を絞った実行委員会で検討した。作品展示会のみ開催も最後まで検討されたが、従来の文化祭は全面中止の結論となった。委員からでた一案として、笹賀公民館ホームページに作品の写真を掲載する案について採用、実施することができた。 【今後の方針等】 多くの地区住民が楽しみにしている文化祭を絶やすことなく継続していけるように、地区住民が協力しあい運営できるよう助力していきたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】
 ・コロナ禍において、人気講座・新規講座を考え、通常の生活を取り戻せるような工夫をし、事業を展開する。

・土地区画整理事業等による人口増を始め、松本国際高等学校開校や村井駅再整備など地域が様変わりしてきている現状と合わせ、子どもが多いという特色がある。

・地域住民が１万７０００人を超えるため、マスコミ等も活用した地区の活動の周知等情報の発信に力を入れる。

・地域で子どもを育てることに力を入れ、学校・地域と連携し、長期休暇の居場所づくりとして公民館を開放する。

・小学校・中学校と連携し、公民館や地域を知ってもらう活動をする。

・小学校での活動を地域に知ってもらうため、文化祭での展示を充実する。

・既存の住民と新しい住民が一体となれるような事業の展開や、芳川地区をより深く知る講座の開催をし、自分の住む地域に愛着を持ってもらうことを目指す。

評価・反省等

・事業や講座など、経常的なものについては、三密を回避する工夫をし、展開ができました。一方で、人数制限を設けた講座もあり、参加したい住民に断りをいれてしまい、学習の意欲をそいでしまった。

・地域住民の声から、出張たいそう講座＆公民館長講話を実施しました。町内公民館に向いた講座を行うことで活動の輪が広がることを実感しました。町内公民館との連携の重要性と今後のコロナ禍における講座の展開について改めて考える機会となりました。今後も継続し、地区公民館だけではできない活動を町会と協力しながら行いたい。

・筑摩野中学校との連携事業で長期休暇の公民館開放を行いました。自主学習の場として継続的に参加してくれる生徒もおり、公民館が学校に根付いた活動ができ、次年度以降も継続していきたい。

・学校と連携したまちあるき授業を行い、児童に地域を知ってもらう・興味を持ってもらうことができ、芳川の歴史を次世代に伝える活動ができた。これをきっかけに親世代にも興味を持ってもらう仕組みづくりをしていきたい。

・公民館講座をきっかけに、住民が更なる学びを深めるため、主体的に新しいサークルを立ち上げたため、支援を行いました。今後も主体性を大事にし、地域から何かに取り組みたいという声を逃さず、黒子となり、地域の力を活かしていきたい。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種 委員会 等・
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数	3	4	5		2	1	10		2	4	3	2	8
延べ参加人数	23	324	645		151	330	1129		87		116	130	642

	C S	食 育
事業数	7	1
延べ参加人数	385	400

令和2年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
第17回芳川公民館長杯ソフトバレーボール大会	4月19日	中止	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 生涯スポーツであるソフトバレーボールを楽しめる機会を提供することにより親睦や体力向上を図る。 【ねらい】 地区内外の参加者との交流の場として考える。	【準備過程】 体育協会ソフトバレーボール役員と芳川ソフトバレーリーグ戦参加チームの協力により資料や景品等準備 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 松本平広域公園内の駐車場に限りがあるため、関係団体と調整をして万全の体制を整えたい。		
芳川公民館運営委員会	5月1日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	24人	【事業内容】 地区役員へ芳川公民館の元年度の事業報告と2年度の事業計画案を説明 【ねらい】 公民館事業の推進及び委員会活動の活性化を図る。	・芳川町会連合会 ・町内公民館長 ・芳川小学校校長 ・芳川小学校PTA ・筑摩野中学校校長 ・筑摩野中学校PTA ・芳川地区子ども会育成会長 ・民生児童委員協議会長 ・健康づくり推進員会長 ・交通安全協会支部長 ・農村女性委員会 ・体育協会理事 ・館報編集委員長	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から書面開催とした。 【今後の方針】 次年度以降も今回の反省を踏まえ、講座や公民館運営を円滑に行うために必要に応じ開催する。		
芳川地区人権啓発推進協議会視察研修	6月	中止	人権平和	成人	0人	【事業内容】 人権学習の視察 【ねらい】 人権問題を考えていただく機会とした視察研修	【準備過程】 視察先について協議会と事前打合せを行い視察先を決定 【共催団体】 芳川地区男女共生を進めると共催	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 人権学習は視察が恒例となっているが、視察にこだわらず、時代に即した内容を行ってきたい。		
第46回芳川地区体育大会	7月5日	中止	地域事業(体育)	その他	0人	【事業内容】 芳川地区内の各町会対抗の体育大会 【ねらい】 地区住民体力向上及び交流の場として考える。	【準備過程】 芳川地区体育大会実行委員会と内容を協議 【共催団体】 芳川町会連合会 芳川体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 競技に關しての調整、危機管理の調整等を芳川体育協会と協力して進めていきたい。		
第28回芳川地区マレットゴルフ大会	7月	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【事業内容】 芳川地区住民によるマレットゴルフの親睦大会 【ねらい】 地区住民同士の交流、親睦を目的とするもの	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 交流、親睦の場として、次年度も実施したい。		
おたのしみ会「ケイスケのバントマイムサーカス」	8月8日	中止	子育て	青少年	0人	【事業内容】 園児や小学校低学年向けのお楽しみ会 【ねらい】 園児や小学校低学年を対象に、親子で一緒に楽しんでもらうバントマイムショー	【準備過程】 【共催団体】 芳川地域づくり協議会 芳川各保育園 芳川各幼稚園	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 人気もあり、次年度も実施したい。		
第45回東南ブロック球技大会	8月30日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【事業内容】 バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の6競技による6地区対抗 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。		
ふれあいウォーク	9月29日 10月15日 11月4日	3回	福祉健康	その他	48人	【事業内容】 コロナ禍における代替ウォーキング。3日程開催し、人数の分散を図り、市街地のウォーキングを実施 【ねらい】 歩きながら松本市の歴史等を学ぶ。また体力増進を図る。	【準備過程】 【共催団体】 芳川福祉ひろば	【評価と反省】 毎年恒例の芳川ふれあいウォーキングの代替として実施した。館長の解説付きで行い、当初2回としていたが、申込者多数のため急遽3回目を実施。各回市街地の異なる箇所を巡った。 【今後の方針】 好評だったため次年度も行う。		
芳川小学校6年4組まあるき	10月7日	1回	地域事業(文化)	青少年	32人	【事業内容】 芳川小学校の児童とまあるきをしながら、地区の歴史を学ぶもの 【ねらい】 芳川小学校の児童に地域の歴史を知ってもらう。	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 まあるきをしながら解説をすることでより身近に地域を感じてもらうことができた。学校からも好評であった。 【今後の方針】 地域に興味を持つ事業を展開していきたい。	○	
V.S芳川マッチ	10月25日	中止	地域事業(その他)	青少年	0人	【事業内容】 芳川地区の芳川っ子が一堂に集まり、中学生のお兄さんお姉さんの指導のもと、レクリエーション遊びを行う。 【ねらい】 地区内で3つの小学校に通う子どもの交流の場として考える。	【準備過程】 筑摩野中学校生徒と町別児童会の子ども達が自分たちで遊ぶ内容等を決める。 【共催団体】 芳川地域づくり協議会 芳川地区子ども会育成会 芳川小学校PTA 開明小学校PTA CSふたむら	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 毎年好評のため、次年度も行う。コロナ禍でも子どもたちが楽しめる工夫をより多く取り入れたい。	○	
第2回芳川公民館長杯野清緑地オープン・マレットゴルフ大会	10月26日	1回	スポーツ	成人	29人	【事業内容】 生涯スポーツであるマレットゴルフを楽しめる機会を提供することにより親睦や体力向上を図る。 【ねらい】 地区内の参加者との交流の場として考える。	【準備過程】 体育協会マレットゴルフ役員と野清緑地マレットゴルフ愛好会の協力により景品等準備 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 地区内から多くの参加者が集まった。 【今後の方針】 駐車場に限りがあるため、関係団体と調整をして万全の体制を整えたい。		

令和2年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
子育て支援講座	10月	中止	子育て	成人	0人	【事業内容】 子育て支援講座 【ねらい】 心の伝え方実施し、子育てから少し離れてからだをリラックスさせる時間を設ける。	【準備過程】 【共催団体】 いちごくらぶ	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 芳川地区は子育て世代が多いため、次年度も考えたい。		
令和2年度芳川地区文化祭	11月7日 11月8日	中止	地域事業（文化）	成人	0人	【事業内容】 芳川地区文化祭 【ねらい】 各サークルの発表・展示、ドリームコンサートなど日頃の活動の成果発表の場とする。文化活動を通して地区住民の輪を広げ絆を深めることを目的とする。	【準備過程】 文化委員と協力して計画 【共催団体】 芳川地区文化祭実行委員会 芳川地区福祉ひろば 芳川公民館利用団体 CSふたむら	【評価と反省】 実行委員会を開き、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 コロナ禍における文化祭を考えていきたい。	○	
ニューススポーツ体験会	11月15日	1回	スポーツ	その他	22人	【事業内容】 ニューススポーツの体験会 【ねらい】 気軽にできるニューススポーツを地区の方々に知ってもらう。 地区の体育大会で正式種目として導入をしたため、各町会の研鑽の場としても活用してもらう。	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新しい種目も導入したが、コロナ禍のため、人数を制限した。ニューススポーツを知る機会となったと好評であった。 【今後の方針】 ニューススポーツを地区内で認知されてきており、町内公民館の事業などでも活用され始めている。身体を動かす機会としてニューススポーツを取り入れたい。		
案笑レクゲーム	11月15日	中止	地域事業（体育）	その他	0人	【事業内容】 地区の皆さんが気軽に参加できる軽運動の集い 【ねらい】 楽しく笑いながら気軽に参加できるレクリエーションで健康・体力作りを目指す。	【準備過程】 芳川地域づくり協議会の健康と福祉部会が内容等を検討 【共催団体】 芳川地域づくり協議会 芳川体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 多世代参加イベントとして、一般参加者を増やせるような声がけや取組を行ってきたい。		
いきいき体操講座	11月16日 12月7日 12月14日	3回	スポーツ	成人	38人	【事業内容】 運動不足解消と参加者同士のコミュニケーション 【ねらい】 新型コロナウイルス感染症の影響で身体を動かす機会の減少、人とのコミュニケーションをとる機会の減少を危惧し、少人数で集まる機会を作る。	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 コロナ禍の新規事業。運動不足とコミュニケーション不足の解消の場となった。 【今後の方針】 好評のため、体操講座を定期的に開催したい。		
マレットゴルフ交流会	11月	中止	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 東南部6地区合同でマレットゴルフ大会を開催 【ねらい】 他地区との交流を深める。	【共催団体等】 寿、寿台、内田、松原、 芳川地区公民館と共催	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 他地区との交流、健康増進に繋がる取組みであるため、今後も継続したい。		
しめ縄づくり事前講習	12月3日	1回	地域文化	成人	15人	【事業内容】 地域の伝統であるしめ縄作りを体験してもらおう。コロナ禍のため、今まで参加した方に限定し、実施 【ねらい】 正月飾りであるしめ縄づくりを通して地域の伝統文化の継承を目的とする。また、参加者には芳川小学校のしめ縄作り講習会のボランティアを担ってもらう。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 人数制限のため、今まで参加した方に限定して実施。技術を高めた。 【今後の方針】 次年度は広く募集をし、ボランティアの養成につなげる。		
しめ縄づくり講習会	12月8日	1回	地域文化	青少年	136人	【事業内容】 毎年芳川小学校5年生を対象に行っているしめ縄作り教室 【ねらい】 正月飾りであるしめ縄づくりを通して地域の伝統文化の継承を目的とする。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 クラスごとに地域ボランティアが実演をし、子ども達がしゃもじを作成した。しめ縄作りに興味を持ってもらった。 【今後の方針】 伝統文化の敬称は地域の課題のため、次年度も実施していきたい。	○	
第24回ソフトバレーボール祭	12月13日	中止	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 芳川地区ソフトバレー愛好家による親睦大会 【ねらい】	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 次年度も実施予定。また体協役員に当日の運営を全てお願いしていく予定		
もちつき大会	1月	中止	子育て	家庭教育	0人	【事業内容】 毎年恒例のもちつき大会 【ねらい】 地区住民を対象に公民館工作室で餅つき。伝統文化の継承、また住民間の交流を目的として行う。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 毎年好評をいただいているため、次年度も実施したい。		
芳川地区人権啓発ふれあいコンサート	2月	中止	人権平和	その他	0人	【事業内容】 人権啓発ふれあいコンサートと題し、楽団ケ・セラの皆さんを招いてコンサートを実施 【ねらい】 障がいを持つ方々が音楽を通じて自立を目指すケ・セラの活動を通じて、障がいを持つ人への理解と人権問題を身近に感じてもらうため。	【準備過程】 楽団ケ・セラと協力して計画 【共催団体】 芳川地区男女共生を進める会 芳川地区福祉ひろば NPO法人ケ・セラ	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 次年度はやってほしいという意見が多かったので、人権啓発事業として考えたい。		

令和2年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
才教学園歴史授業	2月24～26日	3回	地域事業 (文化)	青少年	84人	【事業内容】 才教学園3年生に向けた芳川の歴史と昔の遊びの授業 座学と街あるき 【ねらい】 芳川地区の学校として、地域を知ってもらう機会にする	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 学ぶ姿が積極的で、地域を知っていただく学習の機会となった。 【今後の方針】 今後も継続的に行いたい。		
ナンバ歩き講座	3月8日	1回	福祉健康	成人	12人	【事業内容】 運動不足解消と健康歩行の仕方 【ねらい】 新型コロナウイルス感染症の影響で身体を動かす機会の減少、人とのコミュニケーションをとる機会の減少を危惧し、少人数で集まる機会を作る。	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 コロナ禍の新規事業。運動不足解消と健康歩行の仕方の場となった。 【今後の方針】 外出の機会を増やせる講座を定期的に開催したい。		
人権料理講習会	3月10日 3月16日	2回	人権平和	成人	23人	【事業内容】 海外の料理を学び、理解を深める。 【ねらい】 異なる文化を持つ外国を料理から学ぶ料理教室	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区男女共生を進める会 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 中華料理について中信多文化ネットワークから講師を招いた。芳川地区福祉ひろばとの共催のため、参加しやすい仕組みづくりをした。 【今後の方針】 次年度は違う外国の料理を学べるように計画したい。		
春休みファミスポDAY	3月28日	中止	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 春休みの期間に家族や仲間でスポーツを楽しんでもらう。 【ねらい】 親子のふれあいや友人の交流を通じて地域の絆作りと健康増進を図る。	【準備過程】 公民館にて企画、運営。 【共催団体】 芳川体育協会	新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止。 【今後の方針】 令和3年度にあらためて実施予定。		
芳川地区セーフティマップ作成	3月	1回	その他	青少年	20人	【事業内容】 芳川小学校の通学路や安心の家の情報を載せたマップの作成 【ねらい】 子どもを守る安心の家の通学路マップを作成し、小学校1年生や転入生に配布する。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区防災防犯協会 芳川小学校 芳川小学校PTA	【評価と反省】 今年も各種協力団体と連携してスムーズにマップが作成できた。 【今後の方針】 1年生の保護者からも好評なので、次年度も作成していきたい。	○	
食育学級	4月～12月	7回	子育て	家庭教育	400人	【事業内容】 食についての思いを深め、家庭での手作りの大切さに気付いてもらう 【ねらい】 じゃがいもや野菜等を植える、育てる、収穫、調理を通して、食文化への関心を高め、自分で収穫した野菜を使い地元の伝統食の継承を目的とする。	【準備過程】 【共催団体】 芳川保育ゆりかご会	【評価と反省】 毎年好評の事業であり、地区外からも申し込みがあったが、コロナ禍ということもあり、7組の参加となった。 食育と農育の両面を持ち、参加者から好評であった。 ※4・5月は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 次年度も内容の更なる充実を図り、実施していく。また、共催団体の構成員の高齢化等により同規模の活動が年々厳しくなっているため、畑の管理を地域住民に協力してもらうなどして、講座を維持できるように取り組みたい。		○
芳川シニア短期大学	6月～3月	16回	趣味教養	高齢者	330人	【事業内容】 高齢者の生きがいづくり・仲間づくりを求めた学習講座 6月～3月 毎月2回 (木曜日の午後を実施) 分散型開催、同じ内容を2日程	【準備過程】 参加者のアンケート結果を元に講師を決定 【共催団体】	【評価と反省】 新しい参加者が増え高齢者の生きがいづくりとして定着。また男性の参加者も多く、人気の講座となっている。 ※1～3月は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 内容を考え、次年度も実施していきたい。		
健康体操教室	7月～10月	8回	福祉健康	高齢者	90人	【事業内容】 芳川地区住民の健康増進を目的とした講座を開催 7月～10月 (金曜日の午前に実施)	【準備過程】 参加者のアンケート結果を元に講師を決定 【共催団体】	【評価と反省】 コロナ禍において、フレイル予防のため、高齢者が運動できる機会となった。参加者が大幅に減ってしまった。 【今後の方針】 参加者数が維持できるような方策も考えたい。		
芳川バレーボール交流親睦試合	7月～12月	6回	スポーツ	女性	210人	【事業内容】 バレーボールのリーグ戦の代替として実施 【ねらい】 芳川地区内外のバレーボール愛好家3チームによる交流親睦試合	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 コロナ禍において、リーグ戦の開催を断念し、交流親睦試合とした。けが人等なく、スムーズな運営ができた。 【今後の方針】 歴史あるリーグ戦のため、次年度以降も継続していきたい。		
芳川ソフトバレーボール交流親睦試合	7月～12月	10回	スポーツ	成人	480人	【事業内容】 ソフトバレーボールのリーグ戦の代替として実施。 【ねらい】 芳川地区内外のソフトバレーボール愛好6チームによる交流戦	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 コロナ禍において、リーグ戦の開催を断念し、交流親睦試合とした。けが人等なく、スムーズな運営ができた。 【今後の方針】 歴史あるリーグ戦のため、次年度以降も継続していきたい。		

令和2年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
ブレイススクールほか	7月～3月	8回	子育て	家庭教育	245人	【事業内容】 未就園児を対象とした親子の講座 【ねらい】 体を動かしたり、読み聞かせを聞いたり、あらゆる経験を通し、感性豊かな成長を目的とすると同時に、親同士の交流・情報交換の場を提供している。	【準備過程】 【共催団体】 芳川民生児童委員協議会 芳川保育ゆりかご会	【評価と反省】 人数制限を設けたため、昨年度より参加する親子の数が減少したが、一人ひとりの距離が近く、講座を通して繋がりが生まれた。芳川地区の親子の居場所となるような講座を展開したい。 ※1月は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 次年度も継続実施したい。工夫をして、参加者が増える取組みをしたい。		
第43回ソフトボールリーグ戦	7月～9月	3回	スポーツ	成人	350人	【事業内容】 ソフトボールのリーグ戦 【ねらい】 芳川地区6町会のソフトボールチームによる交流戦	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 例年2周りのリーグ戦であるが、コロナ禍のため、1周りとした。けが人等なかったが、雨天中止等で全日程を消化できなかった。 ※2回は雨天で中止 【今後の方針】 歴史あるリーグ戦なので継続していきたい。		
出張たいそう講座&芳川公民館長講話	10月～12月	12回	福祉健康	成人	174人	【事業内容】 運動不足解消と地域の話 【ねらい】 新型コロナウイルス感染症の影響で身体を動かす機会の減少、人とのコミュニケーションをとる機会の減少を危惧し、少人数で集まる機会を作る。	【準備過程】 場所・講師の日程調整、内容確認 【共催団体】 芳川地域づくり協議会健康・福祉部会	【評価と反省】 コロナ禍の新規事業。住民からは地区公民館に行くのは遠いが町内公民館なら歩いて行ける、館長の話はためになると好評いただいた。 【今後の方針】 地区公民館だけではなく活動を継続して行いたい。		
公民館開放 (夏・冬・春)	通年	34回	地域事業 (その他)	青少年	130人	【事業内容】 筑摩野中学校生徒が学習をするために芳川公民館の会議室を提供した。 【ねらい】 Wi-Fi環境など整った場所を提供し、学生の学習を支援する。	【準備過程】 公民館長がコーディネーターとして計画の集約及び実施 【共催団体】 CSふたむら運営委員会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行いながら、生徒の学習する場を提供できた。 【今後の方針】 引き続き、新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら計画したい。	○	
日本語講座	毎週木曜日	26回	その他	その他	67人	【事業内容】 外国人向けの日本語教室 【ねらい】 毎週1回、芳川地区在住の外国籍の方を対象に日本語教室を開催。地域内での外国籍の方の人材発掘と交流を目的としている。	【準備過程】 芳川地区のボランティアの方に講師をお願いしている。 【共催団体】	【評価と反省】 松本市内での日本語教室の数が少なく、最近では地区外の方も来ている。ボランティアの数が増えたが、受講者の方が減っている。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止期間あり。(計12回) 【今後の方針】 今後も地区内外を問わず、外国籍の方の学習補助の教室として行っていきたい。また受講者・ボランティア募集にも力をいれていきたい。	○	
あいさつ3・3運動	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	青少年		【事業内容】 あいさつ運動 【ねらい】 毎月3のつく日に、水色のサポーターベストを着て小学生の通学時にあいさつをすることによって、世代間を超えた交流を図る。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区子ども会育成会	【評価と反省】 サポーターの高齢化により、発足当時よりサポーター数が減少してしまった。 【今後の方針】 今後は地区内の回覧など積極的にサポーターを募集し、活動を推進したいと考えている。		
町内公民館長会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	16人	【事業内容】 町内公民館の活動報告等 【ねらい】 芳川地区の町内公民館活動への助言等	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 町内公民館との連携については、情報交換・交流等積極的に連携を心掛けているが、連携が不足している部分が多い。 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から書面開催とした。 【今後の方針】 次年度は連携を強化できるよう、町内公民館長会の回数を増やすなど交流の場を増やしたい。		
文化・図書視聴覚委員	7月	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	30人	【事業内容】 文化祭準備 【ねらい】 文化祭実行委員会と協力して、芳川地区文化祭の準備を行う。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区文化祭実行委員会	【評価と反省】 文化祭を新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止としたため、1回の開催とした。 【今後の方針】 コロナ禍における文化祭を考えていきたい。		
館報編集委員会	毎月1回	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	80人	【事業内容】 館報芳川版の発行。毎月1回開催	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区館報編集委員会	【評価と反省】 編集委員がなかなか都合が合わず、取材に行けないケースが目立ち、1人の負担が大きくなってしまった。 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から縮小開催期間あり(5、6、1～3月) 【今後の方針】 全ての編集委員に楽しみながら活動を行ってもらえるような体制を築いていきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
体育委員会	随時	1 回	公民館委員会・各種会議等	成人	92人	【事業内容】 各種体育事業の企画・運営 【ねらい】 体育委員会活動の活性化を図る。	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からイベントやそれに伴う会議が中止となり、例年よりも活動が減った。 【今後の方針】 コロナ禍におけるスポーツについて考える期間となり、次年度以降に活かしたい。		
サークル活動支援	随時	1 回	公民館委員会・各種会議等	その他	200人	【事業内容】 公民館利用サークルの活動支援 【ねらい】 公民館利用サークルへの運営補助・助言等	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 本年度は活動するにあたって、公民館の不足品や故障しているものを整備し、利用しやすいように準備した。 【今後の方針】 利用者が利用しやすいように館内の整備につとめ、利用サークル間の交流も深められるよう配慮したい。		
芳川地区関係団体活動の支援	随時	1 回	公民館委員会・各種会議等	その他	200人	【事業内容】 芳川地区関係団体活動支援 【ねらい】 芳川地区関係団体の活動が、円滑に行えるように支援する。	芳川地区人権啓発推進協議会 芳川地区男女共生を進める会 芳川地区福祉ひろば推進協議会 芳川地区子ども会育成会	【評価と反省】 関係団体の活動支援をスムーズに行えた。 【今後の方針】 これからも関係団体が円滑に活動できるよう支援する。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】

- 1 寿地区地域づくり協議会の３つの専門部会（総務・福祉・子ども部会）での議論を基に「学び」への結び付けを行った。
- 2 学校応援団活動を軸とした公民館事業への取り組みを図り、地域住民と児童・生徒の皆さんの関わりを創出することで、子どもを中心とした地域づくりの推進を図った。
- 3 年間を通しての連続講座及び単発形式で学習機会、住民同士の親睦の場を提供した。
- 4 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、一部公民館事業を計画及び工夫して開催した。

評価・反省等

- 1 地域課題解決のための地域づくり学習会を開催した。次年度の事業についても計画し、地域の課題解決につながるように学びの面で関わっていききたい。
- 2 学校応援団やコミュニティスクールについて、引き続きコロナ対策を行いながら、その他関係団体との連携を密に行って計画したい。より多くの地域住民に関わってもらいながら住民主体での活動につなげていきたい。
- 3 体育委員会の主催する視察研修について、企画から立案、現地への下見、当日の運営まで住民が主体的に実施をすることが出来たが、経験豊富でベテランの人材がそろっていたことが大きな要因だと感じる。担い手不足や役員の高齢化が進んでいくと予想される中で、人材の掘り起こしに関して力を入れていきたい。
- 4 新型コロナウイルスの対策を行いながら、3密を避けた少人数の講座を多数開催することができた。いろいろなニーズを汲み取りながら次年度以降も進めていきたい。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公 民 館 委 員 会 ・ 各 種 会 議 員 等
	平 人 和 権	福 健 祉 康	子 育 て	環 境	文 地 化 域	教 趣 養 味	ス ポ ー ツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数	2	2	2	-	3	6	5	-	8	4	3	3	4
延べ参加人数	81	14	6	-	47	13	665	-	758	-	56	1171	280

	C S	食 育
事業数	5	-
延べ参加人数	1785	-

令和2年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
春の撮影講座	4月16日	中止	趣味教養	成人	0人	【事業内容】 視聴覚委員会が撮影講座を企画し、施設見学や写真撮影を行う。撮影後は参加者の撮影写真を公民館に展示【ねらい】 写真撮影の技術力向上と住民の作品展示を促す。	【主催】 視聴覚委員会、寿公民館 【準備過程】 視聴覚委員会が企画	【評価と課題】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルス感染の状況を確認しながら計画し、開催したい。		
公民館運営委員会	4月22日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	32人	【事業内容】 寿公民館事業における前年度事業報告及び新年度事業計画の検討を実施【ねらい】 寿公民館活動の推進をはかる。	【組織構成】 地区役員に委嘱	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、町会長、町内公民館長、民生児童委員長、副委員長のみに開催した。 現在は報告が中心となっている。 【今後の方針】 地区内の多くの役員が集まる機会であるため有効活用できるような内容を検討する。		
ウォーキング講座「春のウォーキング」	5月29日	中止	福祉健康	成人	0人	【事業内容】 体育委員長を講師として県内でウォーキングを開催【ねらい】 ウォーキングを通じて健康増進と住民相互の親睦を図る。	【主催】 体育委員会、寿公民館 【準備過程】 体育委員会が企画	【評価と課題】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 多くの参加者が集う人気講座であるため、健康づくりの一環として年1、2回程度企画していきたい。		
第53回寿地区駅伝大会	5月24日	中止	地域事業(体育)	その他	0人	【事業内容】 12町会対抗の駅伝大会を実施【ねらい】 地区住民相互の親睦と融和を図る。	【主管】 寿地区駅伝大会実行委員会 【主催】 寿体育協会、寿公民館 【協力】CSふたむら 【準備過程】 寿体育協会が主となり、準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度はコロナ対策をした上でウォーキング大会を開催したい。	○	
寿地区地域づくり学習会	6月10日 6月18日	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	60人	【事業内容】 講師の方から寿地区や地域づくりについて学ぶ勉強会を開催した。【ねらい】 町会長、町内公民館長、民生児童委員長等の方々にご参加いただき、地域づくりについての理解を深める。	【主体組織】 寿地区地域づくり協議会 【準備過程】 地域づくり推進会議、部会長、小委員会にて企画	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策を行いながら開催することができた。 【今後の方針】 次年度も引き続き情報共有・課題解決に向けて開催したい。		
託児ボランティア養成講座	6月11日 7月14日	2回	その他	成人	10人	【事業内容】 子どもの事故防止、救命救急を内容としたボランティア養成講座を実施【ねらい】 地区内で託児ボランティアとして活動してくれる人材を養成するとともに、こどもに対する幅広い知識を多くの人に身に付けてもらう。	【主催】 寿地区地域づくり協議会 子ども部会、寿地区福祉ひろば、寿公民館 【準備過程】 子ども部会にて企画、公民館で実施	【評価と課題】 6月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度以降も新規ボランティアの養成及び既存会員の研修として実施したい。		
第73回寿地区球技大会	6月28日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【事業内容】 野球、排球、ソフトバレーボール(39歳以下、40歳以上)、ソフトボール、卓球の5種目による12町会対抗の球技大会を実施【ねらい】 地区住民相互の親睦及び健康増進を図る。	【主管】 寿地区球技大会実行委員会 【主催】 寿体育協会、寿公民館 【協力】 CSふたむら 【準備過程】 寿体育協会が主となり、準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルス感染の状況を確認しながら計画し、開催したい。	○	
令和2年度公民館利用団体工事説明会	8月23日	1回	その他	成人	23人	【事業内容】 工事期間中の公民館利用、公民館への要望の聞き取り、地区文化祭の開催について説明会を実施【ねらい】 公民館や利用サークルの情報交換を行い、公民館管理運営の向上を図る。	【準備過程】 公民館にて企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策をした上で開催し、情報共有をすることができた。 【今後の方針】 次年度は必要に応じて開催したい。		
第13回寿地区子連れコンサート	8月29日	1回	地域事業(文化)	家庭教育	56人	【事業内容】 子育て中の親子を対象に大会議室にてコンサートを実施【ねらい】 子育て中の親子に本物の音楽に触れてもらう機会の提供	【主催】 192サロン運営委員会 【準備過程】 192サロン運営委員会にて企画、実施	【評価と反省】 地区在住のマリンバ奏者、バイオリン奏者、ピアノ奏者に演奏依頼をした。新型コロナウイルス感染対策をした上で開催し、参加者からは大変好評であった。 【今後の方針】 次年度も引き続き計画し、開催したい。		
第45回東南ブロック球技大会	8月30日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【事業内容】 バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフの5競技による6地区対抗【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会にて企画、準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度は新型コロナウイルスの状況により相談しながら決定していきたい。		
第9回寿地区福祉の文化祭	9月16日	中止	地域事業(文化)	その他	0人	【事業内容】 障がい者と地域住民、児童が発表やふれあいを通じて学ぶ文化祭を実施し、地区内施設マップ、紹介文を作成し参加者に配布した。【ねらい】 障がい者との交流を通じて、誰もが住みやすいまちづくりを目指す。	【主管】 寿地区福祉の文化祭実行委員会 【共催】 寿地区地域づくり協議会 寿地区社会福祉協議会 【準備過程】 実行委員会にて企画、準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度は公民館にて平日開催したい。福祉の文化祭の意義や目的を住民によりわかりやすく発信していきたい。	○	
ウォーキング講座「秋の旧国鉄篠ノ井線廃線敷ウォーキング」	9月30日	1回	福祉健康	成人	14人	【事業内容】 体育委員長を講師として旧国鉄篠ノ井線廃線敷を巡るウォーキングを開催【ねらい】 ウォーキングを通じて健康増進と住民相互の親睦を図る。	【主催】 体育委員会、寿公民館 【準備過程】 体育委員会が企画	【評価と課題】 体育委員会が主体的に企画を行った。天候にも恵まれ、参加者から好評であった。 【今後の方針】 引き続き次年度もコロナ対策をした上で計画し開催したい。		

令和2年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
令和2年度寿地区住民運動会	10月18日	中止	地域事業 (体育)	その他	0人	【事業内容】 世代を超えた多くの住民が参加できる社会体育事業として住民運動会を実施 【ねらい】 住民相互の親睦及び団結、健康の増進を図る。	【主管】 寿地区運動会実行委員会 【主催】 寿体育協会、寿公民館 【協力】 CSふたむら 【準備過程】 実行委員会で企画、寿体育協会が主に準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度は新型コロナウイルスの状況により相談しながら決定していきたい。	○	
秋の撮影講座	10月19日	中止	趣味教養	成人	0人	【事業内容】 市外で撮影講座を実施し、撮影後は参加者の撮影写真を公民館に展示する。 【ねらい】 技術力向上と住民の作品展示を促す。	【主催】 視聴覚委員会、寿公民館 【準備過程】 視聴覚委員会が企画	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度は新型コロナウイルスの状況により相談しながら決定していきたい。		
文化祭協賛事業「第4回ニューススポーツ体験会」	10月25日	1回	スポーツ	その他	21人	【事業内容】 寿地区文化祭協賛事業として、ニューススポーツを楽しむ会協力による体験会を実施した。 【ねらい】 ニューススポーツを広く知ってもらいとともに、健康増進を図る。	【主催】 体育委員会、ニューススポーツを楽しむ会、寿公民館 【準備過程】 体育委員会と連携して企画、実施	【評価と反省】 ニューススポーツを知っていただく機会として、寿体育協会の方々も含め参加してもらった。スポーツをとおして住民同士が親睦する場にてきた。 【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルスの状況を確認しながら開催したい。		
文化祭協賛事業「第32回寿地区史跡巡り」	10月31日	1回	地域文化	その他	47人	【事業内容】 寿地区文化祭協賛事業として、寿史談会による解説つきで、寿地区の史跡(百瀬コース)を巡った。 【ねらい】 地区の歴史や史跡を知ってもらい、地域に愛着をもってもらう。	【主催】 寿子ども会育成会、寿史談会、寿福祉ひろば、寿公民館 【準備過程】 史談会、育成会と連携して企画、実施	【評価と反省】 史跡スタンプラリー及び認定証の授与を実施し、子どもに楽しんでもらいながら地区の歴史について学んでもらえた。 【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルス感染の状況を確認しながら計画し、開催したい。		
第43回寿地区文化祭	11月8日	中止	地域事業 (文化)	その他	0人	【事業内容】 地区住民の文化活動の発表の場として、作品展示及びステージ発表会を実施 【ねらい】 寿地区における文化向上と、世代を超えた住民相互のふれあいの場とする。	【主管】 寿地区文化祭実行委員会 【主催】 寿地区町内公民館長会 寿公民館 【協力】 CSふたむら 【準備過程】 実行委員会で企画、公民館、町内公民館長会、九鳥島の会で準備、実施	【評価と反省】 新型コロナ感染拡大を受け、作品展示のみの開催を実行委員会にて提案したが、中止となった。 【今後の方針】 次年度は新型コロナウイルス感染の状況を確認しながら、作品展示のみでも開催できるよう内容を検討したい。	○	
寿地区人権学習講座「星に語りて～Starry Sky～」上映会	11月18日	3回	人権平和	成人	61人	【事業内容】 障がい者や周囲を取り巻く人々、その人権について描いた映画の上映を午前の部、午後の部、夜の部に分けて実施。 【ねらい】 映画の鑑賞をとおして障がい者や人権について考え、意見交換して理解を深める。	【主催】 寿地区人権啓発推進協議会(寿公民館)、寿地区福祉ひろば、社会福祉法人アルプス福祉会、特定非営利活動法人ハートラインまつもと 【共催】 寿地区地域づくり協議会福祉・子ども部会 【準備過程】 福祉ひろば、寿公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行った上で開催できた。コロナ禍での障がい者の人権について考え、情報や感想を共有する機会となった。 【今後の方針】 大変好評であったため、次年度も新型コロナウイルス感染の状況を確認しながら計画し、開催したい。		
町会別人権懇談会	11月30日	1回	人権平和	成人	20人	【事業内容】 町会単位で町内公民館を会場とした人権懇談会を実施(寿田町町会) 【ねらい】 人権をテーマに語り合う場をつくる。	【共催】 人権啓発推進協議会町内公民館長会 【準備過程】 町会で企画し公民館で実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策をした上で、人権に関するDVD鑑賞会を行った。地域住民の人が集まり、身近な人権について共有する機会となった。 【今後の方針】 引き続き、対象町会に対して人権懇談会の場を設けてもらいたい。		
クリスマスリースを作る講座	12月14日	1回	趣味教養	成人	12人	【事業内容】 講師に指導いただきながら、クリスマスリースをつくる講座を開催した。 【ねらい】 ものづくりを通して参加者同士の仲間づくりを図る。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行った上で、少人数で開催できた。少人数のため、かえって講師が一人一人時間をかけて教えることができた。 【今後の方針】 大変好評だったため、引き続き計画し開催したい。		
お正月飾りを作ろう講座	12月25日	1回	趣味教養	成人	12人	【事業内容】 講師に指導いただきながら、正月のしめ縄飾りをつくる講座を開催した。 【ねらい】 ものづくりを通して参加者同士の仲間づくりを図る。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行った上で、少人数で開催できた。少人数のため、かえって講師が一人一人時間をかけて教えることができた。 【今後の方針】 大変好評だったため、引き続き計画し開催したい。		
フルーツカービング講座	1月21日 1月29日	2回	趣味教養	成人	13人	【事業内容】 フルーツカービングの講師に指導いただきながら、冬のフルーツを彫って飾り付ける講座を実施した。 【ねらい】 趣味を通じた仲間づくりを図る。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 食べ物を扱う講座であったが、新型コロナウイルス感染対策を行った上で開催できた。参加者同士が親睦を深められる機会となった。 【今後の方針】 好評であったため次年度も新型コロナウイルス感染の状況を確認しながら計画し、開催したい。		
令和2年度公民館利用者懇談会	3月6日	1回	その他	成人	25人	【事業内容】 公民館利用サークルの顔合わせ、公民館への要望の聞き取りを実施 【ねらい】 利用サークル同士の交流や情報交換を促し、要望の集計を通じた公民館管理運営の向上を図る。	【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行った上で開催できた。懇談会前に行う一斉清掃もあわせ、サークル同士の顔合わせをすることができた。 【今後の方針】 次年度も引き続き公民館を気持ちよく利用してもらえるよう、サークル利用者からの要望や意見を聞いていきたい。		

令和2年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
おやじ学級3日講座	11月25日 3月23日	2回	スポーツ	その他	12人	【事業内容】 講師に指導いただきながら、音楽をかけて気軽に体を動かす講座を開催した。 【ねらい】 運動を通して参加者同士の仲間づくりを図る。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行った上で、少人数で開催できた。 【今後の方針】 次年度は毎月1回連続講座として計画し開催したい。		
正しい歩き方講座	7月16日 7月25日 7月30日 10月15日 10月19日 10月29日	6回	スポーツ	その他	44人	【事業内容】 正しい準備運動や歩き方を学び、寿地区内をウォーキングする。 【ねらい】 運動することで健康増進と住民同士の親睦を深める。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行った上で、少人数で開催できた。 【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルス感染の状況を確認しながら計画し、開催したい。		
寿小学校にこにこルーム応援隊（出前）	通年	7回	その他	その他	386人	【事業内容】 寿小学校の教室をにこにこルームと名付け、2時間目の休み時間に児童と地域住民の昔遊びを通じた交流を実施 【ねらい】 寿小学校内に当たり前のように地域住民が出入りしているような、地域に開かれた学校づくりを目指す。	【主催】 寿小学校にこにこルーム応援隊 【共催】 寿地区地域づくり協議会 【準備過程】 にこにこルーム応援隊と企画、調整、実施	【評価と課題】 各教室に出張という新しい形でにこにこルームを開催し、地域住民と児童が交流をすることができた。 【今後の方針】 学校と連携し、十分にコロナ対策を行った上で工夫しながらにこにこルームを行いたい。	○	
寿小学校にこにこルーム応援隊消毒作業	6～7月	31回	その他	その他	228人	【事業内容】 学校からの依頼により教室の消毒作業を実施する。 【ねらい】 小学校でコロナ対策を行いながら、住民同士の交流する場にする。	【主催】 寿小学校にこにこルーム応援隊 【共催】 寿地区地域づくり協議会 【準備過程】 にこにこルーム応援隊と調整、実施	【評価と課題】 新型コロナウイルス対策を行った上で教室の消毒作業を協力して実施できた。 【今後の方針】 学校の依頼に応じて実施したい。	○	
寿ナイターソフトボールリーグ	4月～10月	中止	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 今年で39年目となる、寿地区内の町会対抗ナイターソフトボールリーグ戦を実施 【ねらい】 ソフトボールを通じた健康増進と、参加者同士の親睦を図る。	【運営】 寿地区ナイターソフトボールリーグ理事会 【準備段階】 上記理事会で準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度は新型コロナウイルスの状況により相談しながら決定していきたい。		
気楽に歌おう会	5月～3月	中止	趣味教養	成人	0人	【事業内容】 公民館に集まり、ジャンルを超えて気楽に歌を歌う講座 【ねらい】 地域住民と歌うことで健康増進と仲間づくりを進める。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 新型コロナウイルスの状況により相談しながら決定していきたい。		
寿ご近所大学	5月～2月	中止	健康福祉	高齢者	0人	【事業内容】 前期4回後期4回で、健康、認知症をテーマに実施する。 【ねらい】 地区住民にいつまでも地区で暮らしてもらうことを目的とし、会の中でお茶会を設け、住民同士の親睦を図るとともに身近な悩みなどを拾い出す機会とする。	【主催】 寿地区地域づくり協議会 高齢者部会、寿地区福祉ひろば、寿公民館 【準備過程】 高齢者部会で企画、公民館で実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度は新型コロナウイルスの状況により相談しながら決定していきたい。		
寿地区地域づくり協議会専門部会	8月26日 9月23日 1月20日	3回	公民館委員会・各種会議等	成人	151人	【事業内容】 寿地区地域づくり協議会において総務・福祉・子どもの専門部会をつくり、実践的な取り組みを行う。 【ねらい】 各部会ごとに意見交換や学習会を通じて、地区内の課題解決を推進する。	【主体組織】 寿地区地域づくり協議会 【準備過程】 地域づくり推進会議、部会長、小委員会で企画	【評価と反省】 1月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 コロナ対策をした上で開催できた。地区の役員住民が地域についての知り、意見交換を行う貴重な機会となった。 【今後の方針】 次年度も引き続き、各部会毎に実践的な取り組みができるよう情報共有・課題解決に向けての意見交換を図る。		
子育て支援192サロン	5月～2月	7回	子育て	家庭教育	178人	【事業内容】 子育て中の親同士の交流の場の提供、子育てのヒントとなる講座、行政情報の提供などを行った。 【ねらい】 地域の中で、子育て家庭同士がつながり、必要な情報を得ることが出来る支援を行う。	【組織構成】 民生児童委員協議会・食生活改善推進協議会・健康づくり推進委員会・福祉ひろば 【協力】 つどいの広場 【準備過程】 192サロン運営委員会で企画、実施	【評価と反省】 5、6、11月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 会場を変更するなどコロナ対策しながら寿児童センターと協力・情報を共有して集客、内容の充実を図れた。 【今後の方針】 引き続きコロナ感染対策を行った上で、計画・開催していきたい。		
寿古文書基礎講座	6月～3月	7回	地域文化	成人	78人	【事業内容】 歴史講座のひとつとして、古文書の読み方を学ぶ。今年度のテーマは寿の幕末の出来事を読み解く。 【ねらい】 古文書の読解を通じて、歴史文化、教養の向上を図る。	【主催】 寿史談会、寿公民館 【準備過程】 公民館で実施	【評価と反省】 6、1、2月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 最終回で修業式を実施し、修業証書の授与や記念品を用意することでモチベーションの向上を図った。 【今後の方針】 根強いリピーターがいるため次年度も継続し、内容について検討して新規参入を図りたい。		
公民館報の発行	隔月	6回	その他	その他	84人	【事業内容】 地区内の情報や、公民館の活動報告などの発信 【ねらい】 館報による情報発信を通じて、地区内の情報を多くの人に周知する。	【主体組織】 館報編集委員会 【準備過程】 館報編集委員会で企画会議及び編集会議を実施	【評価と反省】 会議では内容について委員から意見が集まり、計画通り円滑に運営することができた。 【今後の方針】 引き続き、新型コロナウイルス感染対策を徹底して開催したい。		

令和2年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
学校応援団事業	通年	23回	地域事業 (その他)	青少年	1,073人	【事業内容】 地域と学校が一体となって、子どもたちの健全育成に取り組む事業。歴史学習、里山体験学習、豆腐作り学習、田植え体験、農業体験など 【ねらい】 地域の伝統、歴史、くらしを子どもたちに伝える。またそこに関わる人たちの生きがいがつくり、生涯学習の成果を発揮する場としての側面も持つ。	【組織】 寿地区学校応援団 【準備過程】 公民館長がコーディネーターとして学校の要望を集約し地域住民との調整を実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くの事業が中止となったが、小学生たちとさまざまな年代の地域ボランティアが交流でき、地域の伝統や学びを教える場となった。 【今後の方針】 引き続き関係団体から意見及び要望を聞き連携をとって、感染対策を行いながら地域住民と子どもが交流できる場づくりをしていきたい。	○	
C Sふたむら	通年	3回	地域事業 (その他)	青少年	2人	【事業内容】 中学生に地区・町会・福祉施設行事(駅伝大会、運動会、文化祭など)へスタッフとして参加をしてもらう。 【ねらい】 地域行事への参加や地区住民との交流を通じて、学校の中だけでは学ぶことの出来ない社会教育を地域、学校が連携のもと推進する。	【組織】 C Sふたむら運営委員会 【準備過程】 公民館長がコーディネーターとして計画の集約及び実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のためほとんどの事業が中止になった。 【今後の方針】 内容を工夫しながら事業を開催し、コロナ対策をした上でふたむらに協力いただきたい。	○	
公民館開放 (夏・冬・春)	通年	33回	地域事業 (その他)	青少年	96人	【事業内容】 筑野中学校生徒が学習をするために寿公民館の会議室を提供した。 【ねらい】 Wi-Fi環境など整った場所を提供し、学生の学習を支援する。	【組織】 C Sふたむら運営委員会 【準備過程】 公民館長がコーディネーターとして計画の集約及び実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行いながら、生徒の学習する場を提供できた。 【今後の方針】 引き続き、新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら計画したい。	○	
寿地区ソフトバレー ボールリーグ	通年	37回	スポーツ	成人	600人	【事業内容】 寿地区内の8チーム対抗のソフトバレーボールリーグ戦や練習を実施 【ねらい】 ソフトバレーボールを通じた健康増進と、参加者同士の親睦を図る。	【主催】 寿公民館 【運営】 寿地区ソフトバレーボールリーグ理事会 【準備過程】 上記理事会在企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行いながら自主練習を行った。 【今後の方針】 引き続き、新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら計画したい。		
公民館図書コーナー の運営	通年	13回	その他	その他	12人	【事業内容】 図書委員会主体による寿公民館図書コーナーを運営し、図書委員会によるコーナーの定期清掃、図書入れ替え作業を実施 【ねらい】 地域住民に図書を身近に感じてもらう。	【主体組織】 図書委員会 【準備過程】 図書委員で月1回掃除 図書委員で年2回図書入替	【評価と反省】 図書の入れ替えは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回目は中止となったが、運営する図書委員にも図書に対する関心を深めてもらった。 【今後の方針】 引き続き、新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら計画したい。		
地区行事写真展示	通年	中止	その他	その他	0人	【事業内容】 地区行事(体育行事や文化祭など)写真の公民館ロビー展示及び販売を実施 【ねらい】 地区住民が多く出入りするロビーに写真を掲示することで、地区事業を知ってもらう機会とする。	【主体組織】 視聴覚委員会 【準備過程】 視聴覚委員会が展示及び写真の入れ替えを実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業が中止となった。 【今後の方針】 公民館利用者が多く見る場であるため、地区主要事業に拘らず、写真等が展示できるよう検討したい。		
五部門委員会	通年	23回	公民館委員会・各種会議等	その他	248人	【事業内容】 文化企画、館報編集、図書、視聴覚、体育委員会の五部門委員会により、公民館事業の企画・運営を行う。 【ねらい】 公民館事業への主体的参加及び意識付けをはかる。	【準備過程】 各部門ごとに随時開催	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大のため活動は制限されてしまったが、感染対策をして、内容を工夫した上で開催ができた。 【今後の方針】 引き続き、新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら計画したい。		
寿史談会及び視察研修	通年	1回	地域文化	その他	7人	【事業内容】 地区内有志により地区の歴史・文化の保存・活用をはかる団体として活動し定例会と2回の視察研修を実施 【ねらい】 寿地区における歴史文化の活用や保存について考える機会とする。	【主催】 寿史談会 【準備過程】 公民館事務局となり会議の実施及び視察研修の企画	【評価と反省】 視察研修は全て、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルスの状況により相談しながら決定していきたい。		
寿ペンギンの会	通年	7回	子育て	その他	6人	【事業内容】 託児ボランティア組織寿ペンギンの会による192サロン、PTA作業、保育園事業、小学校事業における託児活動を実施 【ねらい】 託児を通じた子育て支援及びボランティアの生きがいがつくりを図る。	【実施組織】 寿ペンギンの会 【準備過程】 公民館が事務局として託児調整及び連絡を行い寿ペンギンの会が実施	【評価と反省】 今年度の実地は限られてしまったが、ボランティアの方々と地域住民の親子が触れ合う貴重な機会となった。 【今後の方針】 引き続き、新型コロナウイルスの状況を確認しながら依頼に応じて託児活動を行いたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

・コミュニティースクールでは、地区住民と中学生のつながりや地区には中学生の力が必要であることを伝えるため、協力ではなく一緒に作り上げるを目標に取り組んだ。

・コロナ禍で外出する機会が少なくなっていることで、体を動かす機会が減少していることから密にならず体を動かすウォーキング等を実施した。今後も状況に応じた取り組みを行っていきたい。

評価・反省等

・コロナ禍でなかなか思うように事業等を実施できないことが多かったが、明善中学校とのコミュニティースクールでは、感染症対策を行いながら「防災訓練」「文化祭」2つの事業を行うことができた。寿台地区は高齢化が未だ進んでおり、地域住民と子どもたちが関わる機会を増やし、地域には中学生の力が必要であるということを伝えていくことを重点に置き活動をすすめた。

・新規事業として寿台地区町会連合会から寄付いただいたパネルを利用し、作品展示を行う場所を設けた。作品の作者からは、多くの方に見ていただけて嬉しいとの声をいただいた。なかにはサークル活動に興味を持たれる方やパネルの前で会話が生まれ、住民同士の交流の場となりつつあるため、今後も継続していききたい。

・引き続き町会連合会をはじめとする地域関係団体と連携を密に取り、積極的に事業を行っていききたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種協議会等
	平人和権	福健祉康	子育て	環境	文地化域	教趣養味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	3	2	6		4	1	4			5	1	1	7
延べ参加人数	30		67		300	30	50			140	313	40	472

	C S	食 育
事業数	6	4
延べ参加人数	389	

令和2年度 事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
ウォーキング講座	4月16日	中止	地域文化	高齢者	0人	高齢で普段遠出できない方を対象に、自然公園などの自然観察およびウォーキング講座を実施し、健康意識を高めると共に、参加者同士の交流を深める。		新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。		
第47回寿台町会連合球技大会	5月31日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	球技・軽スポーツを通して、スポーツ振興、住民相互の親睦と結束をはかる。	寿台町会連合会・寿台体育協会	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。		
寿台地区人権啓発推進協議会総会・学習会	5月	中止	人権平和	成人	0人	人権啓発推進協議会総会および学習会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため書面にて実施。学習会は中止。	寿台地区人権啓発推進協議会	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。		
学校サポート事業 明善小学校川遊び支援	7月28日	中止	子育て	青少年	0人	明善小学校課外授業支援として、1、2年生の川遊び引率支援と授業中の児童みまもり支援	明善小学校	前日の雨により、川が増水し中止。	○	
夏休みスペシャルおはなし会	7月	中止	子育て	青少年	0人	子どもたちに本に親しんでもらう機会として、大型紙芝居等によるおはなし会を開催。また、寿台地区食生活改善推進協議会の皆さんから、家庭で親子が一緒に作れるおやつ作りとして、七夕の郷土料理である「ほうとう」作りを学び、親子で楽しみながら食生活の改善についても、触れてもらう機会とする。	寿台図書館	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。		○
夏休み親子教室「ひえっひえボトルを作ってみよう」	8月2日	1回	子育て	その他	18人	少子化により、小学校の夏休みに町会ごと子ども行事が少なくなっているため親子で楽しめる機会にする。また、電気がなくとも作れるひえっひえボトル(保冷剤)は緊急時に使え、科学実験を使って楽しく学ぶことができる。	寿台図書館	自宅ではなかなか経験できない科学実験を親子で楽しむ姿が見られた。若い保護者の方々にも公民館について知ってもらう良い機会にもなった。		
第45回東南ブロック球技大会	8月30日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【事業内容】 バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフの5競技による6地区対抗 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。		
第2回 寿台秋の体育祭	9月27日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	運動会を通して、楽しく地区住民同士の親睦をはかる。	寿台町会連合会・寿台体育協会	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。		
寿台秋のウォーキングクイズラリー	9月26日 9月27日	1日	地域事業(体育)	成人	140人	新型コロナウイルス感染症により、外出・運動する機会が減少したことを踏まえ、密にならず楽しく運動することを目的としたウォーキング	寿台町会連合会・寿台体育協会	日程を2日設けたことで、幅広い世代の方へ参加いただけた。来年度も継続していきたい。コースの内容等について再検討していきたい。		
第63回松本市市民体育大会秋季大会	10月11日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	スポーツ大会への参加を通し、スポーツ振興・健康寿命の延伸につなげると共に、住民同士の親睦と結束をはかる。	寿台町会連合会・寿台体育協会	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。		
マレットゴルフ交流会	11月	中止	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 6地区合同でマレットゴルフ大会を開催 【ねらい】 他地区との交流を深める。	【共催団体等】 寿、寿台、内田、松原、芳川地区公民館と共催。	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。		
第44回寿台文化祭	10月25日	1回	地域事業(文化)	成人	313人	地域で文化活動を行っている団体・個人の発表の場、住民相互の親睦をはかる場とする。	寿台町会連合会・寿台文化祭実行委員会	寿台地区の大きな行事として根付いており、参加者も多く住民は大変楽しみにしている。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、規模縮小しての開催となったが中学生には、抽選会や受付、プラ板工作に積極的に協力してくれた。今後も、内容を精査しながら継続実施していきたい。		
人権啓発 視察研修 満蒙開拓平和記念館	11月26日	1回	人権平和	成人	30人	長野県は全国一開拓民を送り出したことから満蒙開拓とは何かを学び、平和な社会について考える機会にする。	寿台地区人権啓発推進協議会	人権は多岐にわたる問題なので、継続して取り組むたい。		
学校サポート事業 音の花束コンサート	11月27日	1回	地域文化	青少年	300人	地区の様々な行事に協力してくれた明善中学校の生徒の皆さんに、音楽を通じて感謝の気持ちを伝えると共に、普段学校ではあまりふれる機会がないプロの演奏や話にふれてもらう機会とする。また、例年地域住民の方々も生徒の皆さんと一緒に時間を共有していたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒ボランティアへ参加してくださった方を対象とした。 テノール歌手：池田 満 ピアノ：渡辺 しおり	内田公民館・松原地区公民館	明善学区3地区公民館共催事業として、今後も継続実施していきたい。	○	
クリスマススペシャルおはなし会	12月	中止	子育て	青少年	0人	子どもたちに本に親しんでもらう機会として、大型紙芝居等によるおはなし会を開催	寿台図書館	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。		
人権啓発研修会	1月19日	中止	人権平和	成人	0人	寿台町会連合会役員研修を兼ねて開催 「拉致問題について」	寿台地区人権啓発推進協議会・寿台町会連合会	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。		
まゆだまを作ろう！	1月9日	中止	地域文化	成人	0人	松本の民俗行事である三九郎で自分の作ったまゆだまを焼いて食べられる機会を設ける。親子で一緒に作り、未経験の保護者にも作り方を学んでもらい、食文化の伝承を図る。	寿台地区食生活改善推進協議会	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。		○
やしょうまを作ろう！	2月8日	中止	地域文化	女性	0人	郷土料理の「やしょうま」を講師である食改さんが、若いお母さん方に食の伝統を伝える機会とする。	寿台地区食生活改善推進協議会	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。		○
学校サポート事業 寿台みまもり隊2020	通年		子育て	成人	39人	学校サポート事業として、子ども見守り隊(寿台みまもり隊)による見守り活動を継続。今年度は、隊員用帽子を作成し、配布を行った。	寿台地区子どもを守る連絡協議会	「地域の子どもは地域で守る」を合言葉に、来年度も継続。少子高齢化による子どもの減少と、子どもをみまもる隊員の高齢化が進んでいる。	○	

令和２年度 事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
子どもテニス教室	4月～10月	中止	スポーツ	青少年	0人	寿台テニスクラブ会員の指導による教室	寿台体育協会	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。		
学校サポート事業 明善小学校テニスクラブ支援	5月～8月	中止	スポーツ	青少年	0人	学校サポート事業として、小学校から依頼のあった、テニスクラブの指導を、地区の寿台テニスクラブが行い、生徒と地域の交流につながった。	寿台テニスクラブ	来年度も学校より依頼があれば対応したい。（クラブ活動は毎年、種目などの見直し学校側であるため）	○	
双葉会軽スポーツ大会	6月19日 11月6日	2回	スポーツ	高齢者	50人	例年高齢者の健康増進のためニュースポーツなどを楽しむ集い、春と秋に開催しているが、新型コロナウイルス感染症対策のため、6月は中止。11月は、体育館にて体力測定と保健師による講和のみ実施	寿台高齢者クラブ連合会 双葉会・寿台地区福祉ひろば・スポーツ推進員	新型コロナウイルス感染症対策のため、6月は中止、11月は内容を変更し実施。高齢者クラブの大きな事業となっており、今後も継続実施していきたい。		
デジタル講座・中級編	4月～3月	12回	趣味教養	高齢者	30人	デジカメで撮った写真をそのまま保存しておくのではなく、パソコンを使って補正に挑戦する。また動画撮影機能を用いて動画の撮影・編集を行う。		12回中3回開催。屋外での撮影会は、実施できたが室内での講座は1回のみ開催。今後は開催方法などを検討しながら実施していきたい。		
消毒サポート	8月～11月26日	数回	地域事業（その他）	その他	40人	新型コロナウイルスの流行により、学校内の消毒作業が必要となり、学校の依頼により地域の協力のもと水道やドアノブ等を消毒するもの		事業の中止により、地域と学校とのつながりが希薄になっていたが、消毒サポート事業を通して学校とのつながりがうまれ良かった。	○	
男子の厨房・楽しく！	6月～11月	中止	福祉健康	高齢者	0人	高齢化に伴い、老々世帯や独居老人が多い寿台地区において、男性も食の自立をと、楽しく料理を学ぶ。	寿台地区食生活改善推進協議会・寿台地区福祉協議会	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。		○
福祉講座 地域包括ケア会議	2月24日	中止	福祉健康	高齢者	0人	寿台の高齢化率は市内でも5番目に高い地区であり、老々世帯や独居老人も多いことから、高齢者が必要な知識・情報を総合的に学ぶことを目的とする。	寿台地区福祉協議会・寿台地区健康づくり推進員会	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。		
学校サポート事業 中学生への学習スペース開放	7月～8月	9回	子育て	青少年	10人	寿台図書館には学習スペースが無いため、夏休み期間中、中学生に集中して勉強できる場を提供		利用者は少なかったが、今後も継続実施していきたい。	○	
地域づくり担当職員会議	4月～3月	9回	公民館委員会・各種会議等	その他	90人	地域づくり推進にむけて、関係行政機関職員による課題共有、課題把握を目的に毎月1回開催（行事等により、不開催月あり）	地域づくりセンター・公民館・福祉ひろば・健康づくり課・包括支援センター・社会福祉協議会・児童館	「地域づくりセンター」を中心に、地域づくりの一環として引き続き関係職員との会議を継続していきたい。1月、2月は中止		
松本版信州型コミュニティースクール運営委員会	通年	4回	公民館委員会・各種会議等	その他	40人	地域に開かれた信頼される学校づくりの推進のため、学校と地域が連携をし、子どもを支える。	明善小・明善中・学区内3地区（町会連合会・子ども会育成会・地域づくりセンター・公民館）・関係団体	新型コロナウイルス感染症対策として小学校の運営委員会は中止。中学校の運営委員会については、規模縮小して実施。		
運営委員会	通年	3回	公民館委員会・各種会議等	その他	36人	公民館の事業計画案の検討・活動への提言など		ご提言・助言をいただきながら、公民館事業に活かしていきたい。		
館報編集委員会	通年	8回	公民館委員会・各種会議等	その他	50人	松本市公民館報（寿台版）の編集・発行。		委員は町内公民館長を兼務しているため、毎月町内公民館長会を兼ねて開催している。		
図書視聴覚委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	6人	公民館の図書視聴覚事業への提言、図書リサイクル作業、おはなし会スペシャルの企画運営。館報への写真素材提供		今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、事業が中止となり会議数が少なかったが、来年度は実施できるよう内容を調整していきたい。		
文化委員会 （文化祭実行委員会）	通年	9回	公民館委員会・各種会議等	その他	120人	寿台文化祭の企画・運営		高齢化により昨年度より組織を効率化し、少人数での文化祭企画検討委員会を開催することで、各文化部長の負担を軽減することが出来た。また、文化祭の運営以外の文化活動について、今後検討していきたい。		
体育委員会 （寿台体育協会）	通年	7回	公民館委員会・各種会議等	その他	130人	町会連合球技大会、住民大運動会等の企画・運営		高齢化が進んでいるので、各大会での種目等の見直しを検討していきたい。		
町会連合会支援	通年					・地域づくり推進にむけての支援 ・町会連合会理事会への出席		「地域づくりセンター」と連携し取り組んでいきたい。		
町内公民館支援	通年					各町会の公民館活動の活発化をはかる。		毎月館報編集委員会を兼ねて開催している会議の中で、お互いの町会の様子を情報交換し、いい刺激となっている様子である。		
寿台地区人権啓発推進協議会支援	通年					事務局担当				
寿台地区食生活改善推進協議会支援	通年					活動の活性化を図る。				
その他、諸団体との連携による活動支援	通年					双葉会、子ども会育成会、児童館など。				
サークル活動支援	通年					サークル活動活性化に向けた支援。公民館利用サークルに館の適正利用の周知徹底をはかる。2月25日に利用者懇談会の実施、要望に対する速やかな対応		サークル活動内容および、会員募集を、公民館だよりに掲載。また、サークル会員募集冊子を作成		
広報活動	通年					「寿台公民館だより」の発行（毎月1回地区内回覧と窓口配布） 「今月の寿台公民館」コーナー設置 地区福祉ひろば・寿台ふれあいセンターへの事業周知ポスター掲示				

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針】

松原地区の住民要求や地域課題をテーマとし、満足度の高い学習活動を行う。さらにサークルおよび町会活動が地域づくりに直接的または間接的に寄与できるように支援する。

スローガン／ 繋ぎ、継げる

【重点的に取り組んだ事項】

- ① 共に学ぶことから、思いやりの輪を広げる
- ② 生きる力となる学びや、遊びを提供する
- ③ 学習成果の発表機会提供と地域人材の発掘
- ④ 町内公民館活動の支援
- ⑤ 子育ておよびコミュニティスクール事業の充実

評 価 ・ 反 省 等

コロナ禍で活動に制約がある1年だったが、その中で出来ることや新しい事業にも取り組むことができた。文化祭が中止となり学習発表の機会がなくなってしまった代わりに、公民館内で講座やサークルの作品発表の期間を設けた。参加者からも好評だったため、来年度以降も状況を見つつ発表機会を提供していきたい。

今年度は各町会の町内公民館活動がほぼ全て実施できない状況であった。感染拡大防止の観点から無理な活動を強いることはできないが、来年度に向けて対策を講じた上で出来る活動の提案などをしていきたい。

昨年度から力を入れている子育て事業については、コロナ禍で学校行事が減ったり行動に制限の多い子どもたちに感染症対策を講じた上で非日常を味わえるような体験活動を多く実施することができた。

来年度も引き続き制約の多い中での事業実施となるが、その時々々の感染状況を考慮しつつ臨機応変に講座を実施していきたい。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種委員 会等・
	平人 和権	福健 祉康	子 育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数	2	9	11	2		6		1	3		1		1
延べ参加人数	21	1069	310	38		111		27	416		50		140

	C S	食 育
事業数	11	6
延べ参加人数	186	83

令和2年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
デジカメ写真講座 (春・秋)	春2回 秋4回	6回	趣味教養	成人	48人	デジカメ操作の基本、写真の撮り方等を学ぶとともに、現地撮影を行う。撮った写真で文化祭に向けた作品を制作。 現地撮影を通じ季節ごとの自然を体感しながら、創作・自己表現活動の向上を養う。	住民の要望により引き続き実施。地区住民が講師 【講師】 三澤政明	コロナ禍で春編が途中終了したことや、文化祭が中止となるなど、例年通りの講座実施はできなかった。 例年実施していた講座室での展示だけでなく、文化祭の代わりとなる館内展示を実施することで、参加者のモチベーションを高めることや参加者同士の交流を深めることができた。 長年務めていただいた講師が今年度をもって退任することが決まったため、今後の講座の方向性や実施方法を検討していきたい。		
ミステリーウォーキング	4月27日	1回	福祉健康	成人	中止	コロナ禍の運動不足解消と陰鬱な気分を解消するためウォーキングを行う。		緊急事態宣言下のため中止		
Zoomの使い方講座～ まずはストレッチ講座で試してみよう～	6月16日 6月25日	2回	趣味教養	成人	13人	新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛に伴う運動不足をストレッチを通して解消する。 また、オンライン会議等で活用されているZoomの利用を参加者に促すことで、「新しい生活様式」の中での活動の幅を広げる一助とする。	【講師】 西山知花	初めての試みでノウハウのない中だったが、講師とも協力して実施することができた。 参加者の中には「Zoomを使ってみたかったが気恥ずかしくて人に使い方を聞けなかった」といった声もあり、その時代に合った機器やツールの使い方を学ぶ講座の実施は住民から求められているように感じた。		
ホテル学習観察会	6月28日	1回	環境	その他	22人	研究者からホテルや生息環境について講義を受け、隣接する内田地区の塩沢川でホテル観察を行なう。	【共催】 内田公民館 【講師】 藤山静雄	住宅地である地区内にはない自然環境について学習する機会となっている。また夜間に観察するため、学校教育の中での実現は難しいことから、今後も公民館事業として開催していきたい。		
目指せラジオ体操第一マスター	7月9日	1回	福祉健康	成人	中止	3月から実施しているラジオ体操について、より正しいフォームで行うことで運動効率を上げるため	【共催】 松原地区福祉ひろば	雨天中止		
夏休みこども学習室	8月3日 ～ 8月17日	10回	子育て	青少年	93人	夏休み期間の子どもの居場所づくりとするため。また、普段公民館を利用しない子どもに公民館を身近に感じてもらう、今後の公民館講座等に参加しやすくなるきっかけとするため	R1年度より新規事業	今年度も学習だけでなく遊びの場としても利用されており、夏休みの子どもたちの居場所づくりとして貢献できた。 普段公民館に來ない子どもが友達に誘われて来ることもあり、使い方やマナーの徹底が難しかった。守ってほしいことを明確にしてあらかじめ伝えられるようにしたい。		
夏休み小学生自然体験会	8月4日	1回	環境	青少年	16人	夏休みの小学生を対象に高原での自然体験学習を行う。松原地区内では体験学習ができない山岳地帯の自然について、国営公園と沢谷で学ぶ。	【共催】 松原地区町会連合会	バス車内の過ごし方をあらかじめ決めておいたため、子どもたちを退屈させることなく目的地に着けた。 時間が押してしまい帰りの時間が遅くなってしまったため、時間的余裕を持たせた日程を組みたい。 参加児童の満足度は非常に高く、自然体験のコースが高かったことが分かった。 来年度も継続して実施したい。	○	
収穫祭～夏～ みんなでバッククッキング！	8月11日	1回	子育て	青少年	17人	公民館の畑で普段できない収穫体験を行う。 収穫後の野菜を使ってバッククッキング（ビニール袋に材料を入れて湯せんで加熱処理する調理法）を行い、災害時の調理方法を学習する。	【共催】 松原地区町会連合会	緊急事態宣言下で植付作業を子どもと一緒にすることはできなかったが、集まった子どもたちで協力して収穫作業を実施できた。 密を避けるため調理会場を分散し、自分が食べる分を自分で作ることができるバッククッキングで調理した。 野菜嫌いの子どもが残さず全部食べられるなど、調理の楽しさや食材を大事にする心を養えた。	○	○
人権講座 近代ヨーロッパに生きた画家の苦悩と選択	8月25日	1回	人権平和	成人	8人	貧困による生活難やナチスドイツによるユダヤ人迫害などの苦難の中、自身の絵画制作活動を貫いた近代ヨーロッパの画家たちの作品を美術館を訪問し鑑賞し、またその生きざまを学ぶ。それを通して差別の虚しさや異質な考えや存在を受け入れる、気付きにつなげたい。	【共催】 地区人権啓発推進協議会	近代ヨーロッパ画家の生涯を通して差別や貧困について学習した。 近年は人権講座としつつも、とっつきやすいテーマを設けて実施している。今後も学習するテーマをより分かりやすくしたうえで実施したい。		
スカイパークウォーキング	9月1日	1回	福祉健康	成人	4人	新型コロナウイルス対応で運動不足になった体とモヤモヤ感を地域の仲間と運動することで解消する。		参加人数は少なかったが、近場で少人数で実施できたのでコロナ禍の講座としては良かった。		
PayPayを使ってみよう！	9月10日	1回	趣味教養	成人	12人	松本市で実施するキャッシュレス決済サービスのPayPayを利用した買い物で最大30%還元される消費応援キャンペーンをきっかけとして、地区住民がPayPayを学ぶ機会を作る。	【講師】 プリントショップ・ミネ	松本市の消費応援キャンペーンに合わせて実施した。 参加者も多く集まり、住民の関心の高さがうかがえた。 当日会場で登録できない人もおり、当日の細かな段取りや登録の条件などをあらかじめ講師と確認しておくべきだった。		
防災講座 あつ地震。でも大丈夫！私は準備をしています。	10月1日	1回	防災	成人	27人	相澤病院の出前講座を活用し、医療者の立場からの講義を通して防災について学習する。	【共催】 福祉ひろば 【講師】 相澤病院防災災害救護総合センター医療対策室 室長 看護師 金子 秀夫	講師の東日本大震災の経験などを通して、災害の危険性やそれに備える手段や心構えなどを学習した。 防災の学習は住民の備えに対する意識を高めることに繋がるので、定期的に実施したい。		
人権講座 松本藩の 百姓一揆と堰	10月7日	1回	人権平和	成人	13人	江戸中期の松本藩、財政難に瀕していた藩は年貢米を増やし続けた結果、最悪の事態である百姓一揆が勃発する。命を懸けて仲間と先祖から引き継いだものを守ろうとした人達、封建社会の呪縛から抜け出せないで大切なものを見失った人達、希望を捨てずに未来を切り開こうとした人達、「人権尊重」という概念が無かった時代の出来事に触れ、改めて自身の生き方について考えるきっかけとしたい。	【共催】 松原地区人権啓発推進協議会	身分制度や飢饉をきっかけとした一揆を学習し、日本の歴史や自治のあり方、市民平等などを考えることができた。 今後は現代の人権問題についてもテーマ検討していきたい。		

令和2年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
レッツ手づくり ～みんなで手作りだい ふくパーティー！～	10月17日	1回	子育て	青少年	11人	普段買って食べるものを実際に手作りすることで、どんな材料で作られているかやどんな工程で作られたかを考えるきっかけとする。 手作りを通して料理の楽しさを知るきっかけとする。		近隣のスーパーにみんなで買い出しに行き、自分たちで中に入れる具材を選んだ。友達との買い物を楽しかったという感想が多く寄せられたので今後の講座にも活かしたい。 調理の時間が長く、疲れてしまう子どもも多かったため、休憩時間を考慮したり調理時間が長ならないメニューを検討したい。	○	○
夢科湖ウォーキング	10月21日	1回	福祉健康	成人	10人	新型コロナウイルス対応での運動不足を地域の仲間とウォーキングすることで解消する。	【共催】 松原地区福祉ひろば 松原地区スポーツ推進員	松原地区は地区面積が狭く、近隣地区も坂が多いため遠方へ出かけてウォーキングを行った。 今回は歩いた距離があまり長くなかったため、より強度の高いウォーキングやトレッキングを望む声も聞かれた。 来年度は歩く距離の長さを数パターン用意し、より参加者のニーズに合った講座としたい。 何か所か立ち寄って乗降を繰り返すと疲れを感じる方も多かったので欲張りすぎない行程にしたい。		
昇仙峡ウォーキング	10月30日	1回	福祉健康	成人	16人	新型コロナウイルス対応での運動不足を地域の仲間とウォーキングすることで解消する。	【共催】 松原地区福祉ひろば 松原地区スポーツ推進員	歩く距離もちょうどよく、景色も楽しめる良い行程だった。 人数を分散するために同じ月に2回ウォーキング講座を実施したが、男女で行き先のニーズが異なることもあり非常に効果的だった。 今後も密を避けつつ運動機会を提供できるような講座を企画したい。		
収穫祭～秋～ スイートポテト作り	11月3日	1回	子育て	青少年	11人	公民館の畑で普段できない収穫体験を行う。	【共催】 松原地区町会連合会 【協力】 松原地区住民	サツマイモを収穫してスイートポテトを作った。 地区住民にもご協力いただき、収穫作業や調理の補助をもらった。 成形の際にそれぞれの子どもたちが思い思いの形を作っているのが印象的だった。 アンケートを実施したところ、調理実習だけでなくクラフトの需要もあったため、今後も企画していきたい。	○	○
博物館をもっと知ろう	11月19日 12月10日 1月20日	3回	趣味教養	成人	26人	現在松本城の二の丸内にある松本市立博物館は、2023年に大名町（大手3丁目）に移転し新しく生まれ変わる。その存在を知っていても行くことの少ない博物館。 松本市、山梨県、長野市の博物館を訪問し、それぞれの博物館の目的としていることや特徴、活動内容のお話を伺い、博物館の役割について改めて考える機会とする。	【共催】 松原地区町会連合会	松本市立博物館の移転をきっかけとして他自治体の博物館等の施設を見学した。 それぞれの施設の良いところを知るとともに、松本市の新しい博物館へ意識を向けるきっかけとなった。 （1月20日は松本圏域での感染拡大のため中止）		
フラワーアレンジメント講座	12月4日	1回	趣味教養	成人	5人	クリスマスの時期に合わせたフラワーアレンジメントを学び、地区住民の生活に彩りを与える一助とする。 また、会員数が少なくなっているフラワーサークルミモザの会員を増やすきっかけとする。	【講師】 藤森 奈留美（フラワーサークルミモザ講師）	サークル側から会員数の減少の相談を受け、クリスマスに合わせたアレンジメントの講座を企画した。 初めて公民館講座に参加する人が4人おり、目新しい内容の講座の企画も定期的にしていく意義があると思った。 参加者の中からサークルに参加する人も出たため、公民館・サークルにとって有意義な講座となった。 今後も季節に合わせて企画していきたい。		
収穫祭～冬～ 豚汁づくり	12月5日	1回	子育て	青少年	17人	公民館の畑で普段できない収穫体験を行う。	【共催】 松原地区町会連合会 【講師】 松原地区食生活改善推進員	冬野菜を収穫し、調理実習を行った。 地区の食生活改善推進員に講師を依頼し豚汁づくりをしたが、職員のみで運営するよりも段取り良く進めることができた。 来年度は作りたい野菜や作りたいメニューを子どもたちで考え、植え方なども自分たちで調べたうえで実施したい。	○	○
しめ縄づくり講習会	12月12日	1回	地域事業（文化）	家庭教育	50人	伝統文化である「しめ縄づくり」を通じて、文化の継承、環境や暮らしという視点の育成とともに、高齢者・親世代・子どもたちの顔の見える関係づくりを図る。	【経過】 町会連合会総会の席で、こども世代との交流をしたいという要望が出されたことを受け、こども会育成会長と公民館で、世代間交流に向けた打ち合わせ会を実施。その中で、新しい行事を行うよりも、毎年実施するしめ縄づくりを世代間交流事業として位置づけ実施することとした。 【準備過程】 子ども会育成会で稲わらの手配。前日、講師、育成会、公民館でわらの下準備 【共催】 子ども会育成会 【講師】 小池 春隆	他地区と違い、高齢者から親世代に、親世代から子どもに、という文化伝承的な流れがないこと、また農家出身者も少ない地区であることから、親子での参加も含め、より多くの世代の参加を促した。しめ縄づくりだけでなく、他の事業にも世代間交流の要素を強めていくことが大切だと考えている。 今年度も地区住民に講師を依頼した。参加者のこどもの中でも高い技術を持った人がいたため、高学年の子供講師を育成していく可能性も探っていく。 今年度は飾り方のサンプルを掲示することで、初めての参加者にも説明することができた。	○	
レッツ手づくり ～消しゴムハンコをつくらう～	1月16日	1回	趣味教養	成人	7人	ものづくりの体験を通して、子どもたちの創造力を養う。		元年度に文化祭内のブースで実施した際に好評だったため、あらためて講座として実施した。 経験者が多かったため段階を踏まずにすぐに作成に移ってしまったが、初めての子もいたのでより丁寧に彫り方の指導をすべきだった。	○	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
休日フィットネス (タヒチアンダンス・ 運動不足解消フィットネス)	2月 6日 2月13日 2月20日	6 回	福祉健康	その他	67人	コロナ禍で生じがちな運動不足をダンスやストレッチを通して解消する。 また、休日開催として日頃公民館事業に参加しにくい層の参加者の取り込みを期待する。	【講師】 特定非営利活動法人CFM実行委員会より派遣 ・タヒチアンダンス 松宗 エリ ・運動不足解消フィットネス 鈴木 紗織	運動不足解消フィットネスは少し激しいエアロビクスを実施したが、難しさを感じる参加者が多く2回目以降の参加人数が減ってしまった。募集前に内容の聞き取りをして正確な内容で募集をかけたい。 どちらの講座も参加者の満足度が高く、参加者同士の交流も見られた。 定期的に目新しい講座を企画していきたい。		
レッツ手づくり バレンタインスイーツをつくろう	2月11日	1 回	子育て	青少年	12人	手作りを通して料理の楽しさを知るきっかけとする。	R1年度から実施。	休日を利用してこどもの手づくり体験を促す講座として実施した。 参加者の満足度は高く、今後も普段家ではできないような手づくり体験ができる講座として継続していきたい。	○	○
認知症講座 もめない相続 家族が認知症になったら	2月12日	1 回	福祉健康	その他	中止		【講師】 NPO法人長野県相続成年後見協会 木下 泰一	松本圏域での新型コロナウイルス感染拡大のため中止		
基礎から学ぼう！ ラジオ体操講座	3月11日 3月25日	2 回	福祉健康	その他	36人	松原地区内に定着してきたラジオ体操を、より正しいフォームを身に付けることで運動効率を上げるきっかけとする。	【講師】 鈴木 紗織（2級ラジオ体操指導士）	休日フィットネスの開催をきっかけに講師を依頼することができた。 1時間の講座だったが、立ちっぱなしでいることで疲れを感じる人が多かった。2回目の講座の際には休憩用の椅子を用意するなど改善することができた。 講座実施後にはポイントを押さえた良いフォームに変わっており、講座の効果を実感できた。		
春休み子ども自然科学体験会	3月19日	1 回	子育て	青少年	15人	午前中は少年科学センターを訪問し、先端科学後術の展示見学の他、工作教室に参加する。午後は茶臼山動物園を見学する。 春休みの子ども達（小学生）を対象に、少年科学センターを訪問し、スーパーコンピューターやロボットなどの触れる展示や科学工作を体験し、学校の中では出来ない学習を行う。また、動物園を訪問し様々な動物の生態を知るとともに、触れ合いの機会を設ける。	【協力】 松原地区住民（大学生）	新規参加者を多く取り込むことができた。 今回初めて大学生の見守りサポーターに協力を依頼した。松原地区では中学を卒業すると公民館活動に関わる機会がほぼなくなってしまうので、学生のニーズを調査しつつ地域と関われる機会を今後も作っていきたい。	○	
こどもそば打ち&化石発掘ツアー	3月23日	1 回	子育て	その他	15人	午前中はこねこねハウスでそば打ち体験をして実食する。午後は四賀化石館を見学し、化石掘りの体験を行う。 春休みの子ども達（小学生）を対象に、郷土の名産であるそば打ちを体験する。また、四賀化石館を訪問して施設見学と化石掘りを体験することで、松本地域の歴史や自然を感じ子ども達の知識を深める。		信州の食文化であるそば打ちと合併して松本市となった四賀地区の地質・歴史を学習することができた。 四賀化石館職員の協力をいただき、四賀地区内での化石採集体験ができた。 今後も長期休みを中心に学校だけではできない体験ができるような講座を企画したい。	○	○
中学生が教える！春の小学生卓球教室	3月27日	1 回	子育て	その他	10人	明善中学校の卓球部員が講師を務め、地区スポーツクラブの卓球部員が指導サポートする。 小学生と中学生が卓球を通じた楽しみや学びを共有するとともに、地区住民の三者間交流の機会を提供する。	【主催】 松原地区公民館 【共催】 明善中学校卓球部、松原卓球クラブ	昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、今年度は感染症対策を講じた上で事業実施できた。 地区有志の皆さんからのカレーの振る舞いはできなかったが、小中学生共に参加者からの満足度は高かった。 卓球部コーチからも指導を通して中学生自身の理解度が増したほか、行事の企画体験ができたと言葉があり、参加した全員にメリットがある講座となった。 来年度以降も継続して実施したい。		
春休み子ども総合学習館&動物園体験会	3月30日	1 回	子育て	青少年	15人	午前中は天竜川総合学習館を訪問し、河川の働きやその利用、生物について学習し、午後は飯田市立動物園で動物との触れ合いも含めて楽しく見学する。	【協力】 松原地区住民	3／19の講座が申込多数となったため、急遽追加で企画した。 当初は19日と同じ行程で実施予定だったが、長野市の新型コロナウイルス感染拡大に伴い訪問先を飯田市に変更した。 水生昆虫や様々な生き物を観察することができ、自然や生き物の学習をするだけでなく、春休みの思い出作りもできた。	○	
運動習慣啓発：ラジオ体操	通年 (月木)	69 回	福祉健康	その他	936人	新型コロナウイルス流行に伴う外出自粛による運動不足解消として、感染リスクの少ない屋外でのラジオ体操と簡単なストレッチを企画した。	高齢者は新型コロナウイルス感染による影響が大きいとの情報から、集会などの行事の参加を控えており、さらに人交流の機会が著しく減少しており、身体的にも精神的にも不健康な状態を強いられている。 【共催】 松原地区福祉ひろば、地域づくりセンター、スポーツ推進員、地区生活支援員	コロナ禍の運動不足解消のため元年度3月から継続して実施している。 緊急事態宣言中は一時中断したが、通年を通して実施でき、地域の方の中で習慣化することができた。 感染状況が落ち着いていた時期には感染症対策を取りながら体操後のお茶のみの時間を設け、住民同士の交流の場とすることもできた。 今後も継続して実施していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
松原モールぶろじえくと支援	10月24日 12月19日	2回	その他	その他	350人	松原ショッピングモールにある時計台の修復やモールを通した地域活性化の支援を行う。 12月はショッピングモールをイルミネーションで装飾し、時計台前でコンサートを実施した。	地域活性化の手段として、松原モールの活性化とからくり時計の修復復活を目標として、H30に松原モールぶろじえくとが発足した。 職員を含めた有志で会議を重ね、ビジョンを共有することに時間をかけた。物品の手配などは公民館も支援した。 【主催】 松原モールぶろじえくと 【共催】 松原地区公民館	年間を通じてのコンサート等のイベントを企画していたが、コロナ禍で多くが中止となってしまった。 元年度から松原ショッピングモールの時計台の修復費用を集めるためにイベント等を実施していたが、各分野の特技を持った地元有志が結集し修復が完了した。 10月実施の修復完成セレモニーでは、地元小中学校の金管バンドや吹奏楽部の皆さんの発表機会の場を兼ねることができ、コロナ禍で発表機会が減っていた子どもたちの支援をすることができた。 恒例となったイルミネーションイベントでは、設置作業を地元住民と協力して実施することができ、地域の賑わいを創出することができた。 時計台修復の恩恵として、からくり時計の稼働時間に合わせて日常的に人がショッピングモールに集まるようになってきた。今後も地域を活性化する活動に対する支援を行ってきたい。		
公民館委員会	通年	16回	公民館委員会・各種会議等	成人	140人	松本市公民館条例施行規則第8条に基づく委員会。地区の実情に合わせ以下の委員会を実施。 ○公民館・福祉ひろば事業推進協議会 ○館報編集委員会 ○体育委員会 ○文化委員会	地区公民館開館に向け、地区関係団体等の実情に合わせ、H21年度に地区町会連合会に素案を提示。 H22年度よりスタートを切った。（ただし、館報編集委員会はH17年度より実施）	体育委員会、文化委員会とも委員が主体的に運営し、活発な議論が生まれている。 コロナ禍で地域の行事のほぼすべてが中止となり、会議数も大幅に減少した。 中止となってしまった行事についても、開催の是非を検討する会議の中でそれぞれの委員から忌憚のない意見が出され、熟議した結果結論を出すことができたのは有意義だった。 館報編集委員会は、公民館と協力しながら、地域の話題を取り上げるなど社会面記事を扱うことができている。委員が主体的に記事の執筆を行い、会議の運営もスムーズに行うことができた。		
公民館だよりの発行	通年	12回	その他	その他		公民館事業等の周知と参加募集、利用団体の情報提供として毎月1回（1日付）発行	H18年度より不定期に発行していたが、H22年度より月1回発行	公民館側からのお知らせなので、今後も継続。 松原地区の講座の周知方法は公民館だよりのみだが、目新しい講座を実施すると今まで参加のなかった方からの申込をいただくことができることから、一定数の方は毎回公民館だよりを読んでくれていることが分かった。 より内容がわかりやすく伝えられるよう工夫していきたい。		
公民館報の発行	通年	6回	その他	その他	66人	地区の情報誌、記録誌であり、地域の課題等を紙面を通じて投げかける場としての公民館報の発行	館報編集委員会で、地域の話の掘り起こしなどを中心に話し合い、制作。全市版については7名の編集委員（各町会1名選出）以外の地区住民に委嘱している。	コロナ禍で行事や公民館講座も少なく、記事内容の選定に苦労したが、委員長中心に新しい特集記事などを組むことができた。 毎月委員の近況等を書いているコラムのタイトルが松原地区に縁がないという意見が委員内から出たことから、公募して新しいタイトルを選定した。 今年度唯一通年で活動ができたことは非常に価値のあることだと思う。		
カンガルーの会	通年4回	4回	子育て	家庭教育	94人	乳幼児とその親を対象にした子育て支援事業。親子体操、食育、救急法、コミュニケーション等多様な内容。実施時には住民有志が託児保育を担う。	【主催】 民生児童委員協議会 【協力】 松原地区福祉ひろば、公民館	今年度は新型コロナウイルスの影響で実施回数が大幅に減ってしまったが、感染状況に合わせた事業を続けてきた。 主任児童委員をはじめ、民児協が主体的に進めており、引き続き側面からサポートしたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】

・新型コロナウイルスに関し、社会経済活動継続と感染拡大抑制という二律背反的な政策に公民館活動も無関係ではなく、一貫して感染症拡大のリスクマネジメントの実践が求められた。第一に「三密回避／密閉・密集・密接」の徹底、第二に公民館利用者の個人衛生の順守（手洗い・マスク着用・体温／体調管理・使用物品の消毒）、第三に公民館の環境衛生（消毒・換気・必要物品の整備）の保守点検と啓発の徹底を行うこととした。

・地区内の学校（岡田小学校、女鳥羽中学校）と地域住民とのパイプ役として、相互の交流となるようなコミュニティスクール事業の展開、課題の共有、解決策の模索を行うこととした。

・地区関係団体と連携して、地区の文化・福祉の向上を図ることとした。

評価・反省等

・常に新型コロナウイルス感染防止を念頭に置き、事業実施の方策を模索する1年となった。地区全体としての大きな意思決定過程における、“草の根民主主義”の実践が問われ、特に対面会議の重要性をあらためて痛感した。リスクマネジメントの観点から、地区公民館と町内公民館の意思決定過程を早期に共有することが課題解決には重要であると思われる。

・公民館事業として岡田地区7町会全体で実施する地区全体のイベント的事業は、新型コロナウイルス感染に対するリスクマネジメントの観点から、実行委員会のメンバーを中心に話し合って検討した（対面会議・紙上会議）結果、中止となった。

・公民館主催の事業・講座・研修会は、三密回避策を講じ、参加者数の限定や実施方法・内容の一部変更などにより、基本プログラムの実施は可能であった。また、社会参加の継続を目途として、三密回避策が実施可能なバス利用の館外研修・講座を新設し、好評のうちに終了することができた。

・他団体との共催事業は、共催団体の意思決定プロセスにより、中止・実施が分かれる結果となった。育成会、児童センター、財産区・育成会との共催事業が中止、コミュニティスクール事業は一部のみ実施となった。

・地域課題としては、地域の各種団体に地域づくりの根幹としての主体性を持ってもらい、具体的な活動につなげていくことができるかが大きな課題となっている。特に地区の主要事業である「おかだ夏まつり」、「町内公民館対抗球技大会」、「新春サークル発表会」については、公民館委員を中心とした運営を試みているが、町会持ち回り選出の委員が多いことから意識が低く、公民館任せになっている点が否めないため、地域の自主性を引き出すことができるような仕掛けづくり（体制づくり、動機付け）を引き続き検討していく必要がある。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員等・各種会議等
	平和権	福祉健康	子育て	環境	文化地域	教養趣味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	1	4	2		4	3		1	2	1	1	1	1
延べ参加人数	64	218				100			690				200

	C S	食 育
事業数	1	1
延べ参加人数	690	38

令和2年度 事業報告

岡田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
植林&駒打ち体験	4月26日	中止	地域文化	青少年	0人	地域の子どもたちが、植林体験を通じて森林と触れ合い、地域への理解を深める機会を創出することを目的に、岡田財産区有林で地元の小中学生等を対象とした植林及びキノコの駒打ち体験を実施するもの	子ども会育成会 岡田財産区	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。岡田地区の貴重な資源である森林を活用した取り組みであり、子どもたちを中心に地域の歴史や風土を学習する機会を提供することができる事業である。また、地区の自然を生かした体験型事業として、伝統文化（三九郎）の継承にもつながっているため、継続実施していく予定である。		
おかだ七夕会	7月4日	中止	地域文化	青少年	0人	地域子ども文庫活動として、読み聞かせや演劇鑑賞を行い、子どもたちの豊かな心の育成を図ることを目的に実施するもの	図書委員 児童センター	新型コロナウイルス感染拡大防止のため児童センターの方針により中止。コロナ対策を講じた上で、実現可能なプログラムを構築するなどして次年度以降の実施を検討したい。		
おかだ夏まつり	7月25日	中止	地域事業（その他）	その他	0人	岡田地区で活動している地区関係団体が連携し、地区住民のつながりや連帯感の醸成を図ることを目的に、夏まつりを開催するもの	夏まつり実行委員会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。岡田地区を代表するメインイベントであり、町会による出店、花火の打ち上げ等、地域の子どもから大人まで大勢が参加し、かつ飲食やおしゃべりがつきものである。今年度の中止は、実行委員会全体の判断であり、残念な結果ではあるが、次年度以降の開催については早めに検討を開始して、コロナ対策を行った上での開催を検討したい。		
自然体験キャンプ	8月4日～5日	中止	子育て	青少年	0人	芥子坊主農村公園でキャンプ地の設営から薪集め、自炊等、野外活動を体験することをとおして、仲間づくりや集団生活での社会性を身に付けることを目的に、1泊2日のキャンプを実施するもの	子ども会育成会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 こども達の中には（特に6年生になって）、いろいろなことができる楽しんでいたのに・・・という声も聞かれたという。新型コロナが完全には収束しない状況下で、三密回避を行った上で実施できる内容・方策を検討したい。		
川で遊ぼう	8月23日	中止	子育て	青少年	0人	地元の自然を活用した自然体験活動として、女鳥羽川で魚のつかみ取りを行い、実際に焼いて食べる事業を実施するもの	子ども会育成会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。普段の生活の中では、体験することが出来ない魚のつかみ取りは参加者に好評であること、また、地域の自然風土について親子で学習する機会を提供することができる事業のため、次年度はコロナ対策を行った上での開催を検討したい。		
こどもプログラミング講座	8月	中止	趣味教養	青少年	0人	2020年の学習指導要領では、小学校でのプログラミング教育が必修化されることが明示されるなど、将来的に子どもたちの学習環境が大きく変化することが予測されることから、プログラミングに興味をもってもらうきっかけづくりとして、初心者向けの講座を実施するもの		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校側も臨時休校や行事の変更など大変な1年であり、また一般住民の学校への出入りにも神経を使っていたことなどから、公民館の判断で中止した。 全児童がタブレット使用可能という教育環境も整ったので、次年度以降はニーズに合わせた講座内容を再考し、実施を検討したい。		
町内公民館対抗球技大会	9月6日	中止	地域事業（体育）	成人	0人	スポーツによる地域住民の生きがいづくり、健康増進を図ることを目的に、軟式野球・ソフトバレー・卓球・ゲートボール・マレットゴルフの5種目による町会対抗球技大会を開催するもの	地区町内公民館長会 地区体協協会 地区町会連合会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。屋外競技（野球、マレットゴルフ、ゲートボールなど）は、三密回避策を実践しやすいが、室内競技（卓球、ソフトバレーボールなど）は、三密回避策に工夫が必要と思われる（場所が狭い）。次年度以降は、一部競技のみの開催も視野に入れ、実施を検討したい。		
親子なぞときウォークラリー	10月18日	中止	地域文化	その他	0人	岡田地区やその周辺の名所旧跡にチェックポイントを配置し、親子または子ども同士でウォーキングを行いながら、楽しく地域について学習するもの	子ども会育成会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。地区内在住者でも知らない歴史や名所旧跡を親子でウォーキングしながら学習することができる、人気の事業であったが、PTA役員の反対意見も多く、実施に至らなかった。 地域について学習できる貴重な機会であることから、次年度以降は実施を検討したい。役員の新型コロナウイルス感染への不安について、オープンに話し合うことが準備段階では必要と思われる。		
おかだクリスマス会	12月19日	中止	地域文化	青少年	0人	地域子ども文庫活動として、読み聞かせや演劇鑑賞を行い、子どもたちの豊かな心の育成を図ることを目的に実施するもの	図書委員 児童センター	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。児童センター利用者だけでなく、園児も参加している。参加児童が司会を務めるなど企画運営に携わっており、子どもたちの自主性の向上を図ることができているため、児童センターの職員や利用者の保護者の意向も踏まえ、次年度以降は実施する方向で検討したい。		
地区新成人記念撮影	1月10日	1回	その他	成人	10人	同級生と交流できる機会を通じて、地域への愛着心や帰郷意識や醸成することを目的に、岡田地区出身の新成人を対象とする記念撮影を実施したもの	町会連合会 子ども会育成会	松本市の成人式が延期となる中、新型コロナウイルス感染予防策を徹底して行った。参加者は少なかったものの、新成人の決意を聞く貴重な場となり、また参加者にとっては旧交を温め、居住地区について再認識する機会となるなどの成果が得られた。例年行っている事業であり、今後も継続して実施していきたい。		
新春サークル発表会	2月7日～8日	中止	地域事業（文化）	成人	0人	地域の生涯学習活動の推進を図ることを目的として、主に岡田公民館、町内公民館、農林漁業体験実習館を拠点に活動しているサークルに関する活動成果の発表会と作品展示会を開催するもの	文化委員 町内公民館長会 福祉ひろば 公民館利用団体 農林漁業体験実習館利用団体	一部には作品展示は実施できるのではないかと意見もあったが、新型コロナウイルス感染予防のため中止となった。次年度以降は新型コロナの情勢を見極めつつ、部分的な開催も視野に実施を検討したい。		
防災訓練	3月6日	中止	防災	成人	0人	地区住民の自主防災意識の向上を図ることを目的に、避難所開設訓練、応急救護訓練等を住民主体で実施するもの	岡田地区自主防災連合会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。災害対応については継続的かつ住民の主体的な訓練が重要なことから、より多くの住民が参加できるような手法を検討し、実施していく必要がある。また、感染症対策下での避難所運営も1つのテーマになるため、次年度以降は実施の方向で検討したい。		
自然と歴史に親しむ講座	-5月22日 6月26日 9月28日 10月26日	3回	福祉健康	成人	51人	岡田地区及び近隣の自然、歴史について学習する講座。地域への郷土愛を育むとともに住民の生きがいづくりを目的に実施したもの ①善光寺街道を歩く（中止） ②善光寺街道を歩く その1 ③上高地探索 ④善光寺街道を歩く その2		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4回のうち1回は中止とした。 岡田地区の伝統的な講座であり、回数や内容は時々変化しながらも、岡田地区・近隣地区・信州全域の歴史や自然に親しむ講座は、代々の館長により積極的に継続されてきた。行程全般を通して三密回避策や参加者の体調管理を徹底することで実施可能と判断し、毎年の実施を目指す。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
写経講座	7月 7日 7月14日 7月28日 8月 4日	4回	趣味教養	成人	68人	新型コロナウイルス感染拡大予防のための特別警戒宣言（4月16日発出／5月25日解除）以後、地区の主要行事やサークル活動の中止・制限・自粛が継続していた。そのため、三密回避策を徹底しやすい「写経」であれば、現在の状況を乗り切るエネルギーになるかと考え、初めて講座を立ち上げたもの		指導者の講話を静かに聴取し、一文字一文字写経するのは、集中体験と精神安定作用があり、参加者それぞれに充実した参加体験となった。本来ならば、参加者がグループを作って自主的な学習サークルへと発展するのが望ましいが、講座後に参加者が懇談する機会を作ることができなかったため、次年度以降に対応を考えたい。		
公民館健康福祉出前講座	9月 2日 10月22日 11月 5日 11月20日	4回	福祉健康	成人	79人	福祉ひろばで実施している「出張ふれ健」とタイアップし、自身の健康チェック方法について講座を実施したものの（岡田地区7町会の町内公民館でそれぞれ実施）	福祉ひろば おかだまちづくり委員会健康・福祉部会 町内公民館	新型コロナウイルスの情勢を見守りながら、昨年度より時期的には先送りしていたが、出不精の生活習慣が根づくのは望ましくないと、9月からの出前講座の再開を全戸配布のチラシで広報した。年度当初に中止を決定していた3町会を除き、4町会で実施した。町会によっては、閉じこもりがちな生活に危機感を感じた民生委員の働きかけで、コロナ以前より参加者が増加した地区あった。リスクマネジメントをきちんと行いながらの対応ができるか否かが公民館に問われていることを痛感した。		
食育講座	9月27日 10月 6日 10月23日 11月 1日	4回	福祉健康	その他	38人	①岡田のりんごでお菓子を作ろう！地元産の食材（りんご等）を用いた親子での菓子作りを通して、調理の基礎を学び、郷土への愛着心と親子の絆を深めるもの。（9／27、11／1） ②おひとり・おふたり様の簡単栄養料理教室（10／6、10／23） 高齢単身者や老夫婦が、地元産の食材や便利な食材を活用した食生活の工夫とコツを体得するもの。	地域講師	参加者数を限定すること、調理したものを飲食しながらの反省会・交流会は持たないことで、コロナ禍においても実施できた。家庭での食事頻度が増える傾向にあるため、家庭でも作って楽しいメニューを工夫し、地産地消のりんごの菓子づくりや、野菜を多用した食材活用の食育講座として継続していきたい。		○
写真撮影講座	10月 2日 10月24日 11月 9日	3回	趣味教養	成人	32人	岡田地区には写真撮影のプロのおり、趣味の域を超えた愛好家が多く、サークル活動も盛んである。また、小学生のクラブ活動支援に「写真撮影」の種目を導入したところ熱心な児童の参加が得られた経過もある。写真撮影のスキルをもった人材の底辺を広げ、同時に写真を媒介にした人とのつながりづくり（敬老会での個別プロフィール撮影など）を目指し実施したもの	地域在住の写真クラブ・プロの写真家	信州には写真撮影のスポットが多く、撮影実技の研修として実施することができた。次年度以降は土日開催など、小・中学生や初心者に参加しやすい講座と、ある程度の経験者がさらにスキルアップをめざす講座との二本立ても検討したい。		
人権学習会	11月15日 11月27日 3月23日	3回	人権平和	成人	64人	①戦争・平和・人権を総合的に考える機会として「松代大本営の知らせざる歴史」をテーマに実施 ・松代大本営の事前学習 ・現地視察研修（象山地下壕等） ②「基本的人権としての自立生活」をテーマに、信州協働学会についての講演会を実施	地区人権啓発推進協議会委員	①松代大本営の事前学習と現地の視察研修は密度の濃い内容であり、貴重な経験であった。現在の日韓関係・日朝関係にも影を落としている労働実態はもっと多くの人々に知って欲しい内容であり、人権学習にふさわしい内容であった。 ②信州共働学会の代表者の宮崎眞一郎氏とその次男である現在の代表の宮崎氏の生き方そのものが、自らの障害と向き合いながら、より多くの同胞との共働を追及するというインパクトに圧倒された。次年度は現地視察を実施する予定。		
ふれ愛健康福祉講座～ライフサイクルにそって～	1月23日 2月20日 3月13日	3回	福祉健康	成人	50人	ライフスタイルの多様化により、健康づくりへのニーズも住民により異なることから、幅広いテーマについて多角的な観点から、暮らしと健康づくりに関する講座を開催するもの。R2年度は新型コロナに関するテーマに絞って実施した：新型コロナ-COVID-19：賢く付き合うために分かったこと・分からないこと 第1回：新型コロナっていつまで新型？ 第2回：ワクチンが完成すれば新型コロナは怖くない？ 第3回：「三密」を避けて「マスク」着用はいつまで続く？	岡田地区まちづくり委員会（健康・福祉部会）福祉ひろば	新型コロナウイルスをテーマに、感染拡大予防策を講じた上で連続講座を実施した。回を重ねることに参加者が増え、時事に則した良いテーマであった。次年度も地区関係団体と協力しながら、講座内容やニーズに合わせて、柔軟な事業展開を図っていくこととしたい。		
コミュニティスクール事業（岡田小学校）	通年	10回	その他	青少年	690人	学校、家庭、地域が連携しながら、地域の宝である子どもたちを育てていくことを目的に以下の事業を実施するもの。 ①小学校読み聞かせ（4月～翌年2月まで計11回開催）中止 ②夏休みチャレンジタイム（7／27～29日まで計3回開催）中止 ③クラブ活動支援（4～6年生を対象にして、6、7、10月の計3回開催）中止 ④女鳥羽中学校強歩大会の見守り：女鳥羽中学校の伝統的行事である強歩大会（9月）の見守りとして、ボランティアが要所のチェックポイントに待機して協力した。生徒の参加者数は300名 ⑤中学校読み聞かせ（11月に計3回開催）対象者は300人 ⑥小学校3年生の総合学習支援（地域探検、公民館見学。6～7月に延べ4回実施）参加者は70名 ⑦書初め練習教室（12月に2回実施）参加者は延べ20名	岡田小学校	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業が中止となる中、代替事業も企画・実施した。 小学校での読み聞かせについては、地域の子どもの豊かな心を育むため、継続して実施する予定。 夏休み中に子どもたちの学習支援を行うチャレンジタイムについては年々参加する子どもたちも増えておりニーズが高いことから、地域住民ボランティアの充実を図りながら次年度も継続実施予定である。 クラブ活動支援は、従来より割り当て時間数の減により、種目を増やして、少人数による密度の高い指導を可能にする地域指導者の人材発掘を要請されているものであり、公民館はコーディネーターとして次年度も協力していくこととする。 中学校行事に付随する見守り的なボランティア人材は、教職員の負担軽減につながる方向で、要請に応じてそのつど地域の有志を募っていく方針で臨みたい。		○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
5部門委員会運営	通年	7回	公民館委員会・各種会議等	成人	200人	公民館事業への協力を依頼し、事業への主体的な参加を促すため開催したものの。		今年度は新型コロナ対策として、オール岡田のイベントの開催をどうするかの検討が必要とされた。運営委員会は紙面評決としたが、専門委員会は分科会方式の別な部屋を使い、館内放送設備を活用するなど、できる限り対面式の会議を試みた。 例年、町会推薦による選任がほとんどであり、参加意識の低い委員もあり対応に苦慮しているが、次年度には改めて地域づくりの重要性を説明するとともに、各事業の具体的な情報を共有して継続的な意識啓発を実施していくこととしたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

- ・住民が講師となって地域のつながりが生まれる事業や講座を展開することができた。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で希薄となってしまう地域の繋がりを意識した活動を展開した。
- ・前年度事業の反省点や改善点を念頭に置きながら公民館事業を推進することができた。
- ・公民館は決して敷居が高く難しい事をやる（やらされる）場所ではなく、誰もが遠慮せず気軽に足を運んでもらえる場所であることを認識してもらえよう努めた。

評 価 ・ 反 省 等

- ・「地域の子どもは地域で育てる」を目的に、親子ひろばや通学合宿をこれまで実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響で子ども向けの事業が中止となった。地域に愛着を持った子どもの育成のために来年度は地域と子どもが関わる機会を増やしていきたい。
- ・計画段階で開催のねらいや意義を明確に設定し、やりっぱなしで終わることのないよう検証・評価を十分に行いたい。
- ・事業や講座を企画する際には関係団体と協議・検討していくことで、より地域に根ざした取組みにしていきたい。
- ・地域住民が積極的に地域課題に関心を寄せ、地域住民による主体的な地域づくりを推進するための土壌を、公民館講座や各種事業をとおして醸成していきたい。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公 民 館 委 員 会 等 ・
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	スポ ー ツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数	2		2		5	9	3			4	3	1	8
延べ参加人数	24					155	17			45		58	57

	C S	食 育
事業数	4	3
延べ参加人数	58	37

令和2年度 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
第17回山辺の郷健康ウォークラリー大会	4月18日	1回	地域文化	その他	中止	【内容】 ・自然と文化財の宝庫である山辺の郷をウォークラリーで満喫してもらう。 【ねらい】 ・子どもから大人まで幅広い世代を対象に、健康づくり、世代間交流、地域の魅力再発見を促す。	実行委員会 （入山辺・里山辺子ども会育成会、入山辺・里山辺健康づくり推進員会、入山辺・里山辺福祉ひろば、山辺スポーツ少年団、里山辺公民館）	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催		
町会対抗球技大会	5月24日	1回	地域事業（体育）	成人	中止	【内容】 ・男性はソフトボール、女性はソフトバレーボール 【ねらい】 ・地区住民の親睦と健康増進を図る。	体育協会	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催		
子ども会育成会スポーツ大会	6月14日	1回	地域事業（体育）	青少年	中止	【内容】 ・ドッジボールやドッジビー 【ねらい】 ・地域の子どもたちや保護者同士のつながり強化を図る。	子ども会育成会	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催		
文化委員会（町内公民館長会）視察研修	7月4日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	13人	【内容】 ・松本市立考古博物館、牛伏川階段工の見学 【ねらい】 ・文化委員の資質向上、相互交流を図る。	文化委員会（町内公民館長会）	【評価と反省】 委員同士の交流を深めることができた。その後の各種事業でも円滑に取り組むことができた。 【今後の方針】 ・継続開催		
ひろば演芸会	7月4日	1回	地域事業（文化）	成人	中止	【内容】 ・中止 【ねらい】 ・住民同士の交流促進を図る。	福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催		
体育協会東山部ブロック親睦大会	7月13日	1回	スポーツ	成人	17人	【内容】 ・体育協会東山部ブロック（入山辺・里山辺・本郷・岡田・四賀）5地区の親睦を目的に開催。入山辺地区内およそ5キロをウォーキングし、各地区間の交流促進を図る。 （当番地区：入山辺地区） 【ねらい】 ・東山部ブロック同士の交流促進を図る。	東山部各体育協会	【評価と反省】 ・今年度は入山辺地区が当番ブロックだった。ウォーキングを通じて入山辺地区を知ってもらう機会となった。 【今後の方針】 ・継続開催したい。		
人権啓発推進協議会総会	7月16日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	27人	【内容】 ・事業計画、予算の審議、映像鑑賞 【ねらい】 ・地域の指導者として多様化している人権問題を正しく理解し、すべての人々の人権が公平に尊重される地域づくりの推進に向けて地域住民に対して適切な助言ができる体制を確立する。	人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・人権に関する映像を総会で放映し、啓発活動を行った。来年度以降も映像の放映を継続実施していきたい。 【今後の方針】 ・内容を変えながら継続開催していきたい。		
第34回親子ひろば	7月18日	1回	地域事業（文化）	成人	中止	【内容】 ・地区の夏祭り。スライムづくり、流しそうめん、魚のつかみ取り、綿あめ配布、ポップコーン配布、映画鑑賞会 【ねらい】 ・地域の連帯感、親子のふれあい、世代間交流を促進する。	実行委員会（JA山辺支所、子ども会育成会、体育協会、社会福祉協議会、入山辺記念林協議会、町内公民館長会、健康づくり推進員会、交通安全協会、民生児童委員協議会、民謡サークル）	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染症の状況下でも実施可能な方法を模索していきたい。		
薄川で魚つかみ体験	8月4日	1回	趣味教養	青少年	34人	【内容】 ・薄川で魚つかみ体験と水生生物の観察をする。 【ねらい】 ・薄川の生態や自然を観察するとともに、生きた魚に触れ人と自然の共生を学ぶ。	里山辺公民館	【評価と反省】 ・子どもが自然と触れ合えるいい機会となった。		
戸隠ウォーキング	8月22日	1回	趣味教養	その他	14人	【内容】 ・戸隠神社周辺約6kmを散策。 【ねらい】 ・地域の子どもから大人まで幅広い世代の交流の機会と健康増進を図るもの。		【評価と反省】 ・散策するには歩きやすい気候・気温であり、参加者からも好評だった。来年は場所を変えて散策を行いたい。 【今後の方針】 ・散策場所を変更して開催		
山辺小学校草刈り	8月30日	1回	地域事業（その他）	成人	58人	【内容】 ・山辺小学校校庭及びその周辺環境の整備を行った。 【ねらい】 ・山辺小学校運動会に向けてグラウンドの整備をし、運動会で子どもたちが活発に競技できるようサポートする。	町内公民館長会（里山辺、入山辺） 里山辺公民館	【評価と反省】 ・里・入山辺の町内公民館町会で協力してスムーズに作業が行えた。 【今後の方針】 ・山辺小学校の運動会が5月へと変更となったため来年度は5月開催をしたい。	○	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
第37回松本市長杯争奪球技大会東山部ブロック予選大会	9月13日	1回	スポーツ	成人	中止	【内容】 ・体育協会東山部ブロックから軟式野球とバレーボールの松本市長杯争奪球技大会への代表チームを選出する。 【ねらい】 ・東山部ブロック同士の交流を図りながら、ブロック代表チームを決める。	東山部各体育協会	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で松本市長杯争奪球技大会が中止となったため、予選も中止となった。 【今後の方針】 ・継続開催		
第6回入山辺地区通学合宿	9月16日～19日	1回	子育て	青少年	中止	【内容】 ・小学校高学年を対象に、異年齢の子ども達が3泊4日の共同生活を営むことで、主体性や自立心を育むとともに、「社会力」や「生きる力の向上」を図るもの 【ねらい】 ・共同生活を通して「社会力」や「生きる力」等を育むとともに、「地域の子どもは地域で育てる」という地域循環型の取組みを構築していく。	実行委員会（子ども会育成会、山辺小学校、松本大学、農村女性委員会、食生活改善推進員、J A 女性部入山辺支部等）	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催	○	
農村女性委員会視察研修	10月9日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	17人	【内容】 ・J A 中野市農産物産館「オレンジ」、善光寺、東山魁夷館の見学 【ねらい】 ・会員の資質向上、相互交流を図る。	農村女性委員会	【評価と反省】 ・会員の資質向上の一翼を担っている。 【今後の方針】 ・継続開催		
第63回松本市市民体育大会秋季大会	10月11日	1回	スポーツ	成人	中止	【内容】 ・地区より5競技（軟式野球、ソフトバレーボール、卓球、ゲートボール、ソフトボール）に出場するとともに住民が応援に参加 【ねらい】 ・交流促進及び健康増進を図る。	体育協会	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催		
第91回入山辺地区大運動会	10月18日	1回	地域事業（体育）	その他	中止	【内容】 ・各種競技で町会ごと得点を競う。（半日開催） 【ねらい】 ・健康増進や地域の団結力の向上を図る。	実行委員会（体育協会、町会連合会、町内公民館長会等地区内各種団体）	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、来年度以降の運動会の在り方について検討会議を開催した。 【今後の方針】 ・今後も継続実施できる運動会にするための方法を模索していきたい。		
第44回入山辺地区文化祭	11月8日	1回	地域事業（文化）	その他	中止	【内容】 ・ステージ発表、展示作品発表 【ねらい】 ・地区住民の文化活動発表の場を設け、文化力向上や地域活性化を図る。J A 山辺支所の収穫祭と同時開催し、多くの集客を呼び込む。	実行委員会（町内公民館長会、健康づくり推進員会、農村女性委員会、体育協会、子ども会育成会、ゲートボール愛好会、交通安全協会、J A 山辺支所、入山辺福祉ひろば、こんな山辺にするじゃん会）	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染症の状況下でも実施可能な方法を模索していきたい。		
町会対抗ゲートボール大会	11月8日	1回	地域事業（体育）	成人	45人	【内容】 ・町会対抗のゲートボール大会 【ねらい】 ・健康づくりや仲間づくりを図る。	ゲートボール愛好会 体育協会	【評価と反省】 ・天候に恵まれ盛況に開催できた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。		
旧国鉄篠ノ井線廃線敷ウォーキング	11月21日	1回	趣味教養	成人	22人	【内容】 ・明科の瀬沢地区にある旧国鉄篠ノ井線廃線敷約5キロのコースをウォーキング 【ねらい】 ・健康づくりや仲間づくりを図る。		【評価と反省】 ・天候にも恵まれ参加者から好評だった。 【今後の方針】 ・場所を変えて継続開催		
刃物研ぎ講座	11月27日	1回	趣味教養	成人	15人	【内容】 ・刃物研ぎ 【ねらい】 ・刃物の研ぎ方を学び、家庭で使いやすい刃物にする。	シルバー人材センター	【評価と反省】 ・研ぎ方を学び、切れ味の良い刃物になったと参加者から好評だった。 【今後の方針】 ・継続開催		
男の健康料理教室	12月10日	1回	趣味教養	成人	19人	【内容】 ・生芋からコンニャクを作る 【ねらい】 ・健康づくり、仲間づくりを図る。	農村女性委員会	【評価と反省】 ・男性の参加人数を増やしていきたい。 【今後の方針】 ・地区の関係団体と共催していきながら参加者の裾野を広げたい。	○	
山辺地区立志式	2月6日	1回	子育て	青少年	中止	【内容】 ・山辺地区に住む中学2年生を対象とした「立志」の式典。 【ねらい】 ・中学生に町会の組織や機能を知ってもらう機会とし、地域の一員であるという意識を持ってもらう。	山辺地区立志式実行委員会	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため式典は中止としたが、贈呈品の配布や映像の配信を行った。 【今後の方針】 ・継続開催	○	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
人権講演会	2月	1回	人権平和	成人	中止	【内容】 ・人権と個人情報との関わりについての講演会 【ねらい】 ・個人情報が重要視される中で人権と個人情報の関係について考える機会とする。	老政会 人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催したい。		
人権講座視察研修	3月13日	1回	人権平和	成人	24人	【内容】 ・阿智村の「満蒙開拓平和記念館」の見学と妻籠宿の散策 【ねらい】 ・人権について学び、差別の地域を目指す。	人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により日程を延期して実施したが例年並みの参加者数となった。 【今後の方針】 ・継続開催したい。		
味噌づくり講座	3月14日	1回	趣味教養	その他	6人	【内容】 ・地元産の大豆を使ったキッチンで簡単にできる味噌づくり 【ねらい】 ・大人と子どもが交流できる世代間交流として実施。	地区団体	【評価と反省】 ・今年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり参加者数が少なかった。 【今後の方針】 ・継続開催したい。		○
そば打ち講座	3月20日	1回	趣味教養	その他	12人	【内容】 ・地区の蕎麦打ちサークルの方を講師に迎え、そば打ちのノウハウを学ぶ。 【ねらい】 ・子どもと大人が一緒にそば打ちを学ぶ世代間の交流として実施	こんな山辺にするじゃん会 地域住民	【評価と反省】 ・種まきから脱穀まで行った入山辺産のそば粉を使用し、参加者から好評だった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により日程を延期したが無事開催できた。 【今後の方針】 ・継続実施		○
中学生と語る会	3月25日	1回	地域文化	青少年	中止	【内容】 ・山辺中学校卒業生（入山辺地区在住者）が一堂に会し、そばクッキー作りや昼食会を交えながら地域住民との意見交換会を行う。 【ねらい】 ・小学生の頃は育成会行事等で地域とのつながりは比較的深いが、中学生になると一転希薄化する。地域の良さに気付き愛着を深める。	町会連合会 民生児童委員協議会 子ども会育成会 福祉ひろば	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染症の状況下でも実施可能な方法を模索していきたい。	○	
生け花と自然素材のクラフト講座	年4回	4回	趣味教養	成人	中止	【内容】 ・自然素材を利用して、籠や花台等のインテリアを作成 【ねらい】 ・地域の自然環境を見つめ直すきっかけ、仲間づくりや生きがいづくりの場とする。また、松風園と連携しながら、入所者と地域住民の交流促進の場とする。	松風園	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染症の状況下でも実施可能な方法を模索していきたい。		
みんなのそばで楽しむ味隊 SOBA講座	8月 8日 10月25日 10月31日 3月20日	4回	趣味教養	成人	33人	【内容】 ・そばの種まきから、刈取り・脱穀まで関わり、収穫した新そばで蕎麦打ちをし、自分で作ったそば猪口でそばを味わう。 【ねらい】 ・そば栽培を通じ農業と自然に親しむことで、入山辺の魅力を再発見し、世代・地域を越えた交流を図る。	こんな山辺にするじゃん会	【評価と反省】 ・他地区からの参加もあり、入山辺を知ってもらうきっかけとなった。 【今後の方針】 ・関係団体と検討しながら継続実施していきたい。		
ウォーキング講座	通年	12回	福祉健康	成人	80人	【内容】 ・入山辺地区ウォーキングコースを中心に歩く。 【ねらい】 ・健康意識の高揚、仲間づくり	福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・四季折々の季節感を満喫できた。 ・冬季は介護予防講座を行った。 【今後の方針】 ・継続開催。		
入山辺地区カレンダー発行	毎月1回 全12回		地域文化	成人		【内容】 ・地区内の行事や各種団体の会議予定などを幅広く掲載するように努めている。 【ねらい】 ・全戸配布して幅広く住民に周知する。		【評価と反省】 ・可能な範囲で情報を盛り込むことができた。 【今後の方針】 ・各種団体等に情報提供を呼びかけ、引き続き掲載内容の充実を図りたい。		
福祉ひろば事業推進協議会支援	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 ・地区公民館長、センター長、公民館主事が推進委員として参画している。 【ねらい】 ・公民館活動との連携強化、地域づくり政策の一翼を担うため継続的な支援を行う。	福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・地域づくりセンター、公民館からの情報伝達の機会ともなっている。 【今後の方針】 ・引き続き連携を密にして、支援を継続していきたい。		
入山辺地区の将来ビジョンを考える会（こんな山辺にするじゃん会）	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 ・地域の課題解決に向けて会を4グループ（観光と魅力発信・食農振興・住みやすい地域づくり・DIY）に分けて、それぞれの課題に沿った解決に向けて活動を展開している。 【ねらい】 ・将来の入山辺地区のあり方を地域住民皆で考え、地域課題の解決に向けて具体的に行動していくため。	町会連合会 各種団体長	【評価と反省】 ・今後の方向性や、地域の課題について将来を見据えた話し合いを今年度は重点的に進めた。課題解決のための活動を今後は展開していきたい。 ・長野県公民館活動アワードを受賞した。 【今後の方針】 ・地域住民が主体的に会を進めていけるよう、職員の関わり方、支援のあり方を模索していきたい。		
5部門委員会支援	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 ・各委員会の自主性を大切にしながら、各種事業の立案や開催のための側面支援を行う。 【ねらい】 ・住民主体の地域活動の促進を図る。	運営委員会 館報編集委員会 図書委員会 体育委員会 文化委員会	【評価と反省】 ・各委員会の自主性、自立性をさらに促したい。 ・委員の人数が減ってきているので新たな人材発掘を行いたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
公民館使用団体等支援	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 ・公民館を使用する団体やサークルを後方支援する。 【ねらい】 ・各団体等の活動内容を地区内に還元できる機会を設けながら、地区の活性化や文化力の向上を図る。		【評価と反省】 ・団体やサークルの自主性を損なわないよう十分配慮しながら、必要に応じて支援していきたい。		
公民館だより発行	通年		地域文化	成人		【内容】 ・公民館講座の開催周知を図るため、月1回の広報まつもとの配布に合わせて発行する。 【ねらい】 ・公民館活動や事業の周知。		【評価と反省】 ・講座の開催周知に終始している。 【今後の方針】 ・読みやすい、読みたくなるような紙面づくりに腐心していきたい。		
図書貸し出し	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 ・図書室に中央図書館から貸出を受けた本を中心に約700冊を配架している。図書委員が年2回入替作業を実施している。 【ねらい】 ・子どもから高齢者まで幅広い年代層が興味を持てる様々なジャンルの本を備えており、読書活動の推進を図っている。	図書委員会	【評価と反省】 ・周知方法を工夫して、さらなる利用促進を図りたい。		
公民館報「いりやま」発行	年6回		地域文化	成人		【内容】 ・毎月1回編集委員会を開催し、松本市公民館報の入山辺版として発行する。 【ねらい】 ・地区内の様々な情報提供	館報編集委員会	【評価と反省】 ・地区内の行事を中心にあつかうとともに、入山辺線の利用状況や松くい虫についてなど地区内で関心のあることを取り上げることができた。 【今後の方針】 ・館報編集委員会が主体的に取り組めるようサポートしていきたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】

- 1 学校、地域および保護者が子どもたちをどのように育てたいかについて子どもを取り巻く状況から意見を交わし、そこから学校や保護者が地域に求めることを明確にする。コミュニティスクール運営委員会をもとにそれぞれの主体で活動を展開する。
- 2 町内公民館長会との研修を重ね、住民が参加しやすく、住民の生きがいがいくつから住民同士のつながりの創出を図る公民館活動のあり方について議論を深める。
- 3 専門委員会で委員同士が自らアイデアを出し合い、地域の実情に合った活動の展開を促進する。
- 4 多世代の住民が気軽に参加できる講座を企画し、住民の要望や意見を聴きながら実施内容を見直していく。
- 5 地区内の小・中学生が地域活動に参加できるきっかけをつくる。

評価・反省等

- 1 山辺小学校、山辺中学校のコミュニティスクール運営委員会は、学校支援に取り組む関係者、PTAの代表者、町会連合会の代表、公民館職員で構成され、年3回の運営委員会において、学校・地域・家庭で子供たちがどのように生活しているのかを意見交換して、それぞれの立場から地域全体で実現したい子供たちの成長のあり方を共有している。今年度の当初から、学校生活をはじめ日常生活レベルで新型コロナウイルスによる影響があり、コミュニティスクール運営委員会も書面での会議を中心にせざるを得ない状況だった。そのような中で、山辺中学校生徒会役員とコミュニティスクール運営委員との懇談会が短時間でも開催することができた。生徒会役員からは、山辺ドリーム大学をはじめ地域住民と触れ合う機会多くあることが山辺らしいとこれまで地域と学校が連携して取り組んできたことが自分も山辺の一員で地域の中で成長しているという中学生の意識を育んでいると確認できた。今後も山辺ドリーム大学や地域行事への中学生の参画を継続していくように、各主体と連携していく。
- 2 近年、町内公民館長会が里山辺地区行事へ共催や協力をするという形で、その準備過程において会員相互に情報を交換し、各町内公民館の活動に役立てたが、新型コロナウイルスの感染拡大により地区行事が中止となり、情報交換が十分にできなかった。反面、例年継続して実施している里山辺公民館と町内公民館長会との合同研修では、地区外の歴史文化を学ぶとともに、日頃の公民館活動や住民との関わりについて十分に話し合うことができた。今後は、地区公民館と町内公民館で様々な形の連携を模索していく。
- 3 公民館専門委員会の活動について、館報編集委員会および図書視聴覚委員会では定期的な打ち合わせや作業があるのに対して、体育委員会および文化委員会では主要行事である各体育大会や地区文化祭の企画と運営に活動となる。今年度は新型コロナウイルスの影響で主要事業が中止となり、委員会活動が停滞したが、地域から選出された委員の意見をもとに、地区運動会のあり方についてのアンケートを実施し、体育委員会では令和3年度へ向けての見直し案を協議できたことや、感染症対策をしながら作品展示や文化活動の紹介を文化祭に代えて実施したことは、今後の委員会活動においても一つの可能性となった。
- 4 地域住民の方が気軽に参加できる講座や事業について、地域住民の意見や要望を踏まえて検討し、企画することができた。
- 5 これまで継続してきた小学生や親子対象の各種講座に加えて、今年度は、中学生地域の歴史文化を学び、地域に少しでも関心をもってもらうために、子供たちにかかわりの深い伝統行事について探求する「知る知るやまべ探検隊」を立ち上げた。来年度はこの講座をもとに、山辺中学校と調整して、山辺ドリーム大学の時間を借りて、中学生に地域を身近に感じてもらう企画を検討し実施していく。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種委員 等・
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数	1	4	5		7	4	2	1	3	9	3	1	5
延べ参加人数	50	512	414		93	78	44		4	27	200		368

	C S	食 育
事業数		4
延べ参加人数		59

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
第17回山辺の郷健康ウォークラリー大会	4月18日	中止	地域文化	成人	0人	レクリエーション、健康づくり、地域の魅力再発見などを目的に実施している。 山辺地域の名所・旧跡を結んだコースをめぐり、地元の歴史や文化、地名の謂れなどに因んだ問題を出題する。時間得点（ゴール時間と標準時間の差）と課題得点（問題の正答数）で順位を競う。 【福祉健康】	実行委員会において企画・運営を行う。 実行委員会の構成団体は、入山辺公民館、入・里山辺健康づくり推進員会、入・里山辺子ども会育成会、入・里山辺福祉ひろば、山辺スポーツ少年団。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止とした。 今後は、実行委員会で開催内容を十分に検討して実施していく。		
第5回里山辺地区親睦ゴルフ大会	5月20日	中止	地域事業（体育）	成人	0人	個人競技の地区大会として、町会のゴルフ同好会や一般募集で参加者を募っている。競技終了後に、表彰式および懇親会を公民館にて実施している。	里山辺親睦ゴルフ大会 実行委員会（町会のゴルフクラブ等を中心に各町会から1名ずつ選出）と共催。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止とした。 今後は、実行委員会で開催内容を十分に検討して実施していく。		
第50回ソフトボール・ソフトバレーボール大会	5月31日	中止	地域事業（体育）	成人	0人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会。 ソフトボール競技は4月1日の満年齢で49歳以上の男性を中心にチームを編成し、2会場を使用してA・Bブロックでのトーナメント方式で実施。ソフトバレーボール競技はAブロック（4月1日の満年齢で39歳以上の男女でチーム編成）、Bブロック（4月1日の満年齢で38歳以下の男女でチーム編成）の2ブロックトーナメント方式で実施	本部体育委員会で企画・実施。町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめて町会公民館ごとに行う。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止とした。 競技内容は町会の実情に合わせて本部体育委員会で毎年検討していく。町会内、町会を越えた住民の交流を図る目的を実現する工夫を凝らしていきたい。		
体育協会東山部ブロック親睦球技大会	7月12日	1回	地域事業（体育）	成人	0人	松本市体育協会第一ブロックの5地区（本郷・岡田・入山辺・里山辺・四賀）の親睦球技大会。入山辺地区内のウォーキングを行った。	松本市体育協会第一ブロックの5地区の体育協会（本郷・岡田・入山辺・里山辺・四賀）で共催。 本年度入山辺地区が当番で企画を行った。	例年、ニュースポーツや球技を内容とした企画が続いていたが、地域の文化財や名所旧跡を親で回り、ウォーキングで健康増進を図る企画へ見直した。意外と知られない地区ごとの魅力を知ること、東山部全体で、住民がスポーツおよび健康づくりに気軽に参加できるきっかけづくりとしていきたい。		
薄川で魚つかみ体験	8月4日	1回	子育て	青少年	34人	薄川の生態や自然を観察するとともに、生きたニジマスを手で捕まえて自分の獲った魚を家で食べることで自然の中で生きていることを感じる講座。 今年度は小松橋上流200m位の浅瀬で実施した。 犀川漁協（河川使用の許可）、（有）カワグチ（ニジマスの購入）に協力してもらい実施 【環境】	入山辺公民館と共催。 両地区で参加を呼び掛け、当日の準備や運営も連携して行っている。 エクセラシオン高校環境科学コースの生徒に、参加する子どもたちへ水生生物の観察指導を行ってもらっている。	夏休みに近くの川で自然と触れ合える貴重な体験となっており、新型コロナウイルスのため夏休みに遊びに行けなかった子どもたちと保護者の皆さんから、好評をいただいた。		
フォレストキャンプin山辺	8月8日 8月9日	1回	子育て	青少年	13人	夏休みの期間に親子で自然と触れ合い自然の中で生活する楽しさを学ぶとともに、キャンプを通じて共同生活の体験をする。自然体験学習に活用できる施設である「美ヶ原少年自然の家」を拠点に実施。 （1日目） ・周辺散策（三城周辺コース） ・屋内学習（美ヶ原高原から見える星空について下平先生による授業） ・キャンプ体験（家族ごとで飯盒炊飯） ・レクリエーション（花火、親子木工教室） （2日目） ・朝食づくり（家族ごと） ・沢遊び、水生昆虫観察 ・木工作品の展覧 【環境】	施設管理者の下平先生と日程および内容の調整を行い、必要に応じて下見を行っています。	自然に触れ、自然を愛する心を育み、「地域の子どものは地域で育てる」ための良い機会となっている。 近隣の施設を活用する野外体験学習として来年度も継続したい。		○
第16回マレットゴルフ大会	8月25日	1回	地域事業（体育）	成人	27人	個人競技の地区大会。 中山霊園マレットゴルフ場で開催し、今年は芝・林間・桜の全コースで競技を実施	里山辺マレットゴルフ同好会と共催	個人スポーツの需要が高く、できるだけ多く地区住民が参加でき、競技を通じて身近なつながりづくりや競技仲間として関係が継続することを目的に、競技に精通する団体に大会運営を行ってもらっている。 全コースをめぐることが参加者に好評であり、いかに参加者がプレーを満足できるか考えていきたい。		
第67回野球大会	8月23日	中止	地域事業（体育）	成人	0人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会 軟式野球競技は地区居住の男性を中心に各町会1チームを編成し、A・B・Cの3ブロックでのトーナメント方式で実施。ソフトボール競技は地区居住の女性を中心に各町会1チームを編成し、A・Bの2ブロック（予選リーグと決勝トーナメント）方式で実施	本部体育委員会で企画・実施。町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめて町会公民館ごとに行う。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止とした。 競技内容は町会の実情に合わせて本部体育委員会で毎年検討していく。町会内、町会を越えた住民の交流を図る目的を実現する工夫を凝らしていきたい。		
山辺小学校校庭の草刈り作業	8月30日	1回	子育て	成人	58人	小学校の運動会の2週間前に、校庭および校舎周辺の草刈りを「地域の子どものは地域で育てる」ための活動として実施している。	里山辺地区町内公民館長および入山辺地区町内公民館長のご協力で、各町会関係者等に声を掛けてもらい、実施している。ビーバー等では時間がかかる芝生部分は乗用モアでの作業とし、若手の農業者の方々に協力してもらっている。	地域住民が地域の子どものためにボランティアとして活動する「やまべっ子応援団」が平成30年度から組織されており、山辺小学校での学習支援を行っている。そのため、地域で一緒に行う草刈り作業のみ、公民館事業として企画および実施をしている。 学校の要望を受けて、校庭だけでなく、校舎周辺の草刈りも地域の方で分担して実施している。		

令和2年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
満蒙開拓青少年義勇軍の話を聞き、共に考える会	9月15日	1回	人権平和	成人	50人	戦争体験者の証言を聞き、戦争と人権について共に考える機会とする。また、戦争をく満州事変から太平洋戦争までを2015年と捉え、その末期になって、なぜ青少年を戦場に送り込んだのかについて考える機会とする。	里山辺地区人権啓発推進協議会と共催。登壇者の選考および依頼は里山辺地区人権啓発推進協議会長が担当。公民館だよりおよび新聞での開催周知を行った。	地区内外の参加者が大勢集まり、戦争によって身近で当たり前な生活が奪われたことについて戦争体験者の言葉を直接お聞きしたことは、考える機会の少ない人権を考える上で大きな意味があった。お話を踏まえて、当時の軍事政策で何を守ろうとしたのか考えることで、自分と家族、友人、同郷の人たちなどの様々な関係や立場でものを見る感覚を養うことにつながる。		
町内公民館町会・里山辺公民館合同研修会	9月22日	1回	その他	成人	4人	里山辺地区町内公民館長と里山辺公民館とが連携し「両輪の輪」として公民館活動を推進する上で地域に密着した公民館のあり方を模索する機会とする。 今回は、「中山道と木曾の漆器文化」をテーマに、木曾福島・山村代官屋敷および福島関所資料館を見学し、長野県内の歴史文化について研修を深めた。	里山辺地区町内公民館長と合同で実施	内容については町内公民館長の関心のあるテーマや視察先を選定し、相互に連携を図るためどのようなことが必要か考える場とした。		
市民体育大会	10月13日	中止	地域事業（体育）	成人	0人	軟式野球、卓球、ゲートボール男女、ソフトバレーボール、マレットゴルフの5種目で、地区代表チームを選出し、他地区との対抗競技を行う。	各種目に本部体育委員が分担して張り付き、チームの支援や応援、ユニホーム等の回収をお願いしている。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止とした。		
第65回大運動会	10月18日	中止	地域事業（体育）	成人	0人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会	地区関係団体（町会連合会、町内公民館長会、交通安全協会里山辺支部、消防団第19分団）と共催。本部体育委員会で開催要項およびプログラムを策定し、町内公民館長会との打ち合わせ、共催団体会議、全体会議において協議し、開催内容を決定している。準備および運営は、町会等から選任した競技役員と本部体育委員が中心に行う。競技は町会対抗または自由参加の形式をとる。	町会対抗競技を通じて地区住民相互の親睦や、町会内の親睦・連帯に寄与している。松本市の体育行事が10月～11月初旬に集中するため、現在の時期となっていない。入山辺地区運動会と同日開催であり、両地区に開催する方々には時間をずらして参加いただいている。しかし、別の時期の検討は現状難しい。開催内容については、令和2年に実施したアンケートの結果を踏まえて、見直しを図っていく。		
秋の山城ウォーク	10月25日	1回	地域文化	成人	11人	講師：澤柳 秀利さん（松本市学芸員） 平成29年2月に国史跡に指定された林城跡と関連の深い小笠原氏の築城した山城群を順々にめぐる講座。今回は地原城跡（中山地区）をめぐった。講師の研究資料や当時の文献と紐づけて城の歴史等を紹介してもらい、今話題の登山と歴史探訪を掛け合わせた内容である。	講師とともにコースを確認し（下見）、行程を組むようにしている。説明資料は講師に作成をお願いしている。	市内の山間部に点在する山城群の形成はその地域の生活様式や文化にも影響しており、歴史と共に深く学ぶことで、地域の魅力を発見できる講座と考えている。林大城・小城を中心に、関連の山城を継続して学ぶ講座としたい。		
第46回文化祭	11月7日 11月8日	中止	地域事業（文化）	成人	0人	日頃から取り組む地区住民の芸術文化活動を地区の一般の方へ発表・展示するステージ発表会および作品展示会を開催している。1日目は作品展示会のみ開催、2日目はそれに加えてステージ発表や販売・体験のコーナーを開催する。 また、大勢の方に来場してもらうため、地区福祉ひろば事業推進協議会が主催する「福祉ふれあいフェスティバル」と合同で開催し、家族で参加できるアトラクションを設けるなど多世代交流となるように工夫している。 作品展示では、保育園児や小学生、中学生、高校生（エクセラン高等学校）から町会で推薦を受けた住民まで、多彩な作品を展示する。 ステージ発表では、山辺小学校合唱団およびフリースウィンズ（金管バンド）、山辺中学校ドリーム大学、公民館・福祉ひろばの各サークルなどが出演する。	本部文化委員会で企画し、町会ごとの作品の取りまとめは町内文化委員が行う。 開催要項について、実行委員会（福祉ひろば事業推進協議会、福祉ひろばコーディネーター、本部文化委員会）で検討し、決定している。文化祭の準備と当日の運営については、本部文化委員および町内文化委員で担う。 ステージ発表の出演団体や販売・喫茶コーナーの出店団体は公民館で呼び掛けて、当日の分担について打ち合わせを行う。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止とした。 文化祭に代わり、里山辺公民館が主催する公民館秋の特別展を開催し、地域住民の日頃の活動紹介や作品展示を実施した。		
本の読み聞かせと工作	11月8日	中止	地域事業（文化）	青少年	0人	地区文化祭に合わせて実施する講座である。	図書視聴覚委員会が企画、準備、当日の運営を行っている。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、文化祭とともに中止とした。		
第64回卓球・第41回ゲートボール大会	11月15日	中止	地域事業（体育）	成人	0人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会。 平成30年度から卓球大会では個人戦をオープン競技としている。 平成29年度からゲートボール大会では、山辺中学校ドリーム大学ゲートボール学科のチームがエントリーしている。	本部体育委員会で企画・実施。町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめ町会公民館ごとに行う。	町会対抗競技を通じて地区住民相互の親睦や、町会内の親睦・連帯に寄与している。卓球競技がオープン参加となり、参加できる人の範囲が制度上拡大した。また、中学生の参加でゲートボールを通じての世代間交流が図られている。		
親子そば打ち講習会	12月5日	1回	地域文化	家庭教育	16人	親子で伝統文化を学び、文化の継承と食育につなげている。地域住民を講師となり、親子にそば打ちを教える講座である。 【子育て】	里山辺子ども会育成会・山辺児童センターと共催	親子でなかなか体験できない地域の文化を体験して学び、楽しみながら文化の継承と食育につなげている。今後も継続して実施していきたい。		○
親子でつくろう！かわいい！まんまる餅づくり	12月12日	1回	地域文化	青少年	30人	地域の伝統文化を学び、文化の継承につなげている。 地域のボランティアに協力いただき、親子を対象に杵と臼を使って餅つきを体験する講座である。 【子育て】	地域ボランティアに準備および当日のお手伝いをお願いしている。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、会場でつくたてのお餅を食べることがかなわないため、ついたお餅は家族で成形して、持ち帰る工夫をした。		○

令和2年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
親子しめ縄教室	12月26日	1回	地域文化	青少年	20人	地域の伝統文化を学び、文化の継承につなげている。地域住民をが講師となり、親子にしめ縄つくりを教える講座である。 【子育て】	里山辺子ども会育成会・山辺児童センターと共催	親子でなかなか体験できない地域の文化を体験して学び、楽しみながら文化の継承と食育につなげている。今後も継続して実施していきたい。		
防災学習会	1月23日	中止	防災	成人	0人	平成30年度から、里山辺地区ハザードマップで予想される災害やこれまで取り組んできた防災活動について、公民館、まちづくり協議会で話し合いの場をつくってきた。 今年度は、「防災減災のための心の科学 リスク社会をいかに生きるか」と題して、信州大学地域防災減災センターの菊池聡先生の講演を予定した。	里山辺地区自主防災連合会、里山辺地区防犯協会防炎部と共催	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止とした。 来年度に計画を持ち越すことで進めている。		
山辺地区立志式	2月6日	中止	地域事業（その他）	青少年	0人	参加者が地域の先輩の話を聴き今後の進路決定の一助とするともに、地域の一員として地域活動に参加する契機をつくる目的で、山辺に住む中学2年生を対象とした「立志」を祝う式典。3／4成人式 式典は中止としたが、実行委員会 で内容を協議し、当日資料冊子および記念品、地域で活躍される嘉納雅彦さんのチェロ演奏会をYouTubeで配信した。	実行委員会において企画・運営を行う。 実行委員会の構成員は、山辺中学校長、里山辺地区町内公民館長、里山辺公民館図書視聴覚委員長、里山辺地区子ども会育成会長、山辺中学校PTA、清水中学校PTA、入山辺公民館	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止としたが、参加を予定してくれた子どもたちへ地域からのお祝いの気持ちとメッセージを発信する工夫をした。 来年度も入・里山辺の行事として関係者と連携の上、継続して実施していきたい。		
やしょうま作り教室	2月13日	中止	地域文化	青少年	0人	地域の伝統文化を学び、文化の継承につなげている。 地域住民をが講師となり、親子に「やしょうまつくり」を教える講座である。 【子育て】	里山辺子ども会育成会・山辺児童センターと共催	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、文化祭とともに中止とした。 親子でなかなか体験できない地域の文化を体験して学び、楽しみながら文化の継承と食育につなげている。今後も継続して実施していきたい。		○
親子スキー教室	3月6日	中止	スポーツ	家庭教育	0人	地域在住のスキーインストラクターに講師を依頼し、子どもたちの覚えに合ったコース設定やカリキュラムで指導してもらう講座 【子育て】	地域のスキーインストラクターと調整しながら、会場や指導内容を検討している。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、文化祭とともに中止とした。 冬でも外でスポーツに楽しむ習慣を子どもたちに身につけてもらうことを目的として、地域の講師に企画内容や実施時期を調整しながら、毎年継続して開催したい。		
わいわいカレー事業	5月17日 6月21日 7月19日 9月12日 9月26日	5回	子育て	家庭教育	149人	小学生以下の子どもたちを対象に、地域のボランティアの指導を受けながら農作業を体験し、地域の自然や営みに関心をもってもらう講座。子どもたちには、自分たちが育てた野菜・米の収穫まで継続して参加してもらう。 地域づくり推進交付金の交付金を財源とし、地域での多世代交流を促進する。【地域文化】	まちづくり協議会と共催。 （有）ファームワーク山辺、地域ボランティア（農作業支援、調理支援）、J A松本ハイランド山辺支所に協力をいただいている。	子どもたちが、食について学習するとともに、家族ぐるみで多くの住民（ボランティアや他の参加家族）と関わることで、幅広い世代の交流の場として、住民同士のつながりが深まっている。 今年度は山辺特産のぶどうの栽培についてハウスを見学し、山辺のぶどう産業について学習することができた。 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、1回中止		
ガーデニング講習会	6月19日 11月20日	2回	趣味教養	成人	45人	春と冬の年2回開催。 季節に合った花を自分なりにプランターに敷き詰め、寄せ植えを行う講座。春は庭先で楽しめるものを、冬は花が少なくなる時期に向けて玄関先で楽しめるものをテーマとした。 講師：塩原園芸 塩原 文夫さん、塩原 幸子さん	里山辺花いっぱいボランティアと共催	自分なりの作品をつくる毎年好評の講座。 花のない冬の時期にも開催し、長く咲き続けるための保存方法を学ぶなどプロが教えるコツも講座の目玉となっている。		
美ヶ原ウォーク	7月26日 9月27日	2回	趣味教養	成人	18人	美ヶ原ロングトレイルのコースを活用し、市の庁用バスを使って日帰り巡る講座。①地域在住者も意外と行ったことがない美ヶ原の魅力を歩いて知ってもらうこと、②参加者同士で楽しくふれあいながら歩いて山の散策に興味をもってもらうことを目的とする。7／26は美ヶ原自然保護センターから王ヶ頭を経由して山本小屋をめざすコース、10／14は三峰山をめざすコース（前日の雨でコースを変更し、最短ルートで三峰山へ登り、帰り道に美ヶ原高原美術館の施設見学を実施）で実施した。	講座開催の広報をする前に、コースの下見を実施して、危険箇所や休憩箇所（トイレ・昼食）を確認している。 バスへの乗り降りを行う地点をバスの運転手と確認し、行程をあらかじめ知らせしておく。	松本の代表的な観光地である美ヶ原高原に整備されたコースを歩く貴重な講座である。子どもから高齢の方まで参加しており、幅広い世代の方が参加できる講座にする工夫をさらに検討したい。 5年間継続してきた講座であり、美ヶ原高原ロングトレイルのコースをほぼ網羅してきたが住民の意向等を聞きながら、これまで挑戦したコースももう一度採用しても良いと考える。		
市長杯争奪球技大会 第一ブロック予選・本戦	9月13日 11月1日	中止	地域事業（体育）	成人	0人	ブロック予選ではママさんバレーボールと軟式野球とともに優勝し、本戦出場となった。 本戦では軟式野球、ママさんバレーボール、ソフトバレーボールの競技で準優勝。その他、卓球、ゲートボール、ソフトバレーボール、マレットゴルフに地区として出場した。	地区体育協会が必要物品・用具の準備や当日のチームの支援を行った。 ブロック予選については5地区（本郷・岡田・入山辺・里山辺・四賀）の体育協会と実施日程と競技内容を検討し、年度初めの会議で決定する。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、文化祭とともに中止とした。 各競技ともに地区選抜としてチームを組み、地区の総力をもって大会に臨んでいる。 当日は、本身体育委員に各種目に張り付いて対応してもらい、チームの支援や応援、ユニホーム等の回収等に協力してもらう。		
楽しく歩こう講座	4月9日 5月28日 10月1日 11月12日	4回	福祉健康	成人	57人	春や秋の歩きやすい時期に、里山辺地区内の名所をめぐり、そこに関するエピソードを講師（花岡 豪元里山辺公民館長）から聞き、地域の魅力を発見する講座 【地域文化】	福祉ひろばと共催	講師ならではの情報や人脈を生かし、コースを決めている。そのため、普段何気なく通う道に新たな発見や気づきがあり、より一層地域に親しめる講座となっている。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
里山辺公民館健康講座	11月18日 12月19日 1月20日 2月17日 3月10日	6回	スポーツ	成人	44人	歌で健康力アップ講座 全2回 23名 ボールウォーキング講座 全3回 21名 リンパマッサージ講座 中止 0名	開催日程の調整、講師への依頼、必要な用具の準備は公民館で行う。	冬の時期は運動不足になりがちなため、室内で簡単にできる講座として継続して開催している。講座で学んだことを個人で実践することから参加者へ伝えながらも、可能な限りでサークル活動や町会での仲間づくりにつなげるように参加者の傾向も見ながら内容等を検討していきたい。 予定していた「リンパマッサージ講座」は講師と調整がつかず、中止とした。 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、「歌で健康力アップ講座」は1回を中止とした。		
さとのわファーム	6月13日 6月27日 8月1日 8月22日 11月1日 11月7日	6回	子育て	家庭教育	160人	地区に住む子どもが里山辺地区に住んでいることに誇りを持ち、地域の方々に見守られて育っていく温かいコミュニティづくりを目指す事業。事業内容は①休耕地を利用した農作物（さつまいも、メロン、おぼろけかぼちゃ）栽培、②野外での交流イベントの実施、③ハロウィンかぼちゃを加工したランタンづくり、④自然を楽しむネイチャーゲーム。	まちづくり協議会、福祉ひろばと連携して、子ども向けの企画を検討し、地域の住民にできるだけ協力を仰ぎながら、実施しました。	新型コロナウイルスで集う場所がない現状を考慮して、感染の心配が少ない野外での活動にきを工夫した。 事業終了後にアンケートを実施し、地域での活動について一定の関心をもってもらうことができたので、より一層地域のことを知ってもらう機会にしていきたい。		
公民館秋の特別展示	11月6日 11月7日 11月8日 11月9日	1回	地域事業（文化）	成人	200人	今年度中止となった地区文化祭の代わりに、地域住民の芸術文化の展示および活動の発表・紹介の場を設定するもの。 出展希望のあった作品、地区内の文化活動団体へ依頼して提供いただいた作品を地区住民に向けて里山辺公民館大会議室で展示した。合わせて、館長が収集した里山辺の昔を偲ぶ写真を一角に展示した。 日頃、公民館および福祉ひろばを利用する団体の活動を紹介する動画を展示会場で放映した。	展示作品の募集を公民館だより（2回発行）で発信し、里山辺保育園、山辺小・中学校、エクセラシオン高校への作品の提供は公民館から依頼した。 活動紹介動画に出演する団体を公民館から個別に依頼した。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止となった地区文化祭への出展や出演を今年度希望するかについて、これまで協力してくれた団体等へアンケートを送付したところ、希望をする回答した方が多くいた。そのため、感染対策を講じた形で開催できる当事業の開催を公民館単独で決定した経緯である。 開催期間も当初の文化祭より延長し、平日も開催する工夫を行い、総勢200名の方が来場した。 新型コロナウイルス感染症で自粛された住民活動が多くある中で、住民や団体に対して今後の活動への意欲を高めてもらう機会となった。		
スマホ講座	11月13日 3月19日	2回	趣味教養	成人	15人	住民同士のコミュニケーションの手段を増やし、住民の生活の質を向上する目的で、スマホの普及率が3/4程度となるシニア世代がスマホの機能のメリット・デメリットを学び、操作の熟達につなげる講座である。 毎回テーマを変えて実施した。 テーマについては以下のとおり。 第一回、スマートフォンでマップを使いこなそう」、「スマートフォンでアプリを楽しもう」 第二回、「LINEを使ってみよう」、「災害に備えよう」	NTTドコモの出張スマホ教室と連携して、講師を派遣してもらい、スマホを実際に使い、テキストと講師のレクチャーで学ぶ形式である。開催日時、参加定員、テーマと進め方は、出張スマホ教室担当者と打ち合わせて決めている。	スマホが多機能化する昨今、手軽なコミュニケーション手段であるとともに、様々なサービスのデジタル申請や各種問い合わせを利用するためにスマホは不可欠である。反面、消費者問題や身に覚えのないトラブルなどに、使う側が巻き込まれる恐れがある。 スマホに対する正しい知識と利用方法を身につけて、手軽に活用できるように、住民のニーズと日々更新される機能とをマッチングした内容で講座を計画していきたい。		
週一ウォーク	通年	29回	福祉健康	成人	323人	里山辺地区の65歳以上の住民に占める要支援・要介護者が2割弱であり、潜在的な該当者も合わせると2割を超すと予想される。生活習慣においても、国民保健加入者における「1日に1時間以上の運動をしない人」の割合は4割超である。このような状況を踏まえて、年齢を問わず、住民が運動習慣を身につけてもらうために、週1回の頻度でウォーキングをする講座を実施するものである。	里山辺地区福祉ひろばと共催。地区住民誰でも、都合が合う時に参加できる方へ向けて、公民館だよりおよび福祉ひろばだよりで周知している。ウォーキングの結果を記録できるように、福祉ひろばでスタンプカードをつくり、月2回以上参加した参加者へプレゼントを用意している。	ウォーキングの習慣を身につけてもらうための講座であり、講座に参加するだけが目的でなく、参加者が日常生活で運動する習慣を自分なりに必要と考えてもらえるように、呼び掛ける必要を感じる。 雨天・降雪により2回中止		
週一ウォークプラス講座	1月26日 3月2日	2回	福祉健康	成人	12人	週一ウォークの参加をきっかけに、参加者が自分自身の健康と運動習慣へ意識を向ける必要がある。そのために、ウォーキングのコツや続けて行うメリットを専門の講師から指導いただく講座を開催した。	ボールウォーキング講座で講師を依頼している今関達弥先生（健康運動指導士）に本講座の講師を依頼した。 指導内容は先生と連絡をとりながら決定し、雨天時等のメニューも提案してもらった。	週一ウォークと同様に、多くの住民が日頃の運動習慣を身につけるきっかけとたく、参加者の募集を広く行うとともに、必要があれば、講師の先生と個別相談を行ってもらえるように考えている。自分の健康状態に関心をもつには、ウォーキングの効果を実感してもらうことが大切と感じている。		
知る知るやまべ探検	12月19日 2月27日	2回	地域文化	成人	16人	「私たちの身近な地域を探検しよう！」というコンセプトを設定し、地域の歴史と文化全般について学ぶ講座である。内容は、これまでの成り立ちと保存継承活動の沿革、そして時代の移り変わりや人々の考え方の変化が歴史・文化とどのように結びついているのかについて、地域の歴史文化、民族等に詳しい方々から学ぶというものである。2回のテーマは以下のとおり 第1回、「山辺の伝統行事Ⅰ」 ぼんぼん、青山様、三九郎、こと八日 第2回、「山辺の伝統行事Ⅱ」 各種講、入山辺・里山辺のお祭りの概要	入山辺公民館と共催。 講師を山辺歴史研究会の方々に依頼した。 公民館と山辺歴史研究会の方々と打ち合わせを行っている。そこで、テーマの設定、講義の分担と内容の割り振り、資料の作成の分担を決めて、準備および当日の運営を打ち合わせる。	講座の立ち上げにおいて、入山辺地区・里山辺地区に住む中学生へ地域の歴史や文化に関心をもってもらい、地域の伝統の継承を世代を超えて考える機会にしたいと発案した。 しかし、中学校の協力を得て、中学生の募集を行ったが、参加者は得られなかった。そこで、まずは地域の方で地域の歴史・文化を知り、学び深めたい方を募集して、大人でも意外と知られていないことを学び、中学生など次世代を担う若者へ語ることを今年度の趣旨とした。 来年度は山辺中学校の総合的な学習で、生徒が地域の住民とともに学び合う「山辺ドリーム大学」の取り組みと連携して、地域の歴史・文化を目で見て学ぶ企画を考えていく。		
男の料理教室	10月8日 11月5日 2月16日	3回	趣味教養	成人	0人	料理の楽しさ、自分で作った料理を味わいながら、地域における人と人との関係づくりになることを期待し続けて開催している。対象者は男性。 講師：久保田一さん（兎川寺町会）	福祉ひろばと共催。 メニューは講師に考えてもらい、季節の食材を使うように知恵を出してもらっている。	新しいメニューにも挑戦し、地区内外から新しい参加者も受講しているが、決まった参加者のみしか参加すること多い。参加者に周囲の仲間を気軽に誘ってもらうように工夫したい。 令和3年度で開講から20周年を迎えるため、これまでの教室の歩みとレシピをまとめた記録集を発刊できるように進めていく。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
公民館だよりの発行	通年	12回	その他	成人	0人	広報まつもとの配布にあわせて公民館事業の広報として配布。 地区公民館の主催・共催行事、講座案内等を掲載。毎月発行	開催日までに十分な申込期間を設定して、事業の募集について記事を掲載している。 公民館が立上げに関わった団体や事業を共催する団体の活動報告もできるだけ取り上げて掲載している。	紙面のデザインや内容について見やすく、公民館の開催事業や住民の活動内容に興味をもってもらえるように、工夫をしている。		
図書コーナー管理	通年	200回	公民館委員会・各種会議等	成人	200人	・返却本の整理作業 ・図書の入れ替え（中央図書館所管本、年2回） ・新刊図書の貸出準備、紹介文の掲示 ・未返却図書の返却促進の掲示	図書視聴覚委員会で分担して作業にあたってもらっている。	図書の返却・整理に負担がかかるため、間隔をあけて委員の都合の良い日にまとめて整理する方法をとっている。 未返却本ゼロを目指し、利用者に掲示やお知らせ、催促ハガキ等の対応をとっている。		
図書の購入	通年	3回	公民館委員会・各種会議等	成人	8人	・新刊図書の購入（年3回程度） ・立式式でのおすすめ本の購入と紹介 ・中央図書館廃棄本の譲り受け	図書視聴覚委員会で作業にあたってもらっている。	今話題の新刊図書や山辺地区立式で紹介する「15歳のきみへ」おすすめ本を購入。新刊図書の紹介文の作成と掲載		
体育委員会	通年	7回	公民館委員会・各種会議等	成人	83人	地区体育事業の企画・準備等について、協議する公民館委員会。 本部体育委員が事業の企画を行い、町内体育委員が町会への事業内容の周知と町会対抗競技等のチーム編成を行う	本部体育委員の選出（各町会より委員を選出→公民館長から委嘱） 体育委員会を本部体育委員が招集し、委員の合議で事業内容を決定する。	本部体育委員と町内体育委員とが一つの目標に向かって連携・協力し合い、地区の体育事業が開催できているため、一人ひとりが地域の活動と委員の役割について理解し関わってもらうことが大切である。 体育委員会の所管する事業は大がかりなで、かつ休日開催であるため、会議の数など、できる限り役員の負担を軽減する必要がある。また、特定の競技に偏らずに、住民が気軽に参加でき、楽しめる内容を企画するように委員会で協議する必要がある。		
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	64人	隔月の奇数月の30日付けで発行している「館報さつとやまべ」の編集を行う公民館委員会。	館報編集委員の選出（各町会より委員を選出→公民館長から委嘱） 館報編集委員会を館報編集委員長が招集し、委員の合議で館報の掲載内容を決定し、入稿記事を整える。記事および紙面割り付けレイアウトを印刷業者へ入稿し、校正確認を行い、最終紙面を確定する。	地区や町会の公民館活動の内容はもとより、携わった関係者や参加者が活動を通じてどんな学びや気づきを得たのかを地区全体に向け発信している。また、時代や環境で変化する地域の民俗や文化、生活環境などを取り上げ、地域の記録を残すための館報づくりを行っている。 館報への掲載内容は委員の意見やアイデアをもとに委員会で決定しており、委員自身の学びにつながるという効果も大切にしている。 令和3年度は平成年間の館報をまとめた合冊版の作製を進めていく。		
図書視聴覚委員会	通年	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	13人	公民館の図書コーナーの整理、返却本の管理、未返却本の督促状の送付、図書の入れ替え作業（中央図書館蔵書）、図書の購入（新刊本等）、地区行事への協力を行う。	保育園や小学校での保護者同士のつながり、読書仲間をサークルでのつながりを活かし、公民館の図書視聴覚活動に興味のある方を委員として選出し、公民館館長より委嘱している。 会の運営は委員による自主運営を基本とする。	子どもから高齢者まで幅広い世代の方が自由に利用できる図書コーナーは住民の知識の形成や学びに大いに寄与している。 現状、職員が常駐していないため、委員のみで本の整理するには人手が必要である。地域の作家や製作者の図書視聴覚資料を地域に積極的に発信するなど公民館の図書の利活用を促すとともに、地区行事で図書視聴覚委員会の活動に関心を持ってもらう機会を充実させたい。		
さと健 （里山辺健康教室）	通年	8回	福祉健康	成人	120人	毎月第2金曜日に開催。地区体力づくりサポーターに指導してもらい、無理なくできるストレッチや筋トレ、脳トレなど、気軽に体を動かす講座。	福祉ひろばと共催	里山辺体育館を主な会場とするが、夏の暑い時期にはバスハイク等を実施し、冬の厳寒期には福祉ひろば教養娯楽室で開催するなど、工夫をしている。		
まちづくり協議会	通年	中止	その他	成人	0人	町会長や地区関係団体の代表者などで組織する協議体であり、地域全体に関わる課題や今後へ向けての展望について話し合っている。話し合いで確認されたことを地域住民や各種団体へ発信したり、協力してもらえらる方とどんな活動につなげられるか協議するなど、住民が自由に意見を交わす場とする。	里山辺公民館はまちづくり協議会事務局と連携して、住民や各種団体との連絡調整を行う。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止とした。地区や町内、サークルによる公民館活動が具体的なまちづくりの取り組みにつながるように、連絡調整を進めていきたい。 また、公民館独自の学習会や講座にも生かせる内容や意見を参考にしていきたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針】

- ・地区住民の親睦を深め、交流の輪を広げる
- ・地区住民が、自分達の暮らす地域や生活を見つめ直す事業を推進する
- ・事業の企画運営に住民が参画する

【地域課題等】

- ・公害対策委員会、空港対策委員会が設置されている農村地区であるため、環境や公害問題に関心が高い
- ・地区役員が1年で交代するため、継続して地域づくりを担う人材の発掘・育成が求められている
- ・小学校が全学年1クラスしかなく、少子高齢化が著しい

【重点的に取り組んだ事項】

- ・地域の伝統文化、歴史を次代に引き継ぐ取り組み
- ・子どもたちが公民館に立ち寄りやすくする取り組み

評価・反省等

・7月の支部対抗球技大会、8月の今井ドンパン夏祭り、10月のいまいスポーツ健康フェスティバルはそれぞれ開催に向け検討したが、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、やむを得ず中止とした。代替としてウォーキング講座等の小規模な講座を行った。来年度も引き続き関係団体と検討を重ねながら「できること」を模索し、実施していきたい。

・バスで行う施設見学は感染症対策のため屋外のウォーキングを主とした。参加希望が多く参加者も自粛のリフレッシュとなり喜んでいただけたため、来年度も引き続き計画したい。長い距離を歩くことが困難な高齢者に向けてどのように対応するか検討していく。

・11月の文化祭は、屋外での発表、受付の設置、持ち帰りのみの出店など、感染症対策をしながら実施することができた。天候にも恵まれ、特に屋外での発表がとても賑やかでよかった。来年度も方法を工夫、検討して開催したい。

・初の試みとして「夏休みは公民館で勉強しよう」「春休みふらっとタイムいまい」など、小中高生が気軽に公民館に立ち寄る機会を設けることができた。来年度も定期的に開催し、子どもたちと公民館のかかわりを深めていきたい。また、地域を基盤とした若者のコミュニティづくりにも寄与したい。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種 委員会 等・
	平和 人権	福祉 健康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数	2	4	4		3		1		2		1		1
延べ参加人数	31	181	97		136		320		96		300		230

	C S	食 育
事業数	2	1
延べ参加人数	96	55

令和2年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
マレットゴルフ教室	4月～11月	11回	福祉健康	高齢者	97人	【内容】 ・第2・4水曜日の午前中に鎖川親水公園マレットゴルフ場でマレットゴルフ教室を行う。 ・ルール、技術は参加者同士で教え合う。 【ねらい】 ・高齢者同士の親睦交流、仲間づくり ・健康増進、閉じこもり予防	【準備過程】 ・公民館ニュースにて通年の事業概要を周知し、以後、毎月の公民館ニュースにて当月の開催日を周知 ・開催時の飲料の準備 【共催団体等】 ・今井地区体育協会	【評価と反省】 ・感染症対策として4月、5月の3回を中止としたが、それ以外はほぼ例年どおりに開催できた。 ・教室参加者によりマレットゴルフ場の草刈りを行った。 【今後の方針】 ・屋外であることや他者との接触がないことから、感染症の影響を受けにくい、今後も新規参加促進を図りたい。		
今井地区文化財委員会	4月～3月	9回	地域文化	成人	71人	【内容】 ・地区内の文化財の案内板建替、設置作業 ・地区内の歴史に関する学習会 ・文化財ニュース（会報誌）の発行 ・文化財活用事業の実施 【ねらい】 ・今井地区の歴史文化の伝承者の人材育成 ・地区内の文化財の保存、活用	【準備過程】 ・毎月の会議開催通知 【共催団体】 今井ふるさと歌留多の会上條蛭司先生頌徳会 松本市文化財課	【評価と反省】 ・感染症対策として4月、5月、1月の委員会を中止した。 ・地区内の文化財の案内板建替、設置を行いながら、委員同士の親睦と交流ができた。 ・まつもと文化遺産に認定された「廣仏殿」の一連の文化財について、パンフレットにまとめることができた。 【今後の方針】 ・感染症対策を行いながら、来年度は子どもたちとの交流など文化財活用事業を行ってきたい。		
親子すくすく教室	5月～3月	9回	子育て	家庭教育	68人	【内容】 ・健康運動指導士小布施育子氏に講師を依頼し、親子体操等のレクリエーションを行う 【ねらい】 ・子どもの健やかな成長を促すため、親子で楽しく体を動かせる親子体操を学ぶ ・未就園児同士、保護者同士の交流、親睦のきっかけづくり	【準備過程】 ・公民館ニュースにて通年の事業概要を周知し、毎月の公民館ニュースにて当月の開催日を周知 【共催団体等】 ・りんごサークル（子育てサークル）	【評価と反省】 ・参加者が自発的・意欲的に取り組んでいる様子が伺える。 ・この教室への参加がきっかけで、りんごサークルへ加入した方もいた。 【今後の方針】 ・感染症対策として5月、6月を中止とした。 ・地区の子どもの数が減っている中で、未就園児及びその保護者の貴重な交流の場であるため、引き続き同様の場づくりを進めたい。 ・関係団体と連携し、参加者を増やしたい。		
春の自然観察会	5月10日（日）	中止			0人	【内容】 ・鉢盛山今井財産区有林の散策及び山菜採取、公民館にて調理と会食を行う ・神林地区、笹賀地区の住民にも各地区公民館を通して参加者を募集 ・案内は笹賀公民館藤波館長に依頼 【ねらい】 ・今井財産区の歴史や自然を学ぶ機会とする	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者の募集 【共催団体等】 ・神林地区公民館 ・笹賀公民館	【評価と反省】 ・参加者募集は行ったが、感染症対策により中止とした。 【今後の方針】 ・感染状況をみながら開催に向け検討したい。		
卓球教室	6月～10月	21回	スポーツ	成人	320人	【内容】 ・今井体育館を会場に、毎週月曜日の午後7時～9時まで卓球教室を開催 ・講師は上條聡志氏 【ねらい】 ・地区住民の親睦交流を図る。 ・市民体育大会への参加者を育成する。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知 ・開催時の飲料の準備 【共催団体】 ・今井地区体育協会 ・今井卓球クラブ	【評価と反省】 ・今井卓球クラブの協力もあり、感染症対策をしながら活動が継続できた。 ・恒例の教室ではあるが、新規参加者も多かった。 【今後の方針】 ・感染症対策を行いつつ、引き続き幅広い年代に周知したい。		
小学校クラブ活動支援	6月～11月	中止			0人	【内容】 ・今井小学校のクラブ活動に、住民が講師として参加 【ねらい】 ・住民がクラブ活動講師や整備活動に参加することで、互いに顔の見える関係をつくる	【準備過程】 【共催団体】 ・今井小学校	【評価と反省】 ・小学校でクラブ活動は行っていたが、学校と相談し地域の方を講師とする支援は中止とした。 【今後の方針】 ・感染症の状況をみながら、小学校と連携し進めていきたい。		
支部対抗球技大会	7月12日（日）	中止			0人	【内容】 ・支部（町会）対抗の球技大会（バレーボール、ソフトボール、マレットゴルフ、ゲートボール）を行う 【ねらい】 ・地区住民の親睦交流	【準備過程】 ・体育協会の役員会にて協議 ・支部長からの意見集約 【共催団体】 ・今井地区体育協会	【評価と反省】 ・役員会にて開催を検討したが、感染症対策のため中止となった。 【今後の方針】 ・感染状況をみながら開催に向け検討したい。		
蓼科高原ウォーキング	7月30日（木）	1回	福祉健康	成人	25人	【内容】 ・蓼科高原のウォーキング及び茅野市内文化施設の見学 【ねらい】 ・自粛期間で家に閉じこもりがちであった地区住民に、ウォーキングで身体を動かしてもらい、健康づくりに資する	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者の募集 ・視察先との連絡調整 【共催団体】 ・今井福祉ひろば	【評価と反省】 ・あいにくの雨天であったが、高原植物の観察を行いながら無理なくウォーキングを行うことができた。 【今後の方針】 ・感染症のリスクを軽減するため、屋外のウォーキング事業は今後も継続したい。		
西南ブロック地区球技大会（兼市長杯争奪球技大会予選）	7月	中止			0人	【内容】 ・西南ブロック3地区（今井・笹賀・神林）で軟式野球とバレーボールの大会を行う。（当番地区：笹賀） 【ねらい】 ・市長杯の予選を兼ねた西南ブロック3地区の親睦交流	【準備過程】 ・3地区の体協役員、公民館職員の合同会議により内容を検討 【共催団体等】 ・笹賀公民館・体育協会 ・神林公民館・体育協会	【評価と反省】 ・市長杯争奪球技大会の中止に伴い、3地区の意見集約の結果、中止となった。 【今後の方針】 ・3地区で密に連携し、感染状況をみながら開催に向け検討したい。		

令和2年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
夏休みは公民館で勉強しよう	8月3日 (月)～8月 18日(火)	11回	その他	青少年	92人	【内容】 ・夏休み期間中に公民館の会議室を開放し、自由に勉強できる場を提供する。 【ねらい】 ・子どもたちの居場所づくり	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知 ・学校へチラシの配布依頼 【共催団体等】 ・今井小学校 ・鉢盛中学校	【評価と反省】 ・初めての試みであったが、予想以上に多くの子どもたちが利用してくれてよかった。 ・人によって集中度が異なるため、複数会議室を用意するべきだと感じた。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。学習補助の日を検討したい。	○	
第26回今井ドンバン夏祭り	8月14日 (金)	中止			0人	【内容】 ・花火の打ち上げとバンドのコラボによる地区の夏祭り 【ねらい】 ・子どもたちの思い出作り ・地域の活性化	【準備過程】 ・実行委員会の書面会議 【共催団体等】 ・今井ドンバン夏祭り実行委員会	【評価と反省】 ・実行委員会の書面会議により中止となった。 【今後の方針】 ・感染状況をみながら開催に向け検討したい。		
未就園児応急救護講座	8月24日 (月)	1回	子育て	家庭教育	10人	【内容】 ・未就園児の保護者向けに乳幼児期の子どもに起こりがちなケースに対する応急救護講座 ・講師は芳川消防署神林出張所職員 【ねらい】 ・適切な応急対応を学ぶ。	【準備過程】 ・未就園児サークルのりんごサークル代表者と内容及び日時を検討 ・公民館ニュースにて周知 【共催団体】 ・りんごサークル(育児サークル)	【評価と反省】 ・感染症対策に配慮しながら、実践的な動作を確認する応急救護講習ができた。 【今後の方針】 ・引き続き実践的な内容の講習を依頼しながら、継続していく。		
りんごサークルバスハイク	9月4日 (金)	1回	子育て	家庭教育	12人	【内容】 ・チロルの森での動物とのふれあい 【ねらい】 ・未就園児の子どもとその親を対象とし、親同士、子ども同士の交流を深めるとともに、子どもの情操教育に役立てる。	【準備過程】 ・育児サークル及び見学先との調整 【共催団体】 ・りんごサークル(育児サークル)	【評価と反省】 ・屋外での交流や食事とすることで、感染リスクを軽減しながら実施できた。 ・動物とのふれあいを楽しむことができた。 【今後の方針】 ・感染症対策を行いながら、育児サークルの交流の場、リフレッシュの場として継続したい。		
千畳敷カールウォーキング	10月6日 (火)	1回	福祉健康	成人	27人	【内容】 ・千畳敷カールのウォーキング及び駒ヶ根市内文化施設の見学 【ねらい】 ・自粛期間で家に閉じこもりがちであった地区住民に、ウォーキングで身体を動かしてもらい、健康づくりに資する。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者の募集 ・視察先との連絡調整 【共催団体】 ・今井福祉ひろば	【評価と反省】 ・天候に恵まれ、個々のペースで無理なくウォーキングを行うことができた。 ・参加者の多くはリフレッシュできたようだった。 【今後の方針】 ・感染症のリスクを軽減するため、屋外のウォーキング事業は今後も継続したい。		
松本市民体育大会	10月11日 (日)	中止			0人	【内容】 ・軟式野球、ソフトバレー、卓球、マレットゴルフ、ゲートボールに参加 【ねらい】 ・競技を通じた住民同士の親睦と交流	【準備過程】 ・各団体代表へ中止連絡 【共催団体等】 ・今井地区体育協会	【評価と反省】 ・感染症対策により、全競技中止となった。 【今後の方針】 ・2年続けての中止となってしまったため、開催される場合は選手にしっかり声かけを行いたい。		
いまいスポーツ健康フェスティバル	10月18日 (日)	中止			0人	【内容】 ・ニュースポーツ、健康測定を中心とした自由参加のイベント 【ねらい】 ・地区住民の親睦及び交流 ・子どもたちの思い出づくり	【準備過程】 ・体育協会の役員会にて協議 ・支部長からの意見集約 【共催団体等】 ・今井地区体育協会	【評価と反省】 ・役員会にて開催を検討したが、感染症対策のため中止となった。 【今後の方針】 ・感染状況をみながら開催に向け検討したい。		
正しいウォーキング講座	10月25日 (日)	1回	福祉健康	成人	32人	【内容】 ・膝や腰を痛めない、正しいウォーキングを教えていただく ・講師は長崎将利先生に依頼 【ねらい】 ・正しいウォーキングを身につけ、個々で実践してもらうことで住民の健康づくり寄与する。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者の募集 ・講師との連絡調整 【共催団体】 ・今井地区体育協会 ・今井福祉ひろば	【評価と反省】 ・共催団体からの声かけもあり、多くの参加があった。 ・参加者1人1人が先生に姿勢を確認してもらうことができ、充実した内容であった。 ・個々で実践するには少し時間が足りなかった。 【今後の方針】 ・開催時期、時間帯を検討しながら、連続講座としても行いたい。		
市長杯争奪球技大会	11月1日 (日)	中止			0人	【内容】 ・ゲートボールに加え、西南ブロックでの予選で優勝した場合は野球とバレーボールに参加 【ねらい】 ・競技を通じた住民同士の親睦と交流	【準備過程】 ・各団体代表へ中止連絡 【共催団体等】 ・今井地区体育協会	【評価と反省】 ・感染症対策により、全競技中止となった。 【今後の方針】 ・感染状況をみながら、大会に参加できるようチーム編成に取り組んでいく。		
今井地区文化祭	11月7日 (土) 8日 (日)	1回	地域事業(文化)	成人	300人	【内容】 ・地区全体の文化芸術に関する展示、発表を行う。 ・地区内の団体により、出店を行う。 【ねらい】 ・地域の文化芸術に携わる人、団体の活動を通して、人材発掘や諸団体等の活動について相互理解を促す。	【準備過程】 ・小実行委員会1回、実行委員会を2回開催し内容を検討 ・文化祭パンフレットを全戸に配布 【共催団体等】 ・今井地区文化祭実行委員会 ・今井地区町会連合会 ・今井小学校 ・今井保育園 ・鉢盛中学校 ・公民館利用団体	【評価と反省】 ・感染症対策のため、受付の設置や屋外の発表など、新たな試みも多かったが、大きな混乱もなく無事に開催できた。 ・例年体育館で行っていた発表を公民館の駐車場で行ったことで、規模縮小を感じさせない賑やかな文化祭となった。 ・出店をすべしやめるのではなく、そばの持ち帰りのみ行うことで、地区住民に喜んでいただけた。 【今後の方針】 ・今年度の実施方法を参考としながら、事業の開催を目指す。		

令和2年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
文化系委員会合同視察	11月15日 (日)	1回	地域文化	その他	10人	【内容】 ・今井地区内の文化系委員会で妻籠の「藤村記念館」や馬籠の「脇本陣奥谷・歴史資料館」を訪ね、学習する。 【ねらい】 ・他地区の文化施設に学び今井地区の文化振興に寄与する。 ・視察により視野を広め、教養を高め館報編集に資する。	【準備過程】 ・視察先との連絡調整 【共催団体】 ・館報編集委員会 ・図書視聴覚委員会 ・文化委員会	【評価と反省】 ・委員に率先して視察行程を作成していただいた。 ・視察先から案内や説明をしていただいたため、より深く学習できた ・新型コロナウイルスの懸念から、参加が少なかったのが残念であった。 【今後の方針】 ・感染状況をみながら、視察先を検討し、継続していきたい。		
図書視聴覚委員会主催クリスマスカード作り	12月22日 (火)	1回	子育て	家庭教育	17人	【内容】 ・例年のクリスマス会に代わり、オリジナルのクリスマスカード作りを行う。 【ねらい】 ・乳幼児～小学生の情操教育及び保護者を含めた交流の場をつくる。	【準備過程】 ・図書視聴覚委員会で内容を検討、キットを作成 ・「みんなの図書館」を作成、全戸配布により周知 【共催団体等】 ・図書視聴覚委員会	【評価と反省】 ・当初は別日で参加を募集したが、希望者がいなかったため、子育てサークルのクリスマス会で行った。 ・委員で協力し、準備、運営ができた。 【今後の方針】 ・主催事業について内容、時期、周知方法を検討し継続したい。		
こだわりのそば打ち講座	1～3月	4回	地域文化	成人	55人	【内容】 ・そば打ちの技術を身につける。 ・地区のそば打ち名人に講師を依頼 【ねらい】 ・今井地区の文化であるそば打ちを継承していく。	【準備過程】 ・講師代表との連絡調整 ・公民館ニュースにて周知 【共催団体】 なし	【評価と反省】 ・感染症対策として1月の講座は中止とし、再開後も開始時刻をずらして講座を行った。 ・講師が道具を貸与してくれ、多くの参加者を受け入れることができた。 ・地区のそば農家のそば粉を使用できた。 【今後の方針】 ・昨年度から継続して参加してくれた方に加え、初心者にも受講していただけたため、感染症対策を行いながら継続していきたい。		○
春待ち落語	3月19日 (金)	1回	人権平和	成人	15人	【内容】 ・松川落語会く風まんだら＞の落語を聞く。 【ねらい】 ・性別や年齢を超えて笑い合うことで、住民同士が互いを認めあう。	【準備過程】 ・団体との連絡調整 ・公民館ニュースにて周知 【共催団体】 ・今井地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・落語だけでなく、参加型のなぞかけ等により、住民同士の輪が感じられる内容だった。 ・例年と異なる事業であったため、楽しみにしてくれる方もいらした。 【今後の方針】 ・内容等検討し、新たな事業を開催していきたい。		
史跡ウォーキング～戦争遺跡を巡る～	3月22日 (月)	1回	人権平和	成人	16人	【内容】 ・ウォーキングを兼ねて今井地区内に残る戦争遺跡を巡る。 ・講師は文化財委員長 原勝美氏 【ねらい】 ・身体を動かしながら、今井地区の歴史について学習する。	【準備過程】 ・講師との連絡調整 ・公民館ニュースにて周知 【共催団体】 ・今井地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・地区の任意団体「文化財委員会」の委員長に講師をお願いし、地区内の文化財について詳しく説明していただくことができた。 ・参加者も熱心に聞き入っていた。 【今後の方針】 ・参加者からも好評であったため、別のコースを検討し行いたい。		
春休みふらっとタイムいまい	3月26日 (金)	1回	その他	青少年	4人	【内容】 ・中高生が公民館で気軽に話し、学び、挑戦する機会を設ける。 【ねらい】 ・中高生が地域と関わるきっかけづくり ・地域を基盤とした中高生のコミュニティづくり	【準備過程】 ・中学校との連絡調整 ・公民館ニュースにて周知 【共催団体等】 ・鉢盛中学校	【評価と反省】 ・初の試みであったが、鉢盛中学校のご協力もあり、4人の生徒さんに参加していただいた。 ・公民館はどんなところか、何ができるのか、中学生に伝え、自由に話してもらういい機会となった。 【今後の方針】 ・来年度からは部活がない水曜日の放課後を利用して定期的な開催を目指したい。		○
五部門委員会	通年	5回	公民館委員会・各種会議等	成人	230人	【内容】 ・運営委員会…公民館事業計画、事業報告、予算、決算の審議 ・館報編集委員会…隔月発行の館報いまい版の取材、編集 ・図書視聴覚委員会…年2回の図書入替、おすすめ本の紹介、主催事業の企画運営 ・文化委員会…地区の歴史、文化の学習及び発表 ・体育委員会…スポーツ事業の企画運営	【準備過程】 ・会議通知 ・資料作成事務 ・公民館ニュースにて委員募集 【共催団体等】 ・館報編集委員会 ・図書視聴覚委員会 ・文化委員会 ・体育委員会 ・運営委員会	【評価と反省】 ・運営委員会は人数が多いため感染症対策として書面会議としたが、その他の委員会は感染状況をみながら開催できた。 ・例年の事業ができなときは、委員がアイデアを出しあい、工夫しながら事業を行うことができた。 【今後の方針】 ・人材を確保しながら、引き続き積極的な委員会活動を促していきたい。		
公民館ニュース発行	通年月1回発行				全戸	【内容】 ・毎月の市広報誌の配布に合わせ、全戸に公民館事業等を周知 【ねらい】 ・公民館事業の周知、募集	【準備過程】 ・編集、印刷 【共催団体等】 なし	【評価と反省】 ・紙面内容を工夫しながら発行することができた。 【今後の方針】 ・全戸配布だけでは見てもらえないことが多いため、公民館内への貼り出しやHPの更新などを行っていく。		
みんなの図書館発行	不定期発行				全戸	【内容】 ・図書室の本の入替やおすすめ本の紹介、主催事業の周知などを行う 【ねらい】 ・図書室の利用促進や行事の周知案内を図る	【準備過程】 ・編集、印刷 【共催団体等】 ・図書視聴覚委員会	【評価と反省】 ・3回発行することができた。 【今後の方針】 ・全戸配布以外にも小学校や児童センターに配布を依頼するなど、子どもとその保護者に見ていただけるような工夫が必要		

・新型コロナウイルスの影響により当初計画していた事業の多くが中止となった。手指の消毒や人と人との距離の確保など、具体的な感染防止対策が示された後は募集定員を減らすなどの工夫を行い、できるだけ事業の実施を心がけた。また、事業の実行委員会等の会議では、実施か中止かの議論にならないよう、どうしても実施できるのかを皆で考えるという方向性で取り組んだ。

・内田地区が松本市と合併して60年を迎えたことを記念して、内田地区の名所や旧跡、伝統行事などを題材としたご当地かるた「山ふところの里内田めぐりかるた」を作成した。

・松本市重要無形民俗文化財「内田のササウ踊り」の歌手や演奏者の育成を図るため、「ササウ踊り演奏学習講座」を開催した。

・地区三大行事のうち、ササマまつり（盆祭り）と運動会は新型コロナウイルスの影響により中止となったが、文化祭は実行委員で感染対策を検討、徹底して開催することができた。実行委員から積極的な意見が出されたり、工夫している様子が見受けられ、主体的な地域づくりが機能している。

・「山ふところの里内田めぐりかるた」は、町会連合会役員、公民館委員等からなる作成委員会を設置して内容の検討を行った。絵札を描画いただいた方々のご協力もあり、年度内に完成することができた。

・「ササラ踊り演奏学習講座」は、明善中学校と連携して参加を募ったところ中学生11人の参加があった。三味線に興味を持つ中学生が多く今後の参加が見込まれるため、継続して開催したい。

	C S	食 育
事業数	4	2
延べ参加人数	416	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
内田スポーツDay	5月10日	中止	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 ウォークラリー、なわとび大会及び ニュースポーツの体験 【ねらい】 スポーツを通じて地域住民の交流を 図る。	【準備過程】 体協役員と実施の可否を 検討し、中止を決定 【共催団体等】 内田地区体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針】 内容と手法を検討し、参加者を増やしたい。		
内田親睦ゴルフコンペ	5月	中止	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 個人対抗による親睦ゴルフ大会。会 場は地区内の松本カントリークラブ 【ねらい】 スポーツを通じて地域住民の交流を 図る。新規の参加者の発掘	【準備過程】 地区役員と実施の可否を 検討し、中止を決定 【共催団体等】 内田地区町会連合会	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針】 住民の交流を深める機会となっているため、実 施したい。		
街めぐりウォーキング	5月	中止	趣味教養	成人	0人	【事業内容】 路線バス（内田線）で市街地まで出 かけ、市有施設等を歩いて巡る。 【ねらい】 1日1往復の内田線を利用すること で、地域の交通についても考える きっかけとする。	【準備過程】 公民館役員と実施の可否 を検討し、中止を決定	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針】 参加者が少ないので、手法の検討が必要		
内田史跡めぐり	6月13日	1回	地域文化	成人	3人	【事業内容】 地区南側の史跡・文化財（明善・内 田学校跡、社宮司、法船寺等）を歩 いて巡る。 【ねらい】 地区内にある史跡・文化財への理解 を深める。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討 を行い、公民館だよりで 周知	【評価と反省】 参加者が少なく、雨も降っていたので車で移動 した。法船寺の住職に施設の説明をお願いした ところ、参加者に好評だった。 【今後の方針】 参加者が少ないので、手法の検討が必要		
ホテル学習と観察会	6月26日	1回	環境	青少年	22人	【事業内容】 信州大学の先生を講師にホテルと環 境について学習した後、地区内を流 れる塩沢川でホテルを観察 【ねらい】 ホテルを切り口に自然環境を考える 機会とする。	【準備過程】 講師と内容の検討を行 い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 松原地区公民館、松本ホ テル学会、内田児童館	【評価と反省】 ホテルを通して自然環境を考える良いきっかけ となった。 【今後の方針】 子どもの参加が多く、参加者の評判も良いので 継続したい。		
内田地区球技大会	7月5日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 町会対抗による軟式野球、ゲート ボール、ソフトバレーの大会 【ねらい】 スポーツを通じて地域住民の交流を 図る。	【準備過程】 実行委員会役員（町内公 民館長・主事、町会長、 体協役員等）と実施の可 否を検討し、中止を決定	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針】 お年寄りもスポーツに参加する貴重な機会と なっているため継続したい。		
明善小学校4学年内田 地区地域学習	7月17日	1回	地域文化	青少年	80人	【事業内容】 児童が地区内の史跡・文化財等を 回って事前に学習。疑問点を公民館 長が説明 【ねらい】 地域の歴史文化を知り、地域に愛着 を持ってもらう。	【準備過程】 学校側から依頼があり、 授業の時間に実施	【評価と反省】 児童が地域の歴史文化に興味を持つきっかけと なった。 【今後の方針】 小学生が地域を知る機会となっているため、継 続して実施したい。	○	
子ども防災合宿	7月27日	中止	防災	青少年	0人	【事業内容】 災害救助用炊飯袋（ハイゼックス）を 使ったカレーライス作り、救急救命 講習、避難所の宿泊体験 【ねらい】 災害時を想定した食事作りや避難所 となる公民館での宿泊体験により子 どもたちが防災について考えるきっ かけとする。	【準備過程】 実行委員会役員（町内公 民館長、町会長、子ども 会育成会役員、民生・児 童委員等）と実施の可否 を検討し、中止を決定 【共催団体等】 芳川消防署、南部保健セ ンター	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針】 子どもが防災について考える機会となっている ため継続したい。		○
水生昆虫観察会	8月3日	1回	環境	青少年	29人	【事業内容】 信州大学の先生を講師に水辺環境に ついて学習した後、地区内を流れる 塩沢川で水生昆虫を採取し公民館で 観察 【ねらい】 水生昆虫の採取を通して自然環境を 考える機会とする。	【準備過程】 講師と内容の検討を行 い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 NPO法人 川の自然と文 化研究所、内田児童館	【評価と反省】 水生昆虫の採取を通して自然環境を考えるきっ かけとなった。 【今後の方針】 今年度同様、児童館と連携して実施したい。		
内田ササマ祭り	8月14日	中止	地域事業 (その他)	成人	0人	【事業内容】 駄菓子屋やすいか割り等の子ども向 けのイベント、かき氷・わたあめ・ やさきそば等の屋台、参加者によるサ サマ踊り、ビンゴ大会など 【ねらい】 地域の伝統文化であるササマ踊りの 継承と子どもからお年寄りまで楽し める行事として実施	【準備過程】 実行委員会役員（公民館 役員、町会長、子ども 育成会役員等）と実施の 可否を検討し、中止を決 定	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針】 ササマ踊りの継承と地域の交流の場として定着 していることから継続して実施したい。		
東南ブロック球技大会	8月30日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 バレー、バトミントン、卓球、ソフ トバレー、マレットゴルフ、軟式野 球の6種目による6地区対抗競技 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの	【主管】 東南ブロック球技大会実 行委員会	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針】 東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事 として他地区との交流の推進を図る。		

令和2年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
第57回内田地区大運動会	9月6日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 町会対抗による大玉おくりやり レー、自由参加のマラソンなど 【ねらい】 地区住民が一堂に会し、伝統にも なっている競技を通じて、子どもか らお年寄りまで参加できる行事とし て開催	【準備過程】 実行委員会役員（公民館 役員、町会長、子ども会 育成会役員、健康づくり 推進員等）と実施の可否 を検討し、中止を決定	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の方針】 子どもからお年寄りまで参加できる貴重な機会 となっているため継続したい。暑い時期の開催 のため、熱中症対策に気を配りたい。		
自然観察会	9月12日	1回	環境	成人	16人	【事業内容】 白馬五竜高山植物園でウォーキング をしながらの自然観察 【ねらい】 自然環境への理解を深めるとともに 健康増進も図る。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討 を行い、公民館だよりで 周知。 感染症対策のため、定員 を半数とした。	【評価と反省】 新型コロナウイルスの影響で当初の日程からは 延期となったが、感染対策を徹底することで実 施することができた。 【今後の方針】 単なるサービスに終わらないよう、毎年手法を 検討していきたい。		
牛伏川階段工ウォー キング	10月7日	1回	地域文化	成人	22人	【事業内容】 歩きながら、国の重要文化財「牛伏 川階段工」の歴史、概要を学ぶ。 【ねらい】 地区内にある文化財への理解を深め る。	【準備過程】 福祉ひろば職員と内容の 検討を行い、公民館だより で周知。 【共催団体等】 内田地区福祉ひろば	【評価と反省】 「牛伏川階段工」の歴史、概要について理解を 深めることができた。 【今後の方針】 「牛伏川階段工」を学ぶ貴重な機会であること から継続して実施したい。		
第43回内田地区文化 祭・第22回内田地区福 祉ひろばまつり	11月8日	1回	地域事業 (文化)	成人	168人	【事業内容】 サークルによるステージ発表や個人 作品などの展示、くじびき、農産物 の直売 【ねらい】 子どもからお年寄りまで楽しむこと ができる行事として開催	【準備過程】 実行委員会（公民館役 員、町会長、子ども会 育成会役員、農村女性協議 会役員等）で内容を検 討。プログラムを作成し て周知 【共催団体等】 内田地区福祉ひろば	【評価と反省】 子ども会育成会による子ども向けイベントが中 止となり子どもの参加が少なかった。飛沫が生 じやすい合唱などは発表をご遠慮いただくなど 感染対策を踏まえた内容とすることで実施する ことができた。 【今後の方針】 文化・芸術活動の貴重な発表の機会となっており、また、子どもからお年寄りまで参加する機 会にもなっているため継続したい。		
文化芸術視察研修	11月15日	1回	趣味教養	成人	16人	【事業内容】 飛騨民俗村飛騨の里と飛騨大鍾乳洞 の見学 【ねらい】 文化財・芸術品の鑑賞を通して文化 意識の向上を図るとともに、住民同 士の交流を深める。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討 を行い、公民館だよりで 周知。 感染症対策のため定員を 半数とした。	【評価と反省】 感染対策を徹底して実施することができた。 また、文化財・芸術品鑑賞の感動を共有するこ とで住民同士の交流を深めることができた。 【今後の方針】 文化財・芸術作品に触れることができる貴重な 機会であることから今後も継続したい。		
明善小学校4学年ササ ラ踊り学習	11月17日	1回	地域文化	青少年	25人	【事業内容】 市の重要無形民俗文化財「内田のサ サラ踊り」の学習及び体験 【ねらい】 子どもの頃からササラ踊りに親しむ ことで伝統文化の継承を図る。	【準備過程】 学校から要請があり、授 業の中で実施 【共催団体等】 ササラ踊り保存会	【評価と反省】 ササラ踊りに親しむことができた。 【今後の方針】 ササラ踊りに親しむ貴重な機会となっているた め、引き続き学校と連携して実施したい。	○	
音の花束コンサート	11月27日	1回	その他	青少年	300人	【事業内容】 明善中学校の体育館にプロの演奏者 を招いてのコンサート。今年はテ ノールとピアノの協演 【ねらい】 生徒の地区行事等への参加のお礼と して開催。公民館活動について、生 徒の理解を深める。	【準備過程】 公民館と中学校が連携し て準備を進めた。 【共催団体等】 寿台公民館、松原地区公 民館	【評価と反省】 普段触れる機会の少ないプロの演奏を聴ける貴 重な機会となった。中学生の公民館に対する認 識を深めることができた。 【今後の方針】 CS運営委員会に中山公民館も参加しているこ とから、同館を加えての開催を検討したい。	○	
ニューススポーツ体験会	12月6日	1回	地域事業 (体育)	成人	13人	【事業内容】 ワンバウンドふらば一るバレー、バ スケットビンポン、ポッチャの体験 【ねらい】 ニューススポーツを通して冬の運動 不足解消と世代間交流を図る。	【準備過程】 体協役員と内容の検討を 行い、公民館だよりで周 知 【共催団体等】 内田地区体育協会	【評価と反省】 手袋をつけるなど感染症対策を行った。 参加人数は減ったが、スポーツと一緒に楽しみ 世代間交流が深まった。 【今後の方針】 参加者が少ないので内容と手法の検討が必要		
しめ縄・ふかし饅頭つ くり	12月12日	中止	地域文化	成人	0人	【事業内容】 しめ縄づくりとふかし饅頭の調理 【ねらい】 地区在住の講師から作り方を教わり ながら世代間交流を図るとともに、 伝統文化を学ぶ。	【準備過程】 公民館役員と実施の可否 を検討し、中止を決定 【共催団体等】 子ども会育成会	【評価】 新型コロナウイルス対策のため中止 【今後の反省】 子ども会育成会と連携して実施したい。		○
異文化料理教室 (人権啓発学習講座)	1月31日	1回	人権平和	成人	9人	【事業内容】 外国人講師によるカレーづくりの実 習（作った料理は持ち帰り） 【ねらい】 料理を通して異文化に対する理解を 深めるとともに外国人の人権を考え るきっかけとする。	【準備過程】 人権啓発推進連絡協議会 役員と内容の検討を行 い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 内田地区人権啓発推進連 絡協議会	【評価と反省】 外国人講師から直接、食文化の話を聴くことが でき、異文化への理解を深めることができた。 【今後の方針】 参加者の関心も高かったことから今後も実施を 検討したい。		
人権啓発視察研修	2月13日	1回	人権平和	成人	14人	【事業内容】 浅川伯教・巧兄弟史料 館の視察 【ねらい】 相手の立場で物事を捉える姿勢や外 国の文化を尊重する姿勢を醸成	【準備過程】 人権啓発推進連絡協議会 役員と内容の検討を行 い、公民館だよりで周知 感染症対策のため、定員 を半数とした。 【共催団体等】 内田地区人権啓発推進連 絡協議会	【評価と反省】 外国人の立場に立つて外国を捉えることの大切 さや外国の文化を尊重する姿勢を醸成すること ができた。 【今後の方針】 人権について考える貴重な機会であることから 継続して実施したい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
内田地区ウォーキング	3月6日	1回	スポーツ	成人	15人	【事業内容】 地区内の神社仏閣や旧跡などを歩いて巡る。内田かるたも使用 【ねらい】 健康づくりを通して住民同士の親睦を深める。	【準備過程】 福祉ひろば職員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 内田地区福祉ひろば	【評価と反省】 健康づくりを通して住民同士の親睦を深めることができた。 【ねらい】 参加者が多く集まる事業であることから、来年度も実施したい。		
サササ踊り演奏学習講座	3月20日	1回	地域文化	青少年	11人	【事業内容】 市の重要無形民俗文化財「内田のサササ踊り」の唄と演奏の学習 【ねらい】 サササ踊りの歌い手や演奏者が少なくなってきたため、次代の担い手の育成を図る。	【準備過程】 公民館だよりのほか、中学校でも参加募集のチラシを配ってもらった。 【共催団体等】 サササ踊り保存会	【評価と反省】 中学生のみの参加となったが、演奏（三味線）に興味を持つ中学生が多かった。 【今後の方針】 引き続き実施して担い手の育成につなげたい。	○	
健康づくり講座「PPKスクール」	通年	4回	福祉健康	成人	49人	【事業内容】 理学療法士による健康に関するミニ講座と筋トレと有酸素運動を組み合わせた運動の実施 【ねらい】 介護予防の啓発と運動習慣のきょうけつづくり	【準備過程】 講師、共催団体と内容の検討を行い、公民館だよりで周知 【共催団体等】 健康づくり課、南東部地域包括支援センター、介護事業所	【評価と反省】 介護予防の知識を深めるとともに運動習慣のきょうけつとすることができた。 【今後の方針】 引き続き、専門職の講師を招いて実施したい。		
公民館委員会・各種地区事業実行委員会	通年	27回	公民館委員会・各種会議等	成人	236人	【事業内容】 公民館事業、地区事業の企画運営 【ねらい】 公民館事業、地区事業を効果的に行う。	【準備過程】 年度の始め、事業の前後等に随時開催	【評価と反省】 各委員会、実行委員会で事業の企画運営が行われ、効果的な活動を行うことができた。 【今後の方針】 住民主体で事業が行われるよう、継続して支援したい。		
公民館報「はちぶせ」	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	成人		【事業内容】 公民館事業や地区・町会行事等の記録、地区の出来事や課題等の記録 【ねらい】 公民館事業や地区の出来事、課題等の周知	【準備過程】 館報編集委員会において、記事の検討、推敲	【評価と反省】 公民館事業や地区事業等を住民の視点で記録することができた。 【今後の方針】 事業の記録だけでなく、地区の事に興味を持ってもらえる記事を掲載したい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

方針 地区住民による、より自主的な活動ができるよう意識し、主に次の事業に取り組んだ

- 1 公民館委員会
地区公民館主導の活動から脱却し、より自主的な活動となるよう心掛けた。コロナ禍で地区行事等が少ない中、館報編集委員では、令和6年に迎える本郷地区合併50周年に併せて記事を考えたり、状況に応じた自主的な判断で取り組んだ。
- 2 地区文化祭
新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から、文化委員会等で検討を重ね、中止した。また、文化祭中止に伴い、例年行っていた図書委員会の除籍本配布等を密を避ける工夫をし、実施した。
- 3 講座
毎年行っている講座に加え、年4回のシリーズ開催で「心理学講座」を検討したが、コロナ禍により中止した。他複数講座を感染症対策を考え実施した。
- 4 貸館
本郷公民館利用者説明会を午後・夜間の1日2回開催し、オンライン開催を同時に行うなど、感染症対策をして利用者との意見交換、公民館を利用するうえでの基本事項の確認を行った。公民館設備の老朽化への対応を求める意見も多く聞かれる。
- 5 コミュニティスクール
本郷小学校に対し、授業サポートや各種ボランティア紹介、学校登山へのサポート随行を実施した。また、女鳥羽中学校生徒のボランティアとしての受入等を行った。

評価・反省等

従来の活動に加え、なにか一つでも付け加えることができるよう意識し、各事業に取り組んだ。力の及ばなかった点はあるが、ある程度の成果を上げられたと感じている。

- 1 公民館委員会
各公民館委員会の自主的な発案等により事業が継続できているが、新型コロナウイルス感染症等により中止を余儀なくされ、実施できなかったものが多く、残念に感じる。
- 2 貸館
新型コロナウイルス感染症等に配慮し、十分な指導と適切な物品提供が出来た。また利用者からの施設に対する要望が多数あげられているが、特に床の不陸、故障した暖房設備の更新、寒冷時に明滅を繰り返す照明器具等に多くの意見が寄せられた。これらに対する改修に応えることが出来ないため、今後の改善が必要と考える。
- 3 新しい仕組みづくり
従来からの生涯学習の場として、物理的な場所を提供することに加え、新しい技術（インターネット等）の取り込みにより、今までのやり方を大事にしつつ新たな取り組みが必要と考える。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公 民 館 各 種 委 員 会 等
	平 和 権	福 健 祉 康	子 育 て	環 境	文 地 化 域	教 趣 養 味	ス ポ ー ツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数	3		1	2	2		1		7	4	5		7
延べ参加人数	53		36	26	18				87	97	48		422

	C S	食 育
事業数	1	1
延べ参加人数	36	18

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
御殿山ウォーキング	中止	1回	その他	その他	0人	・親子で地区公民館から地元の里山を歩き、地元の自然に親しむとともに、ルート上にある文化財等にも関心を持ってもらう。	【共催団体等】 ・本郷地区子ども会育成会	・新型コロナウイルス感染症への配慮から中止 ・次年度以降も継続して開催したい。		
心理学講座	中止	4回	その他	成人	0人	・騙される心理や正常性バイアス等、心の動きを学ぶもの		・新型コロナウイルス感染症への配慮から中止となったため、令和3年度実施したい。		
親子でホタルを見よう	6/29 (月)	1回	環境	その他	19人	・ホタルの観察会を通じ、自然環境について考える。	【共催団体等】 ・浅間温泉ホタルの里づくりの会	・申し込みがあった参加者の他に、温泉の宿泊客などの参加もあり、賑やかな会となった。 ・今後も開催していく予定だが、ホタルの発生時期のピークを予想するのが困難。 ・今年は数多くのホタルが見られ、参加者の満足度は高かった。		
人権啓発推進講演会	7月1日 (水)	1回	人権平和	成人	35人	・地区人権啓発推進協議会の総会に併せ、「人権と戦争 戦死者を祀る」をテーマに講師を招き、講演会を行った。	【共催団体等】 ・本郷地区人権啓発推進協議会	・今後もテーマを考えながら開催していく。		
親睦ナイターグラウンドゴルフ大会	7月16日 (木)	1回	地域事業 (体育)	成人	42人	・本郷小学校校庭を利用したグラウンドゴルフ大会。健康づくり、体力増進とともに、住民の親睦の向上を図る。	体育委員会主催	・参加者からは好評を頂いている。 ・不参加の町会もあり、参加町会の増加が課題		
美ヶ原を歩こう	中止	1回	スポーツ	その他	0人	親子、仲間で開催するウォーキングイベント。楽しみながらの健康増進を目的とする。		・新型コロナウイルス感染症への配慮から中止 ・親子や仲間同士など、様々な参加者。年齢層も幅広く、多世代交流が見込めるため、今後も継続		
七夕飾りを作ろう	8/5 (水)	1回	その他	その他	25人	・例年親子料理教室としているものをコロナ対策から調理した七夕料理を持ち帰り、七夕飾りづくりとしたもの。 ・季節の文化を知り、親子で伝統文化に触れる機会を作る。	【共催団体等】 ・本郷地区女性3団体 (JA本郷女性部、本郷地区農村女性協議会、食生活改善推進協議会)	・夏休み期間中であつたため、予定組数を超える参加であつた。 ・今後も継続して開催していく。		
水辺の生き物観察会	8/7 (金)	1回	環境	青少年	7人	・女鳥羽川やその岸で見つけた昆虫、魚などを採取し、自分で辞典等で調べてみる。自然環境、生物に対する興味の向上を図る。		・参加者は非常に楽しそうであつた。 ・辞典で調べる際は数人でグループとなって行うため、参加者同士の交流も図れた。 ・今後も開催する予定		
親子で化石を掘ろう	8月22日 (土)	1回	その他	その他	21人	・四賀化石館を見学した後、自分でも実際に化石を採取してみる体験学習の講座	四賀化石館	・参加者からは、非常に楽しかったという声が聞かれた。 ・夏休み中の開催が好評であつた。		
伝統的建造物群保存地区視察	8月30日 (日)	1回	地域事業 (文化)	その他	15人	・伝統的建造物保存地域である長野市戸隠の中社地区の宿坊群及び宝光社地区門前町の見学等、文化委員会主催の文化施設視察研修	文化委員会主催	・参加者からは概ね好評であつた。 ・募集開始後、すぐに定員となってしまう。抽選方式にすべきか検討が必要		
親子ニューススポーツ大会	中止	1回	地域事業 (体育)	その他	0人	・5種類ほどのニューススポーツ体験講習会	【共催団体等】 ・本郷地区体育協会 ・本郷地区子ども会育成会 ・本郷公民館体育委員会	・新型コロナウイルス感染症への配慮から中止		
町会対抗マレットゴルフ大会	9月5日 (土)	1回	地域事業 (体育)	成人	30人	・町会対抗方式のマレットゴルフ大会。健康づくり、体力増進とともに、町会の結束と住民の親睦の向上を図る。	体育委員会主催	・参加者からは好評を頂いている。 ・不参加の町会もあり、参加町会の増加が課題		
浅間温泉と芸者文化Part2	9月10日 (木)	1回	地域事業 (文化)	成人	33人	・浅間温泉の歴史・文化について、地元在住の講師を招き講演会を開催する。 ・自分の住む地域に関する造詣を深め、地域に対する愛着と感心の向上を図る。	図書委員会主催	・図書委員からの発案により昨年に引き続き開催 ・常に定員以上の参加があり、次年度開催の要望もあるため、令和3年度も開催する予定		
町会対抗ナイターグラウンドゴルフ大会	10月21日 (水)	1回	地域事業 (体育)	成人	25人	・町会対抗方式のグラウンドゴルフ大会。健康づくり、体力増進とともに、町会の結束と住民の親睦の向上を図る。	体育委員会主催	・参加者からは好評を頂いている。 ・不参加の町会もあり、参加町会の増加が課題 ・例年準備に参加して頂いている指導者が不在となるなど準備に課題が残った。 ・コロナ禍での運動不足から参加者が浚渫とプレーしており、おおむね好評だったため今後も継続したい。		
文化施設視察 (文化祭特別企画)	中止	1回	地域事業 (文化)	成人	0人	・長野県立歴史館の見学。文化、歴史について造詣を深める機会	文化委員会主催	・新型コロナウイルス感染症への配慮から中止		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
本郷地区文化祭	中止	1回	地域事業 (文化)	その他	0人	【内容】 ・地区文化活動者の発表（ステージ発表、展示発表）、地区に関係する学校（本郷小学校、女鳥羽中学校、第一高校、信州大学）の吹奏楽部等による音楽祭の開催など 【ねらい】 ・地区文化活動者の発表の場を提供することで、活動者がより生きがいを持って文化活動を行なうことを期待し、またその他の参加者が身近な文化・芸能に触れることで、新たな文化活動の担い手となることを目的とする。	【準備過程】 ・地区内団体と実行委員会を組織し、開催可否・内容を検討した。 ・福祉ひろばまつり、児童センターまつりも同時開催のため、福祉ひろばコーディネーター、児童センター長も実行委員として参加。	・新型コロナウイルス感染症への配慮から中止。 ・新しい団体の参加も促しながら対策を考えた。 ・開催日程・期間・発表方法等について、感染症対策に限らず幅広く検討し、来年度実施したい。		
三九郎作り講習会	11月28日 (土)	1回	地域文化	青少年	18人	・地域の伝統行事である三九郎の作り方を子ども達に教え、行事の持つ意味や、手法を次の世代に伝えていく。	【共催団体等】 ・本郷地区子ども会育成会	・子ども向けの講習会だったが、父兄も参加 ・好評であり、伝統行事を次世代へ受け継ぐためにも今後も開催する予定 ・本郷小学校以外の学校へ通う子どもたちの参加が難しい。日程も含め課題が残る。		
人権ふれあいコンサート	中止	1回	人権平和	その他	0人	・音楽活動を行っている障害者支援団体のコンサートを行い、人権について考える機会とする。	【共催団体等】 ・本郷地区人権啓発推進協議会 出演 案団ケ・セラ 松本あさひ太鼓	・新型コロナウイルス感染症への配慮から中止 ・長年同じ出演者で開催しているが、視聴者からは「またやって欲しい」との声が聞かれる。 ・出演団体からの要望もあるため、今後も開催していく予定		
親子そば打ち教室	12月19日 (土)	1回	その他	その他	18人	・地元のそば粉を使い、親子でそば打ちの体験学習 ・食べ物への関心向上と共に、親子のコミュニケーション向上を図る。	【共催団体等】 ・本郷地区子ども会育成会	・毎年、ほぼ定員一杯の申し込みがある。 ・人気講座であり、今後も継続して開催する予定 ・新型コロナウイルス感染症へ配慮し、そば打ちのみで持ち帰りとした。		○
書き初め講座	1月5日 (火)	1回	その他	青少年	23人	・地区内の小中学生を対象に開催 ・伝統文化の継承、技術の向上を図り、子どもの学習支援に繋げる。		・申し込みのあった参加者の他に、当日参加もあり、ほぼ定員に達した。 ・今後も開催予定		
図書委員会主催講演会	中止	1回	地域事業 (文化)	成人	0人	・浅間温泉の歴史・文化について、地元在住の講師を招き講演会を開催する。 ・自分の住む地域に関する造詣を深め、地域に対する愛着と感心の向上を図る。	図書委員会主催	・新型コロナウイルス感染症への配慮から中止 ・毎年行っているが常に定員以上の参加があり、次年度開催の要望もあるため、令和3年度前期に開催する予定		
歴史講座「天冠と古墳」	中止	1回	地域文化	成人	0人	・地区内の桜ヶ丘古墳から出土した金銅製天冠の実物を閲覧し、地域の歴史への興味を深める。		・新型コロナウイルス感染症への配慮から中止		
人権啓発視察「満蒙開拓平和記念館見学」	3/3 (水)	1回	人権平和	成人	18人	・全国で最も多くの方が長野県から満蒙の地へ送られており、満蒙開拓平和記念館を見学することにより、戦争と人権について考える機会とする。	本郷地区人権啓発推進協議会	・昨年度中止としたため、同行程で実施。平和学習の継続の要望もあり、次年度は別な内容で事業継続したい。		
里山トレッキング	中止	1回	その他	成人	0人	・地元の里山を歩き、健康増進、体力向上の機会とすると共に、地元の里山に親しんでもらう機会とする。		・降雪により中止 ・参加者からは好評をいただいているが、参加者が固定化する傾向にある。 ・講師の高齢化が進みつつあり、今後の開催に不安な面もある。		
本郷公民館利用者説明会	3月25日 (木)	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	40人	・本郷公民館利用団体の代表者を対象に懇談会を行った。 ・利用者との意見交換を行い、使用するうえでの基本事項の共有を図った。 ・午後・夜間2回開催、同時にZoomによるオンライン開催も行う。		・利用者からの要望については、すぐに対応できないものもあるが、今後も定期的に開催していく必要を感じた。 ・オンライン開催とすることで普段参加できない代表者も参加でき好評であったので継続したい。		
コミュニティスクール事業	通年	2回	子育て	青少年	36人	・地域全体で子どもを育てることを目的に、地元住民によるクラブ活動指導、読み聞かせボランティア、緑化事業ボランティア、学校登山のサポートなどの活動を行った。		・事業は今後も継続していくが、ボランティアやクラブ活動指導者が固定化しており、新しい人の加入が少ない。	○	
町内公民館長会	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	成人	106人	・全員が文化祭実行委員となっているため、文化祭内容の企画をはじめ、文化祭の運営を行った。 ・また公民館長同志の交流を深め、地区内の親睦と結束の向上に努めた。		・昨年から役員交代により、半数近くが未経験者だが、自主的な活動を行えた。 ・活動予算が少なく、新しい事業を行うことは困難		
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	106人	・公民館報の編集ならびに作成、編集に必要な取材等を行う。		・地区公民館主導での編集が多かったが、次第に自主的な活動が行えるようになってきた。		
体育委員会	通年	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	42人	・各種体育行事を企画・実施し、地区住民の健康増進と交流・親睦の向上を図る。		・当番制の導入により、行事への出席率は改善がみられる。 ・今年度は悪天候による行事の中止が多く残念。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
文化委員	通年	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	43人	・文化施設視察、文化祭の企画・運営などを行い、地区の文化向上と地区住民の交流・親睦を図る。		・経験者も多く、自主的な活動が行えた。		
図書委員会	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	成人	47人	・年4回の図書だより発行により、読書についての啓蒙を図り、また本郷図書館の活動に協力する。		・自主的な活動が最も盛んな委員会 ・前年通りにいかない場合となっても、自分達で解決方法を考えて活動できる。 ・委員が固定されているので、新しい委員の加入が課題		
運営委員会	通年	2回	公民館委員会・各種会議等	公民館委員会・各種会議等	38人	・本郷公民館の事業計画、予算案、徐行報告、決算報告などについて協議を行い、本郷公民館の活動方針について決定を行う。				

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】

- ・新型コロナウイルス感染拡大のため、体育事業では球技大会や駅伝大会、文化事業では夏まつりや四賀コンサートなどの人数の集まる地区事業がほとんど中止となったが文化祭は、感染症対策をして展示を中心に開催することができた。
- ・コロナ禍であっても四賀球場、四賀の里錦織の施設を利用した講座や地区内のウォーキングを実施した。
- ・四賀公民館図書室を整理充実させ、利用の推進を図る。
- ・コロナ禍でのそれぞれの事業について開催方法を検討する。

評価・反省等

- ・地域課題について地域支援員さんと相談し、スマートフォン講座を開催することができた。
- ・地域課題に対応した学習や地域資源を利用した講座を来年度も開催したい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会等
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	スポ ーツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数	1	2	1		1	8	4		1	4	3	2	8
延べ参加人数						30	180				500	2792	192

	C S	食 育
事業数		
延べ参加人数		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
第16回四賀地区球技大会	5月24日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・町会対抗でソフトバレーボール、ソフトボール、ゲートボール、ラージボール卓球、マレットゴルフの5競技を行う。 【ねらい】 ・地区住民がスポーツを通じて、親睦・体力向上・スポーツ人口の底辺拡大、活気ある地域づくりを図る。	【準備過程】 ・競技団体に役員を依頼して、要項を検討し、地区体育部長に参加依頼する。 【共催団体等】 ・四賀体育協会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 ・新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・地区の人口が減少する中、町会の協力を得て、大会を開催できている。 ・地区内の住民、勤務者が基本であるが、申し合わせて地区出身の人が参加できたため久しぶりに会う人もいて交流も多くなる。 ・より多くの人が参加して勝負より楽しめる大会にしていきたい。		
四賀夏まつり2020	7月18日	中止	地域事業 (その他)	成人	0人	【内容】 ・ふるさと公園を主会場に小学生の金管バンド、地元で活躍するバンド演奏、踊りなどのステージイベントや夜店が並ぶ。最後は、花火の打ち上げも行われる。 【ねらい】 ・「ふるさと四賀」の伝統・文化を伝え地域住民相互の交流・都市と農村、海と山の交流を深めることにより、住民のパワーアップを図り、活力あるふるさとを創生する。	【準備過程】 ・共催団体による実行委員会を立ち上げ企画、運営をする。 【共催団体等】 四賀観光協会、町会連合会、商工会、四賀元氣プロジェクト、J A、町内公民館長会等	【評価と反省】 ・新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・地元出身の花村佑子さんコンサートや小学校の金管バンドなど地域で活躍する人や夜店も中学生が出店するなど地域交流をメインに企画し、これからも地域のための地域住民主体で開催していきたい。		
第35回四賀コンサート	9月12日	中止	地域事業 (文化)	その他	0人	【内容】 ・四賀小学校体育館を会場に開催 ・松本交響楽団、会田中学校生徒、四賀小学校4・5・6年生、四賀鼓龍会虚空蔵太鼓、四賀合唱団等が出演する。 【ねらい】 ・四賀の明日をひらく生涯学習推進の基盤として、地区住民総参加のもとに、心の豊かさ、潤い、やすらぎのある生活、情操豊かな文化を創造する。	【準備過程】 ・実行委員会を結成し、企画、運営を行う。 【共催団体等】 ・主催 松本市、松本市教育委員会 ・主管 四賀コンサート実行委員会	【評価と反省】 ・新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・地区内唯一の本格的な交響楽団によるコンサートであり小中学生も出演するため家族の来場が多い。 ・次年度は、第九の演奏となるため県民コンサートとの合同開催を予定している。		
おさがり会	9月17日	1回	その他	その他	50人	【内容】 ・子どもが成長し、必要なくなった服や用具を公民館へもってきていただき、必要とする人にもっていってもらう。 【ねらい】 ・子供服を必要の人に渡す機会を作る。	【準備過程】 ・チラシの配布や掲示を行い、住民に呼びかける。	【評価と反省】 ・新型コロナウィルス感染症予防対策をして初めて開催した。 【今後の方針等】 ・子供服や用具のリユースができるため、今後も実施していきたい。		
第11回四賀バレーボール大会	10月18日	中止	地域事業 (体育)	女性	0人	【内容】 女性9人制バレーボール大会 【ねらい】 バレーボール人口の増大と女性同士の交流を図る。	【準備過程】 競技団体に役員を依頼する。 【共催団体等】 四賀体育協会 ママさんバレーボールクラブ 婦人バレーボール連盟	【評価と反省】 ・新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 バレーボール人口が減少し、参加チーム数も減り、複数町会混合でチーム結成しているため町会間での調整が厳しくなっている。女性同士の交流の場として今後も継続していきたい。		
四賀マレットゴルフオープン大会	10月18日	1回	スポーツ	成人	150人	【内容】 ・マレットゴルフ大会 【ねらい】 ・連盟会員以外も参加でき、会員の新規加入促進する。	【準備過程】 ・会員以外も参加できるので参加募集等を行った。 【共催団体等】 ・マレットゴルフ連盟	【評価と反省】 ・マレットゴルフ連盟が運営し、四賀公民館は住民に周知することで協力している。 【今後の方針等】 ・マレットゴルフ競技人口を増やすため今後も協力して、開催していきたい。		
ロケットストروب作り講座づくり	10月24日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 ・「四賀の里錦織」を利用しロケットストروبを作成する。 【ねらい】 ・防災にも活用できるロケットストروبの作り方を学ぶ。	【準備過程】 ・四賀地区以外にも参加者の募集を行った。	【評価と反省】 ・コロナ禍でできる講座を企画し、地域資源でもある「錦織の里」を利用することができた。 【今後の方針等】 ・「錦織の里」を利用した講座を今後とも計画していきたい。		
四賀地区文化祭	10月31日～11月3日	1回	地域事業 (文化)	その他	500人	【内容】 ・保育園児、小中学生、各クラブ、団体、サークルの作品展示を行う。 ・四賀新そば祭り実行委員会主催の「そばまつり」を開催する。 【ねらい】 ・地区で活動する団体が一堂に会し、文化活動の発展と交流を図る。 ・地区住民の文化活動を推進する。	【準備過程】 ・文化関係団体・個人に通知し、出展者を募る。 ・出展者により運営、準備、片付けを行う。 【共催団体等】 ・福祉ひろば・社会福祉協議会・福寿草倶楽部・新そば祭り実行委員会・四賀小学校・会田中学校・双葉保育園・錦部保育園	【評価と反省】 ・新型コロナウィルス感染症予防対策をして開催した。 ・例年より参加団体が少なかったが展示の日数を当初計画より2日から4日へ延長した。 【今後の方針等】 ・作品を展示し、来場者に見ていただく貴重な機会であるので来年度も感染症対策をして実施していきたい。		
第15回生涯学習フェスティバル	10月31日	中止	地域事業 (文化)	成人	0人	【内容】 ・福寿草倶楽部を中心とした発表会 ・実践活動として会田中学生によるステージ発表 【ねらい】 ・同じ趣味を持つ仲間が集い、学習し、得たことに喜びをより確かな歩みを推進するために開催する。	【準備過程】 ・福寿草倶楽部が運営する。 【共催団体等】 ・福寿草倶楽部 ・会田中学校	【評価と反省】 ・新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・福寿草倶楽部のサークル発表の貴重な機会となっているが、住民の観客が少ないため、多くの人が集まるフェスティバルにしていきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
第61回四賀一周駅伝競技大会	11月3日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・地区内を12区間で周る駅伝大会 【ねらい】 ・地区住民のスポーツ人口の拡大と明日への活力を養い、健康で充実した生活を送り、活気ある地域づくりを図る。	【準備過程】 ・実行委員会をつくり、要項の検討、準備、大会運営を行う。 【共催団体等】 ・四賀体育協会 ・町内公民館町会	【評価と反省】 ・新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・国道など車道を走行するため安全面の強化が必要である。 ・地区外からの参加も促進していきたい。		
四賀球場で学ぼう・遊ぼう	11月21日	1回	スポーツ	成人	30人	【内容】 ・ウォーキング、ランニングの教室 ・四賀球場にあるニュースポーツ用具を使用し運動を行う。 【ねらい】 ・今年度完成した四賀球場を利用し教室を行う。 ・地区住民の健康増進を図る。	【準備過程】 ・スポーツ推進委員会を中心に計画を立てた。 ・四賀球場職員と打合せを行い、協力を依頼した。 【共催団体等】 ・スポーツ推進委員	【評価と反省】 ・新型コロナウィルス感染症対策を行い実施した。 ・四賀球場の見学も行い参加者に四賀球場を知ってもらうことができた。 【今後の方針等】 ・四賀球場の予約が11月であったため、今後はもっと暖かい時期に実施したい。		
そば打ち教室	12月5日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 ・手打ちそばづくり 【ねらい】 ・同じ趣味や興味のある人が集い新しい仲間づくりをしてもらう。	【準備過程】 ・チラシを作成し、四賀小学校、会田中学校へ配布	【評価と反省】 ・新型コロナウィルス感染症拡大防止のため参加人数を減らして開催した。 【今後の方針等】 ・人気のある教室のため来年度も開催していきたい。	○	
天満敦子ヴァイオリンコンサート	12月6日	1回	趣味教養	成人	150人	【内容】 ・音楽村村長天満さんによるヴァイオリンコンサート 【ねらい】 ・特別な会場でしか聞くことができない音楽を身近で聞き楽しんでもらう	【準備過程】 ・実行委員会が中心になり運営 【共催団体等】 ・四賀音楽村	【評価と反省】 ・新型コロナウィルス感染症対策と入場者を定員の50%にして開催した。 【今後の方針等】 ・四賀地区で一流の音楽を聴くことができるため、継続して開催していきたい。		
書き初め教室	1月5日	1回	趣味教養	青少年	20人	【内容】 ・小中学生を対象に冬休みの宿題となっている書き初めと市民タイムスに応募する作品に取り組んだ。 【ねらい】 ・異年齢の人と同じ部屋で学ぶことによって学年を超えた友達をつくるきっかけにしてもらう。	【準備過程】 ・チラシを作成し、四賀小学校、会田中学校へ配布	【評価と反省】 ・新型コロナウィルス感染症対策をして講師の先生の指導でびのびと書く事ができ、楽しみながら作品を仕上げる事ができた。 【今後の方針等】 ・人気のある教室のため来年度も継続して開催したい。		
親子でしめ飾り講習会	12月12日	1回	趣味教養	青少年	20人	【内容】 ・正月に飾るしめ飾りの作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・伝統文化の理解を深める。	【準備過程】 ・チラシを作成し、四賀小学校、会田中学校へ配布	【評価と反省】 ・新型コロナウィルス感染症対策をして講師の先生の指導で作ることができた。 【今後の方針等】 ・しめ飾りを作る人気のある教室のため来年度も継続して開催したい。		
クリスマスリース作り	12月12日	1回	趣味教養	青少年	15人	【内容】 ・クリスマスに飾るリースを自然のつるや松ぼっくりを使用して作成する。 【ねらい】 ・自然のものを使って工夫して作る。	【準備過程】 ・チラシを作成し、四賀小学校、会田中学校へ配布	【評価と反省】 ・新型コロナウィルス感染症対策をして講師の先生の指導で作ることができた。 【今後の方針等】 ・自然のものを利用し、クリスマス飾りを作成できた。子ども達に好評であったため、来年度も開催したい。		
親子スキー教室	1月23日	中止	スポーツ	青少年	0人	【内容】 ・小学生の親子を対象にしたスキー教室 【ねらい】 ・親子で楽しみながらスキーを通して冬場の体力づくり、技術の向上を図る。	【準備過程】 ・松本市スキークラブに講師を依頼する。 【共催団体等】 ・四賀体育協会	【評価と反省】 ・新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・地区外からの参加者が多い ・来年で降雪不足の考えられるため会場の変更も検討する必要がある。		
第17回大楽い	2月14日	中止	趣味教養	成人	0人	【内容】 ・ステージ発表・活動報告 ・昼食会 【ねらい】 ・福寿草倶楽部員の活動成果を発表し、交流を深める。	【準備過程】 ・福寿草倶楽部が中心となり企画・運営する。 【共催団体等】 ・福寿草倶楽部	【評価と反省】 ・新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・福寿草倶楽部のサークルの交流と発表の場であるため、継続して開催したい。		
第16回ソフトバレーボール大会	3月7日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・町会を中心とした一般の部、40歳以上の部に分けたソフトバレーボール大会 【ねらい】 ・幅広い年齢層の住民が参加し、親睦と友情を深め、活気ある地域づくりと運動不足解消を図る。	【準備過程】 ソフトバレーボール競技の2団体に役員を依頼し、企画・運営を行った。 【共催団体等】 四賀体育協会 四賀ソフトバレーボールクラブ 刈谷原ソフトバレーボールクラブ	【評価と反省】 ・新型コロナウィルスによる肺炎拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・地区の人口が減少する中、町会の協力を得て、大会を開催することができるので継続をし開催したい。		
ベタンク教室	3月8日	1回	スポーツ	成人	30人	【内容】 ・ベタンク競技の講習会を行う。 【ねらい】 ・ベタンク競技人口の増加を図る。	【準備過程】 ・チラシの配布や掲示を行う。 【共催団体等】 ・ベタンククラブ	【評価と反省】 ・新型コロナウィルス感染症対策をして実施した。 【今後の方針等】 ・競技者が増えれば大会を開催する予定		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
福寿草倶楽部交流会	4月22日 8月22日	中止	趣味教養	成人	0人	【内容】 ・4月 ゲートボールと昼食会 ・8月 マレットゴルフと昼食会 【ねらい】 ・福寿草倶楽部会員の交流と会員の増進	【準備過程】 ・チラシを倶楽部員へ送付 ・一般参加者へは広報と一緒に配布 【共催団体等】 ・福寿草倶楽部	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 【今後の方針等】 ・参加者の減少により他の種目などの新しい交流会を検討している。		
ウォーキング	4月22日 (中止) 5月15日 (中止) 6月15日 7月28日 9月23日 10月20日 11月16日	5回	福祉健康	成人	75人	【内容】 ・4月 拾ヶ堰ウォーキング ・5月 保福寺峠ウォーキング ・6月 上高地ウォーキング ・7月 開田高原ウォーキング ・9月 青柳宿ウォーキング ・10月 小谷村鎌池ウォーキング ・11月 五稜郭ウォーキング 【ねらい】 ・特色ある地域を訪ねウォーキングをして自然、歴史、文化を学習する。	【準備過程】 ・チラシを各戸に配布 【共催団体等】 ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月、5月のウォーキングが中止となった。 ・それぞれの特色を見て歩くことにより新しい見識を学ぶことができた。 【今後の方針等】 ・特色ある地域を探し、今後も継続していきたい。		
地区探索ウォーキング	2月18日 2月26日 3月4日 3月18日	4回	福祉健康	成人	40人	【内容】 ・2月 中川、会田地ウォーキング ・3月 五常、中川地区ウォーキング 【ねらい】 ・四賀地区をウォーキングしながら、地区の自然、歴史、文化を学習する。	【準備過程】 ・チラシを各戸に配布 【共催団体等】 ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・四賀地区を歩くことにより新しい発見をすることができた。 【今後の方針等】 ・コロナ禍でもできるウォーキングを来年度も行ってみたい。		
公民館図書室	年間	1回	地域事業 (その他)	成人	2,792人	【内容】 ・図書の貸出 【ねらい】 ・市内の図書館まで距離もあり利用するのに厳しいため設置された。		【評価と反省】 ・図書館が遠いため利用者には近くにあり便利である。 ・未就学子ども絵本が特に人気がある。 【今後の方針等】 ・蔵書の充実を図り利用の拡大をしていく。		
おはなしの会	毎月第3土曜日	中止	子育て	家庭教育	0人	【内容】 ・毎月第3土曜日に未就学の親子、小学生を対象に読み聞かせや紙芝居を行う。 【ねらい】 ・本の楽しさを知ってもらい読書や図書室の利用増加を図る。	【準備過程】 ・チラシの配布や掲示を行う 【共催団体等】 ・図書室 ・読み聞かせの会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・1回の参加者は少ないがリピーターが多く、楽しんでいる子どももいるため開催していきたい。		
図書室談義	2月1日	中止	地域文化	成人	0人	【内容】 ・会田氏の滅亡と小笠原鉄炮衆 【ねらい】 ・図書室の利用促進のため地域話題を題材に講演を行う。	【準備過程】 ・チラシの配布や掲示を行う	【評価と反省】 ・新型コロナウイルスによる肺炎拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・四賀地区の歴史に興味のある方が多いので継続して開催していきたい。		
運営委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	15人	全体計画を検討する。		【評価と反省】 ・町会連合会長、町内公民館町会長、公民館委員会の委員長等によって構成され、全体的な調整の場となっている。		
館報編集委員会	毎月	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	50人	「公民館報しが」の取材、編集する。		【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、中止になった公民館事業が多く、紙面作成に苦慮した。		
体育委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	21人	公民館体育事業の企画、運営する。		【評価と反省】 ・4地区町会体育部長代表、スポーツ推進委員、競技団体の代表等が委員となっている。四賀一周駅伝競技大会はスポーツ推進委員、他の球技大会については競技団体が主管し実施している。		
図書視聴覚委員会	隔月	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	35人	四賀公民館図書室の運営を検討する。 図書だよりの発行		【評価と反省】 図書だよりの内容を充実させ、図書室の利用促進を図っていきたい。		
文化委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	11人	文化事業の企画、運営する。		【評価と反省】 四賀コンサート、文化祭の企画・運営を主にやっている。単独学級の企画についても委員会で検討したい。		
四賀地区人権啓発推進協議会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	15人	人権啓発を推進する。		【評価と反省】 人権の研修を実施するとともに、啓発活動に力をいれていきたい。		
四賀地区スポーツ推進委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	30人	四賀地区のスポーツの推進を図る。		【評価と反省】 四賀一周駅伝を主体に活動している。新しい事業も企画立案していきたい。		
図書視聴覚委員会視察研修	11月10日	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	15人	【ねらい】 他の図書施設を視察研修して、公民館図書室の充実を図る。 【内容】 佐久市望月図書館、浅科図書館を視察研修した。	【準備過程】 図書視聴覚委員と研修場所を検討選定 【共催団体等】 公民館図書視聴覚委員会	【評価と反省】 図書室について視察研修し、今後の図書室運営に役立てていきたい。		
四賀地区人権啓発推進協議会視察研修	11月25日	中止	人権平和	その他	0人	【ねらい】 ・人権について研修し学習する。 【内容】 ・長野県人権啓発センターでの研修と松代象山地下壕の視察研修する。	【準備過程】 人権啓発推進協議会委員と研修場所を検討し選定 【共催団体等】 ・人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルスによる肺炎拡大防止のため中止とした。 【今後の方針等】 ・来年度同じ場所を視察研修したい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針】

学都松本をめざして、市民が生涯にわたって学び続けるまち、地域や行政が協働して共に学ぶまち、市民一人ひとりが学んだ知識、技術を社会に活かし、次代に引き継ぐまちをめざし、安曇地区の課題、特性を踏まえた公民館事業を展開する。

【地域課題】

- 1 広大な面積に小集落が点在しているため、地区全体が一体感を持った地域活動を進めることが困難
- 2 少子高齢化が進み、児童・生徒の減少が顕著
- 3 地区の大部分が急峻な地形で、災害発生時の被害を懸念
- 4 特定健診受診率が低い（市内35地区中35位）※JAGESより
- 5 虚弱者が多い（市内35地区中30位）※JAGESより
- 6 閉じこもり者割合が多い（市内35地区中30位）※JAGESより

【重点的に取り組んだ事項等】

- 1 伝統行事の継承（ウェストン祭記念山行、安曇地区文化祭等）
- 2 日本を代表する山岳観光地である安曇地区の魅力を発見・認識し、この財産を守り、後世に伝えて行く意識を醸成
- 3 企業等と連携しながら事業を実施

評価・反省等

【評価】

- 1 新型コロナウイルス感染症の影響から、開催の可否を慎重に判断しながら、事業を行なった。
- 2 村時代から続く行事である安曇地区文化祭について、住民を中心に組織された実行委員会で中止とする声はなく、協議を重ねた結果、人を集めない方法で実施することとなった。
前年を上回る実績となり、参加者アンケートの結果也非常に好評だった。
- 3 屋外で地域学習・体験できる機会を増やし、安曇地区の魅力を再発見できるよう事業を行なった。

【反省】

事業への参加者の減少及び固定化を課題として捉え、事業内容だけでなく、日時や会場等を工夫し、住民に寄りそった公民館事業を展開していきたい。

項 目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種 委員会 等・
	平和 人権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	ス ポ ー ツ	防 災	そ 他	体 育	文 化	そ 他	
事業数		2		1		1	4			3	2	4	4
延べ 参加 人数		64		11			19			28	45	220	94

	C S	食 育
事業数		
延べ 参加 人数		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
ウェストン祭記念山行及びウェストン祭参加児童引率	6月6日～6月7日	中止	地域事業（文化）	青少年	0人	【内容】 ・安曇村時代から行われている伝統行事である徳本峠越えの登山を行う。また、一部児童及び教師は翌日のウェストン祭に参加し、献花と合唱を行うもの 【ねらい】 ・日本アルプスを世界に発信したウォルター・ウェストンの足跡を辿り、地域への理解を深める。	【準備過程】 ・安曇地区子ども会育成連合会総会で、記念山行の実施可否を協議 【共催団体等】 ・安曇地区子ども会育成連合会 ・安曇小中学校 ・大野川小中学校	【評価・反省】 ・新型コロナウイルス対策により中止 【今後の方針】 ・伝統行事として継続		
上高地ファミリーキャンプ	8月4日～5日	中止	地域事業（体育）	成人	0人	【内容】 ・上高地に関わる学習、星空見学及びトレッキング 【ねらい】 ・地域学習・体験を通して、安曇地区の魅力を再発見いただく。 ・上高地が特別名勝及び特別天然記念物であることを認識し、この財産を守り、後世に伝えていく意識を醸成する。 ・集団行動の体験を通して、ルールやマナーを学ぶと同時に、助け合いの精神を育むもの	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 ・学校経由保護者向けに周知 【共催団体等】 ・安曇山岳会	【評価・反省】 ・参加申し込みがなかったため中止 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。		
乗鞍サマーセミナー	8月22日	中止	地域事業（その他）	成人	0人	【内容】 ・東京大学OB・OG会協力のもと、乗鞍にまつわる講演会を開催 【ねらい】 ・乗鞍に有用なテーマについて、学び、新たな魅力等の発見を行う。	【共催団体等】 ・東京大学乗鞍寮VSAの会 ・大野川小中学校同窓会 ・ふれあいパーク乗鞍管理委員会 ・松本市教育委員会 ・大野川区町会 ・のりくら地区町会連絡会	【評価・反省】 ・新型コロナウイルス対策により中止 【今後の方針】 ・地域と東京大学OB・OG会と連携を取り、今後も継続して地域学習を進めたい。 ・取り上げてほしいテーマを相手方に提案していく。		
梓川源流池を訪ねるシリーズ 天狗池トレッキング	8月29日～30日	1回	地域事業（体育）	成人	16人	【内容】 ・安曇地区内を流れる梓川の源流に係る学習及び体験 【ねらい】 ・地域学習・体験を通して、安曇地区の魅力を再発見いただく。 ・集団行動の体験を通して、ルールやマナーを学ぶと同時に、助け合いの精神を育むもの ・自然の中をトレッキングすることで、健康増進を図るもの	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 【共催団体等】 ・安曇山岳会	【評価・反省】 ・ねらいとおり、事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。		
松本市安曇ゴルフ大会	9月18日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 ・旧姉妹都市松崎町との交流ゴルフ大会 【ねらい】 ・松崎町住民と地区住民の親睦を深める。	【共催団体等】 ・松本市安曇ゴルフクラブ	【評価・反省】 ・新型コロナウイルス対策により中止 【今後の方針】 ・双方で行き来のできるプレーヤーがいる限りは継続していく。		
安曇地区文化祭	11月1日	1回	地域事業（その他）	成人	209人	【内容】 ・安曇地区にまつわるクイズや脳トレ等を記載したチラシを配布 【ねらい】 ・「今年はステイホームで楽しもう」と題し、幅広い年代が取り組める問題を出題し、自宅で、家族で協力し合って楽しんでもらう。 ・住民主体の実行委員が、安曇地区にまつわる問題を出題することで、地域学習につなげる。	【準備過程】 ・地区内全戸配布 ・文化祭企画・検討委員会及び実行委員会で内容を検討 ・地区内企業等に協賛依頼 【共催団体等】 ・安曇地区文化祭実行委員会 ・地区内企業等	【評価・反省】 ・ねらいとおり、事業が実施できた。 ・参加者が前年より増加（前年比＋7人） 【今後の方針】 ・これまで同様、内容は住民等と協働で検討し、継続性のあるものを作っていくたい。		
奈川渡ダムで一日楽しみながら、ダムの流木でオリジナルグッズをつくろう	11月3日	1回	地域事業（その他）	青少年	11人	【内容】 ・奈川渡ダムの紅葉を見ながら、ダムの流木でオリジナルグッズをつくる。 ・同ダムの見学 【ねらい】 ・ダムの役割やダムに流れつく流木の処理について学ぶ。 ・紅葉を眺め、地域の魅力を発見・認識する ・休日に開催することで親子参加を促す。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 ・学校経由保護者向けに周知 【共催団体等】 ・東京電力リニューアブルパワー㈱松本事業所	【評価・反省】 ・昨年度の反省から、学校を通じて参加者を募集したが、参加者が成人のみであった。 【今後の方針】 ・引き続きさまざまな企業等との連携を模索していきたい。		
あつみ 見る・知る in 白骨温泉 安曇の宝を見に行こう！	11月12日	1回	環境	成人	11人	【内容】 ・白骨温泉と乗鞍高原温泉に触れながら、泉質の違い及び成り立ち等について学ぶ 【ねらい】 ・地域学習・体験を通して、安曇地区の魅力を再発見いただく。 ・学習しながら散策を行なうことで、健康増進を図るもの	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 【共催団体等】 ・文化財課	【評価・反省】 ・ねらいとおり、事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。		

令和2年度 事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
鎌倉街道シリーズ 「セバ谷～檜峠」トレッキング	11月23日	1回	地域事業 (体育)	成人	12人	【内容】 ・鎌倉街道のトレッキング 【ねらい】 ・地域学習・体験を通し、安曇地区の魅力を見直し、再発見いただく。 ・生活道路として活用されていた鎌倉街道を辿り、地域の歴史を学習するもの ・自然の中をトレッキングすることで、健康増進を図るもの	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 【共催団体等】 ・安曇山岳会	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。		
スノーシュー (乗鞍)	・1月29日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 ・冬の乗鞍をスノーシューで歩く。 【ねらい】 ・スノーシューの基本技術を習得 ・日本を代表する山岳観光地である安曇地区の魅力を見・認識し、この財産を守り、後世に伝えて行く意識の醸成を図る。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知	【評価・反省】 ・新型コロナウイルス対策により中止 【今後の方針】 ・目的を変えながら、事業を継続したい。		
落語で笑おう	2月5日	中止	福祉健康	成人	0人	【内容】 ・人権をテーマとした落語の鑑賞 【ねらい】 ・人権を切り口とした落語を展開することで、人権を学び、考える機会にする。 ・「笑い」は、心や体に良いということが医学的に実証されつつあり、笑うことで免疫力アップ等、健康づくりにつなげる。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 【共催団体等】 ・安曇地区人権啓発推進協議会	【評価・反省】 ・新型コロナウイルス対策により中止 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。		
ウォーキング事業	4月10日 6月8日 10月29日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 ・季節に合わせた場所でウォーキングを行う。 【ねらい】 ・ウォーキングを通じた健康増進と住民同士の交流を図る。	【共催団体等】 ・安曇地区福祉ひろば ・健康づくり課西部保健センター	【評価・反省】 ・新型コロナウイルス対策により中止 【今後の方針】 ・冬季を除き、季節ごとに継続して開催したい。		
マレットゴルフ大会	4月21日 5月19日 7月7日 9月29日	1回	スポーツ	成人	19人	【内容】 ・安曇地区マレットゴルフ協会を中心にマレットゴルフ大会を開催 【ねらい】 ・スポーツを通して地域住民同士の交流を図る。	【共催団体等】 ・安曇地区マレットゴルフ協会	【評価・反省】 ・全4回を予定していたが、新型コロナウイルス対策により3回を中止した。 【今後の方針】 ・協会員は減少傾向にあるが、大会への参加人数は一定数いるため継続して開催したい。		
松崎町交流事業	7月9日～11日 8月19日～21日	中止	地域事業 (その他)	青少年	0人	【内容】 ・旧姉妹都市松崎町と中学生同士の交流を行う。(7月に松崎町への訪問、8月に松崎町からの受入) ・令和元年度から、松崎町への訪問を隔年実施、松崎町からの受入を毎年実施としているもの 【ねらい】 ・双方の中学生が普段行くことのない山や海、環境に触れ、知見と交流の輪を広げる。	【準備過程】 ・松崎町教育委員会との調整 ・安曇中及び大野川中との調整 【共催団体等】 ・松崎町教育委員会 ・安曇地区子ども会育成連合会 ・安曇中学校 ・大野川中学校	【評価・反省】 ・新型コロナウイルス対策により中止 【今後の方針】 ・松崎町側は今も姉妹都市としているため、関係継続の限りは事業も継続していく。		
のりくら陶芸教室 ～タタ板でカップ &ソーサーを作る～	9月1日 9月15日 10月6日 10月20日	4回	地域事業 (文化)	成人	45人	【内容】 ・ふれあいパーク乗鞍の窯を使用した陶芸教室 【ねらい】 ・地元サークルの活性化 ・新たな生きがいがつく	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 【共催団体等】 ・のりくら陶芸クラブ	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・事業を継続したい。		
ピアノコンサート	11月6日 11月27日	2回	福祉健康	成人	64人	【内容】 ・視覚と聴覚に障がいを持つピアニストによるピアノコンサート 【ねらい】 ・人権を学び、考える機会にする。 ・学校を会場とし、地区住民とともに児童生徒が鑑賞する機会を創出	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 【共催団体等】 ・安曇地区人権啓発推進協議会 ・安曇地区子ども会育成連合会	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。		
山のめぐみ工芸教室	1月26日 1月28日	中止	趣味教養	成人	0人	【内容】 ・山に囲まれた地区の特性を生かし、木の実等を素材として、今年の干支を作るもの。 【ねらい】 ・身近な山の樹木を学習するとともに、指先を使うことで脳が活性化し、認知症予防効果が期待できるもの。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知	【評価・反省】 ・新型コロナウイルス対策により中止 【今後の方針】 ・作品の工夫やPRに注力しながら、事業を継続したい。		
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	54人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・館報の刊行を通じた地域づくりの推進や意識の高揚を図る。		【評価・反省】 ・安曇地区の中学生の執筆が定着してきた。 【今後の方針】 ・地区の様々な出来事を的確に伝えるように心がけたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容 ・ ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS	食育
図書委員会	通年	1 回	公民館委員会・各種会議等	成人	10人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・図書に接する機会を増やし、地域づくりの推進や意識の高揚を図る。	【共催団体等】 ・ふれあいパーク乗鞍	【評価・反省】 ・例年どおりふれあいパーク乗鞍の図書を年2回、入れ替えることができた。 【今後の方針】 ・大野川の身近な図書館としてより多くの本に接する場を提供		
文化委員会	通年	1 回	公民館委員会・各種会議等	成人	21人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・文化祭開催を通じた地域づくりの推進や意識の高揚を図る。	【共催団体等】 ・安曇地区文化祭実行委員会	【評価・反省】 ・来訪者低迷を脱するため、平成27年度以降大きく変えた実施内容が定着してきた。 【今後の方針】 ・今後も安曇の各地区の特徴を活かした文化祭を目指し、地域の一体感を醸成していきたい。		
体育委員会	通年	1 回	公民館委員会・各種会議等	成人	9人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・スポーツ活動を通じた地域づくりの推進や意識の高揚を図る。	【共催団体等】 ・安曇地区マレットゴルフ協会	【評価・反省】 ・地元住民による整備作業で、コースの環境が維持されている。 【今後の方針】 ・主に高齢者を対象としたスポーツを通し、健康寿命の延伸をはかっていきたい。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】

○参加者同士の交流を図る講座を企画・開催した。

○参加者の運動不足の解消や、健康推進を図った。

○各事業において、地区内外の関係機関、団体と連携を図り、事業を開催した。

関係機関：奈川支所、福祉ひろば、奈川小中学校、奈川地区子ども会育成会連合会、奈川地区人権啓発推進協議会、町内公民館、奈川振興公社等

評価・反省等

○緊急事態宣言や県内での新型コロナウイルスの感染者が増えたため当初企画した事業のほとんどが実施できなかった。

○開催した事業については感染予防対策を十分にとりながら実施することができた。

○参加者に好評だった講座は今後も継続していきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館 各種 委員会 等
	平人 和権	福健 祉康	子育 て	環 境	文地 化域	教趣 養味	スポ ーツ	防 災	そ の 他	体 育	文 化	そ の 他	
事業数		2	3		1		1					1	1
延べ 参加 人数		40	2396		50		15					1503	28

	C S	食 育
事業数	1	1
延べ 参加 人数	6	25

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
夏休み 子どもひろば	8月3日(月)～ 8月12日(水)	10回	子育て	青少年	70人	【内容】 ・スポーツ、勉強、体験活動等 【ねらい】 ・長期休暇中の子どもたちへの居場所の提供	【準備過程】 ・関係団体と緻密な打合せ 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば ・子ども会育成連合会	【評価と反省】 ・利用者に大変好評だった。 【今後の方針】 ・関係団体と連携を図り、継続して開催したい。		
男しよの 体力講座	8月25日(金) 11月24日(金)	2回	福祉健康	成人	20人	【内容】 ・体力測定・ストレッチ・体力づくり 【ねらい】 ・自分の体力の点検 ・足りない部分を補うためのトレーニング方法の紹介	【準備過程】 ・関係団体と緻密な打合せ 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば ・健康づくり課	【評価と反省】 ・利用者に大変好評だった。 【今後の方針】 ・関係団体と連携を図り、継続して開催したい。		
大芝高原 ウォーキング	10月12日(月)	1回	地域文化	成人	23人	【内容】 ・森林に囲まれた大芝高原でウォーキング 【ねらい】 ・自分の体力に合わせたコースでウォーキングを実施 ・日頃の運動不足の解消	【準備過程】 ・関係団体と緻密な打合せ 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・利用者に大変好評だった。 【今後の方針】 ・関係団体と連携を図り、継続して開催したい。		
陶芸教室	10月27日(火) 11月5日(木)	2回	地域文化	青少年	6人	【内容】 ・中学生と一般参加者が陶芸に挑戦 【ねらい】 ・少人数で気楽にものづくりを楽しむ。 ・陶芸を通じ子どもたちが地域との交流を図る。	【準備過程】 ・関係団体と緻密な打合せ 【共催団体等】 ・奈川小中学校	【評価と反省】 ・利用者に大変好評だった。 【今後の方針】 ・関係団体と連携を図り、継続して開催したい。	○	
そば打ち講習会	10月17日(土) 11月9日(月) 12月21日(月)	3回	地域文化	成人	25人	【内容】 ・そば打ち講習会 【ねらい】 ・奈川伝統の丸打ちをおぼえる。	【準備過程】 ・講師と緻密な打合せのうえ実施	【評価と反省】 ・例年講習会と試食会を併せて実施していたが今年は講習会のみとした 【今後の方針】 ・継続して開催したい。		
軽スポーツ講座	11月6日(金) 12月18日(金)	2回	スポーツ	成人	15人	【内容】 ・ストレッチ・体力づくり ・軽スポーツ 【ねらい】 ・コロナ禍でたまったストレスを軽スポーツで発散	【準備過程】 ・講師と緻密な打合せのうえ実施	【評価と反省】 ・利用者に大変好評だった。 【今後の方針】 ・来年度も継続して開催したい。		
奈川地区 世代間交流事業	12月7日(土)	1回	地域文化	青少年	50人	【内容】 ・しめ縄づくり・スポーツ交流会 ・プレゼント交換会 【ねらい】 ・高齢者と小学生の世代間交流を図る。	【準備過程】 ・関係団体と緻密な打合せ 【共催団体等】 ・奈川地区社会福祉協議会 ・奈川地区高齢者クラブ ・奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・参加者が多く好評だった。 【今後の方針】 ・新企画の検討や他団体との共催で内容を充実させたい。		
春休み 子どもひろば	3月18日(木)～ 4月5日(金)	13回	子育て	青少年	104人	【内容】 ・スポーツ、勉強、体験活動等 【ねらい】 ・長期休暇中の子どもたちへの居場所の提供	【準備過程】 ・関係団体と緻密な打合せ 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば ・子ども会育成連合会 ・東京電力 ・NPO法人チルドレンズミュージアム	【評価と反省】 ・利用者に大変好評だった。 【今後の方針】 ・関係団体と連携を図り、継続して開催したい。		
公民館委員会の 開催	年間	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	28人	【内容】 ・住民全体の住民活動を展開するため、運営・官報編集・図書・体育・文化の各専門分野について委員会を組織し活動する。	【準備過程】 ・5部門専門委員会及び各委員会を開催し、連携を図りながら様々な活動を行った。	【評価と反省】 ・コロナ禍のため必要最低限の人数と回数で開催した。 【今後の方針】 ・住民の要望に応える活動を展開していきたい。 ・リモートでの会議も検討したい。		
放課後子ども 教室の支援	年間	228回	子育て	青少年	2,222人	【内容】 ・小学生が放課後に安心・安全に過ごせるように支援	【準備過程】 ・放課後子ども教室コーディネーターと緻密な連携を行い実施	【評価と反省】 ・放課後子ども教室コーディネーターと連携を図りながら実施 【今後の方針】 ・利用者の意見を取り入れながら実施していきたい。		
夢の森図書室	年間	271回	その他	その他	1,503人	【内容】 ・図書館の管理運営	【準備過程】 ・図書委員と連携を図りながら実施	【評価と反省】 ・感染予防対策をとりながら対応		

高度経済成長以降、生活の都市化が進み、梓川地区においても人間関係が希薄になり、地区で暮らすという実感が持てない住民が増えてきました。また、地区の運動会などの行事の参加も煩わしく敬遠する住民が増えています。それらの地域課題を解決する一つとして、まずは自分たちの地区を知り、地区への愛着を深めることが大切だと考えました。そこで、地区住民自らが地区の魅力を感じ、自慢したくなる写真を募集し、写真コンテストを実施しました。写真コンテストの選考は、地区の将来を担う梓川中学校の全校生徒に行ってもらい、賞の名前についても考えてもらいました。本事業は、特定の地区住民だけの参加になつてしまわないように、中学生に参加してもらうなど子どもからお年寄りまで多くの世代に関心をもってもらえるように心がけました。

提供された写真は、公民館に展示をしたり、ホームページに掲載することで、広く住民の方にみていただき、地区への愛着が深まることを期待します。

新型コロナウイルス感染拡大により、松本市新型コロナウイルス感染症対策本部会議の決定に伴い、地区行事の開催について各関係団体や公民館利用団体、学校等と協議し対応しました。梓川地区のスポーツ事業には、スポーツ祭と運動会がありますが、各関係団体と協議を重ね、感染症対策を徹底し安全に実施することは困難と判断し中止となりました。また、住民の日々の活動の発表の場である文化祭についても、公民館利用団体等に普段の活動状況や開催についてアンケートを実施し広く意見を求めましたが、観客を含め安全で安心して参加することができないという意見が多く中止となりました。

新型コロナウイルスの感染症の影響で中止となった事業も多くありましたが、事業の開催について消極的になるのではなく、できることを考え、工夫しながら事業を実施することもできました。中でも毎年実施している梓川地区ウォークラリーでは、感染症対策を徹底し、参加者が楽しく参加できるようにゲームゾーンやクイズゾーンを設けるなど計画し、昨年度の2倍以上の住民が参加し、近年中で一番多くの参加がありました。

ウィズコロナ時代として新しい公民館活動を手探りで考えた一年間でしたが、来年度もさらに創意工夫をし、公民館としてできることを探究していく必要があります。

	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会・各種会議等
	平和権	健康福祉	子育て	環境	文化地域	教養趣味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	1		6		1	2	5		2	2	2		5
延べ参加人数	29		4053		31	42	108		51				187

	C S	食 育
事業数	3	
延べ参加人数	3981	

令和2年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
梓川地区リーダー研修会	6月13日 6月27日	中止	子育て	青少年		【ねらい】 子ども会活動のリーダーとして、各町会の5・6年生が参加し、団体生活で活動を共にすることで、町会や学年をこえた交流を深め、仲間づくりを行いながら、自分たちの力で活動を進める研修会とする。	【共催団体】 ・地区子ども会育成会 ・地区まちづくり協議会	中央公民館からの貸館停止・事業中止の方針に伴い中止	○	
歌ごえ公民館	7月2日～ 3月18日	14回	健康福祉	高齢者	361人	【事業内容】 講師の伴奏に合わせて、童謡唱歌等の16曲を、1時間30分程度合唱する。 【ねらい】 歌の経験や技量に関係なく、とにかく楽しく歌い、健康増進、ストレス解消や参加者同士の交流を深める機会とする。	【準備過程】 講師と連絡をとりあい、歌詞カードの作成等を行った。	【評価と反省】 皆楽しく歌い、健康増進、ストレス解消や参加者同士の交流を深めることができた。 なお、本年度は新型コロナウイルス感染症対策として2組に分け、人数を分散して実施した。 また、5月、6月、1月、2月は松本市（圏域）の新型コロナウイルス感染者数が増加したため中止とした。 【今後の方針】 高齢者を中心に参加者が増加傾向にある。本講座を楽しみにしている方も多いことから、次年度も継続的に開催したい。また、やりがいづくりとして文化祭等での発表の機会をつくれないう検討していきたい。		
梓川地区スポーツ祭2020	7月5日	中止	地域事業（体育）	成人		【事業内容】 町内公民館対抗により、囲碁ボール、シャッフルボード、ミニバレーの3種目で競う。 【ねらい】 年齢性別を問わず誰もが楽しく気軽に参加し、スポーツを通じて住民同士の親睦や団結を図るとともに、地域住民の健康増進を目指す。	【準備過程】 新型コロナウイルス感染症により開催の可否についての構成団体の意見を聞き取り、まちづくり協議会で中止を決定した。 【構成団体】 ・まちづくり協議会 ・町内公民館長会 ・地区体育協会 ・スポーツ推進委員協議会 梓川地区担当	【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルス感染症対策として従来どおりの実施することは難しい。競技種目を含め実施について検討が必要である。		
梓川地区・御浜町ふれあい交流会	8月5日～ 8月7日	中止	子育て	青少年		【事業内容】 毎年交互にお互いの地を行き来し交流を図る。 【ねらい】 友好親善提携都市の三重県御浜町との交流により、海と山、みかんとりんご等、互いの地域の自然、伝統及び文化の違いを学びあい、友情を育む。また、集団生活を通して相互理解を深め、子ども会リーダーとしての自覚と資質を養う。	【準備過程】 共催団体と協議し、児童の安全を第一に考え中止とした。 【共催団体】 ・地区子ども会育成会 ・まちづくり協議会 ・御浜町教育委員会	【今後の方針】 次年度は感染症対策をとり安全に実施することは可能か検討し、共催団体と協議する。 なお、本事業は梓川村当時に友好親善提供が結ばれ、毎年交流会を開催してきた経過から、今後も継続していく必要がある。	○	
米粉で作るはじめてのパン教室	8月26日 9月9日 9月30日	3回	趣味教養	成人	31人	【事業内容】 全3回シリーズで米粉を使ったパンの作り方を学ぶ。 【ねらい】 新型コロナウイルスの影響で、多くの人が以前に比べ自宅にいる時間が増えている。そんな中、自宅でパン作りを一つの楽しみとなることを目指す。 また、大勢で楽しく料理をすることで、食に対する関心が高める。	講師を依頼した「加工組合さくら」と内容・日程を調整	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策として会食を避けるために、持ち帰りのできるパンの講座を企画したが、定員を越える申し込みがありよかった。 【今後の方針等】 参加者からはまた開催して欲しいとの要望が多数あり、次年度も計画していきたい。	○	
中山道を歩く 馬籠宿～妻籠宿	9月7日	中止	スポーツ	成人		【事業内容】 馬籠宿から妻籠宿までを旧中山道を歩く。 【ねらい】 健康寿命の延伸向け、ウォーキングの楽しさを認識し、ウォーキングを習慣化することを目指す。	馬籠宿観光協会とコースやガイドについて打ち合わせを行った。	訪問先（岐阜県）で新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令となり中止とした。申込者も多数いたことから次年度に実施を検討する。		
ママのリフレッシュ講座（ヨガ）	9月9日	1回	子育て	成人	22人	【事業内容】 未就園児の子をもつ親を対象に、日々の疲れをヨガにより解消する。 【ねらい】 子育て中の親が気軽に集い、語り合って子育ての不安の解消や仲間づくりを行う場を提供する。	【準備過程】 公民館・児童センター・社会福祉協議会の三者により、企画運営した。 【共催団体】 ・梓川児童センター ・地区社会福祉協議会	【評価と反省】 子育て中の親が気軽に参加できる講座として、楽しみながら育児に対する不安などを相談し、仲間づくりを行う場を提供することができた。 【今後の方針等】 今後も子育て中の親が親しみやすい講座を企画し、継続的に開催していきたい。		
シニアのスマートフォン講座	9月2日 10月3日 10月24日	3回	その他	高齢者	51人	【事業内容】 スマートフォンのカメラやLINEなどの基本操作を学ぶ。 【ねらい】 シニア世代（60歳以上）の多くがスマートフォンを持つ時代となり、ガラパゴス携帯電話から乗り換えたが、電話と写真の他は使いこなせないという声が多くあった。そこで、多様な機能を使いたい方が解らないといった方を対象に、基本操作と疑問を解決する講座内容とすることで、これからのアクティブな生活実現を支援する。	講師と日程、内容等について打ち合わせを行い実施した。	【評価と反省】 予想を超える申し込みがあり、急遽講師（アシスタント）の人数を増やすなどし実施した。住民にとってニーズの高いテーマであり開催することができた。 【今後の方針】 参加者からは今後も開催して欲しいとの要望が多くあり、次年度も開催を検討する。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
梓川ウォークラリー2020	10月4日	1回	スポーツ	成人	69人	【事業内容】 家族や友人などの申込みグループごとに、コマ図を使い途中で問題を解きながら梓川地区内を歩く。 【ねらい】 家族や友人などの参加者が、地域の再発見や健康づくり・体力づくりを行う機会とする。	【準備過程】 コースや時間設定などスポーツ推進委員と事前に調整した。 【共催団体】 ・スポーツ推進委員協議会梓川地区担当 ・まちづくり協議会 ・福祉ひろば	【評価と反省】 梓水苑を拠点に、周辺約6kmを歩くコースを設定した。家族や友人などの参加者が、地域の再発見や健康づくり・体力づくりを行う良い機会になった。 また、コロナ禍で他のスポーツイベントが中止となっていたこともあってかこの数年で一番多くの参加者がありよかった。 【今後の方針等】 地域の再発見や健康づくり・体力づくりを行う機会として、出発点やコースを変えながら、継続的に開催していきたい。		
乗鞍三名瀑を巡るトレッキング	10月5日	1回	スポーツ	成人	14人	【事業内容】 乗鞍高原の三本滝、善五郎の滝、番所大滝を巡るトレッキング 【ねらい】 健康寿命の延伸向け、ウォーキングの楽しさを認識し、ウォーキングを習慣することを図る。	ガイドとコースや行程について打ち合わせを行い実施した。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策として、バスの乗車定員の半分の人数で募集し実施したが、定員以上の申込みがあり、参加できない申込者が多数発生し残念であった。 【今後の方針】 感染症対策として定員を減らし実施したが、今後も参加者の安全を第一に考え、感染症対策を徹底し実施していきたい。		
つどい子育て講座（わらべうた遊びや絵本で楽しく子育て）	10月12日	1回	子育て	成人	24人	【事業内容】 未就園児の子をもつ親を対象に、わらべうた遊びや絵本で楽しく子育ての方法について学ぶ。 【ねらい】 子育て中の親が気軽に集い、語り合って子育ての不安の解消や仲間づくりを行う場を提供する。	【準備過程】 公民館・児童センター・社会福祉協議会の三者により、企画運営した。 【共催団体】 ・梓川児童センター ・地区社会福祉協議会	【評価と反省】 子育て中の親が気軽に参加できる講座として、楽しみながら育児に対する不安などを相談し、仲間づくりを行う場を提供することができた。 【今後の方針等】 今後も子育て中の親が親しみやすい講座を企画し、継続的に開催していきたい。		
梓川の木について学ぶ市民講演会	10月17日	1回	地域文化	成人	31人	【事業内容】 梓弓研究会会長を講師に梓弓について学ぶ。 【ねらい】 住民が自分たちの地区の歴史を学習する機会とする。	【準備過程】 ・梓弓研究会と企画実施した。 【共催団体】 ・梓弓研究会	【評価と反省】 梓弓から梓川地区の歴史まで広く学ぶことができた。 【今後の方針等】 住民にとって地区の歴史を学ぶ良い機会となっているため、今後も共催して講演会を開催していきたい。		
梓川地区運動会2020	10月18日	中止	地域事業（体育）	成人		【事業内容】 町会対抗による競技種目や自由参加型の種目などを行う。 【ねらい】 運動会を通じて、梓川地区住民の交流と親睦を図り、体力づくりに寄与する。また、参加している人も見ている人も楽しい運動会を目指す。	【準備過程】 新型コロナウイルス感染症により開催の可否についての構成団体の意見を聞き取り、まちづくり協議会で中止を決定した。 【構成団体】 ・まちづくり協議会 ・町内公民館長会 ・地区体育協会 ・スポーツ推進委員協議会梓川地区担当	【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルス感染症対策として従来どおりの実施は難しいため、競技種目を含め検討が必要。		
第36回梓川地区文化祭（美術展）	11月5日～8日	中止	地域事業（文化）	成人		【事業内容】 芸術文化活動団体の発表の機会として、梓川アカデミア館で作品を展示する。 【ねらい】 梓川地区の芸術文化活動を行う住民が、日常活動の成果を発表する機会を作り、地域住民相互が親睦と交流を深めることにより、芸術文化の振興・発展を図る。	例年文化祭に出展している芸術文化団体等に新型コロナウイルスの影響で日々の活動状況や、出展の意向について聞き取り、まちづくり協議会で中止を決定した。 【共催団体】 ・まちづくり協議会	来年度は新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心・安全に開催できるよう検討する。		
第36回梓川地区文化祭（芸能祭・音楽祭）	11月8日	中止	地域事業（文化）	成人		【事業内容】 芸術文化活動団体の発表の機会として、音楽祭、芸能祭の2部制で開催する。 【ねらい】 梓川地区の芸術文化活動を行う住民が、日常活動の成果を発表する機会を作り、地域住民相互が親睦と交流を深めることにより、芸術文化の振興・発展を図る。	例年文化祭に出展している芸術文化団体等に新型コロナウイルスの影響で日々の活動状況や、出演の意向について聞き取り、まちづくり協議会で中止を決定した。 【共催団体】 ・まちづくり協議会	来年度も新型コロナウイルス感染症対策が必要になるが、例年会場は密集しているため、会場の変更を含め検討する必要がある。		
人権講演会	11月10日	1回	人権平和	成人	29人	【事業内容】 長野県と長野美術専門学校が連携し作成した人権をテーマにしたポスターについて、長野県人権啓発センターの人権啓発・相談員を講師に講演会を開催した。 【ねらい】 参加者の人権感覚の醸成を図るとともに、参加者の人権意識の高揚を図る。	講師と日程、内容等について打ち合わせを行い実施した。	【評価と反省】 新型コロナウイルスによる誹謗中傷が問題となっており、人権問題を考える良い機会となった。 しかし、一般参加者が少なく残念であった。 【今後の方針】 今後も住民の人権感覚の醸成と人権意識の高揚を図るため、多くの住民が参加しやすい講座となるよう計画する。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
ママのリフレッシュ講座（アロマクリーム作り）	11月18日	1回	子育て	成人	26人	【事業内容】 未就園児の子をもつ親を対象に、「アロマクリーム作り」講座を開催した。 【ねらい】 子育て中の親が気軽に集い、語り合って子育ての不安の解消や仲間づくりを行う場を提供する。	【準備過程】 公民館・児童センター・社会福祉協議会の三者により、企画運営した。 【共催団体】 ・梓川児童センター ・地区社会福祉協議会	【評価と反省】 子育て中の親が気軽に参加できる講座として、楽しみながら育児に対する不安などを相談し、仲間づくりを行う場を提供することができた。 【今後の方針等】 今後も子育て中の親が親しみやすい講座を企画し、継続的に開催していきたい。		
ポッチャ体験会	11月28日	1回	スポーツ	その他	25人	【事業内容】 ポッチャとはどのようなスポーツなのかを知ってもらうための体験会。 【ねらい】 老若男女、障がいのあるなしに関わらず、全ての人と一緒に楽しめるポッチャを通じ、住民相互の親睦と健康増進を目指す。また、障害者スポーツの体験を通して、障害者に対する理解を深め、豊かな人権感覚を養うことを目的とする。	講師と日程、内容等について打ち合わせを行い実施した。	【評価と反省】 梓川児童センターの児童も参加し、子どもから高齢者まで広い世代で楽しむことができた。 また、児童センターではポッチャを行うようになったとのことで、広く広めることができた。 【今後の方針】 子どもから高齢者まで一緒に楽しめるスポーツということ、今後梓川地区のスポーツ祭の一種目にならないか検討していく。		
大豆からタンパク質を摂ろう	12月15日	1回	趣味教養	成人	11人	【事業内容】 食生活改善推進協議会を講師に健康食材として注目されている日本の伝統食材高野豆腐等をつかった料理を学ぶ。 【狙い】 食生活の改善と健康増進を図る。	講師と日程、内容等について打ち合わせを行い実施した。	【評価と反省】 高野豆腐の新しいレシピを学ぶことができ参加者は満足しておりよかった。 【今後の方針】 今後も食生活推進協議会と相談しながら、住民の食生活の改善と健康増進を図る講座を企画していく。		○
ファミリースキー教室	1月17日	中止	スポーツ	青少年		【事業内容】 野麦峠スキー場において、初心者、初級者の親子を対象としたスキー教室 【ねらい】 スキーに親しむ機会の提供し、参加者の技術習得や参加者同士の親睦を目的とする。	【準備過程】 開催内容や方法等についてスポーツ推進委員と事前に調整を図った。 【共催団体】 ・スポーツ推進委員協議会梓川地区担当	【評価と反省】 中央公民館からの貸館停止・事業中止の方針に伴い中止 【今後の方針】 今後も継続的に開催し、地域住民がスキーに親しむ機会を提供し、参加者の技術習得や参加者同士の親睦を図っていく。		
梓川地区魅力発見・発信事業 梓川地区「いいね！」写真コンテスト	7/1～3/31	1回	その他	その他		【事業内容】 地区住民自らが地区の魅力を感じ、自慢したくなる風景等の写真を募集し、ホームページや公民館ロビーに写真を展示する。 また、提供のあった写真を梓川中学校に展示し、中学生に審査員となってもらい写真コンテストを開催。 【ねらい】 梓川地区の魅力ある写真を撮影することで地区の魅力を再発見し、公民館に展示することで広く住民にもらい、地域への誇りと愛着を深める。	梓川地区まちづくり協議会や梓川中学校と日程、内容等について打ち合わせを行い実施した。	【評価と反省】 梓川地区の魅力のつまった写真の提供があり、またこれからの次代を担う中学生にも事業に参加してもらいよかった。 しかし、応募人数が少なく、事業の周知等を工夫する必要があった。 【今後の方針】 今後も継続して地区の写真を募集し、地区内の公共施設にポスターやチラシを設置してもらうなど、さらに多くの方に参加してもらうよう実施していく。		
地域ケア会議	2月16日	中止	健康福祉	成人		【事業内容】 地区内の福祉関係団体が集まり「住みやすい梓川にするために私たちができること～認知症について学ぶ～」をテーマに講演会を開催する。 【ねらい】 認知症についての理解を深める。	【準備過程】 梓川地区担当職員連絡会において、内容等を検討協議 【共催団体】 ・地区社会福祉協議会 ・まちづくり協議会 ・健康づくり推進委員会 ・福祉ひろば ・地区担当職員連絡会 ・地区民生児童委員会	中央公民館からの貸館停止・事業中止の方針に伴い中止		
町内公民館長会の運営	4月13日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	21人	【事業内容】 公民館事業の運営協力依頼や町内公民館事業の支援を行った。	【構成団体】 ・梓川地区の21町内公民館長	【今後の方針等】 今後も町内公民館長会と連携し、スポーツ祭や運動会等を始め、各町内公民館で実施されている事業を相互協力しあいながら、展開していきたい。		
あずさっ子みまもり隊	通年		子育て	成人	3,500人	【事業内容・ねらい】 子どもたちの登下校を中心に通学路や交差点などで見守り隊活動を実施し、「子どもは地域の宝」として、小学生の安全な登下校に努める。	【準備過程】 隊員から登下校時の児童の様子や、道路の危険箇所など意見を聞き、小学校に報告するとともに、警察署等にも出された意見を伝え改善を図った。	【評価と反省】 「あずさっ子みまもり隊」は現在15人の隊員で見守り隊活動を行っているが、まだまだ地域全体には浸透していない部分もある。日々の見守り活動を通して子どもと隊員の良い関係ができてつづあり、やりがいを感じている隊員も多い。 【今後の方針等】 梓川小中学校は、他地区に比べて圧倒的に児童・生徒数が多いが、隊員数は15人と少ない。町会などを通じ人材確保を呼び掛け、地域全体に浸透させていく必要がある。	○	
梓川小学校の清掃消毒ボランティア	9/14～12/24	70回	子育て	成人	481人	【事業内容・ねらい】 梓川小学校で児童が下校した後に、新型コロナウイルス対策として校内の教室等を清掃消毒する。	【準備過程】 小学校と内容等について打ち合わせを行い実施した。	【評価と反省】 多くの住民がボランティアとして協力してくれたが、高齢者が多く今後若い世代の方にも参加してもらえるとよい。 【今後の方針】 新型コロナウイルスの感染が拡大した際は小学校と打つ合わせを行い、必要に応じて再度ボランティアを募集し実施する。	○	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
運営委員会	2月24日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	14人	【事業内容】 公民館事業の企画・実施について検討し、助言を受けた。（書面開催）	【準備過程】 新型コロナウイルス感染症予防対策として書面開催とした。	【評価と反省】 公民館事業の企画・実施について承認を得た。 【今後の方針等】 公民館運営の本質的な事柄に対して、議論を深めることができるよう内容や進め方等を工夫して開催していきたい。		
広報委員会	4月14日～3月2日	14回	公民館委員会・各種会議等	成人	58人	【事業内容】 梓川公民館報の企画・編集等を行った。	【準備過程】 公民館報の発行に合わせ、委員会を招集した。	【評価と反省】 取材、原稿の作成、編集までの一連の作業を、委員と協働し作り上げることができたが、受け身的な委員も多く職員が手を加えることが多かった。 【今後の方針等】 館報を読んでいる住民が少ないため、多くの住民に読まれるような紙面づくりを考えていく必要がある。		
図書委員会	8月28日～2月21日	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	14人	【事業内容】 公民館談話室の本の入れ替え作業を年2回行う。	【準備過程】 公民館事業の開催に合わせ、委員会を招集した。	【評価と反省】 例年実施している秋のお楽しみ会（人形劇等）がコロナウイルスの影響で開催できなかったが、委員それぞれが自発的に活動することができた。 【今後の方針等】 次年度も本の入れ替え作業やコロナウイルス感染予防対策を講じ秋のお楽しみ会ができないかを検討し実施していく。		
地域関係団体の運営・支援	通年	7回	公民館委員会・各種会議等	成人	80人	【事業内容】 ・子ども会育成会：会議の開催（2回）、子ども会安全共済会事務、各種子ども会育成事業の取りまとめ等 ・スポーツ推進委員会の運営、支援：会議の開催（3回）、地区内体育事業の企画・運営等 ・地区体育協会の支援：常任理事会への出席（2回）、市体育協会との連絡調整、相談等	【準備過程】 ・適切な時期に会議を開催し、協力依頼や事業について協議した。	【評価と反省】 ・各団体と連携・協力を図りながら、事業の実施や取りまとめを行うことができた。また、各団体と活発な意見交換を行うことができた。 【今後の方針等】 公民館にも関わりの深い団体であるため、継続的に育成、支援を行う必要がある。		

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等

【方針・地域課題】

・体育事業や文化事業などの地区事業の企画・運営等に当たっては、公民館委員（運営・文化・館報編集・体育）と連携しながら、より多くの住民が公民館活動に関わり、関心を持って参加していただけるよう地区住民主体により、実施内容の見直しや運営方法の改善等を図る。

・地区内の関係機関、各種団体等と連携を図った事業を開催する。

・講座等の企画、実施に当たっては、前年度の反省や地域住民からの声等を踏まえ、講座の充実を図るとともに、公民館の利用者団体等との共催や利用者団体等を講師にした講座等を開催し、学習の成果等を還元できる場を設ける。

・夏休み中の小中学生を対象に学習室開放に合わせて元教員による個別指導を計画する等、青少年教育の推進を図る。

評価・反省等

・公民館専門委員の皆さんには事業の企画・運営に関して、実施内容等検討していただいたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、多くの事業が中止となってしまった。実施した歴史講座については、多くの住民に参加していただくことができた。今後も住民主体の積極的な事業が行えるよう、委員の皆さんと協議、検討していきたい。

・新型コロナウイルス感染対策をしながら、地域の様々な団体等と共催、連携等しながら講座等の事業を開催できた。参加者の固定化や減少が進む中、今年度も夜間講座（健康講座）を開催したところ、若年層に多く参加いただくことができた。今後も夜間での講座開催も視野に団体等と共催、連携等もしながら気軽に集い、学ぶことのできる講座を企画していきたい。

・今年度は夏休み中の子ども対象の講座は行わなかったが、学習室開放は例年以上の小中学生に利用していただき、元教員による学習指導も好評であった。春休み中の子ども達に参加していただけるよう、春休み特別企画としてスプリングコンサートを企画した。次年度は、新たなものを取り入れながら子どもたちが意欲的に活動できるものを実施していけるように検討するとともに、多くの子ども達に公民館を利用していただけるよう周知方法等についても検討していきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員等・各種会議等
	平和権	福祉健康	子育て	環境	文化地域	教養趣味	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他	
事業数	5	11	2	1	6	10	2	2	3	1	2		8
延べ参加人数	120	291	1826	65	128	316		24	267				744

	CS	食育
事業数	2	2
延べ参加人数	417	9

令和２年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
江戸時代若澤寺のにぎわい 一初法談会と御開帳について	4月4日	中止	地域文化	成人	0人	江戸中期、若澤寺の仏教ゼミナールの様子と、水沢観音の御開帳に数万人の人数でにぎわった当時の状況を詳しくお話いただく。地域の歴史文化について学び、教養を深める。	若澤寺歴史保存会共催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 毎年、若澤寺歴史保存会の総会に併せて歴史講座を行っている。保存会会員以外の参加もあり、人気の歴史講座となっているため、今後も継続して行いたい。		
波田水車道でオオルリを探そう	4月20日	中止	福祉健康	成人	0人	波田水車道から波多神社まで、野鳥を探しながらウォーキングを行い、健康増進と地域住民同士の交流を図る。	波田福祉ひろば共催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 福祉ひろばとの共催のウォーキングは今後も継続して行きたい。		
「笑顔あふれるフォトフェスト」～一粒の種を育て笑顔の花を咲かせよう～	6月	1回	環境	成人	65人	ステイホーム中でも自宅で楽しめる講座として企画。新型コロナウイルス感染症の閉塞感を打ち破るべく、各ご家庭で種からお花を育てていただき、育てた花の写真等を募集し、公民館ロビーに展示する。 6月に種の配布 10月に写真展		多くの方に自宅で花を育てていただき、種から花を育てることの大変さ、きれいに咲いた時の喜び等感じていただくことができた。写真の募集等課題はあるが、花に親しんでいただく機会として来年度も開催を検討していきたい。		
自然散策とクラフト体験でリフレッシュ！	7月29日	1回	福祉健康	成人	9人	国営アルプスあずみの公園（大町・松川地区）の緑豊かな森をガイドの案内で散策、大自然を体感し、心も身体もリフレッシュし、健康増進と地域住民同士の交流を図る。		大自然を満喫でき、クラフト体験等も行い、参加者からは好評であった。自然の中のウォーキングは人気があるため、今後も場所等検討しながら継続して行きたい。		
みゆき先生の「からだスッパリ関節体操教室」	7月21日 7月28日 8月4日 8月11日 8月18日 8月25日	6回	福祉健康	成人	133人	関節や筋肉などの運動を良くする関節体操を行い、痛みや疲労の改善、体力の向上を図る。		今年度は3密を防ぐため、2コース設定し、入れ替えて開催した。毎年人気の講座であり、参加者からも開催要望等があるため、今後も継続して開催したい。		
健康講座「ちょこつとピラティス」	8月27日 9月3日 9月10日 9月17日 9月24日	5回	福祉健康	成人	66人	コロナ禍での体調不良や頭痛、肩こり、腰痛など改善を目指し、自宅で無理なく続けられる、短時間でも効果の出る方法を学び、体力の向上を図る。		今年度も夜間講座として開催。20代～70代までの幅広い年代の方に参加していただけた。毎年、好評の講座であり、来年度開催の要望も強いので、今後も開催したい。		
「若澤寺の散逸した文化財探訪」	8月29日	1回	地域文化	成人	10人	信濃日光とも呼ばれ、大変にぎわった若澤寺。廃仏毀釈により廃寺となってしまった若澤寺から散逸した現在も残る建物や重宝を巡り、教養を深める。	文化委員会歴史担当が企画、運営	以前から要望があったため、今年度計画、実施した。出発前に、まちづくり協議会で作成した紙芝居「若澤寺物語」で事前学習を行った。波田の宝である若澤寺跡について理解を深める機会でもあるので、今後も文化委員会歴史担当を中心に開催を検討したい。		
「波田地区歴史ウォーク」	9月10日	12回	福祉健康	成人	9人	上の段（下波田、中波田方面）の歴史等について、ウォーキングしながら学ぶ。 健康増進と地域住民同士の交流を図る。	波田福祉ひろば共催	普段住んでいる地区の神社史跡等を歩きながら巡ることはとても新鮮で、参加者からは好評であった。 福祉ひろばとの共催のウォーキングは今後も継続して行きたい。		
健康バスウォーキング講座「絶景の美ヶ原高原を歩く」	9月11日	1回	福祉健康	成人	13人	初秋の美ヶ原高原、思い出の丘から王ヶ頭まで景観を楽しみながら歩き、健康増進と地域住民同士の交流を図る。		6月2日に予定していた講座を延期して開催した。ガイドの案内で、美ヶ原の自然に触れながらウォーキングできた。 今後も健康増進のため、開催していきたい。		
はじめの一歩 ～認知症カフェ（オレンジカフェ）を知ろう！～	9月23日	1回	福祉健康	成人	26人	認知症カフェの始め方等について学ぶ。	西部地域包括支援センター共催	専門的な内容ではあったが、認知症カフェに関心がある方の参加が主であり、理解を深めていただくことができた。 西部地域包括支援センターとの共催事業は今後も開催していきたい。		
楽しい「大人のぬりえ」	9月25日 10月2日	2回	趣味教養	成人	28人	ストレス解消や気分転換になり、認知症予防に効果が有るとされ人気の「ぬり絵」の色の重ね方や影の付け方など、基礎とポイントを学ぶ。		基礎的な技法を学ぶことで、初心者の方も、以前からやっていた方も、参考になったと好評であった。 今後も内容を検討しながら開催したい。		
「リズムマッサージを体験してみよう！」	10月1日	1回	福祉健康	成人	13人	フラ音楽に合わせ、体のいろいろな筋肉を意識しながら動かすことで、肩こりや腰痛改善に役立つ体操を行う。		音楽に合わせて、筋肉を意識しながら楽しく体を動かすことができた。体を動かす健康講座は、人気があるため、今後も内容等検討し継続して開催していきたい。		
歴史バス研修「塩の道と仁科氏の歴史と文化を探る」	10月17日	1回	地域文化	成人	13人	日本最古の神明造、国宝仁科神明宮など平安末期より約500年にわたり安曇野地方を統治した「仁科氏」の歴史や文化を学ぶ。	文化委員会歴史担当が企画、運営	講師等に詳しく説明していただき、仁科氏の歴史等について知ることができた。他市町村の歴史文化を知る機会として、今後も文化委員会歴史担当を中心に計画していきたい。		
健康バスウォーク～紅葉の上高地を歩く～	10月22日	1回	福祉健康	成人	15人	紅葉シーズンの上高地を気持ちよく、大自然を満喫しながらウォーキングし、健康増進と地域住民同士の交流を図る。		5月21日に予定していた講座を延期して開催。毎年人気の講座であり、今年も申し込み開始15分で定員に達してしまい、キャンセル待ちの方も出るほどであった。今後も昨年度のように同日程を2回開催するなど工夫しながら多くの方に参加いただけるよう検討し開催していきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
「松本城再発見！」	11月9日	1回	地域文化	成人	12人	松本城の構造や特徴などについて学び、松本城の魅力を再発見する。	文化委員会歴史担当が企画、運営 波田福祉ひろば共催	松本城までは普段ほとんど歩いていくことがない場所も巡り、昔の武家地や町人地の面影を知るとともに、松本城では講師の説明に耳を傾けながら、松本城の魅力を感じることができ、好評であった。今後も文化委員と内容を検討しながら実施したい。		
満蒙開拓の歴史からみる人権と平和	11月12日	1回	人権平和	成人	51人	満蒙開拓の史実を通じて、戦争の悲惨さ、苦難の歴史、平和の尊さを学ぶ。	波田地区人権啓発推進協議会主催 梓川高等学校生徒会協力	満蒙開拓団として旧満州（中国東北部）に入植した方の実体験をお聞きすることで、戦争の悲惨さ等について改めて考える良い機会となった。梓川高校生生徒会の皆さんにも協力いただき、梓川高校で作成した満蒙開拓紙芝居を上演していただいた。人権や平和に関する講座は今後も開催したい。		
「ほっこりする手描きの年賀状」	11月17日	1回	趣味教養	成人	16人	筆ペンを使った、初めての方でも描けるあったかみのある手描きの年賀状の書き方を学ぶ。		人気があり、すぐに定員に達してしまった。初めて体験する方も多く、参加者がお互いの作品を見せ合う等、交流も図れていた。今後も、教養講座は参加者の意見も聞く中で内容等検討し開催したい。		
満蒙開拓の歴史からみる人権と平和」バス研修	11月19日	1回	人権平和	成人	15人	満蒙開拓の史実を通じて、戦争の悲惨さ、苦難の歴史、平和の尊さを学ぶ。 見学先：満蒙開拓平和記念館、長岳寺	波田地区人権啓発推進協議会主催	戦争の悲惨さ、平和等について考えを深めることができた。関心が高い方々に参加していただくことができ、参加者からも充実した1日だったと好評であった。内容等検討し、今後も人権・平和に関する講座は開催したい。		
町内公民館長会防災研修会	11月17日	12回	防災	成人	24人	避難所体験ゲームを通じ、運営側にとつての配慮点等を学ぶ	町内公民館長会	町内公民館長を対象とした、非常災害時に対応した研修会は、今後も計画、実施していきたい。		
「体験！作ってみよう！食品サンプル」	11月27日	7回	福祉健康	成人	7人	作って楽しい、本物そっくりで美味しいそんな「食品サンプル」の作り方を学ぶ。		クッキーやイチゴの色付けを体験し、クリーム等で飾った写真立てを作成した。少人数での開催だったため、参加者同士交流しながら実施できた。今後も、教養講座は参加者の意見も聞く中で内容等検討し開催したい。		
旧波田町役場庁舎の歴史的価値を知る	12月6日	1回	地域文化	成人	47人	大正14年に建築され、現在に至るまで、先人の強い思いから取り壊されることなく現在まで残されてきた、旧波田町役場庁舎の歴史的文化的財としての価値や他の類似施設の価値、保存活動の事例等について学ぶ。	波田まちづくり協議会主催	地区関係者や地区内外の関心のある方に多数参加いただいた。歴史的価値を知ることでも今後の在り方等について、それぞれが考えていただける機会となった。今後も共催の講座は開催していきたい。		
「アーティシャルフラワーで作るお正月飾り」	12月17日	1回	趣味教養	その他	13人	わらで作ったリースに、アーティシャルフラワーの花や松、各種葉など友禅織のリボンを組み合わせた和洋風な正月飾りを作り、教養の向上と参加者同士の交流を図る。		昨年度に続き、2回目の開催。和洋風の正月飾りということで人気があった。次回開催の要望もあったため、今後も開催を検討していきたい。		
「波田の村落成立と地名をさぐる」 一様な字名（あざめい）のおこりと伝承—	12月22日 2月9日 3月11日	3回	地域文化	成人	46人	それぞれの村落の歴史と成立・字名について考察を深めながら、現在のありさまを興味深く解説していただく。 1回目 旧上波多村 2回目 旧中・下波多村 3回目 旧三溝村		当初、12月～2月に行う予定だったが、1月に予定していた第2回目をコロナウイルス感染拡大のため延期し、開催。 地名・字名を地域の大切な財産として言い伝えられていってほしいとの感想が、多くの参加者から聞かれた。 字名のおこりを知ることでも、地域を見直し、再発見する意味でもとても有意義な講座であった。 今後も地域の歴史に関する講座は開催していきたい。		
「新春そば打ち講座」	1月13日	1回	趣味教養	成人	0人	そば打ちの技術を学び、味わうことを通して、食文化の学習と参加者同士の交流を深める。		11名の申し込みがあったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止。 毎年波田地区恒例講座で男性も多く参加していたが、毎年参加を楽しみにしている方もいるため、今後も開催を検討していきたい。		○
後悔しない最期を迎えるための学び ～リビングウィルのすすめ～	1月19日	1回	福祉健康	成人	0人	自分らしく最期を迎えるために考えておくべきことを学ぶ。	西部地域包括支援センター共催	一般申込8名、その他関係各位へお声をかけていたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止。 中止決定後も申し込みに関する問い合わせや、また計画してほしいとの要望があった。西部地域包括支援センターとも日程を調整しながら新年度に開催したい。		
シニアの財産と生活を守る「僕の健康管理」	2月26日	12回	趣味教養	成人	19人	シニア時代をより充実し安心して暮らしていくための安心した老後と財産を後継者に譲る知恵を学ぶ。		健康管理の3つの要素（体の健康・資産の健康・心の健康）をベースに高齢期の資産運用のポイント、年金問題、法的な財産管理契約等について説明していただき、好評であった。 今後もこのような講座は計画していきたい。		
「大地震に備えるための地域の取組みとはなにか」	2月27日	12回	防災	成人	0人	大地震に対する防災の対応について学ぶ。	波田まちづくり協議会主催	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 今後もまちづくり協議会と共催し、防災に関する研修は開催したい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
食育講座「飾り巻き寿司を作ってみよう！」	3月9日	1回	趣味教養	成人	9人	卒業、入学などのお祝いに、食卓も華やかになる飾り巻き寿司の作り方を学び、教養の向上と参加者同士の交流を図る。		今年度初めて開催できた食育講座であり、定員もすぐにいっぱいになってしまった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため作った巻きずしの試食はできなかったが、参加者からは好評であった。今後も時期を変えその季節にあった巻きずしの講座の開催していくことを検討したい。		○
教養講座「争いをなくす円満な相続の仕組み」	3月16日	1回	趣味教養	成人	20人	具体的事例も挙げていただきながら、詳しく説明していただくことで、相続についての基礎知識をしっかりと学び、より円満な相続の実現につなげていく。		参加者自身のこれからの生活と家々の幸せのためにも、とても有意義な内容であり、良き学習機会になった。今後もこのような講座は計画していきたい。		
春休み特別企画 スプリングコンサート ～ヴァイオリンとマリンバの音色に包まれて～	3月23日	1回	趣味教養	その他	47人	子ども達の春休みに合わせて企画。小さいお子さんから、おじいちゃん、おばあちゃんまで世代を超えて、親しみやすい、おなじみの名曲を若き演奏家が奏でる素晴らしい演奏で楽しんでいただく。		平日の開催ではあったが、お孫さんとの参加やご家族での参加など、3歳のお子さんから高齢の方まで幅広い世代の方に参加いただき、音楽に親しんでいた。世代を超えて楽しめるコンサート等については小中学校の長期休暇中の開催を視野に今後も開催していきたい。		
「お花のキャンドル講座」	3月24日	12回	趣味教養	成人	12人	部屋のインテリアとしてもかわいいう、お花のキャンドルの作り方を学び、教養の向上と参加者同士の交流を図る。		1月26日に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により延期して開催。参加者がお互いに作品を見せ合う等交流もできた。教養講座については、内容等検討し今後も開催していきたい。		
6団体マレットゴルフ大会		1回	スポーツ	その他	0人	波田地区の6団体（町内公民館長会・町会連合会・民生児童委員協議会・J.A・商工会・まちづくり協議会）で親睦を図るため、マレットゴルフを行い、また懇親会を通して情報交換・意見交換も行う。		例年、幹事は持ち回りでやっているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大により開催しなかった。6団体による波田地区の地域づくりが重要となっていくため、今後、開催の際は情報交換、交流を深める場として参加していく。		
ふれあいランチパーティー		1回	人権平和	その他	0人	市内や近隣町村に在住する外国の方々や地区住民とが各国の料理作りを通じて、国際交流と相互理解を深めることを目的として開催。作った料理はパーティーでふるまわれ、各国の味を楽しむ。	日本語教室、波田地区人権啓発推進協議会共催 国際交流クラブ協力	毎年恒例の事業として実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため開催を見合わせた。多文化共生の観点からも今後も継続していきたい事業であるが、スタッフの減少等課題がある。地域の人が事業の趣旨を理解し、多くの人が参加してもらえるよう、内容等も見直ししながら検討し、周知していく必要がある。		
冬のスポーツを楽しもう！		1回	スポーツ	その他	0人	体を動かす機会が少なくなる冬場の健康維持増進と参加者相互の親睦を図る。 ・スキー・スノーボード教室 ・テレマークスキー教室 ・スノーシュー教室	波田体育協会共催	例年恒例の事業ではあるが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため開催を見合わせた。冬場の健康維持増進のため今後も開催していきたい。		
コミュニティースクール事業	4月～3月	1回	子育て	青少年	250人	下記の事業を開催 ・小・中学生 登下校の見守り（通年） ・小学校1年生下校見守り（4月延べ32名参加） ・中学生学習指導（8月） ・小学校3年生 社会科見学講師（3月） ・小学校5年生 農業体験講師（5～2月） ・学校応援団会議（2回）	波田地区学校応援団	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、例年同様の事業はできなかった。来年度はこれまで行ってきた活動の充実を図りながら継続的に事業を行っていききたい。	○	
人権啓発推進協議会総会	6月18日	1回	人権平和	成人	9人	事務局として支援。地域に根ざした人権教育・啓発を積極的に推進し、差別のない地域社会の実現を図ることを目的に、事業内容等を協議検討する。	波田地区人権啓発推進協議会	総会のみだと短時間で終了となり、協議会委員が会の目的を伝えられる機会となっていない。総会に併せて人権に関する学習会等の開催も検討したい。		
日本語教室	4月～3月 土曜日	12回	人権平和	その他	45人	地区内や周辺地区在住の外国人が、日常生活に必要な日本語会話・読み方・書き方を勉強する。	日本語教室主催	今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で教室の生徒がほぼいなかった。そのため、月1回の打ち合わせのみ開催。在住の外国人が減少傾向の中で、教室の生徒も減少しているが、今後も随時生徒の募集を行っていくなど、教室を継続していきたい。		
遊YOU大学	7月～12月	6回	趣味教養	高齢者	152人	家に閉じこもりがちな世代の交流の場として、様々な運動を通して参加者相互の交流と体力づくりを行う。 1回目 開講式と「100歳まで楽しむ食事」 2回目 屋下がりのサマーコンサート「涼やか音色のハンドベル」 3回目 健康バスウォーキング「旧国鉄篠ノ井線廃線ウォーキングと北アルプス美術館キルト展」 4回目 グランドゴルフ 5回目 バス研修「再発見！善光寺」 6回目 閉校式と脳トレビンゴ		毎年開催している65歳以上を対象とした講座。新型コロナウイルス感染症の影響で例年より回数を減らし実施。高齢者の体力増進、交流の場として継続的な内容だけでなく、新規内容も取り入れながら今後も継続していく。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
竹の子教室	8月～2月	48回	子育て	家庭教育	27組 1576人	2歳から3歳児とその保護者を対象に、運動や遊びを通じて親と子のふれあいと体力づくりを行い、心身の健全教育と親子の絆を育む。波田地区で長く続く子供の育成教室として定着している。	指導員と日程、内容等を調整。	今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で時期をずらし、募集組数も減らして開催。ふれあいと体力づくりをすると共に、季節毎に四季折々の行事を取り入れるなどして、様々な体験ができた。毎年早い段階から新年度の申し込みの問い合わせもあり、開催を心待ちにしている参加者も多い。地区内だけでなく、近隣地区からの参加も増えており、待機児童の問題もある中での貴重な事業となっている。		
夏休み学習室開放	7月～8月		その他	青少年	167人	夏休み中の小・中学生を対象に、公民館の会議室を自習（学習）室として開放し、学習習慣の維持・確立に寄与する。		小、中学生とも、昨年以上に利用していただいた。特に小学生の利用が多かった。毎日勉強に来ていた中学生から要望があったため、急速、夏休み後の短縮授業期間中も開放することとした。今後も継続して学習室として開放していきたい。	○	
町内公民館対抗スポーツ事業	5月17日 7月5日 9月6日	4回	地域事業（体育）	その他	0人	波田地区町内公民館対抗行事として、健康維持増進と参加者相互の親睦を図る。 ・オール野球大会 ・男女混合、女子ソフトバレーボール大会 ・男女バレーボール大会 ・マレットゴルフ大会	体育委員主催 波田体育協会共催	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により今年度は開催しない旨各種会議等で決定。平成30年度より親睦目的の参加も可能にしたため、参加町会が増えてきているが、より多くの町会に参加していただけるよう、今後は種目等の見直しを含め検討していきたい。		
波田文化祭	10月31日 11月1日	2回	地域事業（文化）	その他	0人	生涯学習やクラブ活動の成果を発表し、地域住民が芸術文化を鑑賞する。波田公民館、文化センターアクトホールを会場に展示発表、舞台発表を行う。	文化祭実行委員会主催 町会連合会、町内公民館 長会協力	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による実施の有無について、参加団体にアンケートを実施。運営委員会、文化委員会にてご意見等いただき、文化祭実行委員会開催の有無を検討し、本年度は開催を見送ることとした。生涯学習やクラブ活動の成果を発表する場として、今後も実行委員会を中心に内容等を検討していきたい。		
ロビー展示	10月～3月		地域事業（文化）	その他		生涯学習やクラブ活動の成果の発表の場として、希望団体の展示を行う。		文化祭が中止となったことに伴い、日々の活動の発表の場として希望する団体の作品を展示し、地域の方々に見ていただけるように実施。小中学校の作品展やサークルの作品等を随時展示した。希望する団体には、文化祭だけでなく通年にわたる発表の場として提供していくことを検討したい。		
地区担当職員連絡会議	4月～3月	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	140人	社会福祉協議会、公民館、波田地域づくりセンター、健康づくり課、西部包括支援センター、福祉ひろば、市立病院、福祉計画課の職員が参加し、各部署からの事業や地域課題について話し合いを行う。		各部署での取り組みや事業内容、また、地区の課題などについて広い視野での話し合いができる場となっている。		
公民館運営委員会	6月～3月	2回	公民館委員会・各種会議等	その他	19人	公民館の事業計画等についての検討や提言をおこなう。		積極的に公民館活動へ関わっていただき、事業計画について検討や提言を頂けるようにしていきたい。		
体育委員会	4月～2月	4回	公民館委員会・各種会議等	その他	85人	町内公民館対抗スポーツ事業の企画、運営に携わる。	各地区から選出された委員と波田体協代表の27名で活動を行った。	町内公民館対抗スポーツ事業の見直しも含め、今後の体育事業について検討していきたい。		
文化委員会	4月～2月	9回	公民館委員会・各種会議等	その他	120人	文化祭、イベント、歴史の担当にふかれ、それぞれの活動の企画、運営に携わる。	27地区から選出された委員を3つの担当に分けて活動を行った。	事業の企画・運営に関して積極的に取り組んでいただくことができた。来年度以降も、多くの意見を取り入れながら事業展開をしていきたい。		
館報編集委員会	4月～2月	7回	公民館委員会・各種会議等	その他	58人	松本市公民館報（波田地区版）への原稿執筆、編集等	27地区から選出された委員で館報の原稿執筆、編集等を行った。5月号を事務局と正副委員長で担当。7、9、11、1、3月の各号は残りの委員に割り振り、全委員に1回ずつ担当していただいた。	記事内容はテーマ等を設けず、号毎の担当会議で内容を決定。担当会議までに、記事内容等を考えてきていただくようにした。記事を書くことに難しさを感じている委員も多いが、積極的に取り組んでいただけた。今後もできるだけ多くの地区の人に携わっていただき、地区の様々な情報を記事にしていけるようにしていきたい。		
町内公民館長会	4月～2月	7回	公民館委員会・各種会議等	その他	177人	地区公民館からの連絡事項や地区事業のお知らせ、地域づくり等について研修する。		新型コロナウイルス感染拡大のため、1回会議が中止となった。今年度は研修会も開催し、地区事業へも積極的に参加・協力をいただいた。来年度以降も活動を充実させていきたい。		

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程、共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S	食 育
文化祭実行委員会	7月～10月	2 回	公民館委員会・各種会議等	その他	35人	文化祭実行委員会で波田文化祭全体の企画、運営等を行う。各会場では会場ごとの展示、発表等について調整を行う。	文化委員 11 名、町会長会 1 名、公民館長会 1 名、各会場の正副代表で実行委員会を組織。	文化祭の開催有無の判断、来年度へ向けた会議を実施した。今後も実行委員会を組織し、多くの意見を取り入れた文化祭の企画運営ができるよう工夫していきたい。		
利用者団体会議	5月	1 回	公民館委員会・各種会議等	成人	110人	公民館利用団体の代表者と公民館利用方法等の確認や留意点等について話し合う。		今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、書面会議とした。公民館の予約方法や使用方法について改めて周知を行うとともに、利用者の皆さんから意見、要望等を出していただく機会として、今後も継続して開催したい。		
公民館一斉清掃		1 回	その他	成人	100人	年 1 回公民館利用団体の皆さんに公民館の清掃を行っていただく。		今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施しなかった。例年各団体が活動で利用している部屋を中心に多くの皆様に協力いただいております。利用している施設を大切に使用していただくことも目的に今後も実施していきたい。		
公民館案内の発行	毎月	12 回	その他	その他		毎月、全戸配布で公民館の講座案内等について周知する。併せて、市ホームページへの掲載も行う。		公民館講座、事業の周知に有効であると考え、今後も発行していく。		

令和２年度松本市公民館長会 定例会等事業報告

期 日	会 場	会 議 及 び 研 修 内 容
4月24日(金)	中央公民館	【総会】 ○令和元年度公民館長会事業報告及び会計報告 ○令和元年度館長会役員報告 ○令和２年度公民館長会事業計画及び予算審議（承認） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため歓送迎会中止
5月20日(水)	中央公民館	【協議事項、報告事項】 ○新型コロナウイルス感染拡大に伴う公民館主催事業の実施について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため研修は中止
6月17日(水)	笹賀公民館	【研修】 ○地域情報発信 笹賀地区 ○令和元年度のふり返りと「本年度期待する定例会研修、視察研修、公民館研究集会等について」 グループ（ブロック）別討議
7月15日(水)	中央公民館	【研修】 ○避難所としての公民館について ○水害時の避難所開設について ○地震災害時の避難所開設について
8月20日(木)	中央公民館	【研修】 オンラインにより開催 ○防災研修会(主事会との合同研修) 「命を守るための備え」 講師 田中 健一 氏(兵庫県広域防災センター防災教育専門員)
9月16日(水)	四賀公民館	【研修】 ○松本市四賀球場の見学 ○松本版コミュニティスクール事業について ○基本的な考え方、なぜ松本版なのか？ ○四賀地区のコミュニティスクール事業事例発表
10月21日(水)	中央公民館	【研修】 ○臥雲市長との意見交換会 ○新任公民館長の意見交換会悩み相談
11月18日(水)	中央公民館	【研修】 ○心理学カウンセラー百瀬敬子氏の講演 ○地域包括ケアシステム・松本モデルの経過と今後の方針 ○第二層生活支援コーディネーター配置について市の方針
12月16日(水)	中央公民館	【研修】 ○松本版コミュニティスクール事業について ○事例紹介(鎌田地区、寿地区、今井地区) ○統括コーディネーターの配置の有無について意見交換
1月18日(月)	中央公民館	【協議事項、報告事項】 オンラインにより開催 ○現行の公民館と地域づくりセンターの組織体制について ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため研修は中止 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため新年会は中止
2月17日(水)	中央公民館	【研修】 ○令和２年度公民館長会研修の振り返り ○グループ（ブロック）別討議
3月16日(火)	中央公民館	【総括】 ○新年度役員決定

令和２年度 松本市公民館主事会 事業報告

1 公民館主事研修会

公民館主事研修会として全 16 回開催し、延べ 451 人が出席した。各回の内容は次のとおり。

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
1	4/23(木) 13:30～17:00 中央公民館	42	テーマ：令和２年度 公民館主事会の運営等及び研修計画について 1 教育長あいさつ（赤羽教育長） 2 令和２年度行財政運営と令和２年度中央公民館重点目標について（栗田中央公民館長） 3 協議事項・役員選出 (1) 令和２年度役員の選出及び事務局の任命 (2) 令和元年度主事会事業報告及び会計報告 (3) 令和２年度公民館主事会の運営等について 4 事務連絡 (1) 中央公民館事務分担表について (2) 令和２年度予算について (3) 令和２年度事業について (4) 町内公民館振興業務委託料について (5) 防火管理講習について (6) 全国市長会市民総合賠償保障制度について (7) 長野県公民館主事研修会・総会について ※以上、資料配布のみ (8) 新型コロナウイルスに係る地域づくり関係３課の対応と公民館方針について
2	ブロック研修会	34	テーマ：今年度の主事研修会で取り扱う内容・テーマの提案 主事研修会に係って、各ブロックでそれぞれの担当する回の企画内容を検討し、また、上半期に実施する各ブロックでのテーマ研究の内容について話し合う。
3	ブロック研修会	34	各ブロックごとにテーマを設定し研修を行う。新型コロナウイルス感染症対策のため、５～６月の主事研修会を実施しないため、新任主事の方へのサポート等も行う。
4	7/16(木) 13:30～17:00 中央公民館	28	テーマ：貸館についての基礎研究 1 趣 旨 法令や条例、過去の事例を確認し、社会教育施設としての公民館がどのようにして行われるべきか考え、放映や条例に即した貸館判断ができるようになることを目的とする。 2 事務連絡・協議事項 (1) 公式ホームページ上の施設案内に係る対応について情報政策課 北村技師) (2) 市長への手紙への対応（PayPay の利用の仕方の講義）について（中央公民館 中村課長補佐） (3) 服務関係処理について（中央公民館 平林(紀)主任） (4) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集いの開催基本方針について（中央公民館 平林(祐)主任） (5) 公民館学会および東アジア生涯学習研究フォーラムの延期について（中央公民館 平林(祐)主任） 3 地域情報発信（白板地区） 4 研 修 (1) 公民館の歩み (2) 関係法令について (3) 法令・条例から貸館を読み解く (4) 過去の貸館判断経過報告書について (5) 貸館判断ワークシート (6) グループ討議

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
5	8/6(木) 13:30～17:00 中央公民館	29	テーマ：公民館講座の作り方と動画活用 1 趣 旨 公民館で実施している講座が長期にわたり継続され、新規に講座が開設されることが少なくなっている。また現在 1、2 年目の公民館主事が半数以上となっており、どのように進めていけばよいのか模索している状況である。更に、新型コロナウイルスに伴う新しい生活様式を踏まえた講座作りが必要となっている。そこで、話題提供を受けたうえで、各館の公民館講座の現状や、困っている事等を共有する。そして、公民館講座における動画の活用について討議することで、新しい生活様式の中での公民館講座運営に活かす。 2 地域情報発信（第一地区） 3 事務連絡 (1) 話題提供①「第 72 回優良公民館表彰と公民館活動アワード受賞に係る公民館講座との関わり」（前第三地区公民館主事 中條主任） (2) 話題提供②「コロナ禍の講座企画」（松原地区公民館主事 横林主任） (3) 話題提供③「実際に動画を制作してみての感想等」（中央公民館 天野主事）、「公民館における動画の活用について」（広報課 橋詰主任） 3 グループ討議
6	8/20(木) 13:30～17:45 中央公民館	32	松本市公民館長会・主事会 合同研修 1 趣 旨 昨年の令和元年東日本台風による水害、今年 4 月以降に発生している上高地付近を震源とする群発地震などによって、市民の災害に対する危機感が高まっている。また、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、公民館等に開設する避難所での感染予防対策が求められている。 そこで、地区防災計画等の研究をされている田中氏を講師に迎え、最新の防災情報を学ぶ。また、各地区での防災対策の取り組み状況を取りまとめ、講師から意見を頂くことで取り組み状況を客観的に評価し、それぞれの地区で今後の取り組みを検討していく契機となることを目指す。 2 事務連絡 (1) 市長への手紙 地区公民館の印刷機使用について（中央公民館 中村課長補佐） (2) まちづくりの集い（公民館研究集会）の分科会のテーマ募集（岩垂幹事長、中央公民館 平林(祐)主任） 3 研 修 講義：「命を守るための備え」 講師：兵庫県広域防災センター防災教育専門員 田中 健一 氏 4 PayPay と松本市の連携事業説明会（商工課 小口課長、プリントショップミネ）
7	9/24(木) 13:30～17:00 中央公民館	30	テーマ：コロナ禍で問われる公民館報の実情と意義 1 趣 旨 公民館報の持つ意義や核となる考え方を、全国の公民館報の記事そのものや、制作までの過程で関わる人々の取り組みから捉えることで（＝活動から意義等を捉えることで）、新任主事の学習機会のみならず、経験のある主事も新たな気付きを得られる機会とする。 模擬審査会を行い、実際に全国の館報を自分たちで審査をし、他自治体の館報のいいところを探す中で、館報のポイントはどのようなところなのかを考える。 講師に審査会の結果を踏まえ、最後に改めて「意義や核となる考え方」とつながってお話いただくことで（まとめ）、主事として今後関わるうえで大切な視点を最終確認し、今後の公民館報づくりに役立てる。 2 事務連絡 (1) スポーツ関連情報（イベント等）の市ポータルサイトの活用について（スポーツ推進課 伊東主任） (2) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集いについて（中央公民館 平林(祐)主任） 3 研 修

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
			「審査員になってみて気づくこと～審査会シミュレーション～」 講師：山本 恭仁彦氏、村上 英己氏 (1) 始めに（コンクール入選館報の紹介等） (2) グループワーク・模擬審査会
8	9/24(木) 13:30～17:00 中央公民館	30	第68回長野県公民館大会（オンライン開催） 1 趣 旨 当初岡谷市を主会場に2日間の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響から現地に参集せず、オンラインミーティングツール「Zoom」を活用したリモートでの開催となった。 そのため、本市においては、中央公民館6階ホールに公民館長・主事が集い、開会行事から基調講演を聞くとともに、その内容を松本市に置き換えたグループワークを独自に実施する。その結果、本大会のテーマでもある、各々が置かれている状況をしっかりと認識し、公民館のこれからの活動を展望することを公民館長・主事が考えるきっかけとなることを目的とする。 2 県公民館大会（開会行事視聴） 3 基調講演「コロナ共生社会の公民館」 秋田大学教育学研究科 教授 原義 彦 氏 4 分散会・グループワーク テーマ：基調講演を聞いて、松本市公民館にできることは何か
9	10/22(木) 13:30～17:00 中央公民館	28	テーマ：松本市公民館で実践する講座の評価、検証 1 趣 旨 他地区の講座の評価、検証を共有し、うまくいった講座はその要因や発展を考えることで自地区での新しい講座のヒントとする。また、うまくいかなかった講座はその原因や改善策を考えることで、自地区で同じ轍を踏まないよう対策できる。 2 事務連絡 (1) 村山人形店ワークショップ企画のご案内について（村山人形店 村山氏） (2) 市功労者表彰の推薦の依頼について（中央公民館 天野主事） 3 地域情報発信（安曇地区） 4 研 修 (1) 事例発表 ア 「若妻そば打ち講座」（今井地区） イ 「禁煙講座」「星空観察会」（神林地区） ウ 「のりくら陶芸教室」「上高地ファミリーキャンプ」（安曇地区） (2) グループワーク 自地区のうまくいった/いかなかった講座、やってみたい講座、講座についての悩み
10	11/12(木) 13:30～17:00 中央公民館	30	テーマ：地区生活支援コーディネーターについて 1 趣 旨 地区生活支援員が配置された目的・役割を理解し、既に配置となっている地区では実際どのような活動が行われているか知ることによって今後公民館として地区生活支援員とどのような関わりを持ち、公民館活動に活かすことができるのかを模索する機会とする。 2 事務連絡 (1) 絵本「葉っぱのフレディ」の読み聞かせについて（公園緑地課 太田係長） (2) 公共施設案内・予約システムの電子公印搭載と予約手続きの変更について（中央公民館 平林（祐）主任） (3) 公民館使用許可・不許可の判断等経過報告書について（神林公民館 三村主事） 3 地域情報発信（四賀地区） 4 研 修 (1) 地区生活支援員の役割について（高齢福祉課 介護予防担当 丸山課長

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
			補佐) (2) 地区生活支援員活動紹介 松本市社会福祉協議会生活福祉課 百瀬課長補佐 地区生活支援員 ・中央地区 地区生活支援員 竹川 洋子 氏 ・松原地区 地区生活支援員 服田 芳明 氏 (3) グループワーク
11	ブロック研修会	35	テーマ：他自治体事例研究について 新型コロナウイルス感染症の影響のため、例年実施している県外視察研修の代替案として、各ブロックごとに他自治体の事例を研究する。 ブロック研修において、研修テーマ・自治体を決める後日主事研修会で発表の場を設ける。
12	12/15(火) 長野県生涯学習推進センター		令和２年度長野県公民館主事研修会 1 趣 旨 (1) コロナ禍における公民館の役割や公民館活動について情報交換し、自館に生かす。 (2) 新任主事を対象とし、公民館の基礎知識を得て、主事の役割について考える。 2 話題提供「コロナ禍で改めて確認できたコト」 松本市島内公民館 上嶋 秀俊主査 3 分散会及び新任主事研修 (1) 分散会「コロナ禍における公民館活動」 (2) 新任主事研修「公民館の役割と活動実践、主事の心構え」
13	12/24(木) 13:30～17:00 寿台公民館	29	テーマ：「松本版コミュニティスクールについて」 1 趣 旨 地区の子どもたちや住民が自分で問題意識を持ち、課題の改善を図るため計画するというような、主体的・能動的に行われた事例について共有し、主事としての関わり方について考えたい。 2 事務連絡 (1) 令和３・４年度松本市スポーツ推進委員候補者の推薦について（スポーツ推進課 伊東主任） (2) 美術館講座への協力公民館の募集について（美術館 大島課長補佐、大西主任） (3) 長野県公民館報関係者研修会について（中央公民館 平林主任） (4) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集いの会場等について（中央公民館 平林主任、岩垂幹事長） (5) 令和２年松本市議会１２月定例会の内容について（中央公民館 横山係長） (6) 新たな地域づくりセンターの組織体制について（中央公民館 横山係長） (7) come(calm) to matsumoto キャンペーンについて（中央公民館 横山係長） 3 地域情報発信（中山地区） 4 研 修 (1) 松本版 CS 概要と主事の関わり方、今後の展開について（中央公民館 塚原主事） (2) 事例発表① 明善中プロジェクトの背景及び事例について（明善中学校 河西教頭先生、清水先生） (3) 事例発表② VS 芳川マッチの昨年度の取り組みについて（芳川公民館 北原主事） (4) グループ討議
14	1/14(木)※中止 13:30～17:00 中央公民館		テーマ：他自治体事例研究発表会 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
15	1/28(木)※中止 13:30～17:00 白板地区公民館		テーマ：防災～実践編～ ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止
16	2/4(木) 14:00～15:30 リモート配信	41	テーマ：副市長講和 1 趣 旨 民間企業や教育現場などあらゆるご経験をされてきた宮之本副市長の体験談や人生観、教育観等、職員/公民館に期待することについてお話しいただき、公民館主事としてどう公民館活動に携わるか考える機会とする。 2 研修内容 副市長講和（質疑応答） 松本市副市長 宮之本 伸 氏 ※Z o o mを使って副市長講和を各地区に配信 ※Z o o mのチャット機能を使って質疑応答も行った 3 事務連絡 (1) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集いについて（中央公民館 平林（祐）主任） (2) 町内公民館振興業務委託料報告書について（中央公民館 塚原主事）
17	3/4(木) 13:30～17:00 中央公民館	26	テーマ：未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い 第36回公民館研究集会 令和2年度地域づくり市民活動研究集会 の振り返り 1 趣 旨 今年度で36回を迎えた公研集会だが、新型コロナウイルスの影響で今回は基調講演・鼎談のみとなった。その歴史的経過の中で、集会の形は「地域づくり市民活動研究集会」と合同開催になるなど、変化しながら現在に至っている。また、近年の人事異動により1～2年目の公民館主事が多く、公研集会の経験豊富な主事が減っている。今年度、例年通りに集会が開催できず、1年目の主事は貴重な経験の機会を失った。コロナ禍の中、次年度へ繋げるため、公研集会が主事にとってどうあるべきなのか、どのようにしていけば良いかを改めて考える必要がある。 今回の公研集会を振り返り、公民館主事として今後の公研集会の在り方を考える機会とするとともに、来年度の集会開催に向け意見を出し合う。 2 事務連絡 (1) 参議院長野県選出議員補欠選挙に関する個人演説会及び選挙啓発チラシ等の対応について（選管藤牧課長補佐） (2) 新たな地域づくりセンターの組織体制による例規改正について（中央公民館 横山係長） (3) 予約システムから出力する使用許可書兼領収書・使用料減免決定書の処理について（中央公民館 平林（祐）主任） (4) 新型コロナウイルスワクチン集団接種に伴う城東公民館の一部休館について（城東公民館 朝倉主事） (5) 市長への手紙への対応について（中央公民館 天野主事） (6) 宮之本副市長寄贈の本について（中央公民館 天野主事） 3 研 修 (1) 今回の公研集会について（集会事務局） (2) 延期となった分科会について（集会事務局） (3) 来年度以降の公研集会について（集会事務局）
18	3/18(木) 13:30～17:00 中央公民館	29	テーマ：他自治体事例研究発表会 1 趣 旨 例年、実施していた県外視察研修は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しない。代替研修として、各主事会ブロックにおいて、公民館事業・地域づくりの先進地の事例研究を行い全体で情報共有を行うものとする。 公民館の理念やあり方、公民館活動について、他市町村の住民や職員との活発な意見交換・情報交換を行い、公民館職員としての専門性を養う。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった第14回主事研修会の内容を延期して実施 2 事務連絡・周知事項 (1) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い分科会について（中央公民館

回	日時・会場	出席者	研 修 内 容
			平林（祐）主任） (2) 長野県公民館長会総会について（中央公民館 横山係長） (3) 2月議会定例会の内容について（中央公民館 横山係長） (4) 中央公民館の減免登録申請書等への押印及び性別記載の見直しについて（中央公民館 天野主事） 3 研 修 グループに分かれてワールドカフェ方式で全4回発表を実施 (1) 中央1ブロック 群馬県前橋市「コロナ禍での公民館運営について」 (2) 中央2ブロック 沖縄県那覇市繁多川公民館「海外で公民館は機能を発揮するのか？」 (3) 中央3ブロック 長野県長野市長沼地区「水害と公民館」 (4) 河西部ブロック 長野県塩尻市「他自治体の取り組みから考える松本版コミュニティスクール」 (5) 西南部ブロック 島根県松江市玉湯公民館「地域で活躍する若者づくり～優良公民館表彰を受けた公民館活動から学ぶ～」 (6) 東南部ブロック 沖縄県那覇市若狭公民館「公民館からの情報発信、広報手段について」 (7) 東山部ブロック 長野県大桑村「地域資源を活かした公民館活動」

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5～6月は主事研修会の開催を見送った。また、同理由により1/14(木)第14回主事研修会及び1/28(木)第15回主事研修会を中止した。

2 幹事会

全12回の定例幹事会を開催し、主事研修会の企画等を協議・検討した。

<主な協議事項>

4/17	令和2年度の主事会・幹事会の運営等、	10/5	主事研修会企画
5/18	主事研修会(前期)企画	11/2	主事研修会企画
6/8	主事研修会企画	12/7	主事研修会企画
7/6	主事研修会企画	1/4	主事研修会企画
8/3	主事研修会企画、主事研修会(後期)企画	2/1	主事研修会企画
9/7	主事研修会企画、県外視察研修の検討	3/1	主事研修会企画、令和3年度の主事会計画案

3 県・中信公運協関係、合同研修会 等

- (1) 12/15 令和2年度長野県公民館主事研修会（長野県生涯学習推進センター／第12回主事研修会）
- (2) 9/24 第68回長野県公民館大会（オンライン開催／第8回主事研修会）
- (3) 2/21 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第36回公民館研究集会 令和2年度地域づくり市民活動研究集会～（オンラインで基調講演のみ開催）

4 その他（親睦事業 等）

新型コロナウイルス感染症の影響により、実施せず

令和 2 年 度 公 民 館 連 絡 先 一 覧 表

No.	館 名	館 長	公民館主事等	館長補佐	電話番号	内線	FAX番号	郵便番号	所 在 地	担当地区
1	中 央 施設整備担当課長	栗田 正和 丸山 文晴 (社会教育推進担当) (施設整備担当)	中村 安広 横山 史樹 平林 祐介 平林 紀子 森田 耀子 塚原 貴裕 天野 由貴 輪湖 稔 斉藤 浩伸 草間 厚伸		32-1132	56200 56210 56201 56201 56202 56201 56203 56202 56203 56212 56212 56211	37-1153	390-0811	(南棟) 中央 1-18-1 (北棟) 中央 1-23-2	
2	第 一 地 区	水野 範明	北平 知子	吉澤 拓	32-1550		32-1550	390-0811	中央 1-18-1 Mウイング4F	第一
3	第 二 地 区	早坂 義導	窪田 陸	山田 正	39-3601		39-3602	390-0814	本庄 2-3-23	第二
4	第 三 地 区	赤沼 礼一	樋口 美智子	降旗 英明	36-7040		35-6344	390-0811	中央 4-7-28	第三
5	東 部	宮下 隆夫	長橋 佑弥	藤野 一男	36-8565		36-8551	390-0806	女鳥羽 2-1-25	東部
6	城 北	田中 正	西澤 瑞恵	佐藤 憲明	38-0120		38-0121	390-0876	開智 2-3-39	城北
7	大 手	高野 隆治	中條 克明	勝家 隆	39-5711		39-5712	390-0874	大手 3-8-1	中央
8	安 原 地 区	滝澤 澄夫	板花 良太	保科 哲朗	39-0701		39-0702	390-0802	旭 2-11-13	安原
9	城 東	佐藤 昭明	朝倉 光貴	三澤 孝吉	34-0191		34-0192	390-0803	元町 3-7-1	城東
10	白 板 地 区	内藤 哲夫	岩垂 宏直	布山 智子	35-7740		36-5497	390-0875	城西 1-6-17-3	白板
11	田 川	森下 隆弘	大月 悠太	平林 正隆	27-3840		27-3841	390-0841	渚 3-2-7	田川
12	庄 内 地 区	筒井 文男	奥原 直弥	山岸 清治	24-1811		24-1812	390-0827	出川 1-5-9	庄内
13	鎌 田 地 区	田中 健太郎	川西 久美	黒田 明浩	26-0206		27-2957	390-0848	両島 5-50	鎌田
14	松 南 地 区	白澤 幸男	伊藤 貴浩	中村 真由美	26-1083		25-5337	399-0002	芳野 4-1	松南
15	島 内	上條 光司	上嶋 秀俊	原 文彦	47-0264		40-1264	390-0851	島内 4970-1	島内
16	中 山	鈴木 幹夫	丸山 雅之	塩野崎 隆夫	58-5822		85-1016	390-0823	中山 3746-1	中山
17	島 立	伊藤 悦夫	浅井 勇太	米田 秀俊	47-2049		40-1258	390-0852	島立 3298-2	島立
18	新 村	新村 芳男	太田 正太郎	高山 芳伯	48-0375		40-1625	390-1241	新村 2179-7	新村
19	和 田	萩原 正人	中田 真実	中野 文子	48-5445		40-1259	390-1242	和田 2240-31	和田
20	神 林	塩原 秀俊	三村 和紀	伊藤 裕明	58-2039		85-1159	390-1243	神林 1557-1	神林
21	笹 賀	小林 茂夫	加藤 正洋	百瀬 功三	58-2046		85-1146	399-0033	笹賀 2929	笹賀
22	芳 川	柏澤 由紀一	北原 将年	塩原 正秀	58-2034		85-1057	399-0034	野溝東 2-10-1	芳川
23	寿	百瀬 康雄	永春 美香子	百瀬 靖恵	58-2038		85-1099	399-0021	寿豊丘 424	寿
24	寿 台	坂井 久吉	櫻詰 琴音	甕 国人	58-6561		86-7964	399-0021	寿豊丘 649-1	寿台
25	松 原 地 区	下村 純	横林 朋実	牛丸 尚久	57-2322		85-3103	399-0022	松原 39-1	松原
26	岡 田	富岡 詔子	丸山 萌 田中 貢治	関 政雄	46-2313		45-1001	390-0315	岡田町 517-1	岡田
27	入 山 辺	小笠原 鉄夫	飯田 一至	村田 誠司	32-1389		37-0258	390-0222	入山辺 1509-1	入山辺
28	里 山 辺	小幡 泰俊	石川 和也	加藤 政彦	32-1077		37-0640	390-0221	里山辺 2930-1	里山辺
29	今 井	櫻井 貞文	矢島 玲	村山 育朗	59-2001		59-1004	390-1131	今井 2231-1	今井
30	内 田	丸山 明良	中村 和弘	伊藤 和宏	58-2494		85-1071	399-0023	内田 2203-1	内田
31	本 郷	橋本 眞一	小山 高志 分都 哲志	井上 靖友	46-1500		45-1014	390-0303	浅間温泉 2-9-1	本郷
32	四 賀	藤松 正之	小宮山 秀樹	増田 香	64-3112	34105	64-2933	399-7402	会田 1001-1	四賀
33	安 曇	百瀬 一美	羽田 大樹	丸山 仁也	94-2301	35233	94-2918	390-1592	安曇 1061-1	安曇
34	奈 川	忠地 愛男	真関 健	古畑 節子	79-2121	3621	79-2903	390-1611	奈川 3301	奈川
35	梓 川	川村 吉郎	黒田 晋	清沢 正典	78-3000	33116	78-3942	390-1792	梓川梓 2288-3	梓川
36	波 田	輪湖 明	大月 美知	齋藤 真一	92-2268	37171	92-7111	390-1401	波田 4417-1	波田
あ が た の 森		朝倉 一樹	深澤 勝彦		32-1812	2470	33-9986	390-0812	県 3-1-1	
池 上 百 竹 亭		指定管理者			32-0141		32-0141	390-0873	丸の内 10-31	
ふれあいパーク 乗 鞍		指定管理者			93-1122		93-1122	390-1507	安曇 4855-100	

令和 3 年 度 公 民 館 連 絡 先 一 覧 表

R3.4.15現在

No.	館 名	館 長	公民館主事等	センター長	電話番号	内線	FAX番号	郵便番号	所 在 地	担当地区
1	中 央	高橋 伸光 (社会教育推進担当)	土屋 浩昭 中村 安広 小岩井 一樹 平林 祐介 森田 耀子 宮下 明日香 大和 健司		32-1132	56200 56201 56201 56202 56202 56203 56203 56203 56212 56212 56211	37-1153	390-0811 "	(南棟) 中央 1-18-1 (北棟) 中央 1-23-2	
2	第 一 地 区	水野 範明	遠藤 彰	吉澤 拓	32-1550		32-1550	390-0811	中央 1-18-1 Mウイング4F	第一
3	第 二 地 区	早坂 義導	窪田 陸	二木 昭彦	39-3601		39-3602	390-0814	本庄 2-3-23	第二
4	第 三 地 区	赤沼 礼一	樋口 美智子	降旗 英明	36-7040		35-6344	390-0811	中央 4-7-28	第三
5	東 部	宮下 隆夫	三枝 成葉	武井 義正	36-8565		36-8551	390-0806	女鳥羽 2-1-25	東部
6	城 北	田中 正	西澤 瑞恵	佐藤 憲明	38-0120		38-0121	390-0876	開智 2-3-39	城北
7	大 手	高野 隆治	中條 克明	上條 昭規	39-5711		39-5712	390-0874	大手 3-8-1	中央
8	安 原 地 区	藤野 一男	板花 良太	田村 明彦	39-0701		39-0702	390-0802	旭 2-11-13	安原
9	城 東	佐藤 昭明	朝倉 光貴	三澤 孝吉	34-0191		34-0192	390-0803	元町 3-7-1	城東
10	白 板 地 区	内藤 哲夫	岩垂 宏直	永瀬 幸道	35-7740		36-5497	390-0875	城西 1-6-17-3	白板
11	田 川	森下 隆弘	大月 悠太	小野 真一	27-3840		27-3841	390-0841	渚 3-2-7	田川
12	庄 内 地 区	筒井 文男	奥原 直弥	甕 国人	24-1811		24-1812	390-0827	出川 1-5-9	庄内
13	鎌 田 地 区	田中 健太郎	川西 久美	田中 治	26-0206		27-2957	390-0848	両島 5-50	鎌田
14	松 南 地 区	白澤 幸男	伊藤 貴浩	金井 稔	26-1083		25-5337	399-0002	芳野 4-1	松南
15	島 内	上條 光司	上嶋 秀俊	勝家 隆	47-0264		40-1264	390-0851	島内 4970-1	島内
16	中 山	鈴木 幹夫	丸山 雅之	塩野崎 隆夫	58-5822		85-1016	390-0823	中山 3746-1	中山
17	島 立	伊藤 悦夫	浅井 勇太	米田 秀俊	47-2049		40-1258	390-0852	島立 3298-2	島立
18	新 村	新村 芳男	太田 正太郎	高山 芳伯	48-0375		40-1625	390-1241	新村 2179-7	新村
19	和 田	萩原 正人	中田 真実	村山 佳子	48-5445		40-1259	390-1242	和田 2240-31	和田
20	神 林	丸山 勝久	三村 和紀	伊藤 裕明	58-2039		85-1159	390-1243	神林 1557-1	神林
21	笹 賀	山田 賢司	加藤 正洋	百 瀬 功 三	58-2046		85-1146	399-0033	笹賀 2929	笹賀
22	芳 川	柏澤 由紀一	北原 将年	塩原 正秀	58-2034		85-1057	399-0034	野溝東 2-10-1	芳川
23	寿	百瀬 康雄	永春 美香子	百瀬 靖恵	58-2038		85-1099	399-0021	寿豊丘 424	寿
24	寿 台	坂井 久吉	大津 茜	高山 明洋	58-6561		86-7964	399-0021	寿豊丘 649-1	寿台
25	松 原 地 区	下村 純	合津 朋実	牛丸 尚久	57-2322		85-3103	399-0022	松原 39-1	松原
26	岡 田	深井 久仁彦	田中 貢治	山岸 清治	46-2313		45-1001	390-0315	岡田町 517-1	岡田
27	入 山 辺	小笠原 鉄夫	吉田 将大	村田 誠司	32-1389		37-0258	390-0222	入山辺 1509-1	入山辺
28	里 山 辺	小幡 泰俊	吉田 望花	加藤 政彦	32-1077		37-0640	390-0221	里山辺 2930-1	里山辺
29	今 井	櫻井 貞文	宮澤 理沙	村山 育朗	59-2001		59-1004	390-1131	今井 2231-1	今井
30	内 田	丸山 明良	石原 萌	伊藤 和宏	58-2494		85-1071	399-0023	内田 2203-1	内田
31	本 郷	橋本 眞一	分部 哲志	清澤 秀幸	46-1500		45-1014	390-0303	浅間温泉 2-9-1	本郷
32	四 賀	藤松 正之	小宮山 秀樹	神谷 孝	64-3112	34105	64-2933	399-7402	会田 1001-1	四賀
33	安 曇	百瀬 一美	羽田 大樹	大野 晃永	94-2301	35233	94-2918	390-1592	安曇 1061-1	安曇
34	奈 川	忠地 愛男	真関 健	高山 昇	79-2121	3621	79-2903	390-1611	奈川 3301	奈川
35	梓 川	川村 吉郎	黒田 晋	田多井 清純	78-3000	33116	78-3942	390-1792	梓川梓 2288-3	梓川
36	波 田	輪湖 明	奥原 和宏	百瀬 朋章	92-2268	37171	92-7111	390-1401	波田 4417-1	波田
あ が た の 森		中嶋 岳大	深澤 勝彦		32-1812	2470	33-9986	390-0812	県 3-1-1	
池 上 百 竹 亭		指定管理者			32-0141		32-0141	390-0873	丸の内 10-31	
ふれあいパーク 乗 鞍		指定管理者			93-1122		93-1122	390-1507	安曇 4855-100	

松本市公民館長理事役員名簿

(25年度以降)

(敬称略)

年度 役名		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	R3年度
会 長		青木 (和田)	筒井 (大手)	深澤 (城北)	村山 (島立)	村山 (島立)	滝澤 (安原)	滝澤 (安原)	柏澤 (芳川)	柏澤 (芳川)
副 会 長		筒井 (大手)	深澤 (城北)	村山 (島立)	胡桃 (島内)	原田 (城東)	百瀬 (四賀)	柏澤 (芳川)	田中正 (城北)	田中正 (城北)
(中央公民館長)		永田	永田	高橋	高橋	高橋	栗田	栗田	栗田	高橋
理 事	中央1	中田 (第三)	原田 (城東)	関口 (第二)	北沢 (東部)	阿部 (第一)	宮下 (東部)	早坂 (第二)	佐藤 (城東)	赤沼 (第三)
	中央2	筒井 (大手)	深澤 (城北)	滝澤 (安原)	内藤 (白板)	高野 (大手)	田中 (城北)	内藤 (白板)	高野 (大手)	内藤 (白板)
	中央3	仲 (西部)	池上 (田川)	上條 (松南)	草間 (庄内)	田中 (鎌田)	池上 (田川)	浦澤 (松南)	筒井 (庄内)	筒井 (庄内)
	河 西	百瀬 (波田)	村山 (島立)	胡桃 (島内)	関 (新村)	渡辺 (和田)	青木 (梓川)	輪湖 (波田)	上條 (島内)	伊藤 (島立)
	西 南	奥原 (笹賀)	赤羽 (神林)	藤澤 (今井)	上條 (安曇)	勝山 (奈川)	藤波 (笹賀)	塩原 (神林)	櫻井 (今井)	百瀬 (安曇)
	東 南	吉村 (寿台)	青木 (寿)	中畠 (内田)	藤森 (中山)	柏澤 (芳川)	下村 (松原)	百瀬 (寿)	坂井 (寿台)	丸山 (内田)
	東 山	瀧澤 (本郷)	宇佐美 (岡田)	花岡 (里山辺)	遠山 (入山辺)	百瀬 (四賀)	橋本 (本郷)	富岡 (岡田)	小幡 (里山辺)	小笠原 (入山辺)
監 事		古市 (北部)	百瀬 (波田)	宇佐美 (岡田)	中畠 (内田)	内藤 (白板)	阿部 (第一)	田中 (城北)	内藤 (白板)	高野 (大手)
事務局 (中央公民館)		栗田	栗田	金井	金井	金井	横山	田口	横山	土屋
中信公運協		筒井 (大手)	深澤 (城北)	村山 (島立)	胡桃 (島内)	原田 (城東)	百瀬 (四賀)	柏澤 (芳川)	田中正 (城北)	田中正 (城北)
県公運協		青木 (和田)	筒井 (大手)	深澤 (城北)	村山 (島立)	村山 (島立)	滝澤 (安原)	滝澤 (安原)	柏澤 (芳川)	柏澤 (芳川)

松本市公民館長会理事 役職分担表

(敬称略)

年 度 役職名		29年度		30年度		R元年度		R 2 年度		R 3 年度	
		館 名	氏 名	館 名	氏 名	館 名	氏 名	館 名	氏 名	館 名	氏 名
県公運協（R元は会長職）		（島立）	村山	（安原）	滝澤	（安原）	滝澤	（芳川）	柏澤	（芳川）	柏澤
長野県将来世代応援県民会議 （県公運協副会長が就任）											
中信公運協（参与職）						（安原）	滝澤	（芳川）	柏澤	（芳川）	柏澤
中信公運協（評議員職）		（城東）	原田	（四賀）	百瀬	（芳川）	柏澤	（城北）	田中	（城北）	田中
松本市差別撤廃人権擁護 審議会（会長職） 同和		（城東）	原田	（安原）	滝澤	（芳川）	柏澤	（芳川）	柏澤	（芳川）	柏澤
部落解放・人権政策確立要求 松本市実行委員会委員長 （公民館長会 会長）		（島立）	村山	（安原）	滝澤	（芳川）	柏澤	（芳川）	柏澤	（芳川）	柏澤
“社会を明るくする運動”松本推進 委員会（会員）						（松南）	浦澤	（城東）	佐藤	（第三）	赤沼
平和祈念式典実行委員会		（中山）	柏澤	（東部）	宮下	（波田）	輪湖	（島内）	上條	（白板）	内藤
健康福祉21市民会議 事務局・母子専門員		（大手）	高野	（笹賀）	藤波	（岡田）	富岡	（寿台）	坂井	（安曇）	百瀬
明るい選挙推進協議会 代議員2名 （うち役員候補者1名）	会長職	（島立）	村山	（安原）	滝澤	（芳川）	柏澤	（芳川）	柏澤	（芳川）	柏澤
		（中山）	柏澤	（神林）	宮下	（波田）	輪湖	（今井）	櫻井	（白板）	内藤
		（四賀）	百瀬	（城北）	田中						
豊かな環境づくり 松本地域会議 （松本地方事務所環境課）		（奈川）	勝山	（笹賀）	藤波	（松南）	浦澤	（城東）	佐藤	（第三）	赤沼
教育文化センター 運営委員会		（和田）	渡辺	（田川）	池上	（神林）	塩原	（里山辺）	小幡	（庄内）	筒井
松本市青少年健全育成 市民大会実行委員会		（四賀）	百瀬	（梓川）	青木	（寿）	百瀬	（里山辺）	小幡	（庄内）	筒井
松本市生活簡素化 実行委員会		（鎌田）	田中	（田川）	池上	（寿）	百瀬	（島内）	上條	（白板）	内藤
学都松本子ども読書活動推進委員会 R元～						（寿）	百瀬	（島内）	上條	（庄内）	筒井
館長会 研修担当	①通常研修担当	（和田）	渡辺	（松原）	下村	（白板）	内藤	（大手）	高野	（入山辺）	小笠原
		（奈川）	勝山	（笹賀）	藤波	（岡田）	富岡	（庄内）	筒井	（島立）	伊藤
	②県外研修担当	（第一）	阿部	（城北）	田中	（神林）	塩原	（今井）	櫻井	（内田）	丸山
		（大手）	高野	（梓川）	青木	（第二）	早坂	（寿台）	坂井	（安曇）	百瀬
学都松本推進協議会 事務局会議委員		（鎌田）	田中	（松原）	下村	（松南）	浦澤	（城東）	佐藤	（第三）	赤沼
館長会・主事会 連絡調整委員		（島立）	村山	（安原）	滝澤	（安原）	滝澤	（芳川）	柏澤	（安原）	滝澤
		（城東）	原田	（四賀）	百瀬	（芳川）	柏澤	（城北）	田中	（芳川）	柏澤
監事						（城北）	田中	（白板）	内藤	（大手）	高野

令和2年度 松本市公民館主事会名簿

ブ ロ ッ ク	公 民 館 名	氏 名	通 算 経 験 年 数	幹 事 長	副 幹 事 長	県 公 運 協 理 事	委 員 行 資 料 刊 費 員	中 信 議 公 運 信 議 員 協	ブ ロ ッ ク 幹 事	事 務 局
中 公	中 央	中 村 安 広	12							
		横 山 史 樹	10							
		平 林 紀 子	0							
		平 林 祐 介	4							
		森 田 耀 子	3							
		塚 原 貴 裕	3			○				
		天 野 由 貴	1							○
		輪 湖 稔	1							
		斉 藤 浩 伸	0							
		草 間 厚 伸	4							
中 央 1	第 一 地 区	北 平 知 子	7							
	第 二 地 区	窪 田 陸	0							
	第 三 地 区	樋 口 美 智 子	0							
	東 部	長 橋 佑 弥	1						○	
	城 東	朝 倉 光 貴	0							
中 央 2	白 板 地 区	岩 垂 宏 直	2	○						
	城 北	西 澤 瑞 恵	0							
	安 原 地 区	板 花 良 太	0							
	大 手	中 條 克 明	2						○	
中 央 3	鎌 田 地 区	川 西 久 美	0							
	松 南 地 区	伊 藤 貴 浩	0							
	庄 内 地 区	奥 原 直 弥	4						○	
	田 川	大 月 悠 太	0							
河 西 部	島 内	上 嶋 秀 俊	12							
	島 立	浅 井 勇 太	3		○					
	新 村	太 田 正 太 郎	1							
	和 田	中 田 真 実	1						○	
	梓 川	黒 田 晋	1							
西 南 部	波 田	大 月 美 知	2							
	笹 賀	加 藤 正 洋	3							
	神 林	三 村 和 紀	2					○		
	今 井	矢 島 玲	2						○	
	安 曇	羽 田 大 樹	2							
東 南 部	奈 川	真 関 健	2							
	芳 川	北 原 将 年	1							
	寿	永 春 美 香 子	1						○	
	寿 台	桜 詰 琴 音	0							
	内 田	中 村 和 弘	2		○					
	中 山	丸 山 雅 之	1							
東 山 部	松 原 地 区	横 林 朋 実	4				○			
	岡 田	丸 山 萌	0							
		田 中 貢 治	0							
	里 山 辺	石 川 和 也	5							
	入 山 辺	飯 田 一 至	3						○	
	本 郷	小 山 高 志	5							
		分 部 哲 志	0							
東 山 部	四 賀	小 宮 山 秀 樹	10							

令和3年度 松本市公民館主事会名簿

ブ ロ ッ ク	公 民 館 名	氏 名	通 算 経 験 年 数	幹 事 長	副 幹 事 長	県 公 運 協 理 事	委 員 行 員	評 議 員	中 信 公 運 協 員	ブ ロ ッ ク 幹 事	事 務 局
中 公	中 央	土 屋 浩 昭	7								
		中 村 安 広	13								
		小 岩 井 一 樹	0								
		平 林 祐 介	5								
		森 田 耀 子	4								
		宮 下 明 日 香	0								
		大 和 健 司	0								○
		輪 湖 稔	2								
		斉 藤 浩 伸	1								
		伊 藤 雄 大	0								
中 央 1	第 一 地 区	遠 藤 彰	4								
	第 二 地 区	窪 田 陸	1								
	第 三 地 区	樋 口 美 智 子	1					○			
	東 部	三 枝 成 葉	0								
	城 東	朝 倉 光 貴	1							○	
中 央 2	白 板 地 区	岩 垂 宏 直	3			○					
	城 北	西 澤 瑞 恵	1							○	
	安 原 地 区	板 花 良 太	1								
	大 手	中 條 克 明	3		○						
中 央 3	鎌 田 地 区	川 西 久 美	1								
	松 南 地 区	伊 藤 貴 浩	1				○				
	庄 内 地 区	奥 原 直 弥	5								
	田 川	大 月 悠 太	1							○	
河 西 部	島 内	上 嶋 秀 俊	13								
	島 立	浅 井 勇 太	4	○							
	新 村	太 田 正 太 郎	2							○	
	和 田	中 田 真 実	2								
	梓 川	黒 田 晋	2								
	波 田	奥 原 和 宏	6								
西 南 部	笹 賀	加 藤 正 洋	4		○						
	神 林	三 村 和 紀	3							○	
	今 井	宮 澤 理 沙	0								
	安 曇	羽 田 大 樹	3								
	奈 川	真 関 健	3								
東 南 部	芳 川	北 原 将 年	2								
	寿	永 春 美 香 子	2								
	寿 台	大 津 茜	0								
	内 田	石 原 萌	0								
	中 山	丸 山 雅 之	2							○	
	松 原 地 区	合 津 朋 実	5		○						
東 山 部	岡 田	田 中 貢 治	0.5							○	
	里 山 辺	吉 田 望 花	0								
	入 山 辺	吉 田 将 大 志	0								
	本 郷	分 部 哲	0.5								
	四 賀	小 宮 山 秀 樹	11								

松本市公民館運営審議会委員・Mウイング文化センター運営委員名簿

根拠法令等 松本市公民館条例、松本市公民館運営審議会規則、松本市Mウイング文化センター運営委員会設置要綱

活 動 内 容 館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するとともに、Mウイング文化センターの運営について協議する。

区分	氏 名	所 属 団 体 等
学校教育	戸 辺 修	松本市立島立小学校長
	中川 由香里	松本市立開成中学校長
社会教育	御子柴 宏	元 寿公民館長、寿地区学校応援団 顧問
	立 石 恵 子	N P O フリマネット信州代表
	高 橋 昌 子	更生保護女性会会長
	降 旗 都 子	第三地区まちづくり協議会副会長
	染 井 伴 子	松本市女性団体連絡協議会
	中 田 安 子	前 第三地区公民館長
	百 瀬 壽	松本市町内公民館長会会長
	中 島 麻 衣	松本B B S 会
家庭教育	山 口 茂	松本市公民館報全市版編集委員長
	熊谷 留理子	松本市P T A 連合会副会長
有識者	久保田 由美	松本みんなのほんご教室
	向 井 健	松本大学 総合経営学部 准教授
公募者	前 田 豊	信州大学 人文学部 助教
	北原 千佐子	公募
	興 熹	公募

(任期2年:令和5年7月31日まで)



※令和 2 年度事業報告を合算させていただきました

松本市の公民館（令和 3 年度）

令和 3 年 9 月発行

発行・編集 松本市生涯学習課・中央公民館

松本市中央 1－18－1

TEL 0263－32－1132

e-mail:gakushu@city.matsumoto.lg.jp
